北埋調報　113

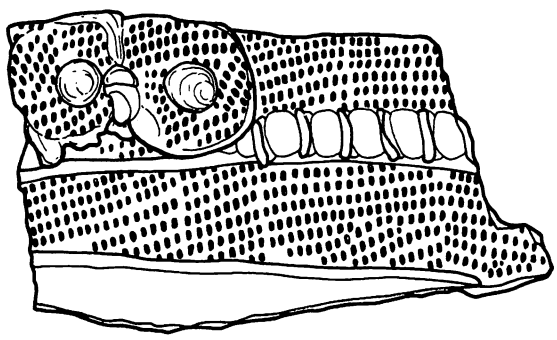
美沢川流域の遺跡群　XIX

千歳市　美々４遺跡

―新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書―

第１分冊

本文編



平成６・７・８年度

財団法人　北海道埋蔵文化財センター

北埋調報　113

美沢川流域の遺跡群　XIX

千歳市　美々４遺跡

―新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書―

第１分冊

本文編

平成６・７・８年度

財団法人　北海道埋蔵文化財センター

新千歳空港全景（○印：美々４遺跡）

口絵1

口絵２

新千歳空港建設前（昭和50年）の美沢川流域（国土地理院空中写真CHO-75-9 C13-34による）
○印：美々４遺跡

１　Ⅳ群ｃ類土器

２　Ⅳ群ｃ類土器

1　Ⅳ群ｃ類土器

2　Ⅳ群ｃ類土器

１　Ⅳ群ｃ類土器

２　Ⅴ群土器

１　動物意匠の（フクロウ）の突起

２　動物意匠の突起（１の側面）

３　動物意匠（クマ）の把手

４　動物意匠（ヘビ？）の沈線文

土製品

土製品

土製品

石製品

石製品

例　言

1．本書は、平成６、７年度に財団法人北海道埋蔵文化財センターが実施した新千歳空港建設用地内埋蔵文化財包蔵地発掘調査のうち、美々４遺跡の報告書である。

2．発掘調査は調査部調査第３課（平成６年度）、第１調査部第３調査課（平成７年度）が行い、報告書の作成は第１調査部第３調査課が行った。

3．本書の文責は主に遺物の記載については熊谷が、それ以外のものについては藤井が負うものである。

4．写真撮影は、現場では調査員が、室内撮影は佐藤雅彦氏に依頼した。

5．各種同定、分析などは下記に依頼した。

黒曜石、ヒスイ、琥珀産地同定：京大原子炉実験所　藁科哲夫氏、
放射性炭素年代測定：京都産業大学理学部　山田　治氏
動物遺体同定：千歳市教育委員会埋蔵文化財センター　高橋　理氏、
アスファルト：北海道大学高等教育機能開発総合センター　小笠原正明氏、
化石：開拓記念館　赤松守雄氏（依頼中）
炭化材樹種同定：㈶北海道埋蔵文化財センター　資料調査課　田口　尚氏、岡本育子氏
人骨鑑定：国立科学博物館　松村博文氏　札幌医科大学　石田　肇氏
石器石材同定：㈶北海道埋蔵文化財センター　資料調査課　花岡正光氏

6．整理報告終了後の出土遺物及び記録類については、北海道教育委員会が保管する。ただし、保存処理を必要とする遺物は当センターで処理を実施し、経過観察を行いながら仮保管している。

7．調査にあたっては下記の機関、各氏のご指導およびご協力をいただいた。

文化庁、北海道教育委員会、千歳市教育委員会、北海道開発局札幌開発建設部新千歳空港建設事業所、渡辺重建工業株式会社、国立民族学博物館　大塚和義、静修大学　吉崎昌一、
北海道大学　菊池俊彦・林　謙作・椿坂恭代、東京大学　宇田川洋・熊木俊郎、
千歳市教育委員会　大谷敏三・田村俊之・高橋　理・豊田弘良・松田淳子、
苫小牧市埋蔵文化財調査センター　佐藤一夫・宮夫靖夫・工藤　肇・渡辺俊一・二階堂啓也・兵藤千秋・赤石慎三・大泉博嗣、伊達市教育委員会　大島直行、帯広百年記念館　北沢　実・山原敏郎、開拓記念館　野村　崇・平川善祥・石代啓視、山田悟郎、
石狩市教育委員会　石橋孝夫・工藤義衛、北広島市教育委員会　遠藤龍畝、
札幌市教育委員会　加藤邦雄・上野秀一・芳賀憲二・仙庭伸久・秋山洋司、
恵庭市郷土資料館　上屋真一・松谷淳一・森　秀之・佐藤幾子、余市町教育委員会　宮　宏明、
平取町教育委員会　森岡健治、常呂町教育委員会　武田　修、網走市郷土博物館　米村　衛、
斜里町教育委員会　松田　功、仙台市教育委員会　斎野裕彦、江別市教育委員会　高橋正勝・直井孝一・園部真幸・野中一宏・稲垣和幸、青森県埋蔵文化財センター　鈴木克彦、
㈶かながわ考古学財団　天野賢一、浦和市教育委員会　小倉　均、中村誠二、
浦和市遺跡調査会　柳田博之・山田尚友・近藤　仁、
春日部市教育委員会　中野達也、㈱水科学　熊沢克己

記号等の説明

1．本文及び図表中では次の略号を使用した。

H：住居跡　P：土壙　F：焼土　TP：Tピット　SP：小ピット

なお、遺構略号の前には、構築・検出層位の違いによって層位を付けて区分している。

ⅠH：第Ⅰ黒色土層の住居跡

ⅡH：第Ⅱ黒色土層の住居跡

2．遺構図の数値は標高（単位m）であり、遺構図・遺物実測図にはすべてスケールを付している。遺物実測図は土器1／3、剥片石器1／2、礫石器1／3、これ以外にはスケール（単位cm）を付している。

3．土層は、樽前a降下軽石：Ta-a，第0黒色土層：0B層，樽前b降下軽石：Ta-b，第Ⅰ黒色土層：ⅠB層、第Ⅱ黒色土層：ⅡB層、苫小牧火山灰：B-Tm，樽前c_1降下軽石：Ta-c_1，樽前c_2降下岩片：Ta-c_2，樽前d_1降下岩片：Ta-d_1，樽前d_2降下スコリヤ：Ta-d_2：第Ⅲ黒色土層：ⅢB層，恵庭ローム：En-aL，恵庭a降下軽石：En-aP，支笏軽石流堆積物：Spflの略称を用いた場合がある。

4．遺構の規模については次の要領で示した。

確認面での長径×短径／底面での長径×短径／最大深(以上、単位m)

なお、撹乱部分や調査区域外に及ぶため、全体の平面形が不明な遺構の計測値は（　）を付けて示した。

5．岩石名は以下の略号で表現した。

Aga.：めのう　Aga-Sh.：めのう質頁岩　And.：安山岩　Ba.：玄武岩　Bl-Mud.：黒色泥岩
Che.：チャート　Diab.：輝緑岩　Diat.：珪藻岩　Gni.：片麻岩　Gr-Mud.：緑色泥岩
Mud.：泥岩　Obs.：黒曜石　Qua.：珪岩　Sa.：砂岩　Sch.：片岩　Ser.：蛇紋岩　Sh.：頁岩
Tu.：凝灰岩　Phy.：千枚岩　Gr-Sch.：緑色片岩　Per.：カンラン岩　Pro.：プロピライト
Qua-Sh.：珪質頁岩　Rhy.：流紋岩　Sl.：粘板岩　La-Ba.：ローソン石玄武岩　Por.：斑岩
QZ.：石英石　Tal.：滑石　Jad.：ひすい　We-Tu.：熔結凝灰岩　Pa.：軽石　Gr-Sa.：緑色砂岩

目　次

口絵（カラー写真）
例言
記号等の説明
目次
挿図目次
表目次
写真目次
第Ⅰ章　調査の概要 …… 1
1　調査要項 …… 1
2　調査体制 …… 1
3　調査に至る経緯 …… 2
4　調査の方法 …… 2
(1)　調査区の設定 …… 2
(2)　遺跡の土層 …… 2
(3)　発掘調査の方法 …… 2
(4)　整理の方法 …… 7
1）土器 …… 7
2）石器 …… 7
5　遺物の分類 …… 7
1）土器 …… 7
2）石器 …… 8
3）各種製品 …… 8
4）自然遺物 …… 8
6　調査の概要 …… 9
第Ⅱ章　遺跡の位置と環境 …… 11
1　遺跡の位置 …… 11
2　遺跡の土層 …… 11
3　遺跡周辺の環境 …… 15
第Ⅲ章　第Ⅰ黒色土層の調査 …… 17
概要 …… 17
1　遺構 …… 17
(1)　住居跡 …… 17
(2)　土壙 …… 24
(3)　フレイク集中区 …… 49
(4)　小ピット …… 49
2　遺物 …… 53

概要 …… 53
(1) 土器 …… 53
(2) 石器 …… 54
(3) 石製品 …… 55
(4) 金属製品 …… 55
第Ⅳ章 第Ⅱ黒色土層の調査 …… 67
概要 …… 67
1 遺構 …… 67
(1) 住居跡 …… 67
(2) 土壙 …… 100
(3) Tピット …… 105
(4) 焼土、骨片集中 …… 110
2 包含層の遺物 …… 116
(1) 第Ⅱ黒色土1層出土の遺物 …… 116
1) 土器 …… 116
2) 石器 …… 120
3) 土製品 …… 121
4) 石製品 …… 122
(2) 第Ⅱ黒色土2層出土の遺物 …… 139
1) 土器 …… 139
2) 石器 …… 146
3) 土製品 …… 148
4) 石製品 …… 148
(3) 第Ⅱ黒色土3層出土の遺物 …… 182
1) 土器 …… 182
2) 石器 …… 185
3) 土製品・石製品 …… 186
(4) 第Ⅱ黒色土層出土の遺物 …… 187
1) 石器 …… 187
2) 土製品 …… 187
3) 石製品 …… 187
(5) 第Ⅱ黒色土層出土の骨角器等 …… 188
第Ⅴ章 自然科学的分析 …… 207
1 美々4遺跡から出土したアスファルトの成分分析 …… 207
2 千歳市美々4遺跡出土動物遺存体 …… 209
3 美々4遺跡出土炭化木材の樹種同定結果 …… 217
4 美々4遺跡の^{14}C年代測定結果 …… 218
5 美々4遺跡出土の黒曜石製遺物の原材産地分析 …… 219
6 美々4遺跡出土の玉、王材の産地分析 …… 229
7 美々4遺跡出土の琥珀製遺物のESR法による産地分析 …… 243

第Ⅵ章　まとめ …… 249
1　遺構 …… 249
2　土器 …… 251
3　石器 …… 257
遺物集計表 …… 261
掲載遺物一覧 …… 283
参考文献 …… 328
抄録 …… 329
第２分冊
写真図版

挿図目次

第Ⅰ章　調査の概要

図Ⅰ－1　調査区設定図
図Ⅰ－2　美沢川流域の遺跡群
図Ⅰ－3　平成８年度調査区トレンチ設定図

第Ⅱ章　遺跡の位置と環境

図Ⅱ－1　遺跡の位置
図Ⅱ－2　遺跡の基本土層(1)
図Ⅱ－3　遺跡の基本土層(2)
図Ⅱ－4　遺跡の地質環境図

第Ⅲ章　第Ⅰ黒色土層の調査

図Ⅲ－1　第Ⅰ黒色土層遺構位置図
図Ⅲ－2　美々４遺跡第Ⅰ黒色土層遺構位置図
図Ⅲ－3　ⅠＨ－1
図Ⅲ－4　ⅠＨ－1出土遺物(1)
図Ⅲ－5　ⅠＨ－1出土遺物(2)
図Ⅲ－6　ⅠＰ－9・121と出土遺物
図Ⅲ－7　ⅠＰ－122・123・124・126
図Ⅲ－8　ⅠＰ－125と出土遺物
図Ⅲ－9　ⅠＰ－127・128・129と出土遺物
図Ⅲ－10　ⅠＰ－130と出土遺物
図Ⅲ－11　ⅠＰ－131・133・134・135と出土遺物
図Ⅲ－12　ⅠＰ－132と出土遺物
図Ⅲ－13　ⅠＰ－136・137と出土の遺物
図Ⅲ－14　ⅠＰ－138・139・140・141と出土遺物
図Ⅲ－15　ⅠＰ－142・143・145・146・147と出土遺物
図Ⅲ－16　ⅠＰ－144・148・149・150・151
図Ⅲ－17　フレイク集中と出土遺物
図Ⅲ－18　小ピット配置図(調査区東側)と出土遺物
図Ⅲ－19　小ピット配置図(調査区西側)と出土遺物
図Ⅲ－20　ⅠＢ層出土の土器(1)
図Ⅲ－21　ⅠＢ層出土の土器(2)
図Ⅲ－22　ⅠＢ層出土の土器(3)
図Ⅲ－23　ⅠＢ層出土の石器(1)
図Ⅲ－24　ⅠＢ層出土の石器(2)
図Ⅲ－25　ⅠＢ層出土の石器(3)
図Ⅲ－26　ⅠＢ層出土の石器(4)
図Ⅲ－27　ⅠＢ層出土の石器(5)
図Ⅲ－28　ⅠＢ層出土の石器(6)
図Ⅲ－29　ⅠＢ層出土の石器(7)
図Ⅲ－30　ⅠＢ層出土の石製品・鉄製品

第Ⅳ章　第Ⅱ黒色土層の調査

図Ⅳ－1　第Ⅱ黒色土層遺構位置図
図Ⅳ－2　美々４遺跡第Ⅱ黒色土層遺構位置図
図Ⅳ－3　ⅡＨ－1と出土遺物
図Ⅳ－4　ⅡＨ－2
図Ⅳ－5　ⅡＨ－2の出土土器(1)
図Ⅳ－6　ⅡＨ－2の出土土器(2)
図Ⅳ－7　ⅡＨ－2の出土の遺物(3)
図Ⅳ－8　ⅡＨ－3・4と出土遺物
図Ⅳ－9　ⅡＨ－5と出土遺物
図Ⅳ－10　ⅡＨ－6と出土土器(1)
図Ⅳ－11　ⅡＨ－6の出土遺物(2)
図Ⅳ－12　ⅡＨ－7
図Ⅳ－13　ⅡＨ－7の出土土器(1)
図Ⅳ－14　ⅡＨ－7の出土土器(2)
図Ⅳ－15　ⅡＨ－7の出土遺物(3)
図Ⅳ－16　ⅡＨ－10
図Ⅳ－17　ⅡＨ－10の出土土器(1)
図Ⅳ－18　ⅡＨ－10の出土土器(2)
図Ⅳ－19　ⅡＨ－10の出土遺物(3)
図Ⅳ－20　ⅡＨ－11の出土土器(1)
図Ⅳ－21　ⅡＨ－11の出土土器(2)
図Ⅳ－22　ⅡＨ－11の出土遺物(3)
図Ⅳ－23　ⅡＨ－13と出土遺物

図Ⅳ—24　ⅡＰ—２・５と出土遺物
図Ⅳ—25　ⅡＰ—７・11・13と出土遺物
図Ⅳ—26　美々４遺跡のＴピット分布
図Ⅳ—27　TP—１
図Ⅳ—28　TP—２・３と出土遺物
図Ⅳ—29　TP—４・５
図Ⅳ—30　ⅡＢ層焼土・骨片集中の分布
図Ⅳ—31　焼土出土の遺物(1)
図Ⅳ—32　焼土出土の遺物(2)
図Ⅳ—33　ⅡＢ—１層出土の土器(1)
図Ⅳ—34　ⅡＢ—１層出土の土器(2)
図Ⅳ—35　ⅡＢ—１層出土の土器(3)
図Ⅳ—36　ⅡＢ—１層出土の土器(4)
図Ⅳ—37　ⅡＢ—１層出土の土器(5)
図Ⅳ—38　ⅡＢ—１層出土の土器(6)
図Ⅳ—39　ⅡＢ—１層出土の土器(7)
図Ⅳ—40　ⅡＢ—１層出土の石器(1)
図Ⅳ—41　ⅡＢ—１層出土の石器(2)
図Ⅳ—42　ⅡＢ—１層出土の石器(3)
図Ⅳ—43　ⅡＢ—１層出土の石器(4)
図Ⅳ—44　ⅡＢ—１層出土の石器(5)
図Ⅳ—45　ⅡＢ—１層出土の石器(6)
図Ⅳ—46　ⅡＢ—１層出土の土製品(1)
図Ⅳ—47　ⅡＢ—１層出土の土製品(2)
図Ⅳ—48　ⅡＢ—１層出土の石製品
図Ⅳ—49　ⅡＢ—２層出土の土器(1)
図Ⅳ—50　ⅡＢ—２層出土の土器(2)
図Ⅳ—51　ⅡＢ—２層出土の土器(3)
図Ⅳ—52　ⅡＢ—２層出土の土器(4)
図Ⅳ—53　ⅡＢ—２層出土の土器(5)
図Ⅳ—54　ⅡＢ—２層出土の土器(6)
図Ⅳ—55　ⅡＢ—２層出土の土器(7)
図Ⅳ—56　ⅡＢ—２層出土の土器(8)
図Ⅳ—57　ⅡＢ—２層出土の土器(9)
図Ⅳ—58　ⅡＢ—２層出土の土器(10)
図Ⅳ—59　ⅡＢ—２層出土の土器(11)
図Ⅳ—60　ⅡＢ—２層出土の土器(12)
図Ⅳ—61　ⅡＢ—２層出土の土器(13)
図Ⅳ—62　ⅡＢ—２層出土の土器(14)
図Ⅳ—63　ⅡＢ—２層出土の土器(15)
図Ⅳ—64　ⅡＢ—２層出土の土器(16)
図Ⅳ—65　ⅡＢ—２層出土の土器(17)
図Ⅳ—66　ⅡＢ—２層出土の土器(18)
図Ⅳ—67　ⅡＢ—２層出土の土器(19)
図Ⅳ—68　ⅡＢ—２層出土の土器(20)
図Ⅳ—69　ⅡＢ—２層出土の土器(21)
図Ⅳ—70　ⅡＢ—２層出土の石器(1)
図Ⅳ—71　ⅡＢ—２層出土の石器(2)
図Ⅳ—72　ⅡＢ—２層出土の石器(3)
図Ⅳ—73　ⅡＢ—２層出土の石器(4)
図Ⅳ—74　ⅡＢ—２層出土の石器(5)
図Ⅳ—75　ⅡＢ—２層出土の石器(6)
図Ⅳ—76　ⅡＢ—２層出土の石器(7)
図Ⅳ—77　ⅡＢ—２層出土の石器(8)
図Ⅳ—78　ⅡＢ—２層出土の石器(9)
図Ⅳ—79　ⅡＢ—２層出土の土製品
図Ⅳ—80　ⅡＢ—２層出土の石製品
図Ⅳ—81　ⅡＢ—３層出土の土器(1)
図Ⅳ—82　ⅡＢ—３層出土の土器(2)
図Ⅳ—83　ⅡＢ—３層出土の土器(3)
図Ⅳ—84　ⅡＢ—３層出土の土器(4)
図Ⅳ—85　ⅡＢ—３層出土の土器(5)
図Ⅳ—86　ⅡＢ—３層出土の土器(6)
図Ⅳ—87　ⅡＢ—３層出土の土器(7)
図Ⅳ—88　ⅡＢ—３層出土の土器(8)
図Ⅳ—89　ⅡＢ—３層出土の土器(9)
図Ⅳ—90　ⅡＢ—３層出土の石器(1)
図Ⅳ—91　ⅡＢ—３層出土の石器(2)
図Ⅳ—92　ⅡＢ—３層出土の石器(3)
図Ⅳ—93　ⅡＢ—３層出土の石器(4)
図Ⅳ—94　ⅡＢ—３層出土の石器(5)
図Ⅳ—95　ⅡＢ—３層出土の石器(6)
図Ⅳ—96　ⅡＢ—３層出土の土製品・石製品
図Ⅳ—97　ⅡＢ層出土の石器
図Ⅳ—98　ⅡＢ層出土の土製品・石製品
図Ⅳ—99　ⅡＢ層出土の骨角器等

第Ⅴ章　自然科学的分析
図Ⅴ－1　美々４出土アスファルトの溶媒による分割
図Ⅴ－2　美々４出土アスファルトのオイル分の高速液体クロマトグラフ分析の結果
図Ⅴ－3　美々４出土アスファルトのパラフィン化合物のオイル成分の質量分析スペクトル
図Ⅴ－4　出土炭化木材断面の顕微鏡写真
図Ⅴ－5　黒曜石原産地
図Ⅴ－6　ヒスイとヒスイ類似岩の原産地
図Ⅴ－7　ヒスイ原石の元素比値Zr/Sr対Sr/Feの分布および分布範囲
図Ⅴ－8　ヒスイ原石の元素比値Ca/Si対Sr/Feの分布および分布範囲
図Ⅴ－9　ヒスイ原石の元素比値Na/Si対Mg/Siの分布および分布範囲
図Ⅴ－10　美々４遺跡出土の玉、玉材のZr/Sr対Sr/Feの分布
図Ⅴ－11　美々４遺跡出土の玉、玉材のCa/Si対Sr/Feの分布
図Ⅴ－12　美々４遺跡出土の玉、玉材のNa/Si対Mg/Siの分布
図Ⅴ－13　美々４遺跡出土１－玉(47164)の蛍光Ｘ線スペクトル
図Ⅴ－14　美々４遺跡出土２－玉(47165)の蛍光Ｘ線スペクトル
図Ⅴ－15　美々４遺跡出土３－玉(47166)の蛍光Ｘ線スペクトル
図Ⅴ－16　美々４遺跡出土４－玉(47167)の蛍光Ｘ線スペクトル
図Ⅴ－17　美々４遺跡出土５－玉(47168)の蛍光Ｘ線スペクトル
図Ⅴ－18　美々４遺跡出土６－玉(47169)の蛍光Ｘ線スペクトル
図Ⅴ－19　美々４遺跡出土７－玉(47170)の蛍光Ｘ線スペクトル
図Ⅴ－20　美々４遺跡出土８－玉(47171)の蛍光Ｘ線スペクトル
図Ⅴ－21　琥珀のESR信号
図Ⅴ－22　琥珀原石のESR信号など
図Ⅴ－23　琥珀原石のESR信号など
第Ⅵ章　まとめ
図Ⅵ－1　墓群を中心とした美々４遺跡遺構分布図
図Ⅵ－2　層位別土器集計グラフ(1)
図Ⅵ－3　層位別土器集計グラフ(2)
図Ⅵ－4　層位別石器集計グラフ(1)
図Ⅵ－5　層位別石器集計グラフ(2)

表目次

表１　新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査年度別面積一覧
表２　美々４遺跡出土アスファルト(№２)の元素分析
表３　千歳市美々４遺跡出土動物遺存体（包含層）
表４　千歳市美々４遺跡出土動物遺存体（遺　構）
表５　美々４遺跡の^{14}Ｃ年代測定結果
表６－１　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値
表６－２　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値
表６－３　各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値
表７　美々４遺跡出土黒曜石製遺物の元素比分析結果
表８　美々４遺跡出土の黒曜石製遺物の原材産地推定結果
表９　美々４遺跡出土の黒曜石石鏃形態別の産地別頻度分布
表10　美々４遺跡出土の玉類および玉材の資料一覧
表11　ヒスイ製遺物の原石産地の判定基準(1)
表12　ヒスイ製遺物の原石産地の判定基準(2)
表13　美々４遺跡出土の玉類および玉材の元素分析値の比量と比重
表14　美々４遺跡出土の玉類および玉材の原材産地分析結果

(巻末集計表)

表15　遺構一覧表
表16　総合遺物集計表(土器)
表17　総合遺物集計表(石器、その他製品等)
表18　遺構別土器集計表
表19　遺構別石器集計表
表20　包含層調査区別土器集計表
表21　包含層調査区別石器集計表
表22－１　土、石製品及び自然遺物一覧(遺構)
表22－２　土、石製品及び自然遺物一覧(包含層)
表23　遺構掲載土器一覧
表24　遺構掲載石器一覧
表25　遺構掲載製品一覧
表26　包含層掲載土器一覧
表27　包含層掲載石器一覧
表28　掲載土製品・石製品一覧

写真図版目次

図版１
　１　遺跡の位置(新千歳空港周辺空中写真)
図版２
　１　遺跡遠景(美沢16遺跡から)
　２　美沢川(Ｅ－W)
図版３
　１　調査区全景(Ｅ－W)
　２　調査区全景(Ｎ－Ｓ)
図版４
　１　Ⅰ黒層調査状況(NW－SE)
　２　Ⅰ黒層遺構状況(SE－NW)
図版５
　１　ⅠＨ－１(W－Ｅ)
　２　ⅠＨ－１土層断面(W－Ｅ)
図版６
　１　ⅠＰ－121(SE－NW)
　２　ⅠＰ－121土層断面(W－Ｅ)
　３　ⅠＰ－125(Ｅ－W)
　４　ⅠＰ－125出土状況(Ｅ－W)
　５　ⅠＰ－125土層断面(Ｅ－W)
図版７
　１　ⅠＰ－128出土状況(Ｅ－W)
　２　ⅠＰ－128(Ｅ－W)
　３　ⅠＰ－128土層断面(Ｅ－W)
　４　ⅠＰ－142(Ｎ－Ｓ)
　５　ⅠＰ－142出土状況(Ｎ－Ｓ)
図版８
　１　ⅠＰ－122、123、124、126(SE－NW)
　２　ⅠＰ－123(W－Ｅ)
　３　ⅠＰ－123土層断面(W－Ｅ)
　４　ⅠＰ－124(W－Ｅ)
　５　ⅠＰ－126(Ｅ－W)
　６　ⅠＰ－130、131(ＳW－ＮＥ)
図版９
　１　ⅠＰ－130、132(W－Ｅ)
　２　フレイク集中区出土状況(Ｓ－Ｎ)
図版10
　１　Ⅱ黒層調査状況(Ｎ－Ｓ)
　２　Ⅱ黒層調査状況(SE－NW)
図版11
　１　Ⅱ黒層調査状況(Ｓ－Ｎ)
　２　Ⅱ黒層上面調査状況(Ｓ－Ｎ)
図版12
　１　Ⅱ黒層遺物出土状況(手前からⅡＢ－１，
　　ⅡＢ－２，ⅡＢ－３層)
　２　ⅡＢ－１層　遺物出土状況(Ｎ－Ｓ)
図版13
　１　ⅡＢ－２層　遺物出土状況(Ｅ－W)
　２　ⅡＢ－３層　遺物出土状況(SE－NW)
図版14
　１　ⅡＨ－１(Ｅ－W)
　２　ⅡＨ－３(Ｎ－Ｓ)
図版15
　１　ⅡＨ－２、６(Ｓ－Ｎ)
　２　ⅡＨ－２調査状況(Ｎ－Ｓ)
図版16
　１　ⅡＨ－４、ⅡＰ－７(Ｓ－Ｎ)
　２　ⅡＨ－４、ⅡＰ－７土層断面(Ｎ－Ｓ)
図版17
　１　ⅡＨ－５調査状況(NW－SE)
　２　ⅡＨ－５(SE－NW)
図版18
　１　ⅡＨ－７(Ｎ－Ｓ)
　２　ⅡＨ－７土層断面及び焼土(Ｅ－W)
図版19
　１　ⅡＨ－10(Ｓ－Ｎ)
　２　ⅡＨ－10、11完掘状況(Ｓ－Ｎ)
　３　ⅡＨ－10遺物出土状況(Ｓ－Ｎ)
図版20
　１　ⅡＨ－10、11周辺調査状況(ＮＥ－ＳW)
　２　ⅡＨ－13(W－Ｅ)

図版21

1　ⅡP－2土層断面(S→N)
2　ⅡP－2(S→N)
3　ⅡP－5土層断面(S→N)
4　ⅡP－5(S→N)
5　ⅡP－11(S→N)
6　ⅡP－13(N→S)

図版22

1　TP－2(SE→NW)
2　TP－2土層断面(W→E)
3　TP－3(SE→NW)

図版23

1　TP－4(S→N)
2　TP－1(E→W)
3　TP－5(W→E)

図版24

1　ⅡF－1(S→N)
2　ⅡF－33出土状況(W→E)

図版25

1　第Ⅱ黒色土層調査区完堀状況(S→N)
2　第Ⅱ黒色土層調査区完堀状況(N→S)

図版26　遺構出土の遺物

1　ⅠH－1の復原土器(図Ⅲ－4－1)
2　ⅠH－1の復原土器(図Ⅲ－4－2)
3　ⅠP－130の復原土器(図Ⅲ－10－1)
4　ⅠP－130の復原土器(図Ⅲ－10－2)
5　ⅠP－132の復原土器(図Ⅲ－12－1)
6　ⅠP－132の復原土器(図Ⅲ－12－2)

図版27

1　ⅡH－2の復原土器(図Ⅳ－5－1)
2　ⅡH－2の復原土器(図Ⅳ－5－2)
3　ⅡH－2の復原土器(図Ⅳ－5－4)
4　ⅡH－2の復原土器(図Ⅳ－5－3)
5　ⅡH－2の復原土器(図Ⅳ－5－5)
6　ⅡH－2の復原土器(図Ⅳ－5－6)

図版28

1　ⅡH－2の復原土器(図Ⅳ－5－7)
2　ⅡH－4の復原土器(図Ⅳ－8－1)
3　ⅡH－6の復原土器(図Ⅳ－10－4)
4　ⅡH－6の復原土器(図Ⅳ－10－3)
5　ⅡH－6の復原土器(図Ⅳ－10－5)
6　ⅡH－6の復原土器(図Ⅳ－10－2)

図版29

1　ⅡH－6の復原土器(図Ⅳ－10－2)
2　ⅡH－7の復原土器(図Ⅳ－13－1)
3　ⅡH－7の復原土器(図Ⅳ－13－9)
4　ⅡH－7の復原土器(図Ⅳ－13－2)
5　ⅡH－7の復原土器(図Ⅳ－13－4)
6　ⅡH－7の復原土器(図Ⅳ－13－5)

図版30

1　ⅡH－7の復原土器(図Ⅳ－13－7)
2　ⅡH－7の復原土器(図Ⅳ－13－8)
3　ⅡH－7の復原土器(図Ⅳ－13－3)
4　ⅡH－7の復原土器(図Ⅳ－13－6)
5　ⅡH－10の復原土器(図Ⅳ－17－2)
6　ⅡH－10の復原土器(図Ⅳ－17－1)
7　ⅡH－10の復原土器(図Ⅳ－17－7)

図版31

1　ⅡH－10の復原土器(図Ⅳ－18－11)
2　ⅡH－10の復原土器(図Ⅳ－18－12)
3　ⅡH－10の復原土器(図Ⅳ－17－3)
4　ⅡH－10の復原土器(図Ⅳ－13－13)
5　ⅡH－10の復原土器(図Ⅳ－17－6)
6　ⅡH－10の復原土器(図Ⅳ－17－16)

図版32

1　ⅡH－10の復原土器(図Ⅳ－18－15)
2　ⅡH－10の復原土器(図Ⅳ－17－8)
3　ⅡH－10の復原土器(図Ⅳ－17－3)
4　ⅡH－11の復原土器(図Ⅳ－20－2)
5　ⅡH－10の復原土器(図Ⅳ－17－6)
6　ⅡH－11の復原土器(図Ⅳ－20－4)
7　ⅡH－10の復原土器(図Ⅳ－17－5)

図版33

1　ⅡH－11の復原土器(図Ⅳ－20－5)
2　ⅡH－11の復原土器(図Ⅳ－20－3)
3　ⅡH－11の復原土器(図Ⅳ－20－7)

4　ⅡH—11の復原土器(図Ⅳ—21—11)
5　ⅡH—11の復原土器(図Ⅳ—21—9)
6　ⅡH—11の復原土器(図Ⅳ—21—12)

図版34

1　ⅡH—11の復原土器(図Ⅳ—20—6)
2　ⅡH—11の復原土器(図Ⅳ—20—8)
3　ⅡH—11の復原土器(図Ⅳ—21—10)
4　ⅡH—11の復原土器(図Ⅳ—21—13)
5　ⅡH—11の復原土器(図Ⅳ—21—14)
6　ⅡF—31の復原土器(図Ⅳ—32—1)
7　ⅡF—1の復原土器(図Ⅳ—31—2)

図版35

1　ⅡF—1の復原土器(図Ⅳ—31—1)
2　ⅡF—32の復原土器(図Ⅳ—32—1)
3　ⅠB層の復原土器(図Ⅲ—20—1)
4　ⅠB層の復原土器(図Ⅲ—20—2)
5　ⅠB層の復原土器(図Ⅲ—20—4)
6　ⅠB層の復原土器(図Ⅲ—20—3)

図版36

1　ⅡB—1層(図Ⅳ—33—1)
2　ⅡB—1層(図Ⅳ—33—2)
3　ⅡB—1層(図Ⅳ—33—3)
4　ⅡB—1層(図Ⅳ—33—4)
5　ⅡB—1層(図Ⅳ—33—6)
6　ⅡB—1層(図Ⅳ—33—7)
7　ⅡB—1層(図Ⅳ—33—5)

図版37

1　ⅡB—1層(図Ⅳ—33—8)
2　ⅡB—1層(図Ⅳ—34—13)
3　ⅡB—1層(図Ⅳ—34—14)
4　ⅡB—1層(図Ⅳ—34—9)
5　ⅡB—1層(図Ⅳ—34—10)
6　ⅡB—1層(図Ⅳ—34—11)
7　ⅡB—1層(図Ⅳ—34—12)

図版38

1　ⅡB—1層(図Ⅳ—34—15)
2　ⅡB—1層(図Ⅳ—34—13)
3　ⅡB—1層(図Ⅳ—34—17)
4　ⅡB—1層(図Ⅳ—34—18)
5　ⅡB—1層(図Ⅳ—35—21)
6　ⅡB—1層(図Ⅳ—35—22)
7　ⅡB—1層(図Ⅳ—34—19)

図版39

1　ⅡB—1層(図Ⅳ—35—20)
2　ⅡB—1層(図Ⅳ—35—23)
3　ⅡB—1層(図Ⅳ—35—24)
4　ⅡB—1層(図Ⅳ—35—27)
5　ⅡB—1層(図Ⅳ—35—25)
6　ⅡB—1層(図Ⅳ—35—26)
7　ⅡB—1層(図Ⅳ—35—31)

図版40

1　ⅡB—2層(図Ⅳ—49—1)
2　ⅡB—2層(図Ⅳ—49—4)
3　ⅡB—2層(図Ⅳ—49—2)
4　ⅡB—2層(図Ⅳ—49—6)
5　ⅡB—2層(図Ⅳ—49—3)
6　ⅡB—2層(図Ⅳ—49—5)

図版41

1　ⅡB—2層(図Ⅳ—49—8)
2　ⅡB—2層(図Ⅳ—49—7)
3　ⅡB—2層(図Ⅳ—49—9)
4　ⅡB—2層(図Ⅳ—49—10)
5　ⅡB—2層(図Ⅳ—49—11)

図版42

1　ⅡB—2層(図Ⅳ—49—13)
2　ⅡB—2層(図Ⅳ—49—12)
3　ⅡB—2層(図Ⅳ—50—15)
4　ⅡB—2層(図Ⅳ—50—19)
5　ⅡB—2層(図Ⅳ—49—14)

図版43

1　ⅡB—2層(図Ⅳ—51—16)
2　ⅡB—2層(図Ⅳ—51—17)
3　ⅡB—2層(図Ⅳ—51—18)
4　ⅡB—2層(図Ⅳ—51—21)
5　ⅡB—2層(図Ⅳ—51—20)
6　ⅡB—2層(図Ⅳ—51—23)

7　ⅡB－2層(図Ⅳ—51—22)

図版44

1　ⅡB－2層(図Ⅳ—52—24)
2　ⅡB－2層(図Ⅳ—52—25)
3　ⅡB－2層(図Ⅳ—52—26)
4　ⅡB－2層(図Ⅳ—52—27)
5　ⅡB－2層(図Ⅳ—51—28)
6　ⅡB－2層(図Ⅳ—51—29)

図版45

1　ⅡB－2層(図Ⅳ—53—30)
2　ⅡB－2層(図Ⅳ—53—31)
3　ⅡB－2層(図Ⅳ—53—32)
4　ⅡB－2層(図Ⅳ—53—33)
5　ⅡB－2層(図Ⅳ—53—37)
6　ⅡB－2層(図Ⅳ—53—38)
7　ⅡB－2層(図Ⅳ—53—39)

図版46

1　ⅡB－2層(図Ⅳ—53—35)
2　ⅡB－2層(図Ⅳ—53—34)
3　ⅡB－2層(図Ⅳ—53—36)
4　ⅡB－2層(図Ⅳ—53—40)
5　ⅡB－2層(図Ⅳ—54—41)
6　ⅡB－2層(図Ⅳ—54—42)

図版47

1　ⅡB－2層(図Ⅳ—54—43)
2　ⅡB－2層(図Ⅳ—54—44)
3　ⅡB－2層(図Ⅳ—54—45)
4　ⅡB－2層(図Ⅳ—54—48)
5　ⅡB－2層(図Ⅳ—54—47)
6　ⅡB－2層(図Ⅳ—54—49)

図版48

1　ⅡB－2層(図Ⅳ—55—52)
2　ⅡB－2層(図Ⅳ—55—50)
3　ⅡB－2層(図Ⅳ—55—51)
4　ⅡB－2層(図Ⅳ—55—55)
5　ⅡB－2層(図Ⅳ—55—53)
6　ⅡB－2層(図Ⅳ—55—54)
7　ⅡB－2層(図Ⅳ—55—56)

図版49

1　ⅡB－2層(図Ⅳ—55—57)
2　ⅡB－2層(図Ⅳ—55—58)
3　ⅡB－2層(図Ⅳ—55—59)
4　ⅡB－2層(図Ⅳ—55—60)
5　ⅡB－2層(図Ⅳ—55—61)
6　ⅡB－2層(図Ⅳ—55—62)
7　ⅡB－2層(図Ⅳ—55—65)
8　ⅡB－2層(図Ⅳ—55—64)

図版50

1　ⅡB－2層(図Ⅳ—55—63)
2　ⅡB－2層(図Ⅳ—56—66)
3　ⅡB－2層(図Ⅳ—56—67)
4　ⅡB－2層(図Ⅳ—56—68)
5　ⅡB－2層(図Ⅳ—56—69)
6　ⅡB－2層(図Ⅳ—56—70)

図版51

1　ⅡB－2層(図Ⅳ—56—71)
2　ⅡB－2層(図Ⅳ—56—73)
3　ⅡB－2層(図Ⅳ—56—72)
4　ⅡB－2層(図Ⅳ—56—74)
5　ⅡB－2層(図Ⅳ—56—76)

図版52

1　ⅡB－2層(図Ⅳ—57—80)
2　ⅡB－2層(図Ⅳ—56—75)
3　ⅡB－2層(図Ⅳ—57—81)
4　ⅡB－2層(図Ⅳ—57—83)
5　ⅡB－2層(図Ⅳ—57—82)
6　ⅡB－2層(図Ⅳ—57—85)
7　ⅡB－2層(図Ⅳ—57—84)

図版53

1　ⅡB－2層(図Ⅳ—57—86)
2　ⅡB－2層(図Ⅳ—57—87)
3　ⅡB－2層(図Ⅳ—57—88)
4　ⅡB－2層(図Ⅳ—57—90)
5　ⅡB－2層(図Ⅳ—57—90)

図版54

1　ⅡB－3層(図Ⅳ—81－1)

2　ⅡB－3層(図Ⅳ—81—2)
3　ⅡB－3層(図Ⅳ—81—3)
4　ⅡB－3層(図Ⅳ—81—4)
5　ⅡB－3層(図Ⅳ—81—6)
6　ⅡB－3層(図Ⅳ—81—7)
7　ⅡB－3層(図Ⅳ—81—5)

図版55

1　ⅡB－3層(図Ⅳ—81—8)
2　ⅡB－3層(図Ⅳ—81—9)
3　ⅡB－3層(図Ⅳ—81—10)
4　ⅡB－3層(図Ⅳ—81—11)
5　ⅡB－3層(図Ⅳ—82—12)
6　ⅡB－3層(図Ⅳ—82—13)

図版56

1　ⅡB－3層(図Ⅳ—82—14)
2　ⅡB－3層(図Ⅳ—82—15)
3　ⅡB－3層(図Ⅳ—82—17)
4　ⅡB－3層(図Ⅳ—82—16)
5　ⅡB－3層(図Ⅳ—83—18)

図版57

1　ⅡB－3層(図Ⅳ—83—19)
2　ⅡB－3層(図Ⅳ—83—20)
3　ⅡB－3層(図Ⅳ—83—21)
4　ⅡB－3層(図Ⅳ—83—22)
5　ⅡB－3層(図Ⅳ—83—23)
6　ⅡB－3層(図Ⅳ—83—24)

図版58

1　ⅡB－3層(図Ⅳ—83—25)
2　ⅡB－3層(図Ⅳ—83—26)
3　ⅡB－3層(図Ⅳ—84—27)
4　ⅡB－3層(図Ⅳ—84—29)
5　ⅡB－3層(図Ⅳ—84—28)
6　ⅡB－3層(図Ⅳ—84—31)
7　ⅡB－3層(図Ⅳ—84—30)

図版59

1　ⅡB－3層(図Ⅳ—84—32)
2　ⅡB－3層(図Ⅳ—84—33)
3　ⅡB－3層(図Ⅳ—84—34)
4　ⅡB－3層(図Ⅳ—85—35)
5　ⅡB－3層(図Ⅳ—85—36)
6　ⅡB－3層(図Ⅳ—85—37)
7　ⅡB－3層(図Ⅳ—85—38)
8　ⅡB－3層(図Ⅳ—85—39)

図版60

1　ⅡB－3層(図Ⅳ—85—40)
2　ⅡB－3層(図Ⅳ—85—41)
3　ⅡB－3層(図Ⅳ—85—42)
4　ⅡB－3層(図Ⅳ—85—43)
5　ⅡB－3層(図Ⅳ—85—44)
6　ⅡB－3層(図Ⅳ—84—45)

図版61

1　ⅠH－1(図Ⅲ－5—26)
2　ⅡH—10(図Ⅳ—17—10)
3　ⅡB－1層(図Ⅳ—35—28)
4　ⅡB－1層(図Ⅳ—35—29)
5　ⅡB－1層(図Ⅳ—35—30)
6　ⅡB－2層(図Ⅳ—56—77)
7　ⅡB－2層(図Ⅳ—56—78)
8　ⅡB－2層(図Ⅳ—56—79)
9　ⅡB－3層(図Ⅳ—86—48)
10　ⅡB－3層(図Ⅳ—86—46)
11　ⅡB－3層(図Ⅳ—86—47)
12　ⅡB－3層(図Ⅳ—87—49)
13　ⅡB－3層(図Ⅳ—87—50)

図版62

1　ⅠH－1出土の遺物(図Ⅲ－4・5)
2　ⅠP—121出土の遺物(図Ⅲ－6)
3　ⅠP—128出土の遺物(図Ⅲ－9)

図版63

1　ⅠP—125出土の遺物(図Ⅲ－8)
2　ⅠP—132出土の遺物(図Ⅲ—12)
3　ⅠP—130出土の遺物(図Ⅲ—10)

図版64

1　ⅠP—137出土の遺物(図Ⅲ—13)
2　ⅠP—138出土の遺物(図Ⅲ—14)
3　ⅠP—129出土の遺物(図Ⅲ－9)

4　ＩＰ―131・133出土の遺物(図Ⅲ―11)
5　ＩＰ―139・141出土の遺物(図Ⅲ―14)
6　ＩＰ―142出土の遺物(図Ⅲ―15)
図版65
1　ⅡＨ－２出土の遺物(図Ⅳ－５・６・７)
図版66
1　ⅡＨ－２出土の遺物(図Ⅳ－５・６・７)
2　ⅡＨ－１・３出土の遺物(図Ⅳ－３・８)
3　ⅡＨ－４出土の遺物(図Ⅳ－８)
4　ＩＢ層フレイク集中区出土の遺物(図Ⅲ―17)
図版67
1　ⅡＨ－７出土の遺物(1)(図Ⅳ―14・15)
図版68
1　ⅡＨ－７出土の遺物(2)(図Ⅳ―14・15)
2　ⅡＨ－５出土の遺物(図Ⅳ－９)
3　ⅡＨ－６出土の遺物(図Ⅳ―11)
図版69
1　ⅡＨ―10出土の遺物(図Ⅳ―17～19)
2　ⅡＨ―13出土の遺物(図Ⅳ―23)
図版70
1　ⅡＨ―11出土の遺物(図Ⅳ―20～22)
図版71
1　ⅡＰ－２出土の遺物(図Ⅳ―24)
2　ⅡＰ―11・TP－３(図Ⅳ―25・28)
3　ⅡＦ－３出土の遺物(図Ⅳ―31)
4　ⅡＦ―31出土の遺物(図Ⅳ―32)
5　ⅡＦ－６・32(図Ⅳ―31・32)
6　ⅡＦ―33出土の遺物(図Ⅳ―32)
7　ⅡＦ－１出土の遺物(図Ⅳ―31)
8　ⅡＦ―29出土の遺物(図Ⅳ―32)
図版72
1　ＩＢ層出土の土器(1)
図版73
1　ＩＢ層出土の土器(2)
図版74
1　ⅡＢ－１層出土の土器(1)
図版75
1　ⅡＢ－１層出土の土器(2)
図版76
1　ⅡＢ－１層出土の土器(3)
図版77
1　ⅡＢ－１層出土の土器(4)
図版78
1　ⅡＢ－２層出土の土器(1)
図版79
1　ⅡＢ－２層出土の土器(2)
図版80
1　ⅡＢ－２層出土の土器(3)
図版81
1　ⅡＢ－２層出土の土器(4)
図版82
1　ⅡＢ－２層出土の土器(5)
図版83
1　ⅡＢ－２層出土の土器(6)
図版84
1　ⅡＢ－２層出土の土器(7)
図版85
1　ⅡＢ－２層出土の土器(8)
図版86
1　ⅡＢ－２層出土の土器(9)
図版87
1　ⅡＢ－２層出土の土器(10)
図版88
1　ⅡＢ－３層出土の土器(1)
図版89
1　ⅡＢ－３層出土の土器(2)
図版90
1　ⅡＢ－３層出土の土器(3)
図版91
1　注口土器(１：ⅡＢ－１層、２：ⅡＢ－２層、３：ⅡＢ－３層、４：遺構出土)
2　ⅡＢ－１層出土の破片資料(拓影なし)
3　ⅡＢ－２層出土の破片資料(拓影なし)

図版92
1　ＩＢ層出土の石器(1)
図版93
1　ＩＢ層出土の石器(2)
図版94
1　ＩＢ層出土の石器(3)
図版95
1　ⅡＢ－１層出土の石器(1)
図版96
1　ⅡＢ－１層出土の石器(2)
図版97
1　ⅡＢ－１層出土の石器(3)
図版98
1　ⅡＢ－２層出土の石器(1)
図版99
1　ⅡＢ－２層出土の石器(2)
図版100
1　ⅡＢ－２層出土の石器(3)
図版101
1　ⅡＢ－２層出土の石器(4)
図版102
1　ⅡＢ－３層出土の石器(1)
図版103
1　ⅡＢ－３層出土の石器(2)
図版104
1　ⅡＢ－３層出土の石器(3)
図版105
1　ⅡＢ－１層出土の土製品(1)
図版106
1　ⅡＢ－１層出土の土製品(2)
図版107
1　ⅡＢ－２層出土の土製品(1)
図版108
1　ⅡＢ－２層出土の土製品(2)
2　ⅡＢ層出土の土製品
3　ＩＢ層出土の石製品
図版109
1　ⅡＢ－１層出土の石製品
図版110
1　ⅡＢ－２層出土の石製品(1)
図版111
1　ⅡＢ－２層出土の石製品(2)・ⅡＢ－３層出土の土・石製品(上段)
2　ⅡＢ層出土の石製品(1)
図版112
1　動物を意匠した突起(図Ⅳ—68—319)
2　ＩＢ層出土の鉄製品
3　ⅡＢ層出土の骨角器等

第Ⅰ章　調査の概要

1　調査要項

事　業　名：新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査
事業委託者：北海道開発局札幌開発建設部
事業受託者：財団法人北海道埋蔵文化財センター
遺　跡　名：美々４遺跡（道教委登載番号 A-03-88）
調査面積：平成６年度　1050㎡（第Ⅰ黒色土層）
　　：平成７年度　300㎡（第Ⅱ黒色土層）
所　在　地：千歳市美々988-13ほか
調査期間：平成６年４月12日～３月24日（第Ⅰ黒色土層調査）
　　：平成７年４月11日～３月25日（第Ⅱ黒色土層調査）
　　：平成８年４月16日～３月25日（整理作業のみ）

2　調査体制

北海道埋蔵文化財センター
平成６年度

理事長	阿部　茂（５月31日付退任）
	伊藤　一夫（６月１日付就任）
専務理事	永田　春男（５月31日付退任）
	佐藤　哲人（６月１日付就任）
常務理事	中村　福彦
業務部長	中野　眞吾
調査部長	森田　知忠
調査第３課長	千葉　英一
主任	佐藤　和雄（発掘担当者）
主任	田口　尚
文化財保護主事	越田　雅司（発掘担当者）
文化財保護主事	藤井　浩

平成７年度

理事長	伊藤　一夫
専務理事	佐藤　哲人
常務理事	柴田　忠昭
業務部長	山内　清志
第１調査部長	畑　宏明
第1調査部第3調査課長	長沼　孝
主査	熊谷　仁志（発掘担当者）
文化財保護主事	藤井　浩（発掘担当者）

文化財保護主事　　影浦　覚

平成８年度（整理のみ）

第１調査部長　　畑　宏明

第1調査部第3調査課長　　長沼　孝

主　　査　　熊谷　仁志（発掘担当者）

文化財保護主事　　藤井　浩（発掘担当者）

3　調査に至る経緯

「美沢川流域の遺跡群」の発掘調査は、新千歳空港の建設に伴って行われてきた。昭和51年度に始まる調査当初は北海道教育委員会によって行われ、美々４遺跡の調査もこのときから始まる。その後、昭和53年の美沢川呑口建設に伴う調査を経て、当センター設立以降も、昭和55、58、59、60年度と継続して行われ、現在に至る。

今回の調査は７号場周道路から呑口に延びる管理用道路の敷設工事に伴って行われた。平成６年度には第Ⅰ黒色土層の1,050㎡の調査が行われ、一部の撹乱により失われているものの、遺物密度の濃い豊かな包含層があらためて確認された。平成７年度には継続して第Ⅱ黒色土層の調査が行われたが、開発局の要請により美沢16遺跡の調査を先行し、また、管理用道路敷設の計画変更により現状の330㎡の調査となった。

未調査の部分は平成８年度に継続して行われる予定であったが、管理用道路敷設計画変更の最終決定により、第Ⅱ黒色土層の調査を平成７年度分にて終了し、平成８年度は整理作業のみを行った。遺跡の包含層及び遺構については、保護を施した後、埋め戻しを行った。

4　調査の方法

(1)　発掘区の設定（図Ⅰ－１）

発掘区は、昭和49・50年度の遺跡分布で設定された区画を踏襲した。これは新千歳空港建設用地内全体を網羅するように設定されたもので、50m四方の基本グリッドと、これを100分割した小グリッドを単位としている。基本グリッドは「E_1—65」のようにアルファベットと数字で表記され、更に00～99の小グリッドに細分されている。本報告の美々４遺跡の調査区はE_1—65、E_2—65の基本グリッド内にある。なお、グリッドの南北軸は座標北に対して、西偏７°22′38″である。

(2)　遺跡の土層（図Ⅱ－１）

遺跡の基本層序は表土以下、樽前ａ降下軽石層、樽前ｂ降下軽石層、第Ⅰ黒色土層、樽前ｃ降下軽石層、同降下岩片層、第Ⅱ黒色土層、樽前ｄ降下岩片層、樽前ｄ降下スコリア軽石層、恵庭ａ降下軽石層の順であり、本調査においては、第Ⅰ黒色土層と第Ⅱ黒色土層を遺物包含層として調査の対象とした。また、第Ⅱ黒色土層については色調、含有物の違いにより、さらに三層を分層することができた。なお詳細についてはⅡ章に記す。

(3)　発掘調査の方法

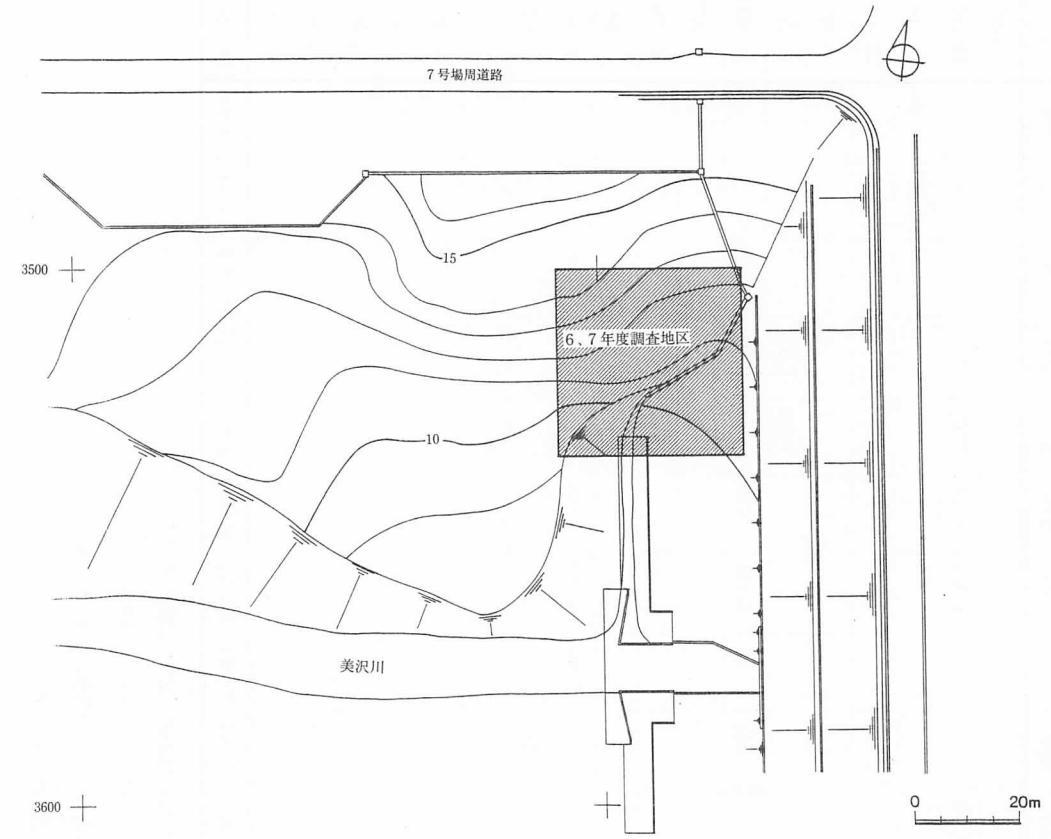
第Ⅰ黒色土層までの表土及び樽前ａ、ｂ火山灰層は重機によって除去し、第Ⅰ黒色土層上面を人力により精査した。精査後、ＩＢ層上面にグリッドを設定し、地形測量とともに遺構確認、及びグリッドごとの掘り下げを行った。Ta—ｃ層上層まで掘り下げたところで、上面の精査を行い遺構確認及

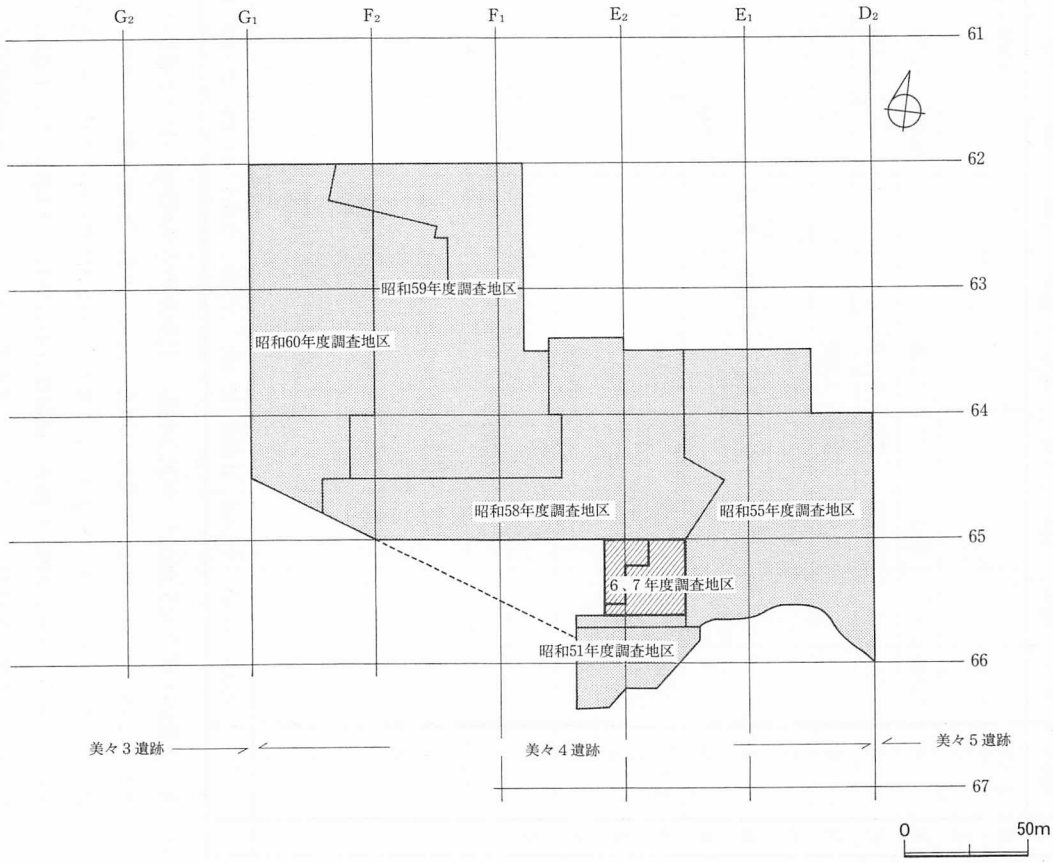
表１　新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査年度別面積一覧

	遺跡名	51年	52年	53年	54年	55年	56年	57年	58年	59年	60年	61年	62年	63年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	計
美	美々2									10,906	5,000↕											10,906↕
美	3											4,565			6,000	9,225↕	2,075↕					16,415↕
美	4	1,160		呑口↕↕		7,150			6,475	6,180	5,899									1,050	300	28,214
美	5	300		6,628	752	8,450				6,544												22,674
美	6			5,000		3,450																8,450
美	7			5,000		2,400											2,323	1,547				11,270
美	8						11,900	3,875			1,828		11,112		4,182	215↕	5,161	10,769	5,597			54,557↕
美	9								5,000													5,000
美	美沢1	790	7,840	11,330		2,340																22,300
美	2		10,560																			10,560
美	3	1,750				3,480								17,464	5,478↕	7,150			6,340			40,684
美	13												2,185									2,185
フ	4				23,760																	23,760
フ	5				6,800							660										7,460
フ	16																				950	950
ペ	10											4,027										4,027
ペ	11											1,570	5,710									7,280
ペ	15																			3,600		3,600
	計	4,000	18,400	27,958	31,312	27,270	11,900	3,875	11,475	23,630	7,727↕	10,822	19,007	17,464	14,682↕	12,008↕	8,609↕	12,316	11,937	4,650	1,250	280,292

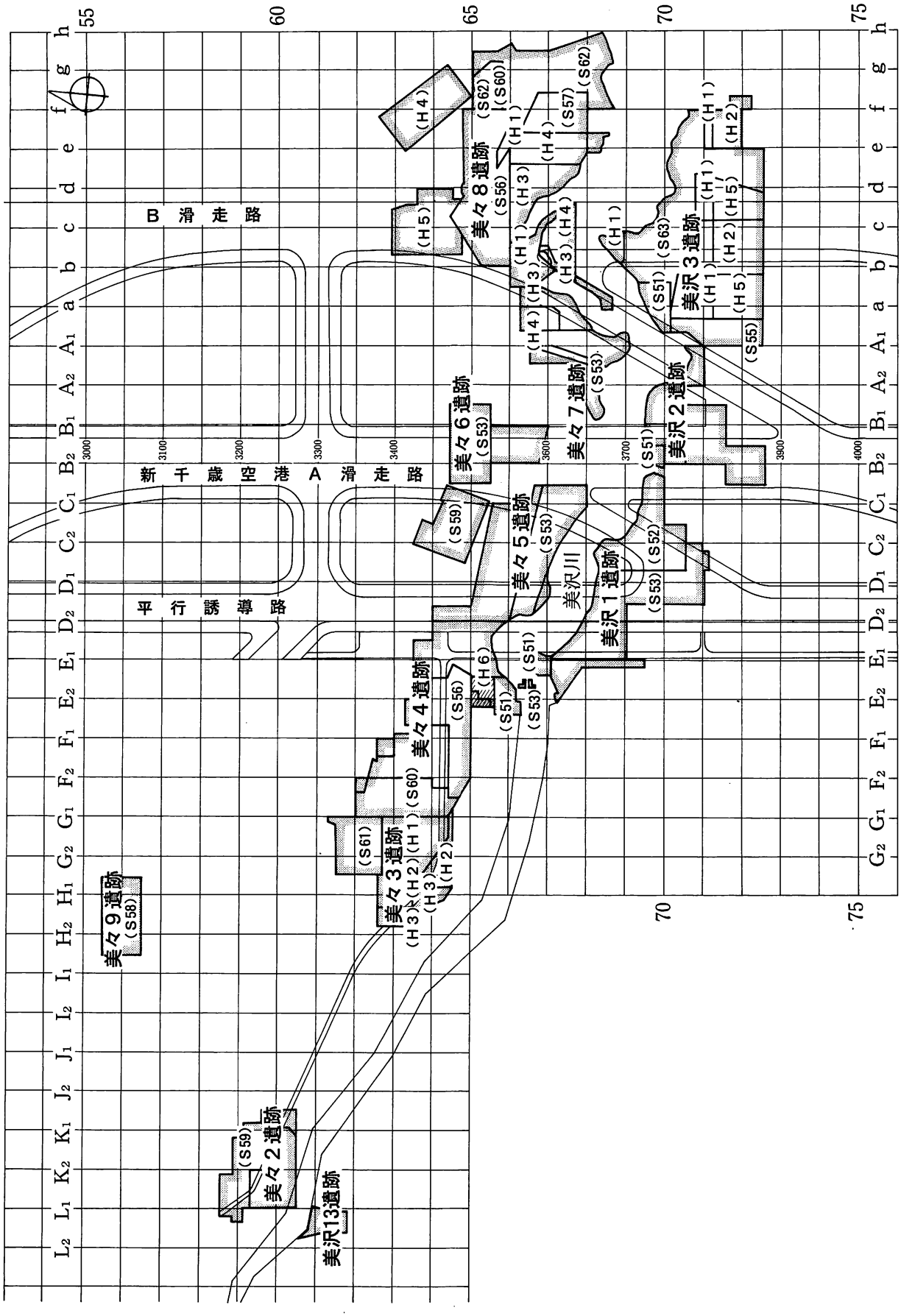
＊　美々２遺跡の60年度5,000㎡、美沢３遺跡の元年度のうち978㎡、美々３遺跡の２年度のうち4,500㎡、美々３遺跡の３年度のうち950㎡については、Ⅱ黒層の調査のみで、それぞれ前年度のⅠ黒層の面積に計上されているので、面積集計から除外してある。また、美々８遺跡の２年度のうち82㎡は前年度の下位（水付き部分）の調査なので、同様に面積集計から除外してある。＊＊約240㎡を調査。面積集計から除外。今年度の美々４遺跡は、Ⅰ黒層の調査のみである。

美：美々川流域の遺跡群　フ：フレペッ遺跡群　ペ：ペンケナイ川流域遺跡群

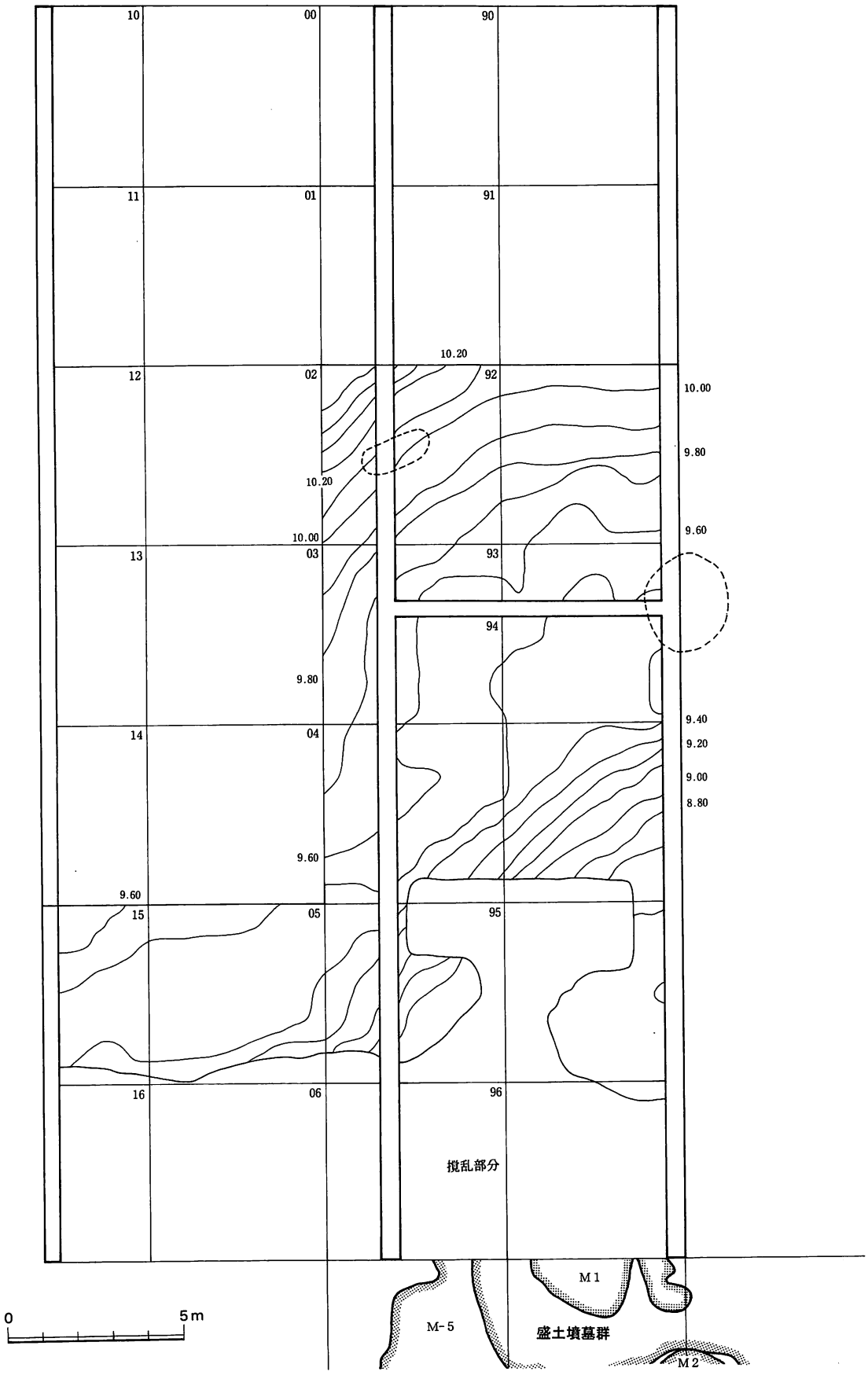

7号場周道路
3500
15
6、7年度調査地区
10
美沢川
3600
0
20m


G2
G1
F2
F1
E2
E1
D2
61
62
63
64
65
66
67
昭和59年度調査地区
昭和60年度調査地区
昭和58年度調査地区
昭和55年度調査地区
6、7年度調査地区
昭和51年度調査地区
美々3遺跡
美々4遺跡
美々5遺跡
0
50m

図Ⅰ－1　調査区設定図



図Ⅰ－2　美沢川流域の遺跡群



図Ⅰ－3　平成８年度調査区トレンチ設定図
（等高線はⅡB層上面のものである）

びその掘り下げを行った。

第Ⅰ黒色土層の調査終了後、Ta－ｃ火山灰層は重機によって除去し、Ta－c層上面から人力による掘り下げを行い、第Ⅱ黒色土層上面を精査した。精査後、ⅡＢ層上面に再びグリッドを設定し、地形測量とともに遺構確認を行った。ⅡＢ層に関しては包含層が厚く、多量の遺物の出土が予測されたため、トレンチを設定して全体状況の把握に努めた。その結果、ⅡＢ層は明確に３層に分層され、遺物の取り上げ及び遺構確認は各層毎に行うこととした。また、遺構については、可能な限り詳細に検出状況を記録、図化した。

(4)　整理の方法

１）土器

現地では、水洗後、大分類を行い、遺物台帳・遺物カードを作成し、注記作業まで終了した。注記は遺跡名の美々４遺跡を、Ｂ４と略記したのちグリット名や遺構名・遺物番号・出土層位・発掘回数の順でそれぞれに簡略に記入した。

現地での整理を終えた遺物は、グリット毎に仮収納し、札幌に搬送して本格的な整理作業を開始した。

札幌での接合・復原作業では、遺構間及び遺構と包含層間との接合関係を把握することに努め、接合資料については、全てカードに接合状況を記載し、整理した。器形の復原が可能なものについては、接合作業段階で展開図の作成と、同一固体の識別に努めた。断片的な資料については、口縁部文様をもとに固体識別に努め、文様構成が想定できるものを中心に拓影図を作成した。

整理作業後の資料は、報告書掲載遺物、遺構、分類別に収納した。

２）石器

石器も現地では水洗後、大分類を行い、遺物台帳・遺物カードを作成した。現地での整理を終えた遺物は、グリット毎に、仮収納し、札幌に搬送して本格的な整理作業を開始した。

札幌の本部搬入後、全点について分類を再検討するとともに、礫石器・礫片については注記を行い、注記終了後、接合作業を行い、全てカードに接合状況を記載し、整理した。

実測図作成に際し、遺構出土の石器を優先し、包含層出土の資料は、出土層位が明確で、完形品ないし形態が分かるものを中心に行った。そして、器種毎の細分については、まとめ（第Ⅵ章３）において、層位毎に集計し、その推移を示している。

報告の記述は製作の特徴を中心に行い、必要に応じて使用痕などにも触れた。

石質・計測値は実測図掲載品のみ一覧表を作って収録した。石質については花岡正光が表面観察・剥片資料の検鏡によって岩石名を同定した。

5　遺物の分類

１）土器

Ⅰ群土器　縄文時代早期に属するもの

ａ類　貝殻復縁圧痕文、条痕文が施文されているもの。

ｂ類　縄文、撚糸文、絡条体圧痕文、組紐圧痕文、貼付文などが施された土器、これらには東釧路Ⅱ式、東釧路Ⅲ式、コッタロ式、中茶路式、東釧路Ⅳ式に相当するものがある。

ｂ－１類　東釧路Ⅱ式、東釧路Ⅲ式

ｂ－２類　コッタロ式

ｂ－３類　中茶路式

b－4類　東釧路Ⅳ式

Ⅱ群土器　縄文時代前期に属するもの。

a－1類　花積下層式土器、長七谷地Ⅲ群土器、綱文式土器に相当するもの

a－2類　春日町式土器・中野式土器などに比定されるもの

b類　　円筒土器下層式に相当し、植苗式・大麻Ⅴ式・フゴッペ貝塚式の一部に比定されるもの。

Ⅲ群土器　縄文時代中期に属するもの。

a類　　円筒土器上層式に相当し、フゴッペ貝塚式の一部に比定されるもの。

b－1類　天神山式土器に比定されるもの。

b－2類　柏木川式土器に比定されるもの。

b－3類　北筒式（トコロ6類）、ノダップⅡ式、煉瓦台式に比定されるもの。

Ⅳ群土器　縄文時代後期に属するもの。

a類　余市式、入江式に比定されもの。

b類　船舶上層式、手稲式、鰊澗式、エリモB式に比定されるもの。

c類　堂林式、三ッ谷式、御殿山式に比定されるもの。

Ⅴ群土器　縄文時代晩期に属するもの。

a類　大洞B式、上ノ国式に相当するもの。

b類　大洞C_1式、大洞C_2式に相当するもの。

c類　大洞A式、大洞A´式に相当するもの。

Ⅵ群土器　続縄文時代に属するもの。

Ⅶ群土器　擦文時代に属するもの

なお、Ⅳ群c類とⅤ群a類の細別には不明な点が多く、明確に分けることが出来なかった。したがって便宜的に突き瘤をもつものをⅣ群c類とし、爪形文が施されているものを新たにⅤ群として扱った。そして、組み合せて用いられているものはⅤ群とした。

2）石器

剥片石器には石鏃、ポイントまたはナイフ、つまみ付きナイフ、スクレイパー類、などが、礫石器には石斧、たたき石、すり石、砥石、石皿・台石、石錘などがある。ほかに石核、剥片、加工痕ある剥片（Rフレイク）、刃こぼれ状の使用痕のある剥片（Uフレイク）がある。また、それぞれ必要に応じて細分を加えたものもある。

3）各種製品

石 製 品：石玉、石棒、異形石器、環状軽石、オロシガネ状石器など

土 製 品：耳栓、土玉、土偶、スタンプ形土製品、動物形土製品など

金属製品：腰帯型垂飾、和バサミなど

骨角製品：垂飾、尖頭器、銛先など

4）自然遺物

獣骨・魚骨などの動物遺存体、化石、琥珀、タール状炭化物など

6　調査の概要

調査は第Ⅰ黒色土層の調査が平成６年度、第Ⅱ黒色土層の調査は平成７年度に実施され、整理作業は平成６～８年度に実施された。

第Ⅰ黒色土層の調査では住居跡１軒、土壙32基、フレイク集中区１個所、小ピット251基が確認された。住居跡は縄文時代晩期末葉の大洞Ａ式に相当する時期で、床面から大洞系土器と在地系土器が供伴して出土した。土壙のうち３基は人骨を伴う縄文時代晩期の土壙墓である。このほかに鉄製の垂飾が副葬されたアイヌ文化期の土壙墓１基が含まれている。

第Ⅰ黒色土層からは遺物が約25,000点出土し、土器・石器・石製品・金属製品等がある。

土器はⅤ群が主体を占め、Ⅱ群ａ－２類土器、Ⅲ群土器、Ⅳ群土器、Ⅵ群土器、Ⅶ群土器も出土している。これらのうちⅡ群ａ－２類土器、Ⅲ群土器、Ⅳ群ｃ類土器、Ⅴ群土器の一部は土壙や小ピットを構築した際に、第Ⅱ黒色土中位まで掘り込んだことから生じたものと考えられる。

石器には石鏃・ポイントまたはナイフ・ドリル・つまみ付ナイフ・スクレイパー・両面加工の石器・楔形石器・石核・石斧・石斧未成品・石斧素材・くぼみ石・砥石・フレイク等が出土している。

土・石製品には石玉・耳栓のほか石刀などが出土している。金属製品にはアイヌ期の土壙墓出土の鉄製の垂飾や時期不明であるが刀子・和鋏等も出土している。

第Ⅱ黒色土層の調査は、第Ⅱ黒色土層を第Ⅱ黒色土１層・第Ⅱ黒色土２層・第Ⅱ黒色土３層の３層に分けて行った。調査の結果、住居跡10軒、土壙５基、Ｔピット５基、焼土26個所、骨片集中５個所である。住居跡は縄文時代前期後半（Ⅱ群ａ－２類）１軒、縄文時代中期（Ⅲ群ｂ－２）１軒、縄文時代後期（Ⅳ群ｂ類）２軒、不明６軒である。土壙は前期（Ⅱ群ａ－２類）１基、不明４基である。Ｔピットのうち１基は縄文時代前期前半（Ⅱ群ａ－２類）の住居跡を壊して構築されているものがあった。

第Ⅱ黒色土層からは遺物が約530,000点出土し、土器・石器・土製品・石製品等があり、出土遺物の約85％が土器である。

土器は縄文早期後半～晩期末葉のものが出土し、各層と各土器群の出土量との関係は第Ⅱ黒色土１層ではⅤ群土器が主体を占め、Ⅳ群ｃ類がこれに次ぐ、第Ⅱ黒色土２層ではⅣ群ｃ類が主体を占め、Ⅴ群土器がこれに次ぐ、第Ⅱ黒色土３層ではⅣ群ｃ類が主体を占め、Ⅴ群土器・Ⅳ群ｂ類がこれに次ぐという調査結果が得られた。Ⅳ群ｂ類より古い土器群についても多少の混入が認められるものの第Ⅱ黒色土１層から第Ⅱ黒色土３層にかけて出土量が増加する傾向が窺えた。

第Ⅱ黒色土層からは縄文時代後期末葉～晩期初頭のⅣ群ｃ類土器・Ⅴ群土器の復原土器230個体得られた。復原土器には「ヘビ」を表現したと思われる沈線文が加えられた小型土器や小型環状土器等がある。破片資料では「フクロウ」や「熊」の動物意匠が施された口縁部突起がある。

石器は各種出土し、石鏃・ポイントまたはナイフ・ドリル・つまみ付ナイフ・スクレイパー・両面加工の石器・楔形石器・石核・石斧・石斧未成品・石斧素材・たたき石・くぼみ石・砥石・石錘・矢柄研磨器・フレイク等がある。これらのうち明瞭ではないが石鏃・ドリル・石斧等において土器同様に出土層位によって形態の違いが窺えるものもある。

土製品には土偶・耳栓・土玉・オロシガネ状土製品等あり、石製品には異形石器・石玉・垂飾・石棒・オロシガネ状石製品や動物を表現したと思われるもの等がある。また、垂飾の素材と思われる翡翠や琥珀の原石も出土している。骨角製品には銛先と思われるものや垂飾なども出土している。

自然遺物には、多量の炭化材・焼獣骨片や親指大のアスファルト塊やツノガイの化石等も出土した。

第Ⅱ章　遺跡の位置と環境

1　遺跡の位置

美々４遺跡は千歳市南部の「美々」地区に所在する。この「美々」地区は千歳市の市街地から南東へ約10km、苫小牧市の市街地からは北へ約20kmのところに位置する。その南には美々川の支流である美沢川が東流し、これをはさんで苫小牧市の「美沢」地区と隣接する。この美沢川流域の一帯の大半は、約６k㎡の面積を有する新千歳空港の用地内にあたり、その建設に伴って、昭和51年度から現在に至るまで、約280,000㎡の埋蔵文化財発掘調査が行われている。

この新千歳空港建設用地内における発掘調査は、地形単位毎に分けられた三つの遺跡群を対象に行われてきた。「美沢川流域群」はその中でもっとも北に位置し、美沢川流域を中心に展開する。美々４遺跡を含めてこれまでに、美々２～９遺跡、美沢１～３、13遺跡の計、約230,000㎡が調査されている。その南に位置するのが「フレペッ遺跡群」で、フレペッ湿原を取り巻くようにして展開し、その内、美沢４、５、16遺跡の計、約32,000㎡が調査されている。さらにその南端には、ペンケナイ川流域を中心に展開する「ペンケナイ川流域の遺跡群」があり、美沢10、11、15遺跡の計、15,000㎡が調査されている。

「美沢川流域の遺跡群」は美沢川の両岸、東西２kmにわたって所在し、美々４遺跡はその中央部に位置を占める（図Ⅰ－２）。遺跡は標高約20ｍの台地上から南面する斜面にかけて広範囲に立地し、西に美々３遺跡、東に美々５遺跡と隣接し、連続した遺跡群を形成している。今回の調査区は標高約10～15ｍの美沢川に面する斜面部と低い平坦面にあたる。

これまでの調査は昭和51、53、58～60年に行われたが、今回の調査区は盛土墳墓群や重要文化財指定の「動物形土製品」が出土した昭和51年度の調査区が南側に隣接し、北側には周堤墓や周溝墓などが検出された昭和55年度の調査区に隣接している。

2　遺跡の土層

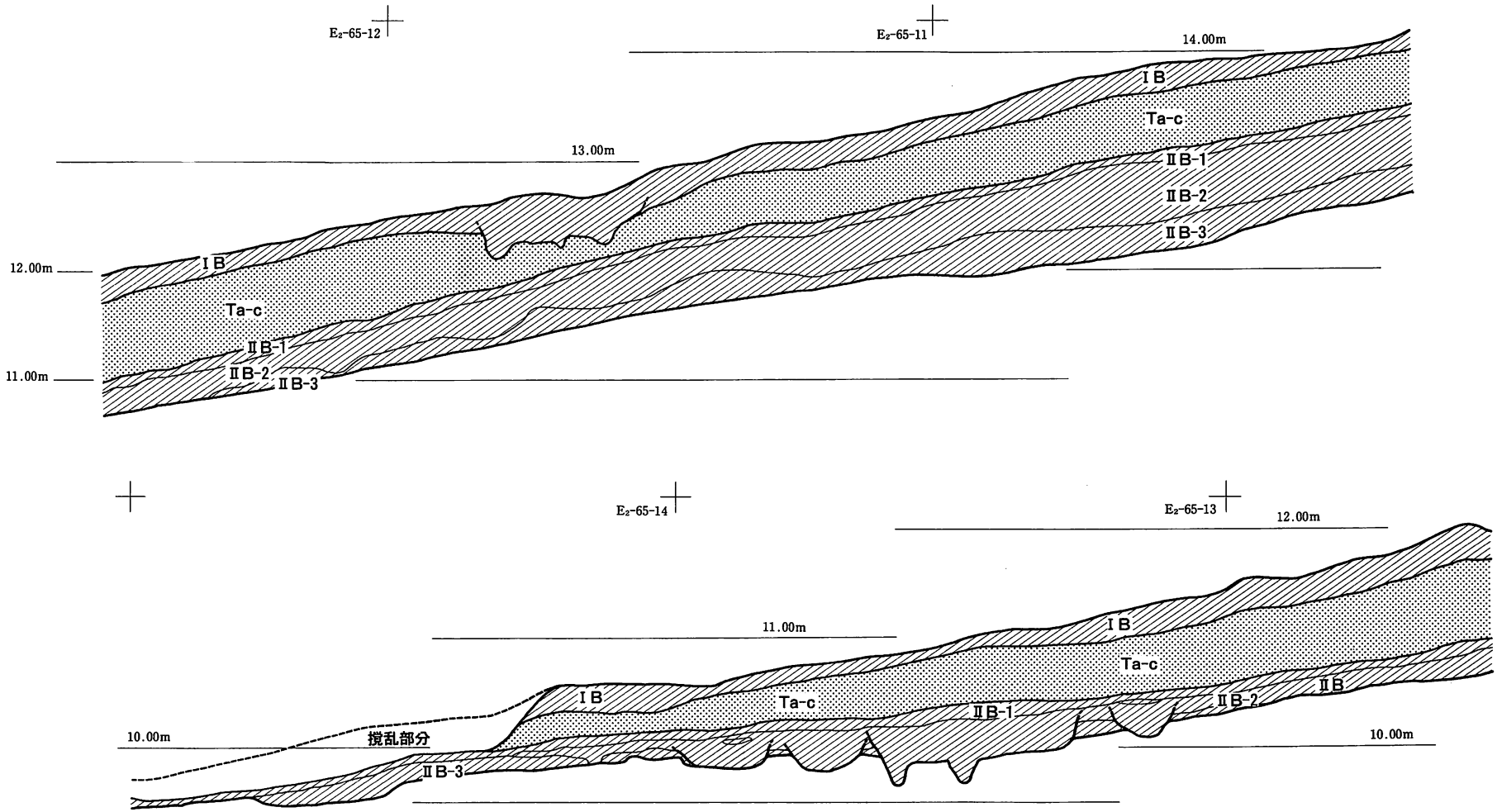
本遺跡の周辺は、樽前山、恵庭岳及び支笏カルデラ起源のテフラ（火山灰）に厚く覆われており、これらの噴火山のテフラの模式地として認められている。そのため本遺跡のテフラは既知のテフラとの対比が可能である。テフラ層の間には腐植土層が挟在し遺物包含層を形成している。

この土壌層とテフラ層からなる本遺跡の基本層序は図Ⅱ－２、３に示すごとくである。図Ⅱ－２は調査区西側の南北断面であり、比高差約５ｍ程の斜面部分の堆積状況を示したものである。図Ⅱ－３は調査区北側の東西断面を示したものであり、東に向かって緩やかな下りになっている。

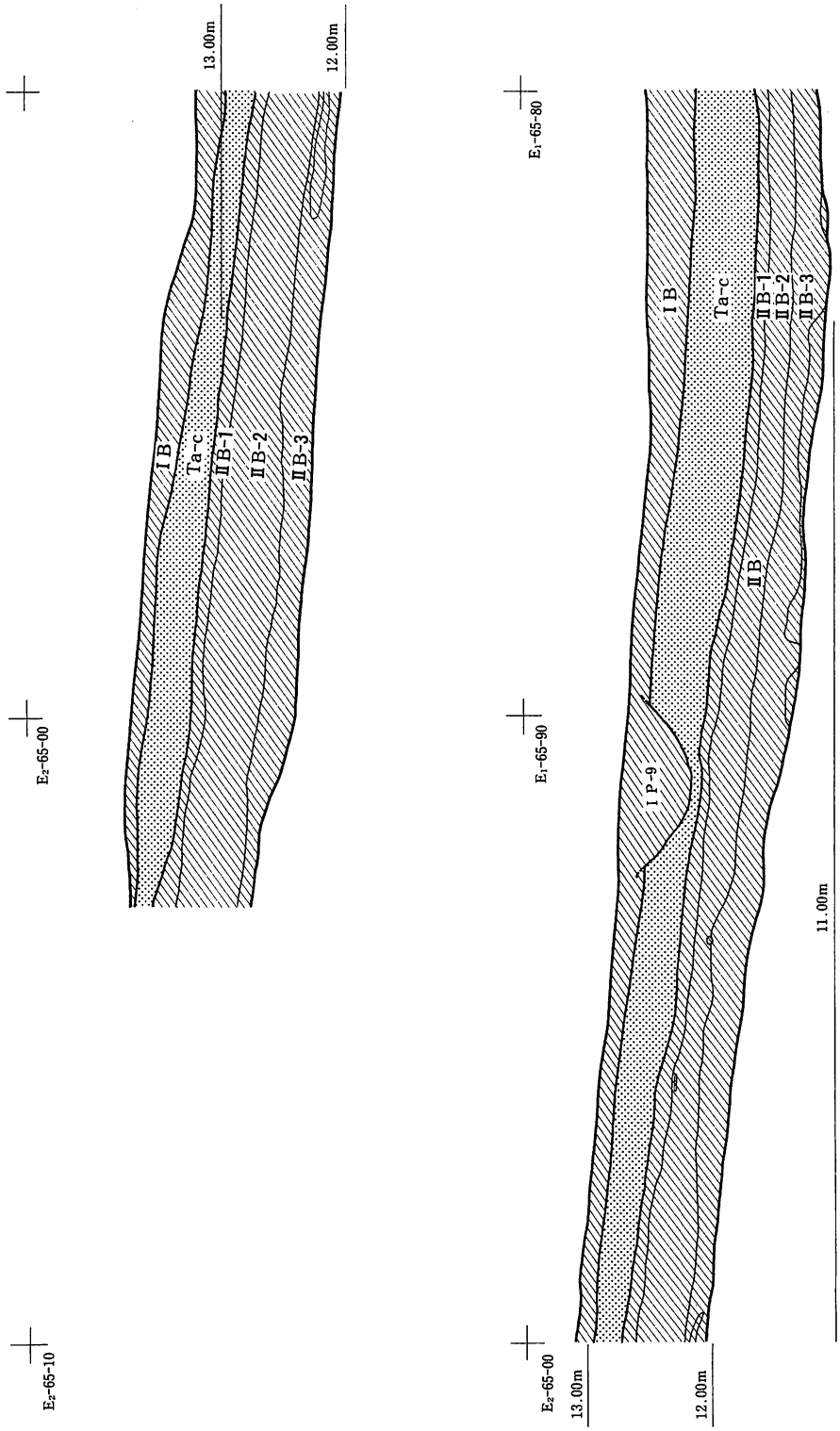
調査区の範囲は標高約９ｍから15ｍの範囲にあり、かなりの急斜面になっている。今年度の調査対象となった第Ⅰ黒色土層（縄文時代晩期～1667年）はやや灰色がかった黒色土で、平均層厚は約10～20cm、調査区全体において均質、層厚も同様であった。一部撹乱により失われているところもあったが、保存状況は良好であった。

第Ⅱ黒色土層（縄文早期～晩期）は平均層厚40～60cm程と、従来の美沢川流域における堆積（約30cm）よりもかなり厚く、その特殊性がうかがえた。トレンチ調査により、火山灰、焼土、焼骨などの混入の度合いの差から三層に細分することができた。この内、上層（ⅡＢ－１）の黒褐色土は細かな土器片を含み、混入の度合いが少ない層で、層厚は平均約10cm、調査区全体に広がり、均質であっ

図Ⅱ－1　遺跡の位置（この図は国土地理院発行の2万5千分の1地形図「千歳」を利用して作成したものである）　1．美々4遺跡　2．美々8遺跡



図Ⅱ－2　遺跡の基本土層(1)



図Ⅱ－3　遺跡の基本土層(2)

た。時期は縄文時代晩期から後期末である。中層（ⅡＢ－２）の茶褐色土は平均層厚30cm、最も厚いところで50cmを測った。調査区の斜面上部において厚く堆積し、下部平坦面には殆ど見られなかった。後期末の堂林式土器が主体で、上層よりも破片が大きいという傾向が見られる。土層中にはTa－d_2粒子や焼骨片、焼土、炭化物などが多量に混在する。下層（ⅡＢ－３）の黒色土は層厚10cm、混入がほとんど見られない。時期は縄文時代後期から中期が主体で、手稲式、鰊澗式などの土器が多く見られたが、上、中層に比べると遺物数は少ない。

第Ⅱ黒色土層以下については、樽前ｄ降下岩片層（Ta—d_1）が殆ど見られず、樽前ｄ降下スコリア層（Ta—d_2）が遺構確認面としての基層になった。Ta—d_2層は、台地上面の堆積よりも薄く、10～30cm程の層厚であった。ⅡＢ層の掘り込みの大半は、Ta—d_2層を経て、ⅢＢ層、恵庭ローム層に至るものである。

3　遺跡周辺の環境

北海道の道央部の地形は主に石狩低地帯と呼ばれる広大な平野からなり、この低地帯は札幌から千歳、苫小牧にかけて、太平洋と日本海を結びつける回廊状の様相を呈している。遺跡の位置する千歳市南部は、この札幌—苫小牧低地帯の南寄りにあり、太平洋側と日本海側の分水嶺にあたっている。

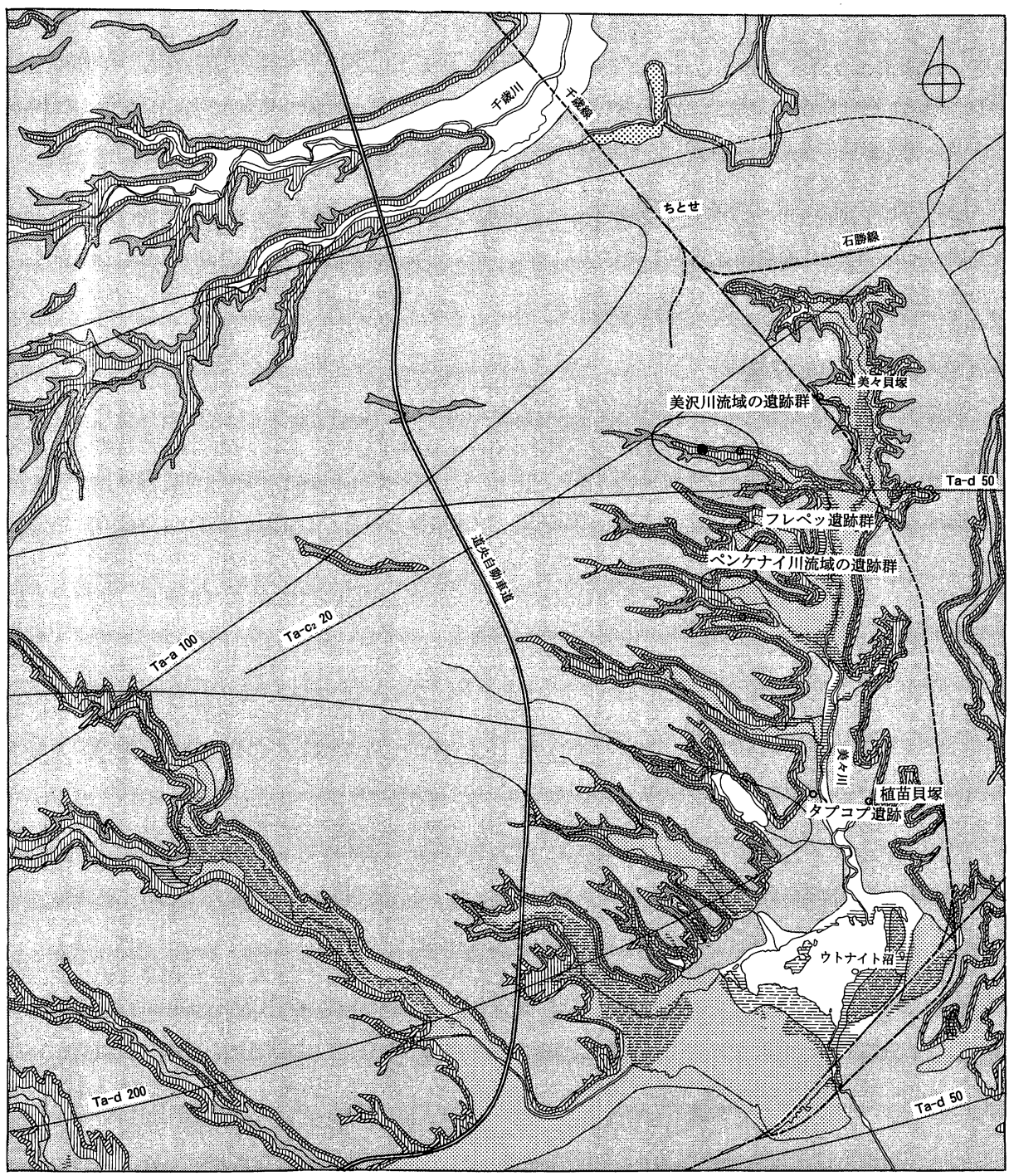
遺跡周辺の石狩低地帯南部の地形は、恵庭岳、樽前山などからつらなる標高20m前後の台地部分と、広大な湿原地帯を有する美々川流域の低地部分から構成されている。遺跡立地の主体となる台地部分は、支笏カルデラを噴出源とする軽石流堆積物から成る火山砕屑岩台地に、樽前山、恵庭岳、支笏カルデラを起源とするテフラ（火山灰）が厚く堆積して形成されたものである。この台地を西から東へ刻むようにして、幾筋もの沢が入り込み、美々川本流へと注ぎ込んでいる。このような沢の景観は複雑な樹枝状を呈しているが、こうした台地域と低地域とが複雑に結びつく特殊な地形は、自然環境において資源生産量が豊富とされる「推多帯」（eco-tone）を形成しており、遺跡立地の重要な条件となっている（松井　1987　沼田　1974）。

豊かな資源環境を示すものとしては建設用地から約１km北東のところに縄文時代前期の美々貝塚があり、ヤマトシジミを主とする貝層が確認されている。また、フレペッ湿原左岸の舌状台地上にある縄文時代前期（静内中野式期）の美沢４遺跡においても当該期の貝塚が調査されており、縄文海進、海退との関連とともに周辺の資源環境の理解において重要である。

また、美々４遺跡、美々８遺跡などで確認されたウサギ、キツネ、シカなどの足跡や、延長数百mにわたって営まれたＴピットの列などからも、人と環境との具体的な関わりを見ることができる。

このような豊富な資源を背景に営まれた集落は各時期にわたり、美々４遺跡を中心に広範囲な分布を見せる。縄文時代早期には美沢２遺跡（コッタロ、中茶路式）、美沢３、美々７遺跡（東釧路Ⅳ式）で集落として多くの住居跡が確認されている。前期は美々４遺跡、美々５遺跡、美沢１遺跡で確認され、中期には数は少なくなるが、美沢１遺跡などで大型住居跡が確認されている（道埋文センター1978）。後期以降は集落の中心は美沢川の上流部に移り、美沢１、美々４遺跡などで後期の集落、美々２遺跡では晩期のまとまった集落が認められている。また、後期以降は墓域としての性格が強まり、美々４遺跡、美沢１遺跡を中心に周堤墓、周溝墓、マウンドなどの大規模な墓群が展開する。

また、美々４遺跡周辺は18世紀後半に「ユウフツ越」「シコツ越」と呼ばれて、太平洋側と日本海側とを結ぶ交通路の中継点であった。平成元年度における美々８遺跡の発掘調査では弘化３年（1846年）にこの地をおとずれた松浦武四郎が記した「再航蝦夷日誌」のなかに描かれた「小休所」が検出され、さらに平成３・４年度には文化４年（1808年）頃から安政４年（1858年）頃にかけて物資の運送に使用された「道跡」が検出され、文献資料を裏付けている。



図Ⅱ－4　遺跡の地質環境図

第Ⅲ章　第Ⅰ黒色土層の調査

概　要（図Ⅲ－１）

第Ⅰ黒色土層の調査は、平成６年度に1,050㎡を対象に行われた。調査区内は低い部分でⅠＢ層上面の標高が９ｍ、最高で13ｍになる比高差のある斜面であり、南側の低い部分にはわずかな平坦面が見られた。ⅠＢ層は厚いTa－ａ、ｂ火山灰の下に堆積状況が良好で、色調は灰色がかった黒褐色土を呈した。層厚は平均が約10～15㎝ほどであるが、斜面下部においてやや厚くなる傾向が見られた。また、調査区東側と南側の一部において、ⅠＢ層が撹乱により失われていることがわかった。この撹乱は部分的にはⅡＢ層上面にまで至っている。

確認された遺構は竪穴住居跡（ＩＨ）１軒、土壙（ＩＰ）32基、フレイク集中区１か所、小ピット（SP）が251基である。このうち、32基の土壙の中には、ＩＰ―125、128、142などの人骨をともなう土壙墓や、ＩＰ―121のようなアイヌ文化期の土壙墓が含まれている。

分布状況は、ＩＰなどの遺構の多数が、調査区北西寄りの斜面部に集中し、竪穴住居跡とフレイク集中のみが調査区東側のわずかな平坦面を利用してつくられている。小ピットは調査区全体に平均的に分布するが、その他の遺構のない調査区南よりにやや多く見られ、同様小ピットの多く見られた昭和51年度の調査区との連続性がうかがえる。

１　遺構

(1)　住居跡

住居跡は、ＩＨ－１の１軒のみである。フレイク集中区に隣接し、Ta－ｃ層上面の標高約10ｍの所に位置する。

ＩＨ－１（図Ⅲ－３）

位　置　E_1―65―51・E_1―65―61

平面形　不整楕円形

規　模　5.02×4.30/4.42×3.42/3.30

確認・調査・土層　Ta－ａ、ｂ火山灰を除去した後、ⅠＢ層上面において落ち込みを発見した。トレンチを設定し床面と壁の検出を行ったが、明確に見られなかったので、Ta－ｃ層上面まで掘り下げて、平面形を確認した。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ta－ｃ層中に床面をつくる掘り込みが検出された。土層の堆積は単純で、Ta－ｃパミスとⅠＢ層が主体、ⅠＢ層中層に掘り込み面があったものと思われる。

付属ピット　９基の付属ピットを有する。すべて、Ta－ｃ層から第Ⅱ黒色土層まで掘り込んで作られている。断面形はゆるやかな掘り込みである。

床　面　Ta－ｃ層中につくられており、ゆるやかな傾斜を持つ。

壁　しまりのないＴａ－ｃ層を壁にしているため不明であるが、立ち上がりはゆるやかである。

遺　物　床面から　Ⅴ群ｃ類土器、Ⅴ群土器、小型土器、石鏃３点、ドリル１点、スクレイパー３点、石斧片２点、石斧未成品１点等が出土した。

土　器　土器は1,320点出土し、Ⅳ群ｂ類１点、Ⅳ群ｃ類11点、Ⅴ群16点、Ⅴ群ｃ類1,292点（大洞系32点、在地系1,260点）である。床面から工字文が施された大洞系の壺形土器と沈線文が施された

在地系の土器が供伴して出土した。

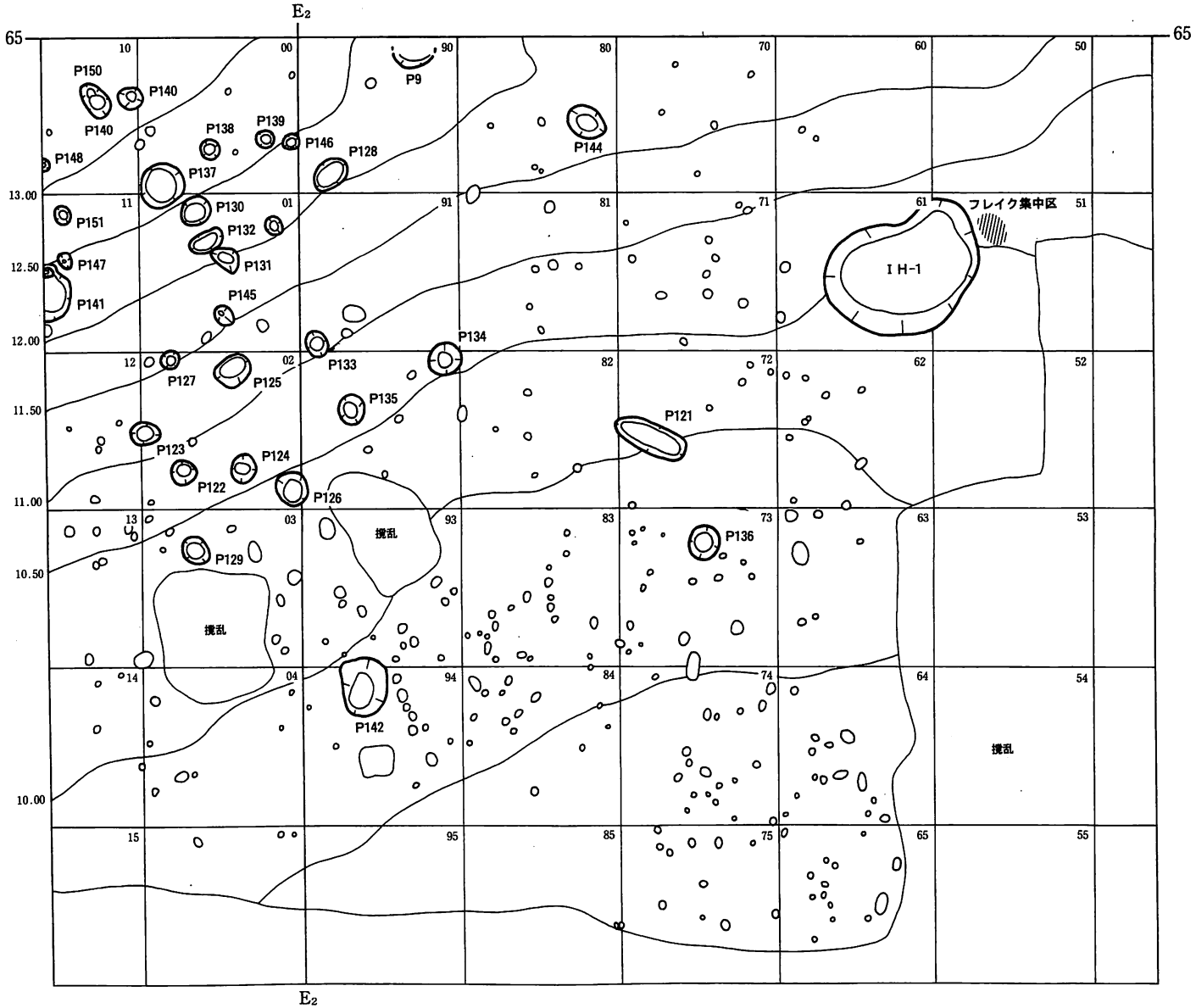
１～３・５～14・27はいずれも床面出土である。１・３～７は大洞系である。１は床面出土の資料が接合した。器形は鉢形で、体部下半を欠失する。頸部の上位は無文帯、下位にはやや粗雑な工字文が沈線で２段施されている。３～７は同一個体である。器形は壺形である。器面には赤色顔料が塗られている。頸部は無文で、体部上半には工字文が施されている。２は床面28点、ＩＢ層表採１点が接合した。体部下半を欠失する。体部上半で内屈する。口唇は切り出し状で、口唇外面には縄の圧痕、内面には斜行縄文が加えられている。口縁部には刺突文が加えられた２個一対の縦位の貼付帯と格子目状の沈線文が施されている。８～13は口縁部破片である。８は貼り付けによる突起が作り出され、口唇部に縄の圧痕が加えられている。９・10の口唇断面形は角形である。口唇直下には下位を沈線で区画し、縄文が加えられている。11・12には斜行縄文が施され、12の口唇には棒状工具による刻みが加えられている。13は無文土器、14は体部破片である。26は無文の小型土器である。

石　器　石器は251点出土し、石鏃３点、石鏃片２点、ドリル１点、スクレイパー５点、Ｕフレイク１点、フレイク187点、石斧１点、石斧片４点、石斧未成品１点、礫△11点、礫５点である。

15～17は有茎凸基の石鏃で、15・16は尖頭部が正三角形状のもの、17は細身で、尖頭部が二等辺三角形状のものである。18はドリル、19～22はスクレイパー、23は石斧、24・25は石斧未成品である。

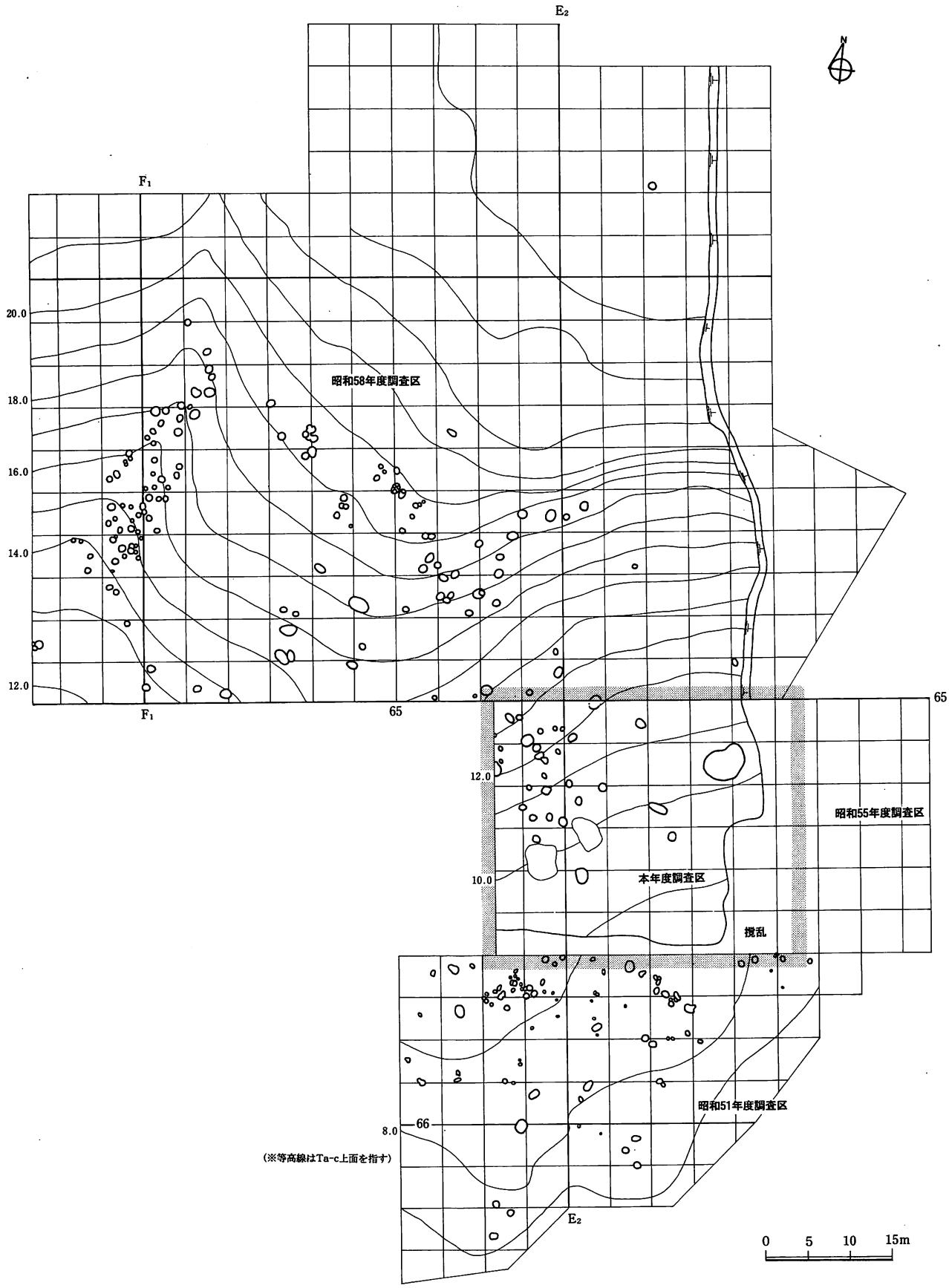
土製品　耳栓の破片が１点出土した。27は径約４cmの環状である。両側縁の端部に細い沈線が施され、一側には刺突も加えられている。

時　期　出土遺物及び土層の堆積状況により、縄文時代晩期末葉のＶ群ｃ類（大洞Ａ式）の頃のものと思われる。



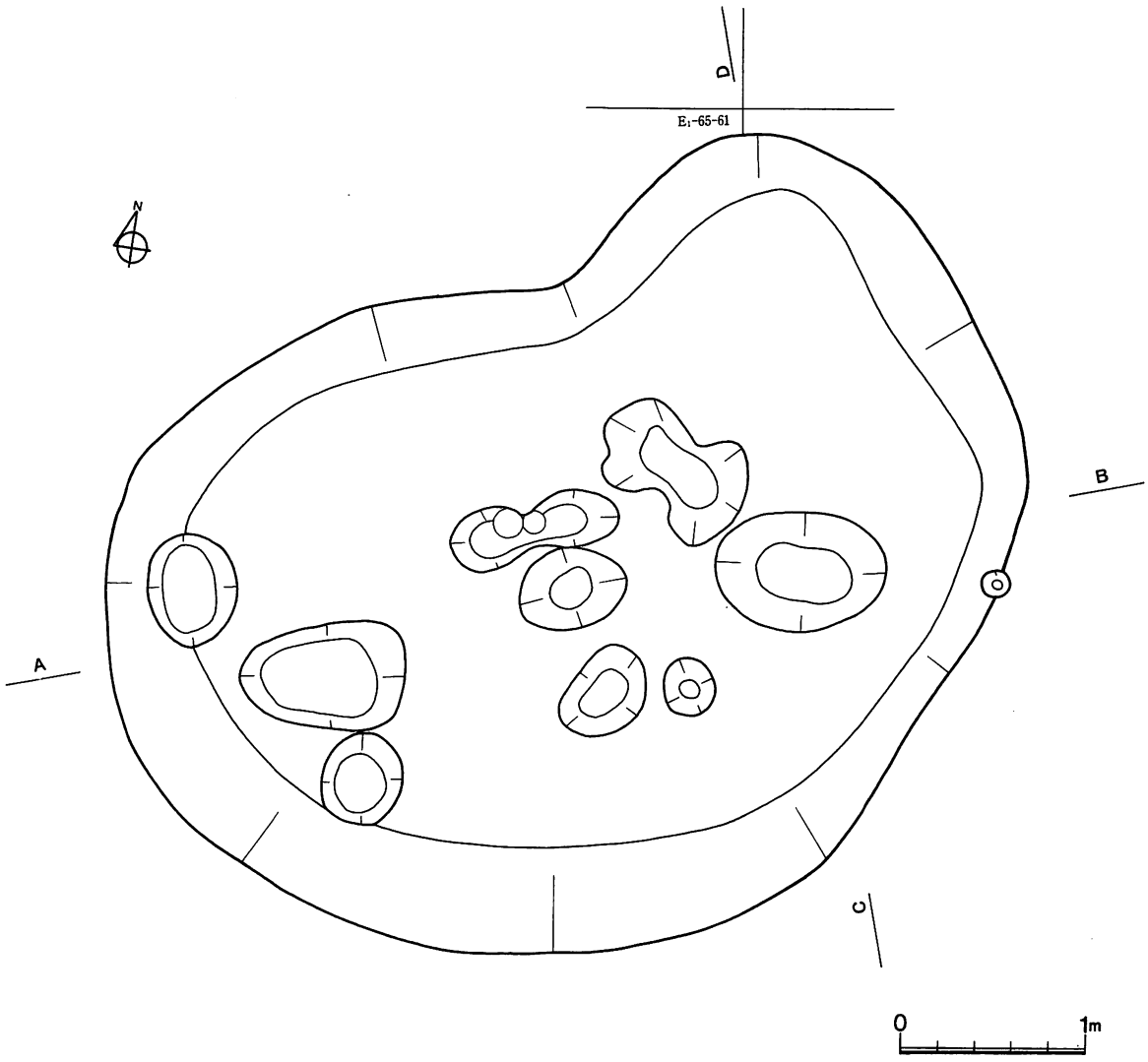
0 5 m

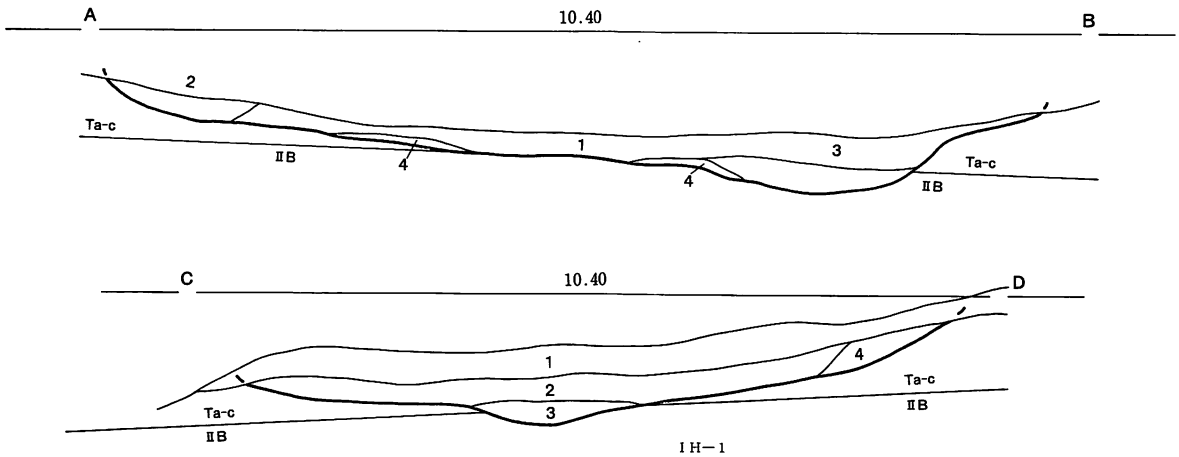
図Ⅲ－1　第Ⅰ黒色土層遺構位置図　※等高線は樽ｃ火山灰上面を示すものである。



図Ⅲ－２　美々４遺跡第Ⅰ黒色土層遺構位置図

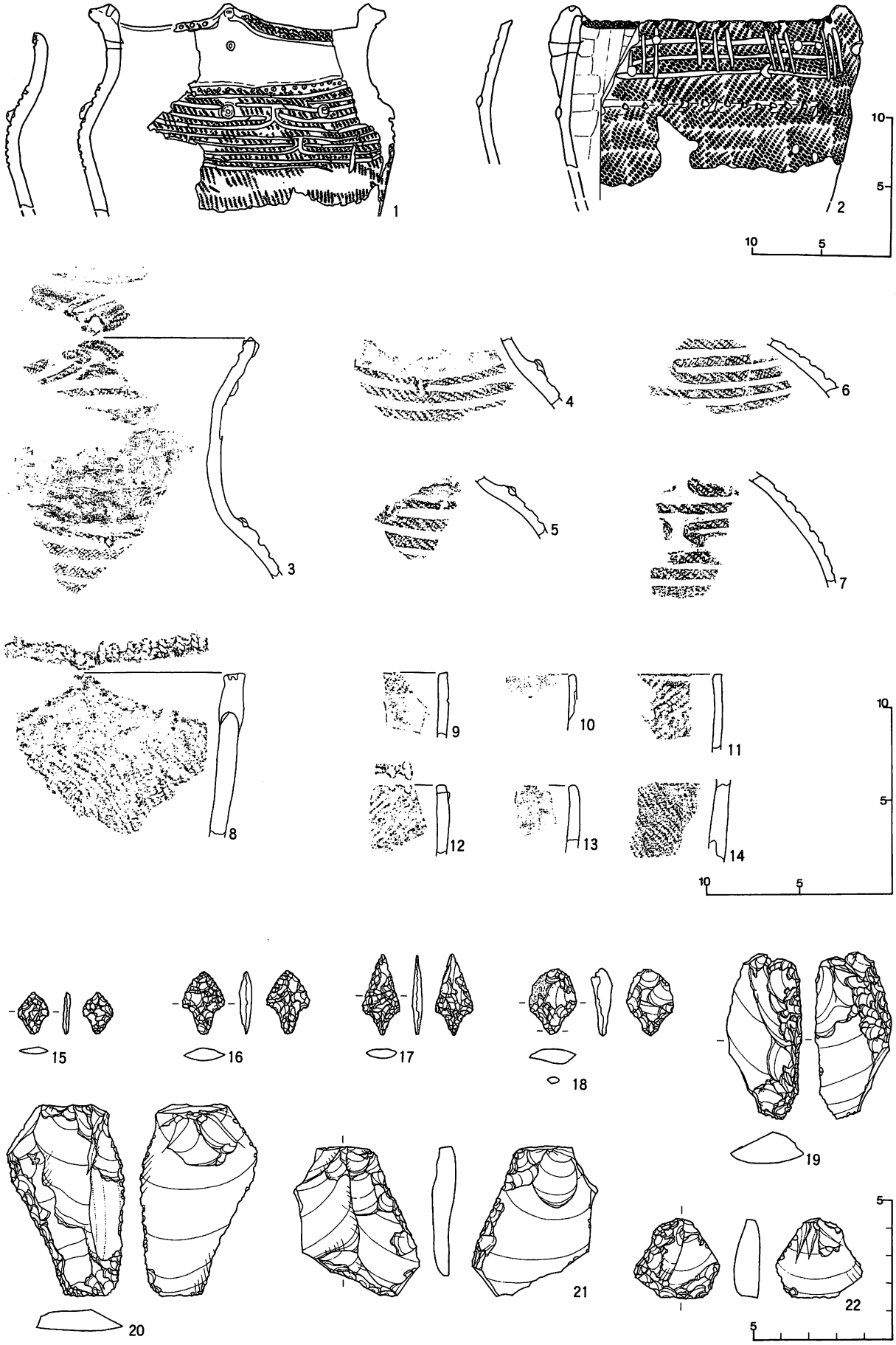
ＩＨ－１



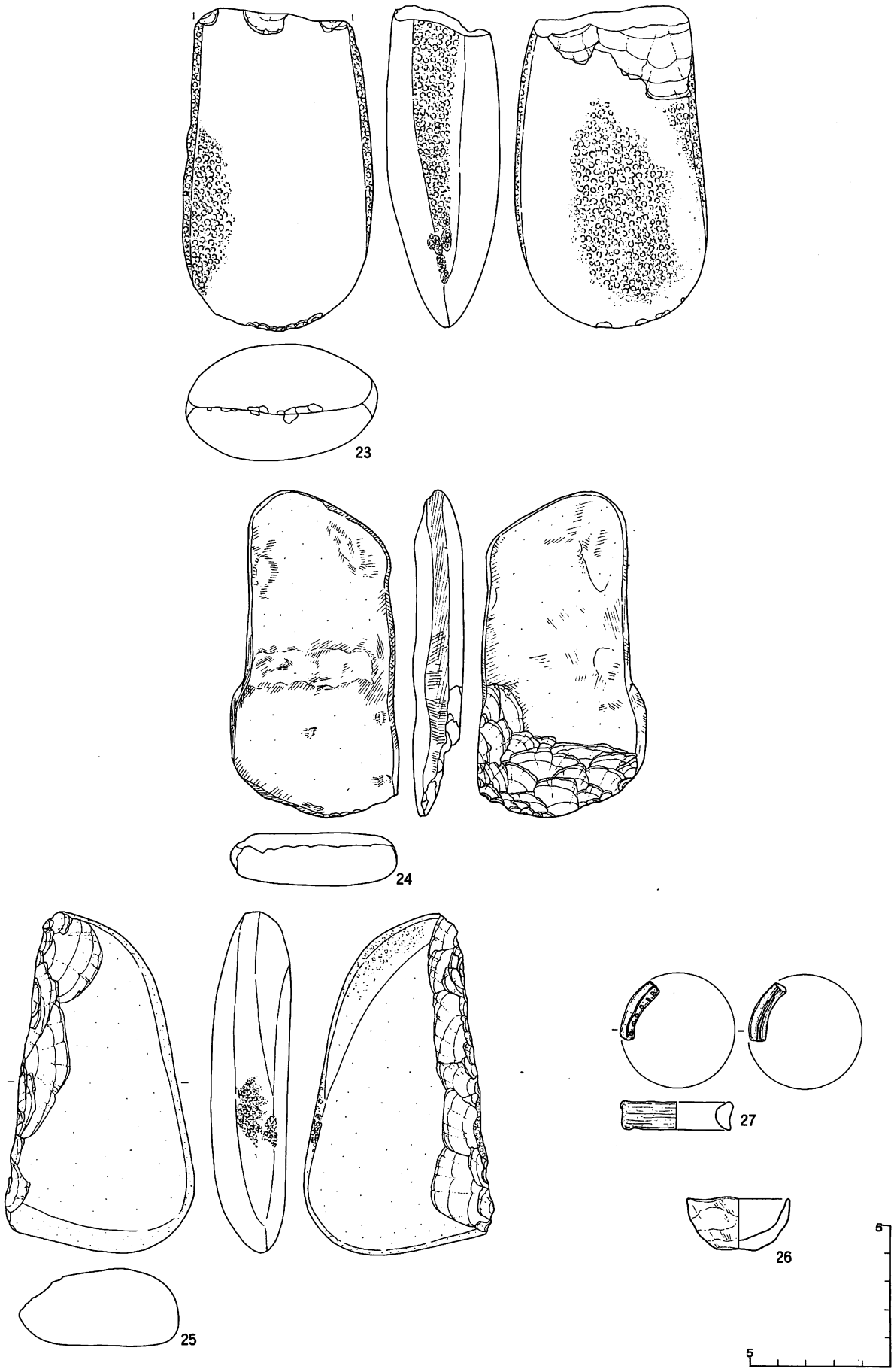


ＩＨ－１
1 暗黒褐色土　ＩＢが主体でTa-cパミスを含む。やわらかい。
2 黒 褐 色 土　ＩＢが主体でTa-cパミスを少量含む。しまっている。
3 褐　色　土　Ta-cパミスが主体でＩＢを少量含む。しまっている。
4 暗茶褐色土　ＩＢが主体でTa-cパミスを少量含む。

図Ⅲ－３　ＩＨ－１



図Ⅲ－4　ＩＨ－１出土遺物(1)



図Ⅲ－5　ＩＨ－１出土遺物(2)

(2) 土　壙

ＩＰ－９（図Ⅲ－６）

位　置　E_1－65－90

平面形　南北に延びる楕円形

規　模　1.75×1.32/1.48×0.98/0.41

確認・調査・土層　Ta－ｂ火山灰を除去した後、Ⅰ黒層の上面に円形のくぼみを確認した。北側に隣接する昭和53年度調査区内では北半分がすでに検出されており、その延長と判断した。土層断面を確認してこれを掘り下げたところ、Ta－ｃ層下約30ｃｍの掘り込みを確認した。土層の堆積は単純で、Ta－ｃパミスを少量含むＩＢからなり、３層の覆土を確認した。掘り込み面はⅠ黒層上層と思われる。

床　面　ⅡＢ層中につくられており、断面形はゆるやかな皿状を呈する。

壁　面　ゆるやかな立上りである。

遺　物　遺物は覆土から出土した。

土　器　土器は出土していない。

石　器　石器は５点出土し、石斧片１点、フレイク３点、礫△１点である。しかし、小破片のため掲載できなかった。

時　期　晩期末葉のＶ群ｃ類の頃

ＩＰ－121（図Ⅲ－６）

位　置　E_1－65－70・E_1－65－80

平面形　東西に延びる楕円形

規　模　2.34×0.94/2.09×0.62/0.45

確認・調査・土層　Ta－ｂ火山灰を除去した後、Ⅰ黒層上面に落ち込みを確認した。　土層断面を確認しながらこれを掘り下げたところ、Ⅱ黒層下約20㎝程の掘り込みを確認した。土層はTa－ｃ、Ta－ｂパミスの混在するⅠ黒層からなり、堆積は複雑な様相を呈していたが、９層の覆土が認められた。掘り込み面はⅡ黒層下層と思われる。

底　面　ⅡＢ層中につくられており、平坦である。

壁　面　急な立上りである。

遺　物　壙底から金属製品が出土している。覆土からⅣ群ｃ類土器・石鏃が出土した。

土　器　土器は５点出土しいずれもⅣ群ｃ類である。小破片のため掲載できなかった。

石　器　石鏃１点出土した。１は有茎凸基の尖頭部は正三角形状である。

金属製品　壙底から垂飾が１点出土した。２は断面径が丸い針金状のものを巻き上げて鐸形を作り出したものである。

時　期　　遺構の平面形、土層及び出土遺物から近世アイヌ期の土壙墓と思われる。

ＩＰ－122（図Ⅲ－７）

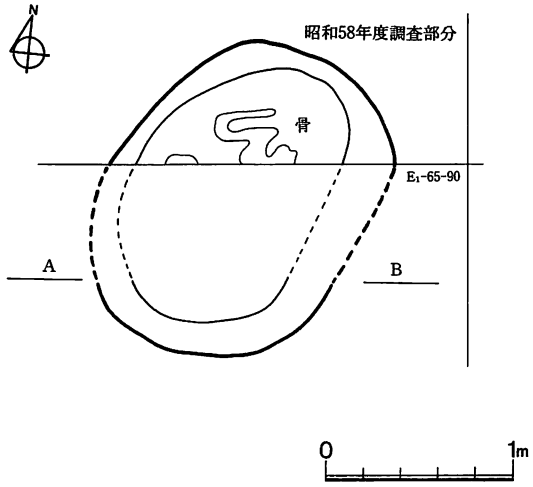
位　置　E_2－65－02

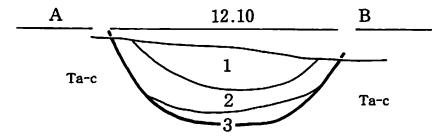
平面形　円形

規　模　0.75×0.74/0.43×0.46/0.59

確認・調査・土層　Ⅰ黒層を掘り下げたところ、Ta－ｃ上面近くにて、黒色の落ち込みを確認し

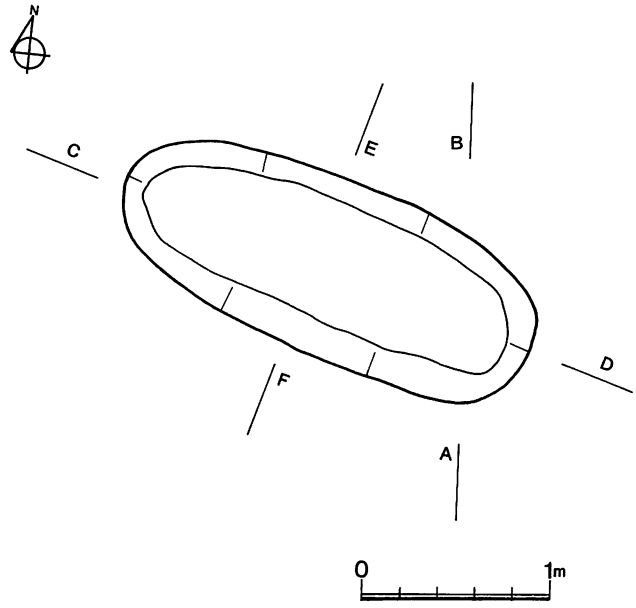
ＩＰ—９

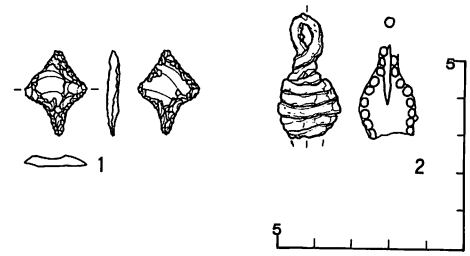


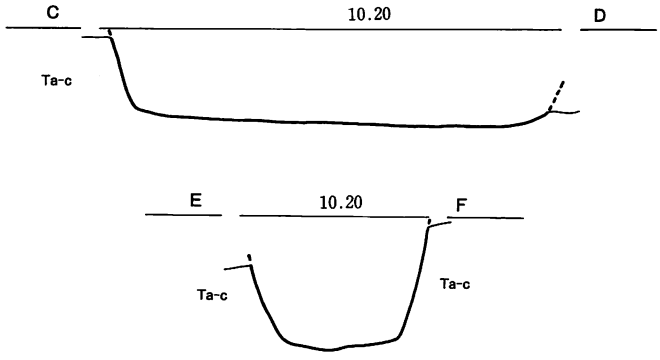


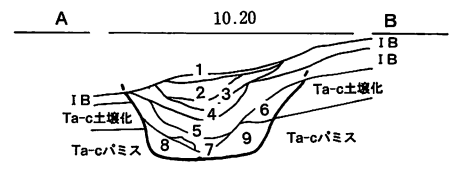
ＩＰ—９
1 黒　色　土　ＩＢが主体でTa-cパミスを少量含む。
2 黒 褐 色 土　ＩＢが主体でTa-cパミス、Ta-d$_2$パミスを少量含む。
3 暗茶褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢ、Ta-d$_2$パミスを多く含む。

ＩＰ—121





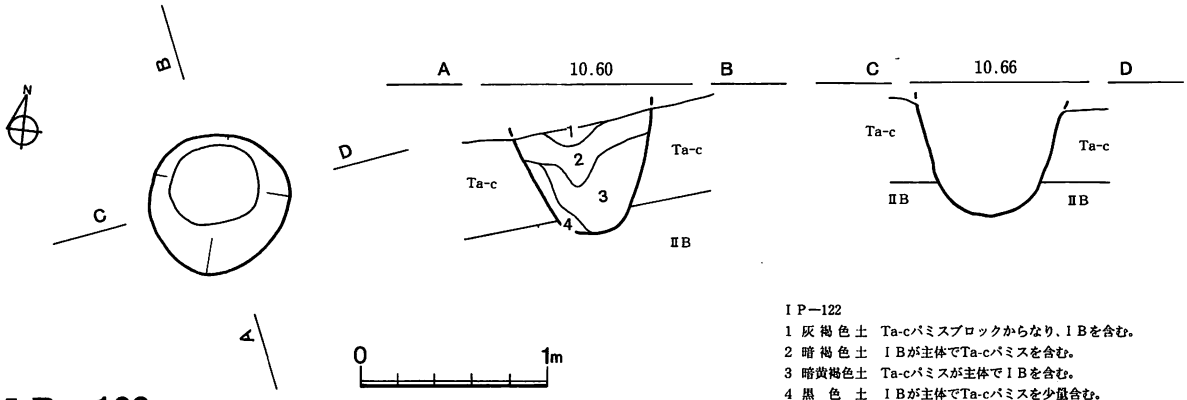




ＩＰ—121
1 黒　色　土　ＩＢが主体でTa-bパミスを少量含む。
2 暗 褐 色 土　ＩＢが主体でTa-cパミスを含む。
3 暗黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを含む。
4 暗 褐 色 土　ＩＢとTa-cパミスがほぼ同量に混じる。
5 黒　色　土　ＩＢが主体でTa-cパミスを含む。
6 灰 褐 色 土　Ta-cパミス流れ込み。
7 暗 褐 色 土　Ta-cパミスとＩＢがほぼ同量に混じる。4よりTa-cパミスが多い。
8 黒　色　土　ＩＢが主体でTa-cパミスを含む。
9 暗黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを少量含む。

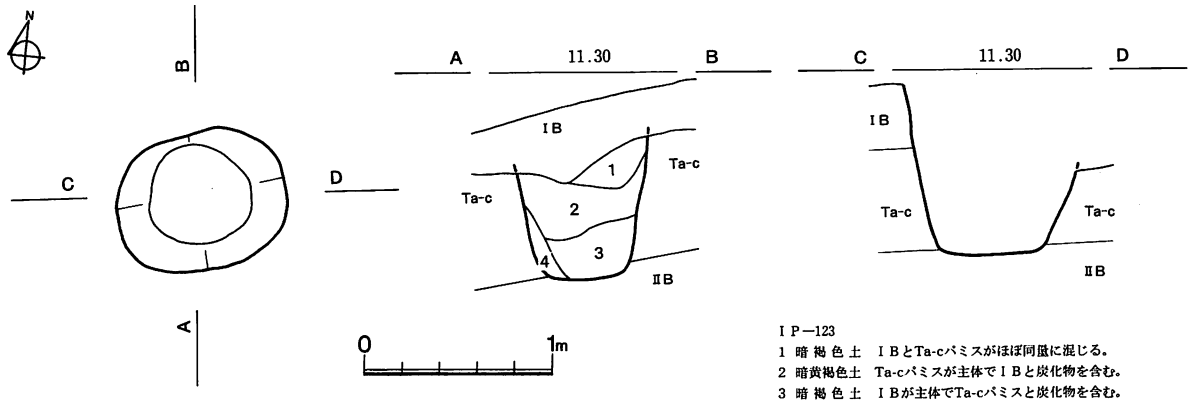
図Ⅲ—６　ＩＰ—９・121と出土遺物

ＩＰ—122



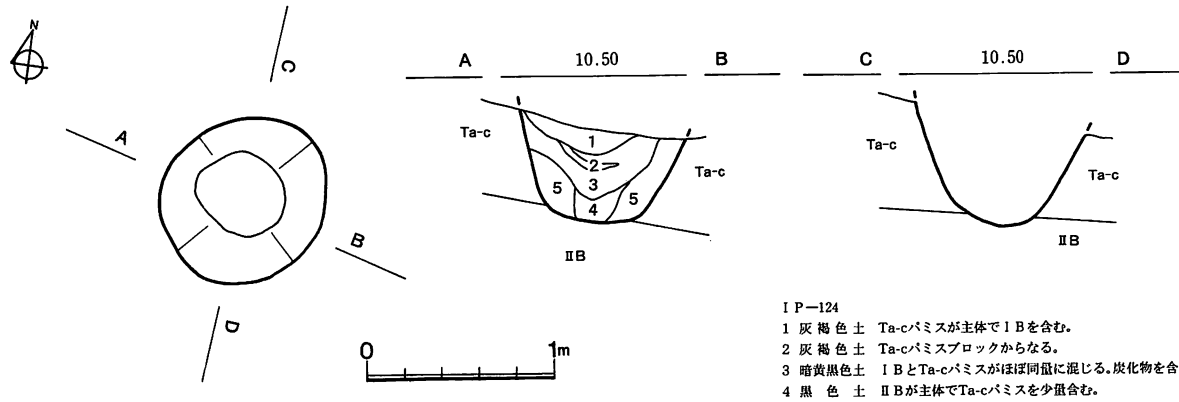
ＩＰ—122
1 灰褐色土　Ta-cパミスブロックからなり、ＩＢを含む。
2 暗褐色土　ＩＢが主体でTa-cパミスを含む。
3 暗黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを含む。
4 黒　色　土　ＩＢが主体でTa-cパミスを少量含む。

ＩＰ—123



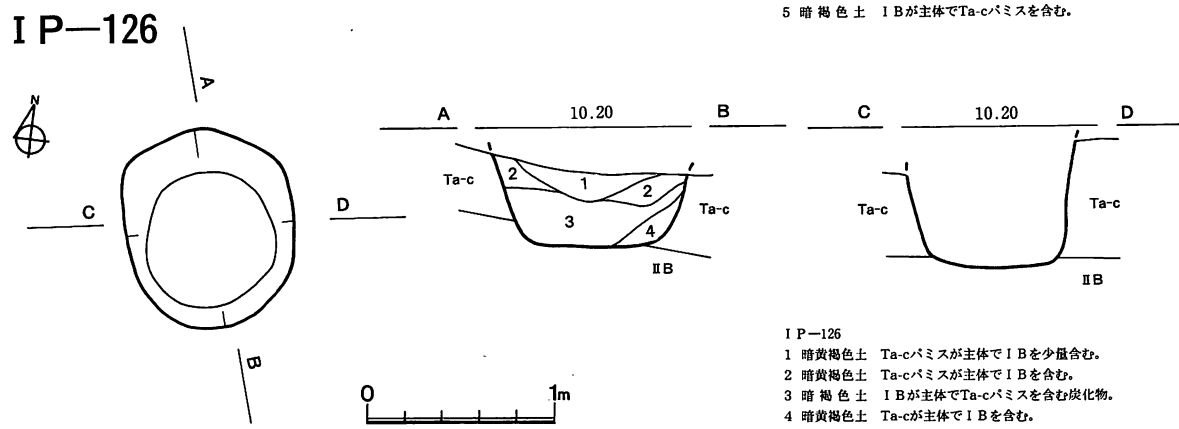
ＩＰ—123
1 暗褐色土　ＩＢとTa-cパミスがほぼ同量に混じる。
2 暗黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢと炭化物を含む。
3 暗褐色土　ＩＢが主体でTa-cパミスと炭化物を含む。
4 黒　色　土　ⅡＢが主体でTa-cパミスを少量含む。
5 暗黄褐色土　ＩＢとTa-cパミスがほぼ同量に混じる。
6 黄褐色土　Ta-cパミスが流れ込んだものである。

ＩＰ—124



ＩＰ—124
1 灰褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを含む。
2 灰褐色土　Ta-cパミスブロックからなる。
3 暗黄黒色土　ＩＢとTa-cパミスがほぼ同量に混じる。炭化物を含む。
4 黒　色　土　ⅡＢが主体でTa-cパミスを少量含む。
5 暗褐色土　ＩＢが主体でTa-cパミスを含む。

ＩＰ—126



ＩＰ—126
1 暗黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを少量含む。
2 暗黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを含む。
3 暗褐色土　ＩＢが主体でTa-cパミスを含む炭化物。
4 暗黄褐色土　Ta-cが主体でＩＢを含む。

図Ⅲ—７　ＩＰ—122・123・124・126

た。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ⅱ黒層下約10ｃｍ程の掘り込みを確認した。土層はⅠ黒層からなり、３層の覆土が認められた。掘り込み面はⅠ黒層下層と思われる。

底　面　ⅡＢ層中につくられており、尖底である。

壁　面　壁の立上りは急である。

遺　物　遺物はすべて覆土出土である。

土　器　土器は14点出土し、Ⅴ群ｃ類11点、Ⅴ群３点出土である。小破片のため掲載できなかった。

石　器　フレイク、チップが４点出土した。

時　期　晩期末葉のⅤ群ｃ類の頃。

ＩＰ―123（図Ⅲ－７）

位　置　E_2―65―02・E_2―65―10

平面形　東西にやや延びる楕円形

規　模　0.93×0.74/0.55×0.53/0.66

確認・調査・土層　Ⅰ黒層を掘り下げたところ、Ta－ｃ上面近くにて、黒色の落ち込みを確認した。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ⅱ黒層をわずかに掘り込んだ遺構であることを確認した。土層はⅠ黒層からなり、単純な堆積で４層の覆土が見られた。掘り込み面はⅠ黒層の中層と思われる。

底　面　ⅡＢ層上面を底面にしており、ほぼ平坦である。

壁　面　立ち上がりは垂直に近く急である。

遺　物　遺物は出土していない。

時　期　晩期末葉のⅤ群ｃ類の頃。

ＩＰ―124（図Ⅲ－７）

位　置　E_2―65―02

平面形　円形

規　模　0.93×0.84/0.41×0.46/0.49

確認・調査・土層　火山灰を除去した後、Ⅰ黒層の上面にわずかな落ち込みを確認した。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ⅱ黒層上面にいたる掘り込みであることを確認した。土層はTa－ｃパミスを含む第Ⅰ黒色土からなり、５層の覆土が複雑に堆積するのを確認した。

底　面　ⅡＢ層上面を底面にしている。ほぼ平坦である。

壁　面　Ta－ｃ層を壁面にしている。ゆるやかな立ち上がりである。

遺　物　遺物は土器のみで、すべて覆土出土である。

土　器　土器は28点出土し、Ⅳ群ｃ類26点、Ⅴ群ａ類１点である。小破片のため掲載できなかった。

時　期　晩期末葉の頃。

ＩＰ―125（図Ⅲ－８）

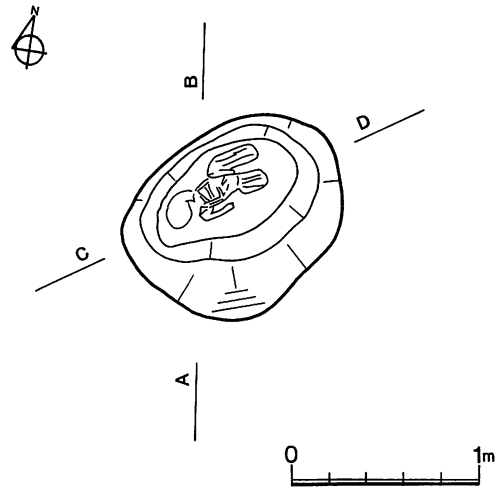
位　置　E_2―65―02

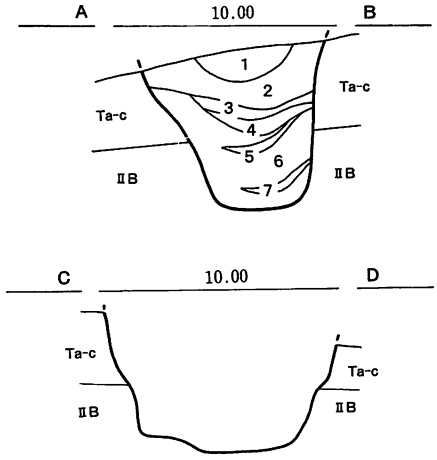
平面形　東西にやや延びる楕円形

規　模　1.21×0.96/0.81×0.46/0.85

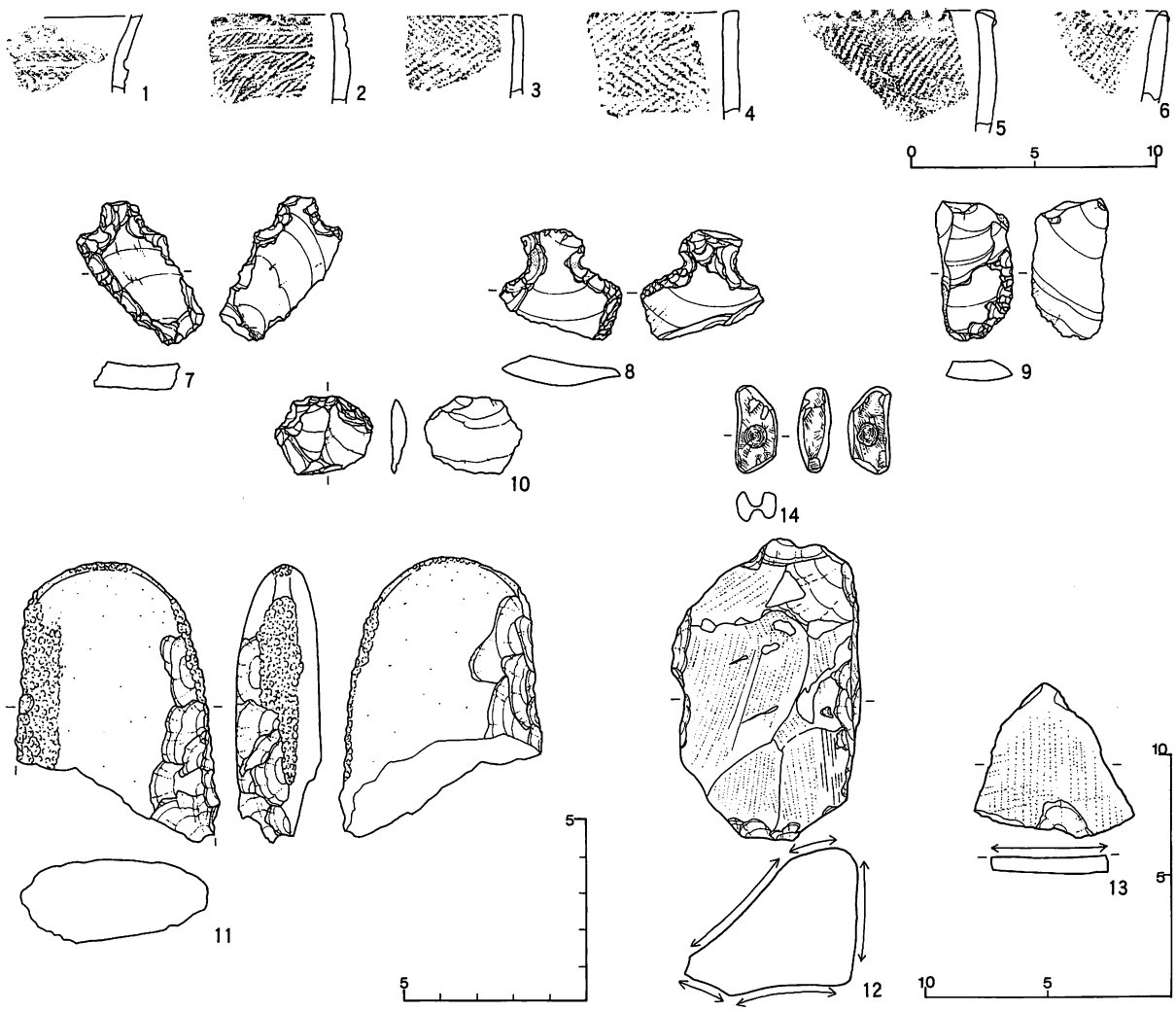
確認・調査・土層　Ta-c層上面にて黒色土の落ち込みを認めた。土層断面を確認しながら掘り下

ＩＰ—125





ＩＰ—125
1 暗 褐 色 土　ＩＢが主体でTa-cパミスを含む。
2 暗黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを少量含む。
3 暗 褐 色 土　ＩＢとTa-cパミスが主体でTa-dパミスを含む。
4 暗黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを少量含む。
5 暗黄褐色土　Ta-cが主体でＩＢを少量含む。
6 黒　色　土　ⅡＢが主体でTa-cパミスとTa-dパミスを少量含む。骨片を含む。
7 暗黄褐色土　Ta-cが主体でＩＢを少量含む。



図Ⅲ—８　ＩＰ—125と出土遺物

げたところ、Ⅱ黒層を20～30ｃｍほど掘り込んだ遺構であり、底面付近に人骨遺存体を伴う土壙墓であることを確認した。遺体は殆ど糊状で、保存状況はあまり良くないが、頭位は南西であり、屈葬姿勢をとるものと認めることができた。土層はTa－ｃパミスを含む第Ⅰ黒色土が主体で、７層に覆土を確認した。掘り込み面はⅠ黒層の下部と思われる。

埋葬人骨　人骨遺存体については、札幌医科大学 石田 肇氏、国立科学博物館 松村博文氏より所見を頂いた。頭最大長が推定185㎜、右下顎第一大臼歯の近遠心径は11.72㎜であることから、性別は男性である可能性が高い。年齢は右下顎第一大臼歯の咬耗がBrocaの１度程度であることから壮年と推定される。

底　面　人骨の周囲を中心にⅡ黒層中に平坦面が形成されている。

壁　面　底面との境の明瞭な急な立ち上がりを見せる。

遺　物　遺物はすべて覆土出土である。

土　器　土器は430点出土し、Ⅳ群ｂ類86点、Ⅳ群ｃ類204点、Ⅴ群ａ類140点である。

１はⅣ群ｂ類で、わずかに「Ｓ」字状の沈線文が認められたが、晩期の大洞系土器の可能性もある。２～４はⅣ群ｃ類、５・６はⅤ群ａ類である。

石　器　石器は43点出土し、つまみ付ナイフ２点、スクレイパー１点、石斧片２点、石斧未成品１点、砥石２点、礫１点、礫片２点、フレイク・チップ31点、Ｒフレイク１点である。

７・８はつまみ付ナイフ、９はスクレイパー、10はＵフレイク、11は石斧未成品、12・13は砥石である。

石製品　石玉が１点出土した。14は穿孔途中の未成品である。

時　期　晩期末葉の頃と思われる。

ＩＰ－126（図Ⅲ－７）

位　置　E_2－65－02・E_2－65－10

平面形　円形

規　模　1.07×0.88/0.72×0.69/0.42

確認・調査・土層　Ta－ｂ火山灰を除去した後、Ⅰ黒層の上面に落ち込みを確認した。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ⅡＢ層上面にいたる掘り込みであることを確認した。土層はＴａ－ｃパミスを含む第Ⅰ黒色土からなり、４層の覆土を確認した。掘り込み面はⅠ黒層下部と思われる。

底　面　ⅡＢ層上面を底面にしていて、平坦である。

壁　面　Ta－ｃ層を壁面にしている。急な立ち上がりである。

遺　物　遺物は土器のみで、すべて覆土出土である。

土　器　土器が11点出土し、Ⅳ群ｃ類２点、Ⅴ群ａ類４点、Ⅴ群５点である。いずれも小破片のため掲載できなかった。

時　期　晩期末葉の頃と思われる。

ＩＰ－127（図Ⅲ－９）

位　置　E_2－65－01・02

平面形　円形

規　模　0.60×0.60/0.35×0.33/0.28

確認・調査・土層　Ⅰ黒層を掘り下げ、Ta－ｃ層上面にて黒色土の落ち込みを確認した。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ta－ｃ層を30cmほど掘り込んだ遺構を検出した。土層はTa－ｃパミスを含む第Ⅰ黒色土が主体で、３層に区分することができた。掘り込み面はⅠ黒層下部と思われる。

底　面　Ta－ｃ層中に底面をつくる。丸底である。

壁　面　底面との境が明瞭でない、ゆるやかな立ち上がりを見せる。

遺　物　遺物は土器のみで、すべて覆土出土である。

土　器　土器が４点出土し、Ⅳ群ｃ類２点、Ⅴ群２点である。いずれも小破片のため掲載できなかった。

時　期　晩期末葉の頃と思われる。

ＩＰ－128　（図Ⅲ－９）

位　置　E_1－65－90

平面形　東西に延びる楕円形

規　模　1.13×0.85 / 0.97×0.56 / 0.75

確認・調査・土層　Ta-c層上面にて黒色土の落ち込みを認め、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ⅡＢ層を20ｃｍほど掘り込んだ遺構であり、底面付近に人骨遺体をともなう土壙墓であることがわかった。土層は比較的単純な堆積で、少量のTa-cパミスを含む第Ⅰ黒色土からなり、４層に区分することができた。掘り込み面はⅠ黒層上層と思われる。

埋葬人骨　糊状で残存状況はあまり良好ではなく、詳細は不明で、輪郭のみをとらえることができた。仰向けで、頭位方向は南西である。脚部、腰などの一部が折り重なって確認されたので、屈葬姿勢をとるものと思われる。

底　面　基層の傾斜に沿って、南西長軸方向に低くなっているが、人骨遺体の周辺とともに概して平坦である。

壁　底面との境の明瞭な垂直な壁面である。

遺　物　遺物はすべて覆土出土である。

土　器　土器は890点出土し、Ⅱ群ａ－２類１点、Ⅳ群ａ類１点、Ⅳ群ｂ類100点、Ⅳ群ｃ類535点、Ⅴ群ａ類87点、Ⅴ群166点である。１は無文のⅣ群ｂ類である。２はⅤ群の無文の坏である。

石　器　石器は158点出土し、石鏃１点、石鏃片１点、スクレイパー１点、フレイク139点、石斧１点、石斧片４点、礫片７点である。

２は有茎凸基の先頭部が細身の二等辺三角形のものである。４は先端部をもつもの。５・６は石斧で、５は粗割・擦りによって作出され、６は未成品で粗割段階のものである。

時　期　晩期末葉の頃と思われる。

ＩＰ－129（図Ⅲ－９）

位　置　E_2－65－03

平面形　円形

規　模　0.89×0.75/0.58×0.57/0.55

確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta-c層上面にて黒い落ち込みを発見した。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ⅡＢ層下約10cmの掘り込みを検出した。土層はやや複雑な堆積で、

Ta-cパミスを含む第Ⅰ黒色土からなり、７層に区分することができた。掘り込み面はⅠ黒層上層と思われる。

底　面　ⅡＢ層上面を底面にしている。土質が柔らかく、ほぼ平坦である。

壁　面　底面との境が明瞭な、垂直な壁面である。

遺　物　遺物はすべて覆土出土である。

土　器　土器は26点出土し、Ⅳ群ｃ類８点、Ⅴ群ｃ類15点、Ⅴ群３点である。１・２はⅤ群ｃ類で、斜行縄文が施されている。

石　器　石器はスクレイパー１点、フレイク・チップ１点出土し、３はスクレイパーである。

時　期　晩期末葉のⅤ群ｃ類の頃。

ＩＰ―130（図Ⅲ―10）

位　置　E_2―65―01

平面形　円形

規　模　0.94×0.82/0.54×0.44/0.59

確認・調査・土層　Ⅰ黒層の掘り下げ後、Ta―ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見した。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ⅡＢ層下約20㎝の掘り込みを検出した。土層は複雑な堆積で、Ta―ｃパミスの混在するⅠ黒層からなり、８枚の覆土を確認することができた。掘り込み面はⅠ黒層下層と思われる。

底　面　ⅡＢ層中に床面をつくる。ほぼ平坦である。

壁　面　底面との境は明瞭で、立ち上がりは急である。

遺　物　遺物はすべて覆土出土である。

土　器　土器は939点出土し、Ⅳ群ｂ類２点、Ⅳ群ｃ類110点、Ⅴ群ａ類２点、Ⅴ群825点である。３はⅣ群ｂ類である。１・４はⅣ群ｃ類で、１は覆土から２点出土し、調査区65―00のⅡＢ－１層33点、同ⅡＢ－２層84点と接合した。本来はⅡＢ－２層出土の資料と扱うべきものである。体部下半を欠失する。体部に斜行縄文を施したのち、横走する半截竹管状工具内面の沈線が加えられている。２・５～10はⅤ群である。２は覆土から８点出土し、調査区65―91のⅡＢ－１層２点、同ⅡＢ－２層２点、同ⅡＢ－３層１点出土の資料と接合した。したがって、ⅡＢ層出土の資料と扱うべきものである。体部下半を欠失する。口唇部断面形は切り出し状気味で、２個一組の突起が施された波状口縁である。口縁部外面には突き瘤が廻り、体部上半には沈線文と爪形文で、玉抱き三叉文状の文様構成が作り出されている。５は口縁部に磨消文が施されている。６～８は縄文のみのもので、体部に斜行縄文が施され、６は小波状口縁である。９・10は無文土器でいずれも浅鉢ないし坏形になるものと思われる。

石　器　石器は170点出土し、石鏃４点、ドリル４点、スクレイパー１点、フレイク141点、石斧片５点、石斧未成品２点、礫１点、礫片12点、耳栓１点である。

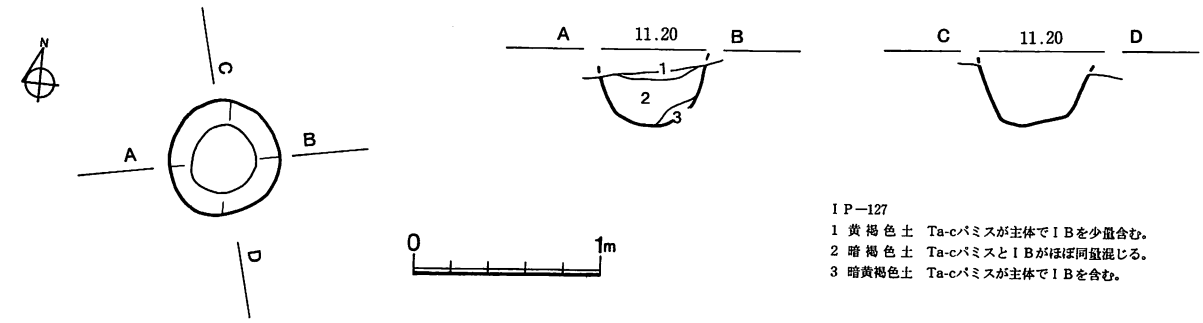
11～14は石鏃で、11は茎部を欠失するが、有茎凸で、14に類似したものである。12～14は有茎凸基である。15～17はドリル、18は縦長のスクレイパーである。

土製品　耳栓が１点出土した。

時　期　晩期末葉の頃と思われる。

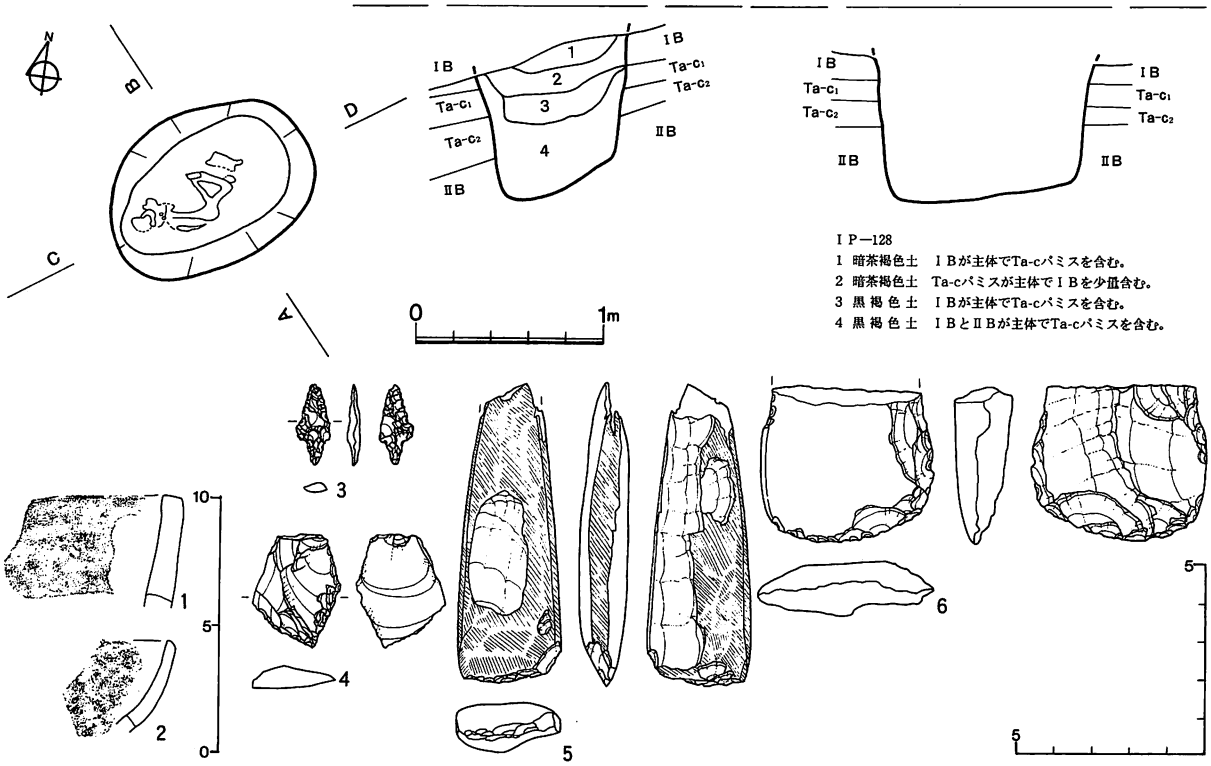
ＩＰ―131（図Ⅲ―11）

ＩＰ—127



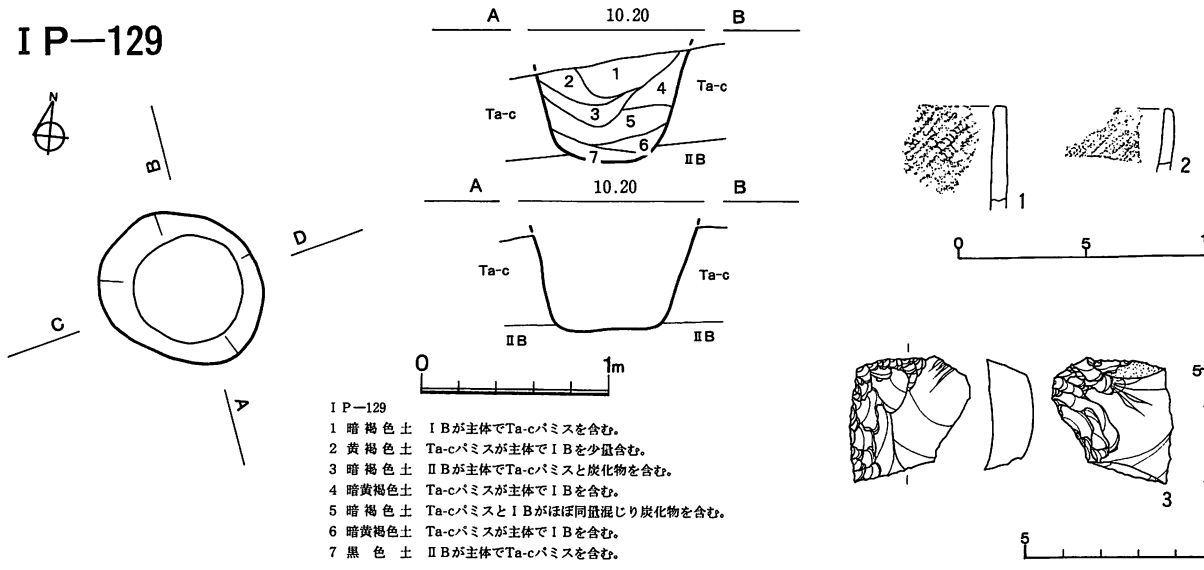
ＩＰ—127
1 黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを少量含む。
2 暗褐色土　Ta-cパミスとＩＢがほぼ同量混じる。
3 暗黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを含む。

ＩＰ—128



ＩＰ—128
1 暗茶褐色土　ＩＢが主体でTa-cパミスを含む。
2 暗茶褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを少量含む。
3 黒褐色土　ＩＢが主体でTa-cパミスを含む。
4 黒褐色土　ＩＢとⅡＢが主体でTa-cパミスを含む。

ＩＰ—129



ＩＰ—129
1 暗褐色土　ＩＢが主体でTa-cパミスを含む。
2 黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを少量含む。
3 暗褐色土　ⅡＢが主体でTa-cパミスと炭化物を含む。
4 暗黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを含む。
5 暗褐色土　Ta-cパミスとＩＢがほぼ同量混じり炭化物を含む。
6 暗黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを含む。
7 黒色土　ⅡＢが主体でTa-cパミスを含む。

図Ⅲ—９　ＩＰ—127・128・129と出土遺物

位　置　E_2—65—01

平面形　南北に延びる楕円形

規　模　0.99×0.65/0.54×0.38/0.27

確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta-c層上面にて黒い落ち込みを発見した。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ta-c層下約30cmの掘り込みを検出した。土層の堆積は単純で、３層の覆土を確認した。掘り込み面はＩＢ層下層と推定される。

底　面　Ta—ｃ層中につくられている。基層の傾斜に沿って平坦である。

壁　面　底面との境が不明瞭なゆるやかな壁面である。

遺　物　遺物はすべて覆土出土である。

土　器　土器は91点出土し、Ⅳ群ｃ類56点、Ｖ群ｃ類35点である。１はＶ群ｃ類で、体部に斜行縄文が施されている。

石　器　石器は４点出土し、いずれもフレイク・チップである。

この他に覆土から骨片が検出されている。

時　期　晩期末葉で、Ｖ群ｃ類の頃。

ＩＰ—132（図Ⅲ—12）

位　置　E_2—65—01

平面形　東西に延びる楕円形

規　模　1.19×0.62/0.92×0.45/0.37

確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta—ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見した。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ⅡＢ層を数cmほど掘り込んだ遺構であることがわかった。土層の堆積は単純で、２層の覆土を確認した。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。

底　面　ⅡＢ層中につくられており、ほぼ平坦である。

壁　面　底面との境の明瞭な急な立ち上がりである。

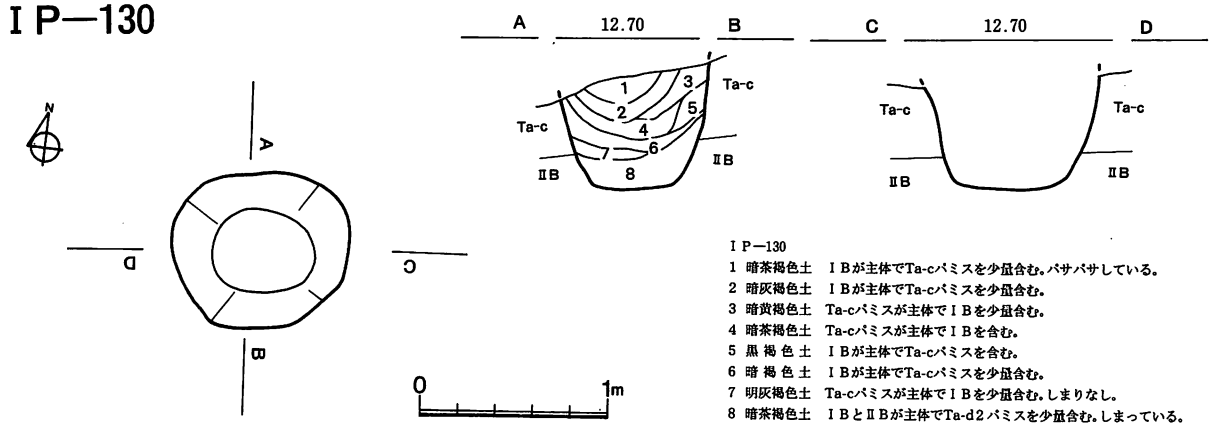
遺　物　遺物はすべて覆土出土である。

土　器　土器は3,304点出土し、Ⅲ群ｂ—１類３点、Ⅳ群ｃ類709点、Ｖ群ｃ類２点、Ｖ群2,590点である。１はⅣ群ｃ類で、覆土から６点出土した。他の土器の出土層位を見る限り本来はⅡＢ層出土の資料と扱うべきものである。体部下半を欠失する。口唇部断面形は丸味をもつ。体部には斜行縄文が施され、口唇直下に突き瘤が廻る。２～７はＶ群である。２は覆土から３点出土し、ＩＰ—130覆土１点、ＩＰ—137 覆土２点、調査区65—01のＩＢ層５点、同ⅡＢ—１層１点、同ⅡＢ—２層27点と接合した。本来はⅡＢ—２層出土の資料と扱うべきものである。体部下半を欠失する。口唇部断面形は角形で、頂部に刻みが加えられた２個一組の突起が施されている。体部上半には斜行縄文が施された後、爪形文が加えられている。体部下半は無文である。３～５は斜行縄文が施され、３は波頂部に棒状工具による圧痕が加えられている。６・７は無文土器で、６は深鉢、７は坏形になるものと思われる。

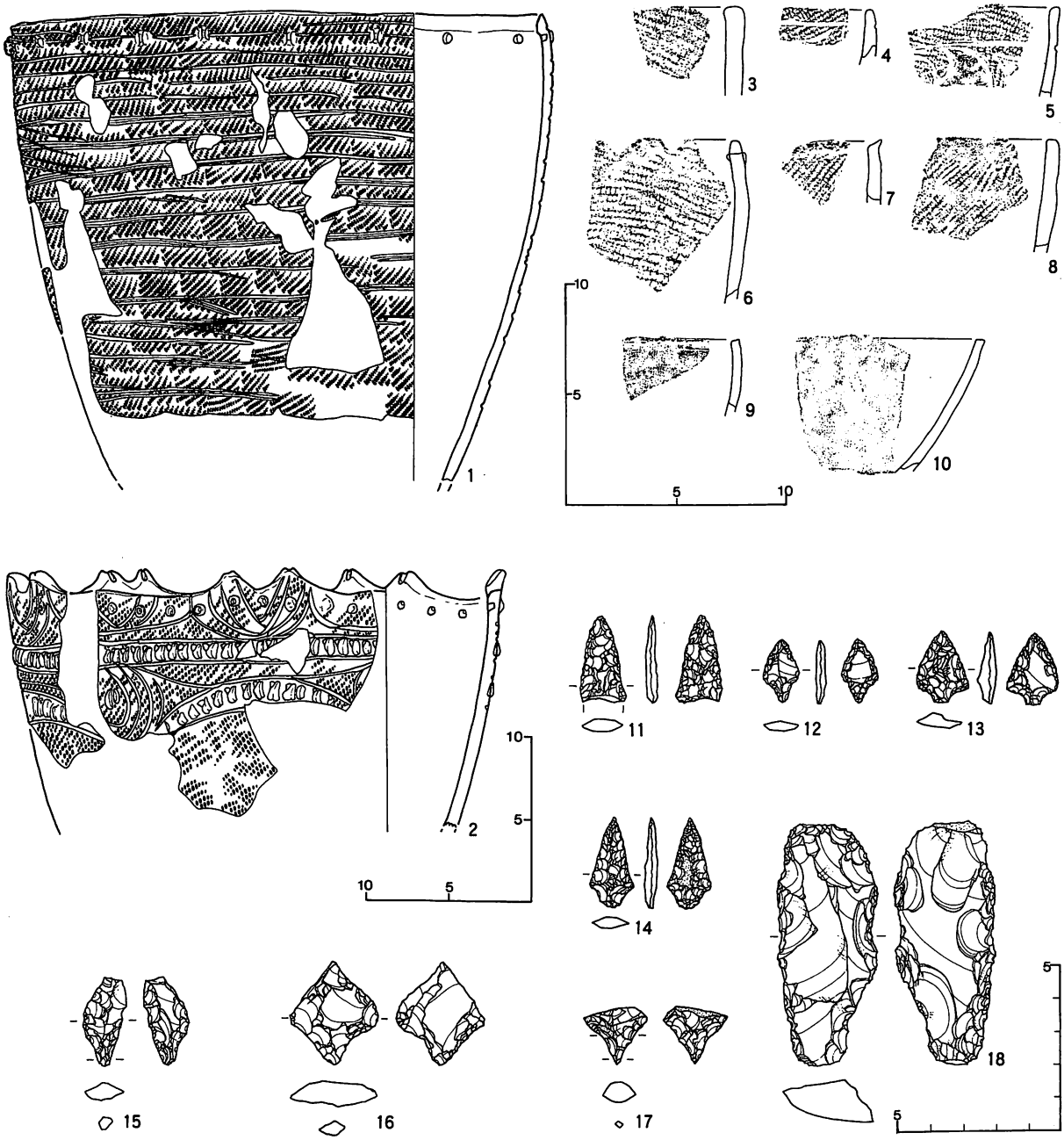
石　器　石器は579点出土し、石鏃９点、石鏃片３点、ドリル１点、スクレイパー１点、楔形石器２点、フレイク490点、石斧片18点、礫１点、礫片54点である。８～13は石鏃で、８・９・11～13は有茎凸基、10は有茎平基である。14はドリル、15はスクレイパー。16・17は楔形石器である。

土製品　土製品は３点出土し、土玉２点、耳栓１点があり、そのほかに焼成粘土塊１点がある。18・19は管状の土玉、20は三叉文状の沈線が施された耳栓である。

ＩＰ—130

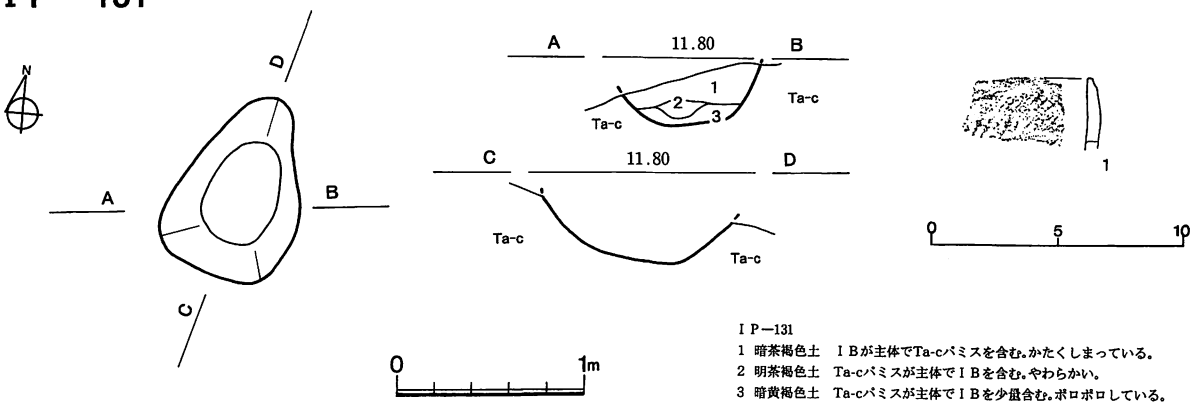


ＩＰ—130
1 暗茶褐色土　ＩＢが主体でTa-cパミスを少量含む。パサパサしている。
2 暗灰褐色土　ＩＢが主体でTa-cパミスを少量含む。
3 暗黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを少量含む。
4 暗茶褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを含む。
5 黒 褐 色 土　ＩＢが主体でTa-cパミスを含む。
6 暗 褐 色 土　ＩＢが主体でTa-cパミスを少量含む。
7 明灰褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを少量含む。しまりなし。
8 暗茶褐色土　ＩＢとⅡＢが主体でTa-d2パミスを少量含む。しまっている。



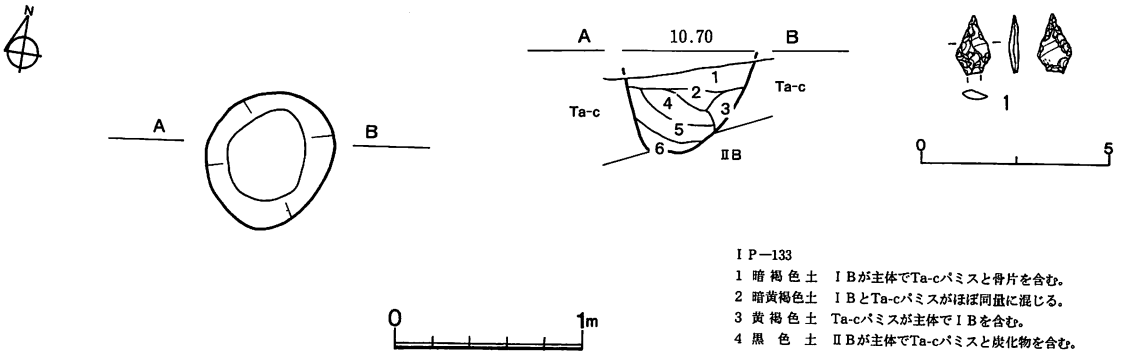
図Ⅲ—10　ＩＰ—130と出土遺物

ＩＰ—131



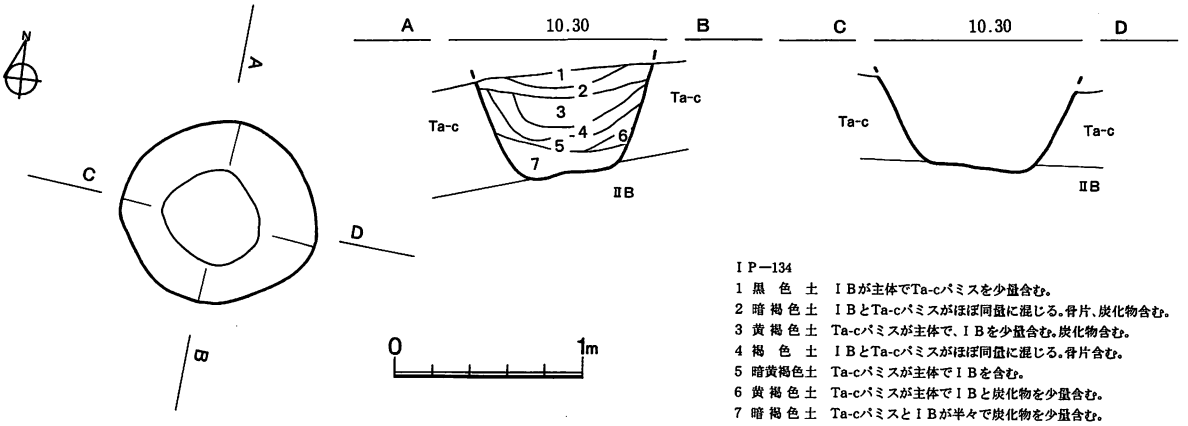
ＩＰ—131
1 暗茶褐色土　ＩＢが主体でTa-cパミスを含む。かたくしまっている。
2 明茶褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを含む。やわらかい。
3 暗黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを少量含む。ポロポロしている。

ＩＰ—133



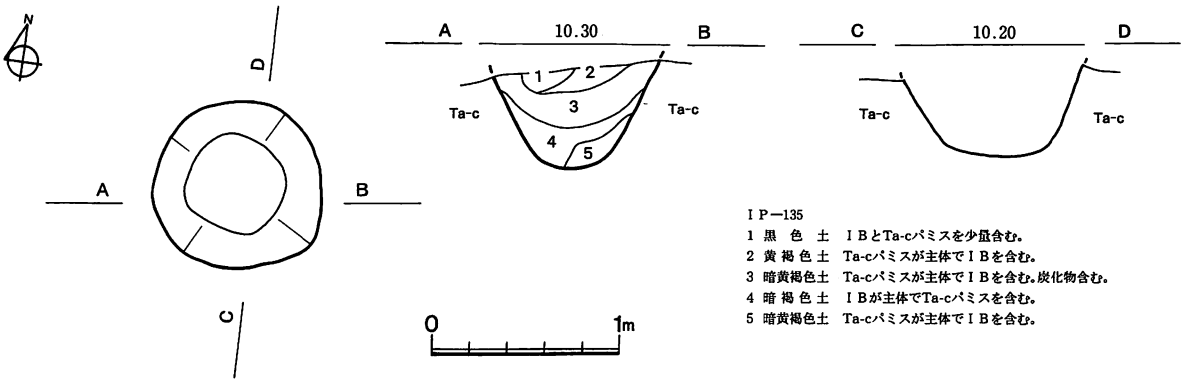
ＩＰ—133
1 暗褐色土　ＩＢが主体でTa-cパミスと骨片を含む。
2 暗黄褐色土　ＩＢとTa-cパミスがほぼ同量に混じる。
3 黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを含む。
4 黒　色　土　ⅡＢが主体でTa-cパミスと炭化物を含む。

ＩＰ—134



ＩＰ—134
1 黒　色　土　ＩＢが主体でTa-cパミスを少量含む。
2 暗褐色土　ＩＢとTa-cパミスがほぼ同量に混じる。骨片、炭化物含む。
3 黄褐色土　Ta-cパミスが主体で、ＩＢを少量含む。炭化物含む。
4 褐　色　土　ＩＢとTa-cパミスがほぼ同量に混じる。骨片含む。
5 暗黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを含む。
6 黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢと炭化物を少量含む。
7 暗褐色土　Ta-cパミスとＩＢが半々で炭化物を少量含む。

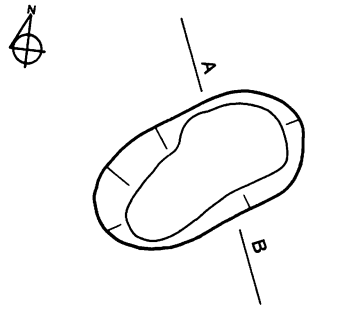
ＩＰ—135

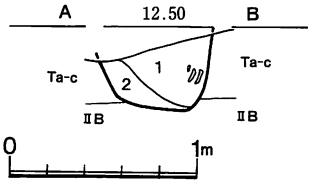


ＩＰ—135
1 黒　色　土　ＩＢとTa-cパミスを少量含む。
2 黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを含む。
3 暗黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを含む。炭化物含む。
4 暗褐色土　ＩＢが主体でTa-cパミスを含む。
5 暗黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを含む。

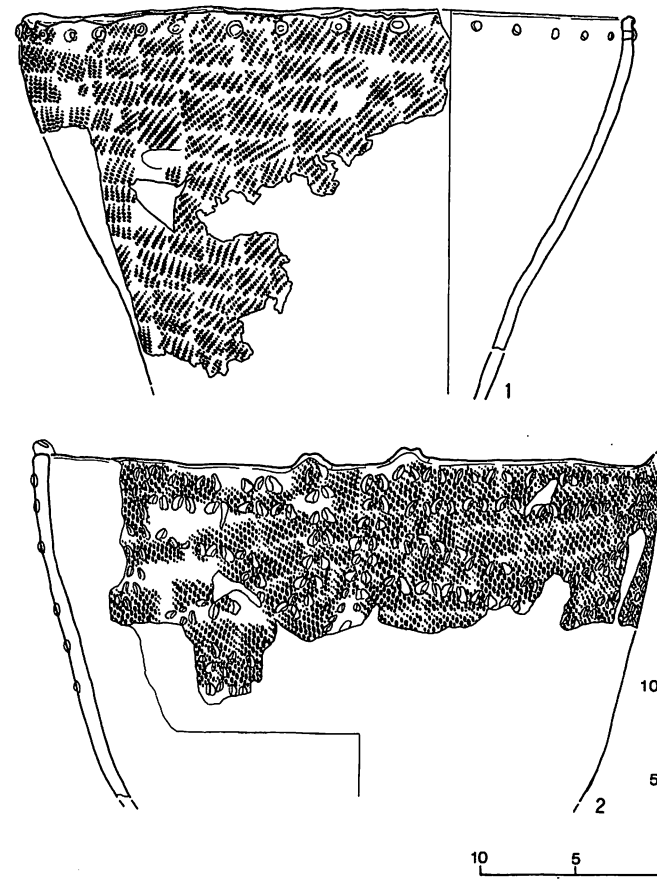
図Ⅲ—11　ＩＰ—131・133・134・135と出土遺物

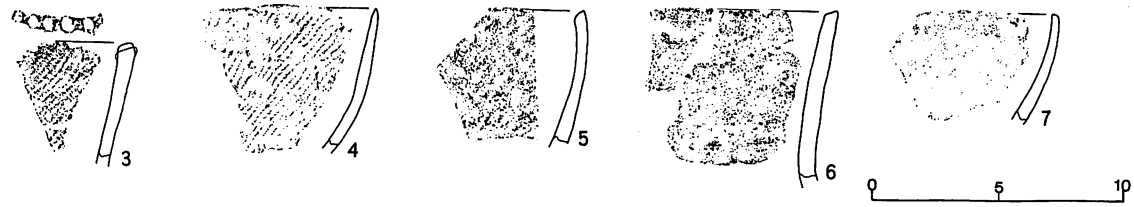
ＩＰ—132

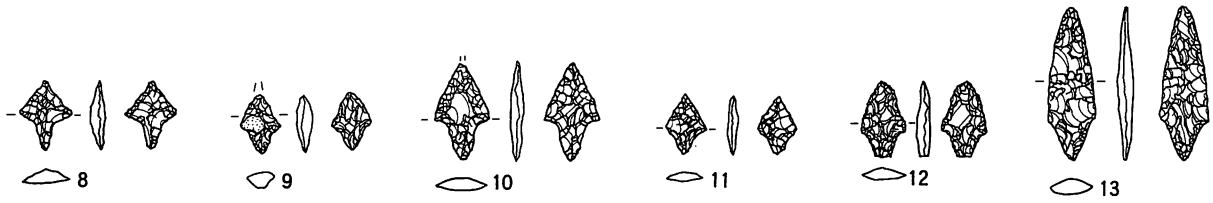


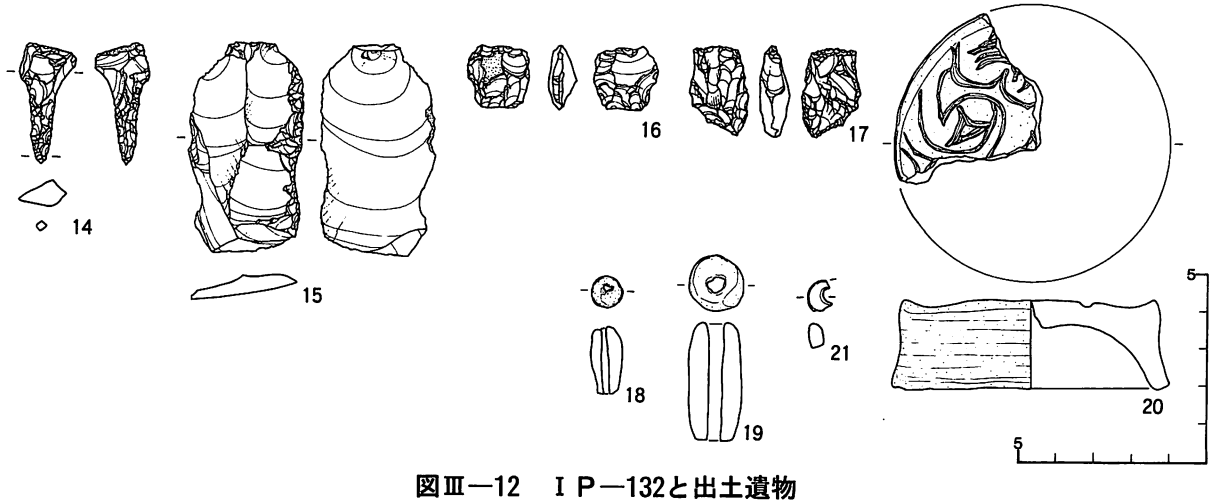


ＩＰ—132
1 黒褐色土　ＩＢが主体である土器片を多く含む。
2 暗茶褐色土　ＩＢが主体であるがTa-d２パミス、ⅡＢ粒子などを多く含む。









図Ⅲ—12　ＩＰ—132と出土遺物

石製品　石玉が３点出土し、いずれの破片資料である。21は欠損し、石材は橄欖岩である。
時　期　晩期末葉の頃と思われる。

ＩＰ－133（図Ⅲ－11）
位　置　E_1－65－91・E_1－65－92
平面形　円形
規　模　0.74×0.65/0.50×0.40/0.40
確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta－ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見し、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ⅱ黒層下約10cmの掘り込みを検出した。土層の堆積はやや複雑でＩＢ層が主体、６枚の覆土に区分することができた。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。
底　面　Ⅱ黒層上面につくられている。尖底に近い。
壁　面　やや急な立ち上がりである。
遺　物　すべて覆土出土である。
土　器　土器はＶ群が６点出土したが、小破片のため掲載できなかった。
石　器　石鏃が１点出土し、１は有茎凸基ないし菱形の石鏃である。
時　期　晩期末葉の頃と思われる。

ＩＰ－134（図Ⅲ－11）
位　置　E_1－65－82・E_1－65－91・E_1－65－92
平面形　円形
規　模　1.05×0.97/0.51×0.49/0.55
確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta－ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見し、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ⅡＢ層上面に至る掘り込みを検出した。土層の堆積は複雑で、Ta－ｃパミスとＩＢ層が主体、７枚の覆土に区分することができた。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。
底　面　ⅡＢ層上面を底面にしており、ほぼ平坦である。
壁　面　底面との境の明瞭な急な立ち上がりである。
遺　物　すべて覆土出土である。
土　器　土器はⅣ群ｃ類が２点出土したが小破片のため掲載できなかった。
石　器　石器は103点出土し、フレイク４点、礫片99点である。
時　期　晩期末葉の頃と思われる。

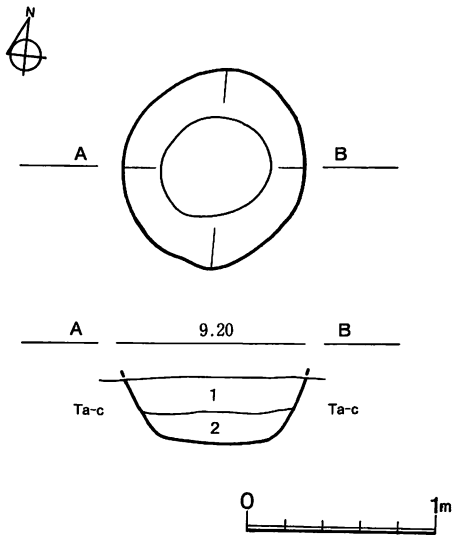
ＩＰ－135（図Ⅲ－11）
位　置　E_1－65－92
平面形　円形
規　模　0.91×0.90/0.55×0.55/0.53
確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta－ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見し、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ⅡＢ層上面に至る掘り込みを検出した。土層の堆積は単純で、Ta－ｃパミスとＩＢ層が主体、５枚の覆土に区分することができた。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。

底　面　ⅡＢ層上面を底面にしており、丸底である。
壁　面　底面との境が不明瞭なゆるやかな立ち上がりである。
遺　物　遺物は出土していない。
時　期　不明ではあるが、晩期末葉の可能性がある。

ＩＰ－136（図Ⅲ－13）
位　置　E_1－65－73
平面形　円形
規　模　1.05×0.97/0.52×0.56/0.35
確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta-c層上面にて黒い落ち込みを発見し、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ta-c層下30cmの掘り込みを検出した。土層の堆積は単純で、Ta-cパミスとＩＢ層が主体、２層の覆土に区分することができた。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。
底　面　ⅡＢ層上面を底面にしており、丸底である。
壁　面　底面との境が不明瞭なゆるやかな立ち上がりである。
遺　物　遺物は出土していない。
時　期　不明ではあるが、晩期末葉の可能性がある。

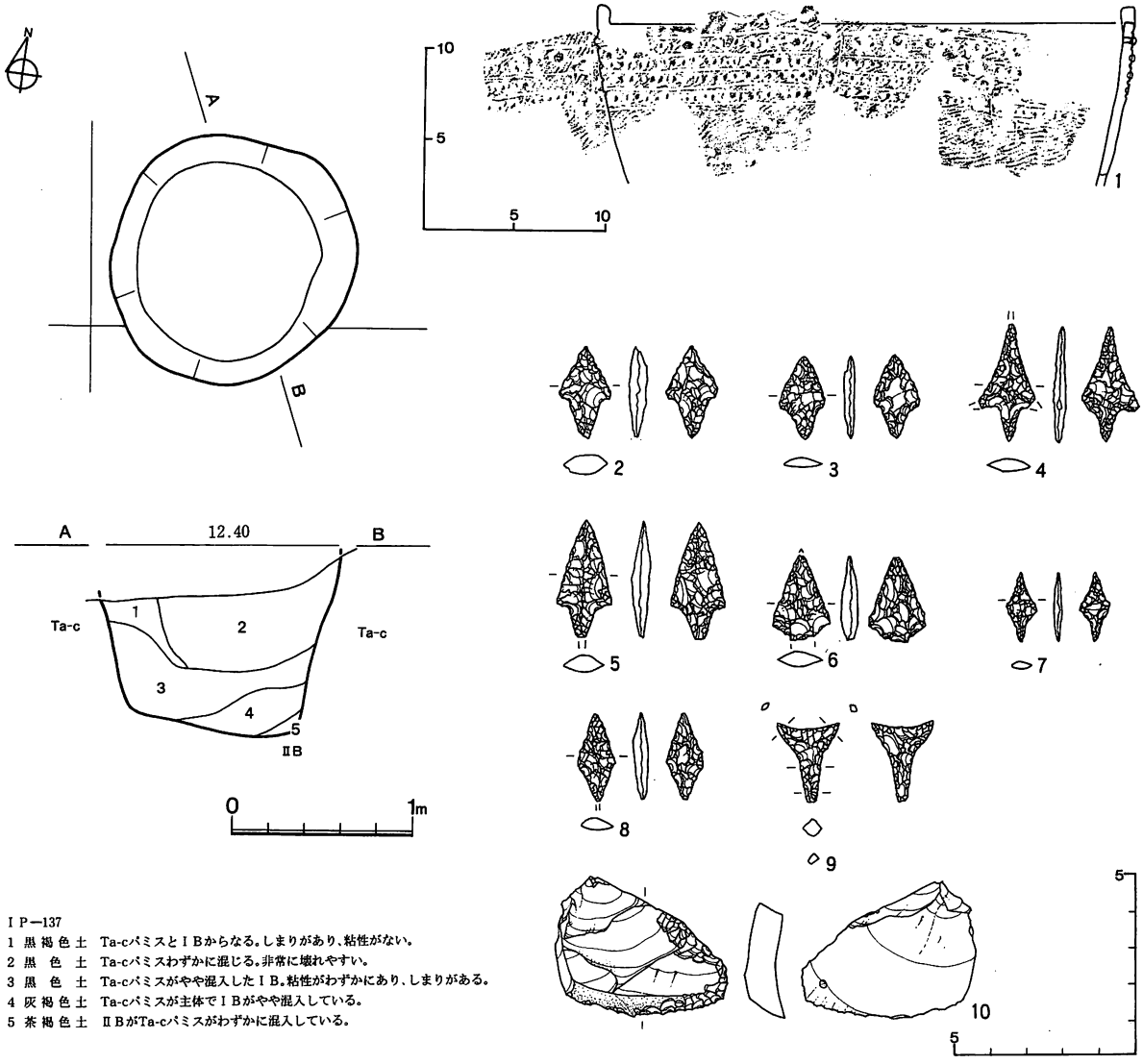
ＩＰ－137（図Ⅲ－13）
位　置　E_2－65－00・E_2－65－01
平面形　円形
規　模　1.39×1.36/1.11×1.01/0.78
確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta－ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見し、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ⅡＢ層下約10cmの掘り込みを検出した。土層の堆積は単純で、Ta－ｃパミスとＩＢ層が主体、４層の覆土に区分することができた。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。
底　面　ⅡＢ層中に底面をつくっており、基層の傾斜に沿って平坦である。
壁　面　底面との境が明瞭な急な立ち上がりである。
遺　物　すべて覆土出土である。
土　器　土器は2,331点出土し、Ⅳ群ｃ類36点、Ⅴ群ｃ類135点、Ⅴ群2,160点である。１はⅣ群ｃ類で、覆土から１点出土し、調査区65－00のⅡＢ－１層１点、同ⅡＢ－２層７点と接合した。ⅡＢ層出土として扱うべきものである。体部下半を欠失する。口唇部断面形は角形で、口唇部に３個一組の突起が施されている。器面に斜行縄文が施された後、口縁部を部分的に分割する縦位の沈線文・貼瘤が施され、さらに沈線に挟まれた４段の半截竹管状工具による刺突文が加えられている。そして、口唇部直下には突き瘤が加えられている。器壁は薄い。
石　器　石器は292点出土し、石鏃７点、ドリル１点、スクレイパー１点、フレイク255点、礫片29点である。２～８は石鏃で、２・３は正三角形の有茎凸基、４～７は二等辺三角形の有茎のもので、４は有茎凹基、５～７は有茎凸基である。８は有茎凸基ないし菱目状のものである。８はドリル、10は片面周縁加工のスクレイパーである。
時　期　晩期末葉のⅤ群ｃ類の頃。

ＩＰ—136



ＩＰ—136
1 黒 褐 色 土　ＩＢが主体でTa-cパミスを少量含む。
2 暗茶褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを含む。

ＩＰ—137



ＩＰ—137
1 黒 褐 色 土　Ta-cパミスとＩＢからなる。しまりがあり、粘性がない。
2 黒　色　土　Ta-cパミスわずかに混じる。非常に壊れやすい。
3 黒　色　土　Ta-cパミスがやや混入したＩＢ。粘性がわずかにあり、しまりがある。
4 灰 褐 色 土　Ta-cパミスが主体でＩＢがやや混入している。
5 茶 褐 色 土　ⅡＢがTa-cパミスがわずかに混入している。

図Ⅲ—13　ＩＰ—136・137と出土の遺物

ＩＰ―138（図Ⅲ―14）

位　置　E_2―65―00

平面形　円形

規　模　0.61×0.57/0.39×0.42/0.52

確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta―ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見し、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ⅡＢ層下約10cmの掘り込みを検出した。土層の堆積は単純で、Ta―ｃパミスとＩＢ層が主体、３層の覆土に区分することができた。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。

底　面　ⅡＢ層中に底面をつくっており、ほぼ平坦である。

壁　面　底面との境が明瞭な急な立ち上がりである。

遺　物　すべて覆土出土である。

土　器　土器は79点出土し、Ⅳ群ｃ類６点、Ⅴ群ｃ類55点、Ⅴ群18点である。１はⅣ群ｃ類の口縁部、２はⅤ群ｃ類の大型破片で、口唇部は切り出し状で内面に縄文が施されている。器面に斜行縄文を施した後、口縁部を沈線で区画し、縦位の「Ｓ」字状の沈線が加えられている。

石　器　石器はフレイク４点出土した。

時　期　晩期末葉のⅤ群ｃ類の頃。

ＩＰ―139（図Ⅲ―14）

位　置　E_2―65―00

平面形　円形

規　模　0.57×0.55/0.28×0.28/0.38

確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta―ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見し、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ta―ｃ層下約35cmほどの掘り込みを検出した。土層の堆積は単純で、Ta―ｃパミスとＩＢ層が主体、４層の覆土に区分することができた。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。

底　面　Ta―ｃ層中に底面をつくっており、丸底である。

壁　面　底面との境が不明瞭なゆるやかな立ち上がりである。

遺　物　すべて覆土出土である。

土　器　土器は31点出土し、Ⅳ群ｃ類１点、Ⅴ群ｃ類17点、Ⅴ群13点である。１はⅤ群土器の口縁部で、口唇断面形は角形で、斜行縄文が施されている。他の資料は小破片の胴部で掲載できなかった。

石　器　石器は出土していない。

時　期　晩期末葉のⅤ群ｃ類の頃。

ＩＰ―140（図Ⅲ―14）

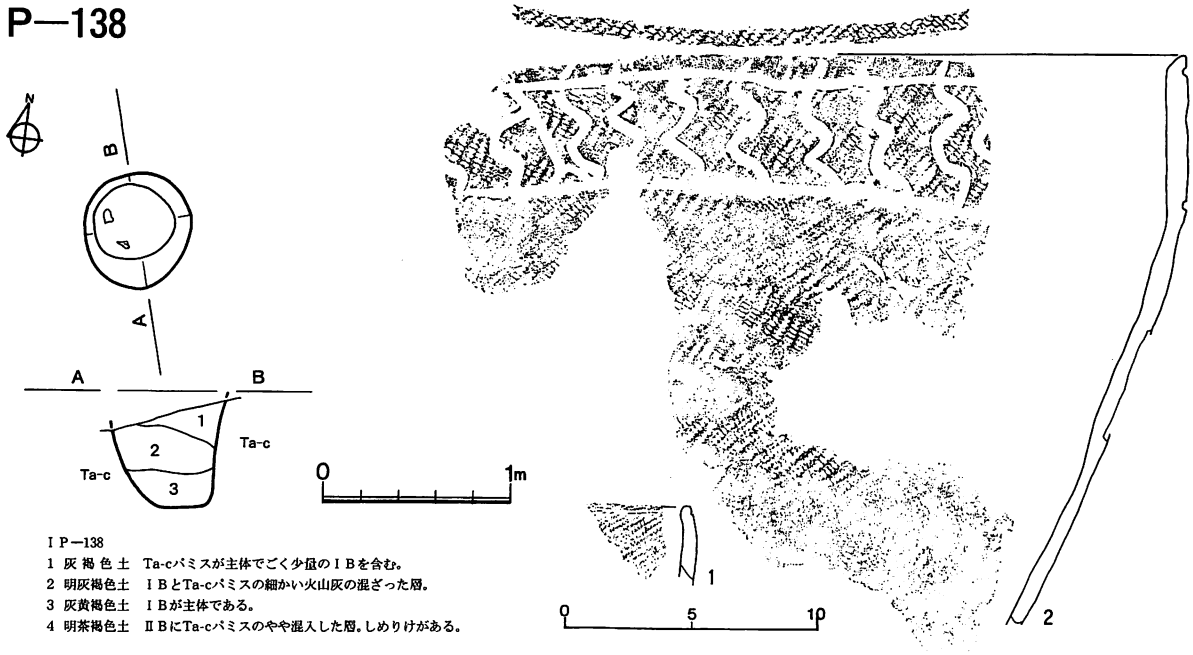
位　置　E_2―65―00・E_2―65―10

平面形　円形

規　模　0.72×0.71/0.39×0.28/0.56

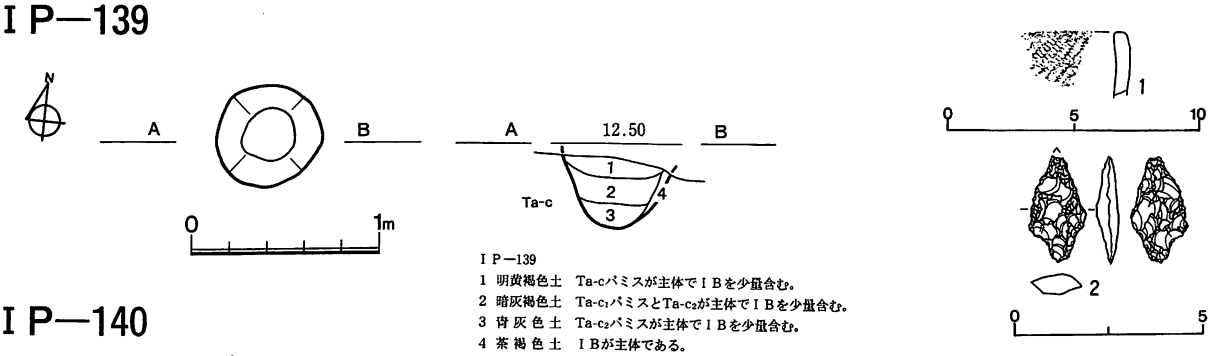
確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta―ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見し、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ta―ｃ層下約50ｃｍほどの掘り込みを検出した。土層の堆積は単

ＩＰ—138



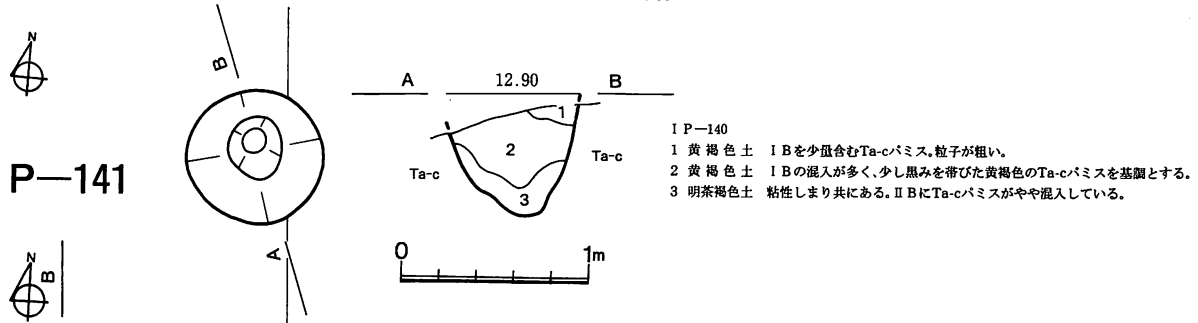
ＩＰ—138
1 灰褐色土　Ta-cパミスが主体でごく少量のＩＢを含む。
2 明灰褐色土　ＩＢとTa-cパミスの細かい火山灰の混ざった層。
3 灰黄褐色土　ＩＢが主体である。
4 明茶褐色土　ⅡBにTa-cパミスのやや混入した層。しめりけがある。

ＩＰ—139



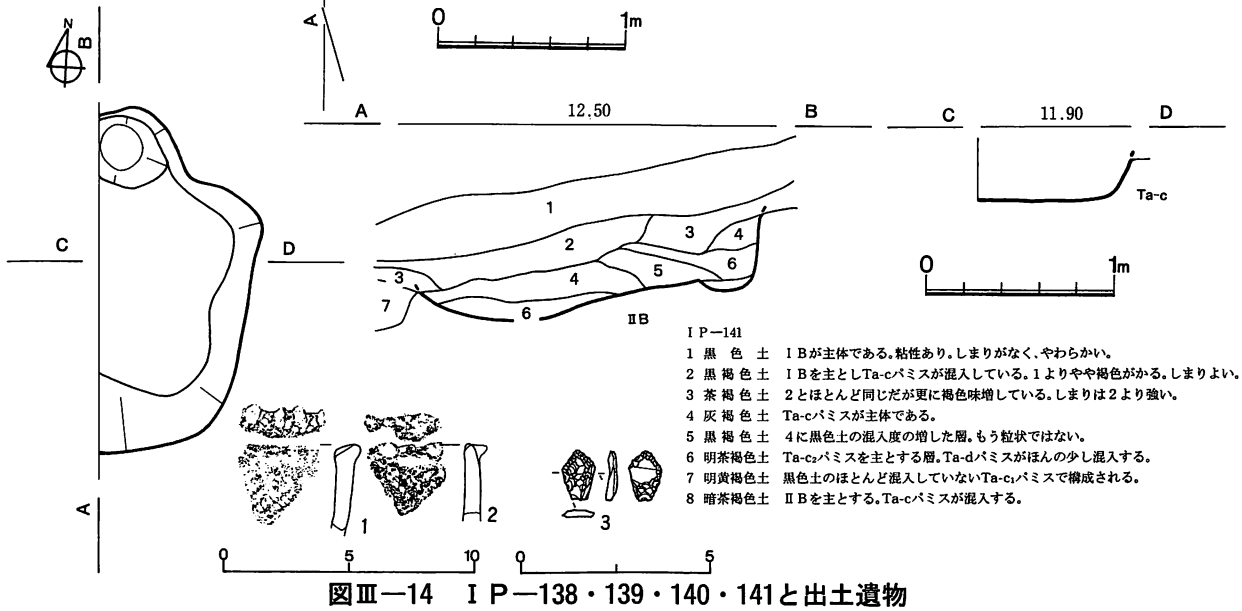
ＩＰ—139
1 明黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを少量含む。
2 暗灰褐色土　Ta-c$_1$パミスとTa-c$_2$が主体でＩＢを少量含む。
3 青灰色土　Ta-c$_2$パミスが主体でＩＢを少量含む。
4 茶褐色土　ＩＢが主体である。

ＩＰ—140



ＩＰ—140
1 黄褐色土　ＩＢを少量含むTa-cパミス。粒子が粗い。
2 黄褐色土　ＩＢの混入が多く、少し黒みを帯びた黄褐色のTa-cパミスを基調とする。
3 明茶褐色土　粘性しまり共にある。ⅡBにTa-cパミスがやや混入している。

ＩＰ—141



ＩＰ—141
1 黒　色　土　ＩＢが主体である。粘性あり。しまりがなく、やわらかい。
2 黒褐色土　ＩＢを主としTa-cパミスが混入している。1よりやや褐色がかる。しまりよい。
3 茶褐色土　2とほとんど同じだが更に褐色味増している。しまりは2より強い。
4 灰褐色土　Ta-cパミスが主体である。
5 黒褐色土　4に黒色土の混入度の増した層。もう粒状ではない。
6 明茶褐色土　Ta-c$_2$パミスを主とする層。Ta-dパミスがほんの少し混入する。
7 明黄褐色土　黒色土のほとんど混入していないTa-c$_1$パミスで構成される。
8 暗茶褐色土　ⅡBを主とする。Ta-cパミスが混入する。

図Ⅲ—14　ＩＰ—138・139・140・141と出土遺物

純で、Ta－ｃパミスとＩＢ層が主体、３層の覆土に区分することができた。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。

底　面　Ta－ｃ層中に底面をつくっており、丸底である。中央に10cmほどの小さい掘り込みをともなう。

壁　面　底面との境が不明瞭なゆるやかな立ち上がりである。

遺　物　すべて覆土出土である。

土　器　土器は17点出土し、Ⅳ群ｃ類１点、Ⅴ群16点である。いずれも小破片で掲載できなかった。

時　期　晩期末葉の頃と思われる。

ＩＰ－141（図Ⅲ－14）

位　置　E_2－65－11

平面形　不整形

規　模　1.81×（0.89）/1.39×（0.73）/0.42

確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta－ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見した。平面形の大部分は調査区外にのびており、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ⅡＢ層下約10cmの掘り込みを検出した。土層の堆積はやや複雑で、Ta－ｃパミスとＩＢ層が主体、５層の覆土に区分することができた。掘り込み面はＩＢ層中層と思われる。

底　面　ⅡＢ層中に底面をつくっているが、基層の傾斜に沿って平坦である。北側に深さ10cmほどの掘り込みをともなう。

壁　面　底面との境が不明瞭なゆるやかな立ち上がりである。

遺　物　すべて覆土出土である。

土　器　土器は54点出土し、すべてⅤ群である。１の口唇部内面に縄文を施した後、棒状工具の刻みが加えられている。胴部には斜行縄文が施されている。２の口唇部内面に縄の圧痕が加えられている。胴部は斜行縄文である。

石　器　石器は６点出土し、石鏃１点、フレイク１点、礫片１点である。３は石鏃で茎部を欠失する。未成品ないし破損品の可能性もある。

時　期　晩期末葉の頃と思われる。

ＩＰ－142（図Ⅲ－15）

位　置　E_1－65－93・E_1－65－94

平面形　南北に延びる楕円形

規　模　1.83×1.47/1.05×0.78/0.77

確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta－ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見し、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ⅡＢ層を約20cmほど掘り込んだ遺構であり、底面付近に人骨遺体をともなう土壙墓であることがわかった。土層の堆積はやや複雑で、Ta－ｃパミスとＩＢ層が主体、８層の覆土に区分することができた。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。

埋葬人骨　糊状ではあったが、残存状況が良好で、明瞭に輪郭をとらえることができた。仰向けで、頭位方向は南である。脚部、腰などの部分が折り重なって確認されたので、屈葬姿勢をとるものと思われる。また、頭部周辺にはわずかではあったが、数cmほどのブロック状のベンガラが散布された形跡が見られた。

底　面　ⅡＢ層中に底面をつくっており、人骨遺体周辺を中心に平坦面になっている。

壁　面　底部付近は垂直な壁面であるが、上部３層間はゆるやかな壁面をもち、上面に向かって開放されたかたちになっている。

遺　物　すべて覆土出土である。

土　器　土器は685点で、Ⅲ群ｂ－１類２点、Ⅳ群ｂ類１点、Ⅳ群ｃ類40点、Ⅴ群ｃ類617点、Ⅴ群25点である。１はⅣ群ｃ類で、覆土出土の資料と中央トレンチⅡＢ層出土の資料とが接合した。本来はⅡＢ層出土として扱うべきものである。口縁部は平縁で、斜行縄文を施したのち、口縁部に沈線文と突瘤文が加えられている。２・３はⅤ群ｃ類で、２は口縁部に斜行縄文が施されたのち、口縁部には縦位の沈線文を、口唇部内面には縦位の縄の圧痕が加えられている。４はⅤ群の無文土器である。

石　器　石器は石鏃１点、スクレイパー２点、フレイク101点、石斧片１点、礫片１点である。２は有茎凸基の石鏃、６・７は両面加工のスクレイパーである。

時　期　晩期末葉のⅤ群ｃ類の頃。

ＩＰ－143（図Ⅲ－15）

位　置　E_2－65－01

平面形　円形

規　模　0.57×0.51/0.43×0.42/0.38

確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta－ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見し、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ⅡＢ層上面に至る掘り込みを検出した。土層の堆積は単純で、Ta－ｃパミスとＩＢ層が主体、３層の覆土に区分することができた。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。

底　面　ⅡＢ層上面を底面にしており、ほぼ平坦である。

壁　面　底面との境が明瞭な急な立ち上がりである。

遺　物　遺物は５点出土した。いずれも覆土出土である。

土　器　土器はⅤ群ｃ類５点出土した。しかし、小破片のため掲載できなかった。

石　器　石器はフレイク１点、礫片１点である。

時　期　晩期末葉のⅤ群ｃ類の頃。

ＩＰ－144　（図Ⅲ－16）

位　置　E_1－65－80

平面形　東西に延びる楕円形

規　模　1.28×0.93/0.68×0.44/0.40

確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta－ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見し、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ⅡＢ層を床面にした掘り込みを検出した。土層の堆積は単純で、Ta－ｃパミスとＩＢ層が主体、２層の覆土に区分することができた。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。

底　面　ⅡＢ層上面を底面にしており、ほぼ平坦である。

壁　面　底面との境が不明瞭な急な立ち上がりである。

遺　物　遺物は22点出土した。

土　器　土器はⅤ群ｃ類22点出土したが小破片のため掲載できなかった。

石　器　石器はU・フレイクが１点出土している。
時　期　晩期末葉のＶ群ｃ類の頃。

ＩＰ―145（図Ⅲ―15）
位　置　E_2―65―01
平面形　円形
規　模　0.65×0.48/0.18×0.10/0.35
確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta―ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見し、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ta―ｃ層下約30cmの掘り込みを検出した。土層の堆積は単純で、Ta―ｃパミスとＩＢ層が主体、３層の覆土に区分することができた。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。
底　面　ⅡＢ層上面を底面にしているが、尖底に近い。
壁　面　底面との境が不明瞭な急な立ち上がりである。
遺　物　土器が覆土から24点出土した。
土　器　土器はＶ群ｃ類22点、Ｖ群２点である。小破片のため掲載できなかった。
時　期　晩期末葉のＶ群ｃ類の頃。

ＩＰ―146（図Ⅲ―15）
位　置　E_2―65―00・E_1―65―90
平面形　円形
規　模　0.49×0.47/0.32×0.32/0.47
確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta―ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見し、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ⅡＢ層下約10cmの掘り込みを検出した。土層の堆積は複雑で、Ta―ｃパミスとＩＢ層が主体、５層の覆土に区分することができた。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。
底　面　ⅡＢ層上面を底面にしているが、尖底に近い。
壁　面　底面との境が不明瞭な急な立ち上がりである。
遺　物　遺物は24点出土した。いずれも覆土出土である。
土　器　土器は19点出土し、Ｖ群ｃ類18点、Ｖ群１点である。小破片のため掲載できなかった。
石　器　石器は５点出土し、フレイク４点、礫１点である。
時　期　晩期末葉のＶ群ｃ類の頃。

ＩＰ―147（図Ⅲ―15）
位　置　E_2―65―11
平面形　円形
規　模　0.51×0.48/0.22×0.20/0.27
確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta―ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見し、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ⅡＢ層に至る掘り込みを検出した。土層の堆積は単純で、Ta―ｃパミスとＩＢ層が主体、３層の覆土に区分することができた。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。
底　面　ⅡＢ層上面を底面にしており、ほぼ平坦である。

壁　面　底面との境が明瞭な急な立ち上がりである。
遺　物　遺物は出土しなかった。
時　期　不明である。

ＩＰ―148（図Ⅲ―16）
位　置　E_2―65―10
平面形　円形
規　模　0.32×0.22/0.08×0.07/0.63
確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta－ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見し、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ⅡＢ層下約40cmの掘り込みを検出した。土層の堆積は複雑で、Ta－ｃパミスとＩＢ層が主体、６層の覆土に区分することができた。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。
底　面　ⅡＢ層中に底面をつくっているが、尖底に近い。
壁　面　底面との境が不明瞭な急な立ち上がりである。
遺　物　土器１点が覆土から出土した。
土　器　Ⅴ群ｃ類１点出土したが小破片のため掲載できなかった。
時　期　晩期末葉の頃。

ＩＰ―149（図Ⅲ―16）
位　置　E_2―65―10
平面形　円形
規　模　0.75×0.73 / 0.55×0.54 / 0.54
確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ｔａ－ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見し、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ＩＰ―150とともにⅡＢ層下約10cmの掘り込みを検出した。一部はＩＰ―150により失われているが、これよりも新しいものと思われる。土層の堆積は複雑で、Ta－ｃパミスとＩＢ層が主体、６層の覆土に区分することができた。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。
底　面　ⅡＢ層上面に平坦な底面をつくっている。
壁　面　底面との境が明瞭な急な立ち上がりである。
遺　物　遺物は４点出土した。いずれも覆土出土である。
土　器　土器はⅣ群ｃ類１点、Ⅴ群ｃ類１点である。小破片のため掲載できなかった。
石　器　石器はフレイク１点出土した。
時　期　晩期末葉のⅤ群ｃ類の頃。

ＩＰ―150（図Ⅲ―16）
位　置　E_2―65―10
平面形　円形
規　模　0.61×（0.52）/0.20×0.20/0.52
確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta－ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見し、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ＩＰ―149に隣接して、ⅡＢ層上面を底面にした掘り込みを検出した。一部はＩＰ―149によってプランが失われており、これより古いものと思われる。土層の堆積は

単純で、Ta－ｃパミスとＩＢ層が主体、２層の覆土に区分することができた。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。

底　面　ⅡＢ層上面を底面にしており、平坦である。

壁　面　底面との境が明瞭な急な立ち上がりである。

遺　物　遺物は９点出土した。いずれも覆土出土である。

土　器　土器は６点出土し、Ⅴ群ｃ類５点、Ⅴ群１点である。小破片のため掲載できなかった。

石　器　石器は３点出土し、フレイク１点、礫片２点である。

時　期　晩期末葉のⅤ群ｃ類の頃。

ＩＰ－151（図Ⅲ－16）

位　置　E_2－65－11

平面形　円形

規　模　0.57×0.52/0.39×0.37/0.32

確認・調査・土層　ＩＢ層の掘り下げ後、Ta－ｃ層上面にて黒い落ち込みを発見し、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、ⅡＢ層上面に至る掘り込みを検出した。土層の堆積は単純で、Ta－ｃパミスとＩＢ層が主体、覆土は１層のみである。掘り込み面はＩＢ層下層と思われる。

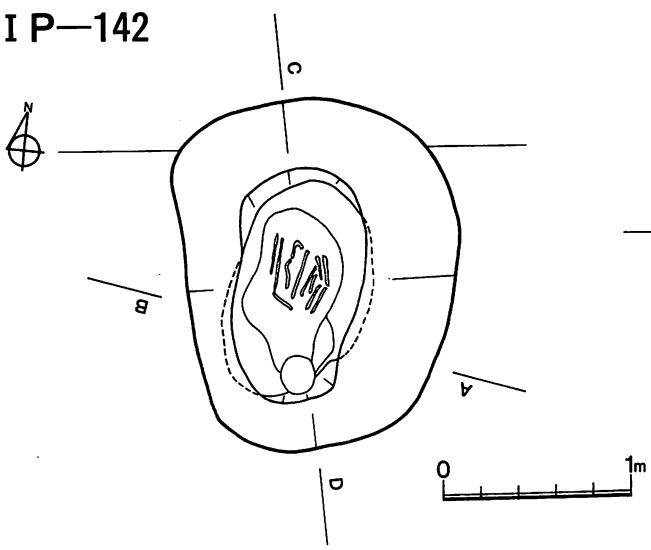
底　面　ⅡＢ層上面を底面にして、平坦である。

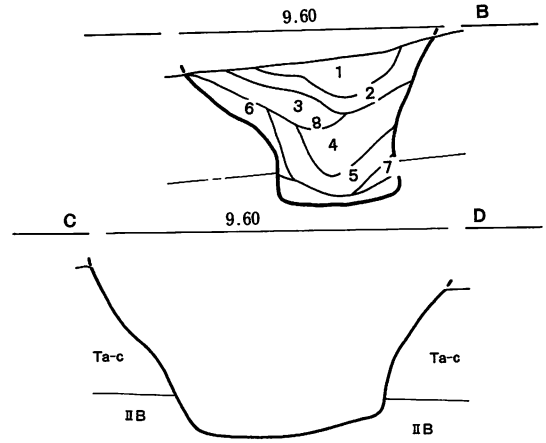
壁　面　底面との境が明瞭な、急な立ち上がりである。

遺　物　遺物は出土しなかった。

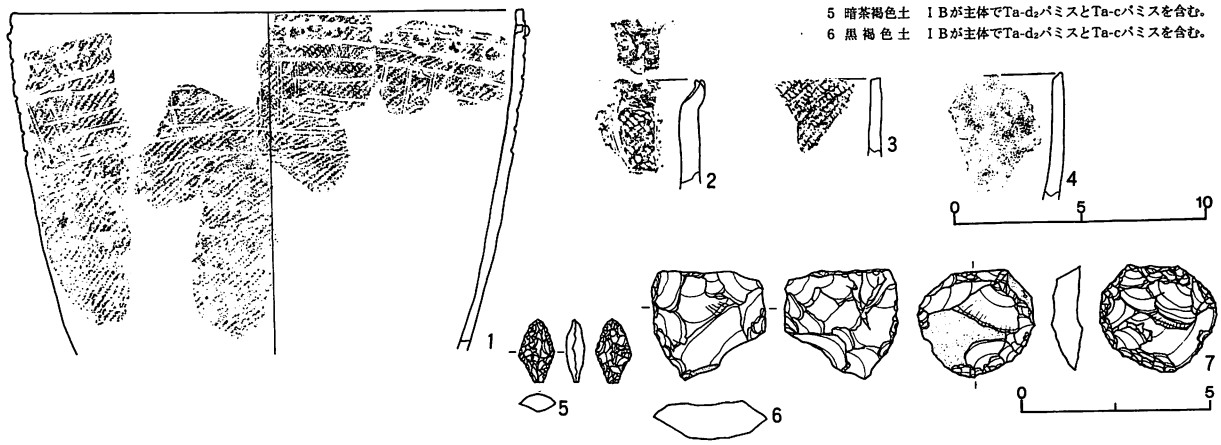
時　期　掘り込み面より、縄文晩期の頃と思われる。

ＩＰ—142

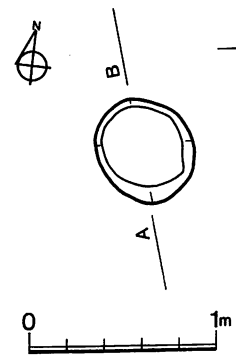


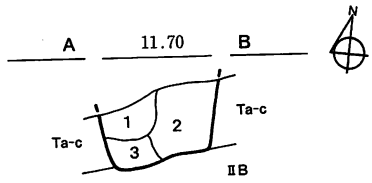


ＩＰ—142
1 灰 褐 色 土　Ta-c_1が主体でＩＢを含む。
2 明茶褐色土　ＩＢが主体でTa-c_1パミスとTa-d_2パミスを含む。
3 暗茶褐色土　ＩＢが主体でTa-d_2パミスとTa-c_1パミスを含む。
4 明 茶 色 土　Ta-d_2が主体でⅡＢとTa-cパミスを少量含む。
5 暗茶褐色土　ＩＢが主体でTa-d_2パミスとTa-cパミスを含む。
6 黒 褐 色 土　ＩＢが主体でTa-d_2パミスとTa-cパミスを含む。



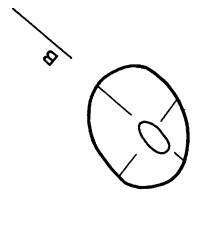
ＩＰ—143

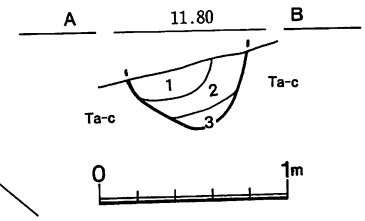




ＩＰ—143
1 黒 褐 色 土　ＩＢが主体でTa-cパミスを含む。しまっている。
2 明 褐 色 土　Ta-cパミスが主体でＩＢを少量含む。しまりない。
3 暗茶褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを含む。しまりはよい。

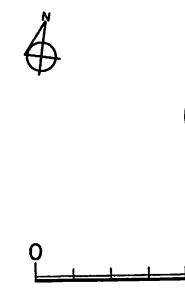
ＩＰ—145

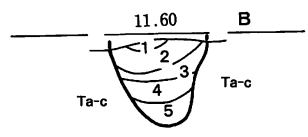




ＩＰ—145
1 暗茶褐色土　ＩＢが主体でTa-c_1パミスを含む。
2 灰 褐 色 土　Ta-c_1パミスが主体でＩＢを含む。
3 暗黄褐色土　Ta-c_2パミスが主体でＩＢ、ⅡＢを含む。

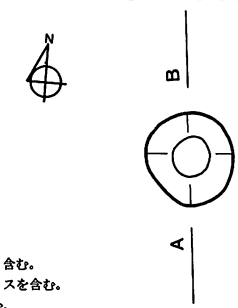
ＩＰ—146

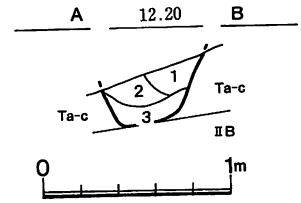




ＩＰ—146
1 暗茶褐色土　ＩＢが主体である。
2 灰 褐 色 土　ＩＢが主体でTa-cパミスを多く含む。
3 黒 褐 色 土　ＩＢが主体でわずかにTa-cパミスを含む。
4 灰 褐 色 土　Ta-cが主体で、ＩＢ、ⅡＢを含む。
5 黒 褐 色 土　ＩＢが主体でTa-cパミスを含む。

ＩＰ—147

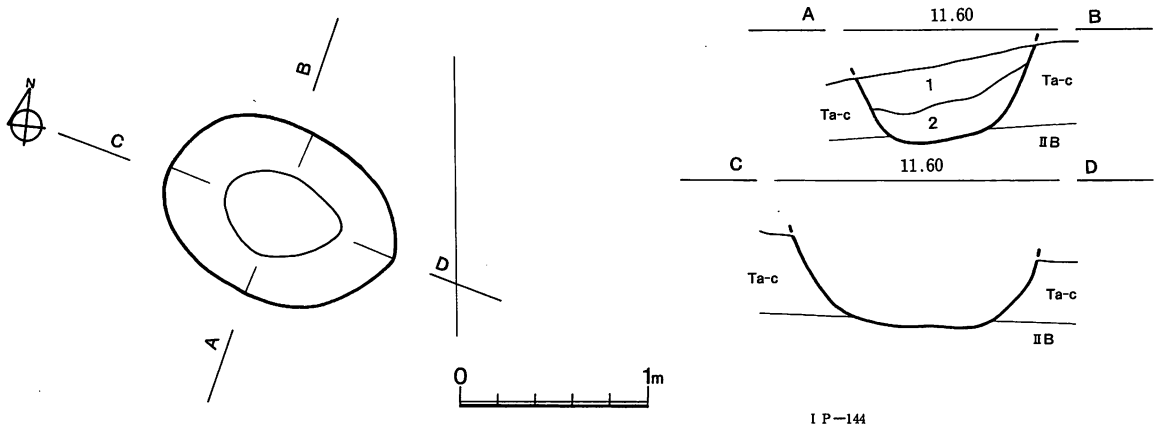




ＩＰ—147
1 茶 褐 色 土　ＩＢが主体でTa-cパミスを少量含む。
2 黒 褐 色 土　ＩＢが主体でTa-cパミスを多く含む。
3 暗黄褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢ、ⅡＢを含む。

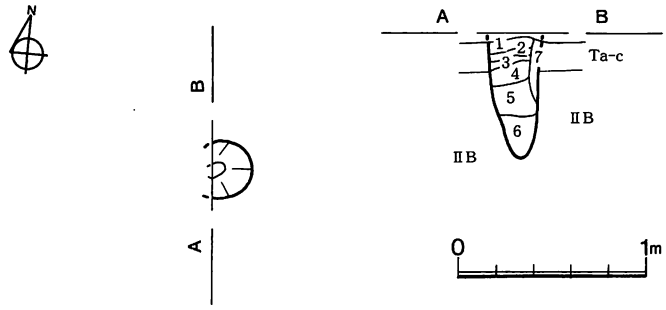
図Ⅲ—15　ＩＰ—142・143・145・146・147と出土遺物

ＩＰ—144



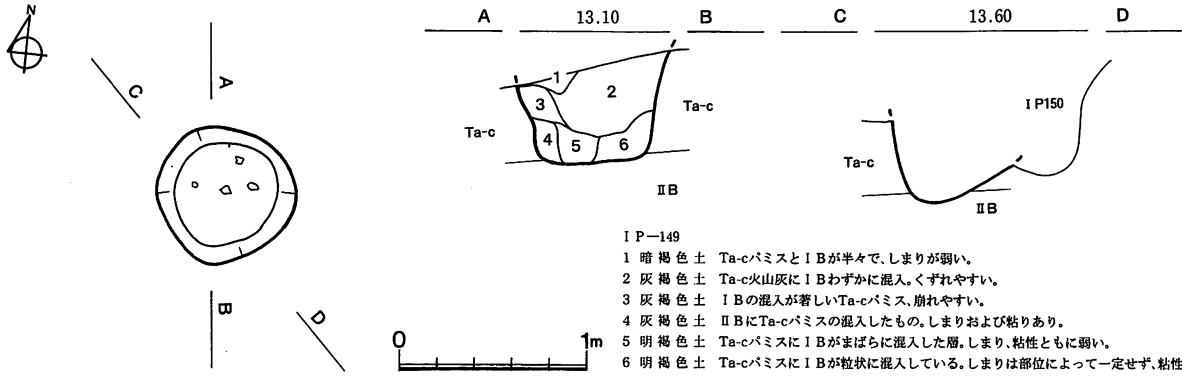
ＩＰ—144
1 黒 褐 色 土　ＩＢが主体でTa-cパミス、Ta-d_2パミスを少量含む。
2 明黄褐色土　Ta-d_2パミスを多く含む。

ＩＰ—148



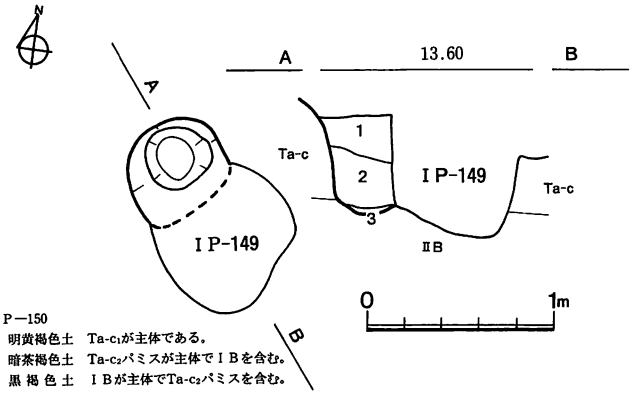
ＩＰ—148
1 黒　色　土　ＩＢが主体である。
2 黒 褐 色 土　ＩＢが主体でTa-cパミスを含む。
3 黒 褐 色 土　ＩＢが主体でTa-cパミスを少量含む。
4 暗茶褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢを含む。
5 暗黄褐色土　Ta-cパミスが主体でⅡB、Ta-d_2パミスを含む。
6 黄 褐 色 土　ⅡB、Ta-d_2パミスが混在する。
7 明茶褐色土　ＩＢが主体である。

ＩＰ—149



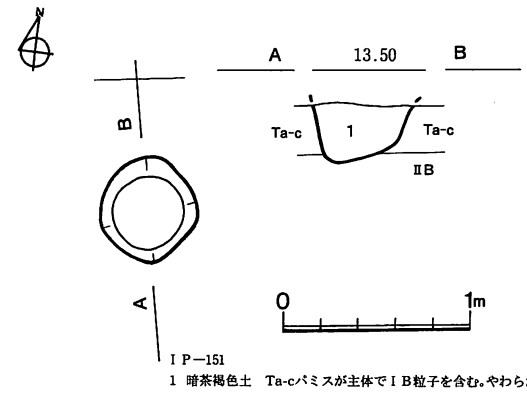
ＩＰ—149
1 暗 褐 色 土　Ta-cパミスとＩＢが半々で、しまりが弱い。
2 灰 褐 色 土　Ta-c火山灰にＩＢわずかに混入。くずれやすい。
3 灰 褐 色 土　ＩＢの混入が著しいTa-cパミス、崩れやすい。
4 灰 褐 色 土　ⅡBにTa-cパミスの混入したもの。しまりおよび粘りあり。
5 明 褐 色 土　Ta-cパミスにＩＢがまばらに混入した層。しまり、粘性ともに弱い。
6 明 褐 色 土　Ta-cパミスにＩＢが粒状に混入している。しまりは部位によって一定せず、粘性あり。

ＩＰ—150



ＩＰ—150
1 明黄褐色土　Ta-c_1が主体である。
2 暗茶褐色土　Ta-c_2パミスが主体でＩＢを含む。
3 黒 褐 色 土　ＩＢが主体でTa-c_2パミスを含む。

ＩＰ—151



ＩＰ—151
1 暗茶褐色土　Ta-cパミスが主体でＩＢ粒子を含む。やわらかい。

図Ⅲ—16　ＩＰ—144・148・149・150・151

(3) フレイク集中区　(図Ⅲ—17)

位　置　E_1—65—51

規　模　フレイク約100点

特　徴　ⅠB層の掘り下げ途中、Ta—c層上面付近にて確認されたので、検出面はⅠB層下層とした。全体の拡がりは直径約2mほどの範囲になるが、密度の濃い集中範囲は南側の部分に限定される。半截して断面を確認したが、落ち込み等を検出することができなかった。

遺　物　1は石鏃で、2はスクレイパーの接合資料である。再利用された加工痕をもつ。黒曜石の縦長剥片を素材とし、一側縁に片面周縁加工で曲刃を作出したものであるが、中位から折れ、片方の主剥離面（腹面）及び折れ面から周辺加工を再度加えている。

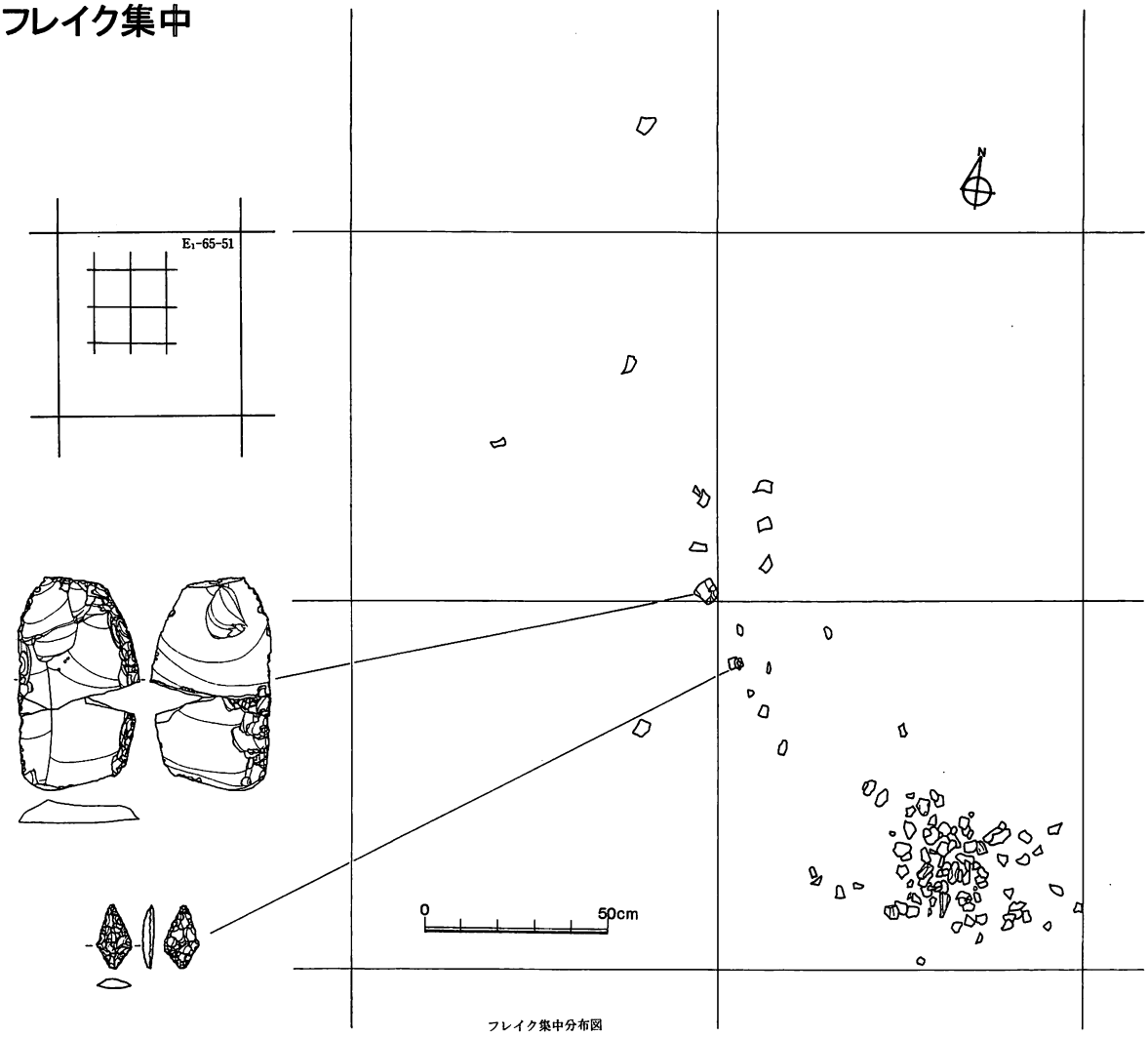
(4) 小ピット　(図Ⅲ—18、19)

概　要　小ピットは251箇所検出された。分布は調査区全域において見られるが、土壙（ⅠP）の集中する北西斜面部に少なく、その他の遺構の少ない南東平坦面に集中するという傾向が見られる。これらは南側に隣接する昭和51年度調査区において見られた小ピット群との連続性がうかがえる。ピットの大半は直径30cmに満たない円形のプランを呈するもので、深さは10から30cmの間のものである。断面形はV字形を呈するものが最も多い。遺物の出土したピットはSP—1、3、7、9、18、24、40、53、57、125、126、128、206、207、208、222、224、238、241、243、244の21か所である。

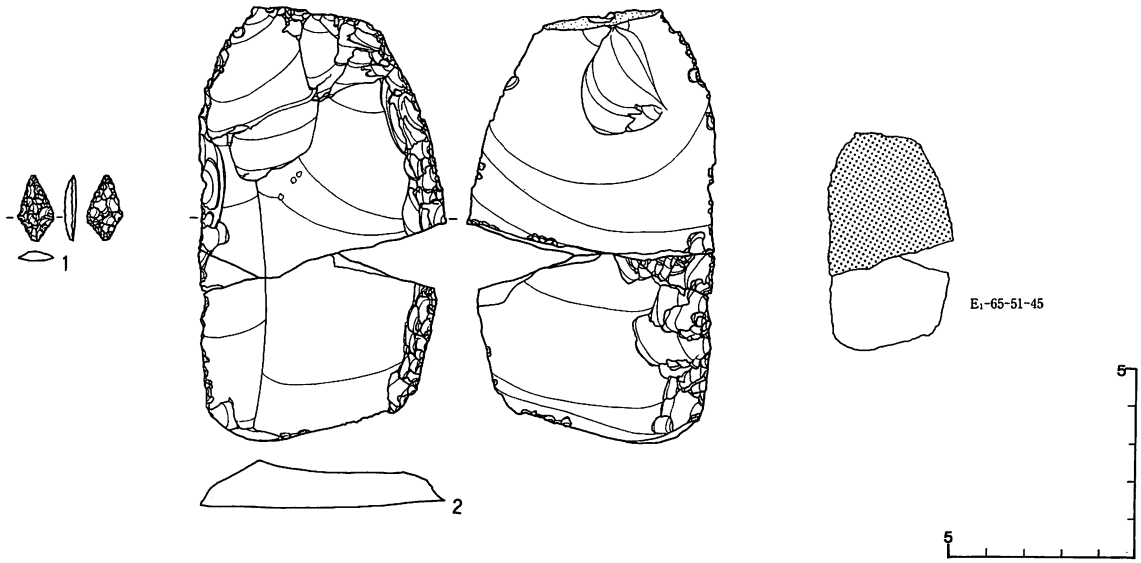
土　器　1はSP—9から出土したⅣ群c類で、口唇部断面形は切り出し状である。器面外面には羽状縄文が施されている。2はⅣ群b類で、口唇部断面形は角形で、口縁部には横位の沈線とそれを繋ぐ「S」字状の沈線が施されている。

石　器　1はSP—18から出土した石鏃で、有茎凸基のものである。石材は黒曜石である。

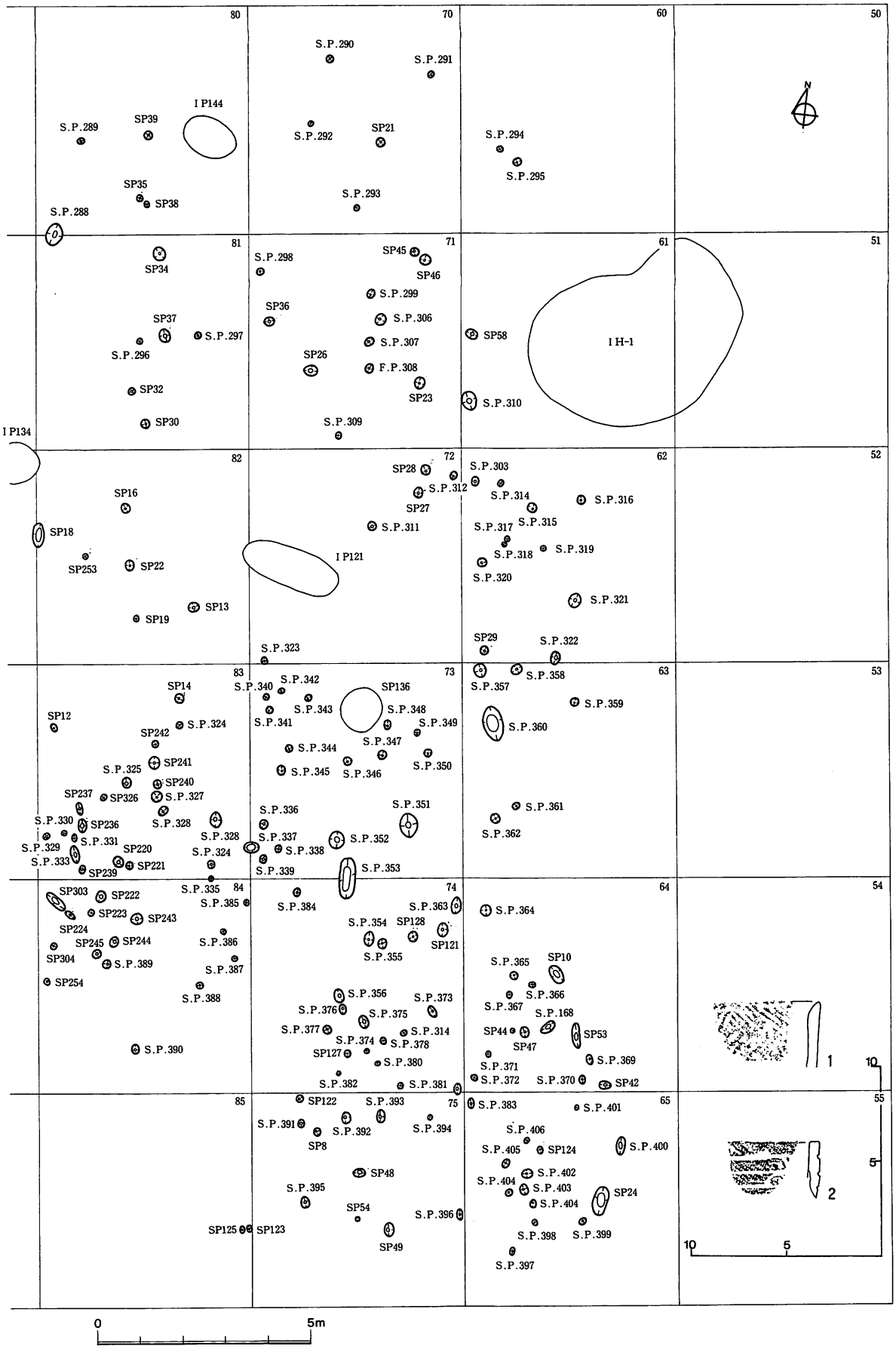
フレイク集中



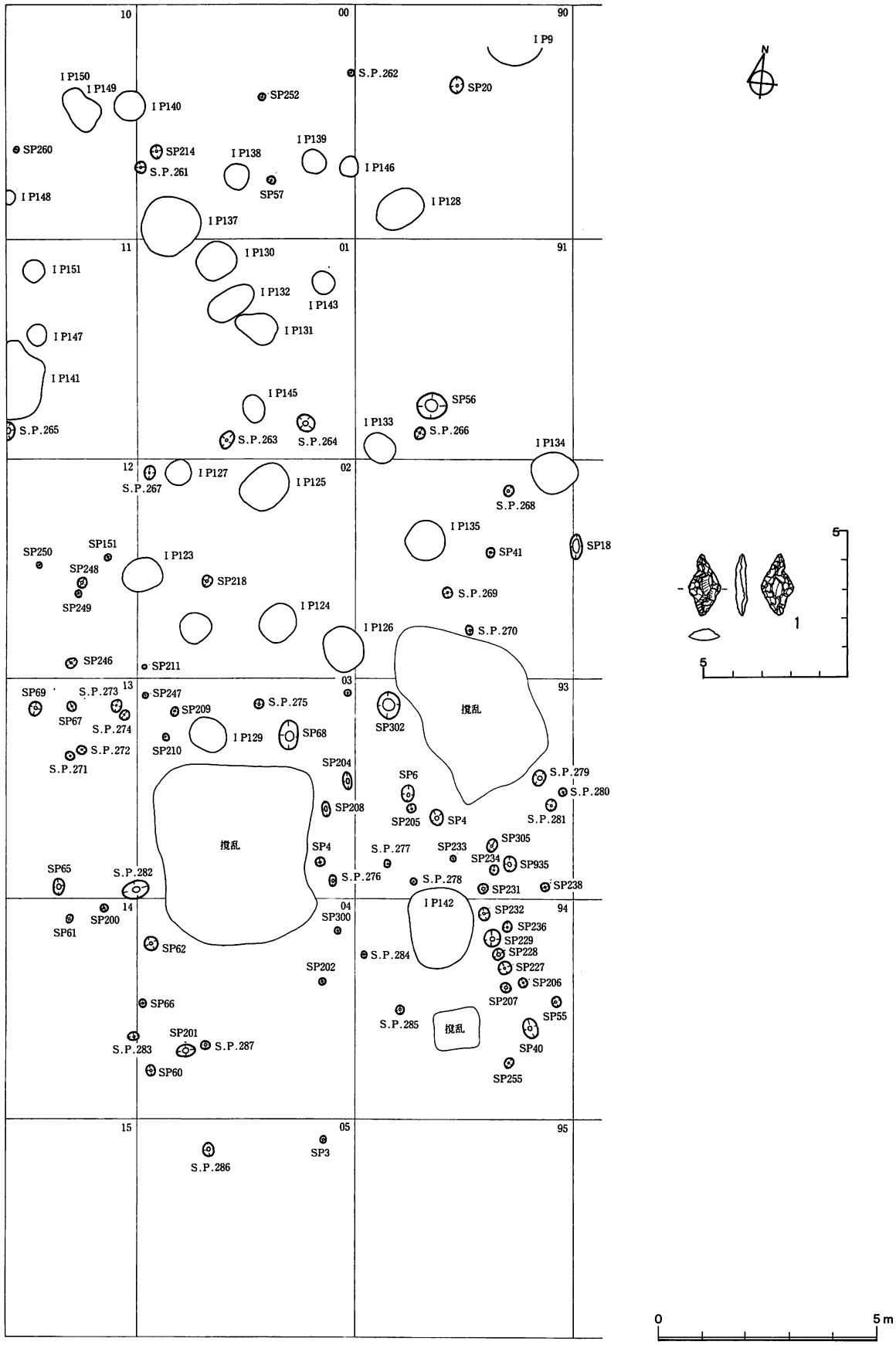
フレイク集中分布図



図Ⅲ—17　フレイク集中と出土遺物



図Ⅲ—18　小ピット配置図(調査区東側)と出土遺物



図Ⅲ—19　小ピット配置図(調査区西側)と出土遺物

2　遺物

概　要

遺物には、土器・石器・土製品・石製品・鉄製品等がある。土器はⅤ群・Ⅴ群ｃ類が主体を占めるが、Ⅱ群ａ－１類・Ⅱ群ａ－２類・Ⅲ群ａ類・Ⅲ群ｂ－１類・Ⅲ群ｂ－３類・Ⅳ群ｂ類・Ⅳ群ｃ類・Ⅵ群・Ⅶ群も出土している。これらには、本来出土しないはずの古い時期のものも含まれている。これは第Ⅰ黒色土層の時期に構築された遺構が第Ⅱ黒色土まで掘りこまれたことから生じたものと思われる。したがって石器・土製品・石製品等においても同様な混入が想定される。

(1)　土器　（図Ⅲ—20～22）

Ⅴ群ｃ類土器（図Ⅲ—20～22）

７～13は大洞系土器の影響が窺えるものである。７・８は鉢ないし深鉢で、口唇部内面に沈線文が施されている。頸部には２条の沈線が施され、頸部区画帯にはＡ状突起が加えられている。８の口唇部断面形は切り出し状で、口唇部内面には縄文施文後、１条の沈線が施され、さらに口唇外面に棒状工具による刻目が加えられている。口縁部には不規則な斜行縄文を施したのち、横位連繋入組工字文が加えられている。大洞系土器と在地系土器の融合した特徴をもつ。

９～13は壺形で、９・10・13はＩＨ—１床面・覆土出土の資料（図Ⅲ—４）と同一個体であるが接合しなかった。頸部は無文で、体部上半には連繋入組工字文が施されている。器面外面には赤色顔料の付着が認められる。11・12は同一個体である。頸部は無文で、体部に斜行縄文施文後、頸部下端を５条の太い沈線で区画し、部分的にＡ状突起が施されている。

１～６・14～66は在地系土器群である。１・14～26は深鉢ないし鉢になるものと思われる。14は口縁部に縄線文が施されたものである。１・15～26は口縁部に沈線文が施されたものである。１は、E_1—65-80（ＩＢ層）から出土した。口唇部断面形は切り出し状で、口唇内面に縄文施文後、口唇外面に刻みが加えられている。口縁部には不規則な斜行縄文を施文したのち２条の沈線が加えられている。

２～４・27～63は鉢形ないし浅鉢形になると思われるものである。３・27～34・63は口縁部に沈線文が施されたものである。３は調査区E_2—65—02（ＩＢ層）から出土した。上面観は楕円形を呈し舟形である。底部には高台をもつ。口縁部には２個一組の突起が作出され両端がはね上がる。口唇部断面形は丸味をもつ。口唇外面には縄の圧痕が加えられている。口縁部には鋸歯状の沈線文が加えられている。55～57は口縁部に刺突文が施されたもの。２・４・35～54・61は縄文のみのものである。２は小型の浅鉢で、上面観は楕円形で舟形である。口唇部断面形は切り出し状で縄文が加えられている。口縁部には縄圧痕文が加えられた２個一組の突起が４個所に作出されている。底部に作り出しは粗雑で、底端部に１条の沈線が加えられている。４はE_1—65—81（ＩＢ層）から出土した。上面観は楕円形で舟形ある。口唇部断面形は切り出し状で、縄文が施されている。口縁部は長軸に２個一組の大きな突起が施され、両端がはね上がる。丸底である。58・59・62は無文のものである。

５・６・64～66は底部破片で、64の体部上半・底端部には沈線文は施され、器面外面には赤色顔料の付着が認められる。

Ⅵ群土器（67）

67は破片資料で、縞縄文と半截竹管状工具による刺突文が施されている。後北C_2式ないし後北Ｄ式土器と思われる。

⑵ 石　器　（図Ⅲ—23～29）

石鏃（1～33）

1～2は無茎で、1は無茎凹基、2は無茎平基である。3は木葉形である。4～30は有茎のものである。4は先端部が正三角形状で、有茎平基のもの。5～14は先端部が正三角形状で、有茎凸基のもの。15・16は先端部が正三角形状で、有茎凸基のものないし、菱形ものである。17～30は先端部が細身の二等辺三角形で、有茎凸基のものである。31～33は未成品である。

つまみ付ナイフ（34）

34は背面には全面加工、腹面には周辺加工が施され、剥片上部に両面から抉りが加えられている。ドリルの可能性もある。

ドリル（35～41）

35は柄と機能部の区分が明瞭なもの。36～38は剥片の一端に機能部を作出したもの。39・40は石鏃の転用である。41は幅広の機能部をもつもので、両面加工によって作出されている。

スクレイパー（42～78）

42～59は縦長剥片を素材とし、42～48・50は側縁に両面周縁加工ないし片面加工で弧刃気味の刃部を作出しているもの。49は錯向剥離で弧刃気味の刃部と決入状の刃部の両方が作り出されたもの。51～55は側縁に片面加工で直刃気味の刃部を作出しているもの。56～59は側縁に片面加工で緩やかな抉入状の刃部を作出しているもの。60～62は横長剥片の側縁に片面加工で緩やかな抉入状の刃部を作出しているもの。63～67は尖頭状の刃部を作出しているもので、63・67は縦長剥片を、64～66は横長剥片を素材としている。68～75は横長剥片を素材としたものである。69は直刃を、68・70は弧刃気味の刃部を、71は抉入状の刃部を作出している。72～75は周辺に弧刃の刃部作出している。76～78は、破片資料でエンドスクレイパーと思われる。

両面加工石器（79～81）

79・80は木葉形で、いずれも一端が大きく剥離している。81は先頭器の基部の可能性がある。

楔形石器（82）

82の素材は黒曜石である。

石核（83）

83の素材は黒曜石である。

石斧（84～102）

84～89は成品である。84は乳棒状のもので、成・整形は敲打・擦りによるもの。85・86・89は撥形で、成・整形は粗割・擦りによるもの。87は短冊状のもので、成・整形は粗割・擦りによるもの。88は素材の礫に擦りによって刃部を作出したもの。91～97は石斧未成品である。91～93・95・97は粗割・敲打が加えられている。94・96は敲打整形が加えられている。いずれも緑色泥岩を素材とするものであるが、たたき石の可能性を含むものもある。

98～102は石斧素材と思われるものである。素材はいずれも緑色泥岩である。

たたき石（103～109）

103は偏平円礫の周縁・両平坦面にたたき痕が認められるもの。104～106は偏平礫の側縁・端部にたたき痕をもつもの。

くぼみ石（107～109）

108・108は篦状の素材の平坦面・側縁にたたき痕をもつものである。109は石棒の破損品を転用している。

砥石（110～115）

110・112～115の石材は砂岩、111は接合資料で、IB層の下位から出土し、石材は凝灰岩である。

⑶　石製品　（図Ⅲ—30）

石玉（１）

１は滑石製の平玉でで、穿孔は両側から穿かれている。

石刀（２）

２は、破損品である。背は平らでまっすぐである。直刀になるものと思われる。刃部断面形は剥離のため不明である。先端（鋒）付近に沈刻が施されている。

⑷　金属製品　（図Ⅲ—30—３～５）

１　保存処理方法と若干の注意事項について（詳細は北埋第26・69・77号を参照）

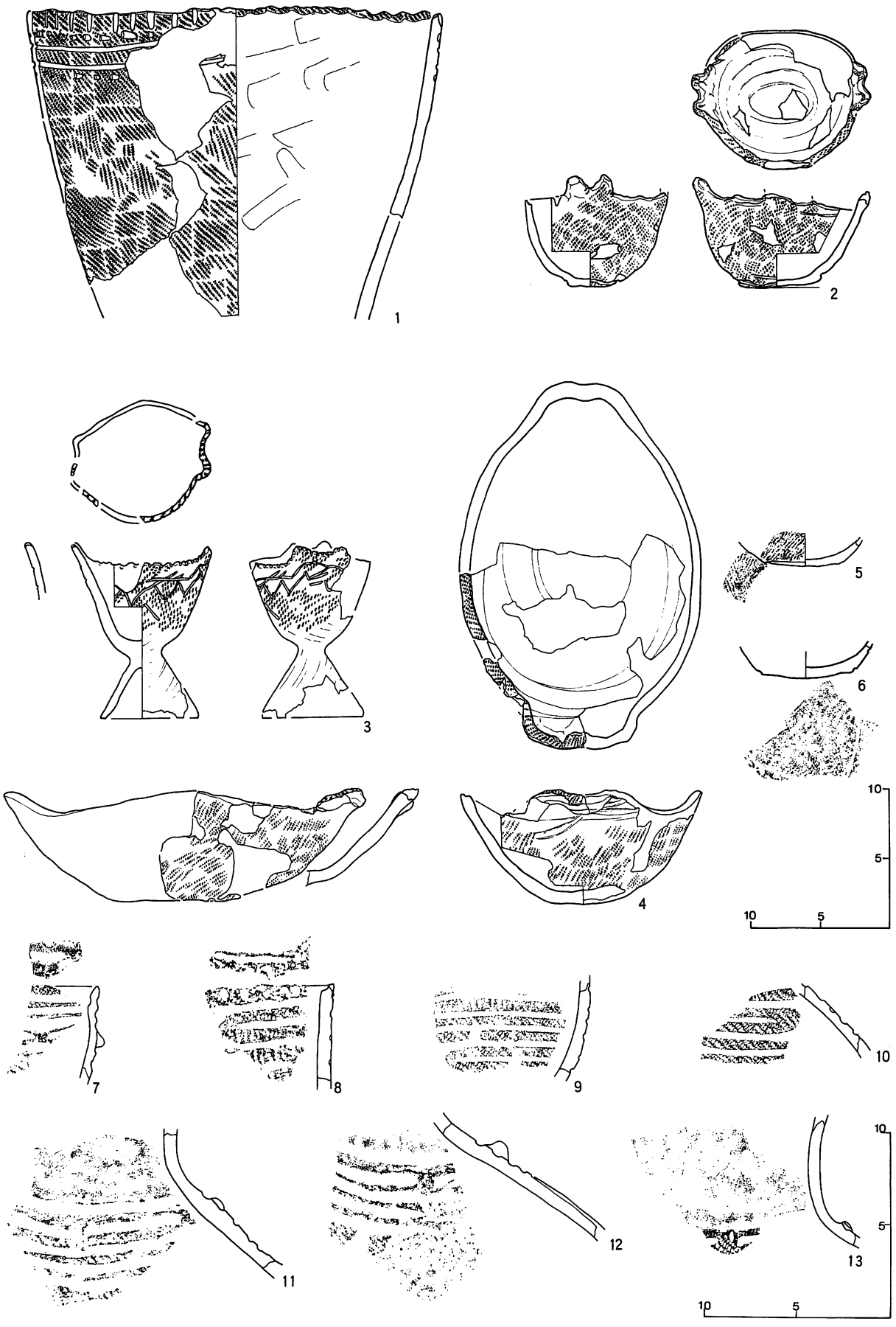
①　保存処理は当センターのこれまでの処理にならい脱水、クリーニング、アルコール洗浄、錆取り後にアクリル樹脂を３回に分けて減圧含浸した。ただし、脱塩処理については遺跡の立地、埋蔵環境を考慮したうえ、時間の都合から今回は実施していない。接合・修復については各々の状態に合わせて、セメダインＣ（セルロース系）、セメダインハイスーパー５（エポキシ系）接着剤を使用した。なお、遺物表面の樹脂は実測・写真撮影の障害とならないように塗膜を薄くし、光沢を抑えてある。

②　鉄製品については非水系のパラロイドNAD—10（アクリルエマルジョン）を濃度30%、真空度35～40㎜Hgで３回減圧含浸した。

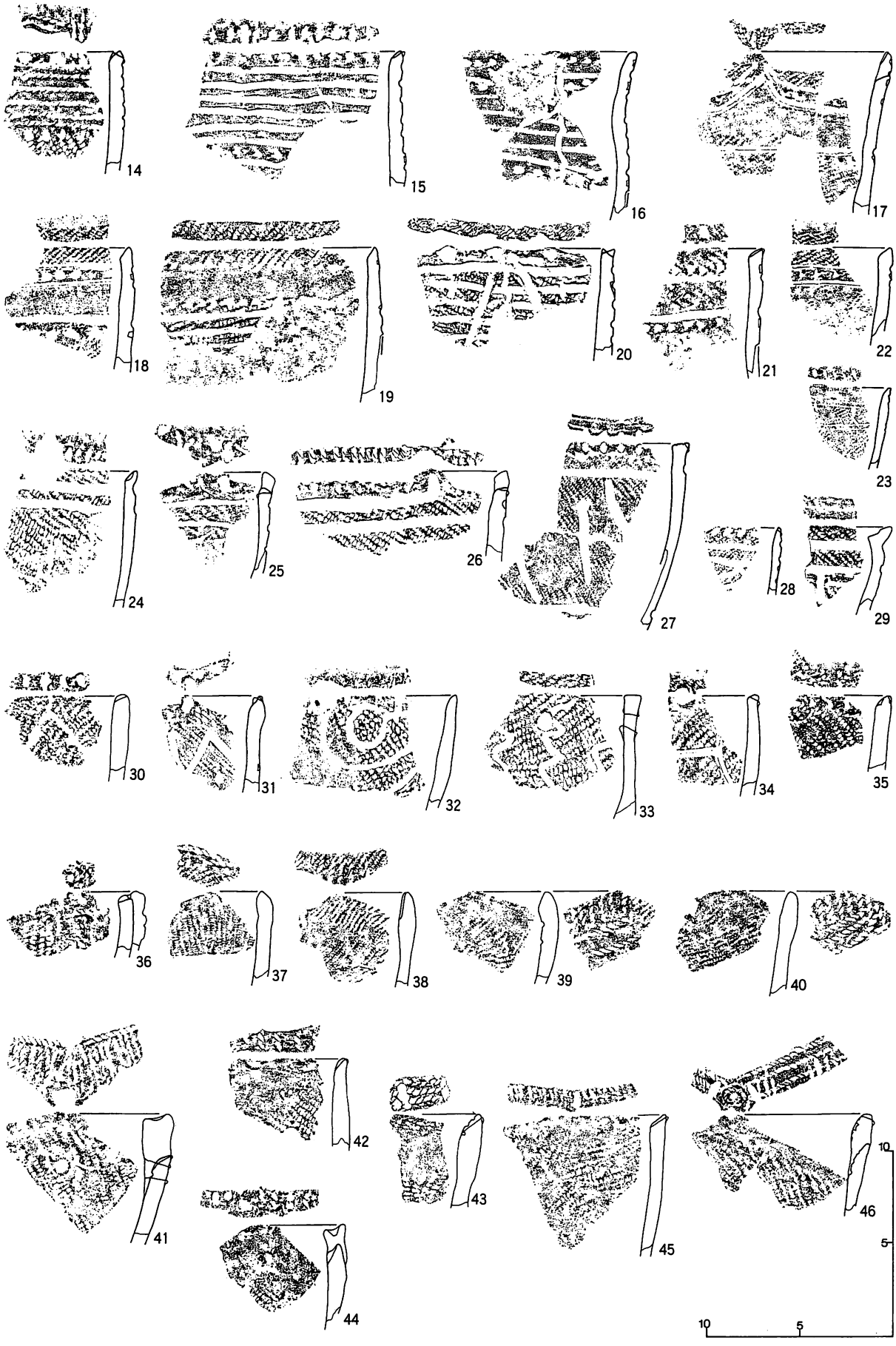
③　保存処理した金属製品は、永久に錆ない状態となったわけではないので、保存処理済のものであっても急激な温度差や湿気のない場所に保管するように注意したい。また、必要に応じてシリカゲルの交換を忘れてはならない。脱脂綿、ガーゼ、晒を敷いて保管することは湿気を呼びこむ結果となるので好ましい保管方法とはいえない。　（田口　尚）

２　出土した鉄製品

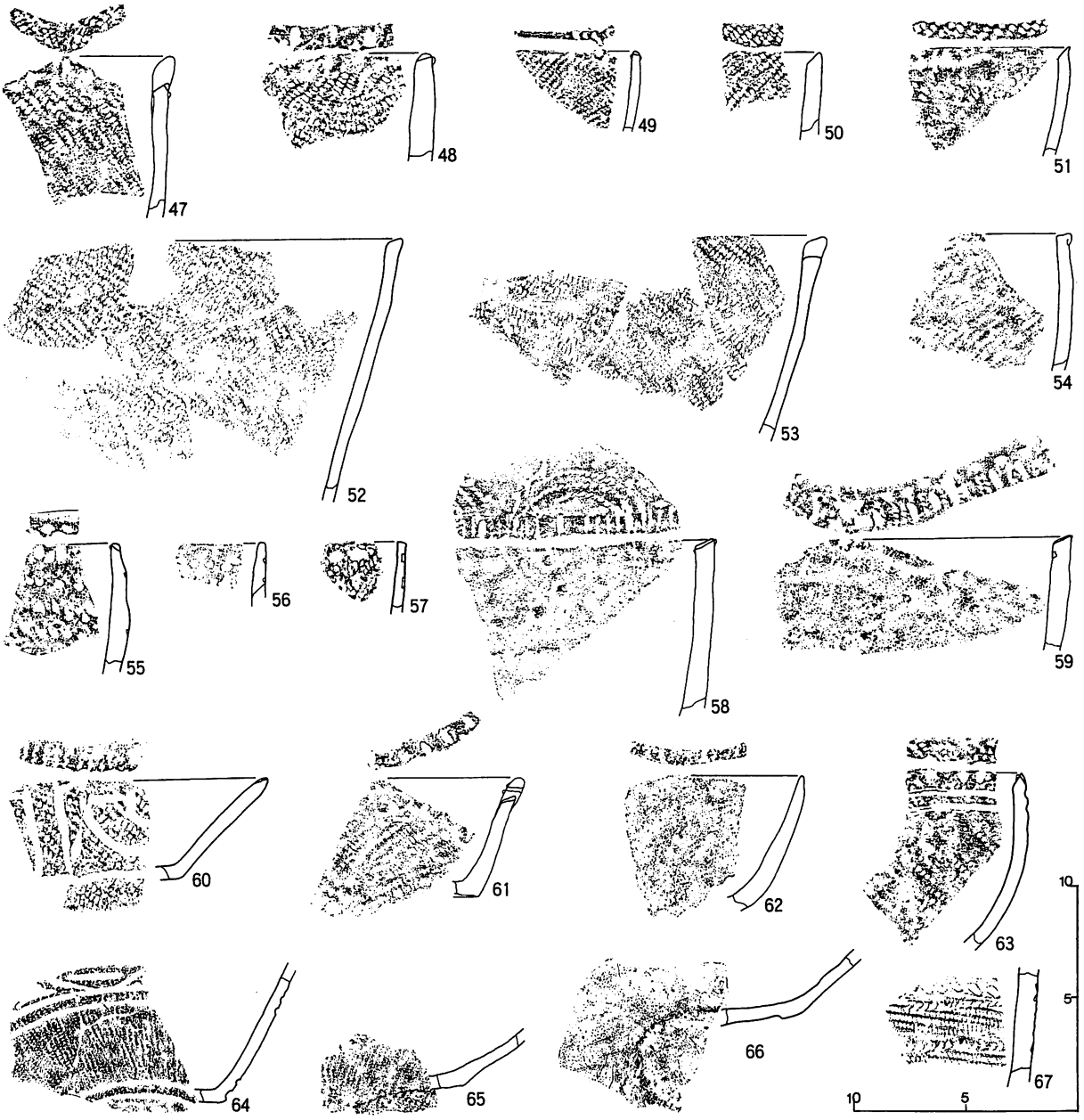
３は刀子の刃関部で、先端（鋒）、柄を欠失する。４は和鋏、５は鉄釘を打って先端に刃部を作り出したものである。　（熊谷仁志）



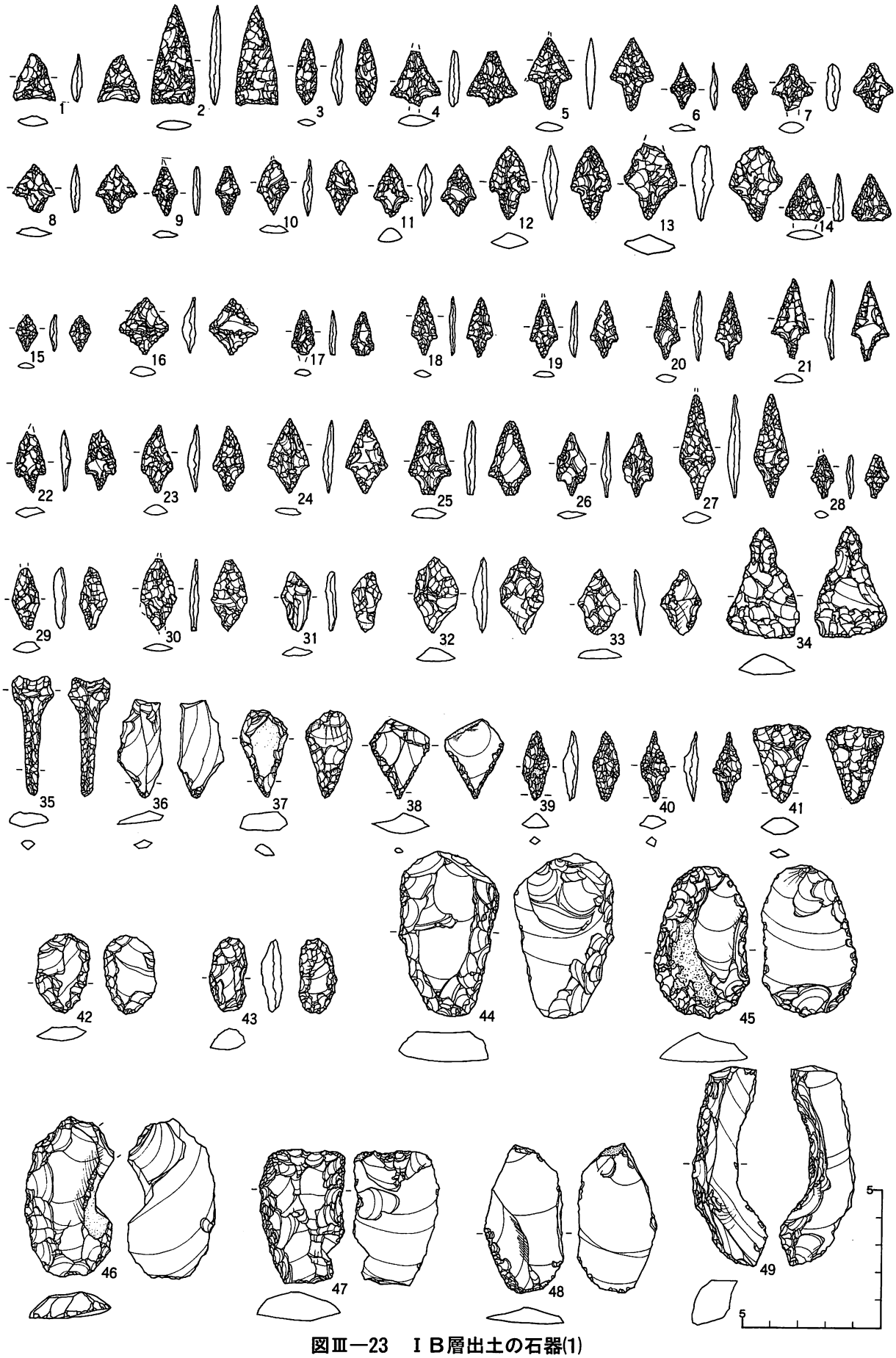
図Ⅲ—20　ＩＢ層出土の土器(1)



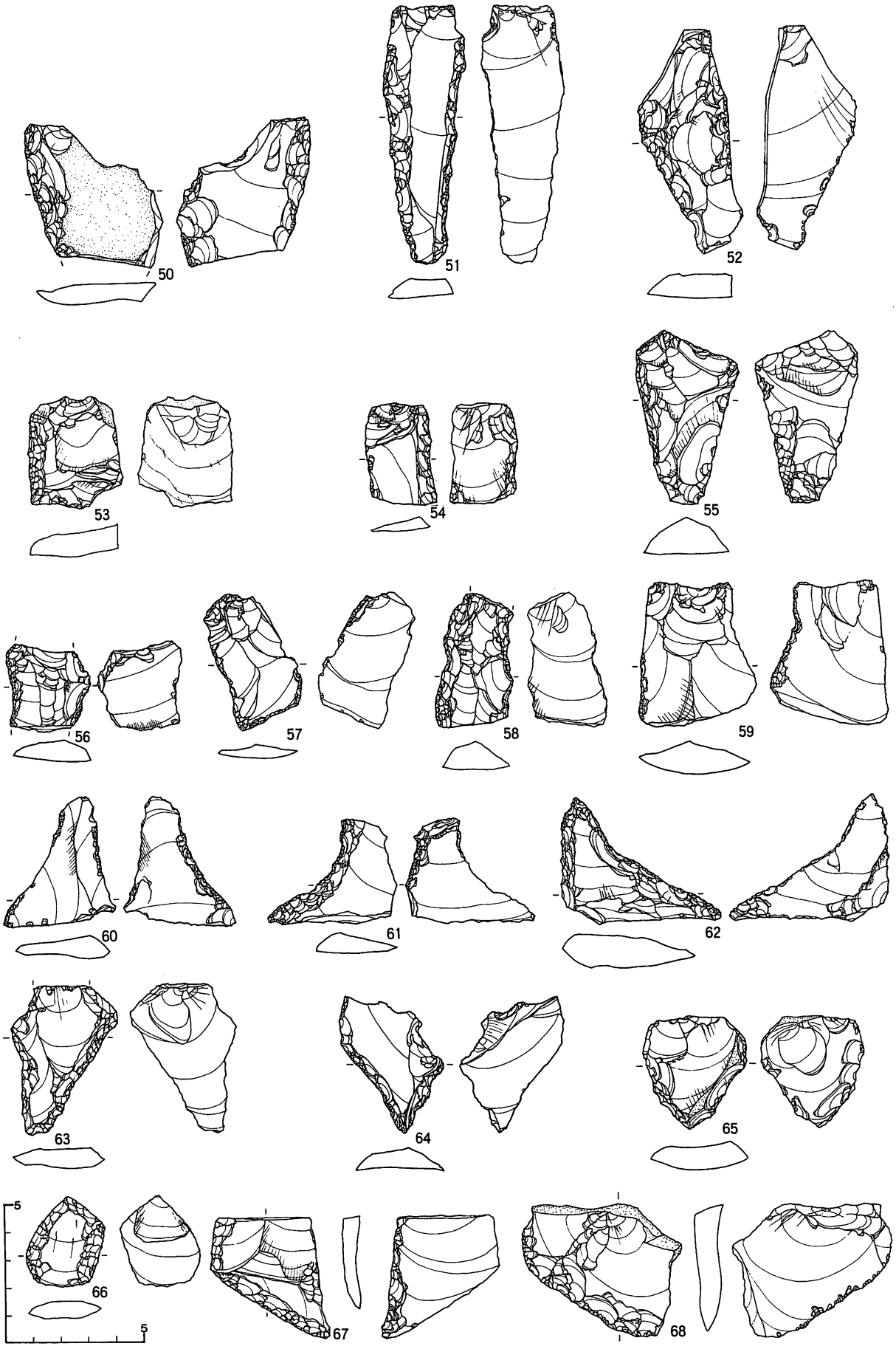
図Ⅲ—21　ＩＢ層出土の土器(2)



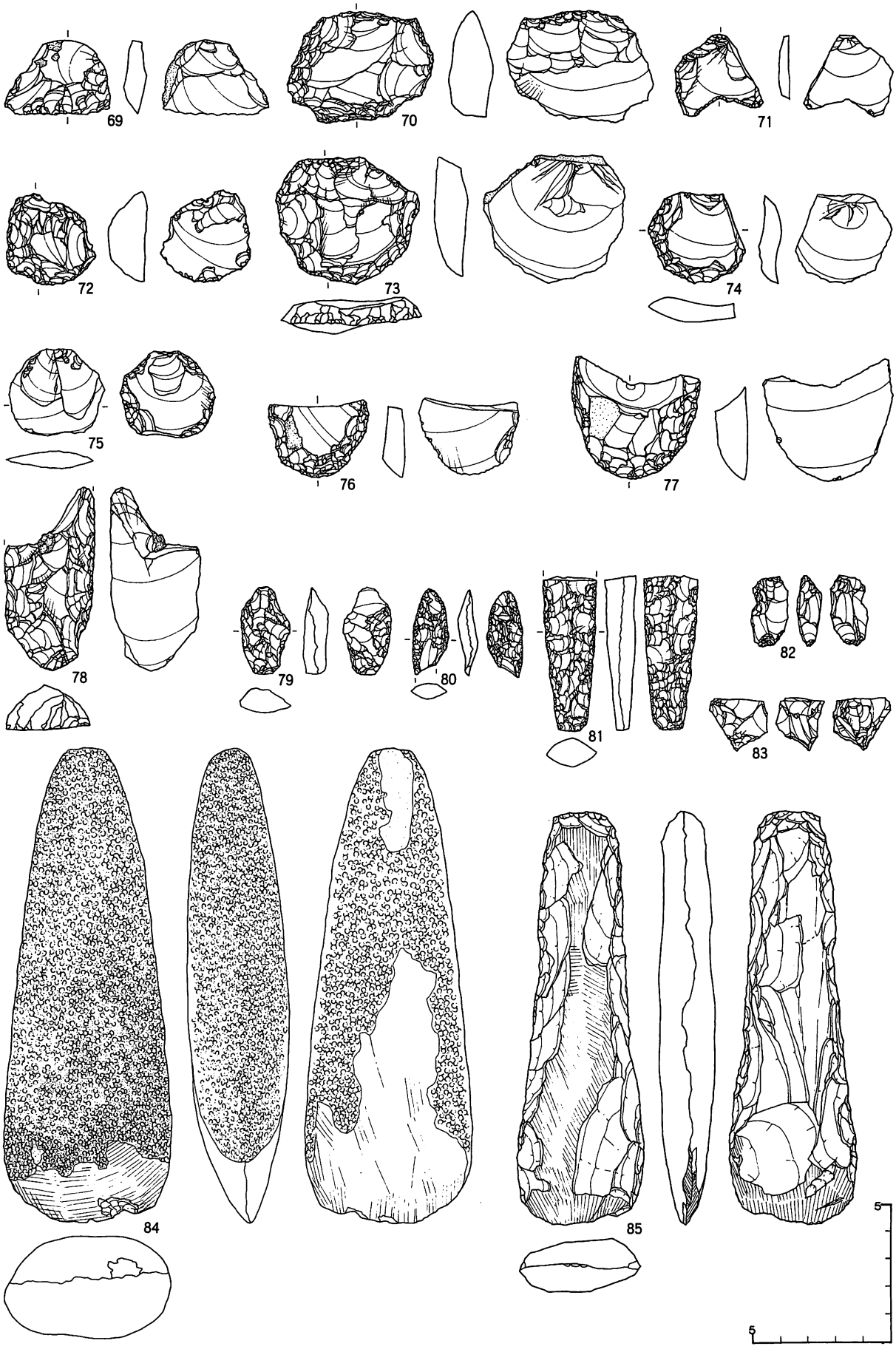
図Ⅲ—22　ⅠB層出土の土器(3)



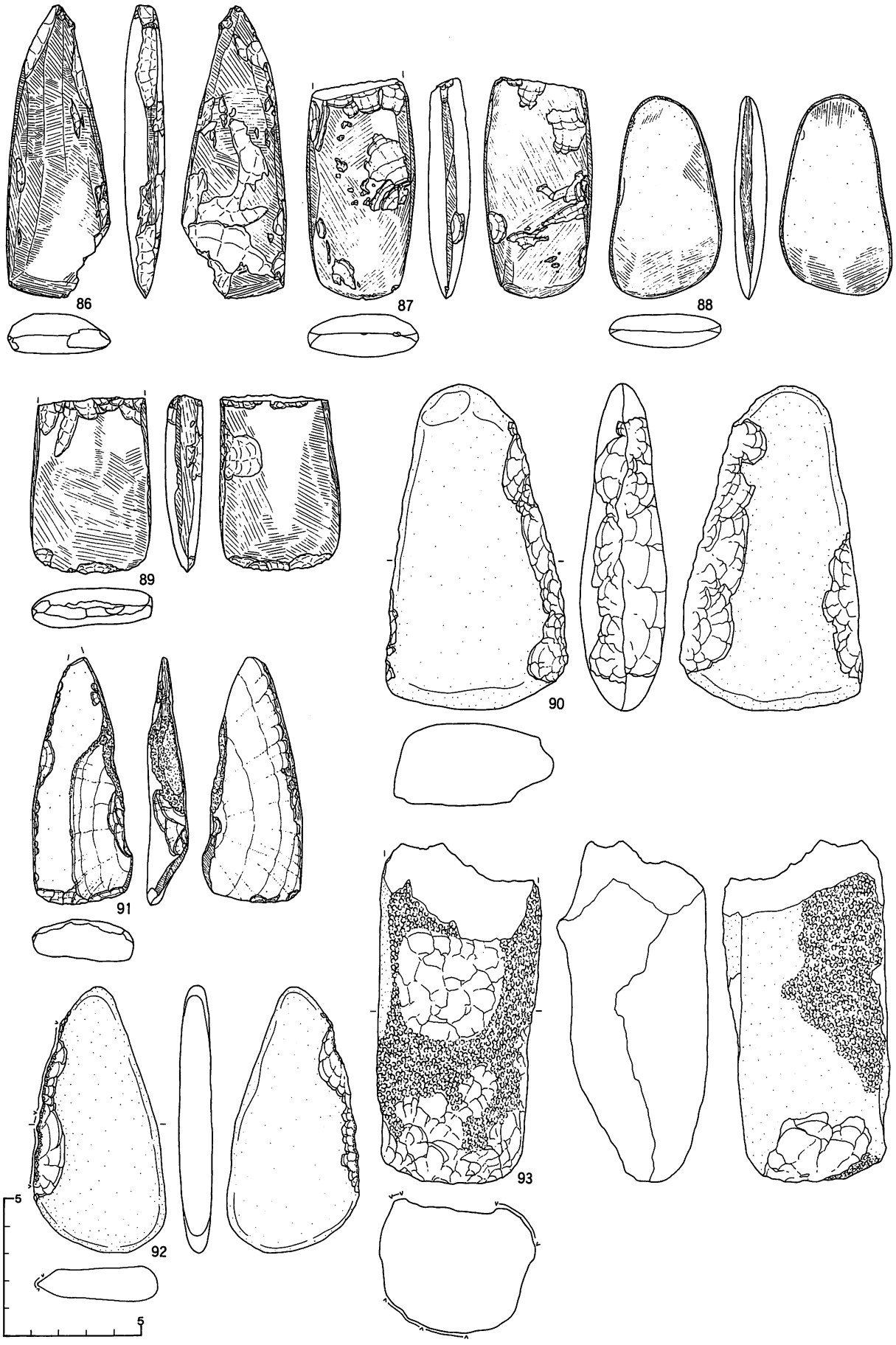
図Ⅲ—23　ＩＢ層出土の石器(1)



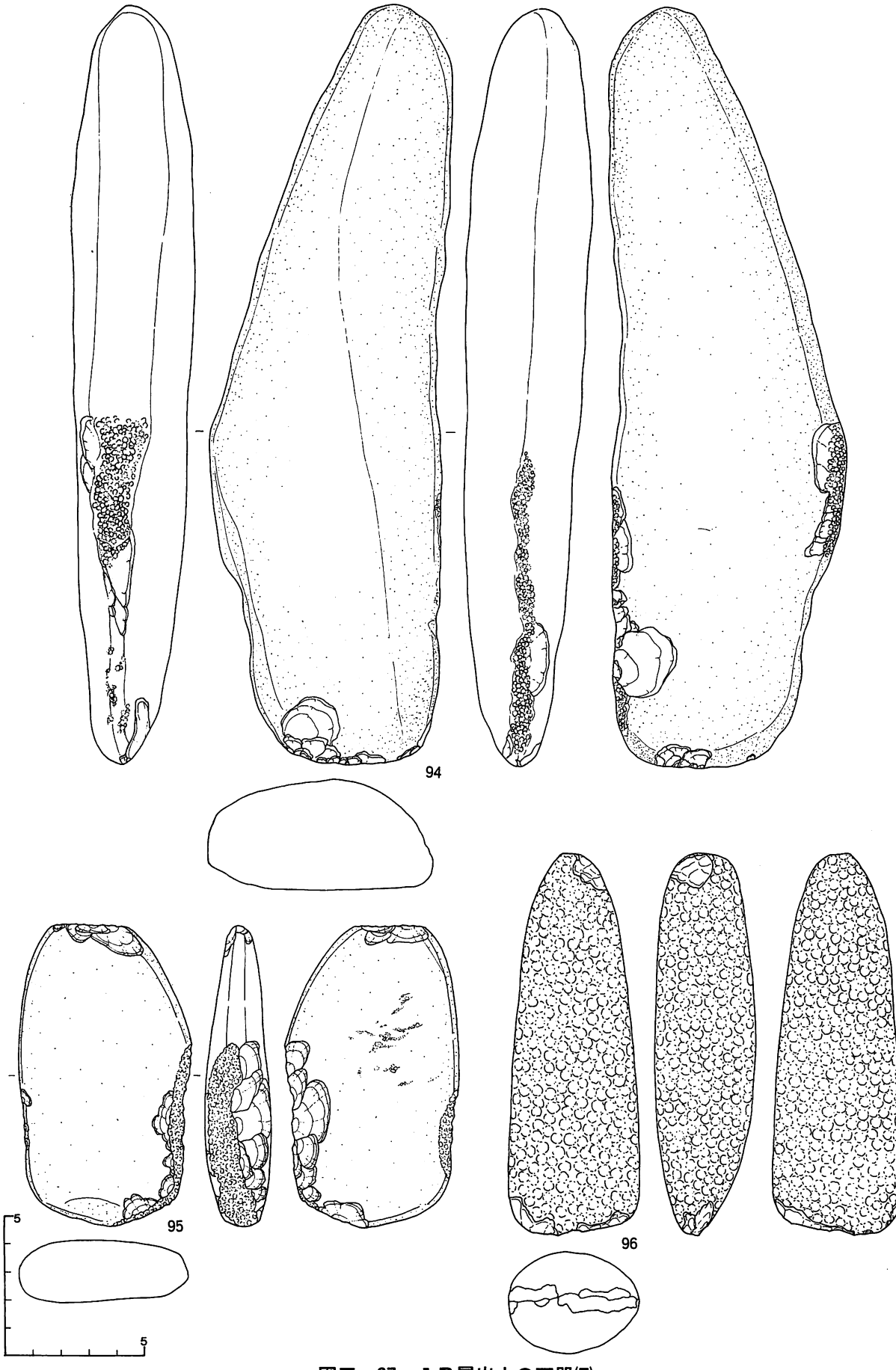
図Ⅲ—24　ⅠB層出土の石器(2)



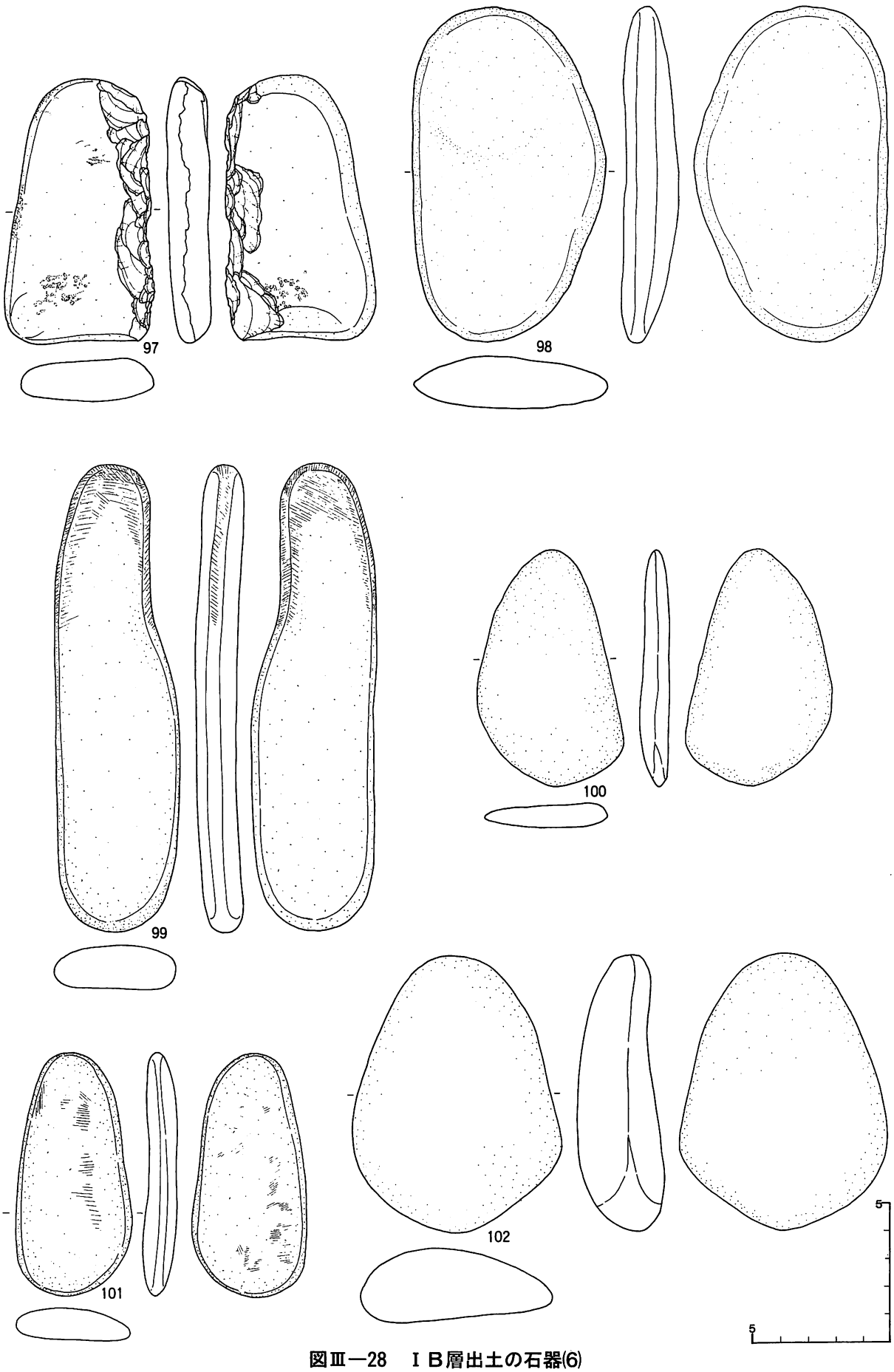
図Ⅲ—25　ＩＢ層出土の石器(3)



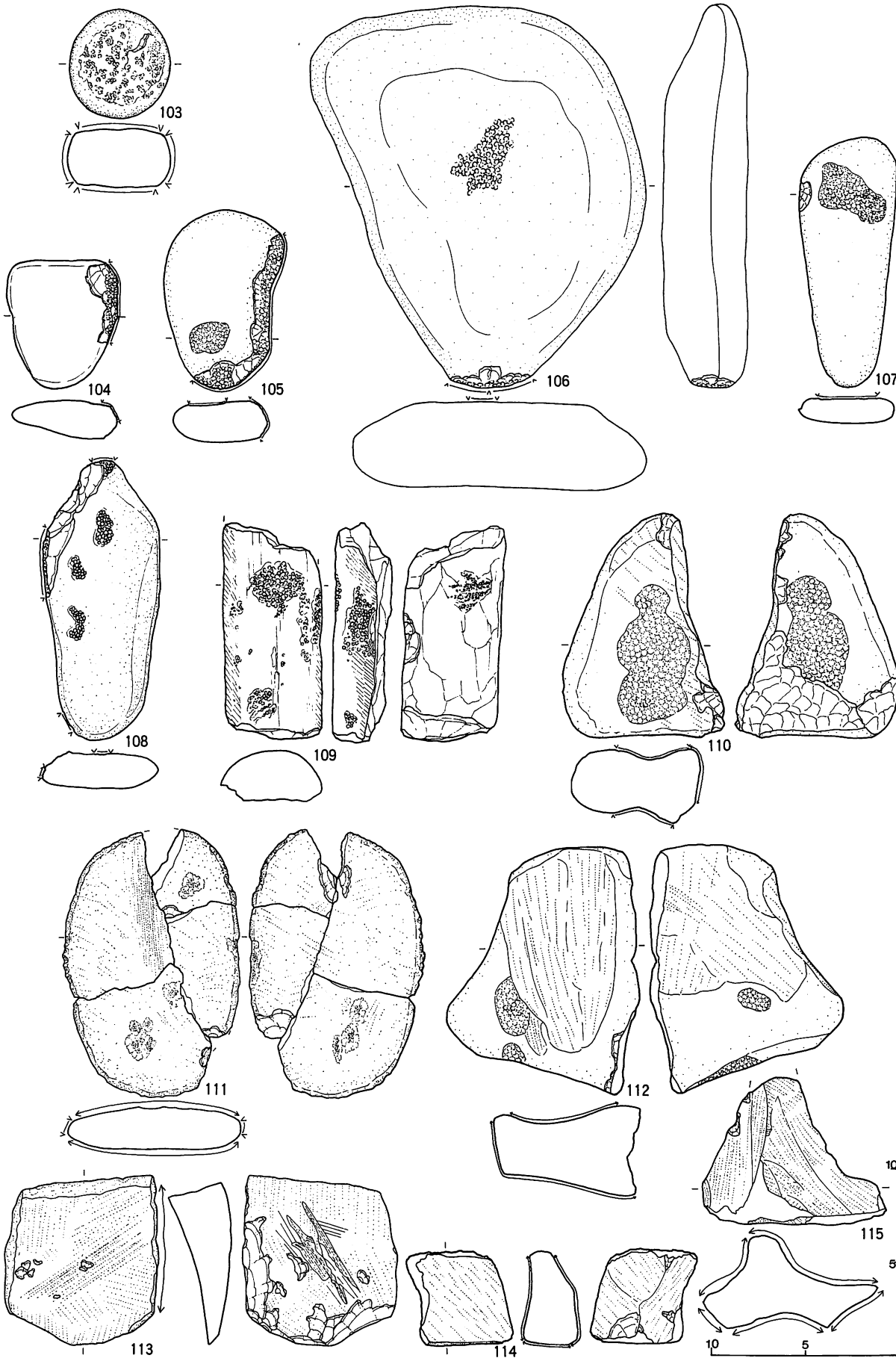
図Ⅲ—26　ⅠB層出土の石器(4)



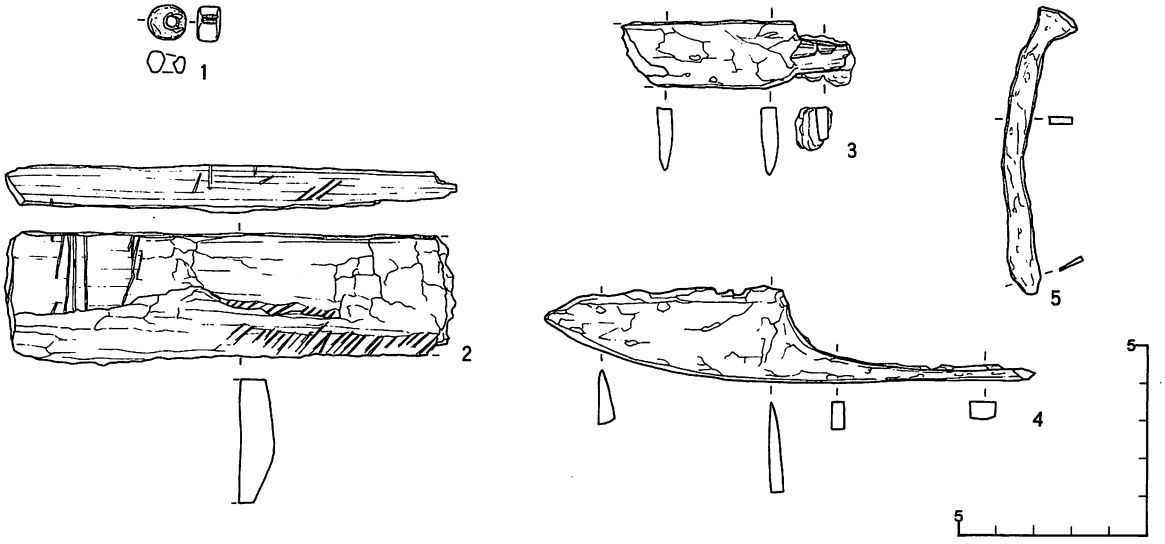
図Ⅲ—27　ＩＢ層出土の石器(5)



図Ⅲ—28　ⅠB層出土の石器(6)



図Ⅲ—29　ＩＢ層出土の石器(7)



図Ⅲ—30　ⅠB層出土の石製品・鉄製品

第Ⅳ章　第Ⅱ黒色土層の調査

概　要（図Ⅳ－１）

第Ⅱ黒色土層の調査は、平成７年度に300㎡を対象に行われた。調査区内は第Ⅰ黒色土層の調査区同様に、北と南の間にかなりの比高差のある斜面であり、やはり南側の低い部分にはわずかな平坦面が見られた。ⅡＢ層は厚いTa－ｃ火山灰の下に堆積状況も良好で、色調は黒みの強い黒褐色土を呈している。層厚は平均が約40～50cmほどであるが、斜面上部においてかなり厚く、約90cmを計り、また、斜面下部においては、約20cmとかなり薄い堆積になった。

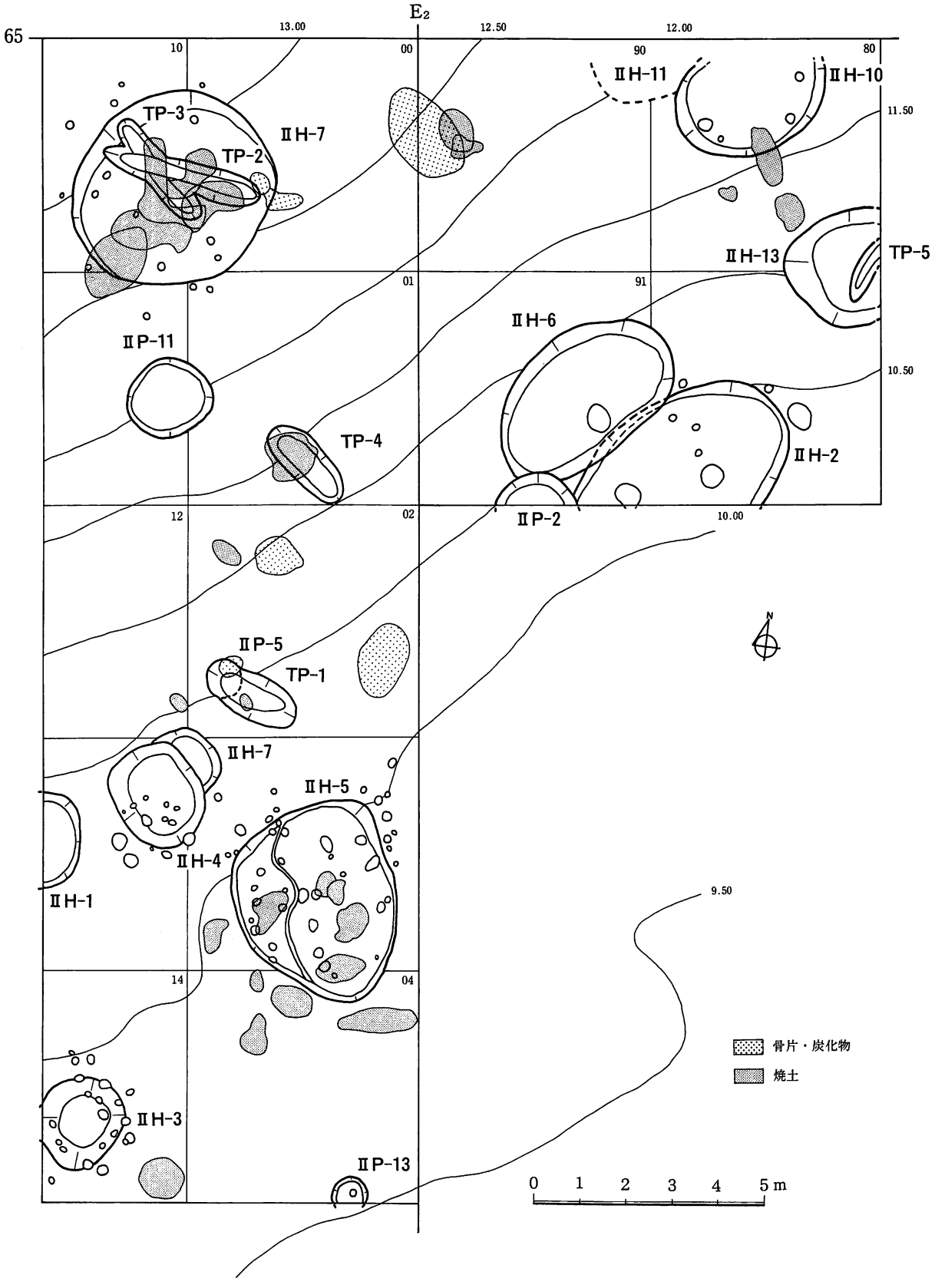
今回の調査区内においては、色調及び内容構成物の違いにより、ⅡＢ層をさらに三層に細分することができた。上層からⅡＢ－１、ⅡＢ－２、ⅡＢ－３層とし、遺物収集及び分類の基準とした。ⅡＢ－１層は層厚平均10cm、混入の少ないⅡＢ層からなり、調査区内全域において確認された。ⅡＢ－２層は層厚平均20cmともっとも厚く、焼土、骨片、Ta－d2パミスなどが多く混入したⅡＢ層からなり、調査区南側平坦部を除く斜面部全域で確認されている。包含する遺物の量ももっとも多い。ⅡＢ－３層は層厚平均10cm、混入が少なく、やや黒みに欠けるⅡＢ層からなり、調査区内全域で確認されている。

確認された遺構は竪穴住居跡（ⅡＨ）10軒、土壙（ⅡＰ）５基、Ｔピット（TP）５基、焼土（ⅡＦ）26基、骨片集中が５か所である。竪穴住居跡は直径４から５ｍほどの円形に近いものが全てであり、分布状況からは、これらが斜面の中のわずかな平坦部を利用してつくられていることがうかがえる。土壙は直径１～２ｍのものが殆どで円形のものが全てである。Ｔピットは、確認面における平面形が小判形のものが３つ、長楕円形のものが２つ見られた。焼土と骨片集中は調査区全域に見られたが、まとまりのよく、残存状況のよいもののみを遺構として取り上げた。その大半がⅡＢ－２層中で確認されたものである。また、殆どの遺構がTa－d_2層やEn－ａ層上面において確認されているが、ⅡＨ－２、10、11はⅡＢ層上面の落ち込みとして確認されたものである。

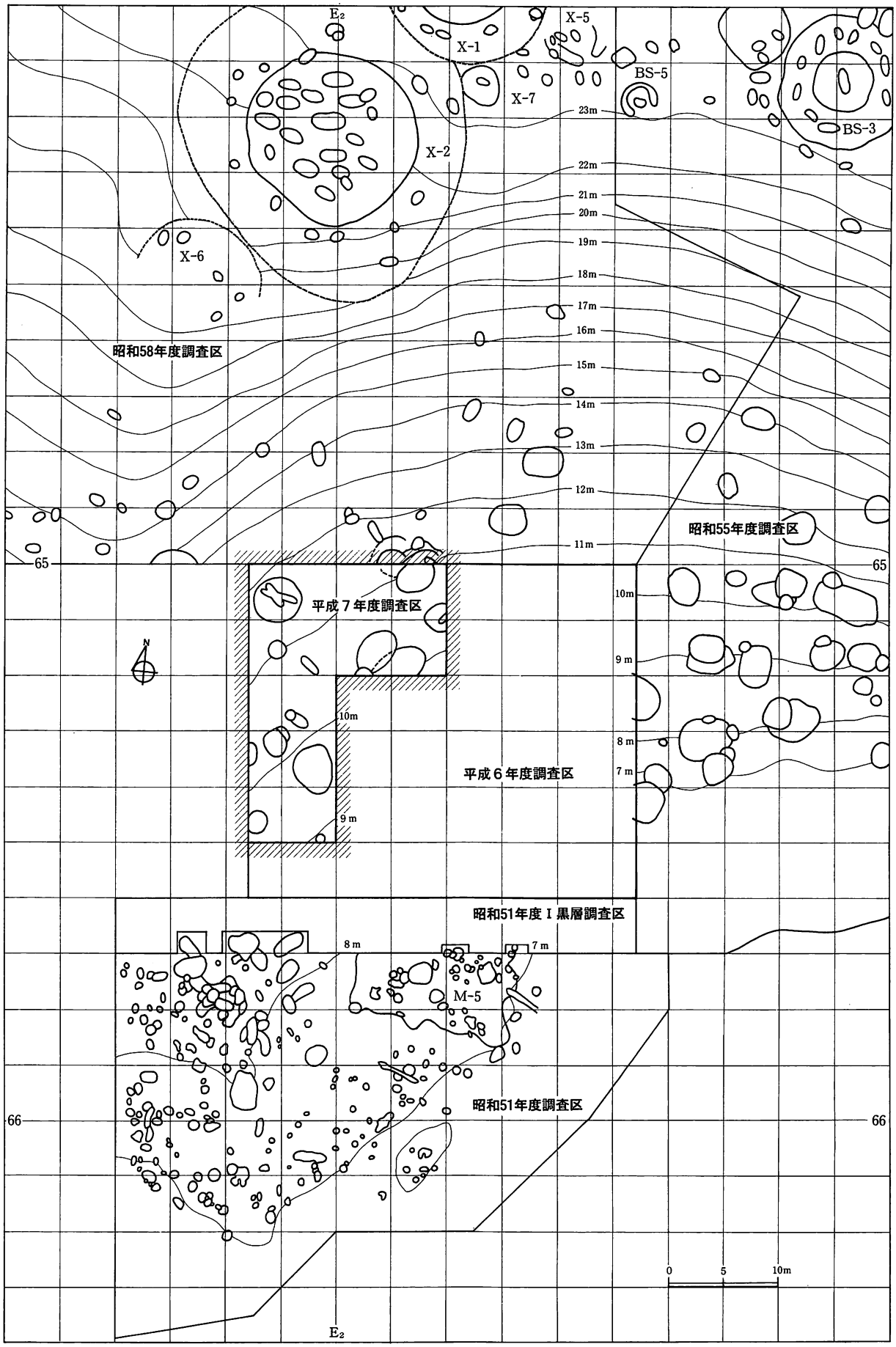
１　遺構

(1)　住居跡

ⅡＨ－１（図Ⅳ－３）
位　置　E_2－65－13
平面形　円形
規　模　1.98×（0.79）/1.67×（0.70）/0.37
確認・調査・土層　ⅡＢ層上面において落ち込みなどは見られなかったが、Ta－d_2層上面において土色の違いにより平面形を確認し、一部は調査区外に続くことが認められた。トレンチにより、土層断面を確認しながら掘り下げたところ、恵庭ａローム層下約10cmほどの掘り込みを検出した。土層の堆積は単純で、Ta－d_2パミスを含むⅡＢ層からなり、５層の覆土が確認された。掘り込み面はⅡＢ－２層から３層の間と思われる。
付属ピット　床面の恵庭ａローム面において３か所の黒い落ち込みを確認した。すべて直径10cm、深さ20cmのもので、配列の規則性は不明である。

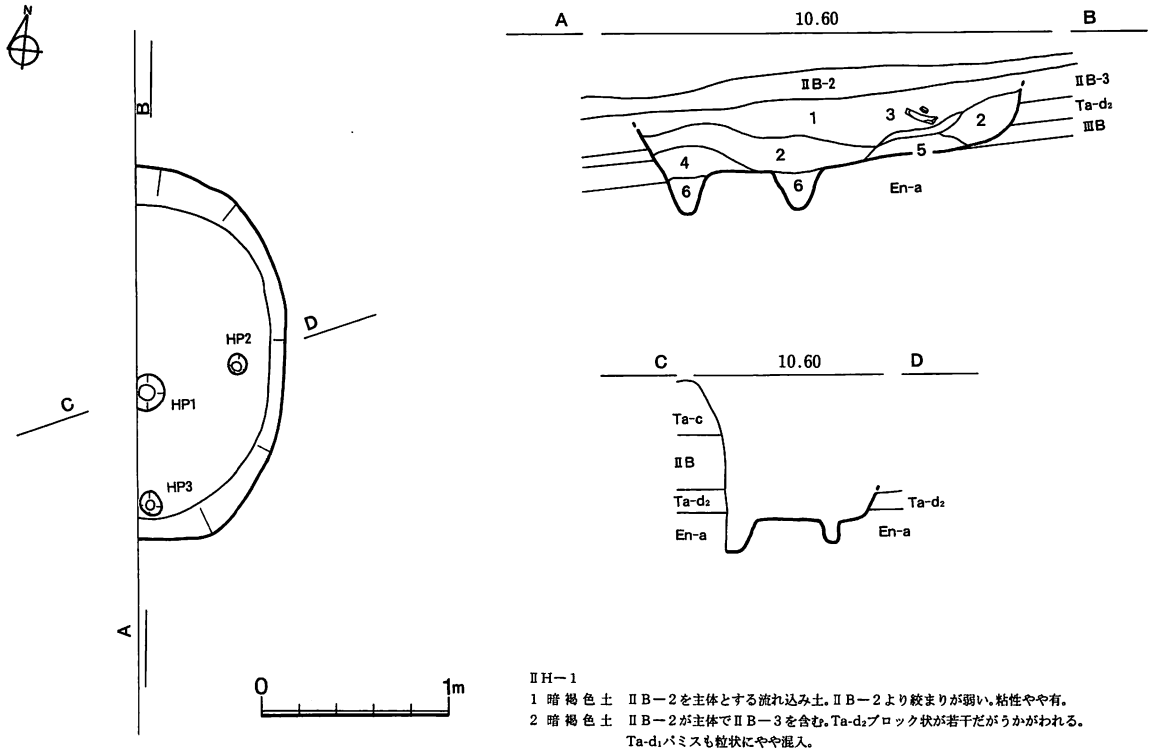


図Ⅳ－1　第Ⅱ黒色土層遺構位置図

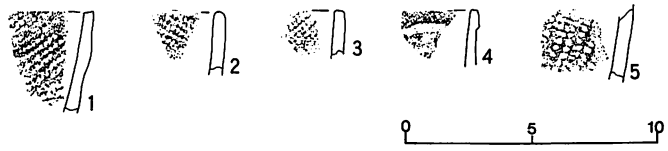


図Ⅳ－２　美々４遺跡第Ⅱ黒色土層遺構位置図

ⅡH－1



ⅡH－1
1 暗褐色土　ⅡB－2を主体とする流れ込み土。ⅡB－2より絞まりが弱い。粘性やや有。
2 暗褐色土　ⅡB－2が主体でⅡB－3を含む。Ta-d₂ブロック状が若干だがうかがわれる。
Ta-d₁パミスも粒状にやや混入。
3 暗赤褐色土　焼土である。焼骨が多く含まれている。レンズ状に挟まっている。落ち込みを利用してのものか。
4 黒褐色土　ⅡB－3の流入土を主体とする。Ta-d₂ブロックが激しく混入。Ta-d₁の粒状混入も同様。
5 暗黄褐色土　Ta-d₂パミスを主体とする。ⅡB－3も混じっているくすんだオレンジ色をなす。
上述の2、3ほどではないがTa-d₁パミスもやや含まれている。
6 灰褐色土　柱穴、ⅢBを主体とし、Ta-d₂パミスとEn-aの混入したもの。
灰褐色気味の色調にオレンジの粒状混入。



図Ⅳ－3　ⅡH－1と出土遺物

床　面　柔らかい恵庭ａローム層中につくられており、明瞭な硬化面などは確認できなかった。ほぼ平坦である。

壁　面　Ta—d_2層からⅢＢ層、恵庭ａローム層にかけてゆるやかにつくられている。

炉　跡　今回の調査範囲内では検出されなかった。

遺　物　遺物は覆土から出土した。

土　器　土器はＶ群土器214点出土した。１～５はＶ群土器である。１～４は口縁部破片で、斜行縄文が施されている。５は胴部破片である。

石　器　石器は12点出土し、両面加工石器１点、石斧１点、フレイク10点である。

時　期　後期末葉から晩期初頭か

ⅡＨ—２（図Ⅳ—４、５、６、７）

位　置　E1—65—81・E1—65—91

平面形　北北東—南南西を長軸とする楕円形

規　模　(3.62) × (2.62) / (3.50) × (2.48) /0.66

確認・調査・土層　ⅡＢ層上面においてわずかな落ち込みを確認し、トレンチにより土層断面を確認しながら、掘り下げたところTa—d_2層下約15cmほどの掘り込みと壁面を検出した。また一部は調査区外に続くことと、北西側にⅡＨ—６が隣接し、これによってプランが切られていることも認められた。土層の堆積は単純な自然堆積で、Ta—d_2パミスを含むⅡＢ層からなり、３層の覆土に分けることができた。掘り込み面はⅡＢ—２から３層の間と思われる。

付属ピット　床面において５か所の黒い落ち込みを確認した。直径50cm、深さ10cmのⅢ状のピットの他は、直径20cm、深さ20cmに満たない柱穴状の小ピットである。配列の規則性は不明である。

床　面　Ta—d_2層中につくられており、明瞭な硬化面などは確認できなかったが、ほぼ平坦であった。

壁　面　Ta—d_2層からⅡＢ層にかけてやや急に立ち上がる。

炉　跡　今回の調査範囲内では確認されなかった。

遺　物　遺物は床面・覆土等から出土した。

土　器　土器は8,437点出土し、Ⅱ群ａ—２類３点、Ⅲ群ａ類６点、Ⅲ群ｂ—２類97点、Ⅲ群ｂ—３類７点、Ⅳ群ａ類４点、Ⅳ群ｂ類125点、Ⅳ群ｃ類1,976点、Ｖ群ａ類３点、Ｖ群ｃ類２点、Ｖ群6,214点である。床面からはⅡ群ａ—２類１点、Ⅲ群ａ類１点、Ⅲ群ｂ—２類65点、Ⅲ群ｂ—３類１点、Ⅳ群ｂ類６点、Ⅳ群ｃ類406点、Ｖ群188点である。１・４・８・９・18は床面出土である。１はⅢ群ｂ—２類で床面から纏まって出土し、覆土出土の資料と接合した。底部を欠失する。口縁部は小突起をもつ。４は床面から２点出土し、ⅡＨ—２・10及び包含層のⅡＢ—１・２層から出土している。体部下半を欠失する。口唇部断面形は角形気味で、口唇に２個一組の突起をもち、直下には突き瘤が加えられている。頸部に無文帯をもち口縁部及び無文帯下位には弧線状の細い沈線文が施されている。８は床面から１点出土し、同トレンチ出土の資料と接合した。壺形土器で口縁部・底部を欠失する。体部には磨消文縄文が施されている。Ⅳ群ｃ類である。９も床面から１点出土し調査区E_1—65—80のⅡＢ—１層出土の資料と接合した。壺形土器で口頸部・底部を欠失する。体部には不規則な斜行縄文上に４本一単位の波状の沈線文が加えられている。18は17と同一個体である。床面から１点出土し、ⅡＨ—11のⅡＢ—１層と調査区E_1—65—80のⅡＢ—１層トレンチ出土の資料と接合した。口唇部に小突起が施され、２段の体部文様帯は沈線に挟まれた刺突文で区画され、文様帯内には大腿

骨文状の磨消文と三叉文が加えられている。

２・３・５～７・10～17・19は覆土出土である。11はⅢ群ｂ－３類の口縁部破片、２・３・12・13はⅣ群ｂ類で、２は口縁部を欠失する。３は壺形土器で頸部下端に刻みの加えられた沈線文が施されている。５・14・15はⅣ群ｃ類で、５は壺形で、頸部は無文帯で体部上半に弧線状の沈線文が加えられている。17・19はⅤ群ａ類で、三叉文が施されたものである。６・７・10・16はⅤ群で、６は口唇部に２個一組の突起が施され、口縁部には斜行縄文上に２段の沈線に挟まれた爪形文が施され、爪形間には爪形文が部分的に加えられている。７・16は爪形文と突き瘤を合わせもつもので、７の口唇部には３個一組の小突起と１個の小突起が交互に加えられている。口縁部部には突き瘤と３段の爪形文が施されている。10は爪形と三叉文風の細い沈線文が施されたもの。

石　器　石器は727点出土し、石鏃19点、ポイントまたはナイフ３点、ドリル７点、つまみ付ナイフ４点、スクレイパー１１点、両面加工の石器１点、石核２点、石斧未成品６点、石斧素材１点、石斧片13点、すり石３点、たたき石４点、砥石３点、石錘１点、　Ｕフレイク２点、原石１点、軽石２点、フレイク521点、礫43点、礫片80点である。うち床面出土はつまみ付ナイフ１点、スクレイパー２点、石斧素材１点、フレイク38点、礫１点、礫片１点である。20～23は石鏃で、20は無茎凹基、21は有茎平基、22・23は有茎凸基である。24・25はポイントまたはナイフである。26～28はドリルで、26は両面加工で機能部と柄部の区別が不明瞭なもの、27・28は剥片の一端に機能部を作り出したものである。29～31はつまみ付ナイフで、29・31は側縁に刃部をもつもの、30は片面加工で下端に尖頭部を作出しているものである。32・33はスクレイパー、34は石斧未成品、35はすり石で、石斧未成品の破損品を再利用した可能性がある。36はたたき石である。

土製品　土製品は耳栓10点出土し、37・38は環状の耳栓である。

石製品　石玉は１点出土した。39は穿孔が縦位・横位の２個所から加えられている。

時　期　中期中葉のⅢ群ｂ－２類の頃。

ⅡＨ－３（図Ⅳ－８）

位　置　E_2－65－14

平面形　隅丸方形

規　模　2.12×（1.80）/1.75×1.55/0.19

確認・調査・土層　ⅡＢ層上面において落ち込みなどは見られなかったが、Ta－d_2層上面において、土色の違いにより平面形を確認し、一部は調査区外に及ぶものであることが認められた。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ta－d_2層を20cmほど掘り込んだ遺構を検出した。土層の堆積は単純で、Ta－d_2パミスを含むⅡＢ層からなり、２層の覆土を分けることができた。掘り込み面はⅡＢ層下部と思われる。

付属ピット　床面上に７か所、壁面に６か所、竪穴外に７か所、柱穴状の小ピットが同心円上に並んで確認された。いずれも直径10～20cm、深さ20cmのもので、垂直に掘り込まれたものである。

床　面　Ta－d_2層中につくられている。中央に10cmほどの掘り込みをもち、周囲がテラス状になっている。いずれも平坦になっている。

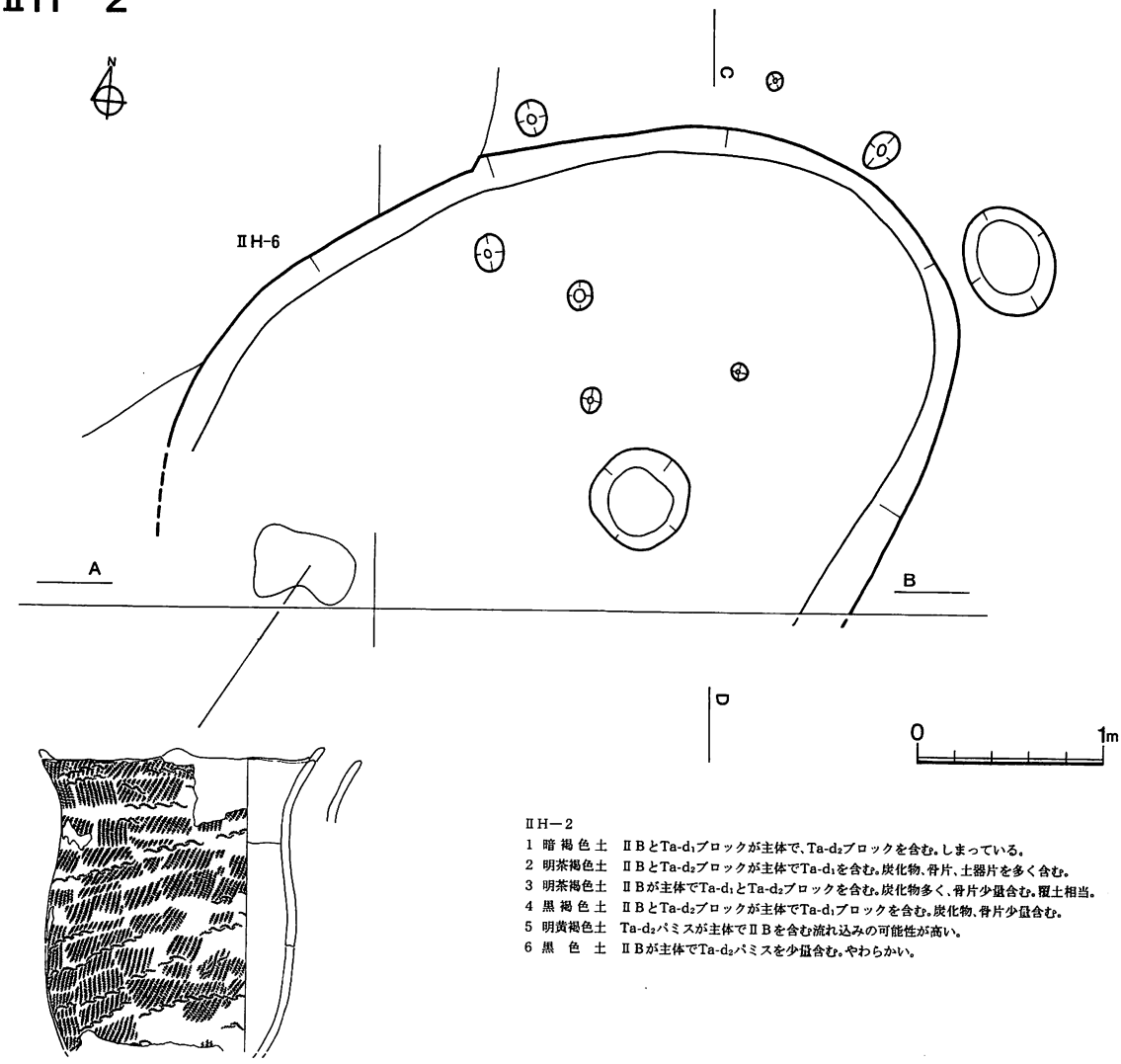
壁　面　Ta－d_2層中につくられており、床面との境の不明瞭なゆるやかなものである。

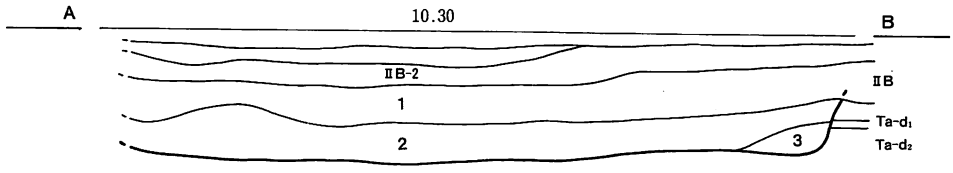
炉　跡　検出されなかった。

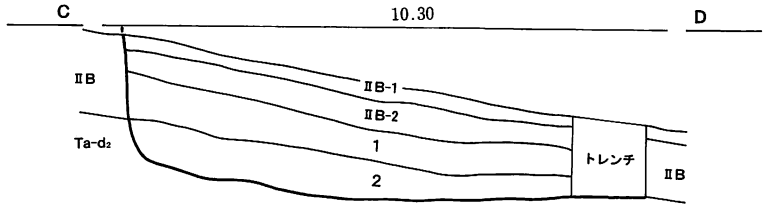
遺　物　遺物は柱穴状ピット（HP）・覆土から出土した。

土　器　土器は29点出土し、Ⅲ群ｂ－２類２点、Ⅳ群ｃ類１点、Ⅴ群26点で、柱穴状ピット

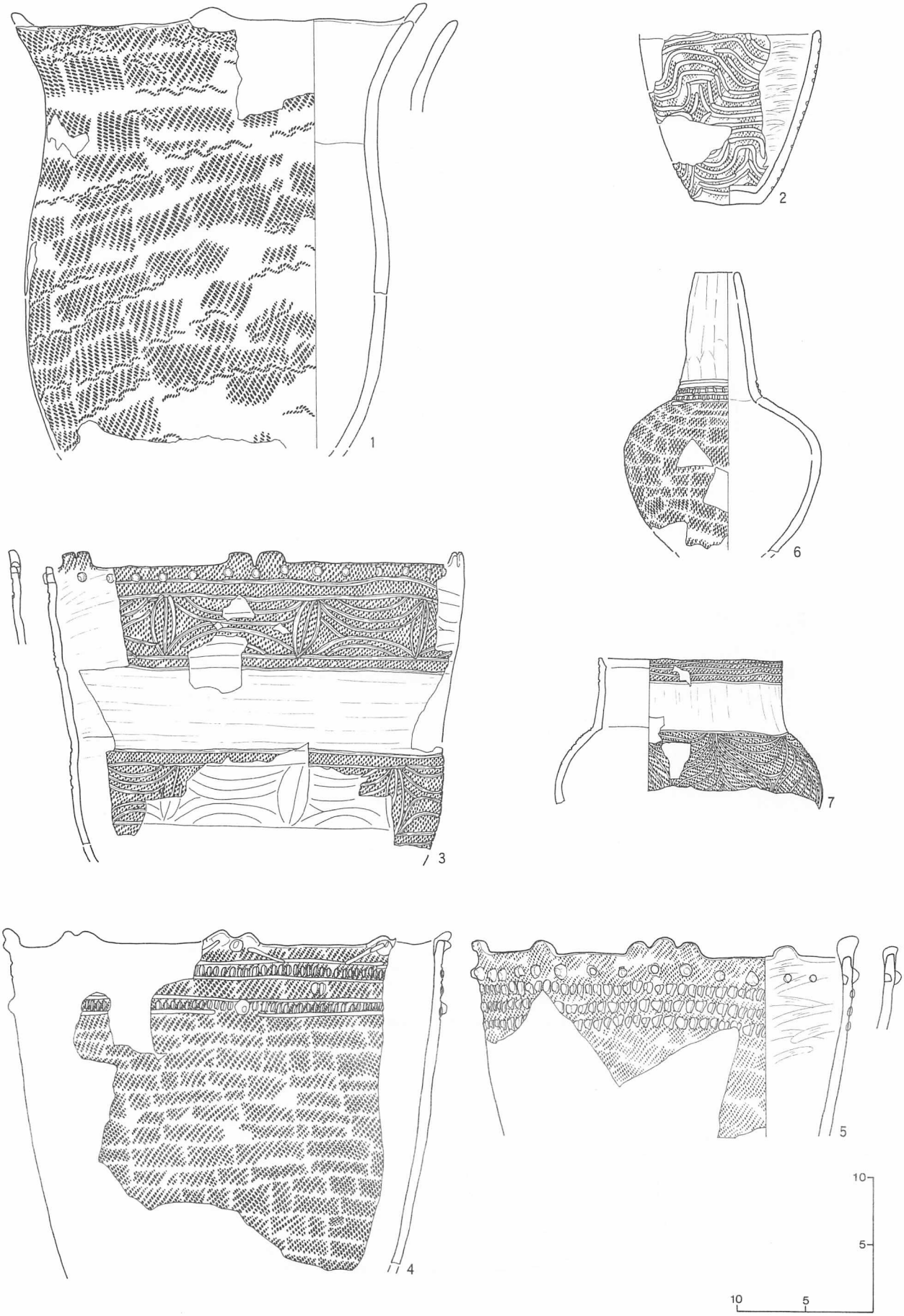
ⅡH－2


N
C
ⅡH-6
A
B
D
0
1m
ⅡH－2
1 暗褐色土　ⅡBとTa-d₁ブロックが主体で、Ta-d₂ブロックを含む。しまっている。
2 明茶褐色土　ⅡBとTa-d₂ブロックが主体でTa-d₁を含む。炭化物、骨片、土器片を多く含む。
3 明茶褐色土　ⅡBが主体でTa-d₁とTa-d₂ブロックを含む。炭化物多く、骨片少量含む。覆土相当。
4 黒褐色土　ⅡBとTa-d₂ブロックが主体でTa-d₁ブロックを含む。炭化物、骨片少量含む。
5 明黄褐色土　Ta-d₂パミスが主体でⅡBを含む流れ込みの可能性が高い。
6 黒色土　ⅡBが主体でTa-d₂パミスを少量含む。やわらかい。

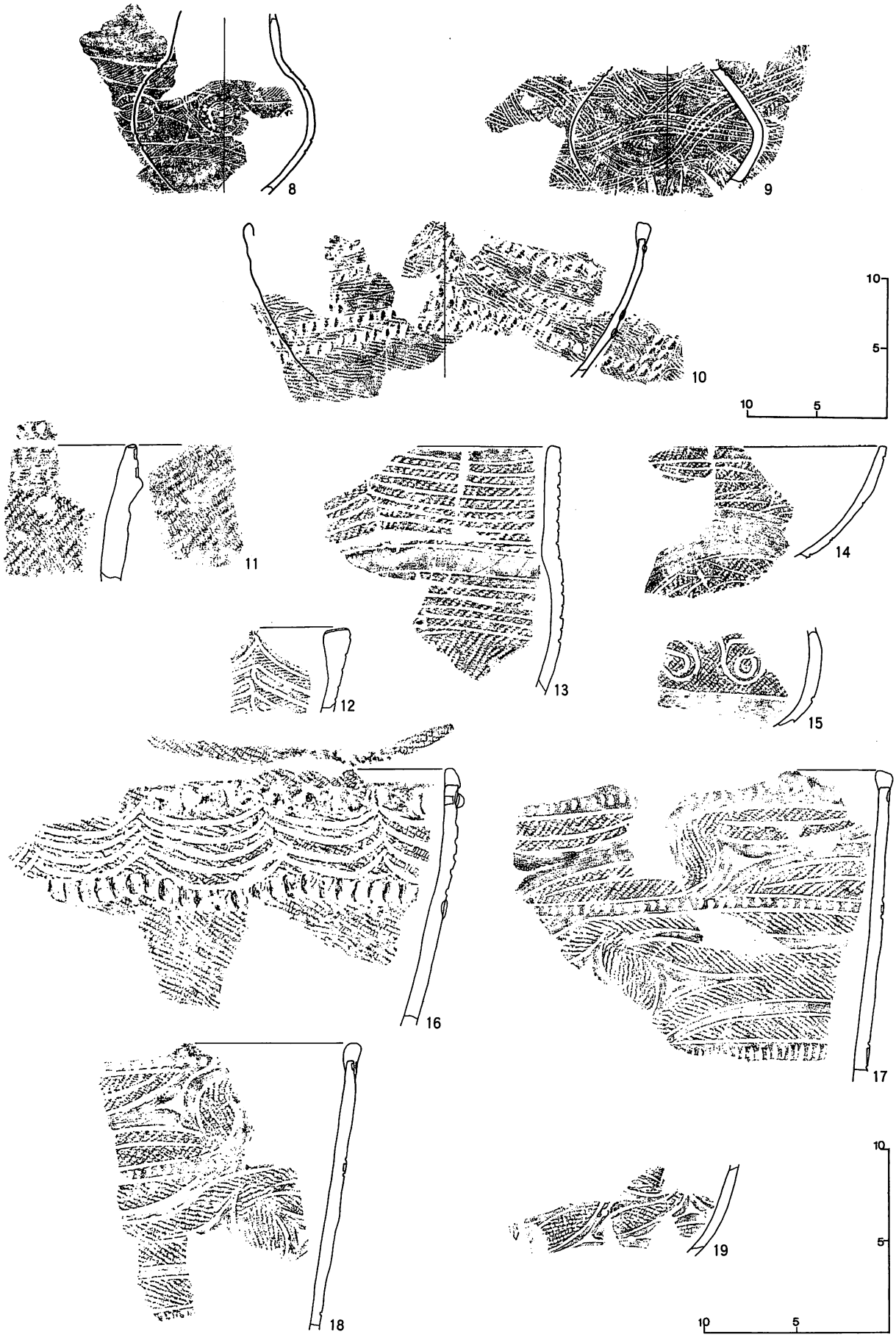

A
10.30
B
ⅡB-2
1
2
3
ⅡB
Ta-d₁
Ta-d₂


C
10.30
D
ⅡB
ⅡB-1
ⅡB-2
Ta-d₂
1
2
トレンチ
ⅡB

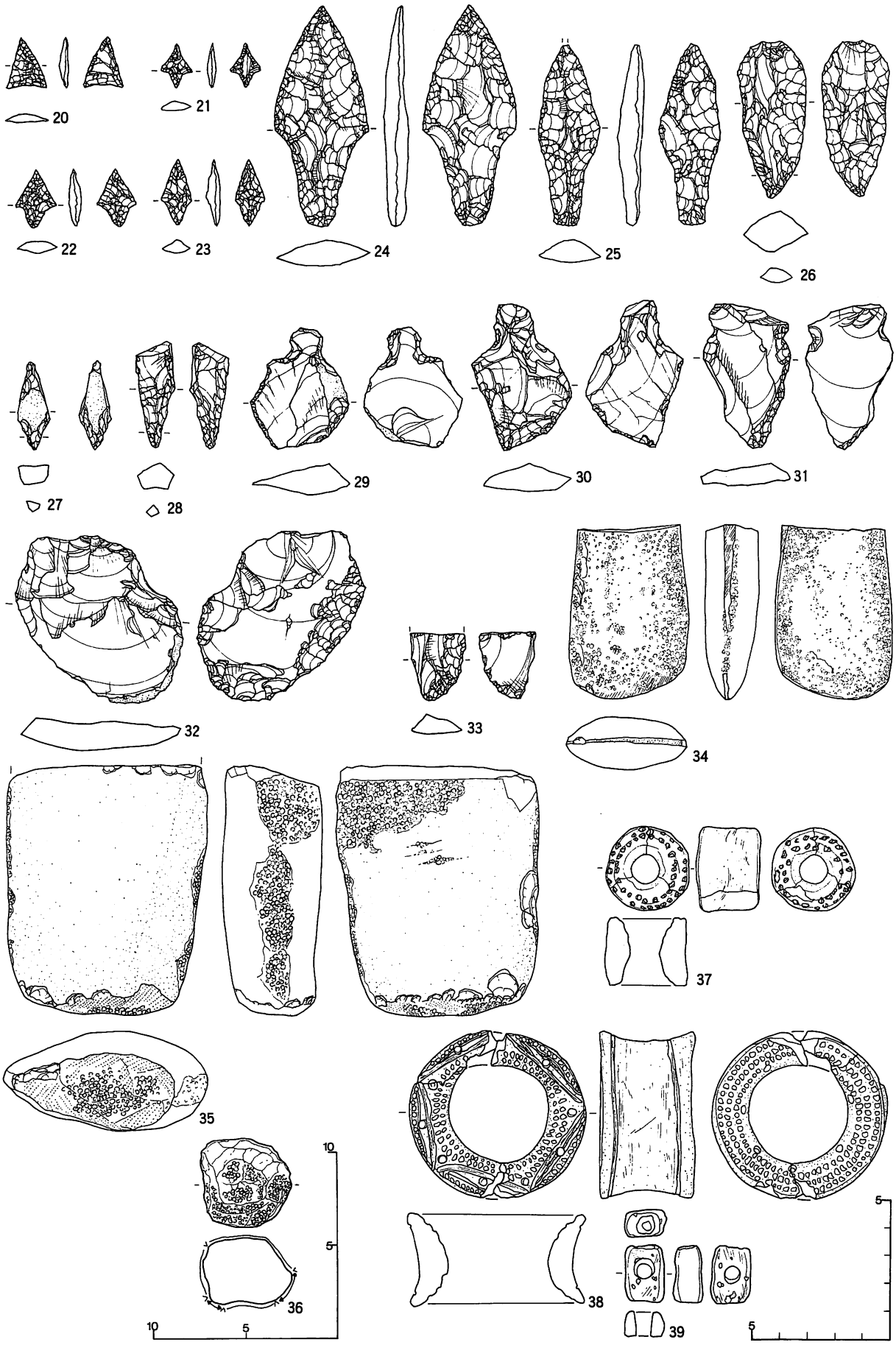
図Ⅳ－4　ⅡH－2



図Ⅳ－５　ⅡＨ－２の出土土器　(1)



図Ⅳ－６　ⅡＨ－２の出土土器　(2)



図Ⅳ－７　ⅡＨ－２の出土の遺物　(3)

（HP）からはⅣ群ｃ類１点、Ⅴ群15点出土した。１から４はいずれもⅤ群の体部破片である。１はHP－６から出土し、沈線によって無文帯が区画されている。２はHP－１、４はHP－６から出土した。３は覆土から出土している。

石　器　石器は11点出土し、つまみ付ナイフ１点、石錘１点、Uフレイク１点、礫１点、礫片６点である。柱穴状ピット（HP）からフレイク１点、礫片１点出土している。

時　期　後期末葉から晩期初頭の頃。

ⅡH－4（図Ⅳ－８）

位　置　E_2—65—03・E_2—65—13

平面形　隅丸方形

規　模　2.23×1.91/1.71×1.41/

確認・調査・土層　ⅡＢ層上面において落ち込みなどは見られなかったが、Ta—d_2層上面において、土色の違いにより平面形を確認し、北東側にⅡＰ－７と切りあっていることが認められた。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ta—d_2層を20～30cmほど掘り込んだ遺構を検出した。土層の堆積は単純で、Ta—d_2パミスを含むⅡＢ層からなっていた。掘り込み面はⅡＢ層下部と思われる。ⅡＰ－７を壊して構築している。

付属ピット　床面上に５か所、壁面に６か所、竪穴外に６か所、柱穴状の小ピットが確認された。いずれも直径10～20cm、深さ20cmのもので、垂直に掘り込まれたものである。

床　面　Ta—d_2層中につくられており、平坦になっている。

壁　面　Ta—d_2層中につくられており、床面との境の不明瞭なゆるやかなものである。

炉　跡　検出されなかった。

遺　物　遺物はいずれも覆土出土である。

土　器　土器は覆土から163点出土し、Ⅲ群ｂ－１類４点、Ⅳ群ｂ類71点、Ⅳ群ｃ類10点、Ⅴ群78点である。１から９は覆土出土である。２・４～７はⅣ群ｂ類である。１はⅣ群ｃ類で覆土から４点出土し、調査区E_2—65—01のⅡＢ－２層出土の資料28点と接合した。体部下半を欠失する。口縁部は小波状口縁で、波頂部には刻みが加えられている。頸部に無文帯をもち、口縁部には突き瘤と横環する沈線文が施されている。無文帯下位には弧線状の沈線文が加えられている。８・９はⅤ群ｃ類で、３はⅤ群の壺形土器の口縁部破片である。

石　器　石器は22点出土し、フレイク16点、礫４点、礫片２点である。

時　期　後期末葉から晩期初頭の可能性がある。

ⅡH－5（図Ⅳ－９）

位　置　E_2—65—03・E_2—65—04

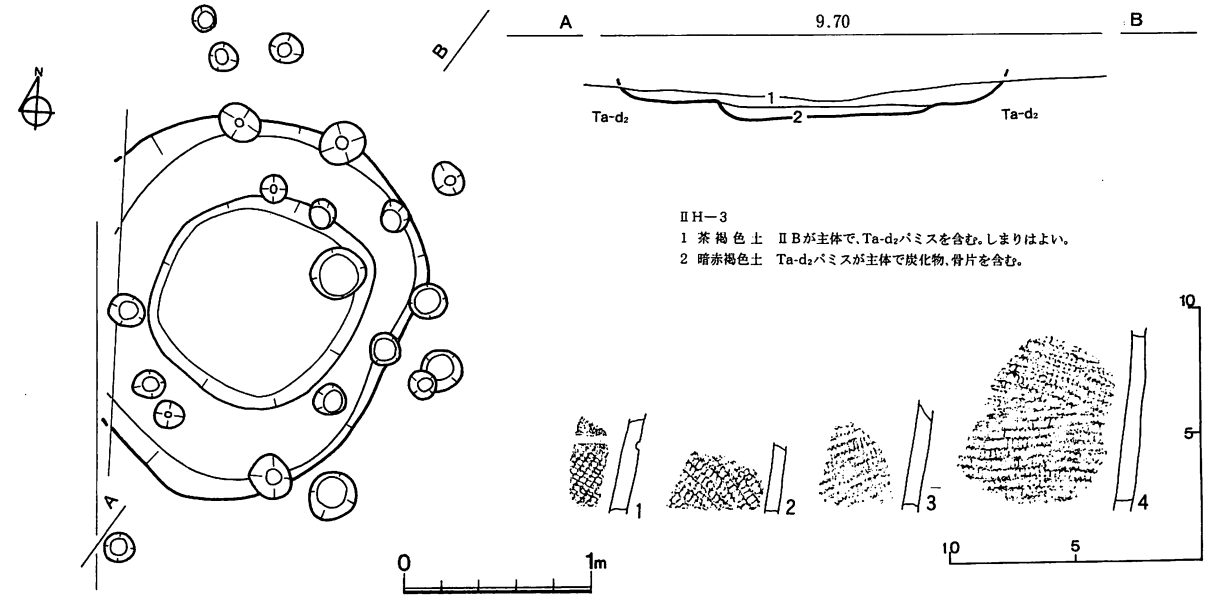
平面形　不整円形

規　模　4.28×3.50/3.90×3.30/0.12

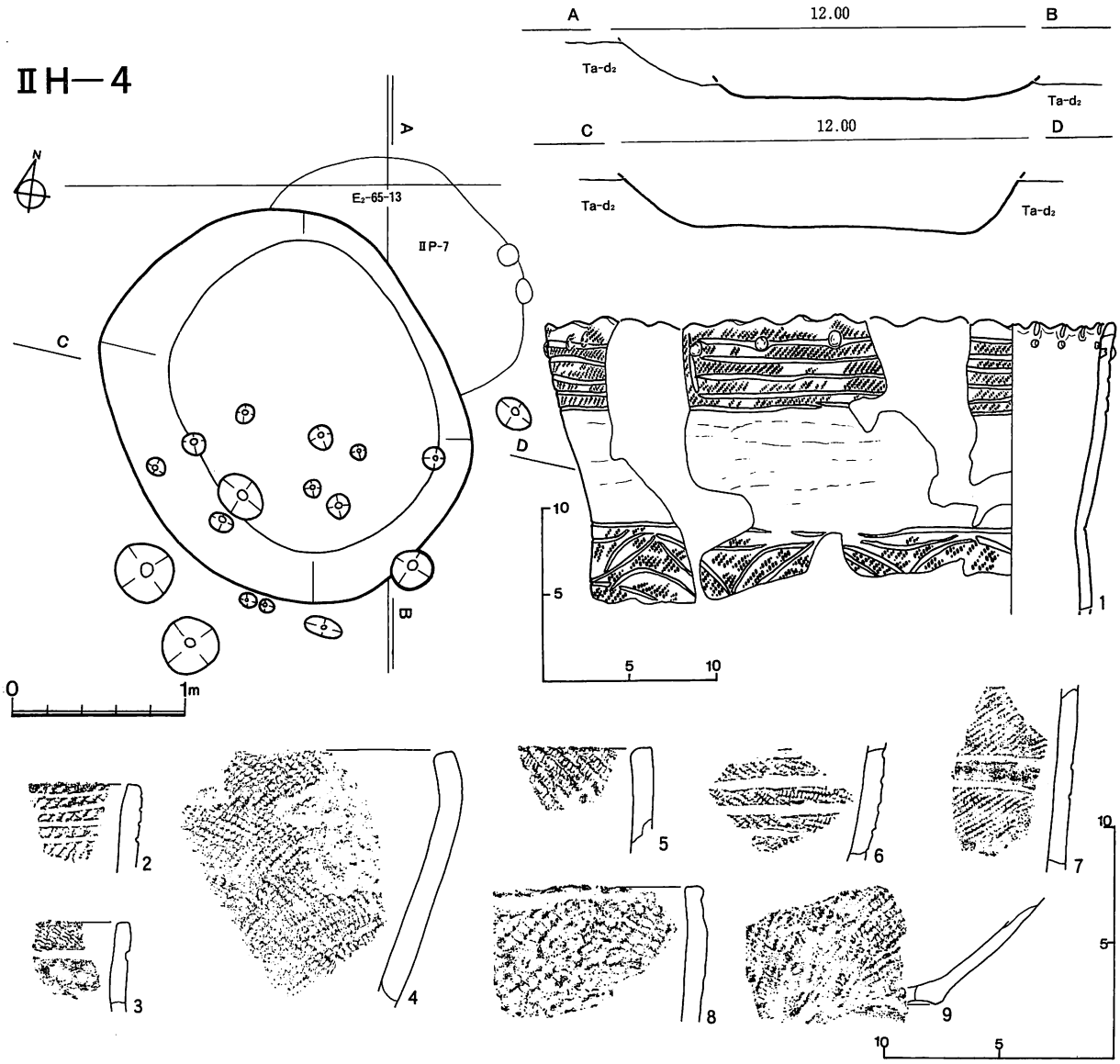
確認・調査・土層　ⅡＢ層上面において落ち込みなどは見られなかったが、Ta—d_2層上面において、土色の違いにより平面形を確認した。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ta—d_2層を10～15cmほど掘り込んだ遺構を検出した。土層の堆積は単純で、Ta—d_2パミスを含むⅡＢ層からなり、２層の覆土に分けることができた。掘り込み面はⅡＢ層下部と思われる。

付属ピット　床面上に24か所、壁面に10か所の柱穴状の小ピットが確認された。いずれも直径10～

ⅡH－3

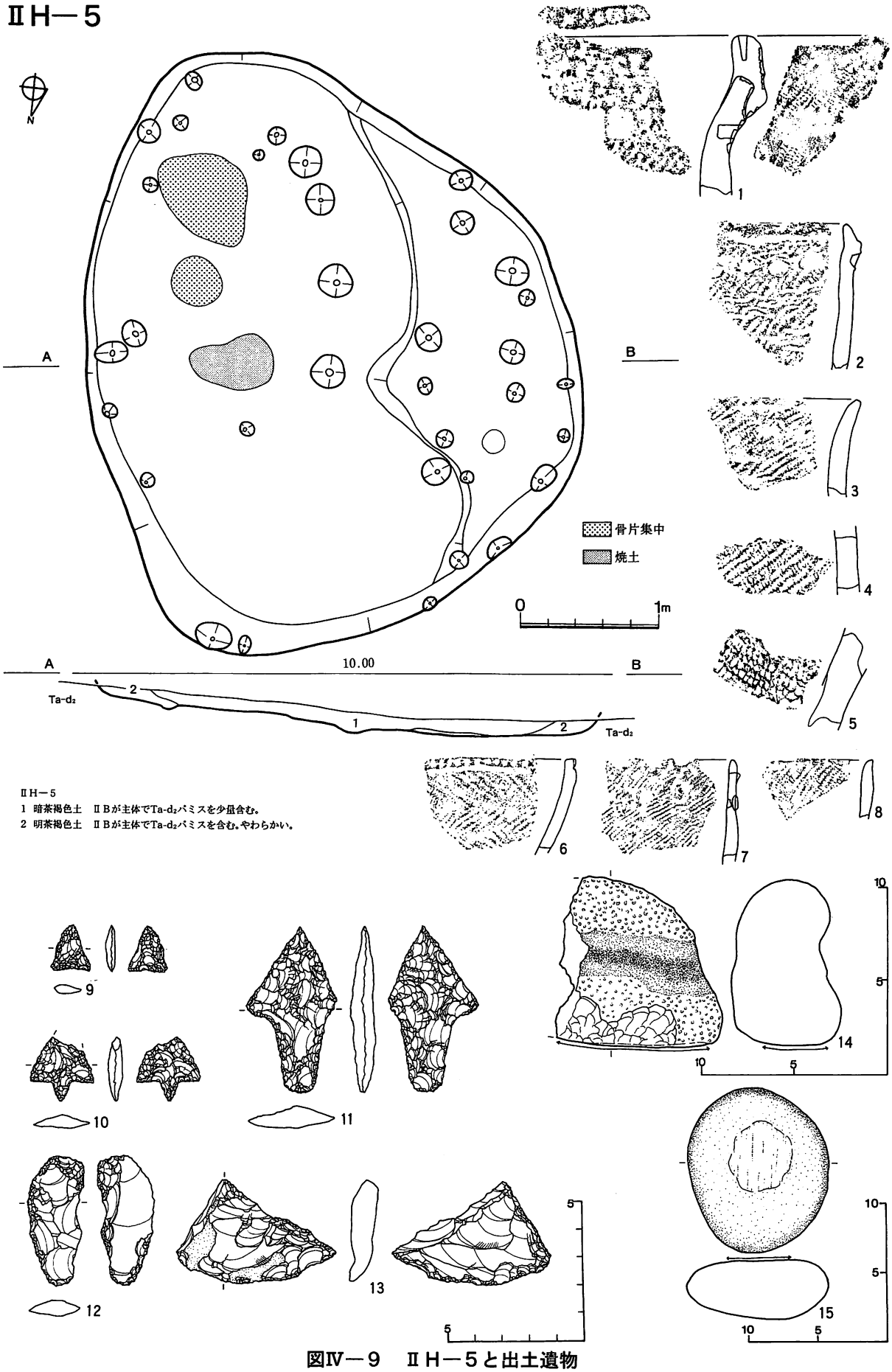


ⅡH－4



図Ⅳ－8　ⅡH－3・4と出土遺物

ⅡH－5



ⅡH－5
1　暗茶褐色土　ⅡBが主体でTa-d₂パミスを少量含む。
2　明茶褐色土　ⅡBが主体でTa-d₂パミスを含む。やわらかい。

図Ⅳ－9　ⅡH－5と出土遺物

20cm、深さ20cmのもので、垂直に掘り込まれたものである。

床　面　Ta—d_2層中につくられており、２段の平坦面になっている。炭化物や焼土のブロックの堆積が見られた。

壁　面　Ta—d_2層中につくられており、床面との境の不明瞭なゆるやかなものである。

炉　跡　明らかではないが、中央やや東よりのまとまった焼土ブロックの可能性が考えられる。

遺　物　遺物は覆土から出土し、出土層位不明１点である。

土　器　土器は126点出土し、Ⅱ群ａ－２類４点、Ⅲ群ｂ－１類３点、Ⅲ群ｂ－３類24点、Ⅳ群ｂ類18点、Ⅳ群ｃ類47点、Ⅴ群ｂ類１点、Ⅴ群ｃ類１点、Ⅴ群28点である。うち床面・床面直上出土はⅢ群ｂ－１類１点、Ⅲ群ｂ－３類１点である。２・４は床面出土である。２はⅢ群ｂ－３類の口縁部破片である。４はⅢ群ｂ－１類の胴部破片で、内面調整は丁寧で、胎土に砂粒を多く含む。１・３・５～８は覆土出土である。５はⅡ群ａ－２類、１はⅢ群ｂ－３類の口縁部破片である。３はⅢ群ｂ－１類の口縁部破片で、内面調整が丁寧で、斜行縄文と綾絡文が施されている。６はⅣ群ｂ類、７はⅣ群ｃ類で突き瘤につまみ揚げが加えられている。８はⅤ群土器である。

石　器　石器は97点出土し、石鏃８点、ポイントまたはナイフ１点、ドリル１点、スクレイパー２点、石斧未成品１点、石斧片１点、北海道式石冠１点、砥石１点、石錘１点、石皿１点、フレイク５３点、礫８点、礫片９点である。９・10は石鏃で、９は無　茎凹基、10は有茎平基のものである。11はポイントまたはナイフ、12・13はスクレイパー、14は北海道式石冠である。15は石皿である。

時　期　中期中葉Ⅲ群ｂ－１類からⅢ群ｂ－３類の頃か。

ⅡＨ－６（図Ⅳ—10）

位　置　E_1—65—81・E_1—65—91

平面形　北北東ー南南西を長軸とする楕円形

規　模　4.32×（2.86）/3.96×2.08/0.11

確認・調査・土層　ⅡＢ層上面において落ち込みなどは見られなかったが、Ta—d_2層上面において、土色の違いにより平面形を確認した。本来、ⅡＨ－２を切るかたちであったが、ⅡＨ－２の調査を先行したため、本来のプランは失われてしまった。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ta—d_2層を10～15cmほど掘り込んだ遺構を検出した。土層の堆積は単純で、Ta—d_2パミスを含むⅡＢ層からなり、２層の覆土に分けることができた。掘り込み面はⅡＢ層下部と思われる。

付属ピット　明確な掘り込みは検出されなかった。

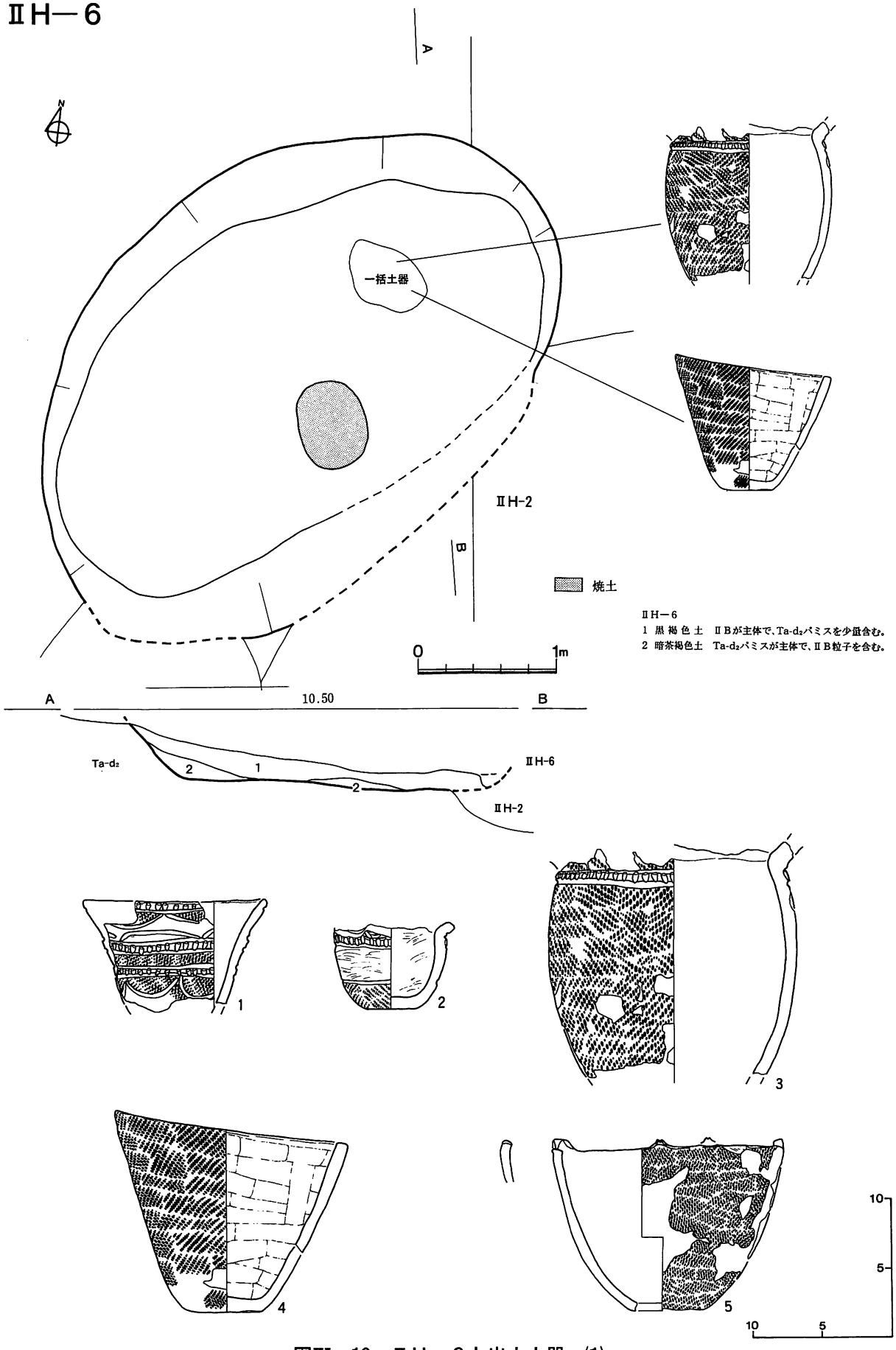
床　面　Ta—d_2層中につくられており、概して平坦である。

壁　面　Ta—d_2層中につくられており、床面との境の不明瞭なゆるやかなものである。

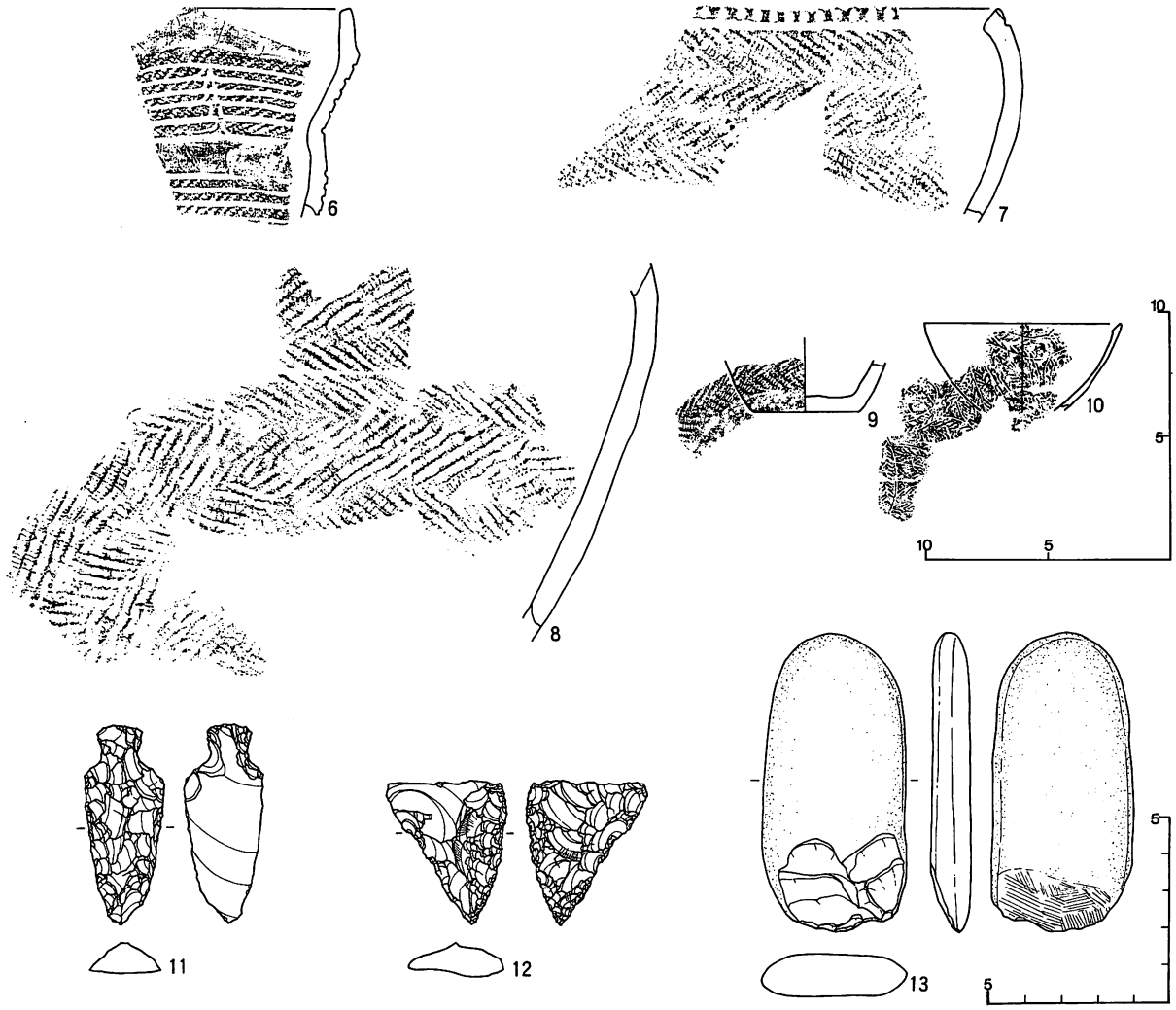
炉　跡　明らかではないが、中央のまとまった焼土ブロックの可能性が考えられる。

遺　物　遺物は床面・覆土から出土した。

土　器　土器は374点出土し、Ⅱ群ａ－２類３点、Ⅲ群ｂ－１類８点、Ⅳ群ｂ類345点、Ⅳ群ｃ類18点で、うち床面出土はⅢ群ｂ－１類１点、Ⅳ群ｂ類24点、Ⅳ群ｃ類１点である。３・４は床面出土資料のⅣ群ｂ類である。３は口縁部・底部を欠失する。頸部下端には刻みが加えられた頸部区画帯が施されている。４は縄文のみのもので器形がやや傾斜する。１・２・５～10は覆土出土のものである。１・２・６～９はⅣ群ｂ類である。１は小型土器で、底部を欠失する。口頸部には刻みが加えられた頸部区画帯が施され、弧線状の磨消文が認められる。２は口頸部を欠失する。頸部下端には刻みが加えられた頸部区画帯が施され、体部下半には沈線で区画された無文帯が加えられている。６は口頸部



図Ⅳ−10　ⅡH−6と出土土器　(1)



図Ⅳ—11　ⅡH—6の出土遺物　(2)

に無文帯をもつもので、口縁部・体部に横走する沈線が施され、口縁部には「)」状の沈線が加えられている。７～９は同一個体で、９は底部破片である。５・10はⅣ群ｃ類である。５は縄文のみのもので、口唇部に刻みが加えられた小突起が施されている。10は小型土器で、矢羽根状の刻みの加えられた細い沈線文が施文されている。

石　器　石器は157点出土し、石鏃１点、スクレイパー３点、石斧１点、石斧素材１点、石斧片２点、石皿１点、フレイク48点、礫15点、礫片85点で、うち礫１点が床面出土である。11はつまみ付ナイフ、12はスクレイパーで周縁両面加工で尖頭部を作り出している。13は石斧素材で、先端部に粗割・すり整形が加えられている。

時　期　後期中葉のⅣ群ｂ類の頃。

ⅡＨ－７（図Ⅳ－12）

位　置　E_2－65－00・E_2－65－01・E_2－65－10・E_2－65－11

平面形　円形

規　模　4.52×（4.14）/4.26×（3.64）/0.30

確認・調査・土層　ⅡＢ層上面において落ち込みなどは見られなかったが、Ta－d_2層上面において、土色の違いにより平面形を確認した。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ta－d_2層を30～40cmほど掘り込んだ遺構を検出した。床面付近には２基のＴピットの平面形が確認された。土層の堆積は単純で、Ta－d_2パミス、焼土、炭化材、獣骨などを多く含むⅡＢ層からなり、３層の覆土に分けることができた。掘り込み面はⅡＢ－２層下部と思われる。

付属ピット　床面上に８か所、壁面に１か所、竪穴外に13か所の柱穴状の小ピットが確認された。いずれも直径10～20cm、深さ20cmのもので、垂直に掘り込まれたものである。

床　面　Ta－d_2層とⅡＢ－３層中、およびTP－２、３上面につくられており、概して平坦である。

壁　面　Ta－d_2層中につくられており、床面との境の不明瞭なゆるやかなものである。

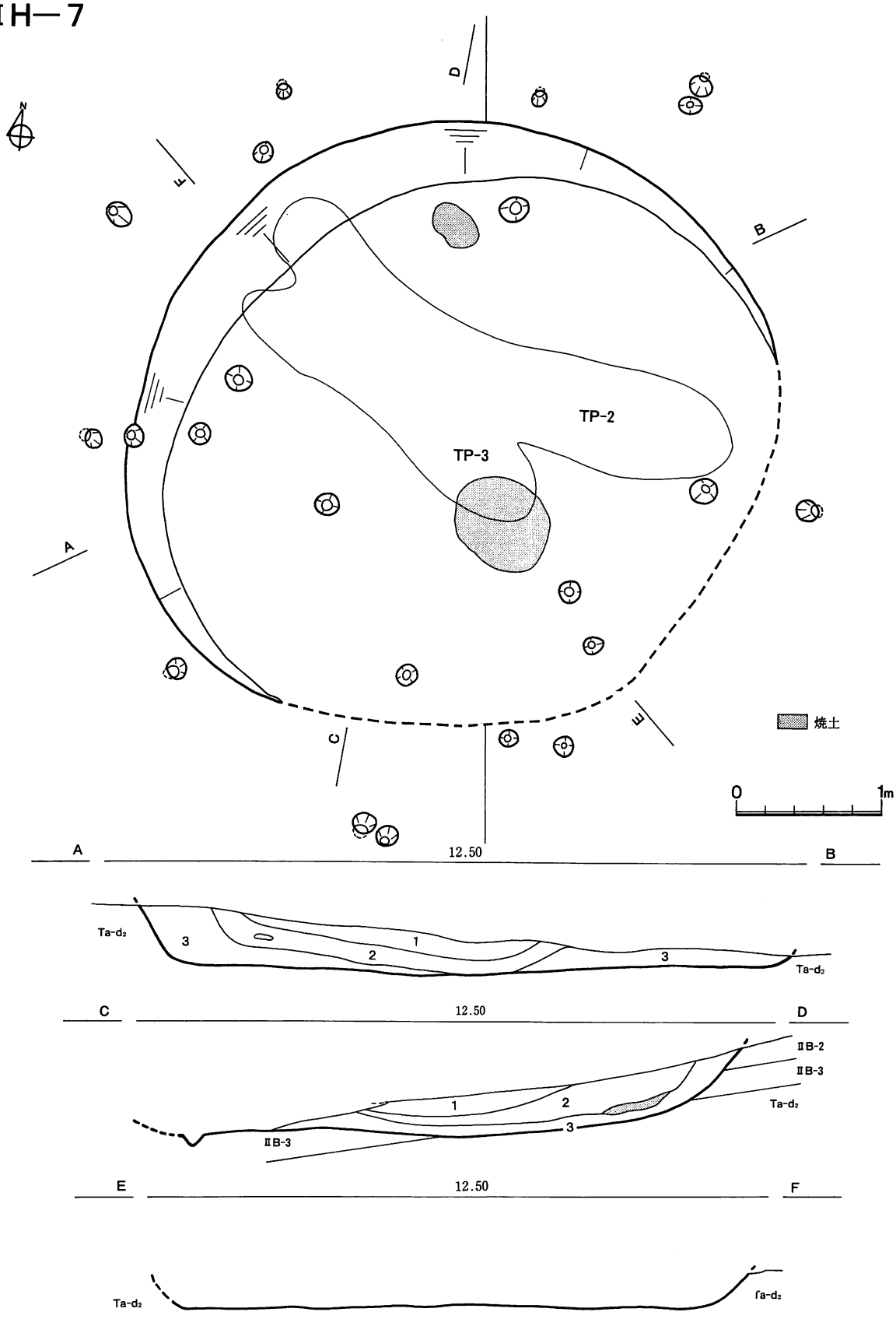
炉　跡　明らかではないが、中央のまとまった焼土ブロックの可能性が考えられる。

遺　物　遺物は床面・覆土等から出土した。

土　器　土器は3,916点出土し、Ⅱ群ａ－２類２点、Ⅲ群ａ類１点、、Ⅲ群ｂ－１類３点、Ⅳ群ｂ類3,154点、Ⅳ群ｃ類241点で、Ⅴ群515点で、うち床面出土はⅣ群ｂ類９点である。14・15は床面出土で、Ⅳ群ｂ類の口縁部片である。14は横環する沈線に弧状の沈線が加えられている。15には横環する沈線に「Ｓ」字状の垂下する沈線が加えられている。

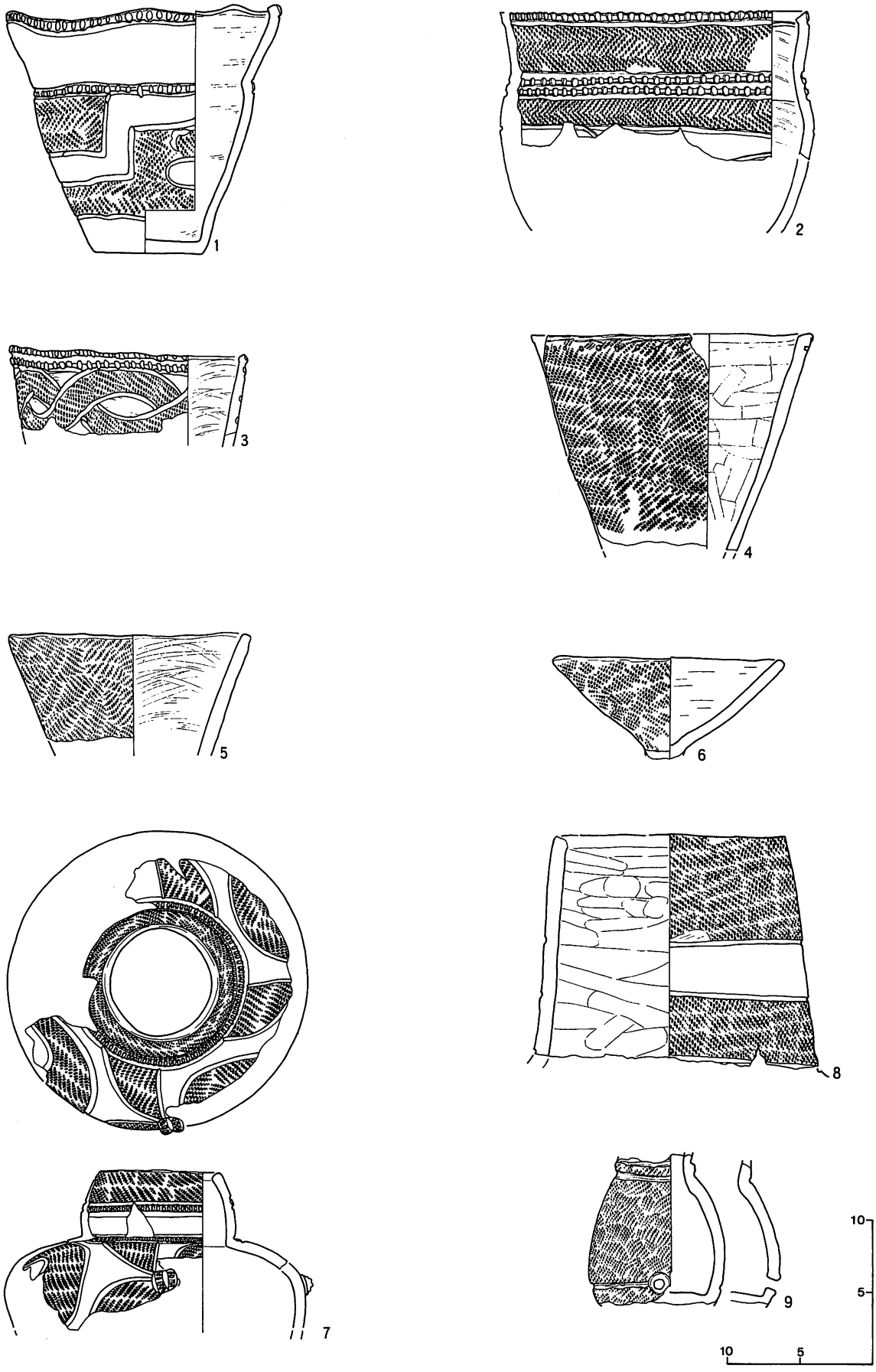
１～13・17～27は覆土出土である。13はⅡ群ａ－２の口唇部破片である。27はⅢ群ｂ－１類の口縁部破片である。口唇部には縄の圧痕が加えられた貼付帯が加えられている。Ⅲ群ｂ－２類の可能性もある。１～10・16～25はⅣ群ｂ類である。16の口唇部断面形は角形で、口唇部には縄文が施文され、無文地の口縁部には条線文が加えられている。17・18は口唇直下に無文帯をもち地文上に横位の沈線文が施されたもので、17の沈線間に２個一組の刺突文が部分的に加えられている。19は口縁部に無文帯をもつもの。４は口唇部直下に外面からの細い刺突文が加えられたものである。類似資料がエリモ遺跡Ｂ地点から出土していることから本類に含めた。５・６・20・21は縄文のみのもの。浅い杯状のもので器面内外面に炭化物の付着が認められる。１～３・７・10・22～25は口唇直下及び頸部下端に刻みをもつもので、25には突き瘤が加えられている。８は大形の壺形土器の口縁部破片である。９は口縁部・底部を欠失する。底部直上に穿孔が加えられている。26はⅤ群で、口唇部直下にＢ状突起が施されている。

ⅡH—7

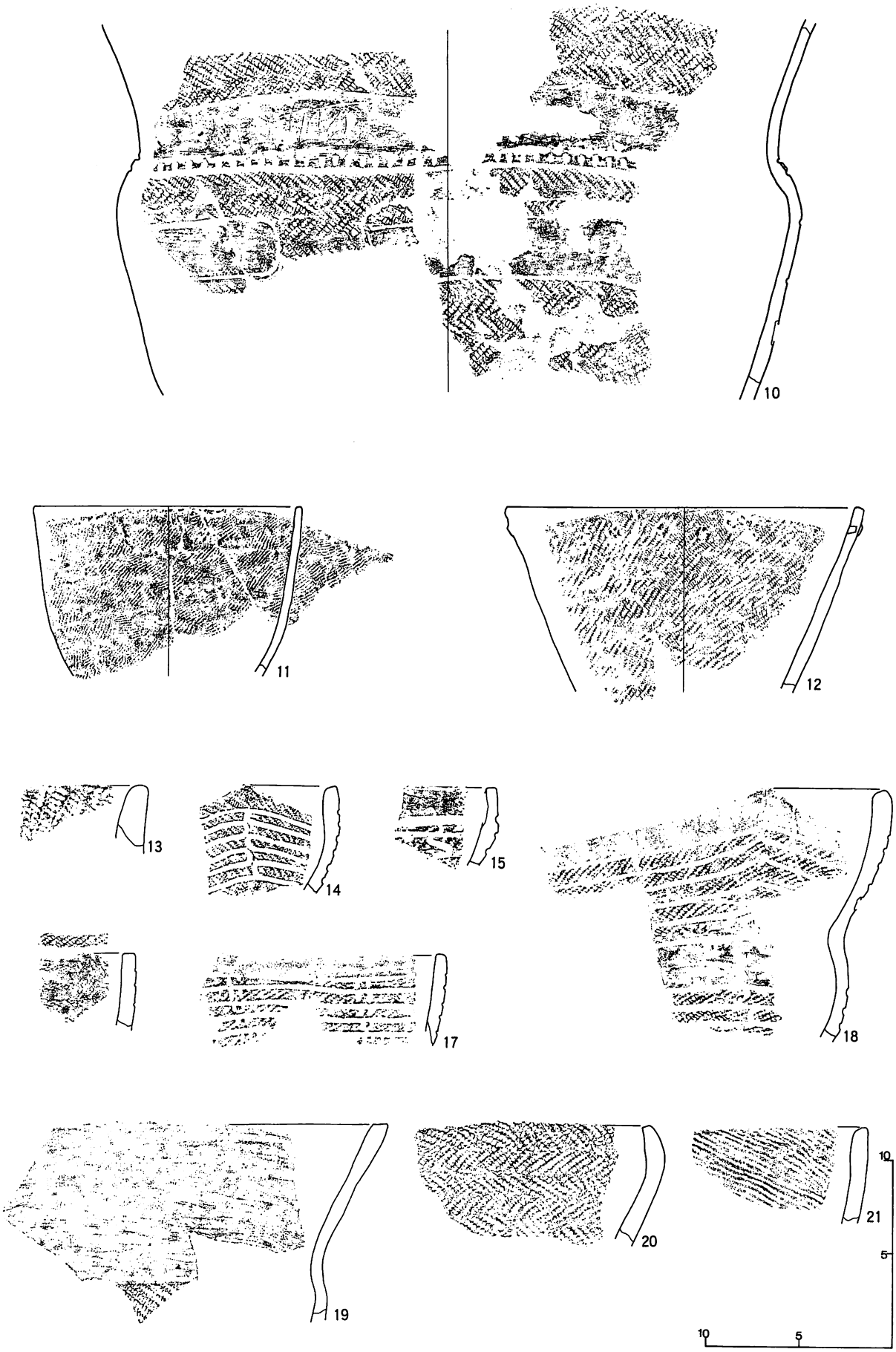


ⅡH—7
1 暗 褐 色 土　ⅡBが主体でTa-d₁パミスがわずかに混入Ta-d₂は径5mm程度のブロックとして混入。
2 暗茶褐色土　1とあまりかわらない。ただしTa-d₂の混入が減る。
3 暗 褐 色 土　1、2と基本は変わらない。Ta-d₂パミスの混入は少ないが径は2～3cmと大きめである。
4 暗赤褐色土　ⅡBにTa-d₁、Ta-d₂パミスが著しく混入。色調は汚れたオレンジ色。

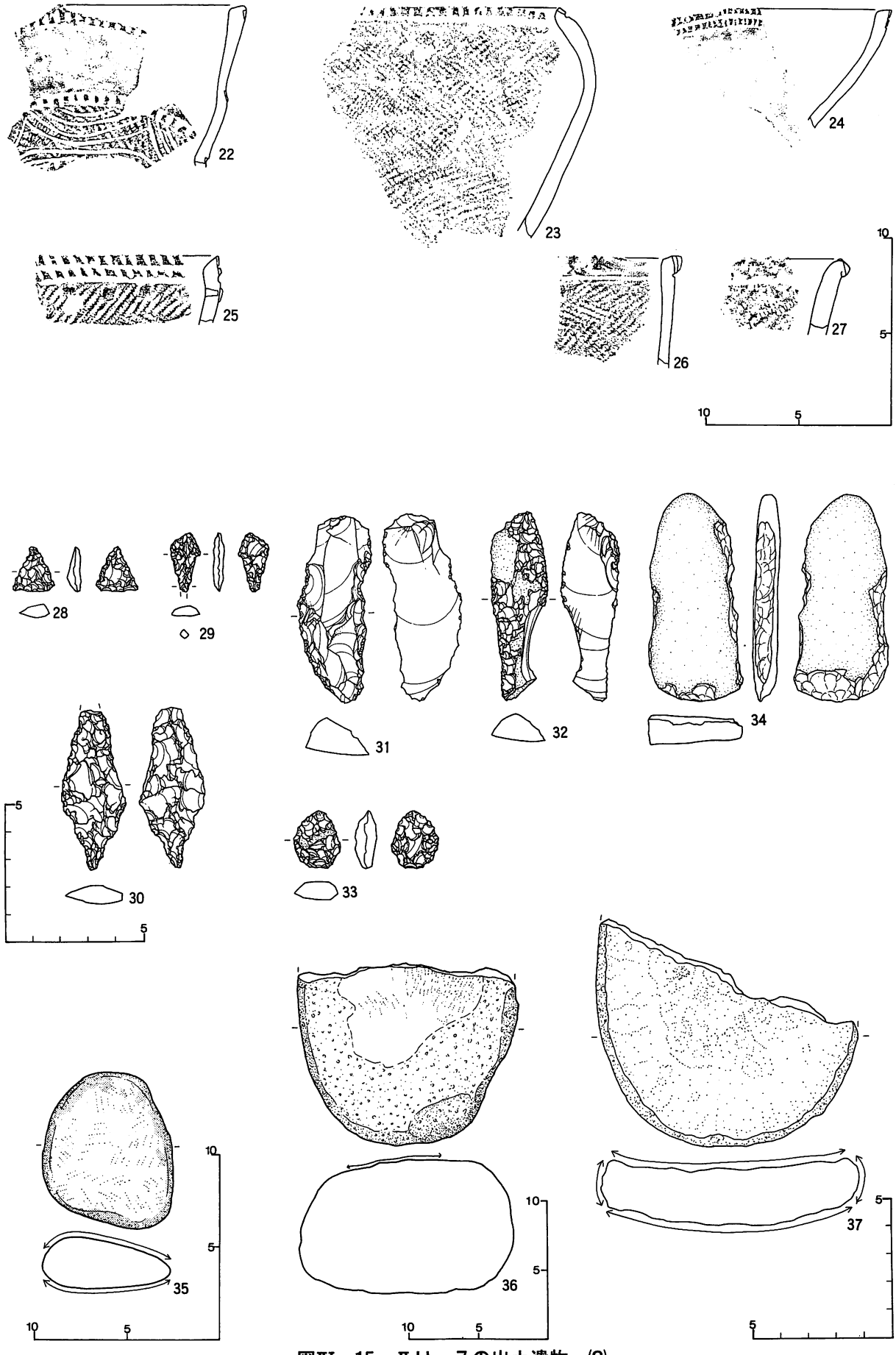
図Ⅳ—12　ⅡH—7



図Ⅳ—13　ⅡH—7の出土土器　(1)



図Ⅳ—14　ⅡH—7の出土土器　(2)



図Ⅳ—15　ⅡH—7の出土遺物　(3)

石　器　石器は457点出土し、石鏃14点、ポイントまたはナイフ１点、ドリル２点、スクレイパー４点、両面加工の石器１点、石核２点、石斧未成品１点、石斧片３点、すり石１点、砥石４７点（同一個体の小破片を含む）、台石１点、フレイク265点、礫72点、礫片43点で、うち床面から台石１点、礫片１点出土している。28は石鏃で、無茎平基である。29・30はドリル、31・32はスクレイパー。33は両面加工の石器、34は石斧未成品である。35は両面にすり面をもつものですり石と思われる。周縁に炭化物が付着している。36は台石である。

石製品　石製品は２点出土し、37はオロシガネ状石製品である。

時　期　後期中葉のⅣ群ｂ類の頃と思われる。

ⅡＨ—10（図Ⅳ—16、17、18、19）

位　置　E_1—65—80

平面形　北北東—南南西を長軸とする楕円形

規　模　(2.72) × (2.01) / (2.54) × (1.88) /0.23

確認・調査・土層　ⅡＢ層上面においてわずかな落ち込みを確認し、トレンチにより土層断面を確認しながら、掘り下げたところTa—d_2層下約10cmほどの掘り込みと壁面を検出した。北側に隣接する昭和55年度の調査区において確認されたⅡＨ—10に続くものと判断して調査した。土層の堆積は単純な自然堆積で、Ta—d_2パミスを含むⅡＢ層からなっている。掘り込み面はⅡＢ—２から３層の間と思われる。

付属ピット　床面上に６か所の柱穴状の小ピットが確認された。いずれも直径10～20cm、深さ20cmのもので、垂直に掘り込まれたものである。

床　面　Ta—d_2層中につくられており、部分的に硬化面が確認された。概して平坦である。

壁　面　Ta—d_2層からⅡＢ層にかけてゆるやかに立ち上がる。

炉　跡　今回の調査範囲内では確認されなかった。

遺　物　遺物は床面・壁・HP・覆土等から出土した。

土　器　土器は12,870点出土し、Ⅲ群ｂ—１類８点、Ⅲ群ｂ—２類９点、Ⅲ群ｂ—３類２点、Ⅳ群ｂ類245点、Ⅳ群ｃ類7,953点で、Ⅴ群4,653点で、うち床面・壁・柱穴状ピット（ＨＰ）出土はⅢ群ｂ—２類７点、Ⅳ群ｂ類49点である。床面から１・２・17～19・22・23・25が出土した。１は床面直上から７点出土し、ⅡＨ—10のⅡＢ—３層（２点）、調査区E_1—65—80・81のⅡＢ—２層（11点）、調査区E_1—65—80・90のⅡＢ—３層（５点）出土の資料と接合した。波状口縁で、口唇部断面形は角形である。口縁部・体部上半には縄文施文後、沈線で区画し、磨消しが加えられている。２は床面直上から９点出土し、同ⅡＢ—３層（１点）出土の資料と接合した。底部を欠失する。波状口縁で、口唇部断面形は角形である。口縁部・体部には縄文施文後、沈線で区画し、磨消しが加えられている。17はⅢ群Ｂ—２類で口唇部・口縁部に刺突文が加えられている。18・19・22・23・25はⅣ群ｂ類で、25は底部破片で、磨消縄文が施された24と同一個体である。

３～16・20・21・24・26～28は覆土出土である。20・21・24はⅣ群ｂ類である。３～６・８～16・26～28はⅣ群ｃ類である。３・４・16は口縁部に突き瘤が加えられ、口頸部に無文帯をもつもので、３はⅡＨ—10・11のⅡＢ—２層から、４はⅡＨ—10のⅡＢ—１・２層から出土した。16はⅡＨ—10・11のⅡＢ—１層等から出土した。器壁が厚い。胎土に多量の砂粒を含み脆弱である。５は口頸部を欠失するが３・４に類似するものと思われる。６はⅡＨ—10・11のⅡＢ—１層や調査区のⅡＢ—１層から出土している。体部下半を欠失する。口縁部には貼り付けによる突起が作出されている。口唇部断

面形は切り出し状である。体部上半は上下に沈線が加えられた刺突文によって区画され、区画帯内には菱目状を意識した沈線文とボタン状の貼瘤が施されている。８は縄文のみの小型土器、10は盃状の無文小型土器である。11・13・14は磨消縄文に刺突文が加えられたもので、11の器形は不明で、ⅡＨ―10のⅡＢ－１層・調査区のⅡＢ－１層から多く出土している。13は壷形になるものと思われ、ⅡＨ―10・調査区ともⅡＢ－２層に相当する層から多く出土している。14は壷形や注口土器の口頸部の可能性がある。12は注口土器で、口頸部・体部下半を欠失する。体部上半は刻みの加えられた２本の沈線に区画され、文様帯には渦巻状の沈線文が施されている。15の口唇部断面形は切り出し状である。波状口縁で、地文を施文したのち、口縁部には波状の沈線と突き瘤が、胴部は横環する沈線で区画したのち「C」字状の沈線文が加えられている。26の口唇部断面形は切り出し状で、口唇部直下には突き瘤、体部には横走する沈線文が施されている。27は波状口縁で、体部には菱目状の沈線文が施されている。28の口唇部断面形は切り出し状で、口唇部は貼り付けによる小突起が施され、口唇部には円形刺突文が加えられている。体部は横走する沈線で２段に区画され、モール状の沈線文と波状の円形刺突文が施文され、さらに部分的に磨消しが加えられている。７はⅤ群の小型土器で、体部下半を欠失する。口縁部には小突起が加えられ、口縁部には縄文施文後に３条の横環する細い沈線文が加えられている。Ⅴ群としたがⅣ群ｃ類の可能性がある。

石　器　石器は2,238点出土し、石鏃80点、ドリル16点、つまみ付ナイフ２点、スクレイパー17点、石核６点、石斧12点、石斧未成品10点、石斧素材１点、石斧片79点、すり石１点、たたき石９点、砥石４点、石錘１点、石皿４点、台石１点、原石３点、軽石21点、Ｒフレイク２点、Ｕフレイク２点、フレイク1,618点、礫148点、礫片200点で、うち床面・壁・ＨＰから石斧１点、石皿１点、フレイク25点、礫１点、礫片27点である。34の石斧は壁際、37の石皿は床面から出土した。29～32は石鏃で、いずれも有茎凸基である。33・34は石斧で粗割整形、すり整形で、刃部が作り出されている。35は石斧未成品、36はたたき石、37は石皿である。

土製品　耳栓は覆土から２点出土した。38は臼形耳栓である。

石製品　石製品は１点出土したが破片資料のため掲載しなかった。

時　期　後期中葉のⅣ群ｂ類の頃。

ⅡＨ―11（図Ⅳ―16、20、21、22）

位　置　E_1―65―80、90

平面形　円形

規　模　詳細不明

確認・調査・土層　ⅡＢ層上面においてわずかな落ち込みを確認し、トレンチにより土層断面を確認しながら、掘り下げたところTa―d_2層下約10cmほどの掘り込みのみを検出した。北側に隣接する昭和55年度の調査区において確認されたⅡＨ―11に続くものと判断して調査したが、壁面の検出が困難でプランを明確にすることができなかった。土層の堆積は単純な自然堆積で、Ta―d_2パミスを含むⅡＢ層からなっている。掘り込み面はⅡＢ－２から３層の間と思われる。

付属ピット　検出されなかった。

床　面　Ta―d_2層中につくられており、平坦である。

壁　面　不明である

炉　跡　検出されなかった。

遺　物　遺物は覆土出土である。

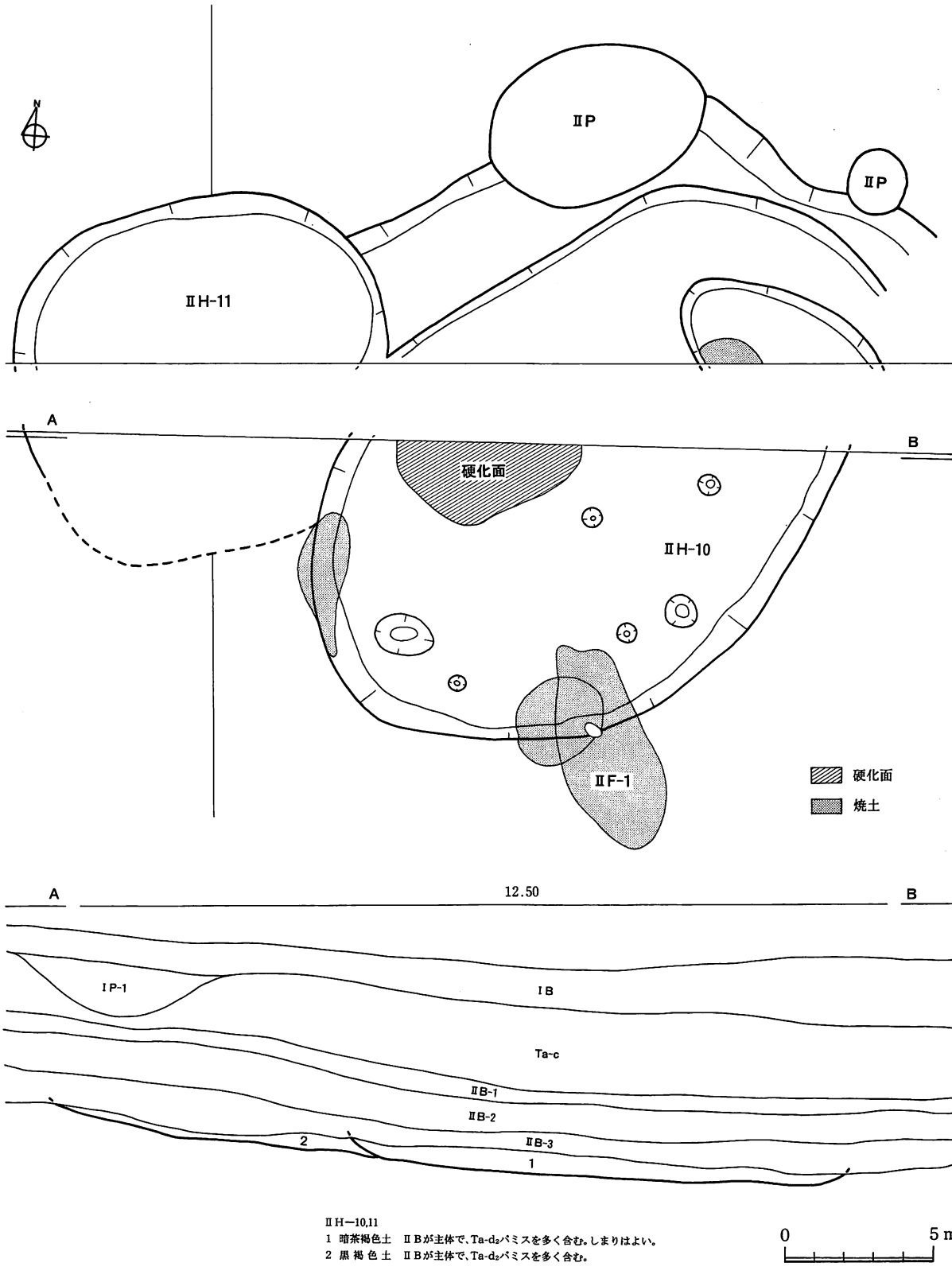
土　器　土器は15,773点覆土から出土し、Ⅱ群ａ－２類10点、Ⅲ群ａ類１点、Ⅲ群ｂ－１類14点、Ⅲ群ｂ－３類２点、Ⅳ群ｂ類82点、Ⅳ群ｃ類11,567点で、Ⅴ群ａ類２点、Ⅴ群ｃ類31点、Ⅴ群4,065点である。16はⅢ群ａ類で、撚糸圧痕文が加えられた細い貼付帯が施されている。17はⅢ群ｂ－１類である。口縁部は波状口縁で、波頂部先端爪による刺突文、口唇部には沈線文が加えられている。器面外面には横走気味に縄文が施され、刺突が沈線間に加えられた２本一組の沈線文が施されている。19・20はⅣ群ｂ類である。１～15・18・20～25はⅣ群ｃ類で、２～５・７・９・18・21・22は口唇部断面形が切り出し状で口唇部が肥厚するものである。２はⅡＨ―11のⅡＢ－１層３点、ⅡＢ－２層４点が接合した。体部には弧線状の沈線文が施されている。３はⅡＨ―11のⅡＢ－１層３点、ⅡＢ－２層２点出土し、調査区E_2―65―90のⅡＢ－１層13点、ⅡＢ－２層３点、中央トレンチⅡＢ層７点の資料と接合した。口縁部は小波状口縁で、口縁部に連弧状の沈線文が施されている。４・５は同様の器形・文様構成をもつものである。４はⅡＨ―11のⅡＢ－１層20点、ⅡＢ－２層１点が接合した。５はＨ―11のⅡＢ－２層７点が接合した。７はＨ―11のⅡＢ－２層７点、調査区E_1―65―90のⅡＢ層１点が接合した。内面に浅い刺突文が加えられているが突き瘤を形成していない。９はⅡＨ―11のⅡＢ－２層１点出土し、E_2―65―11のⅡＢ－１層21点が接合した。口縁部に突き瘤をもたないもので、体部には沈線を加えた後、縄文が加えられている。21・22は器壁が厚手で、体部には沈線文が加えられいる。１・６・10～15・23～25は口唇部断面形が内傾・角形・丸味をもち口唇部が肥厚しないものである。１はⅡＨ―11のⅡＢ－１層から１点、ⅡＢ－２層１点出土し、調査区E_1―65―90のⅡＢ層１点、ⅡＢ－１層９点、ⅡＢ－２層６点、ⅡＢ－３層５点、ⅡＢ層１点、不明１点と接合した。口唇部断面形は尖り、口縁部に内面に刻みが加えられた大小の突起が交互に施されている。口頸部に無文帯をもつ。６はⅡＨ―11のⅡＢ－１層６点が接合した。平縁で、口縁部に突き瘤が加えられている。10は小型土器で、ⅡＨ―11のⅡＢ－２層２点出土し、E_2―65―10のⅡＢ－２層７点が接合した。無文地に沈線で区画し、刺突文が加えられている。11は壷形土器で、底部を欠失する。ⅡＨ―11のⅡＢ－１層１点、ⅡＢ－２層４点、ⅡＢ－３層１点出土し、E_2―65―10のⅡＢ－３層１点、E_1―65―90のⅡＢ－１層12点と接合した。頸部に無文帯をもち、沈線施文後、縄文を加えている。12は無文の壷形土器、13・14は壷形・注口土器の口頸部と思われる。いずれもボタン状の貼り付けが加えられ、13には地文上に半截竹管状工具の押引文が、14は沈線で区画し、刺突文が加えられている。15は口頸部に無文帯をもつもので、口縁部は直立する。23～25は地文上に細い沈線文が施されたもので、23・25には沈線間に刺突が加えられている。８は口縁部・底部を欠失するものである。細い撚糸文と縄文が交互に数段施され、境目に２列の刺突列が加えられている。26・27はⅤ群ａ類で、三叉文風の沈線文が施されたもので、27の口縁部は爪形文で区画されて、口唇部直下にはＢ状突起が加えられている。28はⅤ群ｃ類で、不規則な斜行縄文が施されている。

石　器　石器は2,514点出土し、石鏃70点、ドリル18点、つまみ付ナイフ５点、スクレイパー15点、石核３点、石斧４点、石斧未成品４点、石斧素材５点、石斧片93点、たたき石３点、砥石５点、石錘２点、原石４点、軽石５点、フレイク2,046点、礫94点、礫片138点である。28～36は石鏃で、29・30・32は有茎凸基、31・33～36は有茎平基で、29～35は身部が正三角形のもの、36は細長い二等辺三角形のものである。37・38はドリルで、37は両面周辺加工、38は両面加工で作出されている。39はつまみ付ナイフである。40は石斧で基部を欠損しているが、折れ面に敲打痕が認められることから楔として再利用した可能性がある。41は砥石である。

土製品　耳栓が４点出土したが、破片資料のため掲載しなかった。

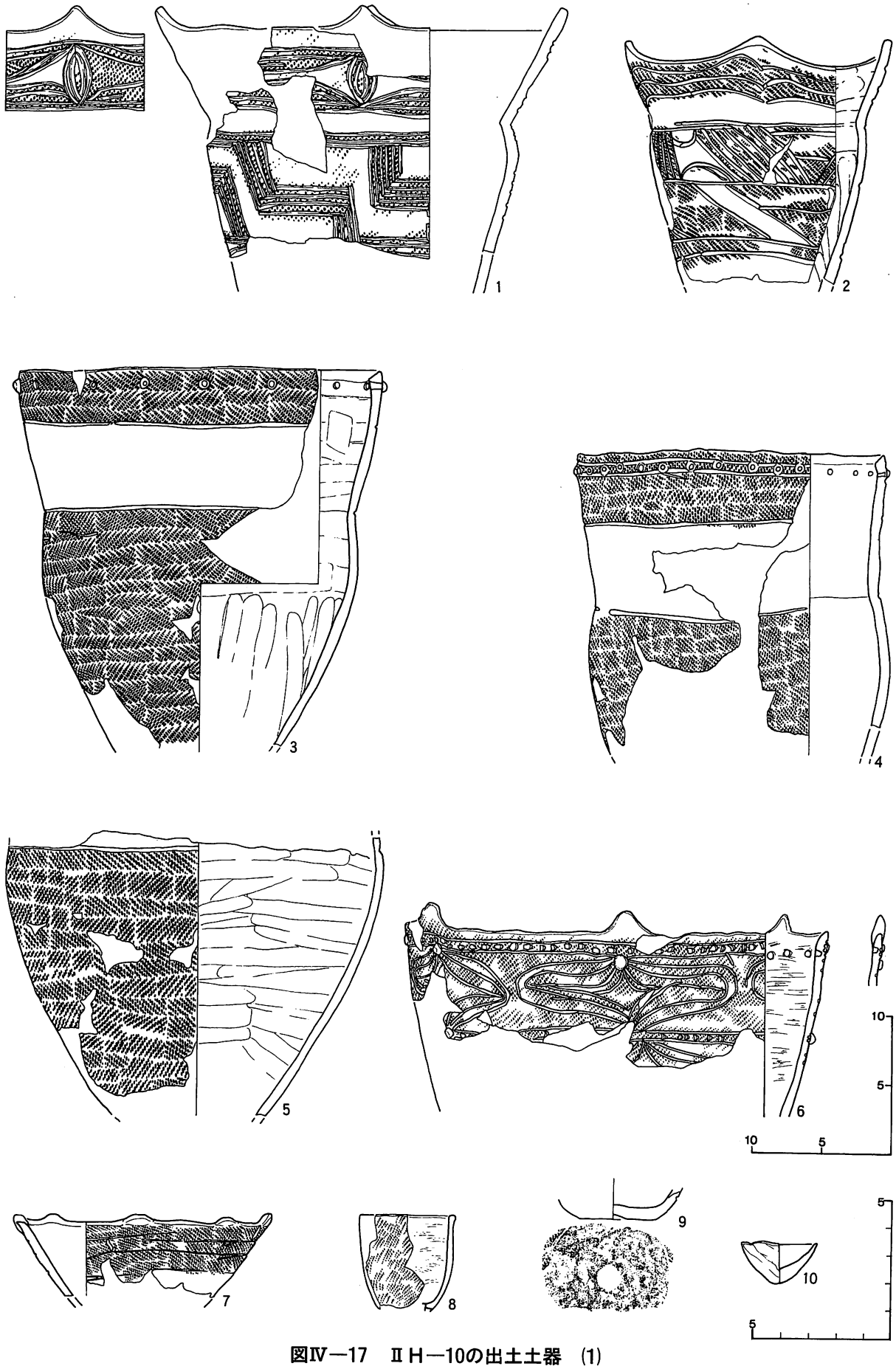
石製品　石棒が２点出土したが、破片資料のため掲載しなかった。

ⅡH-10・11

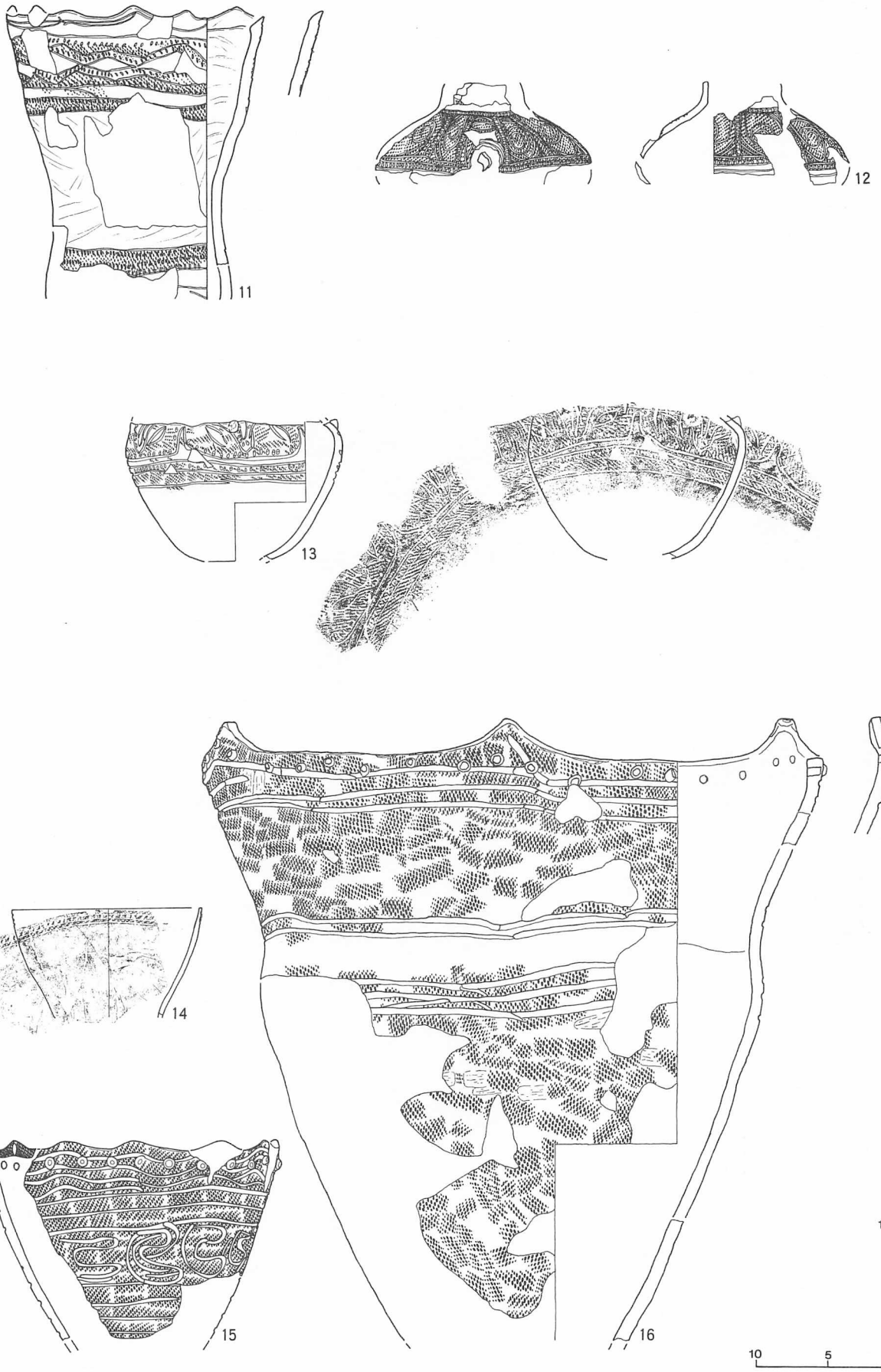


ⅡH—10,11
1 暗茶褐色土　ⅡBが主体で、Ta-d$_2$パミスを多く含む。しまりはよい。
2 黒 褐 色 土　ⅡBが主体で、Ta-d$_2$パミスを多く含む。

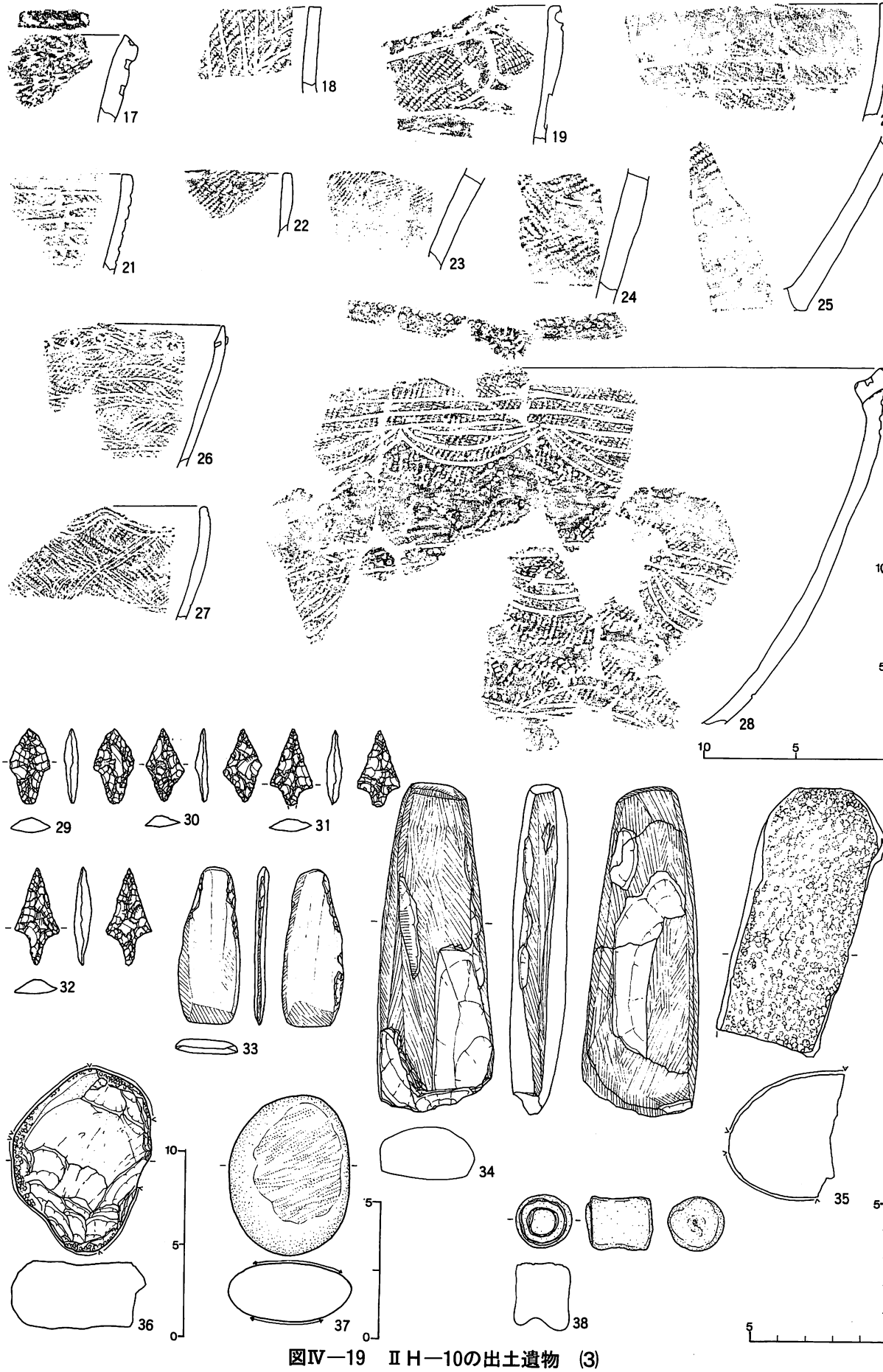
図Ⅳ—16　ⅡH—10



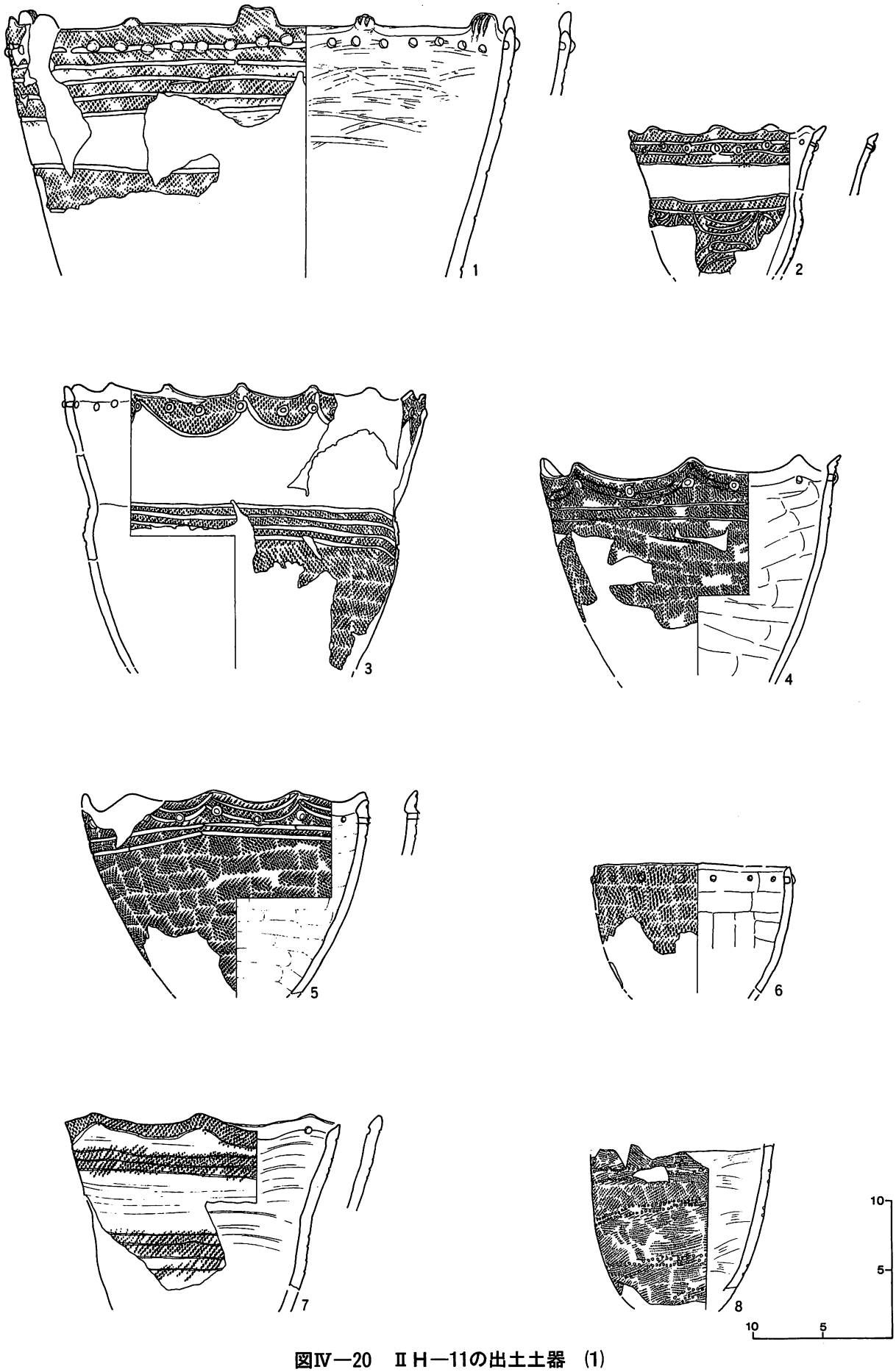
図Ⅳ—17　ⅡH—10の出土土器　(1)



図Ⅳ—18　ⅡH—10の出土土器　(2)

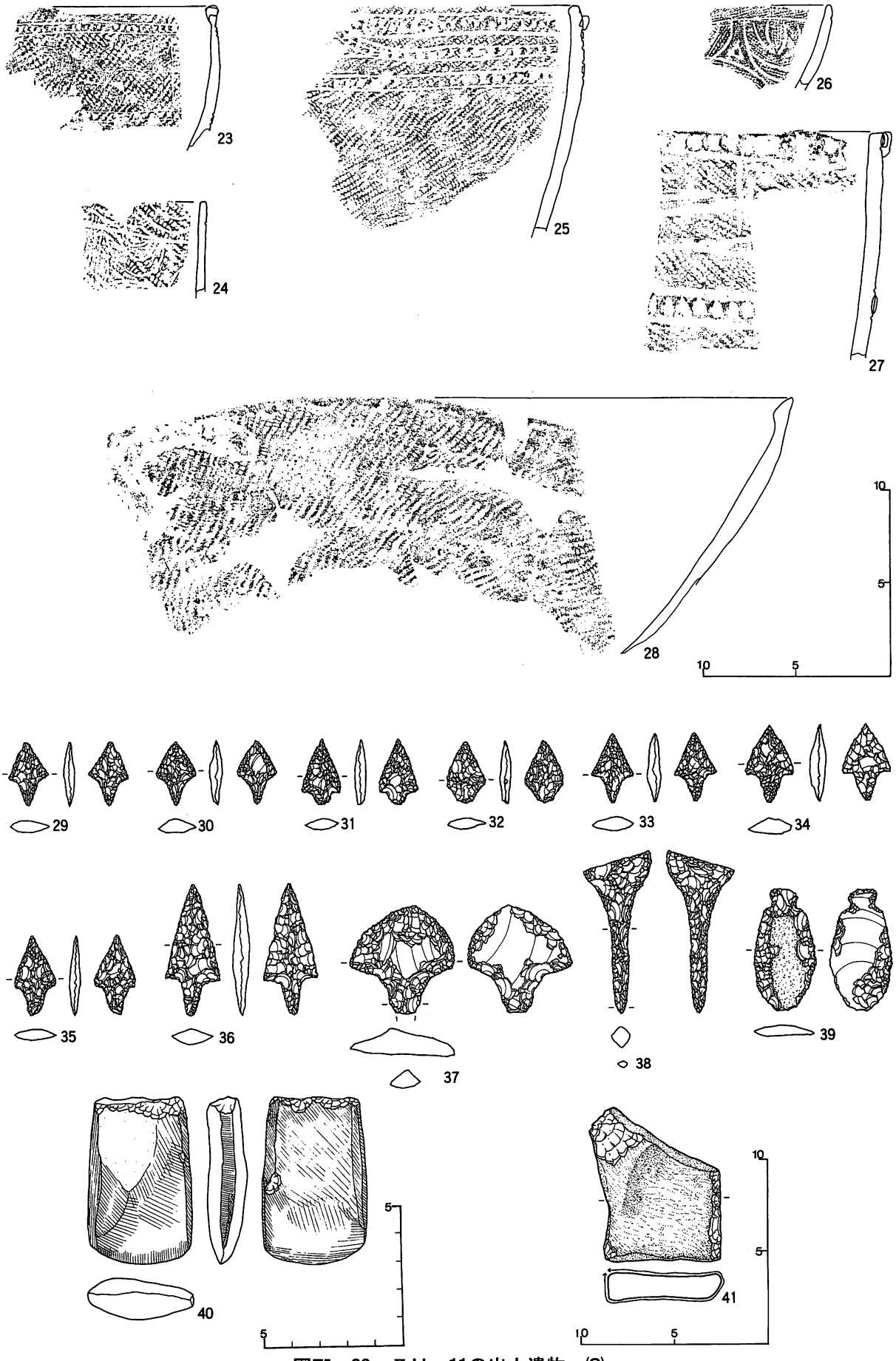


図Ⅳ—19　ⅡH—10の出土遺物　(3)



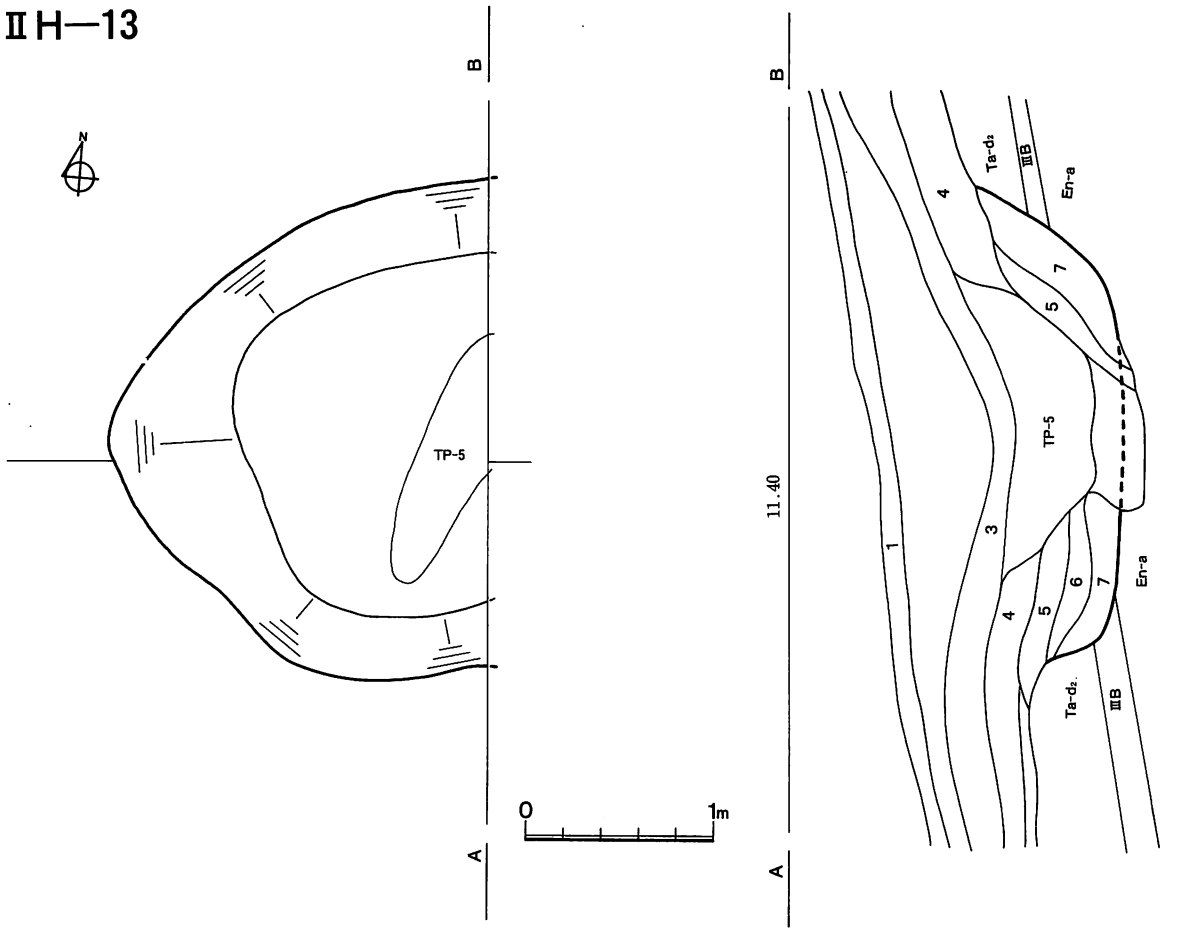
図Ⅳ—20　ⅡH—11の出土土器　(1)

図Ⅳ—21　ⅡH—11の出土土器　(2)

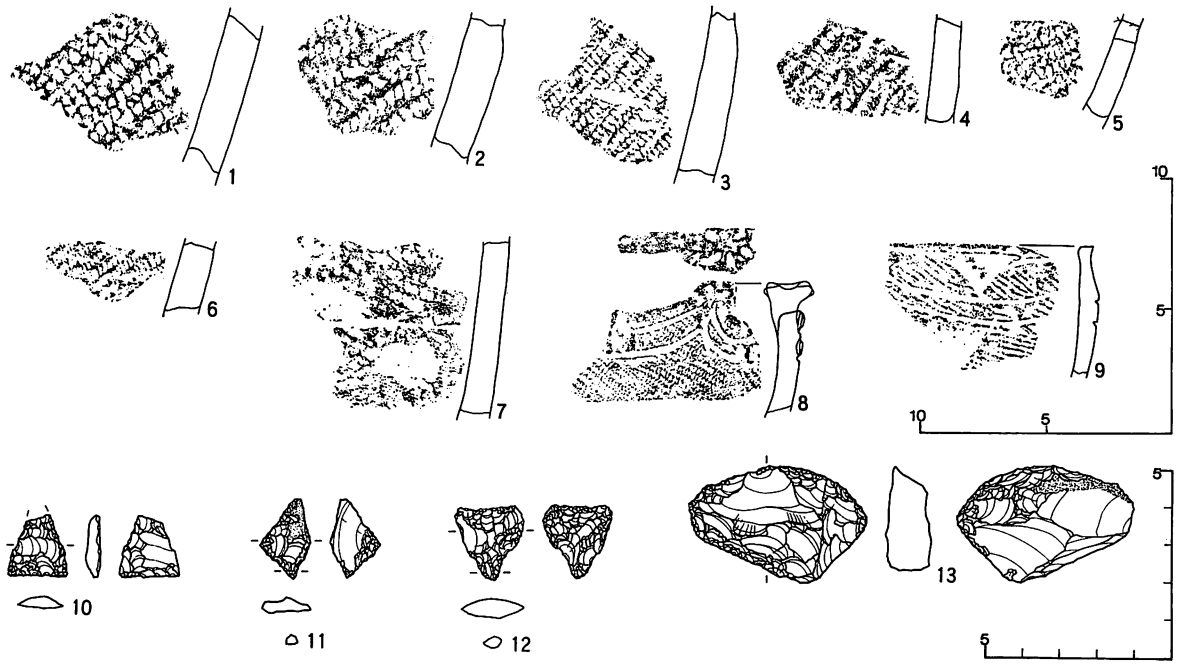


図Ⅳ—22　ⅡH—11の出土遺物　(3)

ⅡH—13



1 ⅡB－1
2 暗茶褐色土　ⅡBが主体で、Ta-d₂粒子を含む。骨、炭化物を含む。
3 黒　色　土　ⅡBが主体で、Ta-d₂、Ta-d粒子を少量含む。
4 黒 褐 色 土　Ta-d₂ブロックが主体で、ⅡBを含む。
5 明灰褐色土　Ta-d₂ブロックが主体。ⅡBを含む。
6 黄 褐 色 土　Ta-d₂が主体で、ⅡBを少量含む。
7 黒　色　土　Ta-d₂が主体で、ⅡBを少量含む。



図Ⅳ—23　ⅡH—13と出土遺物

時　期　後期中葉のⅣ群ｂ類の頃。

ⅡＨ—13（図Ⅳ—23）

位　置　E_1—65—80・E_1—65—81

平面形　円形

規　模　2.59×（2.00）/1.87×（1.31）/0.43

確認・調査・土層　ⅡＢ層上面において落ち込みなどは見られなかったが、Ta—d_2層上面において、土色の違いにより平面形を確認した。一部は調査区外に及んでいることが認められた。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、恵庭ａローム層を30cmほど掘り込んだ遺構を検出した。また、土層断面からはⅡＨ—13構築後にTP—５が掘り込まれたことが明らかである。土層の堆積は単純で、Ta—d_2パミス含むⅡＢ層からなり、４層の覆土に分けることができた。掘り込み面はⅡＢ—２層下部と思われる。

付属ピット　検出されなかった。

床　面　恵庭ａローム層中につくられており、概して平坦である。

壁　面　恵庭ａローム層からTa—d_2にかけてゆるやかな立上りである。

炉　跡　今回の調査範囲内では検出されなかった。

遺　物　遺物は覆土出土である。

土　器　土器は208点覆土から出土し、Ⅱ群ａ—２類５点、Ⅲ群ｂ—１類４点、Ⅳ群ｂ類２点、Ⅳ群ｃ類192点で、Ⅴ群５点である。１～７はⅡ群ａ—２類の胴部破片で、いずれも斜行縄文が施されている。８・９はⅤ群で、８には爪形文が、９には三叉文風の沈線文が施されている。

石　器　石器は20点出土し、石鏃１点、ドリル２点、石核１点、石斧片２点、フレイク７点、礫片７点である。

10は無茎平基の石鏃である。11・12はドリルで、11は剥片の一端に機能部を作出したもの、12は両面加工で幅広の機能部が作出されたものである。13は石核で、スクレイパーの可能性もある。

時　期　前期前葉のⅡ群ａ—２類の頃。

(2) 土　壙

土壙は５か所で確認された。分布に規則性は見られないが、住居跡同様に斜面内のわずかな平坦面を利用してつくられている。

ⅡＰ－２（図Ⅳ－24）

位　置　E_1－65－91

平面形　円形

規　模　1.70×1.49/1.26×1.07/0.64

確認・調査・土層　ⅡＢ層上面においてわずかな落ち込みを確認し、トレンチにより土層断面を確認しながら、掘り下げたところTa－d_2層下約10cmほどの掘り込みと壁面を検出した。一部はⅡＨ－２によって切られていることも認められた。土層の堆積は単純な自然堆積で、Ta－d_2パミスを含むⅡＢ層からなり、７層の覆土に分けることができた。掘り込み面はⅡＢ層の中層と思われる。

底　面　Ta－d_2層中につくられており、概して平坦である。

壁　面　Ta－d_2層からⅡＢ層にかけて、底面との境の明瞭なゆるやかな壁がつくられている。

遺　物　遺物は覆土及びⅡＢ－１層から出土した。

土　器　土器は覆土及びⅡＢ－１層から2,516点出土し、Ⅲ群ｂ－１類４点、Ⅳ群ｂ類６点、Ⅳ群ｃ類1,644点、Ⅴ群ｃ類487点、Ⅴ群375点である。小破片のため掲載しなかった。

石　器　石器は179点出土し、石鏃10点、ドリル２点、つまみ付ナイフ１点、スクレイパー４点、石斧１点、石斧素材１点、石斧片８点、石皿１点、フレイク118点、礫３点、礫片30点である。１～４は石鏃で、１～３は有茎凸基、４は菱形気味のものである。５はスクレイパーで、縦長剥片の周縁に片面周辺加工が加えられ、両側縁に両面加工によって抉りが作出されている。６は撥形の石斧である。基部を欠失する。

時　期　後期末葉から晩期初頭の可能性がある。

ⅡＰ－５（図Ⅳ－24）

位　置　E_2－65－02

平面形　円形

規　模　0.83×0.76/0.39×0.36/0.43

確認・調査・土層　ⅡＢ層上面において落ち込みなどは見られなかったが、ⅡＢ層下層面において土色の違いにより平面形を確認した。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、一部はTP－１の覆土を掘り込んでつくられていることがわかった。土層の堆積は単純で、Ta－d_2パミスを含むⅡＢ層からなり、２層の覆土に分けることができた。掘り込み面はⅡＢ－２層下部と思われる。

底　面　ⅢＢ層及びTP－１覆土中につくられており、丸底である。

壁　面　底面との境の明瞭でないゆるやかな壁面である。

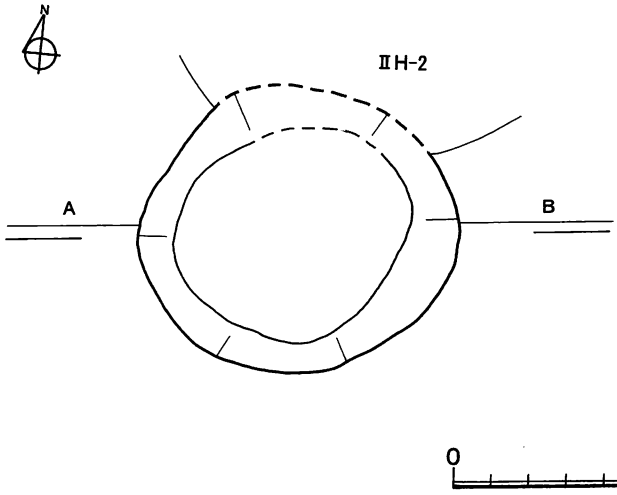
遺　物　遺物は焼土中・覆土等から出土した。

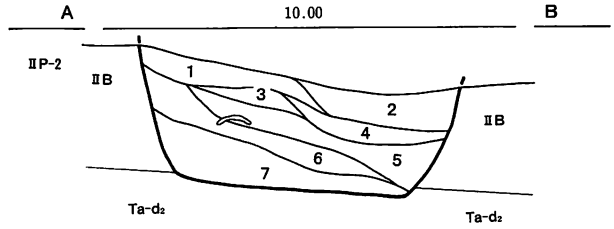
土　器　土器は153点出土し、Ⅲ群ｂ－１類２点、Ⅳ群ｃ類151点で、うち焼土中出土（ⅡＦ－29）はⅣ群ｃ類80点である。小破片のため掲載しなかった。

石　器　石器は42点出土し、軽石１点、フレイク15点、礫片26点で、焼土中からフレイク10点、礫片５点出土している。

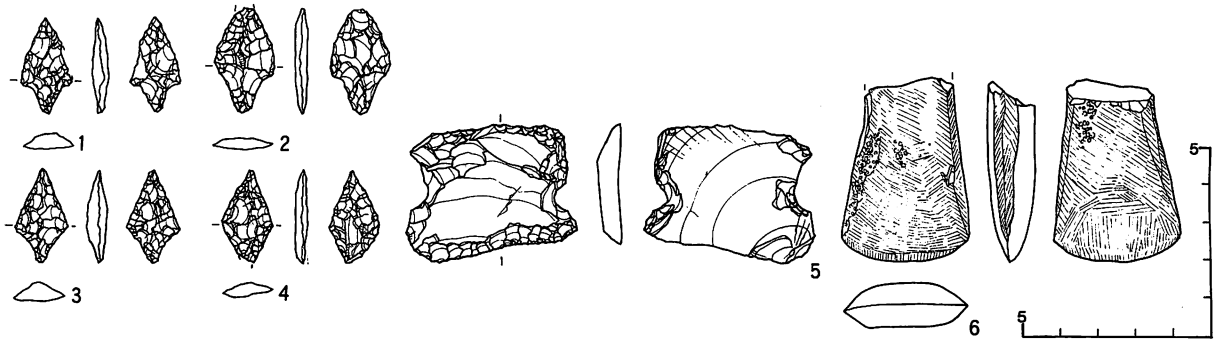
時　期　不明である。

ⅡP—2

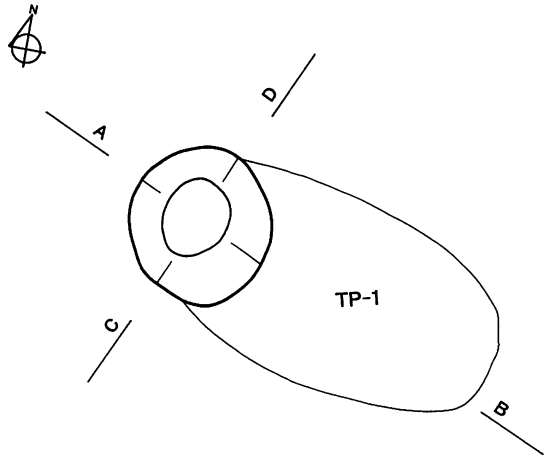


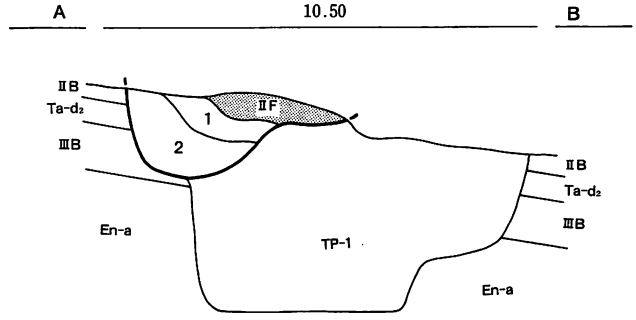


ⅡP—2
1 暗茶褐色土　ⅡBが主体でTa-d₁パミスをふくみ、Ta-d₂パミスを含む。
2 暗茶褐色土　ⅡBが主体でTa-d₁パミスを少量含む。かたくしまっている。
3 明茶褐色土　ⅡBが主体でTa-d₁パミスを含む。炭化物、焼土、骨片が見られる。
4 明茶褐色土　ⅡBが主体でTa-d₂ブロックを多く含む。
5 明 褐 色 土　ⅡBが主体でTa-d₂ブロックを多く含む。
6 黒 褐 色 土　ⅡBが主体でTa-d₂パミスを少量含む。
7 黒 褐 色 土　ⅡBが主体でTa-d₂ブロックを含む。



ⅡP—5





ⅡP—5
1 黒 色 土　ⅡBが主体でTa-d₁パミスを少量含む。
2 黒 褐 色 土　ⅡBが主体でTa-d₁、Ta-d₂パミスを含む。

図Ⅳ—24　ⅡP—2・5と出土遺物

ⅡP－7（図Ⅳ－25）

位　置　E_2－65－02・E_2－65－03・E_2－65－12・E_2－65－13

平面形　円形

規　模　1.66×1.23/1.04×0.90/

確認・調査・土層　ⅡB層上面において落ち込みなどは見られなかったが、Ta－d_2層上面において、土色の違いにより平面形を確認し、南西側にⅡH－4と切りあっていることが認められた。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ta－d_2層を20cmほど掘り込んだ遺構を検出した。土層の堆積は単純で、Ta－d_2パミスを含むⅡB層からなっていた。掘り込み面はⅡB層下部と思われる。

付属ピット　壁面に5か所、柱穴状の小ピットが確認された。いずれも直径10～20cm、深さ20cmのもので、垂直に掘り込まれたものである。

床　面　Ta－d_2層中につくられており、平坦になっている。

壁　面　Ta－d_2層中につくられており、床面との境の不明瞭なゆるやかなものである。

遺　物　遺物は覆土から出土した。

土　器　土器は覆土から62点出土し、いずれもⅡ群a－2類である。1～5は不規則な斜行縄文が施されたⅡ群a－2類で、1は口縁部破片で、口唇部断面形は角形で、口縁部には外面からの刺突文が加えられている。

石　器　石器は19点出土し、フレイク4点、礫片15点である。

時　期　前期前葉のⅡ群a－2類の頃。

ⅡP－11（図Ⅳ－25）

位　置　E_2－65－01・E_2－65－11

平面形　円形

規　模　1.91×1.72/1.67×1.42/0.26

確認・調査・土層　ⅡB層上面において落ち込みなどは見られなかったが、Ta－d_2層上面において、土色の違いにより平面形を確認した。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ta－d_2層を20cmほど掘り込んだ遺構を検出した。土層の堆積は単純で、Ta－d_2パミスを含むⅡB層からなっていた。掘り込み面はⅡB層下部と思われる。

床　面　Ta－d_2層中につくられており、平坦になっている。

壁　面　Ta－d_2層中につくられており、床面との境の不明瞭なゆるやかなものである。

遺　物　遺物はⅡB層・覆土等から出土した。

土　器　土器は覆土・ⅡB層から83点出土し、Ⅱ群a－2類3点、Ⅳ群b類56点、Ⅳ群c類24点である。小破片のため掲載しなかった。

石　器　石器は64点で、石鏃4点、たたき石1点、フレイク44点、礫片15点である。1・2は石鏃で、いずれも有茎凸基である。3はたたき石で、やや尖る亜円礫の尖端部・平坦面にたたき痕が認められる。

時　期　不明。

ⅡP－13（図Ⅳ－25）

位　置　E_2－65－04

平面形　円形

規　模　0.77×0.56/0.57×0.49/0.25

確認・調査・土層　ⅡＢ層上面において落ち込みなどは見られなかったが、Ta—d_2層上面において、土色の違いにより平面形を確認した。土層断面を確認しながら掘り下げたところ、Ta—d_2層を20cmほど掘り込んだ遺構を検出した。土層の堆積は単純で、Ta—d_2パミスを含むⅡＢ層からなり、４層の覆土を確認することができた。掘り込み面はⅡＢ層下部と思われる。

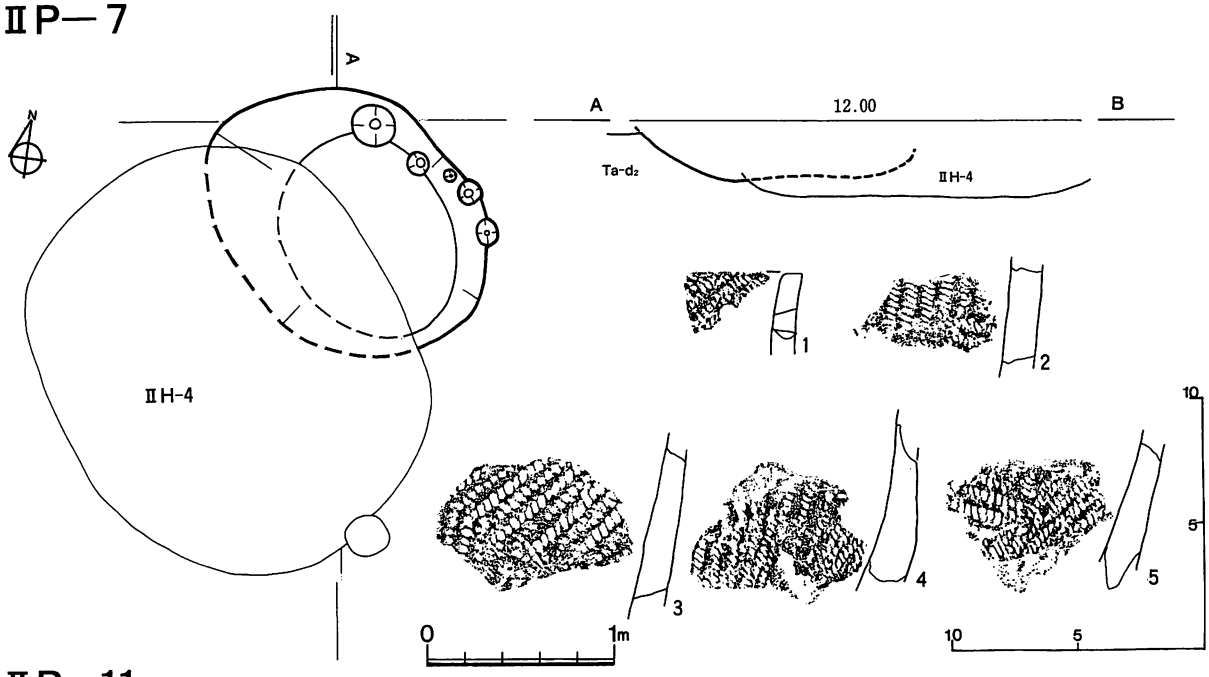
底　面　Ta—d_2層中につくられており、平坦になっている。中央に直径20cm、深さ10cmほどの柱穴状の小ピットがあり、北西方向に向けて斜めに掘り込まれている。

壁　面　Ta—d_2層中につくられており、床面との境の明瞭なやや急なものである。

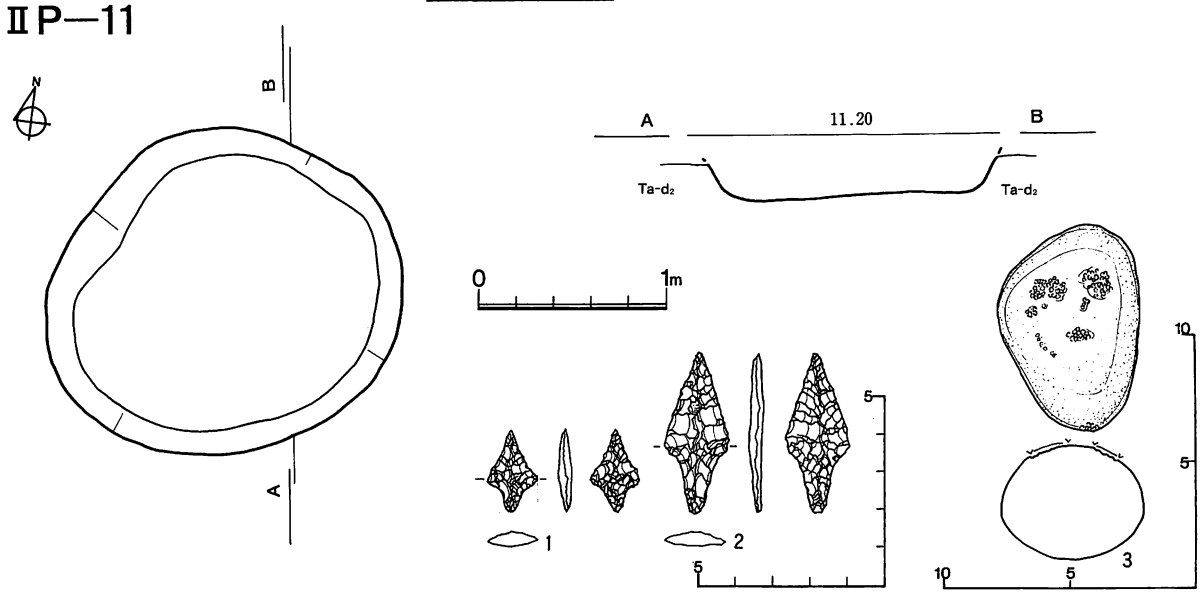
遺　物　遺物は出土しなかった。

時　期　不明。

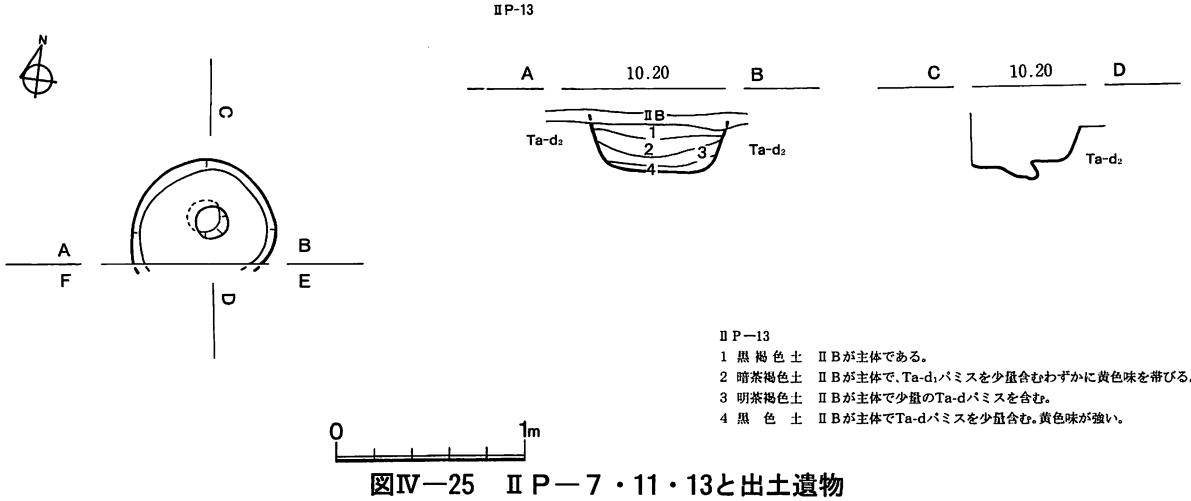
ⅡP—7



ⅡP—11



ⅡP—13



ⅡP—13
1 黒 褐 色 土　ⅡBが主体である。
2 暗茶褐色土　ⅡBが主体で、Ta-d₁パミスを少量含むわずかに黄色味を帯びる。
3 明茶褐色土　ⅡBが主体で少量のTa-dパミスを含む。
4 黒　色　土　ⅡBが主体でTa-dパミスを少量含む。黄色味が強い。

図Ⅳ—25　ⅡP—7・11・13と出土遺物

⑶　Ｔピット（図Ⅳ—26）

Ｔピットは５か所で確認された。

TP—１（図Ⅳ—27）

位　置　E_2—65—02

平面形　小判形

規　模　2.10×1.05/1.34×0.38/1.00

特　徴　ⅡＢ—３層下層面において土色の違いにより確認した。平面形においてはⅡＰ—５、ⅡＦ—29と切りあった形で確認された。北西から南東方向を長軸とする隅丸長方形のプランで、壙底はやはり隅丸長方形を呈した平坦なつくりである。掘り込みは恵庭ａローム層下60cmほどのもので、北西側はオーバーハングにより壁面がつくられ、南東側はテラス状の段を持った壁になっている。その他の壁の立上りは垂直である。柱穴は２本で、深さは20cmほどで、ほぼ中央に長軸方向に並んで穿たれている。土層の堆積は自然堆積に近い。

遺　物　遺物は出土しなかった。

時　期　不明。

TP—２（図Ⅳ—28）

位　置　E_2—65—00・E_2—65—10

平面形　東西を長軸とする長楕円形

規　模　3.50×0.66/3.46×0.22/1.31

特　徴　ⅡＨ—７床面のTa—d_2層上面において土色の違いにより確認した。平面形においてはTP—３と切りあった形で確認された。西から東方向を長軸とする長楕円形のプランで、壙底は溝状に細長く伸び、平坦なつくりになっている。掘り込みは恵庭ａローム層下60cmほどのもので、東西両側ともにオーバーハングにより壁面がつくられ、その他の壁の立上りは垂直である。土層の堆積は細かく、10層の覆土が確認された。また、土層断面からはTP—３をTP—２が切ったかたちでつくられていることが明らかになった。柱穴は検出されなかった。

遺　物　遺物は出土しなかった。

時　期　不明。

TP—３（図Ⅳ—28）

位　置　E_2—65—00・E2—65—10

平面形　小判形

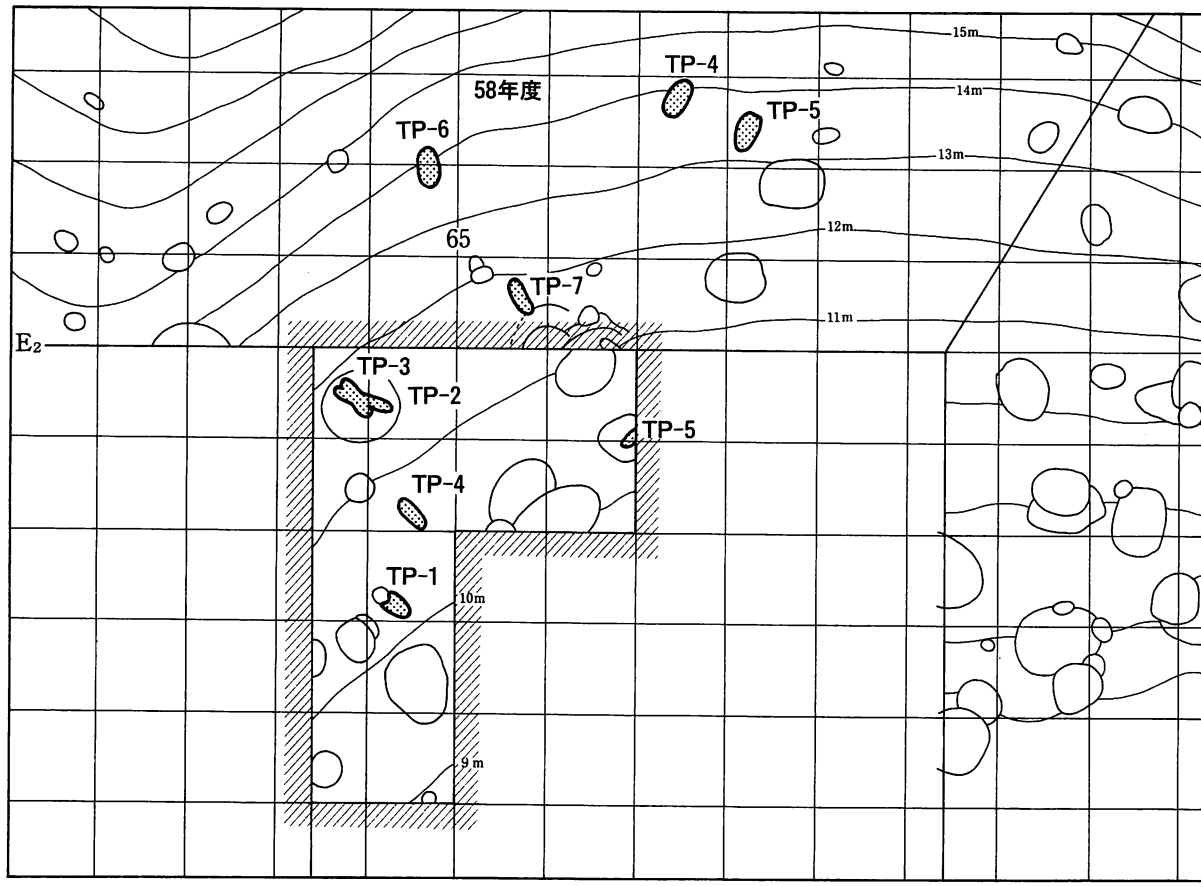
規　模　2.62×0.58/2.40×0.21/0.90

特　徴　ⅡＨ—７床面のTa—d_2層上面において土色の違いにより確認した。平面形においてはTP—２と切りあった形で確認された。北西から南東方向を長軸とする楕円形のプランで、壙底は溝状に細長く伸び、平坦なつくりになっている。掘り込みは恵庭ａローム層下30cmほどのもので、壁の立上りは垂直である。土層の堆積は細かく、７層の覆土が確認された。また、土層断面からはTP—３をTP—２が切ったかたちでつくられていることが明らかである。柱穴は検出されなかった。

遺　物　遺物は覆土上層から出土した。

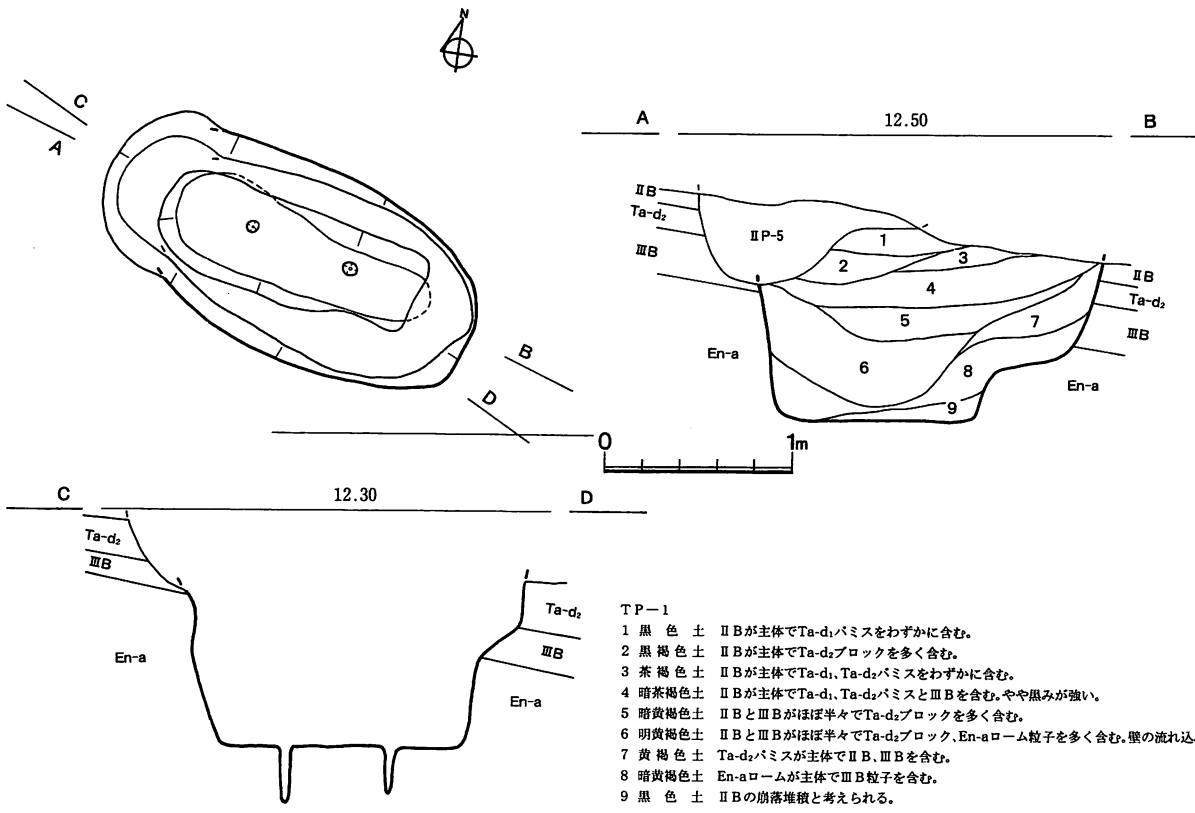
土　器　土器は覆土上層からⅤ群６点が出土した。小破片のため掲載できなかった。

石　器　石器は２点出土し、つまみ付ナイフ１点、礫片１点である。１は縦型のつまみ付ナイフで、



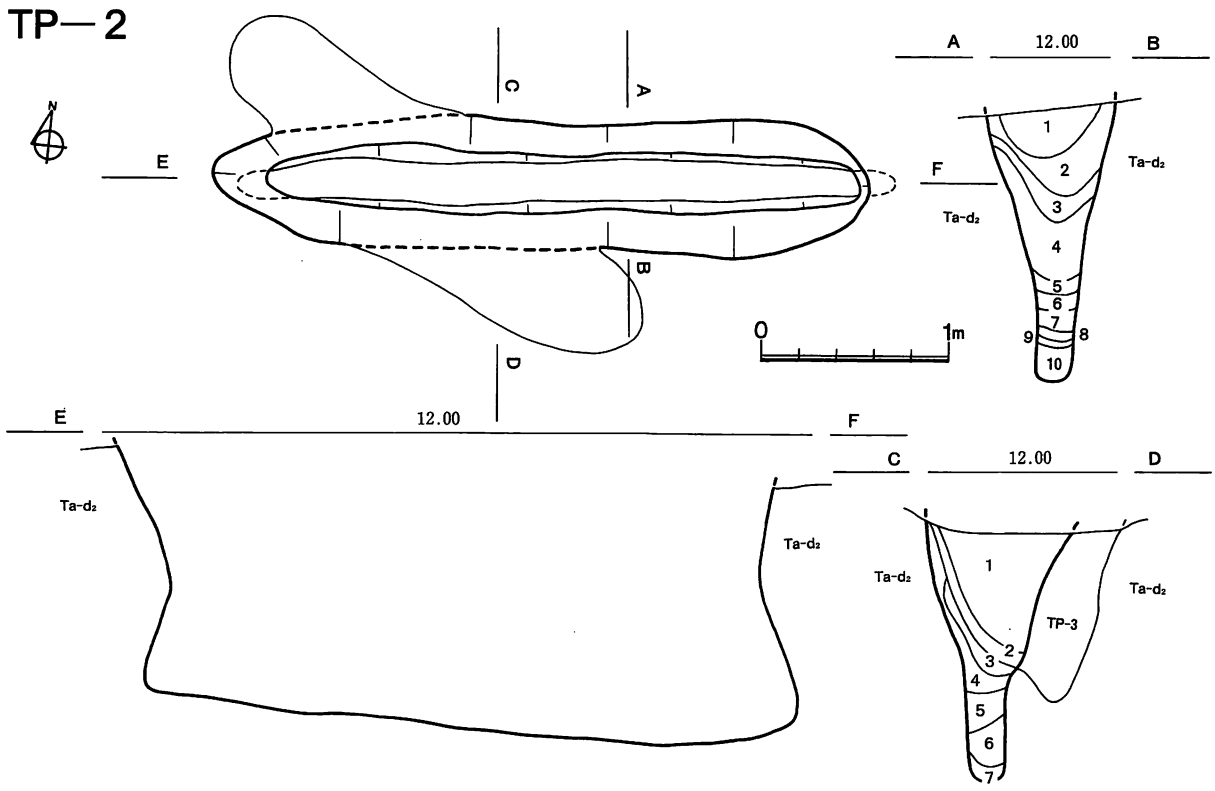
図Ⅳ—26　美々４遺跡のＴピット分布

TP—1

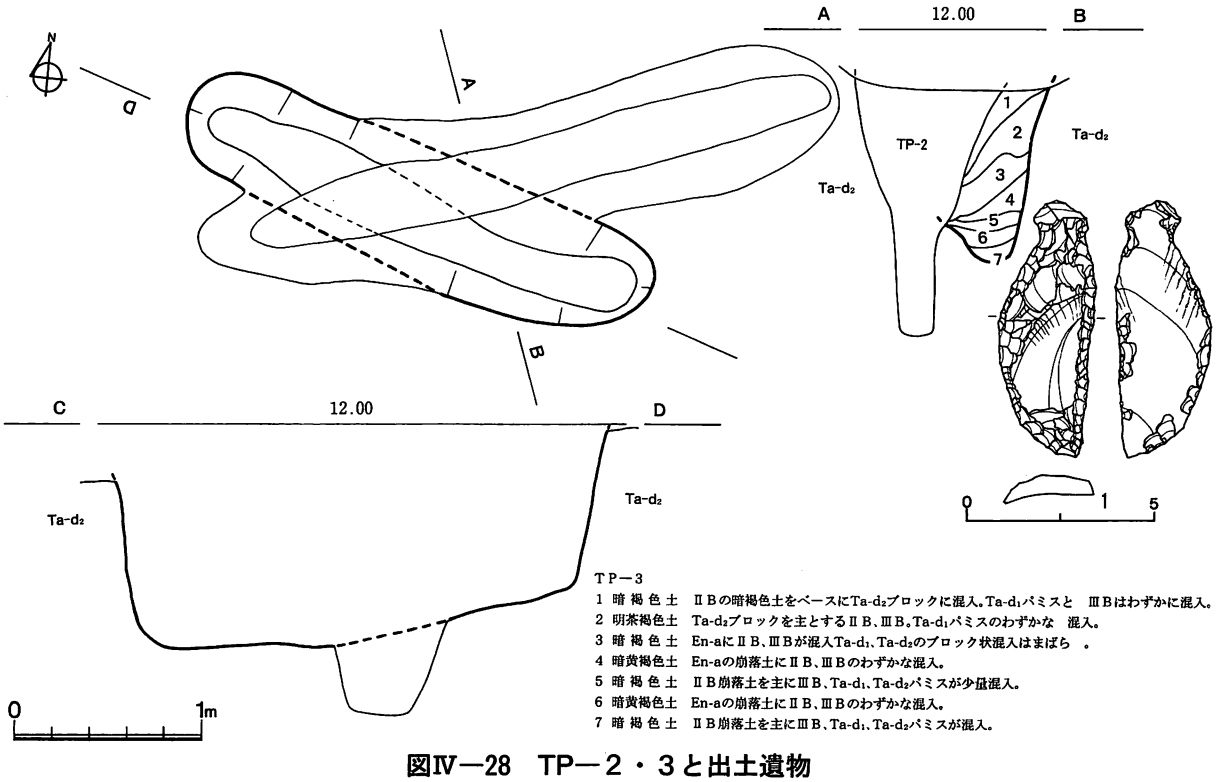


ＴＰ－１
1 黒　色　土　ⅡＢが主体でTa-d1パミスをわずかに含む。
2 黒 褐 色 土　ⅡＢが主体でTa-d2ブロックを多く含む。
3 茶 褐 色 土　ⅡＢが主体でTa-d1、Ta-d2パミスをわずかに含む。
4 暗茶褐色土　ⅡＢが主体でTa-d1、Ta-d2パミスとⅢＢを含む。やや黒みが強い。
5 暗黄褐色土　ⅡＢとⅢＢがほぼ半々でTa-d2ブロックを多く含む。
6 明黄褐色土　ⅡＢとⅢＢがほぼ半々でTa-d2ブロック、En-aローム粒子を多く含む。壁の流れ込み。
7 黄 褐 色 土　Ta-d2パミスが主体でⅡＢ、ⅢＢを含む。
8 暗黄褐色土　En-aロームが主体でⅢＢ粒子を含む。
9 黒　色　土　ⅡＢの崩落堆積と考えられる。

図Ⅳ—27　TP—1



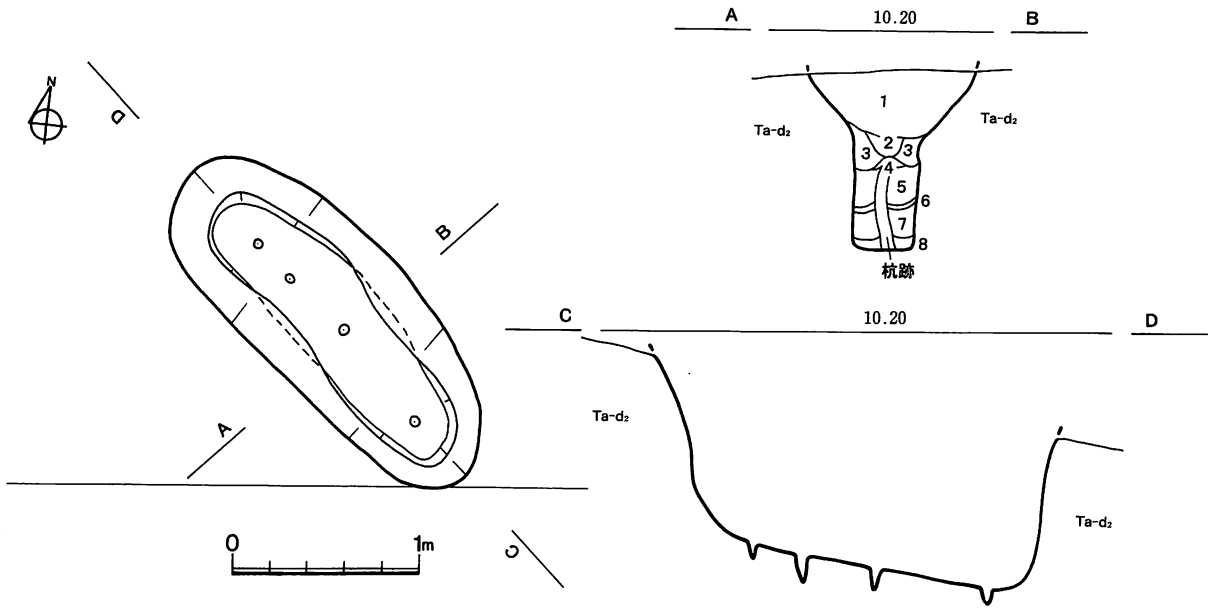
TP—2
1 暗茶褐色土　ⅡBにTa-d₁、Ta-d₂パミスがわずかに混入している。
2 明茶褐色土　Ta-d₂パミスを主とする。ⅡB、ⅢBとTa-d₁パミスもわずかに混入する。
3 暗黄褐色土　ⅢBを主とする。Ta-d₂ブロックの混入が認められる。Ta-d₁の粒状混入もごく少量。
4 黄褐色土　En-aを主体とし、ごくわずかにⅢBが混入する。
5 黒褐色土　ⅡBの崩落土を主体とするEn-a、Ta-d₂、ⅢBがごくわずかに混入。
6 暗黄褐色土　4とほぼ同じだがⅡB、ⅢBの混入が4より強い。
7 黒褐色土　ⅡBとⅢBの崩落覆土、Ta-d₂パミスの混入はない。
8 黒褐色土　6さらにⅡB、ⅢBの混入したもの。
9 黒褐色土　7と同じ。
10 黄褐色土　En-aを主とする。4とほとんど同じ。



TP—3
1 暗褐色土　ⅡBの暗褐色土をベースにTa-d₂ブロックに混入。Ta-d₁パミスと　ⅢBはわずかに混入。
2 明茶褐色土　Ta-d₂ブロックを主とするⅡB、ⅢB。Ta-d₁パミスのわずかな　混入。
3 暗褐色土　En-aにⅡB、ⅢBが混入Ta-d₁、Ta-d₂のブロック状混入はまばら　。
4 暗黄褐色土　En-aの崩落土にⅡB、ⅢBのわずかな混入。
5 暗褐色土　ⅡB崩落土を主にⅢB、Ta-d₁、Ta-d₂パミスが少量混入。
6 暗黄褐色土　En-aの崩落土にⅡB、ⅢBのわずかな混入。
7 暗褐色土　ⅡB崩落土を主にⅢB、Ta-d₁、Ta-d₂パミスが混入。

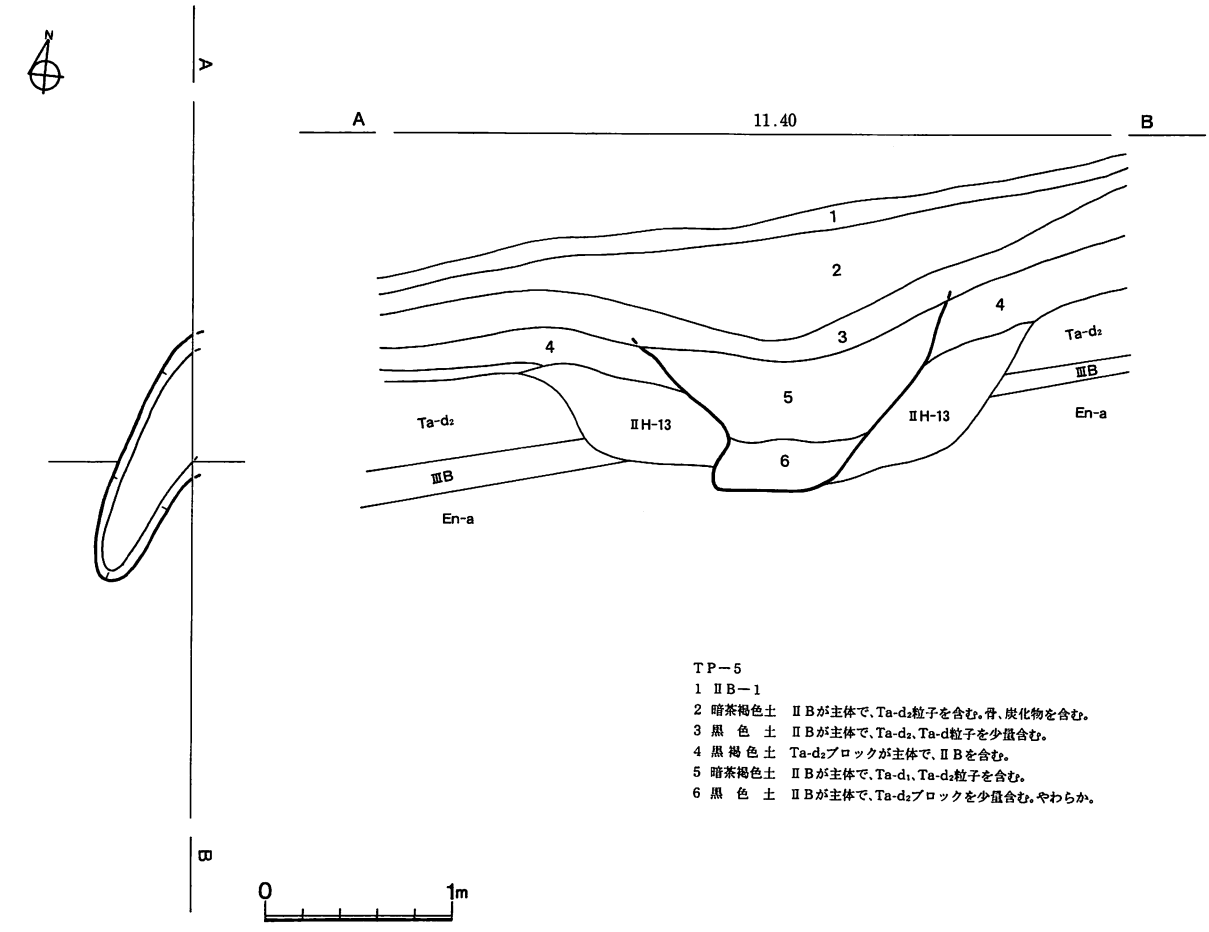
図Ⅳ—28　TP—2・3と出土遺物

TP—4



TP－4
1 黒　色　土　ⅡBが主体である。
2 黒 褐 色 土　ⅡBが主体でTa-dパミスを少量含む。
3 暗黄褐色土　ⅡBが主体でTa-dパミスをわずかに含む。
4 明黄褐色土　Ta-dパミスが主体である。
5 暗黄褐色土　Ta-dパミスが主体でやや黒みを帯びている。
6 黒　色　土　ⅡBが主体である。
7 暗黄褐色土　En-aロームが主体である。
8 黒 褐 色 土　ⅡBが主体でTa-dパミスを少量含む。

TP—5



TP－5
1 ⅡB－1
2 暗茶褐色土　ⅡBが主体で、Ta-d₂粒子を含む。骨、炭化物を含む。
3 黒　色　土　ⅡBが主体で、Ta-d₂、Ta-d粒子を少量含む。
4 黒 褐 色 土　Ta-d₂ブロックが主体で、ⅡBを含む。
5 暗茶褐色土　ⅡBが主体で、Ta-d₁、Ta-d₂粒子を含む。
6 黒　色　土　ⅡBが主体で、Ta-d₂ブロックを少量含む。やわらか。

図Ⅳ—29　TP—4・5

片面周辺加工で作出されている。

TP－4（図Ⅳ－29）

位　置　E_2－65－01

平面形　小判形

規　模　2.17×0.85/1.71×0.49/0.95

特　徴　Ta－d_2層上面において土色の違いにより確認した。北西から南東方向を長軸とする長楕円形のプランで、壙底はやはり長楕円形を呈した平坦なつくりである。掘り込みは恵庭ａローム層下40cmほどのもので、北東及び南西側の一部はオーバーハングにより壁面がつくられているが、その他の壁の立上りは急である。柱穴は４本で、深さは10cmほどで、ほぼ中央に長軸方向に並んで穿たれている。土層の堆積はやや複雑で８層の覆土を確認した。

遺　物　遺物は覆土から出土した。

土　器　土器は覆土からⅢ群ｂ－１類が３点出土したが、小破片のため掲載しなかった。

石　器　石器は礫１点が出土した。

時　期　不明。

TP－5（図Ⅳ－29）

位　置　E_1－65－80・E_1－65－81

平面形　不明

規　模　（1.02）×0.37/（0.95）×0.26/0.67

特　徴　ⅡH－13の床面の恵庭ａローム層面において、土色の違いにより確認した。大半は調査区外に続いていることが認められ、また土層断面より、ⅡH－13を切ったかたちでつくられていることが明らかになった。掘り込み面はⅡＢ－２層と推定され、実際の掘り込みは１ｍほどである。土層の堆積は単純で２層の覆土を確認した。

遺　物　遺物は覆土から出土した。

土　器　土器は覆土からⅢ群ｂ－１類が３点出土したが、小破片のため掲載しなかった。

石　器　石器は３点出土し、石斧未成品１点、Ｕフレイク１点、礫１点である。

時　期　Ⅱ群ａ－２類の頃の住居跡を壊して構築していることから、それ以降のものと考えられる。

(4) 焼土、骨片集中（図Ⅳ—30）

焼土と骨片集中は調査区全域に見られたが、まとまりのよく、残存状況のよいもののみを遺構として取り上げた。焼土は26か所、骨片集中が５か所である。その大半がⅡＢ—２層中で確認されたもので、直径約30～50cm、層厚５～10cmのものがすべてである。その内遺物を伴うものが７か所あり、以下にこれを取り上げた。

ⅡＦ—１（図Ⅳ—31）

位　置　E_1—65—80

規　模　1.92×0.75

特　徴　ⅡＨ—10の覆土上層にて検出された。焼土の厚さは約６cmである。

遺　物　遺物は覆土・ⅡＢ—２層から出土した。

土　器　土器は覆土・ⅡＢ—２層から633点出土し、Ⅳ群ｂ類１点、Ⅳ群ｃ類621点、Ⅴ群11点である。１・２はⅣ群ｃ類で、覆土（ⅡＢ—２層）から纏まって出土した。いずれも胎土に砂粒を多く含み、器壁は厚手である。１は底部を欠失する。器形は体部中位で大きく頸れる。口唇部には２個一組の小突起が加えられている。口縁部には突起間を結ぶ３本一組の沈線が施され、突起下位には４本の弧状の沈線が、口縁部には突き瘤が加えられている。器面に斜行縄文を施した後、くびれ部を上下を３本の沈線で区画したのち、磨消しを加え無文帯を作出している。２は注口土器で口縁部底部を欠失する。口頸部に無文帯をもち、体部の最大径は体部中位より上にある。体部には斜行縄文を加えた後、木の葉状の沈線文で区画し、磨消しを加えている。また、部分的に刻みの加えられたボタン状の貼付瘤が施されている。

石　器　石器は85点出土し、石鏃４点、ドリル１点、つまみ付ナイフ１点、スクレイパー２点、石核１点、石斧未成品２点、石斧片５点、すり石１点、石皿１点、フレイク45点、礫19点、礫片３点である。３は片面加工のスクレイパー、４は黒曜石製の石核、５は石皿、６はすり石で、扁平亜円礫の両平坦面にすり面が認められる。石皿の可能性もある。

時　期　後期末葉のⅣ群ｃ類の頃。

ⅡＦ—３（図Ⅳ—31）

位　置　E_1—65—93

規　模　1.63×0.56

特　徴　調査区外の試掘トレンチ（図Ⅰ—３）にて確認された。焼土の厚さは約３cmである。

遺　物　すべて覆土出土である。

土　器　土器はⅡＢ—１層から477点出土し、Ⅳ群ｂ類１点、Ⅳ群ｃ類４６点、Ⅴ群ｃ類224点、Ⅴ群206点である。小破片のため掲載しなかった。

石　器　石器は58点出土し、スクレイパー２点、石斧１点、石斧素材１点、石斧片２点、フレイク48点、礫４点である。１・２はスクレイパーで、１は縦長剥片の一側縁に湾曲した刃部を作り出したもの、２は縦長剥片の下端に錯向か剥離によって尖頭部を作り出したものである。３は撥形の石斧で、粗割・敲打・擦りによって作成されている。

時　期　晩期初頭の頃。

ⅡＦ—４（図Ⅳ—30）

位　置　E_2—65—03

規　模　0.56×0.40
遺　物　遺物は覆土出土である。
土　器　土器はⅤ群86点出土した。小破片のため掲載しなかった。
石　器　石器は11点出土し、石斧１点、フレイク11点である。
時　期　晩期初頭の頃。

ⅡＦ－６（図Ⅳ－31）
位　置　E_2－65－03・E_2－65－04
規　模　1.08×0.78
特　徴　ⅡＨ－５覆土上層にて検出された。焼土の厚さは約10cmである。
遺　物　遺物は覆土出土である。
土　器　土器は覆土からⅣ群ｂ類３点、Ⅳ群ｃ類１点出土した。小破片のため掲載しなかった。
石　器　石器は石錘１点出土した。
時　期　不明。

ⅡＦ－29（図Ⅳ－32）
位　置　E_2－65－02
規　模　0.54×0.43
特　徴　ⅡＰ－５覆土上層にて検出された。焼土の厚さは約10cmである。
遺　物　遺物は焼土中から出土した。
土　器　土器は出土していない。
石　器　石器は４点出土した。いずれもすり石である。１～４は纏まって出土したすり石である。亜円礫～円礫を素材とし、両平坦面にすり面・敲打痕が認められる。
時　期　不明。

ⅡＦ－30（図Ⅳ－30）
位　置　E_2－65－00・E_2－65－10
規　模　1.38×0.96
遺　物　遺物は覆土中から出土した。
土　器　土器は覆土から59点出土し、Ⅳ群ｂ類６点、Ⅳ群ｃ類53点である。小破片のため掲載できなかった。
石　器　石器は17点出土し、砥石１点、原石２点、フレイク８点、礫片６点である。
時　期　後期末葉のⅣ群ｃ類の頃。

ⅡＦ－31（図Ⅳ－32）
位　置　E_2－65－01
規　模　1.03×1.02
特　徴　TP－４覆土上層にて検出された。焼土の厚さは約10cmである。
遺　物　遺物は覆土から出土した。
土　器　土器は覆土から481点出土し、Ⅳ群ｂ類１４点、Ⅳ群ｃ類462点、Ⅴ群５点である。１はⅣ

群ｂ類である。覆土から１点出土し、調査区E_2—65—00・01のⅡＢ－３層19点から出土した資料と接合した。口縁部は緩やかな波状で、口唇部断面形は角形である。頸部に幅の狭い無文帯をもつ。口縁部には地文上に鋸歯状の沈線文が加えられている。体部は、上半に入れ子の連弧文が施され、下半は無文である。２・３はⅣ群ｃ類の体部破片で、地文上に沈線文が加えられている。４・５はⅤ群の体部破片で、４には細い沈線文と爪形文が、５には爪形文が加えられている。

石　器　石器は35点出土し、ドリル１点、フレイク26点、礫７点、礫片１点である。

時　期　後期末葉のⅣ群ｃ類の頃。

ⅡＦ—32（図Ⅳ—32）

位　置　E_2—65—00・E_2—65—10

規　模　1.56×0.32

特　徴　ⅡＨ－７覆土上層で検出された。焼土の厚さは約６㎝である。

遺　物　遺物はⅡＢ－１層、ⅡＢ－２層・覆土から出土した。

土　器　土器は覆土から88点出土し、Ⅳ群ｂ類１点、Ⅳ群ｃ類87点である。

１はⅣ群ｃ類で、覆土から22点出土し、調査区E_2—65—10のⅡＢ－３層10点、不明８点と接合した。底部を欠失する。口縁部は平縁である。口唇部断面形は肥厚する切り出し状である。体部には不規則な羽状縄文が施されている。胎土は砂粒を多く含み脆弱である。

石　器　石器は21点出土し、石鏃10点、フレイク９点、礫２点である。２～７は石鏃である。いずれも有茎凸基で、２の先端部は正三角形状、３～７は細目の二等辺三角形状である。

時　期　後期末葉のⅣ群ｃ類の頃。

ⅡＦ—33（図Ⅳ—32）

位　置　E_2—65—00・E2—65—10

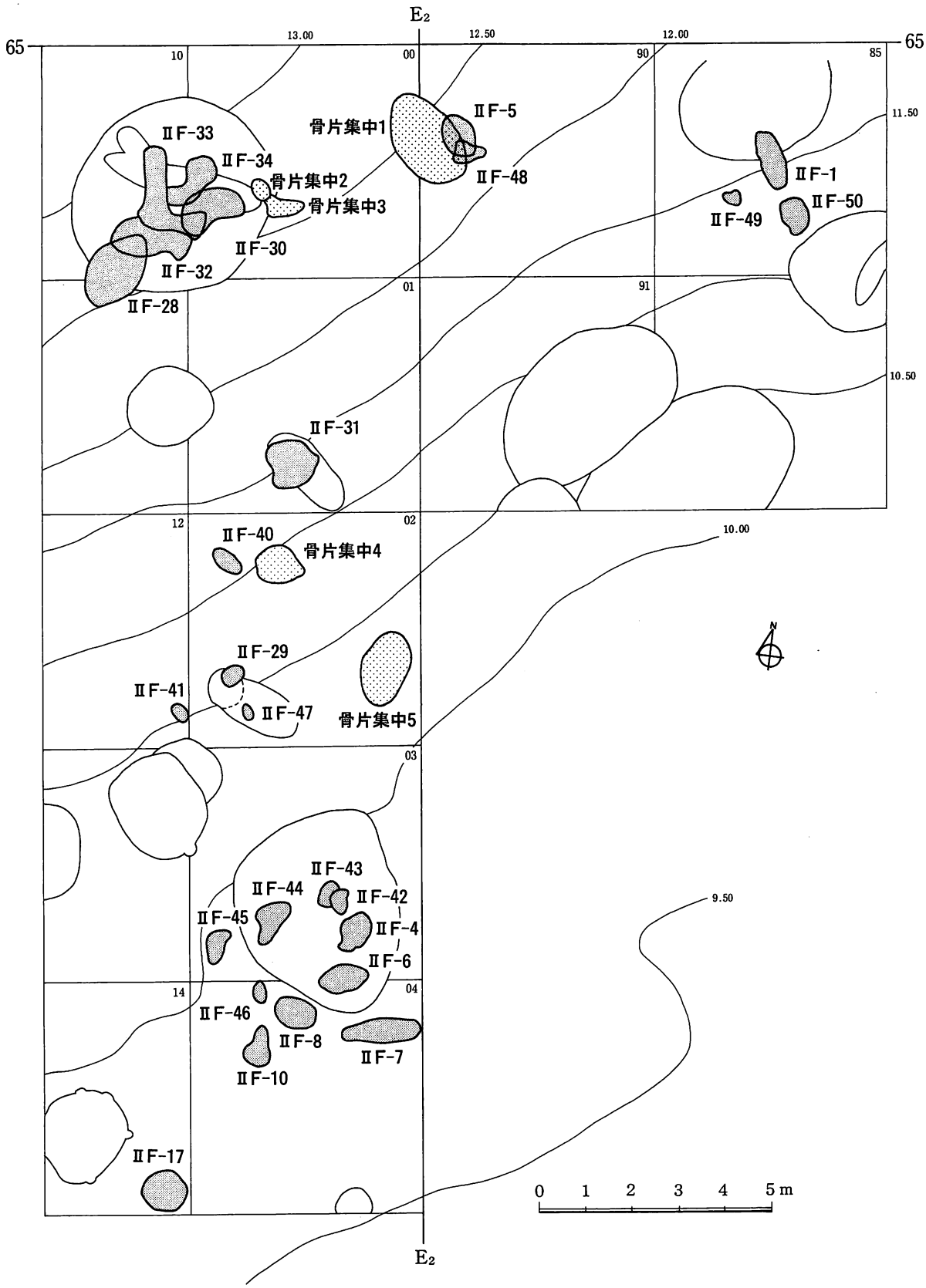
規　模　2.24×0.60

特　徴　ⅡＨ－７覆土上層で検出された。焼土の厚さは約12㎝である。

土　器　土器は覆土から12点出土し、Ⅳ群ｂ類２点、Ⅳ群ｃ類10点である。しかし、小破片のため掲載できなかった。

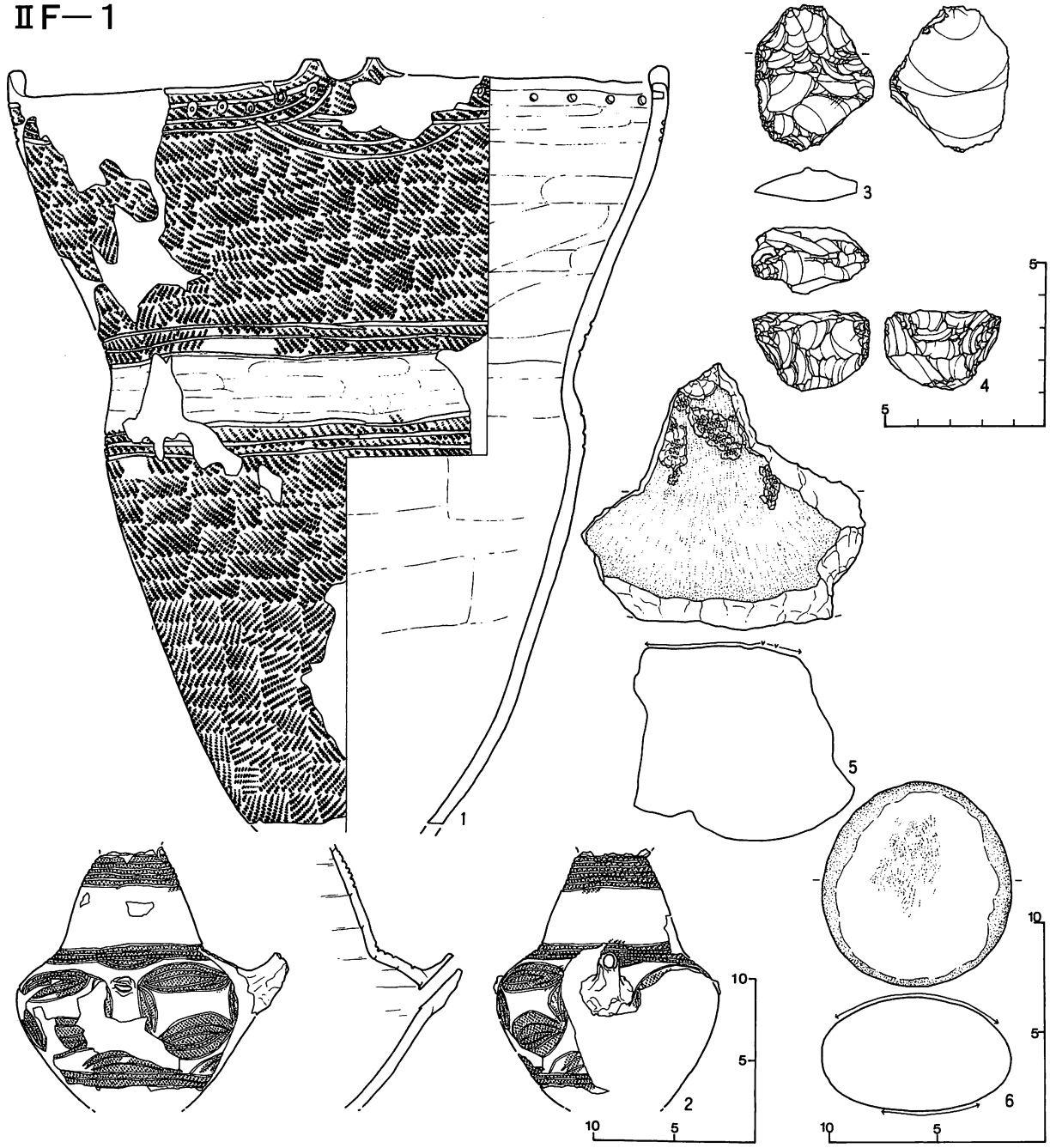
石　器　１は両面加工の石器で素材は黒曜石である。２はくぼみ石で、扁平礫の剥離面に敲打痕が認められる。

時　期　後期末葉のⅣ群ｃ類の頃。

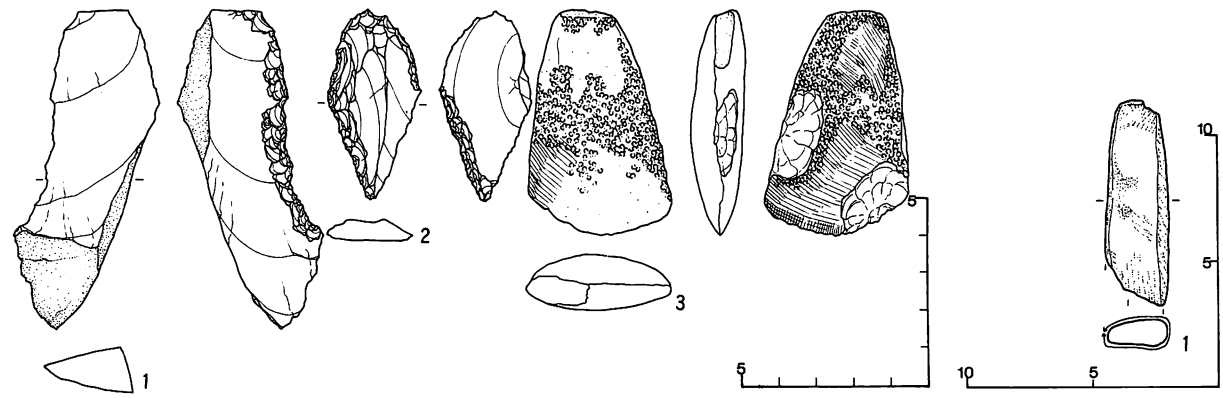


図Ⅳ—30　ⅡB層焼土・骨片集中の分布

ⅡF—1

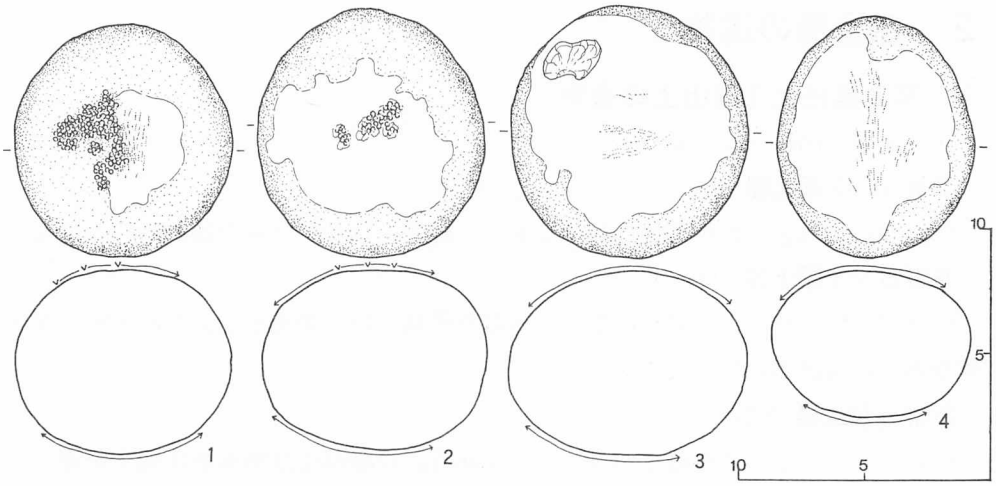


ⅡF—3

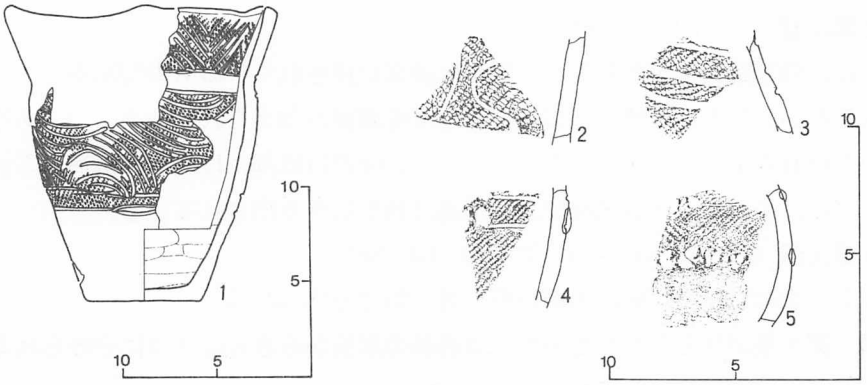


図Ⅳ—31　焼土出土の遺物　(1)

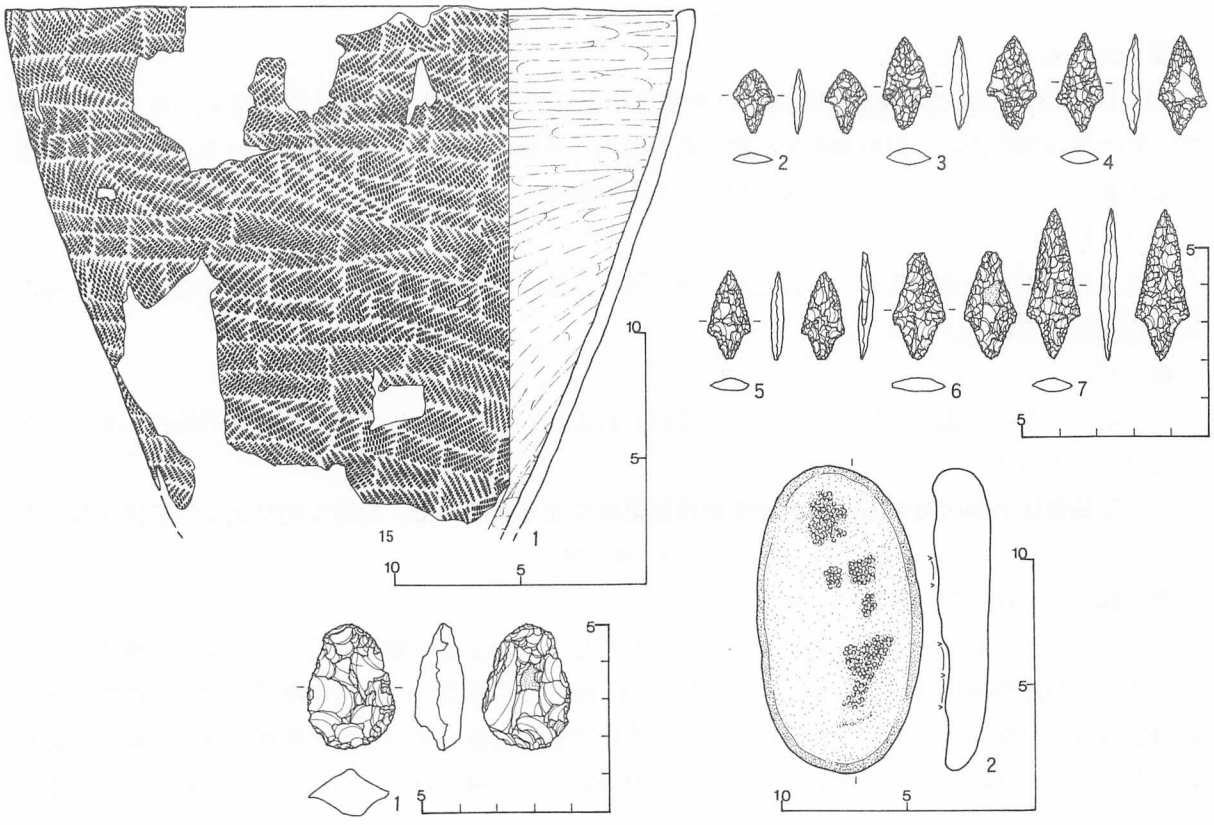
ⅡF—29



ⅡF—31



ⅡF-32



図Ⅳ—32　焼土出土の遺物　(2)

2　包含層の遺物

(1)　第Ⅱ黒色土１層出土の遺物

１）土器（図Ⅳ—33～39）

Ⅱ群ａ—２類土器（59）

59は春日町式と思われる体部破片である。縄端を意識した幅の狭い帯状の縄文が施文されている。

Ⅲ群Ｂ—１類土器（60）

60は切り出し状の口唇部断面形で、半截竹管状工具の刺突が加えられた貼付文が多用されている。体部地文は複節の斜行縄文である。

Ⅳ群ａ類土器（61）

61の口唇部断面形は粗雑な切り出し状である。口縁部には結束羽状縄文を施したのち、地文と同一原体で押捺した縄線文が加えられている。Ⅱ群ａ—２類の可能性もある。

Ⅳ群ｂ類土器（１・32・62～68）

62・63は口唇部断面形が角形で、口唇には縄文が施されているものである。１・64・65は口唇部断面形が角形ないし切り出し状で、口唇部にミガキ調整が加えられているものである。66～68は口唇部端部ないし口唇直下に刻みが加えられたもので、68の口縁部には突き瘤が加えられている。32は底部破片で、底面は僅かに揚げ底気味で、底端部は角形に作り出されている。

Ⅳ群ｃ類土器（２～18・33～35・37～43・69～88）

本類は突き瘤の有無や口唇部の断面形で幾つかに分けられる。

ｃ１類　突き瘤が加えられたもので、口唇部の形態からさらに２つに分けられる。
（２～６・33・69～74・76～80・86）

①　口縁部が肥厚し、口唇部断面形が明瞭な切り出し状を呈するもの
（３・42・69・71～73・77・78）。

深　鉢（69・71～73・77・78）

69・71・78は口縁部に沈線で区画された文様帯をもち、鋸歯状・連弧状の沈線文が施されたもので、71の波頂部内面には円形刺突文が加えられたボタン状の貼り付けが施されている。72・73は横走する沈線が施されたもの。77は小波状口縁のものである。

鉢（３）

３はⅡＢ—１層13点、ⅡＢ—２層上面２点が接合した。縄文施文後、口縁部に沈線を施し、さらに突き瘤を加えている。

壷（42）

42は壷形土器の口頸部破片で、２個所に認められるが、４個所に施文されていた可能性がある。赤色顔料の付着が認められる。

②　口唇部はやや内傾するが、断面形が角形気味や尖り気味みで、明瞭な切り出し状を呈さないもの。（２・４～６・33・70・74～76・79・80・86）

深　鉢（５・70・74～76・79・80）

５は　ⅡＢ—１層５点、ⅡＢ—２層１点が接合した。口縁部は平縁である。斜行縄文が施されたものである。70は小波状口縁のものである。74・79・80の器面外面には円形刺突文が加えられたボタン状の貼り付けが施されている。75は内面からの浅い突き瘤を施しているが、外面にはその痕跡が認められないもの。76は突き瘤を施文したのち、内面調整を加え刺突痕が僅かに認められるものである。

鉢（2・4・6・33・86）

2はⅡB－1層16点が接合したものである。口縁部に貼り付けによる小突起が作出されている。口唇部断面形は角形で、内面に縄文が加えられている。4・6はⅡB－1層出土の資料が接合したものである。4は斜行縄文が施されたもの、6は無文で、口唇部には小突起が作出されている。33の口唇部断面形は角形である。口唇部には縄文が、口縁部には連弧状の沈線文が施されている。86は体部文様帯に波状入組文的な細い沈線が施されている。

c2類　突き瘤をもたないもので口唇部に形態から2つに分けられる。
（7～13・15・16・18、34・35・37～42）

①　口縁部が肥厚し、口唇部断面形が明瞭な切り出し状を呈するもの（35）。

深鉢（35）

35の口縁部は、2個一組の突起と先端に粘土粒が貼付けられた小突起が交互に作り出された波状口縁である。頸部には無文帯が作出され、口縁部には沈線で上下を区画した刺突文が施された後、縄文が加えられている。

②　口唇部はやや内傾するが、断面形が角形気味や尖り気味みで、明瞭な切り出し状を呈さないもの。（7～13・15・16・18・34・37～41・81～85・87・88）

深鉢（18・34）

18はⅡB－1層26点、ⅡB－2層6点が接合した。口縁部には玉抱き三叉文風の沈線文が施されている。34は波状口縁で、波頂部の両脇に小突起が加えられている。口縁部文様帯には地文上に連弧状の沈線文が施され、更に外面から浅い刺突を加えたのち、粘土粒を刺突に重ねて貼付けている。

鉢（7～13・15・37・38・81～85・87・88）

7・8はⅡB－1層出土の資料が接合した。7の口縁部には横走する2条の沈線とそれを結ぶ弧状の沈線が描かれている。8は突起が1個所のみのもので、刻みの加えられた大小の突起が組み合わされている。9・10は縄文のみのもので、9はⅡB－1層3点、ⅡBトレンチ出土の資料1点が接合した。平縁で、底部には高台が認められる。10はⅡB－1層出土の資料が接合した。口縁部は指頭押圧による小波状口縁で、底部は揚げ底である。11～13は無文土器で、ⅡB－1層出土の資料のみが接合した。15はⅡB－1層出土の資料のみが接合し、クランク状の磨消縄文が施されている。37・38は縄文のみのものである。81・82は地文上に細い沈線で三叉文風や菱目状の文様構成がをもち、刺突が加えられた貼り付け瘤が加えられているもの。83は、口縁部に扁平な弧線が施され、波状口縁下位に粘土粒が貼付けられ、あたかも突き瘤が加えられた様な文様効果を作出している。84・85・87・88は沈線文で、三叉文風や菱目状の文様構成を作り出しているもの。

片口土器（16・39）

16・39はいずれも片口の小型土器である。16はⅡB－1層5点、ⅡBトレンチ3回目出土の資料3点が接合した。口縁部には縄文施文後、細い波状入組文的な沈線文が加えられている。体部下半は無文である。39は、玉抱き三叉文風と大腿骨文が施されている。

壷（40・41）

40は頸部に無文帯をもち、口縁部・体部上半に弧状の沈線文と刻みの加えられた貼付瘤が施されている。41は頸部の両脇に刺突が加えられた貼付瘤が施され、体部には三叉文風の磨消文が施文されている。

14・17・43は口縁部が欠失したものでいずれに含まれるか不明である。17はⅡB－1層17点、ⅡB－2層2点が接合した。器壁が厚く、磨消文が施されていることからc1類ないしⅣ群b類に含ま

れる可能性がある。14はⅡＢ－１層８点、ⅡＢ－２層４点が接合した。壺形ないし注口土器で木の葉状の細い沈線文を体部上半に施文している。43は注口土器と思われる、半截竹管状工具によって区画された体部上半に波状入組文的な細い沈線が施されている。14・43のいずれも器壁が薄く、細い沈線文が加えられていることからｃ２②類に含まれる可能性がある。

Ｖ群土器（19・27・44～50・89～139）

Ｖ群土器は、Ⅳ群ｃ類からＶ群ａ類にかけての資料で、明確に分離することが出来ない資料から成る。したがって便宜的に爪形文が施されているものと、それに類似した特長をもつものを含めている。Ｖ群ａ類の特徴である三叉文と爪形文との組合せが認められることから、本項では、Ｖ群ａ類も含めＶ群土器として扱う。

Ｖ群土器は爪形が施されたものと施されていないものに分けられる。

１類　爪形文が施されたもの（19・20・25～28・44～46・50・89・93～99・112・115～118）

爪形文と突き瘤が組み合わされたもの（19・44）

19はⅡＢ－１層13点、ⅡＢ－２層８点が接合した。底部を欠失する。口縁部は小波状口縁で、口唇部断面形は尖る。口縁部には縄文施文後、突き瘤と爪形文が加えられている。44の口唇部には摘み揚げによる爪形文が加えられている。器面に斜行縄文が施されたのち、口縁部に突き瘤と文様区画帯としての爪形文が３段施文され、爪形文間には菱目状の沈線文が加えられている。

爪形文と三叉文風の沈線文が施されたもの（26・27・46・112）

27は注口土器で、底部を欠失する。体部上半は磨消文で、刻みが加えられた貼り瘤と爪形文が加えられている。爪形文は摘み揚げによるものである。46は口縁部の爪形文間に玉抱き三叉文風の沈線文が加えられている。爪形文は摘み揚げによるものである。112は爪形文・三叉文風の沈線文・未発達なＢ状突起が組み合わされたものである。

また、26は爪形文・三叉文風の沈線文をもたないが、25と同様の貼り瘤をもつことから本類に含めた。

爪形と沈線文で文様区画帯を構成するもの（89・93～95）

89は文様帯内及び口唇直下の地文上に沈線文が施されたもの。93は磨消文が、94は部分的に爪形文が文様帯内に加えられている。95は無文帯を区画したものである。

爪形文とＡ状突起ないしＢ状突起が組み合わされたもの（20・115～118）

20はＢ状突起と組み合わされたもので、体部は斜行縄文である。115～118はＡ状突起と組み合わされたもので、116・117の口唇突起上端に三叉文風の沈線が加えられている。

部分的に爪形文が加えられたもの（96・97・99）

96は横環する沈線間に、97は口唇部直下に、99は竹管状工具による刺突で区画した文様帯内に沈線とともに加えられている。

爪形文のみのもの（45・98）

45の口縁部には３段の摘み揚げによる爪形文が施文されている。98の口唇部直下には摘み揚げによる爪形文が施文されている。

爪形文が施された底部破片（28・50）

28は小型土器、50は壺形土器の底部破片である。

２類　爪形文が施されていないもの

（21～26・47～49・90～92・100～111・113・114・119～121・124～139）。

三叉文風の沈線文が施されているもの（22・25・48・101～111）

22は小型の浅鉢で、同一文様が繰り返し施文されている。101～104・108～110は明瞭な文様区画帯をもたないもので、103の口縁部直下にはA状突起が剥離した痕跡がある。105～107は文様区画帯の刻みが加えられた2本一組の沈線文が認められるものである。

このほかに三叉文が施された体部破片がある。25・48は口縁部・底部を欠失する。25は頸部下端には刺突が加えられたA状突起が施され、体部文様帯には三叉文を含む磨消縄文が施されている。体部下半は無文である。48は小型土器で、体部文様帯には三叉文を含む磨消縄文が施されている。111は注口土器の破片資料である。

A状突起・B状突起が施されたもの（47・113・114・119～121）

47は小波状口縁の小型土器で、体部を上下に区画するA状突起帯が施され、体部上下には磨消文が施されている。113・114の口縁部には磨消文が、119は竹管状工具による刺突文が、120・121は縄文のみで、114・120・121の突起上端に三叉文風の沈線や刻みが加えられている。

入組文的な沈線が施されたもの（139）

139は口縁部の無文帯に向きの異なる入組沈線文を施したものである。

沈線に挟まれた刺突文を文様区画帯として用いているもの（36・92・125・126）。

このような文様区画帯は三叉文風の沈線文と組み合わされて用いられることが多いことから本類に含めた。36は無文地の文様帯内に細い沈線で入組文三叉文風の沈線文が施されている。92は玉抱き三叉文風の沈線文が施されている。125は無文の口縁部と体部を区画するために用いられている。126は口縁部文様帯を区画し、文様帯内には大腿骨文の磨消縄文が加えられている。

沈線文が施されたもの（21・90・91）

21は小型土器で、底部は高台をもつ。体部には無文地に沈線文が加えられている。90・91は89と同様な文様構成をもつことから本類に含めた。

口縁部に竹管状工具による刺突文が加えられたもの（100）

100は、口縁部に小突起が施され、口縁部には地文上に半截竹管状工具による刺突文が加えられている。

縄文のみのもの（23・24・49・127～136）

23・24・49は鉢形土器で、胴部には斜行縄文が施され、49の口唇部には縄文が加えられ、大きく張り出す。127～133・136は口唇部に指頭ないし棒状工具の押捺が加えられたものである。134は平縁で、羽状縄文と細い撚糸文が施されたものである。135は同一原体の施文方向を変えることによって菱目状の縄文を施文したものである。Ⅳ群c類の可能性もある。

無文のもの（124・137・138）

124の口唇部には刻みが加えられた小突起が施され、高台端部にも指頭による押捺が加えられ小波状である。137は大型の鉢形土器、138はやや大型の椀形になるものと思われる。

V群b類土器（122・123）

122・123は大洞系土器群の破片資料で、いずれも壺形で、雲形文が施されている。器壁は薄い。胎土は木目が細かい。123の器面には赤色顔料の付着が認められる。

V群c類土器（140～150）

140～141は大洞系土器群で、140は壺形の口縁部破片で、内傾する口唇部には貼付瘤が施され、口縁部には横位連繋入組工字文が施されている。141は鉢形で、口唇部内面に沈線が加えられ、胴部には横位連繋入組工字文が施されている。142は胴部破片で、横位連繋入組工字文が施されている。

143～150は在地系土器群で、143～146は浅鉢形で、145は舟形で、無節の縄文が施されている。146

の口唇部は貼付瘤が施され、竹管状工具による刻みが加えられている。147～150は深鉢で、147～149の口縁部に条線文が加えられ、150は複節の斜行縄文が施されている。

29～31はⅤ群の小型土器と思われる。いずれも無文で、31は舟形である。

2）石器（図Ⅳ－40～45）

石鏃（1～59）

1～4は無茎で、1～3は無茎平基、4は無茎凹平基である。5～59は有茎のものである。5～8・11～41・44は先端部が正三角形状で、5～8は有茎平基で、先端部が緩やかに内彎するもの、12・13は先端部が偏平な三角形状ないし菱形の有茎凸基のもの、11・14～41・44は先端部が正三角形状で、有茎凸基ないし菱形のものである。9・10・42・43・45～59は先端部が細身の二等辺三角形で、9・10は有茎平基で、先端部が緩やかに内彎するもの、42・51～59は有茎凸基で、先端部が緩やかに外彎し、かえし部がわずかに跳ね上がるもの、43は菱形のもの、45～47は有茎凸基で先端部が細長い二等辺三角形状のもの、48～50は有茎凸基で先端部が緩やかに外彎するものである。

ポイントまたはナイフ（60）

60は片面全面加工で、腹面にわずかに周辺加工が加えられている。刺突具・ドリルの可能性もある。

ドリル（61～97）

61～63は棒状のもので、64～71は柄と機能部の区分が明瞭なもの。72～75は柄と機能部の区分が不明瞭なもの。76～86は剥片の一端に機能部を作出したもので、76～80は縦長剥片に、81～86は横長剥片の一端に機能部が作出されている。87～93は幅広の機能部をもつもので、両面加工ないし両面周辺加工によって作出され、87～91は柄と機能部の区別が不明瞭なもの。92・93は明瞭なものである。94～96は特異な形態をもつものである。97はあたかも先端部が欠損した石鏃の転用のようにも思える。

つまみ付ナイフ（98～109）

98～107は縦形で、98は両面全面加工のもの、99～107は粗雑な片面周辺加工のものである。108・109は横形で、108は直刃、109は弧刃が作り出されている。

スクレイパー（110～123）

110～120は縦長剥片を素材とし、110～114は側縁に片面周辺加工で弧刃気味の刃部を作出しているもの。115・117～119は側縁に片面周辺加工で直刃気味の刃部を作出しているもの。116は側縁・下端に片面周辺加工で直刃気味の刃部を作出しているもの。120は側縁に片面周辺加工で直刃気味と弧刃気味（外・内湾）の刃部を作出しているものである。121は横長剥片の側縁と下端に錯向剥離によって尖頭状の刃部を作出しているものである。122・123は親指大の片面全面・片面周囲加のものである。

両面加工石器（124～126）

124・125は両面全面加工のもの。126は楔形で下方からの剥離が両面に施されている。楔形石器の可能性もある。

楔形石器（127）

127の素材は黒曜石である。

石核（128）

128の素材は黒曜石である。

石斧（129～149）

129～134・136～140は撥形で、129～134は完形品、136～140は破損品である。139・140の折れ面に

敲打痕が認められ、楔として転用された可能性がある。ほとんどのものは粗割整形・敲打調整・擦りによって作成されている。135・141は短冊状のもので、135は粗割整形・敲打調整・擦り、141は粗割整形・擦りによって作成されている。142はミニチュアで、擦りによって刃部が作出されている。

143～148は石斧未成品である。143は敲打調整・擦りが加えられている。144～147は粗割・敲打整形が加えられている。148は片側縁に粗割整形が加えられたものである。　149は石斧素材と思われるものである。素材はいずれも緑色泥岩である。

すり石（150～155）

150・151は所謂「北海道式石冠」の破片資料である。152は偏平礫の側縁にすり面が認められるもの、153～155は亜円礫の周縁にすり面が認められるものである。

たたき石（156～163）

156～160は円礫ないし偏平な円礫で周縁にたたき痕が認められるもの。161・162は円礫の端部にたたき痕が認められるもの。163は棒状礫の端部にたたき痕が認められるものである。

くぼみ石（164）

164は篦状の素材の平坦面・側縁にたたき痕をもつものである。

石鋸（165・166）

165・166の素材は、165は凝灰岩、166は砂岩である。

砥石（167～169）

167・168は２面、169は３面の砥面をもつもので、石材はいずれも砂岩である。

矢柄研磨器（170）

170は軽石を素材とし、２つの溝が交差して認められる。

台石（171・172）

171は全体に熱を受け剥離している。頂部に潰打痕が認められる。石材は砂岩である。172は偏平なを用いている。石材は安山岩である。

３）土製品（図Ⅳ-46・47）

土玉（１～18）

繋ぐための穿孔が認められた有孔土製品を土玉とした。１～５は球形のもの。６・７は扁平で、円形のもの。８・９は偏平なソロバン珠状のもの。10・11は丸く扁平なもので、側面に、穿孔・沈線が加えられている。12・13は環状で側面に穿孔が加えられたもの。14は偏平な楕円形で、側面の長軸に穿孔が認められる。この穿孔はあらかじめ粘土に植物繊維を挟み込み焼成したものと思われる。整形時の爪痕が認められる。15には螺旋状の沈線が加えられている。16は歯車状の刻みが加えられたもの。17は巴状である。18は丸く偏平なもので、全体に刺突が加えられ、側縁には穿孔が認められる。

耳栓（19～40・43）

19・20は棒状のもの。21～28・31・32・43・44は「臼形耳栓」と称されるもので、21・22・31・32には刺突文、25・43には沈線文が加えられている。28には細い穿孔が加えられている。29は片面が揚げ底状のもので、沈線・刺突が加えられている。30・35～40は環状のもので、30・35・39・40には沈線文・刺突文が施されている。37は片面に４個所の剥離痕が認められ、剥離部分の根元には三叉文風の沈線が加えられている。33・34は無文で、両面揚底風に作出されている。

土偶（51～54）

土偶はいずれも破片である。51は体部、52は肩部分、53は脚部である。

その他の土製品（41・42・44～50・55～63）

41・42・46・47は環状の土製品である。44・45は盤状の土製品で薄く、側面に丸味をもつ。48・49・50はスタンプ形の土製品で、耳栓の可能性がある。50は先端部である。

55は穿孔と沈線が加えられた土製品で、動物の顔を意匠したようにも思える。56・57は指頭痕のあるもので、指頭痕は不規則で意識的に押捺された様には考えがたく、整形時に偶然付いたものの様に思われる。56には穿孔が認められる。58・59はボタン状の土製品で、58には沈線が、59には指頭によるくぼみが加えられている。60は縄文・沈線・刺突文が施されたもので、土偶の脚部のようにも思える。62は破損品で、周縁を廻る３列の刺突文が加えられている。61・63は無文の棒状のもので、61は一端には千切った様な痕跡が認められる。

４）石製品（図Ⅳ－48）

石玉（１～18・24）

１・11は球形のもの、２～10・12は平玉である。13～15は臼形のもの。16～18は管状のもので、17には螺旋状の刻線が加えられている。24は未成品で、全面にすり整形が加えられている。なお、17については後日詳細な観察の結果、土製品であることが判明した。土製品に訂正する。

有孔石製品（19～23・25・26）

19～23は曲がる勾玉状のもので、23は破損品である。25・26は未成品で、25は全面にすり整形が、26は棒状素材の一端部に、穿孔途中の痕跡が認められる。

異形石器（27・28）

27・28は、黒曜石製である。

石棒（29～31）

29～31は石棒の破片資料で、断面形が29・31は楕円形、30は偏平な半円形である。

オロシガネ状石製品（32～34）

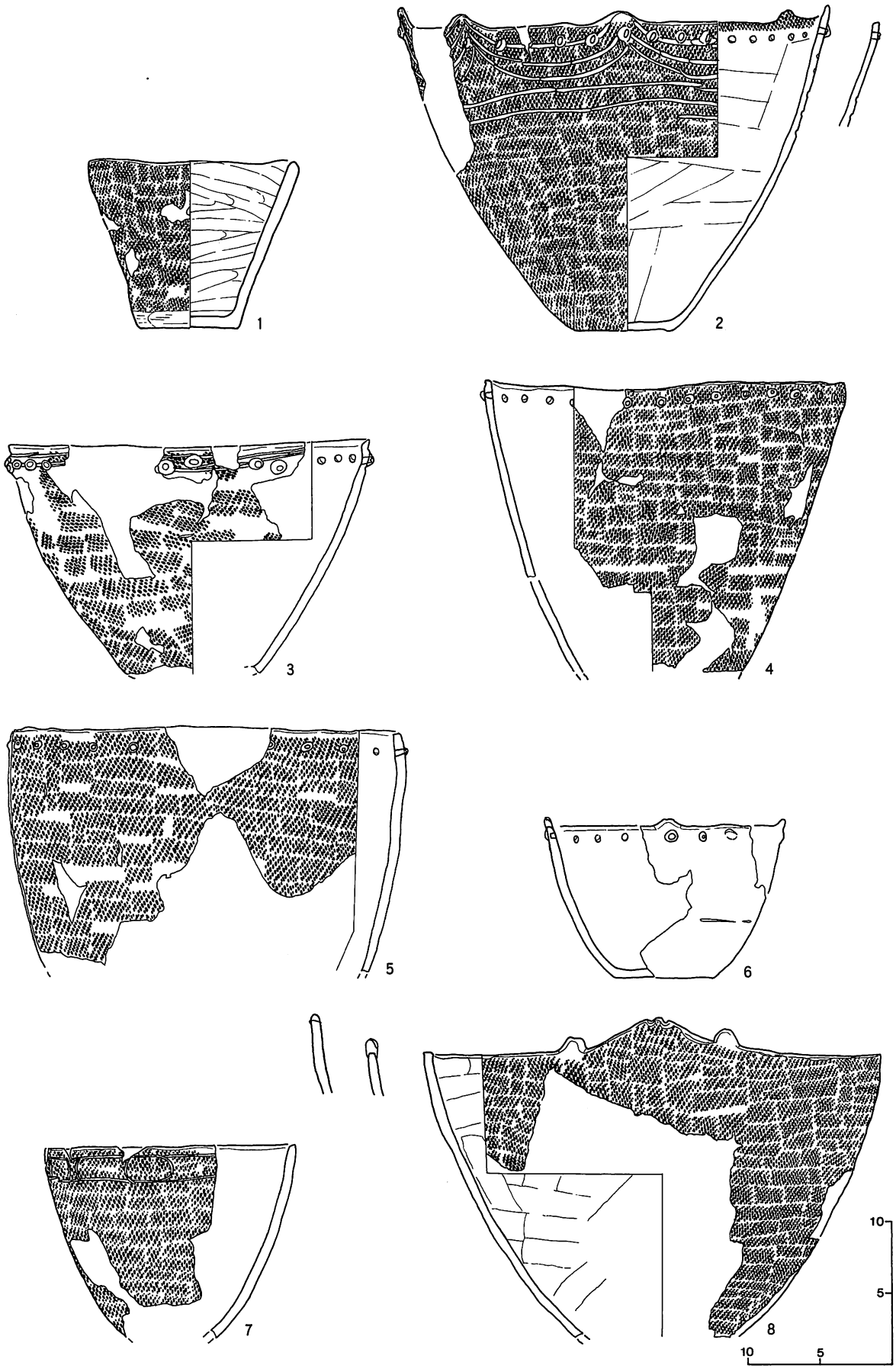
いずれも破片資料で、全面がすり整形で作出され、34の下端の両隅に抉りが加えられている。石材は溶結凝灰岩である。

環状軽石製品（35）

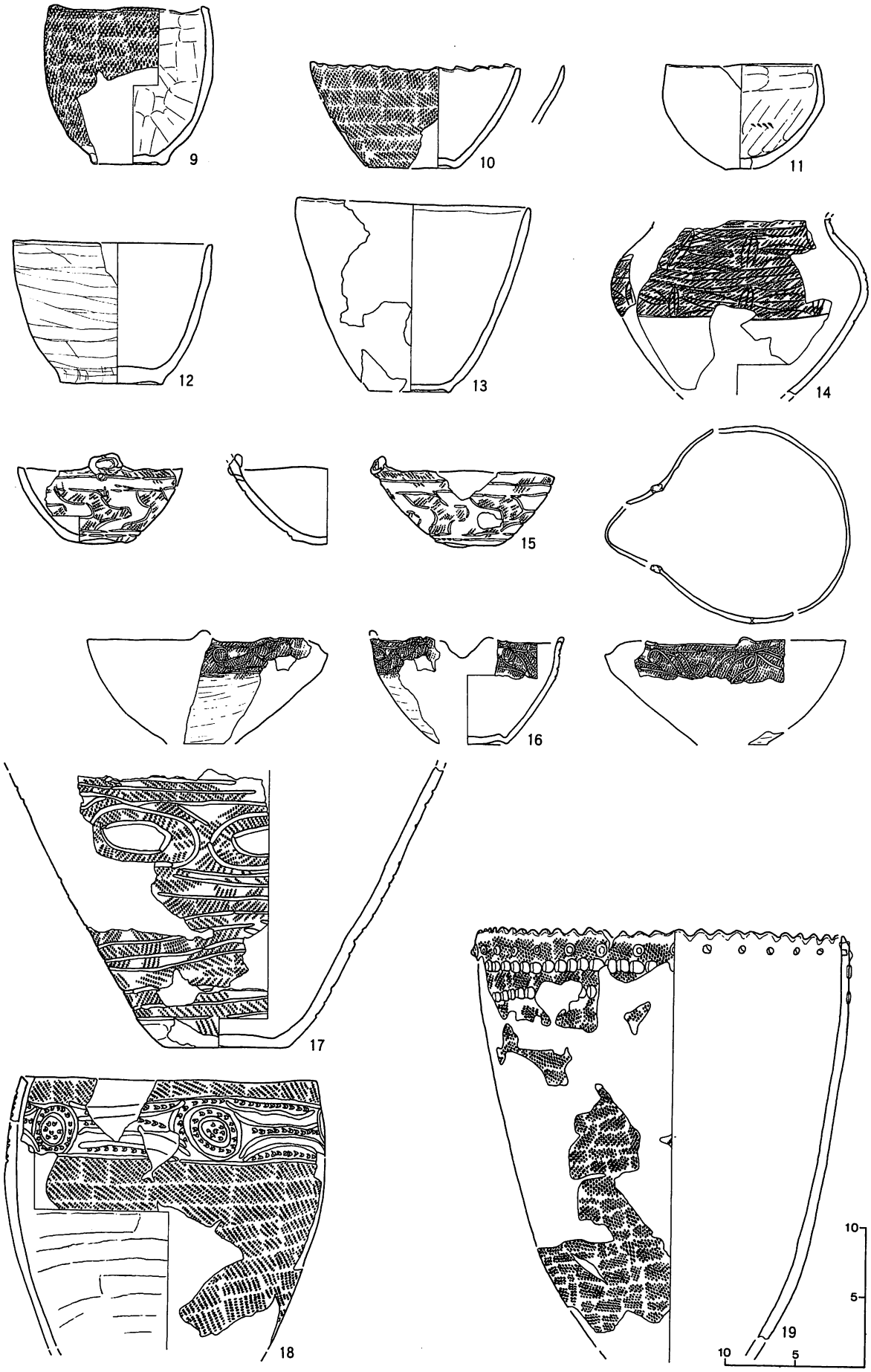
35は破片資料で、全面がすり整形で作出され、円形になるものと思われる。中央部に表裏両面からの穿孔が加えられている。

異形石製品（36）

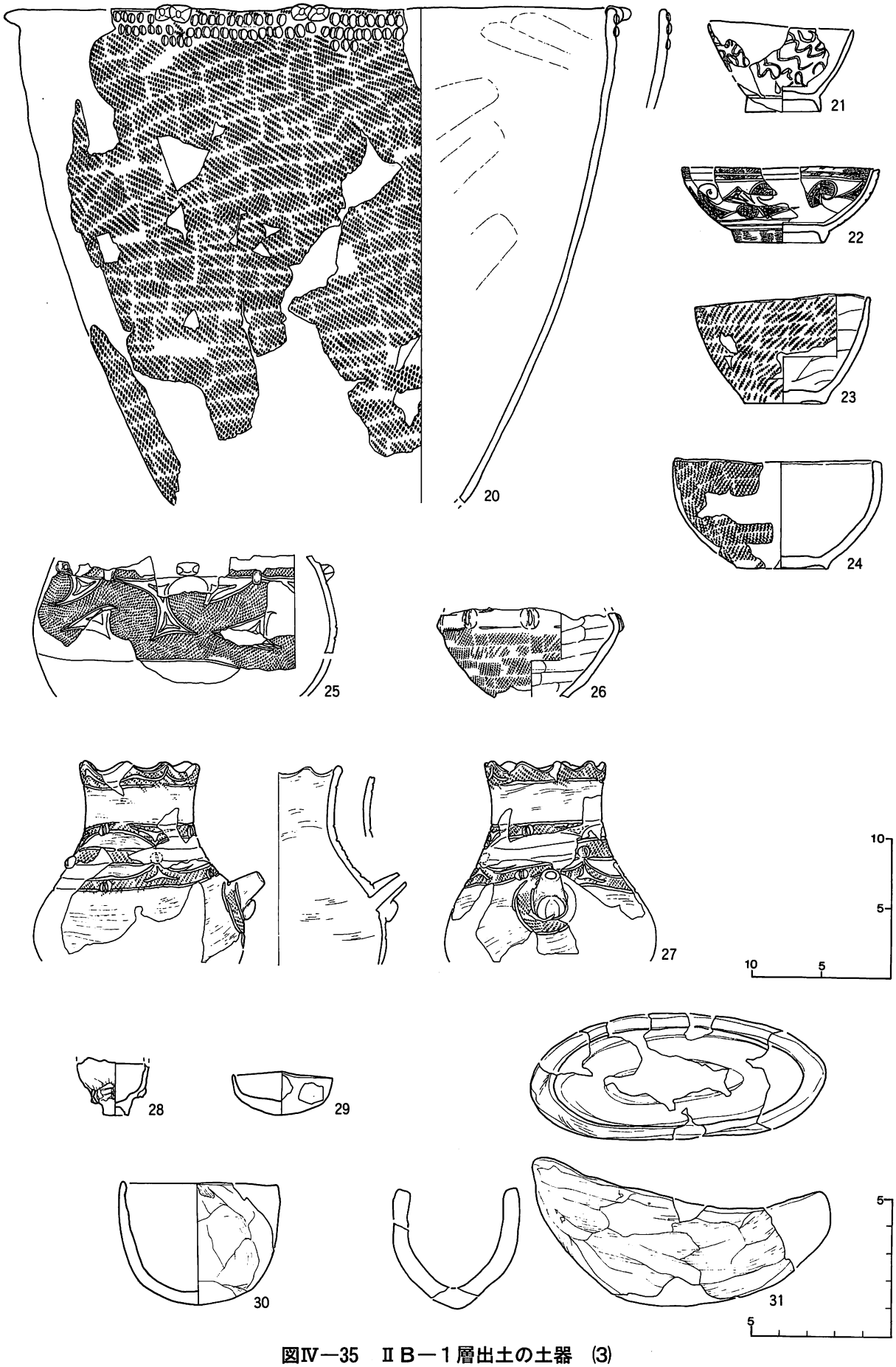
36は半円形に整形し、弧の部分に２個所の耳状の突起を作り出し、さらに弧の部分に浅い溝を加えている。石材は溶結凝灰岩である。



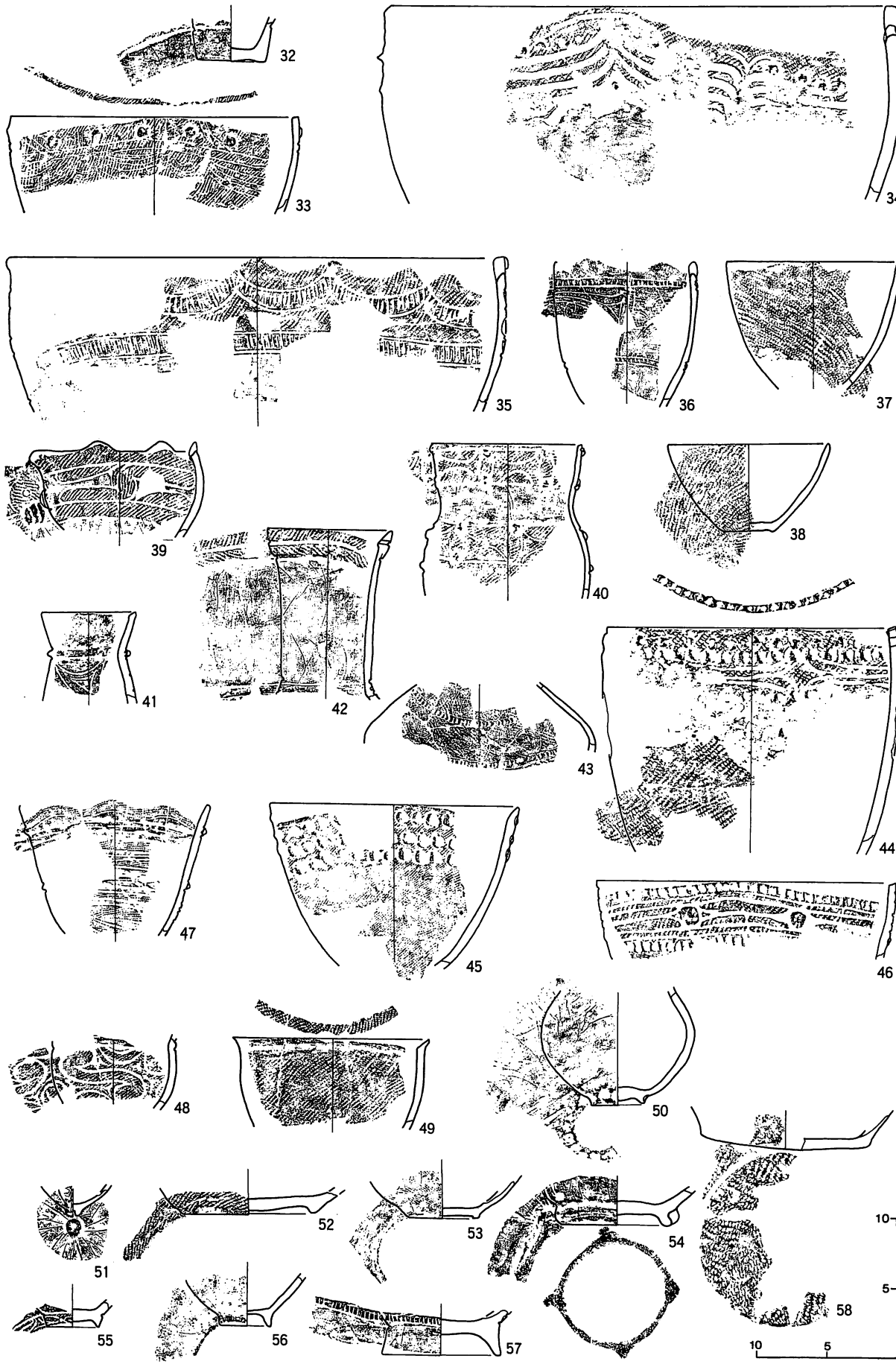
図Ⅳ—33　ⅡB—1層出土の土器　(1)



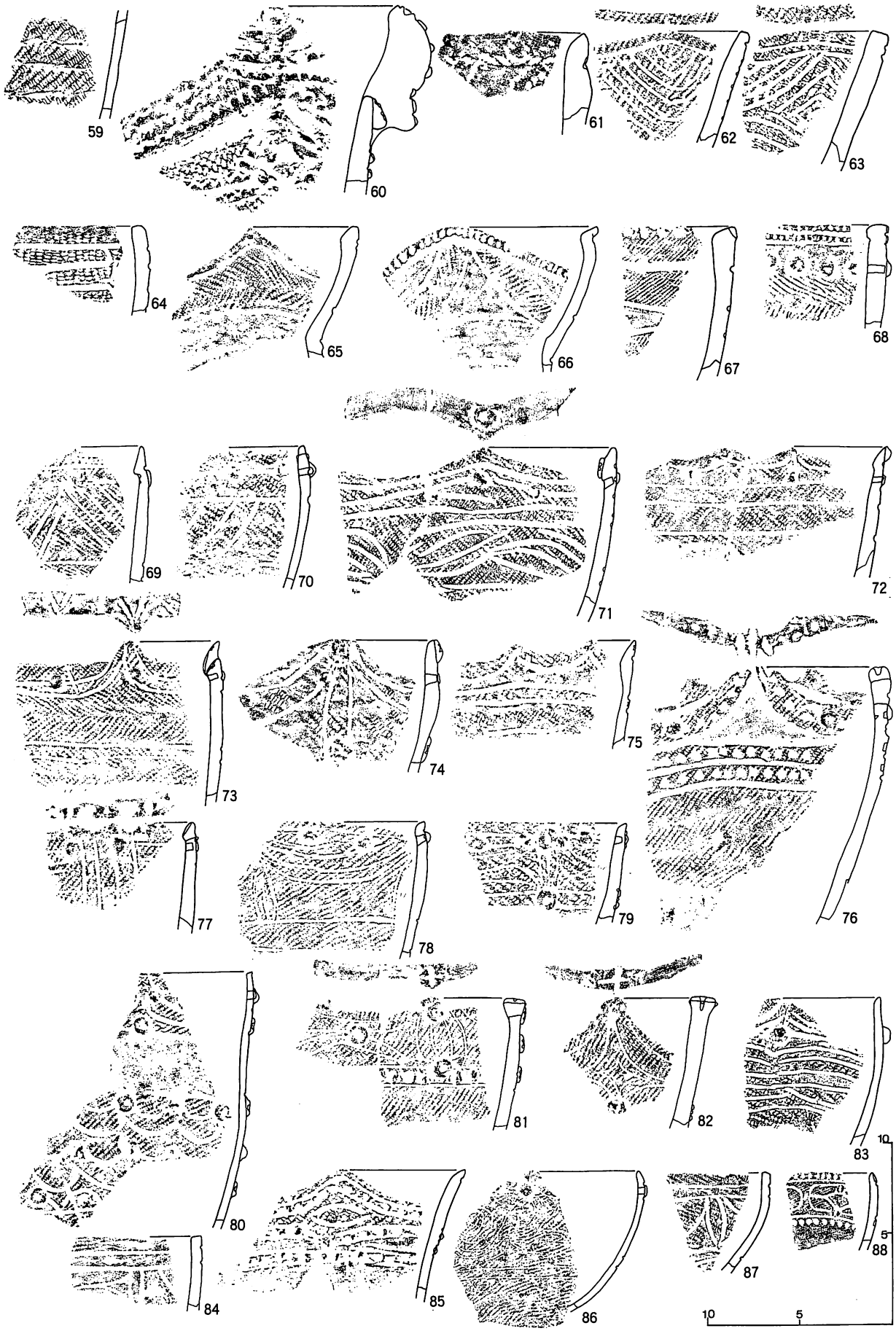
図Ⅳ—34　ⅡB—1層出土の土器　(2)



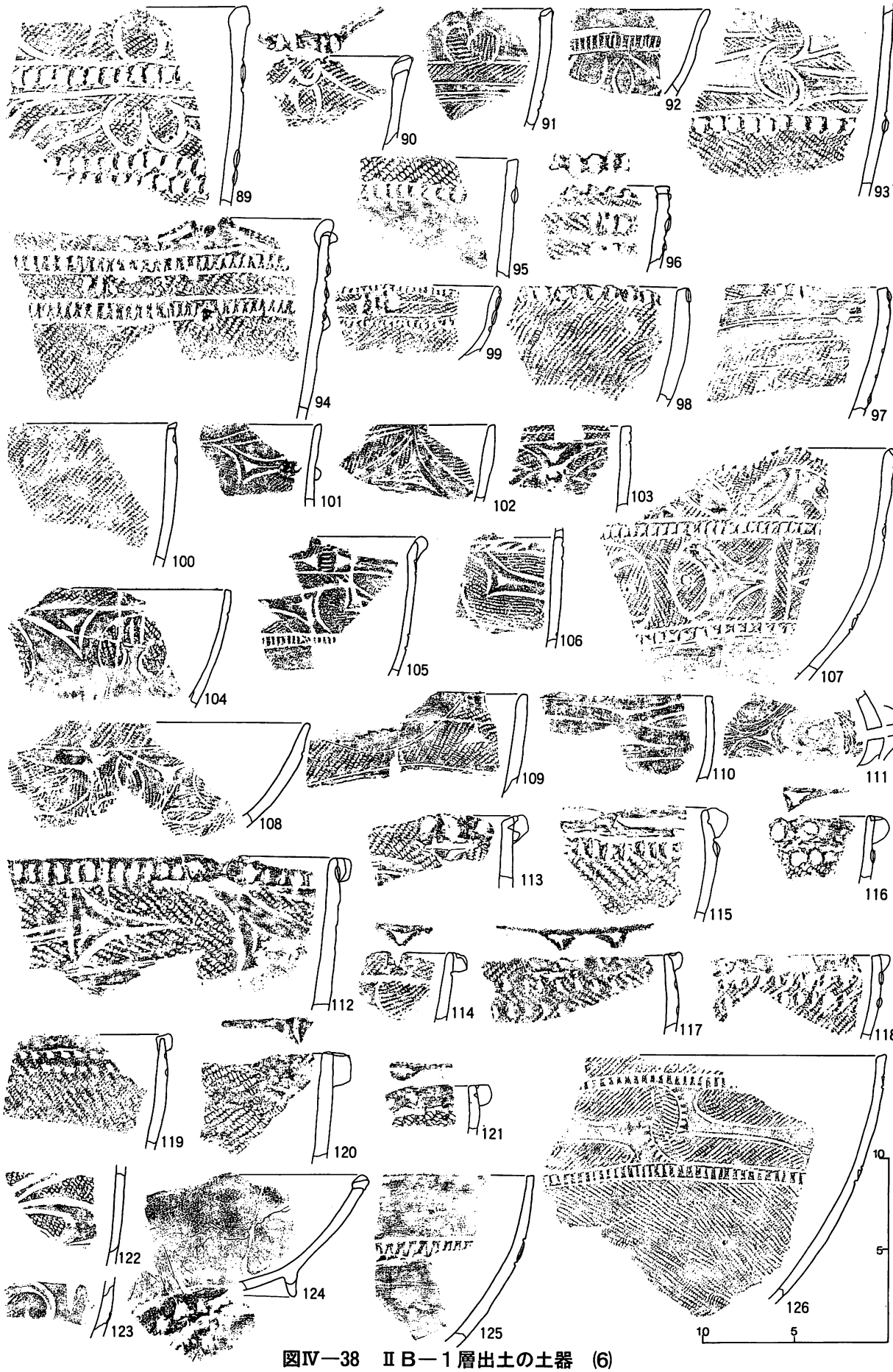
図Ⅳ—35　ⅡB—1層出土の土器　(3)



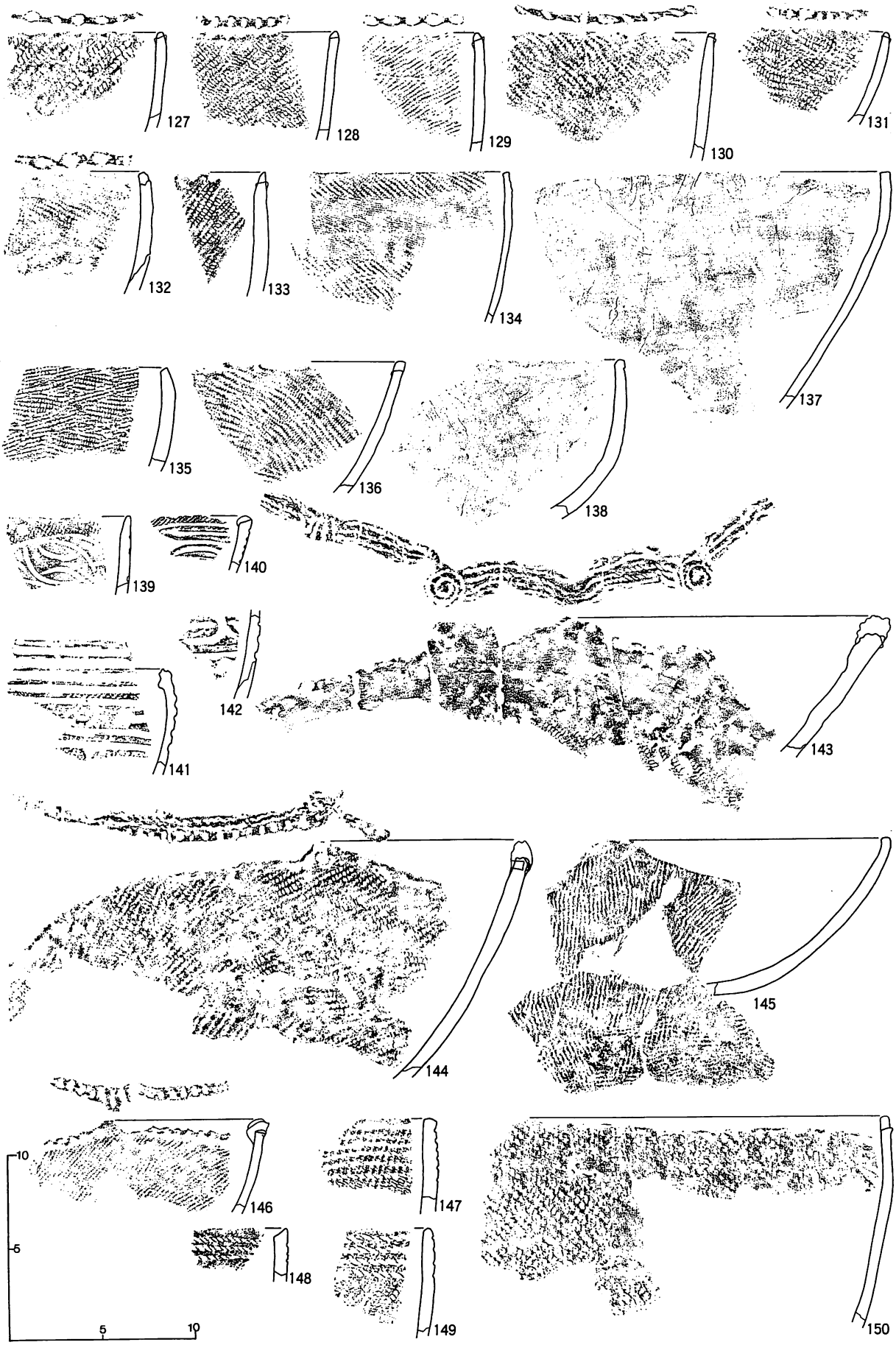
図Ⅳ—36　ⅡB—1層出土の土器　(4)



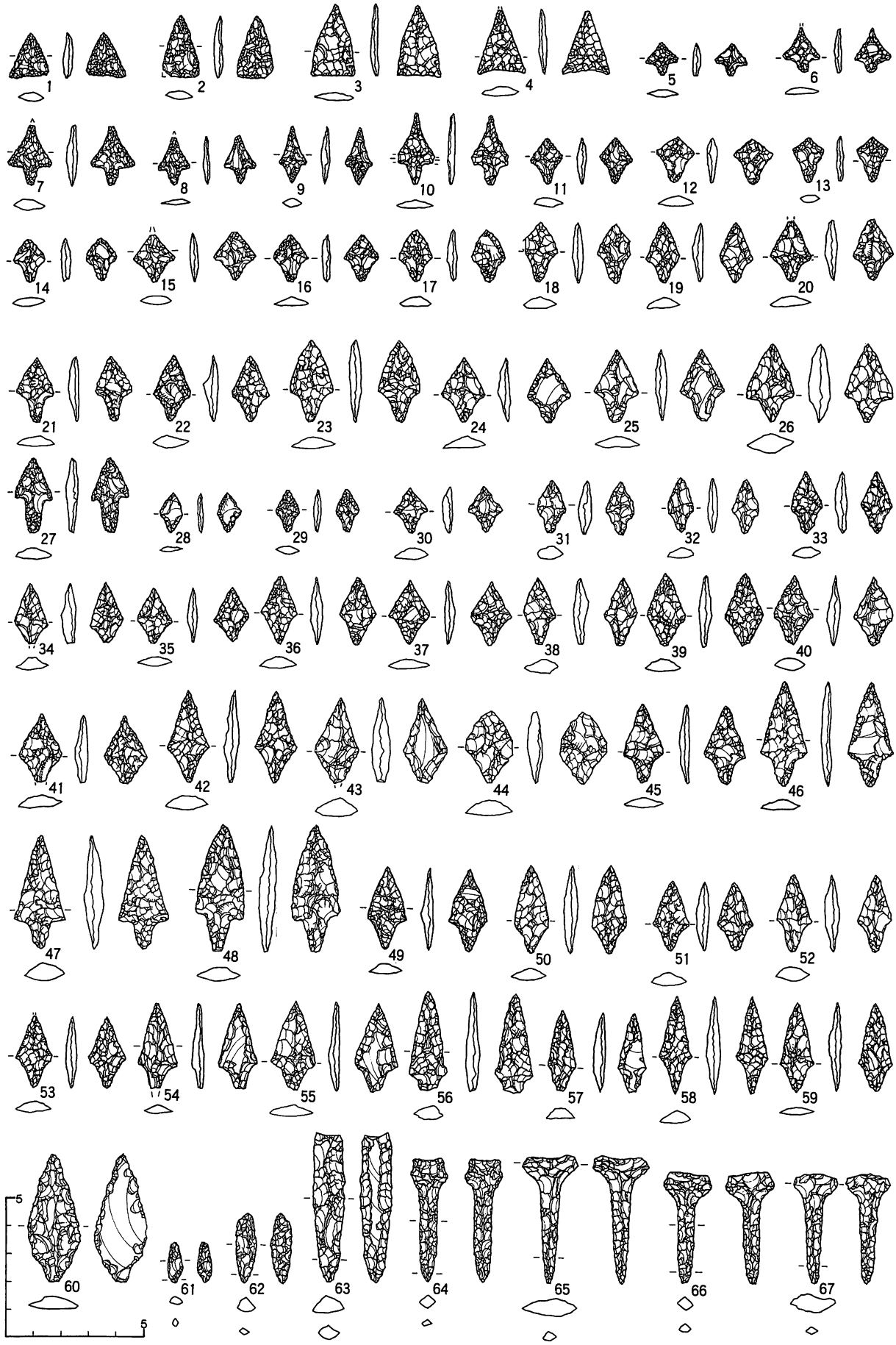
図Ⅳ—37　ⅡB—1層出土の土器　(5)



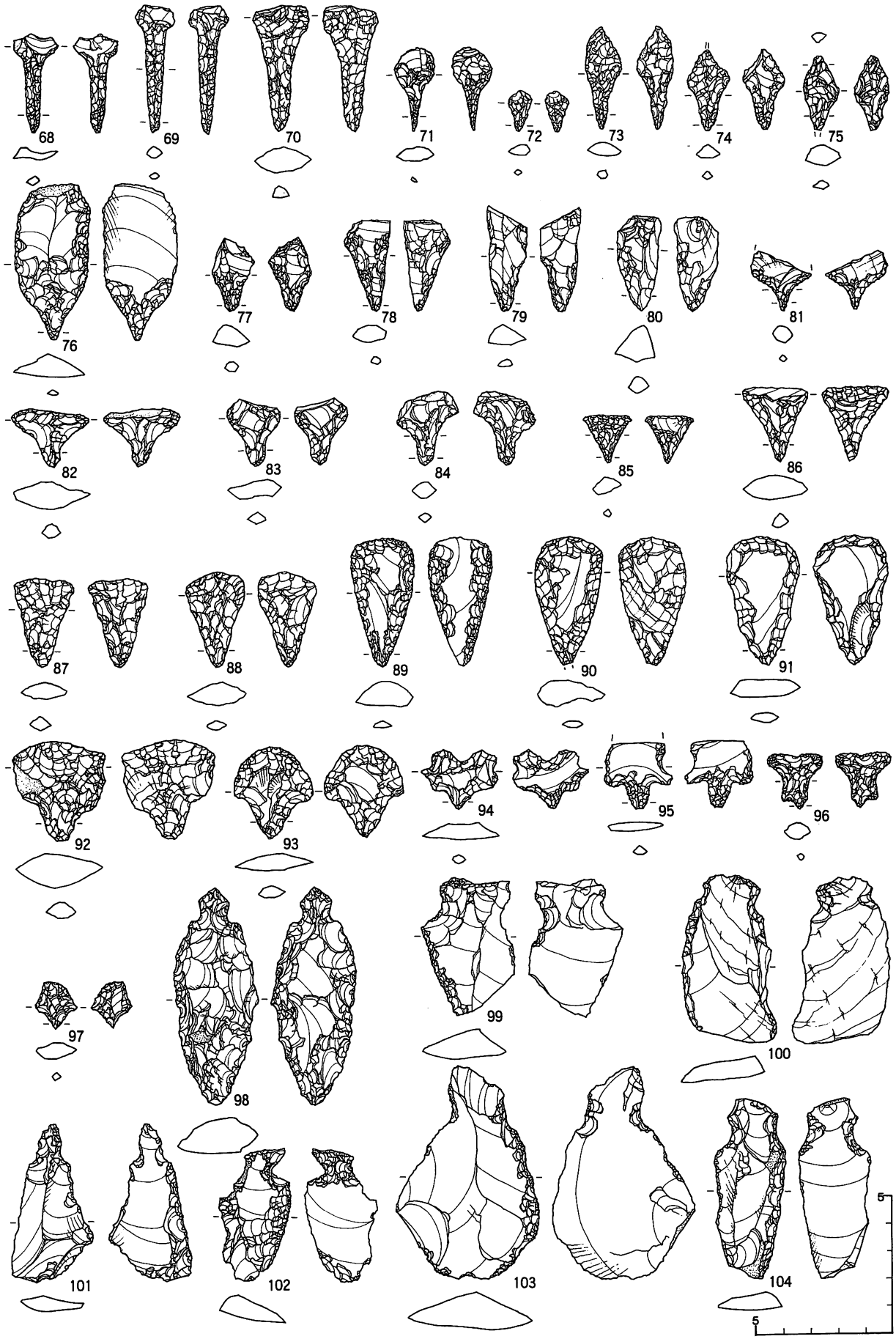
図Ⅳ—38　ⅡB—1層出土の土器　(6)



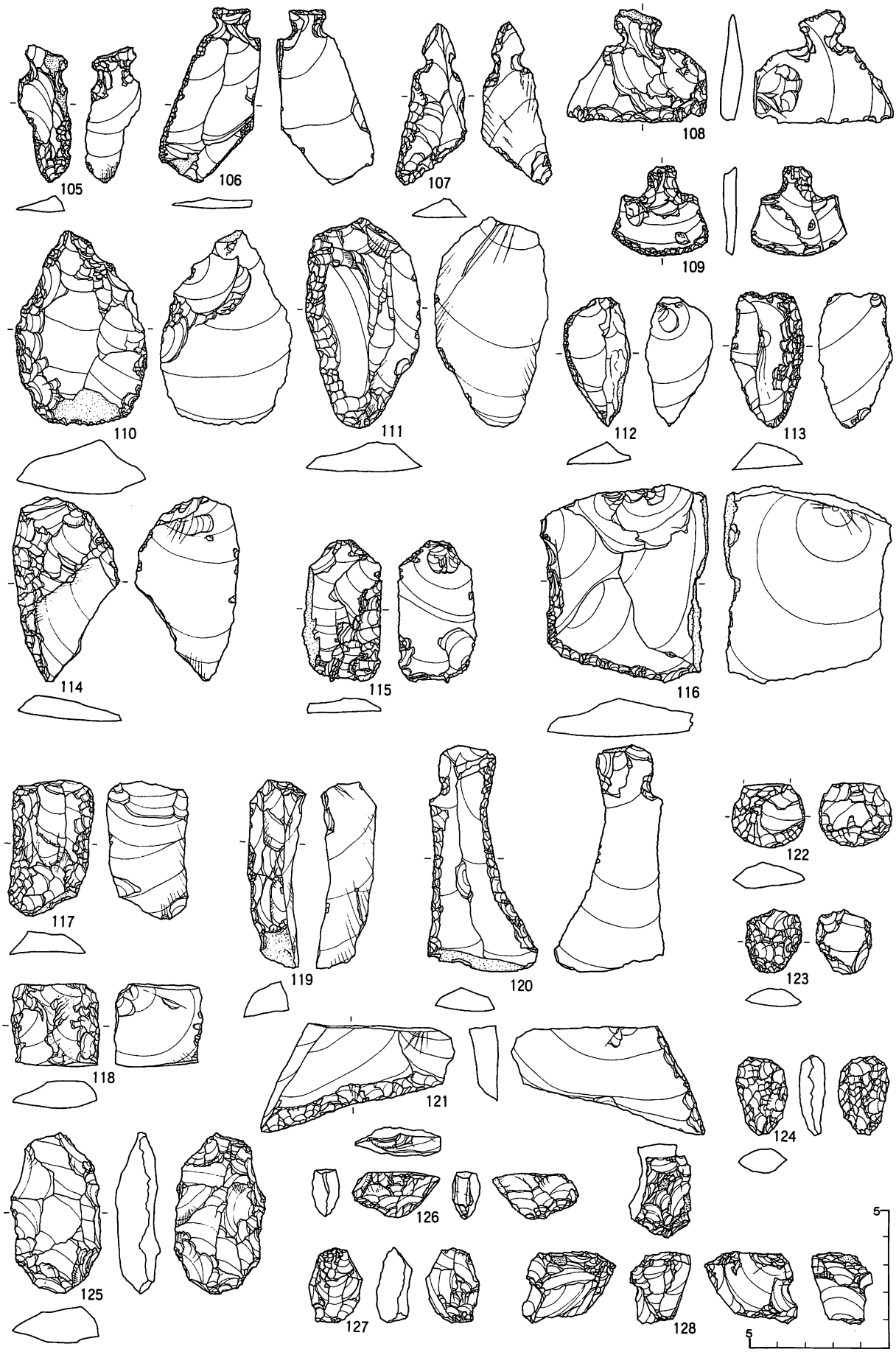
図Ⅳ—39　ⅡB—1層出土の土器　(7)



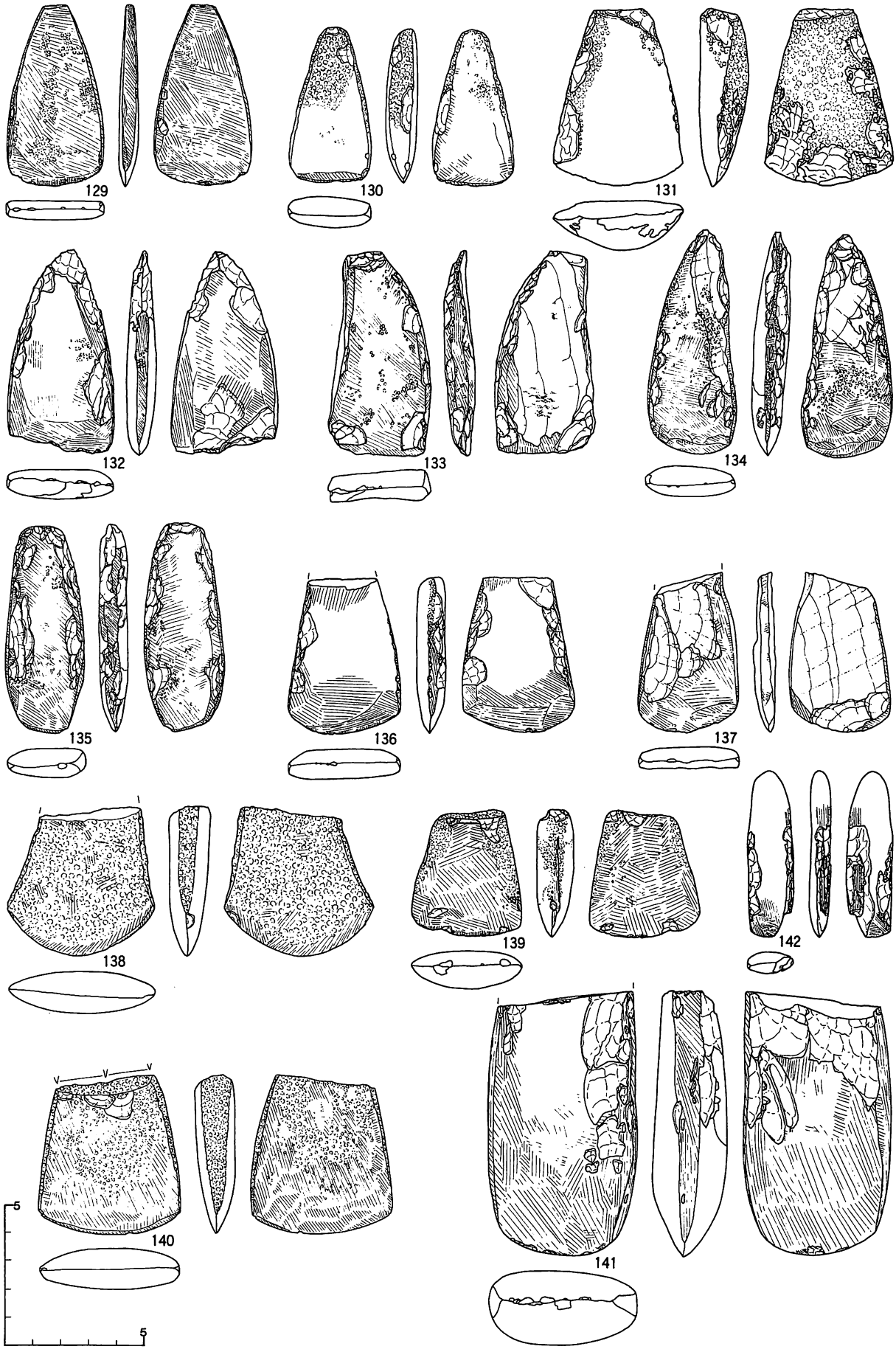
図Ⅳ—40　ⅡB—1層出土の石器　(1)



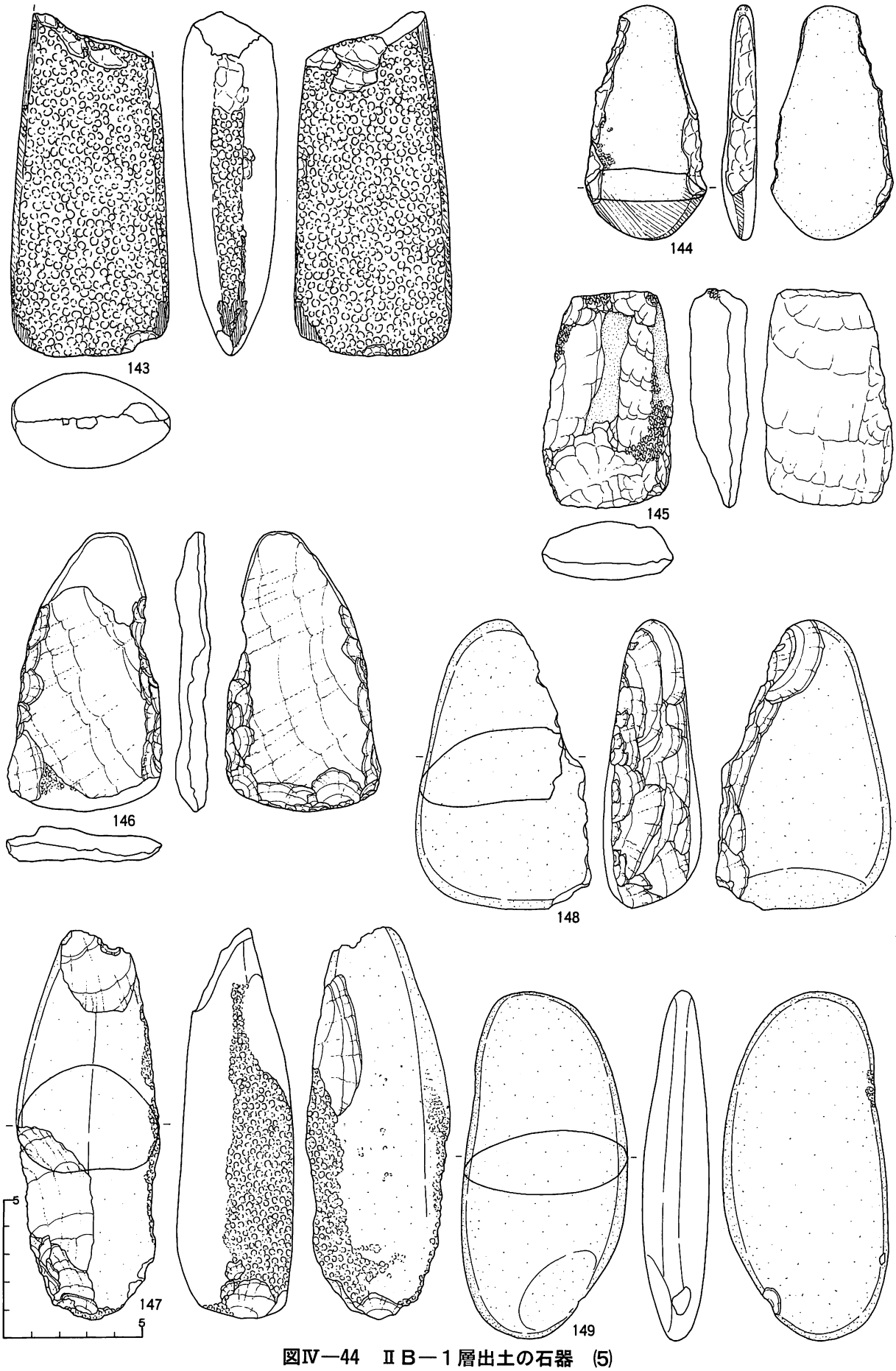
図Ⅳ—41　ⅡB—1層出土の石器　(2)



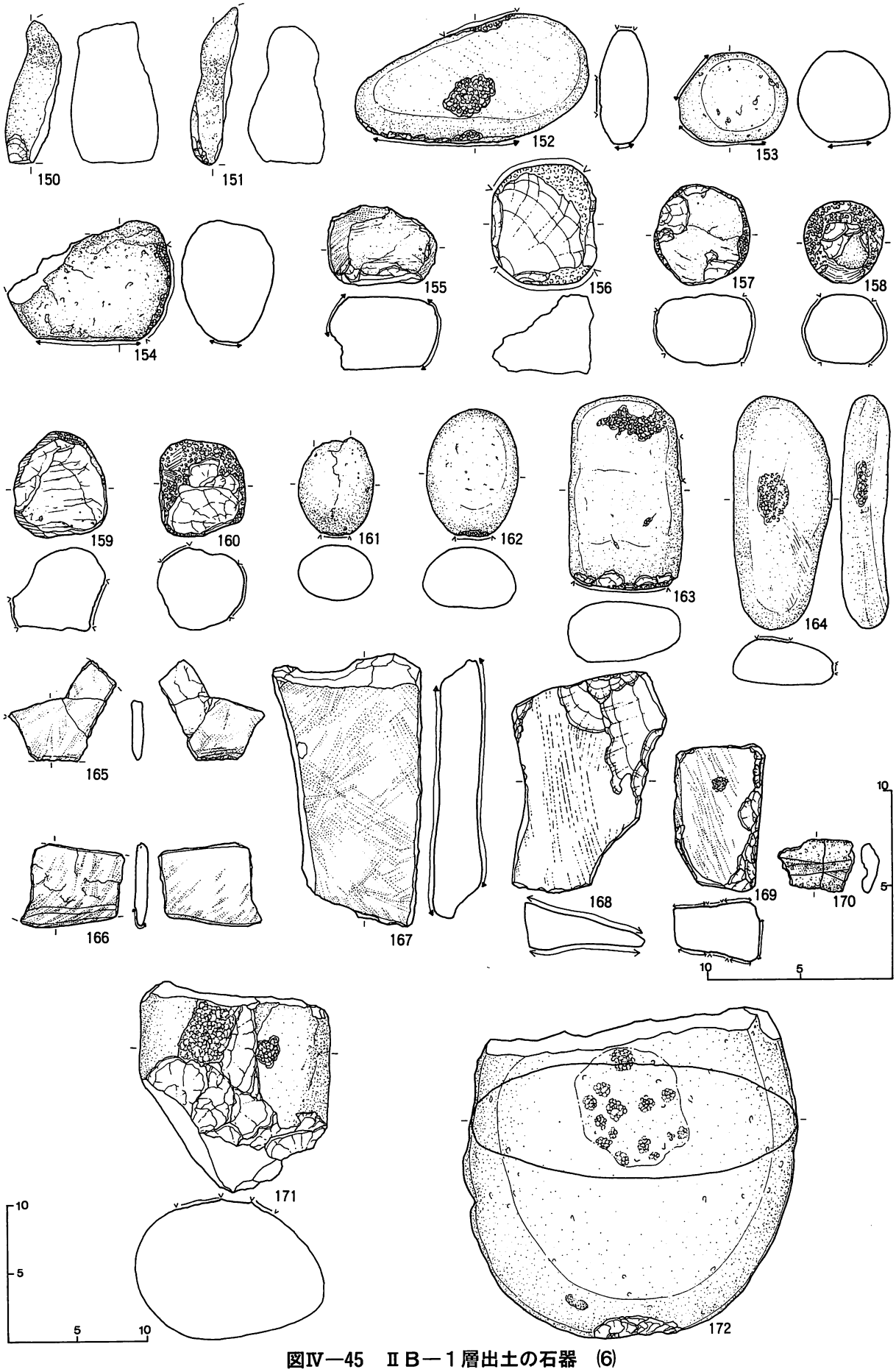
図Ⅳ—42　ⅡB—1層出土の石器　(3)



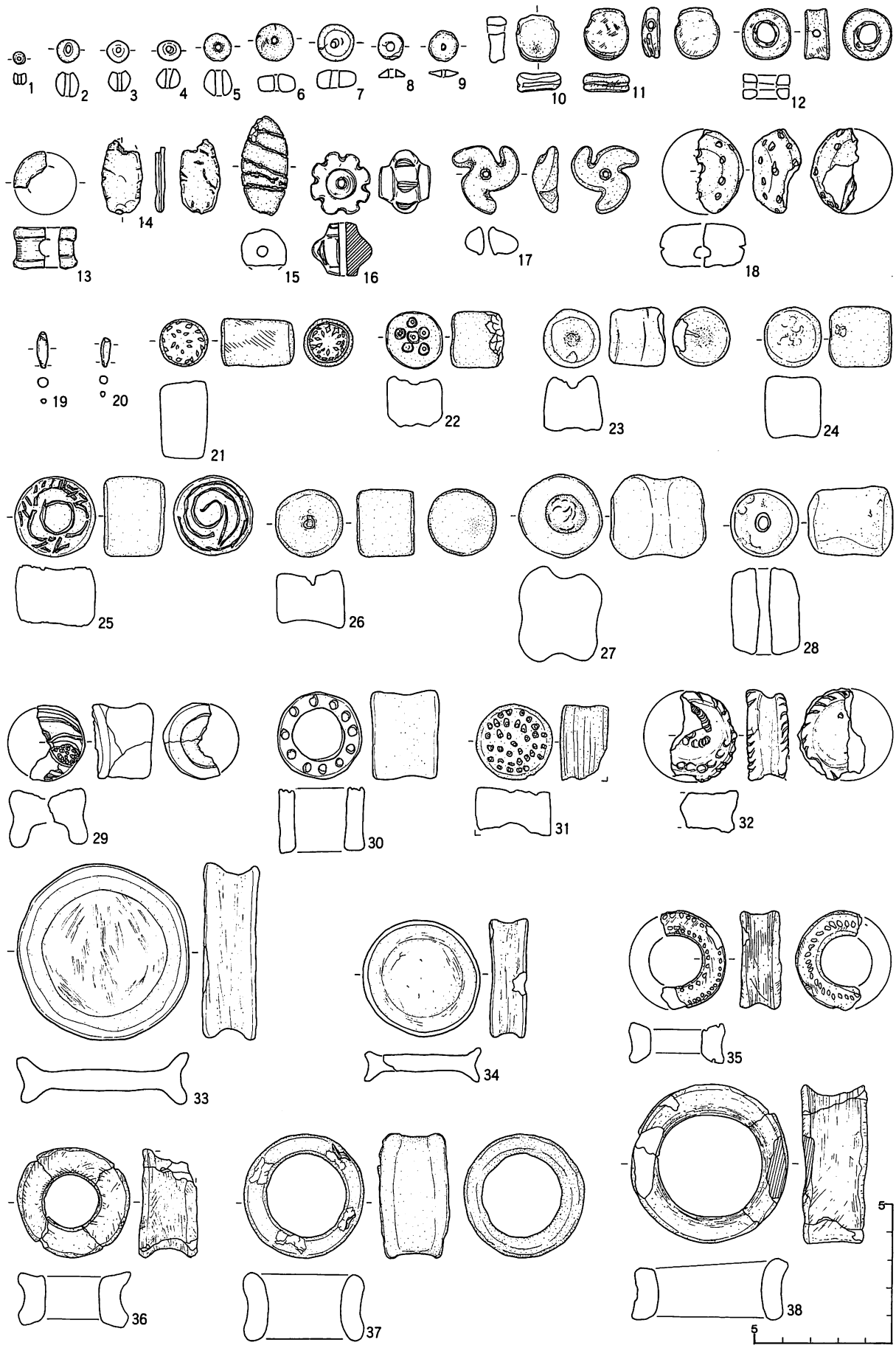
図Ⅳ—43　ⅡB—1層出土の石器　(4)



図Ⅳ—44　ⅡB—1層出土の石器　(5)

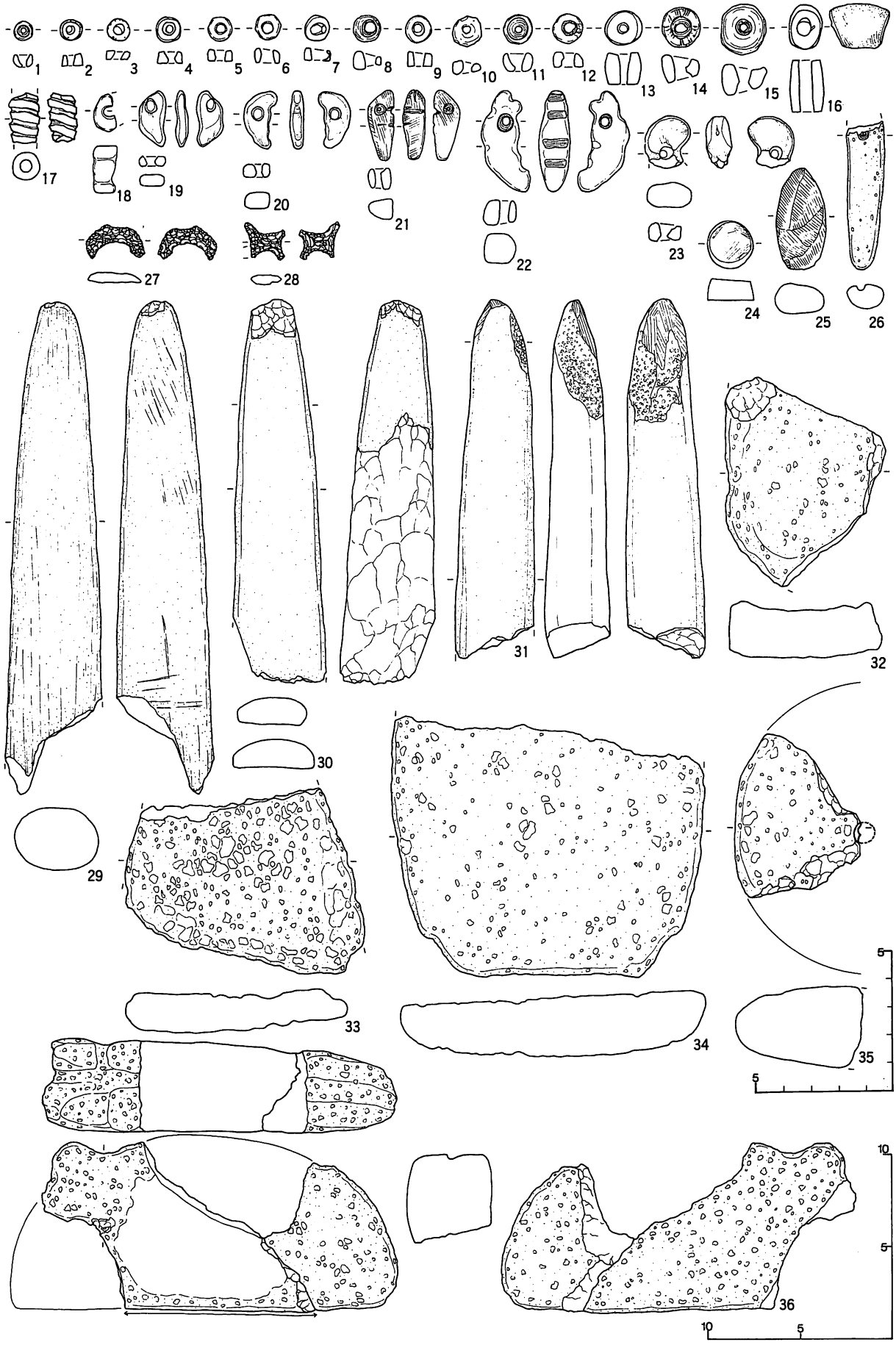


図Ⅳ—45　ⅡB—1層出土の石器　(6)



図Ⅳ—46　ⅡB—1層出土の土製品　(1)

図Ⅳ—47　ⅡB—1層出土の土製品　(2)



図Ⅳ—48　ⅡB—1層出土の石製品

⑵　第Ⅱ黒色土２層出土の遺物

１）土器（図Ⅳ－49～69）

Ⅱ群ａ－２類土器（146）

146は半截竹管状工具による押引文が加えられた体部破片である。

Ⅲ群ｂ－２類土器（147～150）

147は横走気味の斜行縄文が施され、沈線に挟まれた刺突文や沈線文を施したもの。148は沈線に挟まれた刺突文が加えられている。体部下半は無文である。Ⅳ群ｂ類の可能性がある。149は口唇部・口縁部に半截竹管状工具による押引文が加えられている。150は口唇部に縄の圧痕文が加えられている。

Ⅲ群ｂ－３類土器（151・152・153）

151は口縁部破片である。口唇部断面形は切り出し状で、体部に斜行縄文施文後、口縁部肥厚帯直下に円形刺突文が加えられている。152は体部破片で、体部縄文施文後に、半截竹管状工具による押引文が加えられた貼付帯が加えられている。153は刺突文が加えられタガ状の貼付帯が施されたものである。

Ⅳ群ａ類土器（154・156）

154の口唇部断面形は尖る。器面に斜行縄文を施した後、口縁部に縄の圧痕を加えている。胎土に多量の繊維を含み、Ⅱａ－２類の可能性もある。156は折り返し口縁が認められるものである。口唇部断面形は尖る。器壁は薄い。

Ⅳ群ｂ類土器（１～３・91・155・157～197）

155・163は口縁部断面形が角形で、口唇端部に縄文が加えられたものである。155の口縁部には地文上に細い鋸歯状沈線文が施されている。91・157～162は口唇部断面形が角形ないし肥厚し、口唇部端部にミガキ調整が加えられているものである。91は頸部に幅の狭い無文帯をもち、口縁部には地文上に波状入組文が施文されている。157は波状入組文が、158は鋸歯状沈線が、162は磨消文が口頸部に施されている。159～161・163は口縁部に横位の沈線が数条施されたもので、159には「Ｃ」字状の沈線が、160には縦位の沈線が、161には縦位の刺突列が、163には沈線間を結ぶ「Ｓ」字状の沈線文が加えられている。１～３・164～183・187～197は口唇部直下ないし口頸部下端に刻みの加えられた文様区画帯をもつものである。１はⅡＢ－１層１点・ⅡＢ－２層12点・ⅡＢ－３層３点が接合した。口縁部は切り出し状でやや肥厚する。体部には縄文施文後に沈線で区画し、磨消しを加えた磨消文が施されている。２はⅡＢ－２層４点・ⅡＢ－３層１点が接合した。緩やかな波状口縁である。口頸部文様帯は刻みの加えられた沈線で区画し、文様帯内には縄文を施した後、横環する１条の沈線と「Ｃ」字状と「逆Ｃ」字状の沈線を加えている。体部・口頸部上半は無文である。３はⅡＢ－２層27点が接合した。口頸部を欠失する。体部文様帯は沈線で区画され、文様帯内にはあたかも２本の縄を撚り合わせた様な文様が施されている。文様の施文順序は沈線で区画した後、区画内に縄文を施し、磨消しと再び区画する沈線を加えている様に思える。164・177・178は口縁部が無文もので、164の体部には、斜行縄文上に数条の横位の沈線が施されたのち、「Ｓ」字状の蛇行する沈線が加えられている。165・166・167・175・176・179は口頸部に縄文を施した後、沈線で区画し磨消しを加えたものである。168～174・180～183は口頸部に縄文が施されたもの。186・187は口唇直下に突き瘤をもつもの。188は突起部で、磨消しが加えられている。189～197は口頸部・体部破片である。184・185は縄文のみのもので、口唇部断面形は角形気味で、口唇端部にナデ調整が加えられている。

Ⅳ群ｃ類土器（４～79・92～121・123～127・135～138・198～296）

本類は突き瘤の有無や口唇部の断面形で幾つかに分けられる。

ｃ１類　突き瘤が加えられたもので、口唇部の形態から２つに分けられる。

（４・６・７・９～15・19・21・23～29・32・34～43・46～49・56・59・63・92～94・99・100・102・103・198～215・219～234・243～249）

①　口縁部が肥厚し、口唇部断面形が明瞭な切り出し状を呈するもの

（４・６・７・９～15・19・21・25・26・32・34～37・39～43・93・102・103・114・198～212・214・215・243～249）

深鉢（６・７・９～15・19・21・25・26・93・198～212・214・215）

６・７・９～15・19・21・198～204・206は体部中位に無文帯をもつものである。６・７は口縁部に幅広の磨消しが加えられて無文帯が作り出されたもの。９～15・19・21は沈線で区画された口頸部に磨消しが加えられ、無文帯が作り出されたもので、15を除き、口縁部文様帯が狭いものが多い。９・10は口頸部文様帯に沈線で区画された縄文帯が施されたもので、９はⅡＢ－１層３点、ⅡＢ－２層60点、ⅡＢ－３層４点、不明１点が接合した。口唇部には棒状の突起が施され、内面には縄文施文後、沈線文が加えられている。10はⅡＢ－１層１点、ⅡＢ－２層１３点、ⅡＢ－３層５点、不明１点が接合した。口縁部は４個所の波頂部をもち、大きな波頂部間に小突起が加えられている。突き瘤は波頂部下位に施され、突き瘤には摘みが加えられている。口頸部の縄文帯及び口頸部下端には縄文施文後に下方から刺突が加えられている。11～14は頸部無文帯が比較的幅広で、幅の狭い口縁部文様帯には横走する沈線やモール状の沈線文が施されている。11はⅡＢ－１層７点、ⅡＢ－２層15点が接合した。鉢形とすべきものかも知れない。12はⅡＢ－２層104点が接合した。13はⅡＢ－２層15点、ⅡＢ－３層上面７点、ⅡＢ－３層焼土３点、不明３点が接合した。14はⅡＢ－２層20点が接合した。15はⅡＢ－１層12点、ⅡＢ層中46点から出土したもので、出土層位が不明瞭でⅡＢ－１層で扱うべきものかも知れない。文様構成は不明瞭であるが口縁部にはクランク状の、体部上半には渦巻状の沈線文が斜行縄文上に加えられている。19はⅡＢ－２層30点が接合した。突き瘤には摘みが加えられている。21は体部を欠失する。ⅡＢ－１層３点、ⅡＢ－２層11点が接合した。小波状口縁で、口縁部文様帯は沈線で区画され、鋸歯状の沈線文が施された後、突き瘤が加えられている。25・26は口縁部に沈線が施されたもので、いずれもⅡＢ－２上層出土の資料が接合したものである。93は緩やかな波状口縁である。器面には斜行縄文が施されている。体部文様帯は数条の沈線で２段に区画され、上段には２～３本一組の弧線文が、下段には木の葉状の沈線文が施されている。198～200は口縁部文様帯に弧線状の沈線文が施されたもの。201・202はクランク状の沈線文が施されたもの、203・204・206は磨消文が施されたものである。205の無文帯は狭く、口頸部には磨消縄文が施されている。207は口縁部に無文帯をもつもので、口唇部直下に狭い縄文帯が加えられている。体部は沈線で区画した後、縄文が加えられている。208～212・214・215は無文帯をもたないもので、208の体部には区画した後、縄文が加えられている。209は横位・山形の沈線文が組み合わされて施文されている。210・211・215は沈線で区画された文様帯内に弧線状の沈線文が施されている。212・214は口縁部ないし体部の地文上に沈線文が加えられているものである。

鉢（４・32・34～37・39～43・102・103・243～249）

４はⅡＢ－２層出土の資料が接合した。口縁部には指頭による圧痕が加えられた突起が施されている。体部は沈線で２段に区画され、弧線状ないし菱目状の沈線文が加えられ、部分的に粗雑な磨消文が施されている。32は上面観が楕円形のもので、体部は３段に区画され、２本一組の沈線で弧線状及

び鋸歯状に区画し、刺突文が矢羽根状に加えられている。突き瘤は波頂部下位のみに施され、長径の波頂部下位には透し文が加えられている。34～37・39～43は体部に縄文のみが施されたもので、34はⅡＢ－２層５点とⅡＢ－２下層10点が接合したものである。35はⅡＢ－２層９点とⅡＢ－３層６点が接合したものである。36はⅡＢ－２層18点が接合したもの。37はⅡＢ－１層９点とⅡＢ－２層11点、不明２点が接合したものである。39～41はⅡＢ－２層出土の資料が接合したものである。41はⅡＢ－２下層出土の資料が接合したものである。42はⅡＢ－２層下位から出土した。波状口縁で、波頂部に内面に浅い円形刺突が加えられている。43はⅡＢ－２層16点とⅡＢ－２下層１点が接合したものである。102は小波状口縁で、口縁部には沈線で区画された縄文帯が施されている。体部下半は無文である。103は口唇部に突き瘤が加えられた突起が施されている。体部は羽状縄文である。243～246は磨消縄文が施されているもので、246には三叉文状の細い沈線文が加えられている。247は幅広の無文帯をもつもので、口縁部の縄文帯には細い刺突文が、突き瘤にはつまみ揚げが加えられている。248は沈線によって区画された文様帯内には弧線文が上下に施されている。249は小型土器で無文地に細い沈線文と刺突文が加えられている。

壷（114）

114は口頸部破片である。口縁部が肥厚する。口縁部はに羽状縄文、頸部は無文である。突き瘤は貫通している。突き瘤としたが貫通孔の可能性もある。

②　口唇部がやや内傾するが、口唇部断面形が角形気味や尖り気味みで、明瞭な切り出し状を呈さないもの。（23・24・27～29・38・46～49・56・59・63・213・219～234）

深鉢（23・24・27～29・46～49・63・92・94・99・100・213・219～234）

23はⅡＢ－１層５点とⅡＢ－２層13点が接合したものである。体部上半に無文帯をもつ。波状口縁である。幅の狭い口縁部文様帯には波頂部から垂下する２本一組の沈線と波頂部間を結ぶ弧線が施され、波頂部下位にはボタン状の貼り付けが加えられている。24はⅡＢ－２層３点が接合したものである。口唇部断面形は角形である。体部は３～４条の沈線で２段に区画され、上位には３本一組の鋸歯状沈線が、下位には上下に２本一組の連弧状の沈線が施されている。27・28はⅡＢ－２層13点が接合したもので、27は小波状口縁、28の口唇部には部分的に棒状工具による圧痕が加えられている。29はⅡＢ－１層４点とⅡＢ－２層23点が接合したものである。上面観は楕円形である。口唇部には爪による圧痕が加えられ、小波状である。体部上半は２本一組の沈線で区画され、文様帯内には２本一組の沈線で、文様構成不明の沈線文が加えられている。46～49は縄文のみのものである。46はⅡＢ－２層36点が接合したもので、口唇部に棒状工具による圧痕が部分的に加えられている。47・48はⅡＢ－２層出土の資料が接合したもので、47は小波状口縁で口唇に爪による圧痕が加えられている。体部には付加縄文が施されている。48は小波状口縁である。49はⅡＢ－２層上面出土の資料が接合したもので、平縁である。63はⅡＢ－２層出土の無文のもので、口縁部は一方に引っ張られ、片口土器的である。92は口縁部に沈線で区画された文様帯をもち、文様帯には縦位の弧線文が施されている。94は口縁部破片で、沈線で区画された文様帯には５～６本一組の沈線が縦位・横位に交互に施文されている。99は口唇部に指頭による圧痕が加えられ小波状である。体部には撚糸文が施されている。100は小型土器で、口縁部は小波状で、体部には斜行縄文が施されている。213の口縁部には５条の沈線文が施されている。219～234は地文上に沈線文が施されたもので、221・222・226・234には刺突が加えられたボタン状の貼り付けが加えられている。224には波頂部から垂下する短い貼り付けが施されている。231の口唇部直下には内面からの刺突と外面からの浅い刺突が加えられている。

鉢（38・55・56・59）

38はⅡＢ－１層１点とⅡＢ－２層19点が接合した。小型の鉢型である。口縁部に小突起が施されている。底部は揚げ底である。55・56はⅡＢ－２層から出土した。55小波状口縁で、口唇部に指頭の圧痕が加えられている。56は体部下半を欠失する。小波状口縁である。59はⅡＢ－１層１点とⅡＢ－２層上面８点が接合した。口縁部は平縁で、底部は丸底気味である。

ｃ２類　突き瘤をもたないもので口唇部に形態から２つに分けられる。

（５・８・16・18・20・22・30・31・33・44・45・50～54・57・58・60～62・64～70・75・77～79・95～98・101・104～113・115・116・216～218・235～242・250～286）

①　口縁部が肥厚し、口唇部断面形が明瞭な切り出し状を呈するもの（５・８・18・20・22・30・31・33・44・45・95～97・104・105・107・115・116・216～218・250～263・285・286）

深鉢（５・８・18・20・22・95～97・250～263）

５はⅡＢ－２層７点、ⅡＢ－３層２点が接合した。口唇部に２個一組の突起が施されている。突起の内面には刻みが加えられている。口頸部には沈線に区画された幅広の無文帯があり、狭い口縁部にはモール状と横走する沈線文が施されている。８はⅡＢ－２層に相当するⅡＢ層の３・４回目から出土した。波状口縁で、口唇部内面に刻みが加えられている。口頸部文様帯は磨消しによって作出された幅の狭い無文帯によって区画され、文様帯内には４及び５本一組の沈線で区画した後、クランク状の磨消しが施され、さらに口縁部及び文様区画帯にボタン状の貼り付けが加えられている。体部下半は無文である。18は小型土器で、ⅡＢ－２層から出土した。体部中位に無文帯が作出されている。口縁部・体部には２本一組の沈線でモール状・横位の区画文が施され、区画内に細い刺突文が加えられている。20はⅡＢ－１層１点、ⅡＢ－２層20点が接合した。底部を欠失する。口頸部に幅広の無文帯をもつ。無文帯は刺突が加えられた縄文帯によって区画されている。体部文様帯は２段に区画され、文様帯内には沈線でカギ形に区画したのち羽状縄文が施されて、さらに、口唇部直下や文様帯内に粘土瘤が貼り付けられている。22の体部は縄文帯によって２段に区画され、上段には入組的な区画文、下段には楕円形の区画文が施され、区画内に斜行縄文が加えられたのち沈線に沿って刺突が加えられ、さらに口縁部直下及び体部に粘土瘤の貼り付けが加えられている。95・96は磨消文をもつもので、95の磨消は網目状で、体部上半に部分的に粘土瘤の貼り付けが認められる。97は体部中位に無文帯をもつものである。

250～253は磨消文が施されたもので、253は磨消文に沿って刺突が加えられている。254・255は２本一組の沈線で区画が施され、区画内に羽状に刺突文が加えられたものである。256～258・261は地文上に沈線文が加えられたものである。259・260・262・263は縄文のみのものである。

鉢（30・31・33・44・45・104・105・107・216～218）

30・31はⅡＢ－２層から出土した。30の口縁部文様帯には弧線状の沈線文が上下に施されている。31の口縁部には沈線で区画された縄文帯がめぐる。33はⅡＢ－２層に相当するⅡＢ層の５回目から５点、ⅡＢ－２層２点、ⅡＢ－１層３点が接合した。底部を欠失する。体部には２本一組の沈線が３段横環し、沈線内に粗い磨消が加えられている。44はⅡＢ－２層６点、ⅡＢ－１層３点が接合した。波状口縁である。体部には羽状縄文が施されている。45はⅡＢ－２層に相当するⅡＢ層の４・５・６回目から７点、ⅡＢ－２層６点、ⅡＢ－１層12点が接合した。口縁部は平縁で、口唇部には刻みが加えられた突起が施されている。体部は羽状縄文である。104・105は地文上に細い沈線文が加えられたもので、104の口唇部には円形刺突文が加えられている。107は縄文のみのものである。216・217は磨消文が施されたもので、216の口唇部直下に粘土瘤の貼り付けが加えられている。218は地文上に弧線文を組み合わせ菱目状の文様構成を作出している。

壺（115・116・285・286）

115は無文の頸部をもつ。口縁部は小波状口縁で、口縁部には弧状の沈線文が加えられている。116は無文の頸部をもつ。口縁部は小波状口縁で、口縁部には横環する３条の沈線文が加えられている。285は地文上にクランク状の沈線と刺突が加えられている。286は沈線で区画された文様帯に羽状の刺突文が加えられている。

②　口唇部がやや内傾するが、口唇部断面形が角形気味や尖り気味みで、明瞭な切り出し状を呈さないもの（16・30・50～54・57・58・60～62・64～70・98・101・106・108～113・235～242・264～284）。

深鉢（16・98・101・235～242・264～284）

16は小型土器で、ⅡＢ－２層から出土した。体部中位に沈線で区画された無文帯をもつ。98は平縁で、口唇部から垂下する粘土紐が施され口唇部突起を作出している。貼付帯には刻みが加えられている。下端を刺突で区画された口縁部文様帯には菱目状・弧状等の沈線文を施し、口縁部には粘土瘤の貼り付けが加えられている。101は縄文のみのものである。235は沈線で区画された文様帯に横位の弧線文及び縦位の弧線文が施され、文様区画帯の沈線上に部分的に粘土瘤が重ねて貼付けられている。236～239は磨消文が施されたもので、236～238には大腿骨文状の磨消しが、239は波状入組文的な磨消しが施されている。240～242は地文上に沈線文が施されたもので、241の菱目状の文様構成の中に入組文的な沈線が加えられている。264～284は縄文のみのもので、264～278・280は指頭・棒状工具・ヘラ状工具による圧痕で作出された小波状口縁である。279は波状口縁のもの、281・282は口縁部に突起が施されたものである。283・284は平縁のものである。

鉢（50～54・57・58・60～62・64・65・75・77～79・106・108～113）

50はⅡＢ－１層２点、ⅡＢ－２層９点が接合した。波状口縁で、体部上半には６～８条の緩やかな弧線文が横位に施され、口唇直下には粘土瘤の貼り付けが加えられている。51はⅡＢ－２層９点、ⅡＢ－３層１点が接合した。２～３条の沈線で区画された口縁部文様帯には細い弧状の沈線が縦位に施されている。52はⅡＢ－２層から出土した。波状口縁で、波頂部端部には刺突が加えられた粘土瘤が貼付けられ、波頂部に２個一組の突起が加えられている。体部上半は地文上に波状の沈線が加えられている。体部下半は無文である。53はⅡＢ－２層から出土した。波状口縁で、波頂部下位に透し文が施されている。体部には斜行縄文が施され、体部文様帯は沈線で区画され曲線状の沈線文が加えられている。54はⅡＢ－２層１点、ⅡＢ－２層下位８点、ⅡＢ－３層４点が接合した。小波状口縁である。体部には斜行縄文が施された後、弧線状の沈線文が密に施され、木の葉状の文様構成を作出している。57・58はⅡＢ－２層出土で、57は無文土器で、口縁部に刻みが加えられ小波状口縁である。58は口唇直下に１条の横環する沈線が加えられている。60～62は縄文のみのもので、62は皿状である。64は片口土器で、ⅡＢ－２層出土である。口唇部直下に細い沈線がめぐる。片口部分には沈線と刺突が加えられたボタン状の貼り付けが認められる。65は部分的に口唇部に刻みが加えられたもので、上面観は一端が尖る卵形である。106は小波状口縁で、体部は無文地に渦巻状の太い沈線文が施されている。75・77・108・109は縄文のみのもので、75・77は小型土器、108の口唇に棒状工具による刻みが加えられている。78・79・110～113は無文のもので、78・79は小型土器である。

壺（66・68・69）

66はⅡＢ－１層１点、ⅡＢ－２層７点、ⅡＢ－３層１点が接合した。頸部に無文帯をもつ。口縁部・口頸部下端の縄文帯には、刻みが加えられた粘土瘤が貼付けられている。器壁が厚い。胎土は砂粒を多く含み脆弱である。Ⅳ群ｂ類の可能性がある。68の口縁上面観は角形気味である。体部上半の

沈線で区画された文様帯には地文上に弧線を組み合わせ三叉文風の細い沈線文が加えられている。69はⅡＢ－１層１点、ⅡＢ－２層17点、ⅡＢ－３層１点、不明４点が接合した。頸部に無文帯をもつ。体部文様帯は２本一組の沈線で区画され、さらに縦位の２本一組の沈線で分割し、弧線状の沈線文を加えている。

注口土器（70）

70はⅡＢ－２層出土である。縄文・刺突文が加えられた区画文で口頸部の無文帯を区画している。体部には同様の区画文が施されている。

67・71・72・76・117～121・123～125・287～296は口縁部形態が不明のものである。

117は筒状の器形で、体部には縄文を施したのち、縦位と横位の沈線文で区画され、磨消しが加えられている。67・118～125・287～296は壷形ない注口土器と思われるのものである。67は口頸部・体部とも無文で、口頸部下端に刺突文で区画された区画帯をもち、区画帯内には斜行縄文と断続的に施された沈線文が加えられている。

71・72は注口土器でⅡＢ－２層出土である。いずれも体部は無文で、71の底部は揚げ底、72の口頸部下端にはＡ状突起が加えられている。Ｖ群ａ類に含まれる可能性がある。76は小型の環状土器で、磨消文と粘土瘤の貼り付けが施されている。

17・73・74・135～143は底部で、74は小型土器の体部下半で、無文帯をもつ。73は体部下半に２本一組の沈線文が施されている。

Ｖ群土器（80～90・126～134・297～317・321～332・334・335・338・339）

Ｖ群土器はⅣ群ｃ類からＶ群ａ類にかけての資料で明確に分離することが出来ない資料から成る。したがって、便宜的に爪形文が施されているものと、それに類似した特徴をもつものを含めている。Ｖ群ａ類の特徴である三叉文と爪形文との組合せが認められることから、本項ではＶ群ａ類も含めてＶ群土器として扱う。

Ｖ群は爪形が施されたものと施されていないものに分けられる。

１類　爪形文が施されたもの（80～87・91～121・123～296・297～322）

爪形文と突き瘤が組み合わされたもの（80・82・86・297～302・308・309）

80はⅡＢ－１層２点、ⅡＢ－２層39点、トレンチ出土の資料３点が接合した。口縁部は大きな波頂部をもつ波状口縁で、波頂部中間にも刻みが加えられた３個の小突起が施されている。口唇部断面形は角形気味である。口縁部文様帯の下端は沈線・爪形文で区画され、波頂部間には４条の大きな弧線文が施され、さらに波頂部及び波頂部中間の小突起から垂下する爪形文が加えられている。82は口縁部の突き瘤の下位に２段の爪形文が施されたものである。口唇部断面形は丸味をもつ。86は小型土器で、ⅡＢ－１層３点、ⅡＢ－２層３点、ⅡＢ－３層１点、ⅡＢ層トレンチ出土の資料２点が接合した。平縁で、口縁部文様帯下端を爪形文と沈線で区画し、文様帯には突き瘤を加え、突き瘤を起点にモール状の沈線文が施されている。そして底部付近にも横環する爪形文が加えられている。297・298の口唇には指頭による圧痕が加えられた小波状口縁で、297には横位の沈線文も加えられている。299・301の口唇部断面形は角形で、301の口唇部には３個一組の突起が施されている。300の口唇部断面形は尖る。302の口唇部には刻みが加えられ、突起には「十」字状の刻みが加えられている。308の口縁部文様帯は沈線で区画され、鋸歯状沈線が施されている。309の口唇直下に細い突き瘤が加えられている。

爪形文と三叉文風の沈線文が組み合わされたもの（128～130・319～321）

128は爪形文で文様帯が区画され、文様帯内には大腿骨文風の磨消しと三叉文風の沈線文が施され

ている。口縁部及び口頸部下端にはA状突起・B状突起が加えられている。129は沈線文が施されたのち、縄文・粘土瘤の貼り付けが施されている。130は縄文施文後、大腿骨文風の磨消文を施している。319～321は同一個体である。口唇部断面形は尖る。口縁部には「フクロウ」を表現した獣面突起が施されている。体部文様帯は爪形文で2段に区画され、文様帯内には磨消文が施されている。なお、同一個体の大型破片が昭和58年度美々4遺跡の調査で、X－2から出土している（図88—13)。

爪形文と沈線で文様区画帯を構成するもの（87・131・303・304・313・322)

87は壷形土器である。口頸部には沈線で区画された縄文帯が2段廻る。縄文帯には刺突が加えられたボタン状の貼り付けが施されている。131は爪形文によって口頸部文様帯が2段に区画され、文様帯内には弧線状の沈線文が施されている。303の文様帯内には緩やかな弧線状の沈線が施されている。304の文様帯内には縦位・横位の弧線状の沈線が施され、沈線の交点に器面外面から浅い円形刺突を加え、粘土粒を重ねて貼付けしている。313は口縁部無文帯を区画している。322の文様帯には3本一組の連弧状の沈線文を施し、沈線間に爪形文を加え、部分的に粘土瘤が貼り付けられている。

沈線間に爪形文が施されたもの（81・132・305～307)

81・132・305～307は沈線間に爪形文が施されたもので、81はⅡB－1層7点、ⅡB－2層10点が接合した。305の波頂部には垂下する粘土紐が貼り付けられている。

爪形とA状突起ないしB状突起が組合わされたもの（310)

310は口唇部直下にA状突起ないしB状突起が施され、口縁部に横環1段の爪形文が施されている。

部分的に爪形が加えられたもの（311・312・317・318)

311・312は同一個体で、311の口縁部に小さな爪形文が加えられている。317は沈線で区画された口縁部文様帯に弧線文が施され、沈線の交点に爪形文が加えられている。318は口縁部に2条の沈線が施され、沈線間に縦位に2個の爪形文が加えられている。

爪形のみのもの（83～85・133・134・314～316)

83は2個一組の突起と一個の突起が交互に施されている。口縁部には爪形文で弧状・円形等の文様を描いている。84はⅡB－1層1点、ⅡB－2層7点が接合した。角形の口唇部直下に爪形文が施されている。85はⅡB－1層7点、ⅡB－2層12点が接合した。口縁部には地文上に2段の爪形文が施され、断続的に短い爪形文が加えられている。体部は無文である。器壁が厚く、90に類似する。133は地文上に、口縁部・体部中位・底部付近に爪形文が施されたものである。134は口唇直下に爪形文が施されたものである。314・315は同一個体で、口縁部・体部中位に無文帯をもつ。316は地文上に、口縁部・底部付近に爪形文が施されたものである。

145は爪形文が施された底部破片である。

2類　爪形文が施されていないもの（88～90・122・323～332・334・335・338・339)

入組文的な沈線文が施されたもの（122・332)

122は小型の壷形土器である。頸部に縄文を施文した後、入組文的な沈線文が施されている。332は波状入組文的な沈線文が施されている。

三叉文風の沈線文が施されているもの（89・325・326・328・329)

89は注口土器で、ⅡB－1層6点、ⅡB－2層14点が接合した。口頸部・底部を欠失する。頸部下端にはA状突起が施されている。注口周辺に円形の沈線文が組み合わされて施文され、三叉文・円形刺突文が加えられている。325・326は鉢形になるものと思われる。325は沈線で区画後、縄文を施している。326は縄文施文後、沈線で区画し、磨消しを加えている。328は体部破片で大腿骨文風に沈線

で区画したのち、三叉文・縄文を加えている。329は沈線で大腿骨文を区画したのち、三叉文・縄文・円形刺突文が加えられている。口縁部にはＢ状突起が施されている。330と同一個体の可能性がある。

Ａ状突起・Ｂ状突起が施されているもの（88・330・331・334）

88は壷形土器の口頸部である。口縁部は波状で、波頂部は台形で、「U」字状の貼付帯が施され、口縁部下端にはＡ状突起が加えられている。330はＢ状突起が施されたもので、体部には磨消縄文が施されている。331は口縁部にＡ状突起が施されたもので、体部には横走する撚糸文が施されている。334の口縁部は無文帯で、無文帯直下にＢ状突起が施されている。

口縁部に竹管状工具の刺突列が施されたもの（90・323・324）

90はⅡＢ－１層２点、ⅡＢ－２層11点が接合した。口唇部断面形は角形である。口唇部に棒状工具による圧痕が加えられ波状口縁である。口縁部に斜行縄文を施したのち、円形刺突文が加えられている。胎土・器面調整は85に類似する。323・324は口唇部に半截竹管状工具の刺突列が施されたもので、324の口唇部直下に穿孔が加えられた小さな橋状突起が加えられている。

口唇部直下に沈線と刻みが加えられているもの（335）

335の口唇部断面形は尖る。器面外面に羽状縄文を施したのち、口唇部直下に沈線と刻みが加えられている。体部縄文は311・312に類似する。

沈線のみが施されたもの（327）

327は無文地に二本一組の沈線文が施されている。

縄文のみのもの（338）

338の口唇部には、内面に刻みが加えられたやや大きめの突起が施されている。

無文のもの（339）

339は鉢形で、口唇部には台形状の突起が加えられている。

144は底部付近に玉抱き三叉文風の沈線文が施されたものである。

Ｖ群ｃ類土器（333・336・337）

333は大洞系土器群の口縁部破片である。口唇部断面形は切り出し状で、口唇部内面に沈線が加えられている。頸部には沈線が施され、赤色顔料の付着が認められる。

336・337は在地系土器群である。336は口縁部破片で口唇部直下に鋸歯状の刻みが加えられ、口縁部には３条の縄線文が施されている。337は体部破片で、斜行縄文上に縄線文が加えられている。

２）石器（図Ⅳ－70～78）

石鏃（１～42）

１～４は無茎で、１～３は無茎平基、４は無茎凹基である。５は木葉形のもの。６～42は有茎のものである。６・７は先端部が偏平な三角形状の有茎凸基のもの。８～17・19は先端部が正三角形状でいずれも有茎凸基のもの。18は有茎平基のものである。８～10の茎部は長く作り出されている。20～42は先端部が細身の二等辺三角形のもので、22の有茎平基を除き、有茎凸基である。31・32の先端部は内湾する。38～41は先端部わずかに外湾し、かえし先端がわずかに跳ね上がる。

ポイントまたはナイフ（43・44）

43は両面全面加工で、43はわずかにかえしが作り出されている。44は両面全面加工で、先端部を欠失する。ドリルの可能性もある。

ドリル（45～77）

45～49は短い棒状のもの、50は長い棒状のものである。51～53は柄と機能部の区分が明瞭なもので、機能部が細く棒状のもの。76・77は機能部を両端にもつ。54～61は剥片の一端に機能部を作出したもの。62～75は幅広の機能部をもつで、62～66・70・75は柄と機能部の区分が不明瞭なもの。67～69・71～74は幅広の機能部をもち、柄と機能部の区分が明瞭なもので、両面加工ないし両面周辺加工によって作出されている。

つまみ付ナイフ（78～89）

78～87は縦形で、78は片側縁に両面周辺加工で刃部を作り出している。79は両側縁に両面周辺加工で、下端に尖頭状の刃部を作り出している。80～87は粗雑な片面周辺加工のものである。88・89は横形で、88は片面周辺加工で尖頭状の刃部を作出している。89は片面周辺加工で刃部が作出されている。

スクレイパー（90～122）

90～112・122は縦形のものである。90～100は側縁に両面加工ないし片面周辺加工で弧刃気味の刃部を作出しているもの。101は両面周辺加工で直刃気味の刃部を作出しているもの。102～105・122は側縁に片面周辺加工で直刃気味の刃部を作出しているもの。106は側縁に片面周辺加工で内湾気味の刃部を作出しているもの。107～112は尖頭状の刃部を作出しているものである。

113～121は横形のものである。113～117は下端に両面加工ないし片面周辺加工で弧刃気味の刃部を作出しているもの。121は片側縁に片面周辺加工で弧刃気味の刃部を作出しているもの、118～120は下端に片面周辺加工で直刃気味の刃部を作出しているもの。

両面加工石器（123～130）

123・124は楕円形で両面周辺加工が施されたもの。125は片面全面加工が施されたもの。126～129は楕円ないし木葉形で、両面周辺加工が施され、礫面を残すもの。130は両面全面加工のものである。

楔形石器（131）

131の素材は黒曜石である。

石斧（132～157）

132～137・140～143は完形品、138・139は破損品である。132・133・140～142は短冊形で、132は粗割・擦り、133は粗割・敲打・擦り、140～142は粗割・擦りによって作出されたものである。134～139は撥形で、136の折れ面に敲打痕が認められ、楔として転用された可能性がある。143はミニチュアで、薄い板状の素材に擦りによって刃部が作り出されている。

144～155・157は石斧未成品である。144は擦切痕・敲打調整痕・擦り整形痕が認められる。145は棒状の素材の下端に、擦り整形でによる刃部を作出中のものである。146～150は粗割整形・敲打整形・擦り整形が加えられている。151・152は粗割・敲打整形が加えられたもの、153は敲打調整のみのもの。154・155・157は粗割整形が加えられたものである。

156は石斧素材と思われるものである。素材はいずれも緑色泥岩である。

すり石（158～162）

158は断面三角形のすり石の破片である。159～161は扁平礫の端部に擦痕をもつもので、159はたたき痕を合わせもつ。162は円礫の周縁に擦痕をもつものである。

たたき石（163～181）

163～170は円礫ないし扁平気味な円礫の周縁にたたき痕が認められるもの。171～175は亜円礫ないし棒状礫の端部にたたき痕が認められるもの。177～181は棒状礫の側縁にたたき痕が認められるもの

である。

砥石（182～185）

182は１面、183～185は２面の砥面をもので、石材はいずれも砂岩である。

石錘（186・187）

いずれも破片資料で、抉りは両面からの剥離によって作り出されている。

石皿（188・189）

188は小型で、両面にすり面が認められ、裏面には僅かに敲打痕もあり、すり石的な機能も考えられる。189は両面にすり面が認められる。

台石（190）

190は頂部に潰打痕が認められる。

３）土製品（図Ⅳ—79）

土玉（１～５）

１～５は土玉である。１は楕円形の管状のもの。２は球形のもの。３は歯車状の刻みが加えられたもので、赤色顔料の付着が認められる。同様な形状をもつものがⅡＢ—１層からも出土している。（図Ⅳ—46—16）。４は扁平な丸いもので、側面に穿孔が認められる。５は環状で側面に穿孔が加えられたもの。

耳栓（６～17・19～21）

６～21は耳栓である。６～９は棒状のもの。10～15・17・20は「臼形耳栓」と称されるものである。10・12・17には沈線文・刺突文が加えられて、17には赤色顔料の付着が認められる。16・19・21は環状のもので、21の周縁に沈線が加えられている。

土偶（33・34）

土偶はいずれも破片で、33肩部分、34は脚部である。

その他の土製品（18・22～32・35～40）

18・22～30は環状の土製品である。18は沈線が加えられ、赤色顔料の付着が認められる。22は周縁に摘み揚げの爪形文が認められる。23～25は縄文が施されたもの。26～30は無文で、30には３個所に貼り瘤が認められる。31はオロシガネ土製品の破片資料である。32はスタンプ形土製品である。35は「熊」を意匠した土器の突起と思われる。36は磨消文と三叉文風の沈線文が施されたもので、端部に穿孔が加えられている。把手付土器の柄の可能性がある。37は一部欠失する。「＋」字形になるものと思われる。左右に手の様に伸びる突起は前後に屈げられている。胴部の裏面には縦横の刻み目が加えられ、表裏から２個所の穿孔が加えられている。土偶ないし垂飾の可能性がある。

38は穿孔が認められるもので、土錘の可能性がある。39・40は無文の棒状のものである。

４）石製品（図Ⅳ—80）

石玉（１～18）

１～12は平玉である。13～17は球形のもの。18は臼形のもの。

有孔石製品（19～31）

19は長方形を呈するもので、表裏両面からの穿孔が加えられている。20は下端部がやや尖がり気味の長円形（柿の種）状で、上端部に表裏からの穿孔が加えられている。21・22は勾玉状の形態をもつもので、21は、上下端部を欠失する。上端部に穿孔が施され、下位には全周する刻線が加えられてい

る。23は素材に穿孔が加えられたもので、石材は橄欖岩である。24～29は未成品である。29は勾玉状石製品の未成品である。30は玉素材で、橄欖岩である。31は所謂「雨垂れ石」である。

異形石器（32～35）

32～35は黒曜石製である。34は動物の形を模した様にも思える。

石棒（36～38）

36～38は石棒の破片資料で、36・37は先端部破片で、36は断面形が楕円形で、全周する刻線と短刻線が加えられている。37の断面形は半円形である。38の断面形は楕円形である。

軽石製品（39）

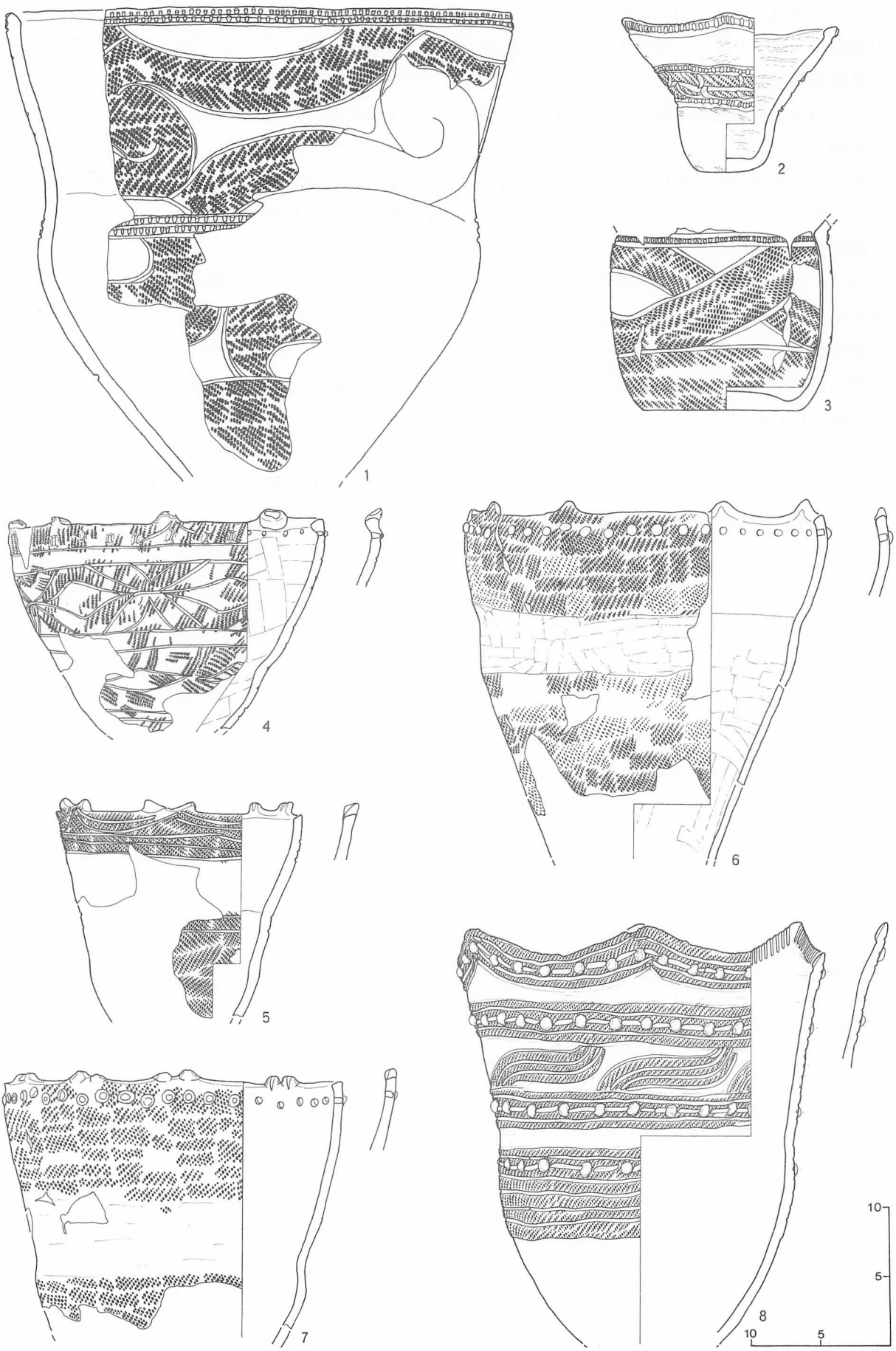
39は、楕円形の軽石に部分的に擦り調整を加えて作出している。一側縁に擦りを施した後、ほぼ全周する溝を作出し、下位にさらにすり整形を加えて段を作り出している。

オロシガネ状石製品（40）

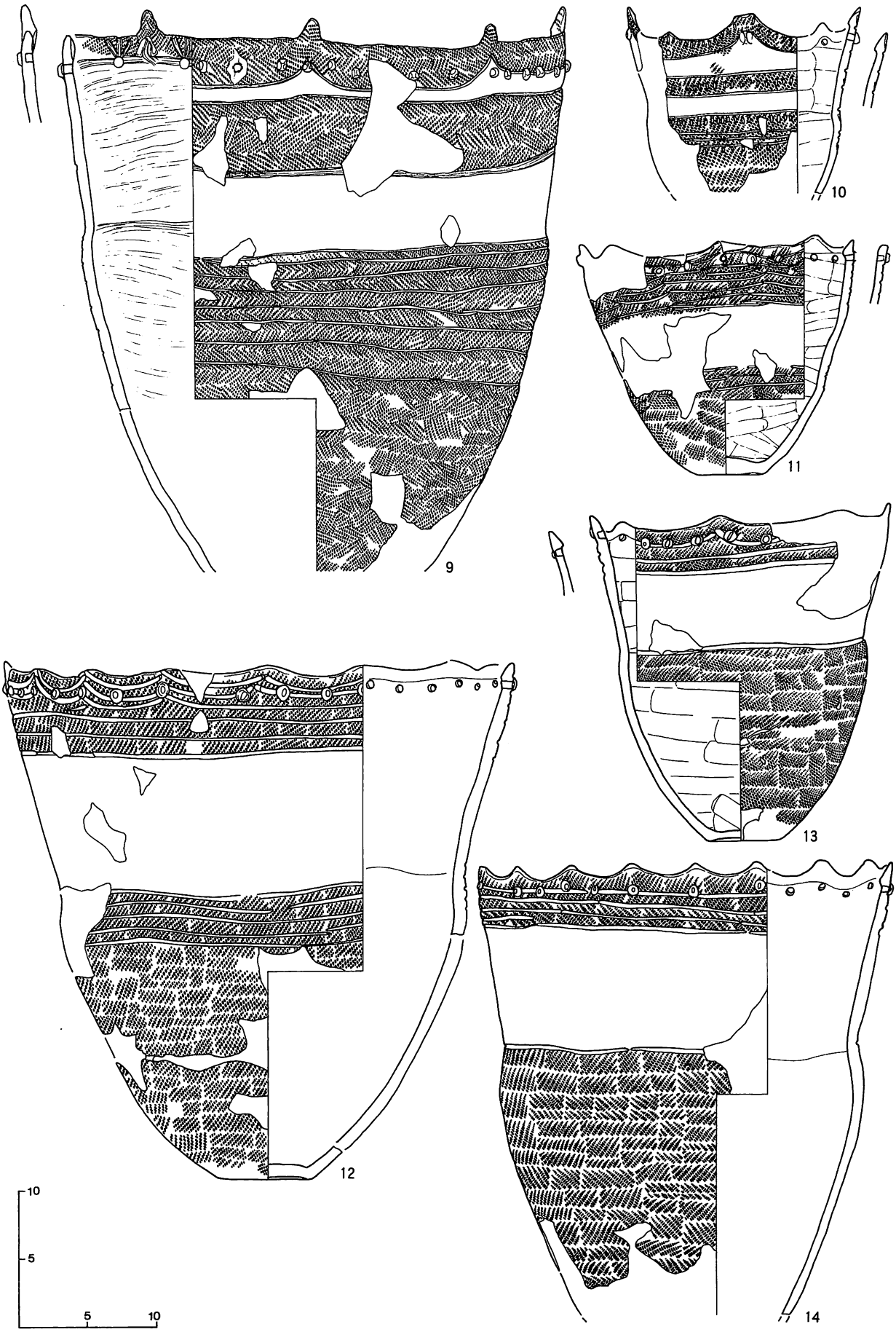
40は完形品で、全面擦る調整で作出されている。上部底面に脚状の突起が作出されている。石材は溶結凝灰岩である。

石製品（41）

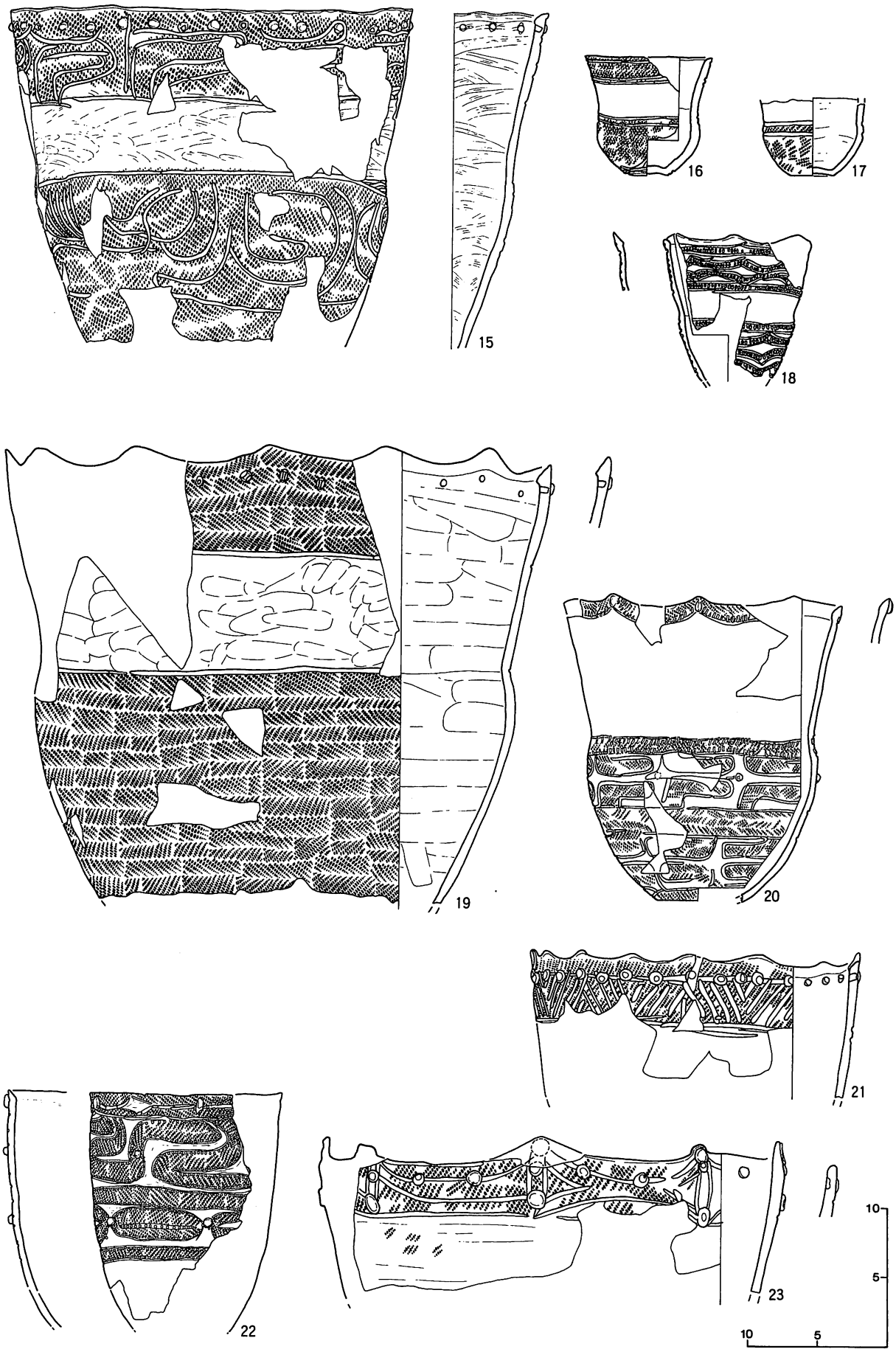
41は破片資料で、棒状の礫を素材とし、先端部に敲打調整・擦り調整が、側面には擦り調整が加えられている。すり石の可能性がある。



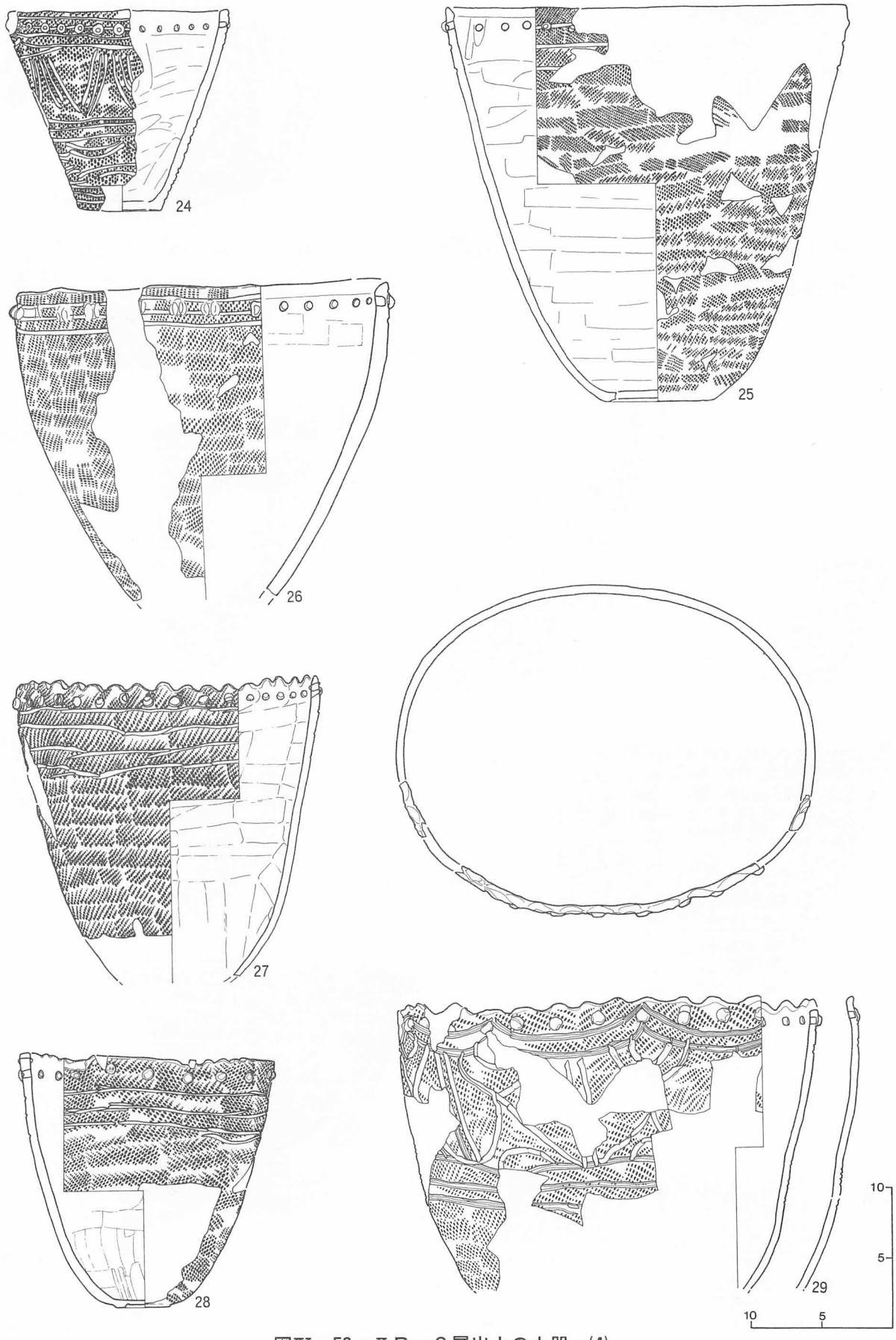
図Ⅳ—49　ⅡB—2層出土の土器　(1)



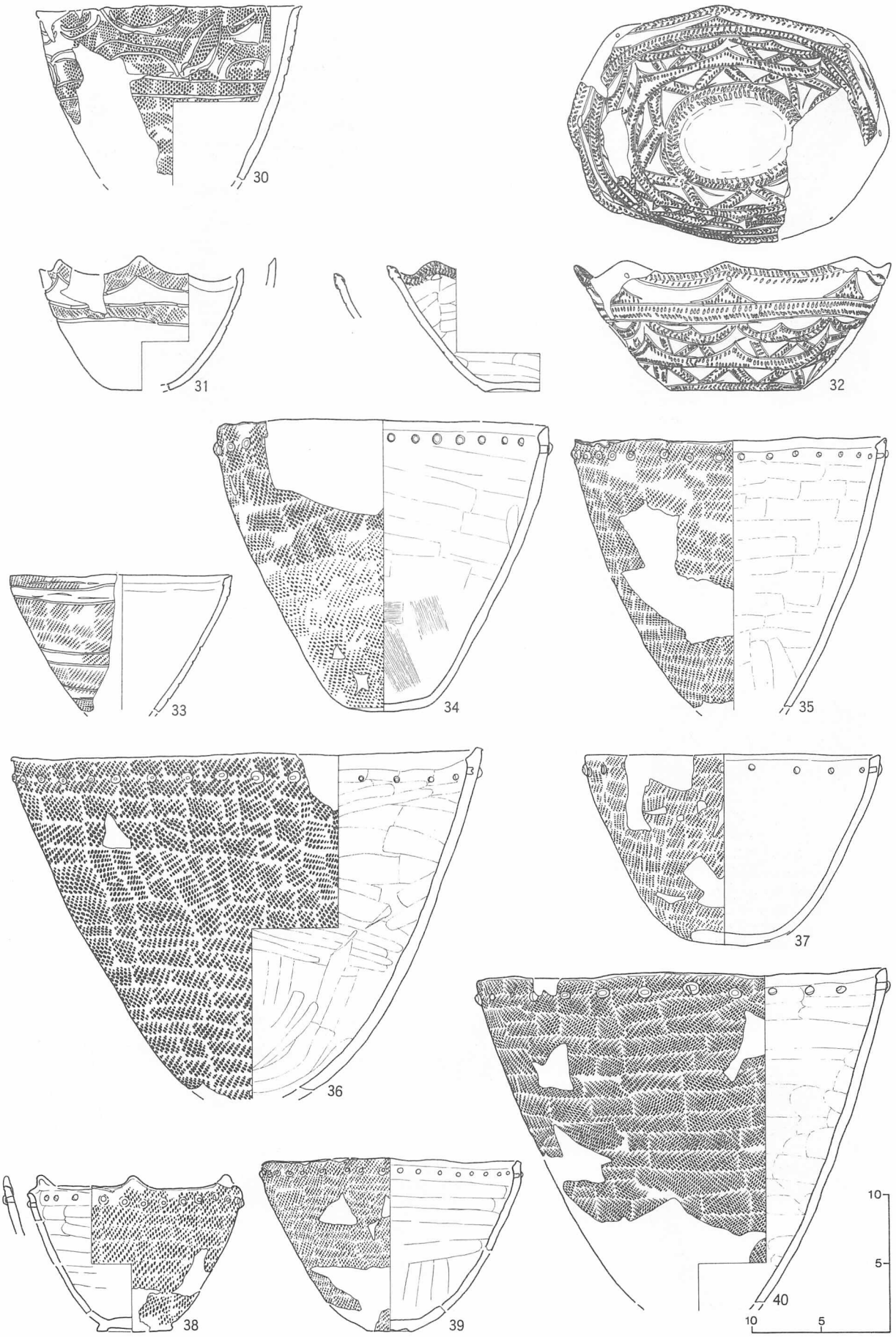
図Ⅳ—50　ⅡB—2層出土の土器　(2)



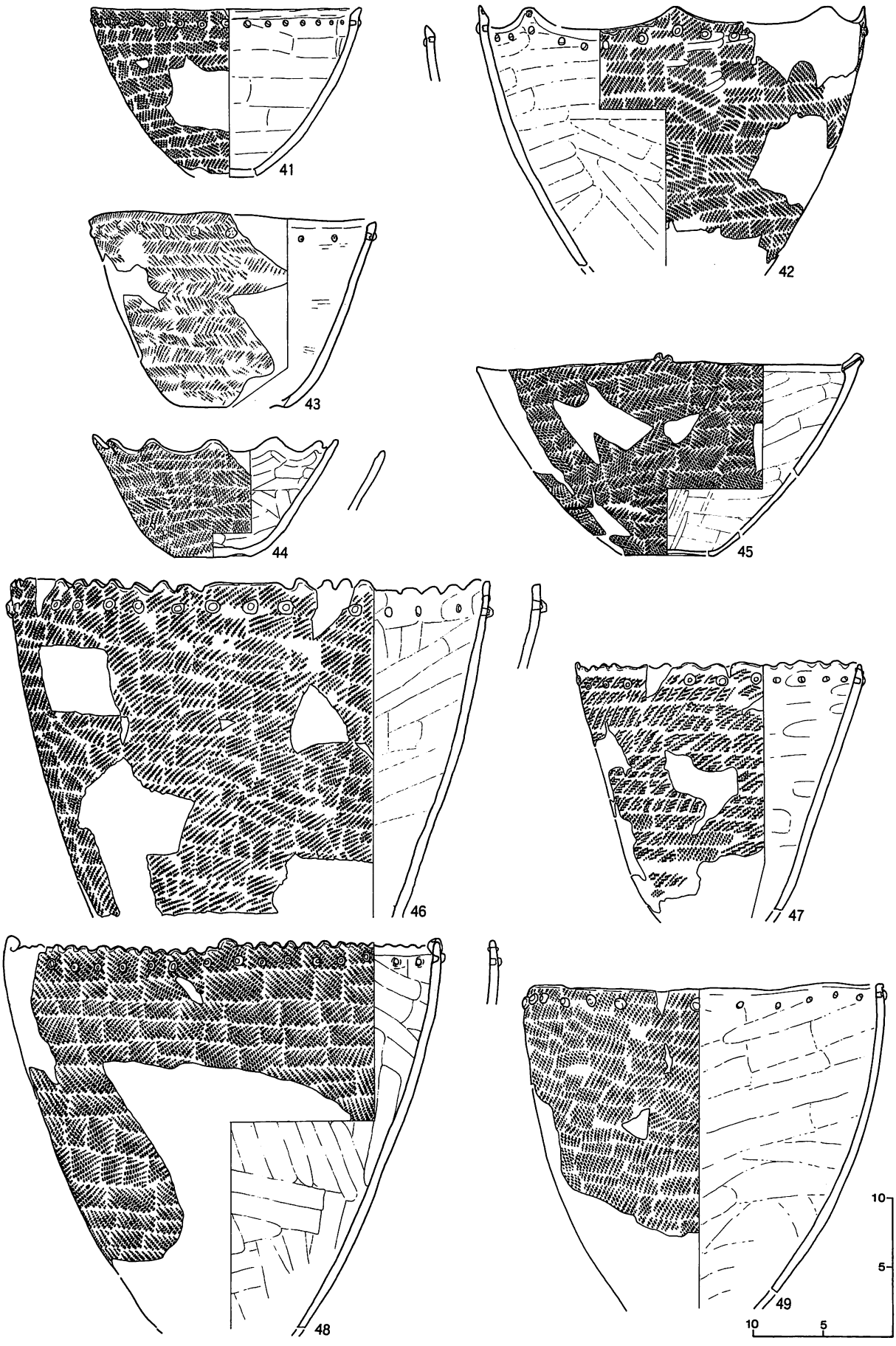
図Ⅳ—51　ⅡB—2層出土の土器　(3)



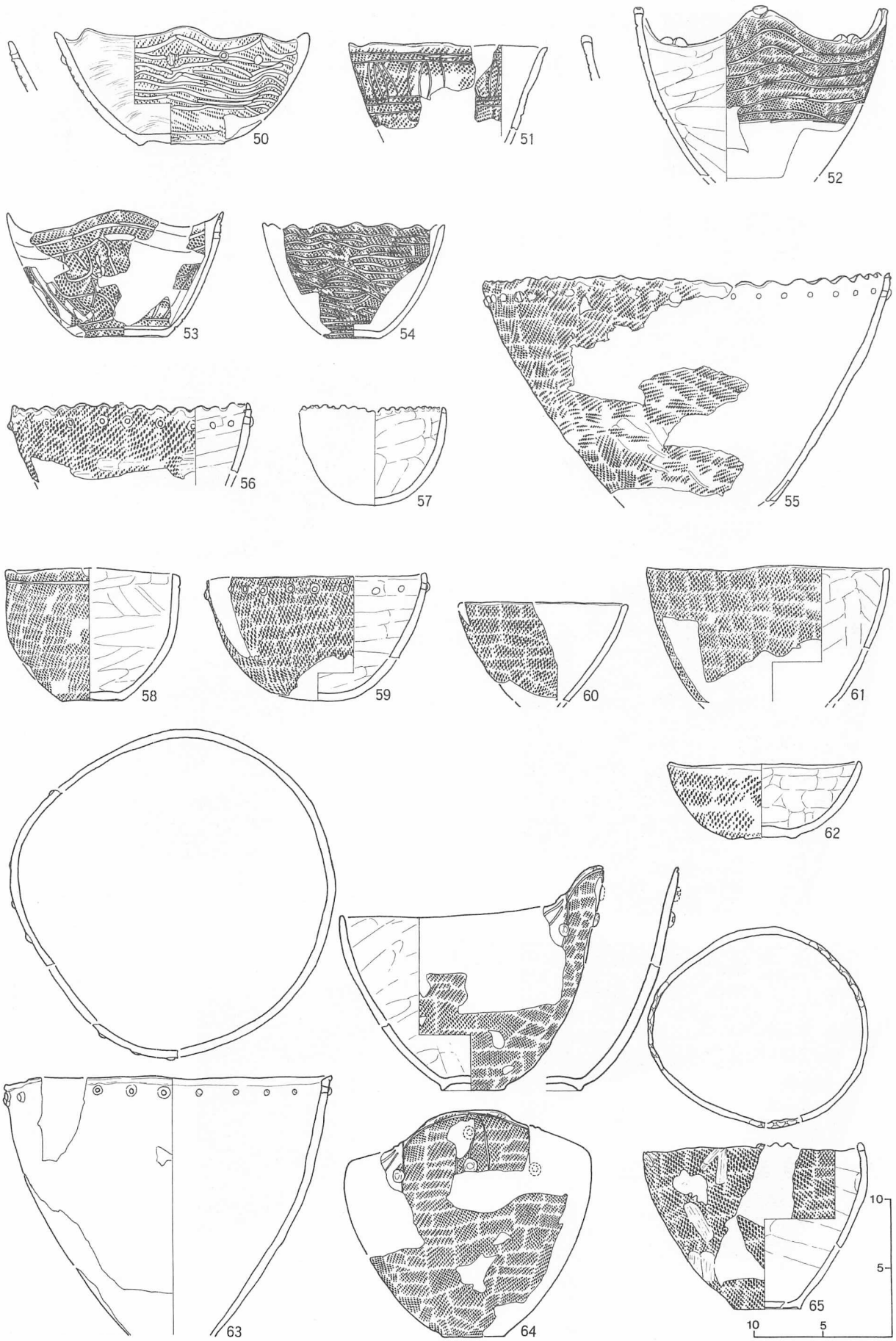
図Ⅳ—52　ⅡB—2層出土の土器　(4)



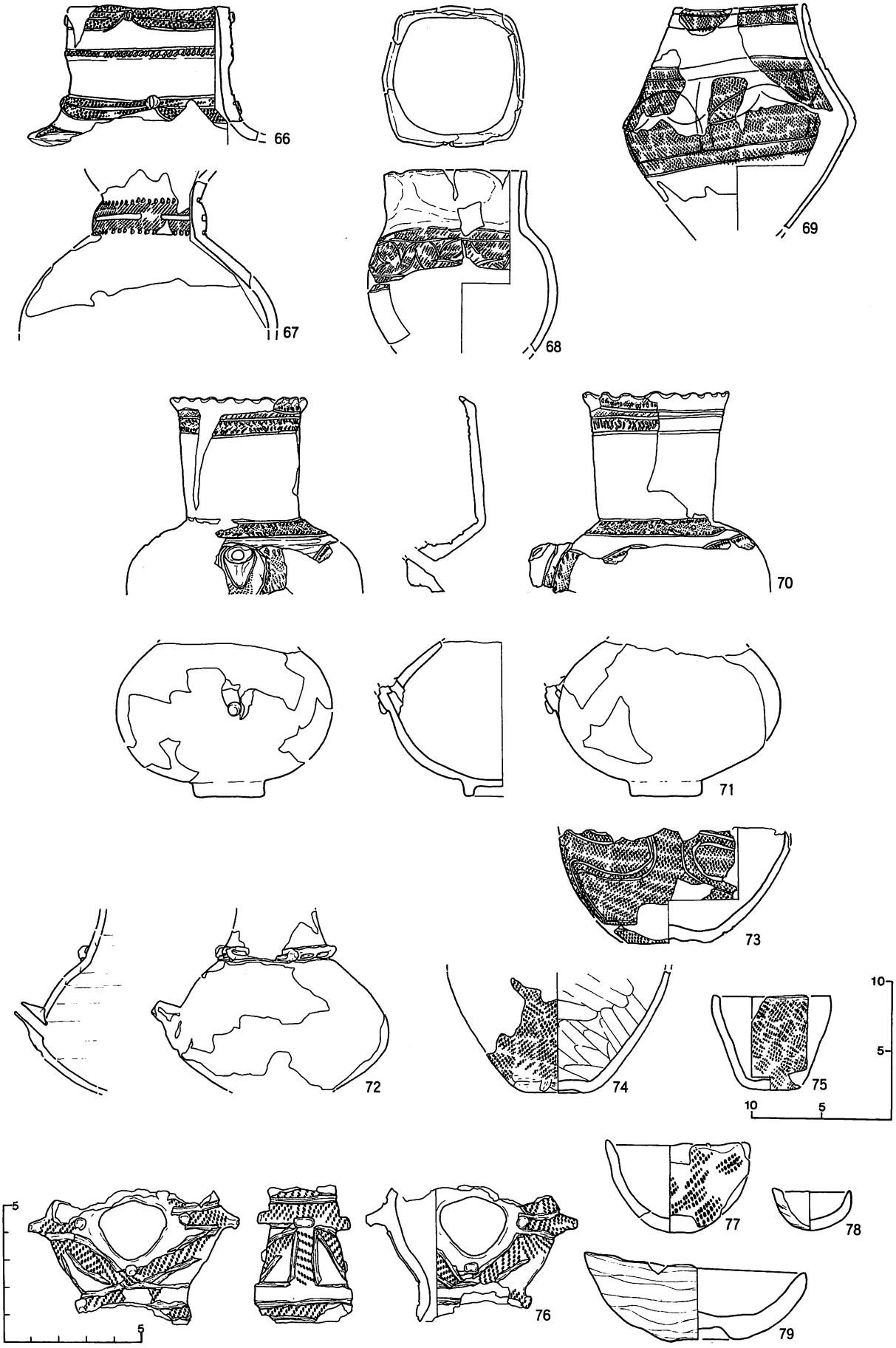
図Ⅳ—53　ⅡB—2層出土の土器　(5)



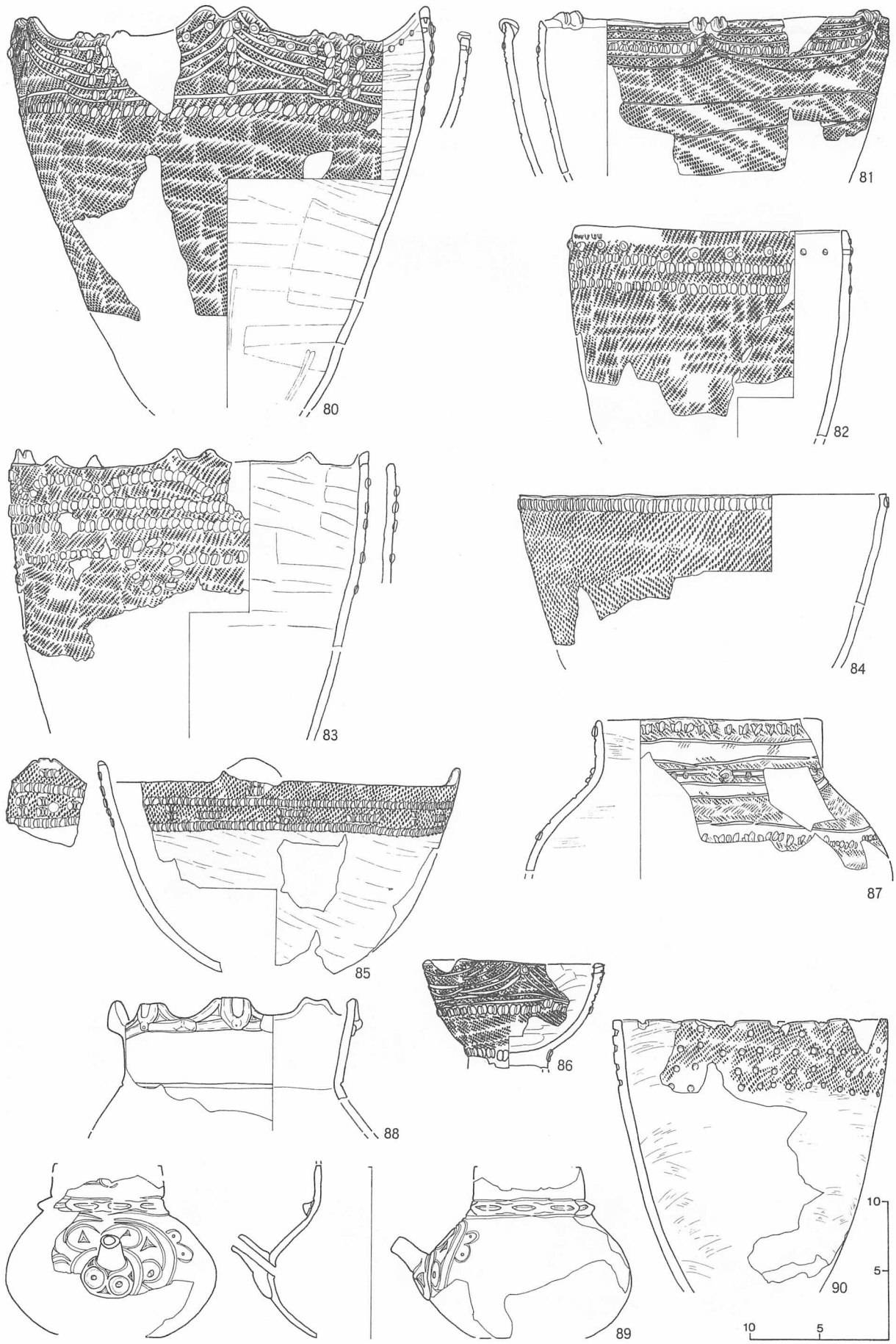
図Ⅳ—54　ⅡB—2層出土の土器　(6)



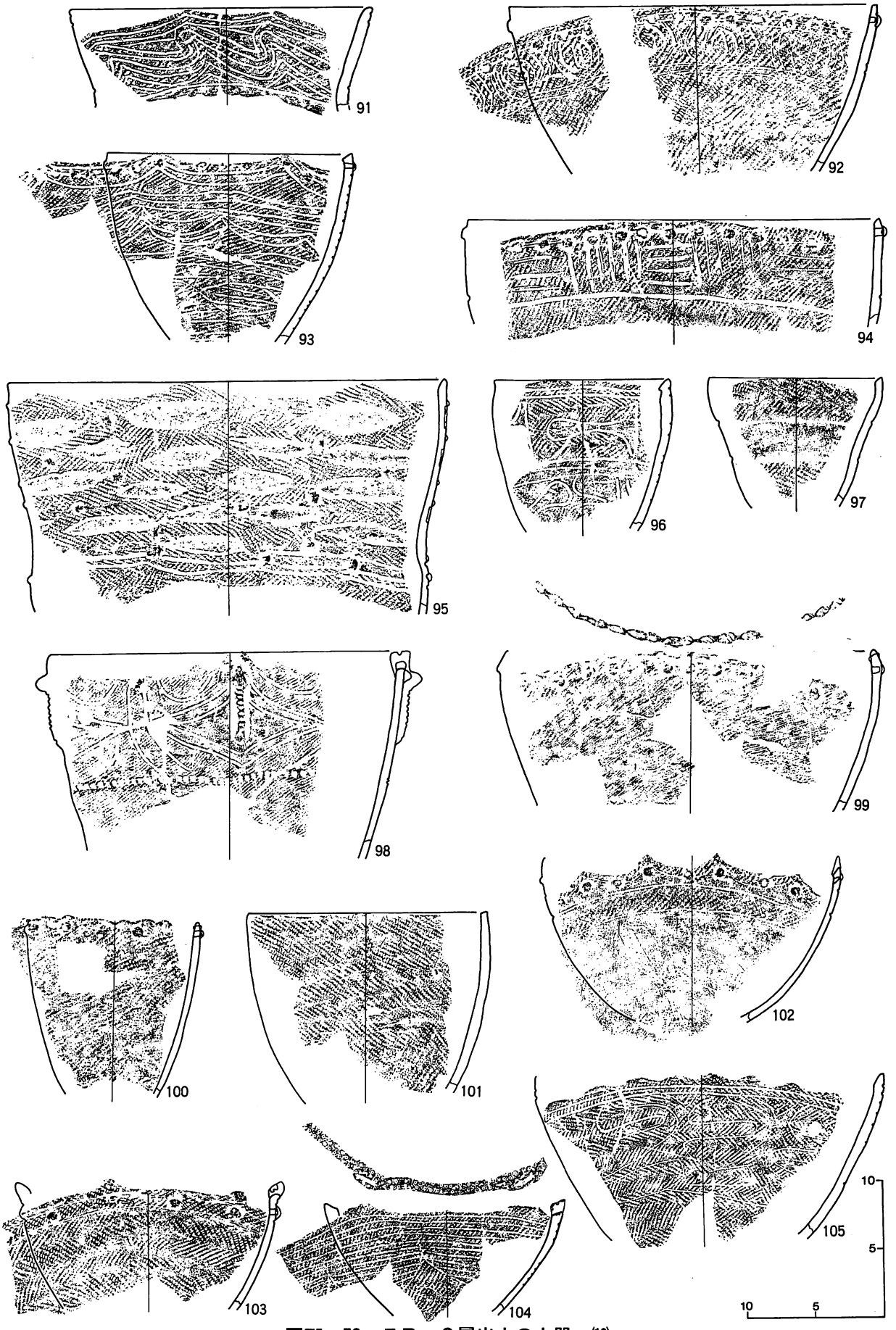
図Ⅳ—55　ⅡB—2層出土の土器　(7)



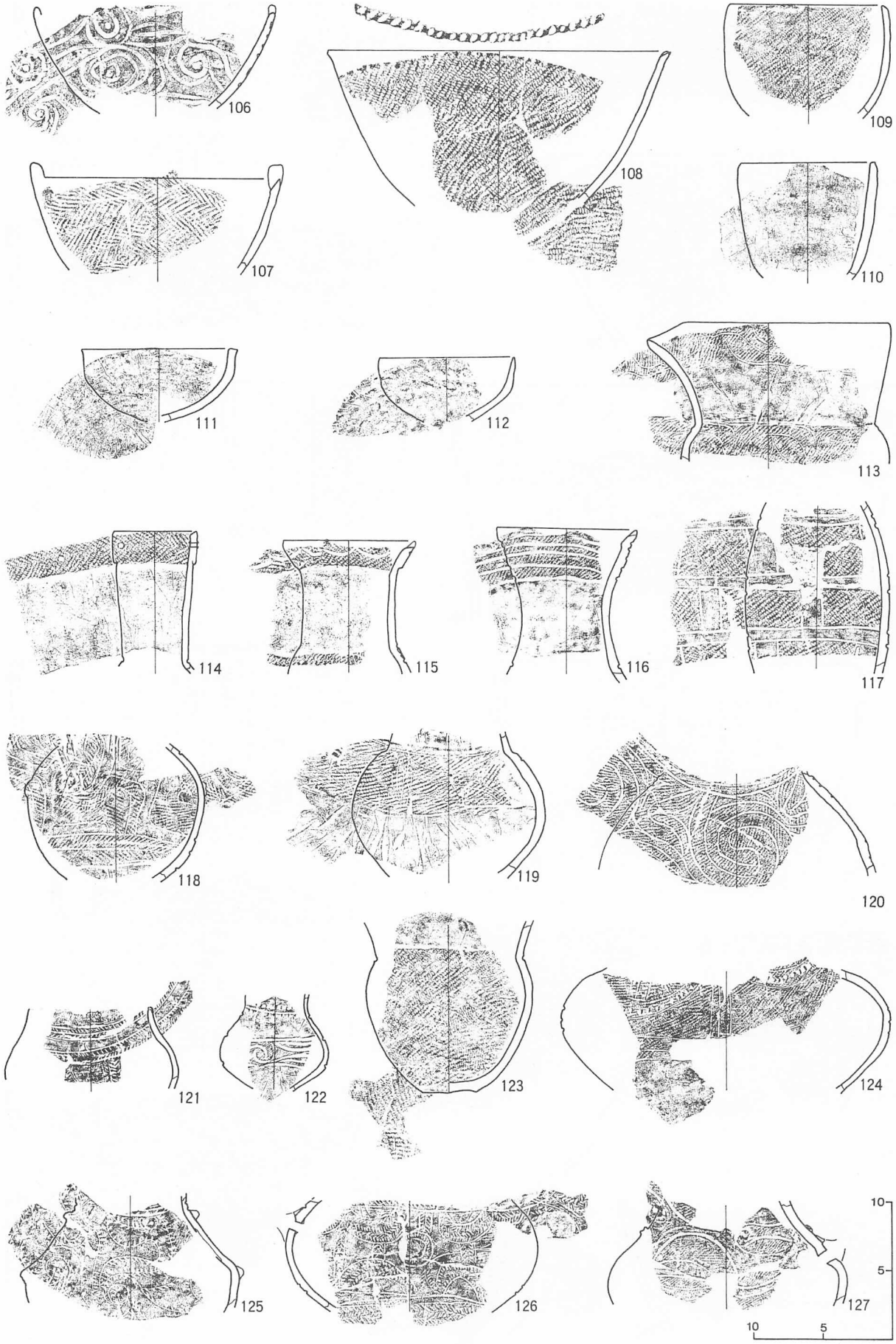
図Ⅳ—56　ⅡB—2層出土の土器　(8)



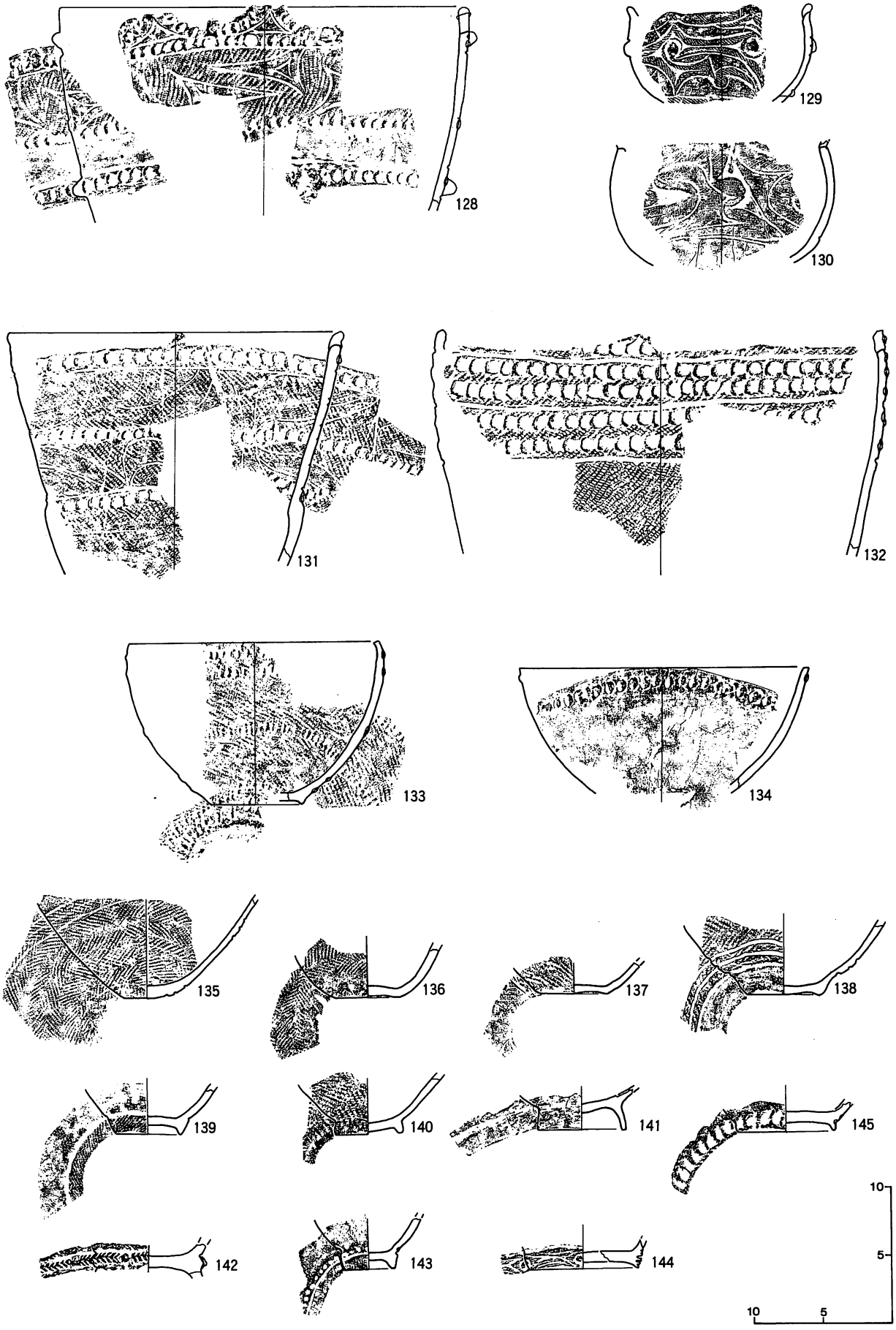
図Ⅳ—57　ⅡB—2層出土の土器　(9)



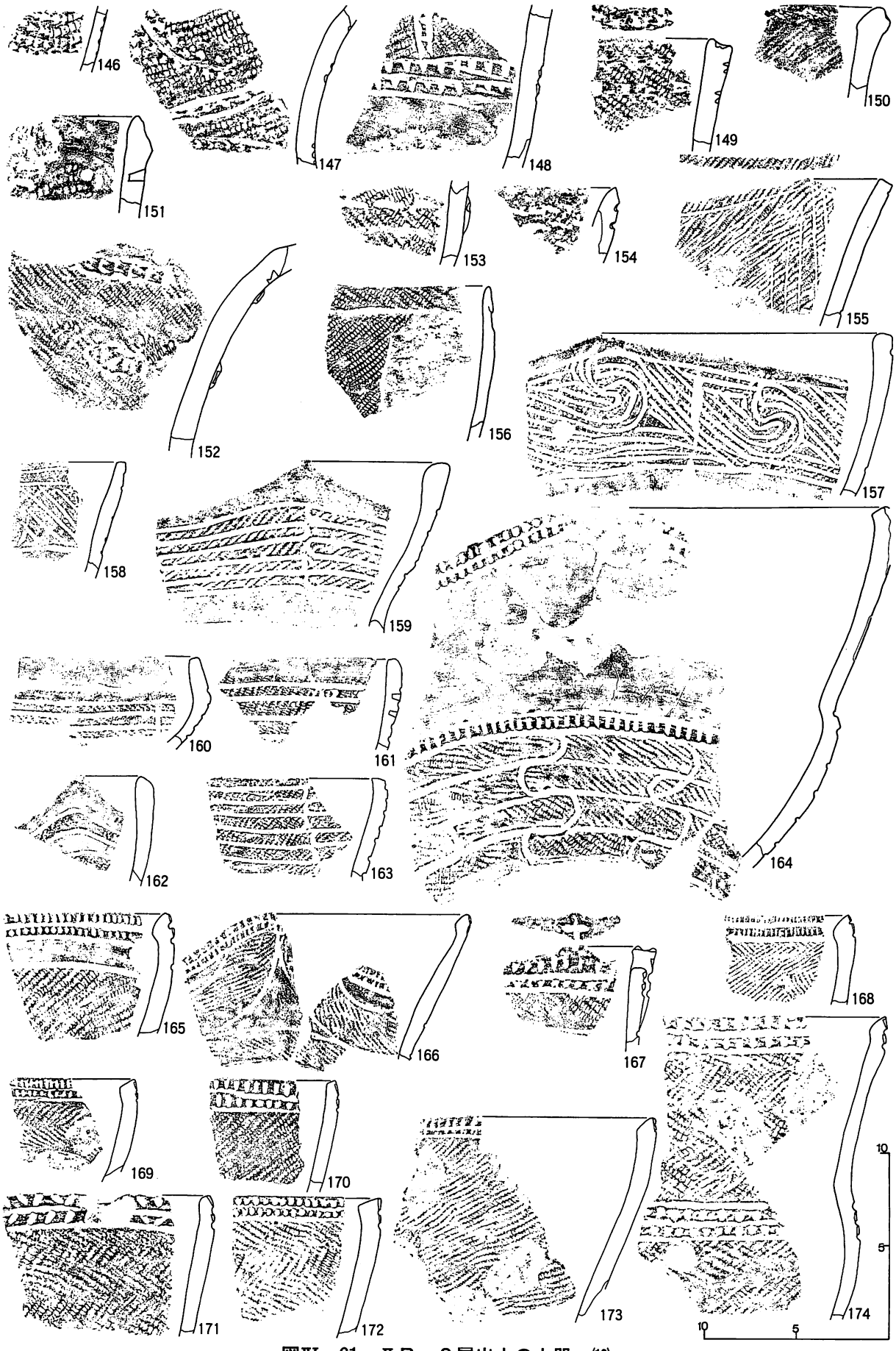
図Ⅳ—58　ⅡB—2層出土の土器　(10)



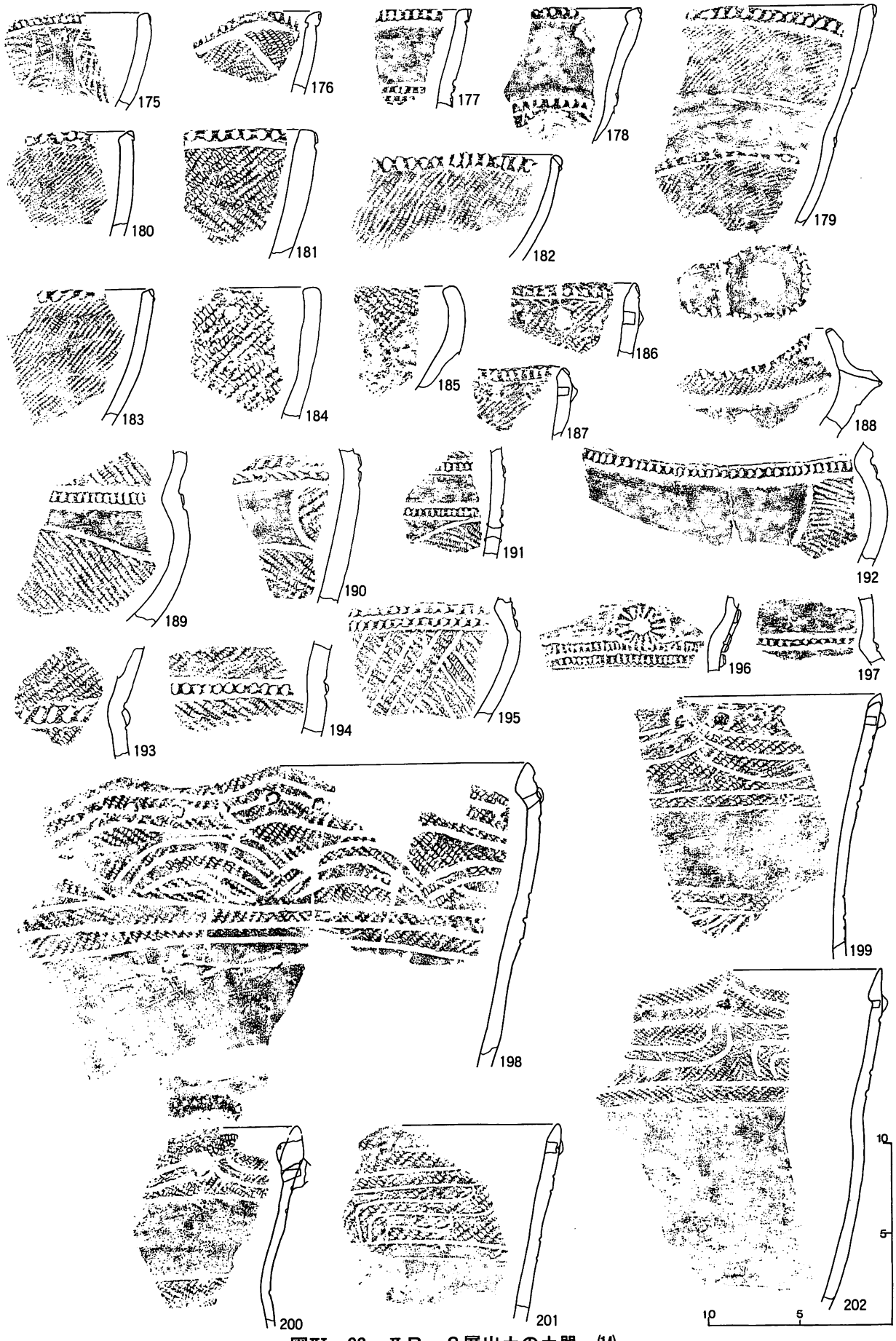
図Ⅳ－59　ⅡＢ－２層出土の土器　(11)



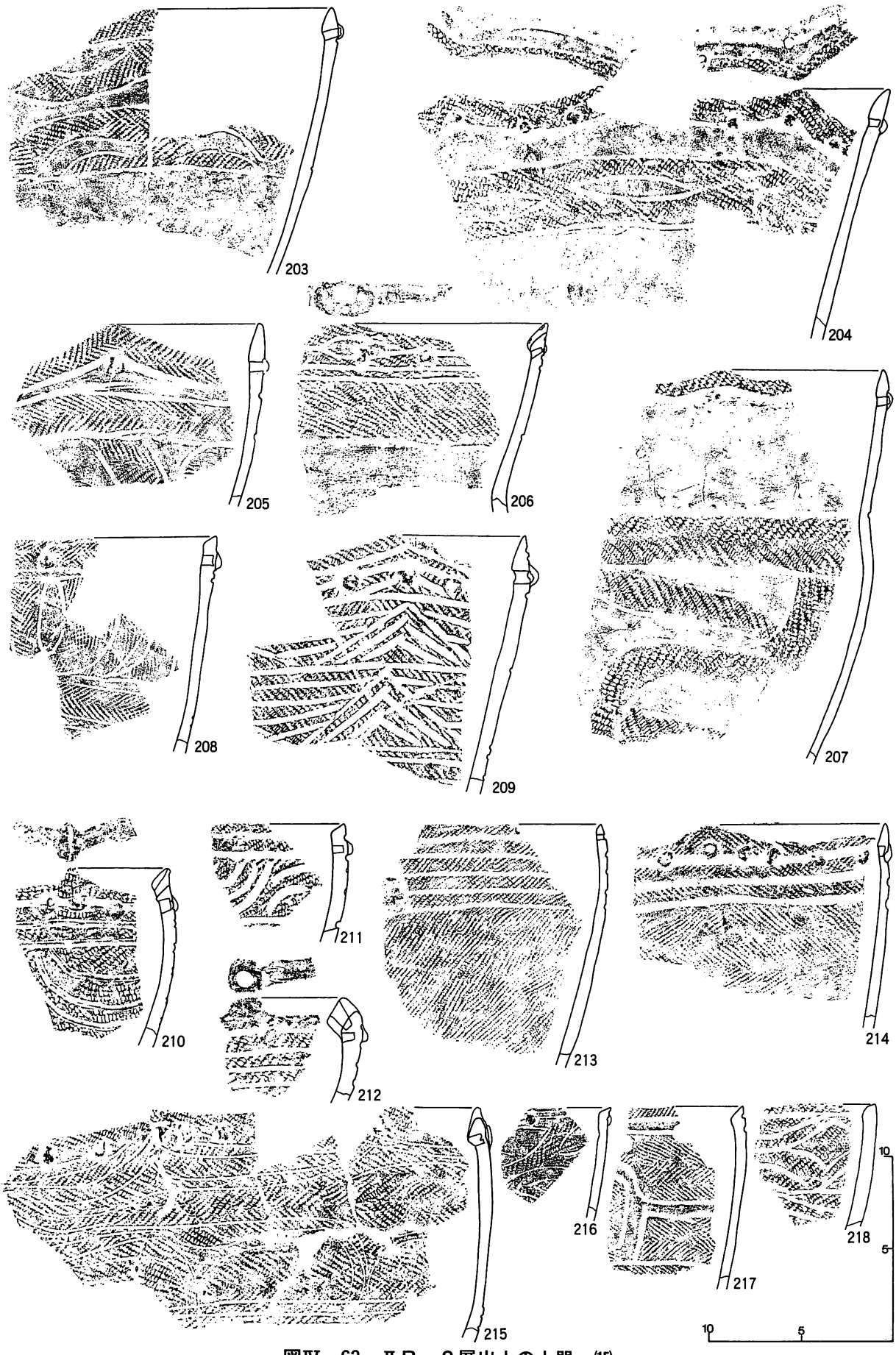
図Ⅳ—60　ⅡB—2層出土の土器　(12)



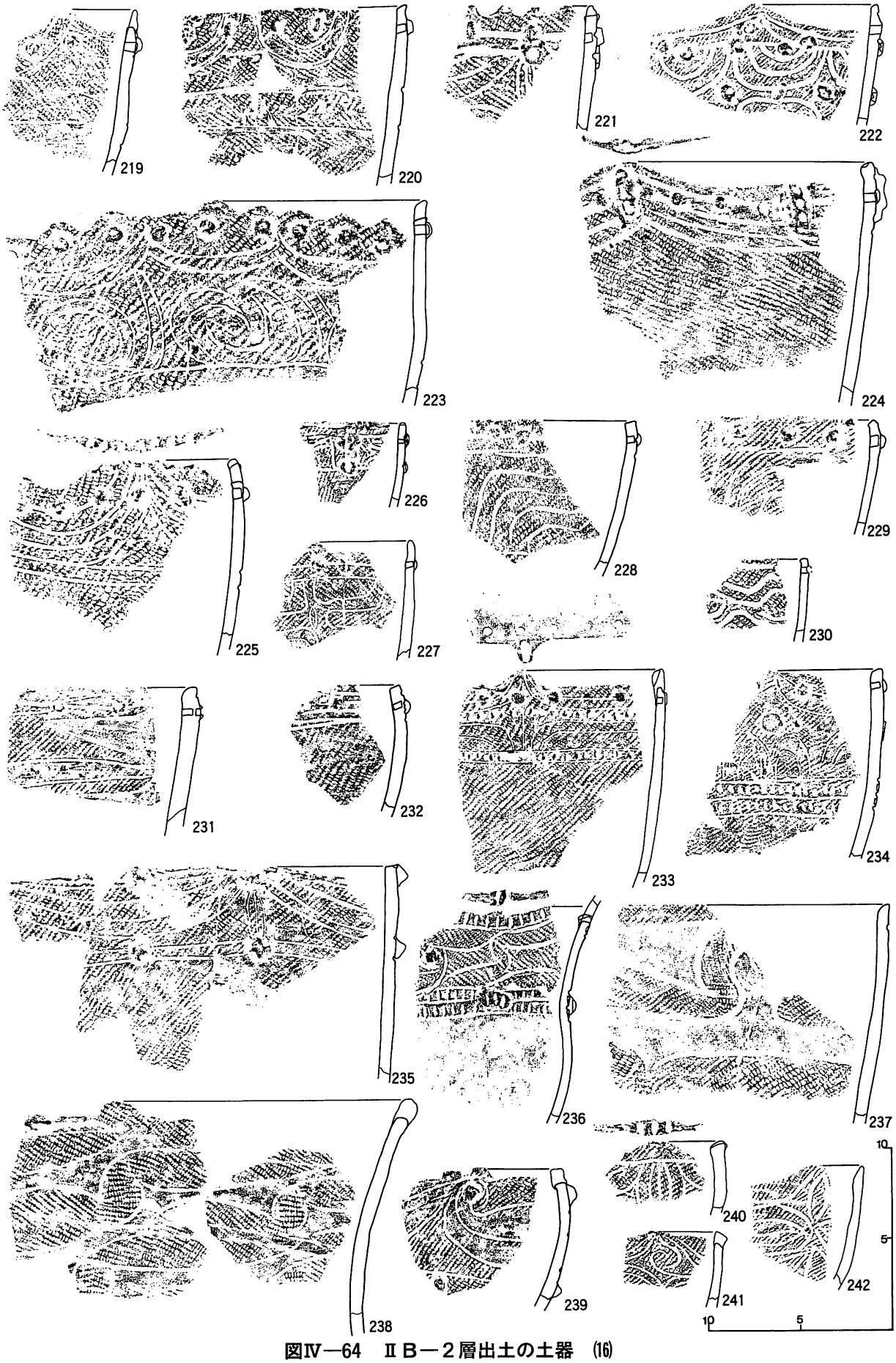
図Ⅳ—61　ⅡB—2層出土の土器　(13)



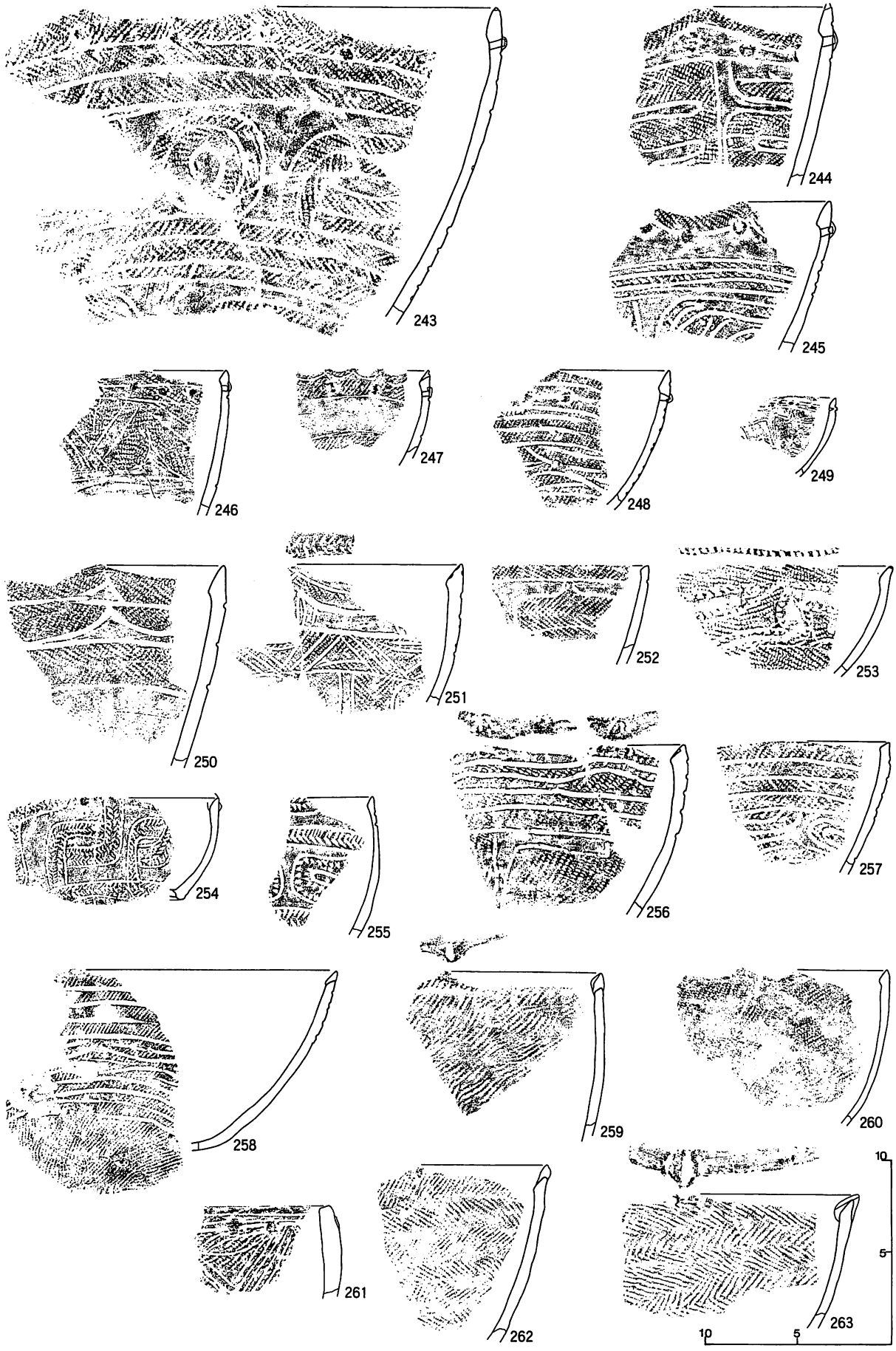
図Ⅳ—62　ⅡB—2層出土の土器　(14)



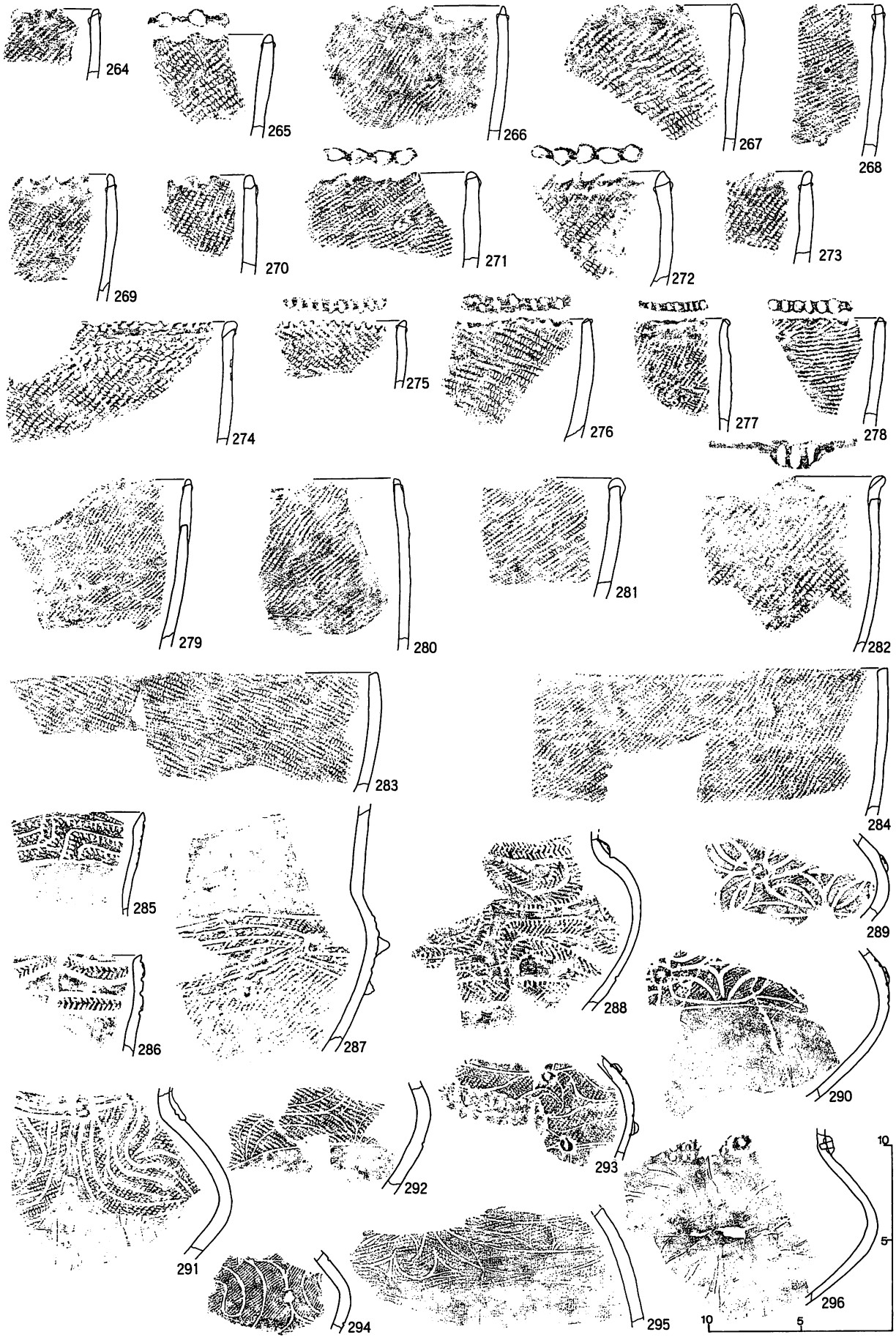
図Ⅳ—63　ⅡB—2層出土の土器　(15)



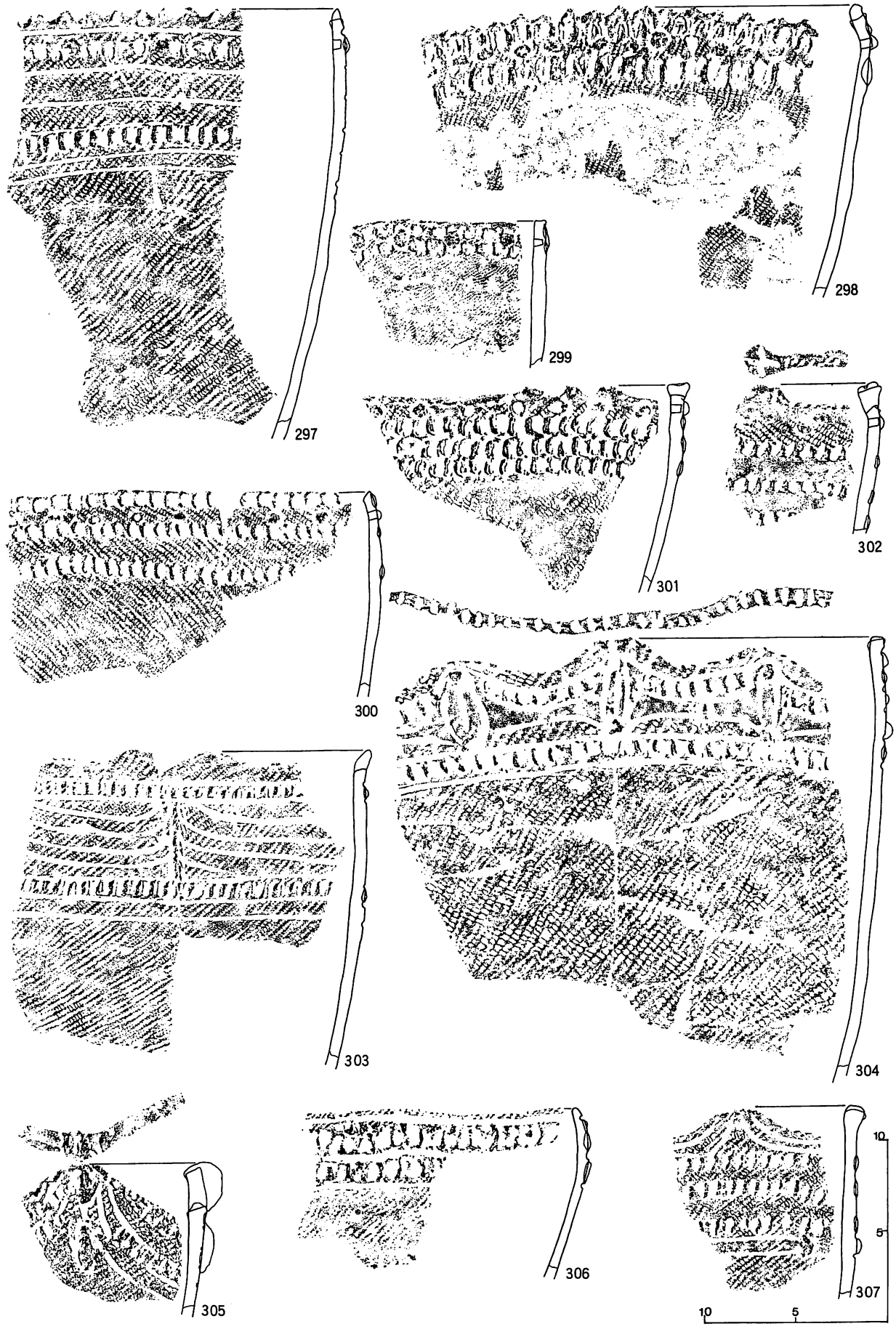
図Ⅳ—64　ⅡB—2層出土の土器　(16)



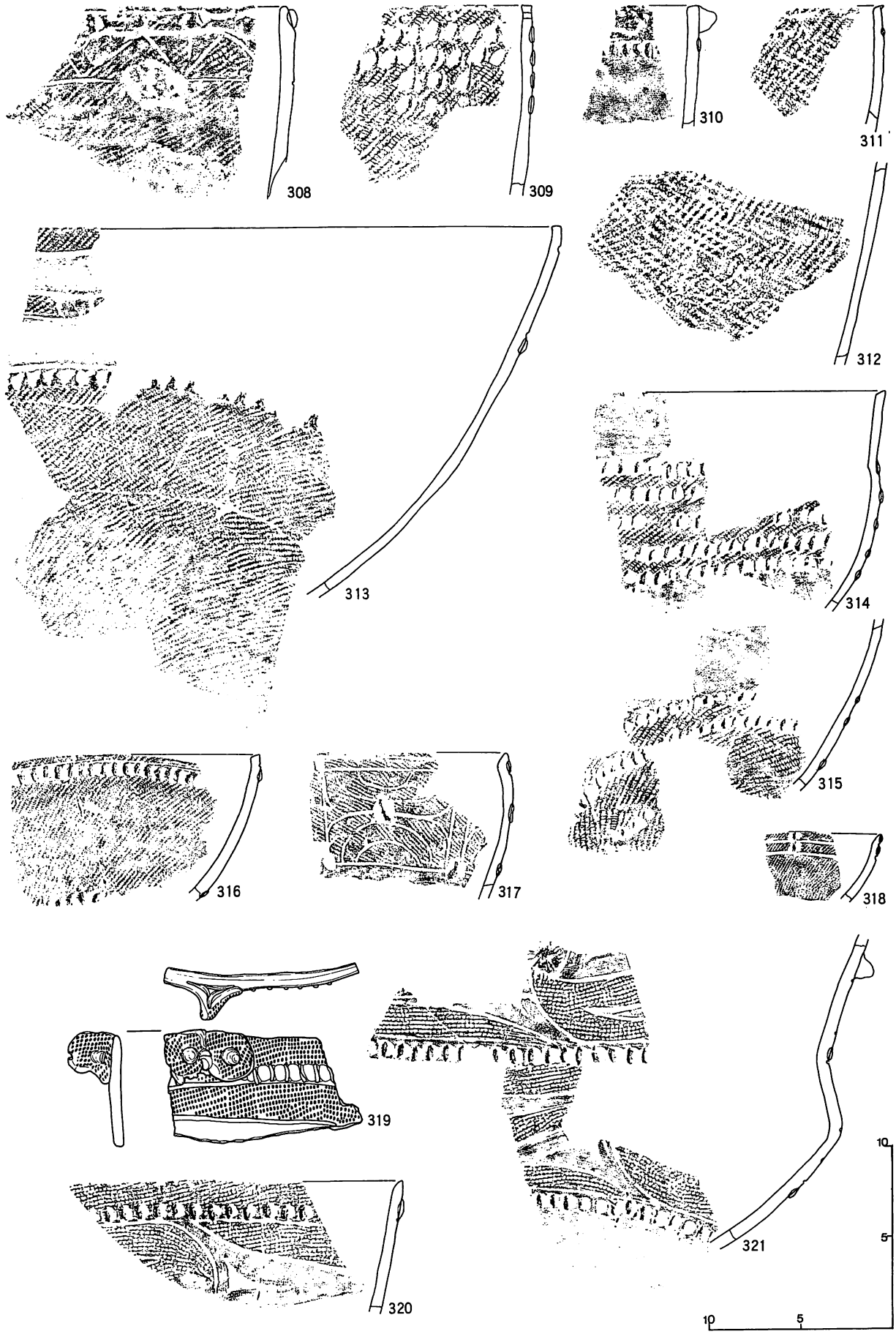
図Ⅳ—65　ⅡB—2層出土の土器　(17)



図Ⅳ—66　ⅡB—2層出土の土器　(18)

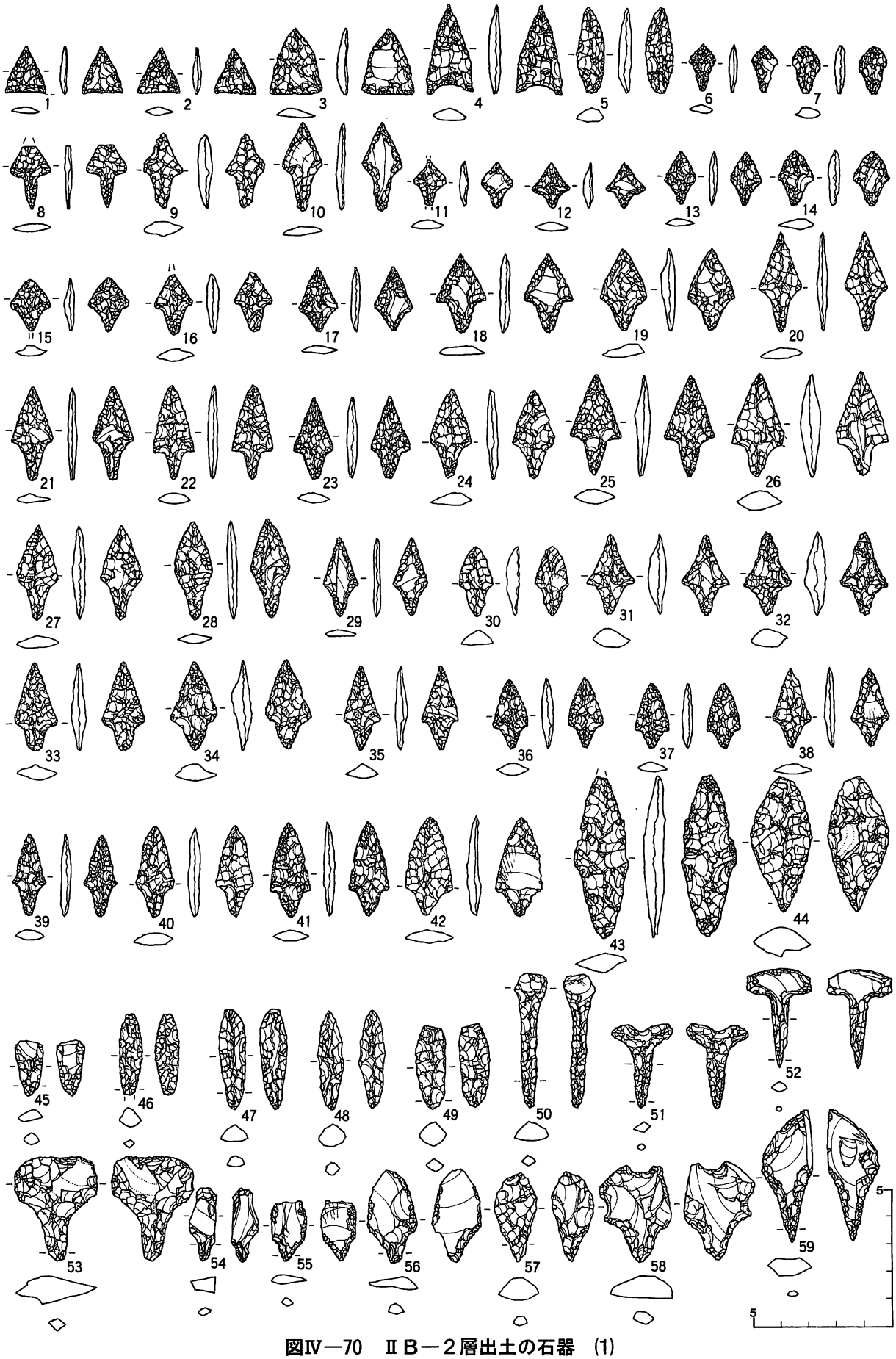


図Ⅳ—67　ⅡB—2層出土の土器　(19)

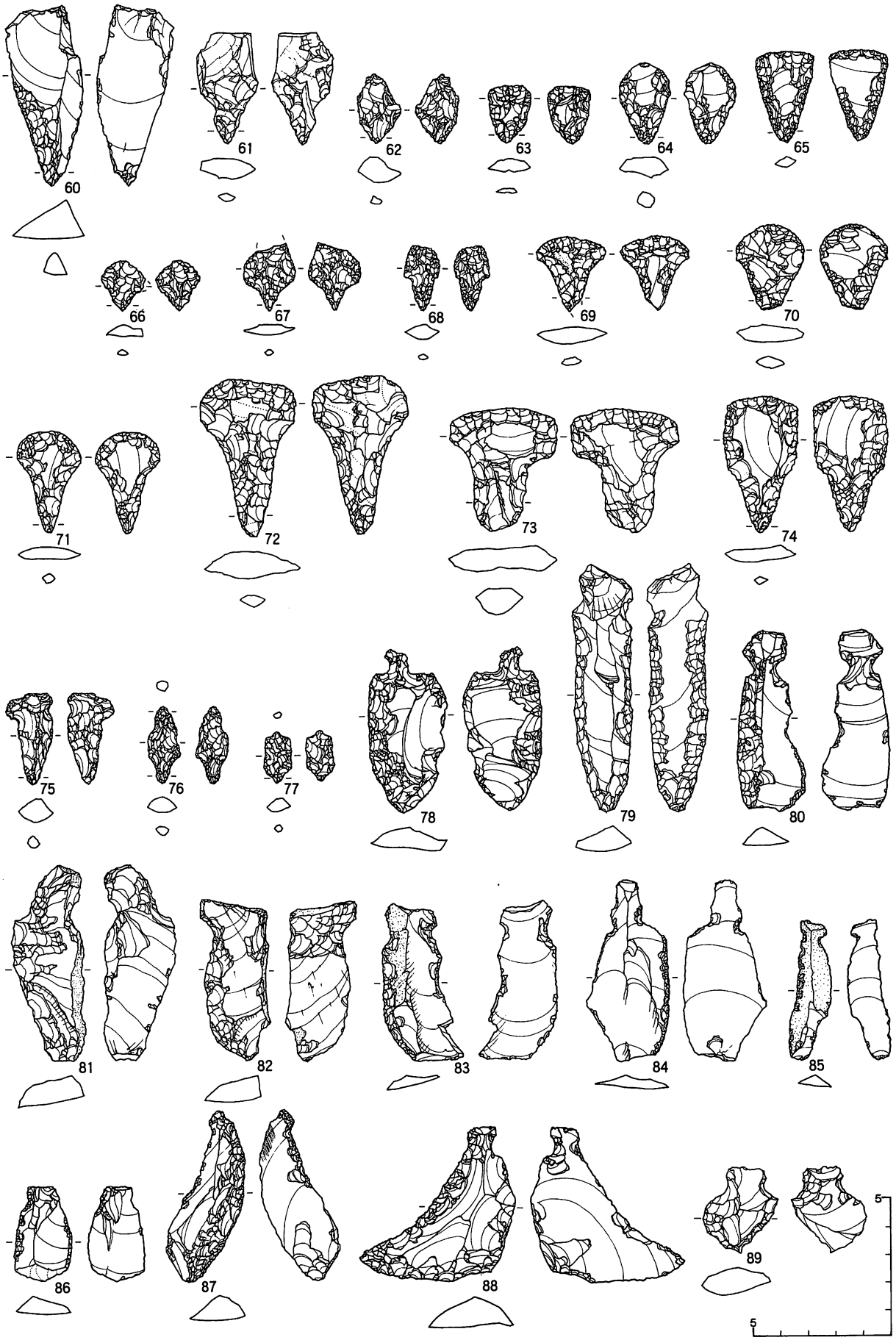


図Ⅳ—68　ⅡB—2層出土の土器　(20)

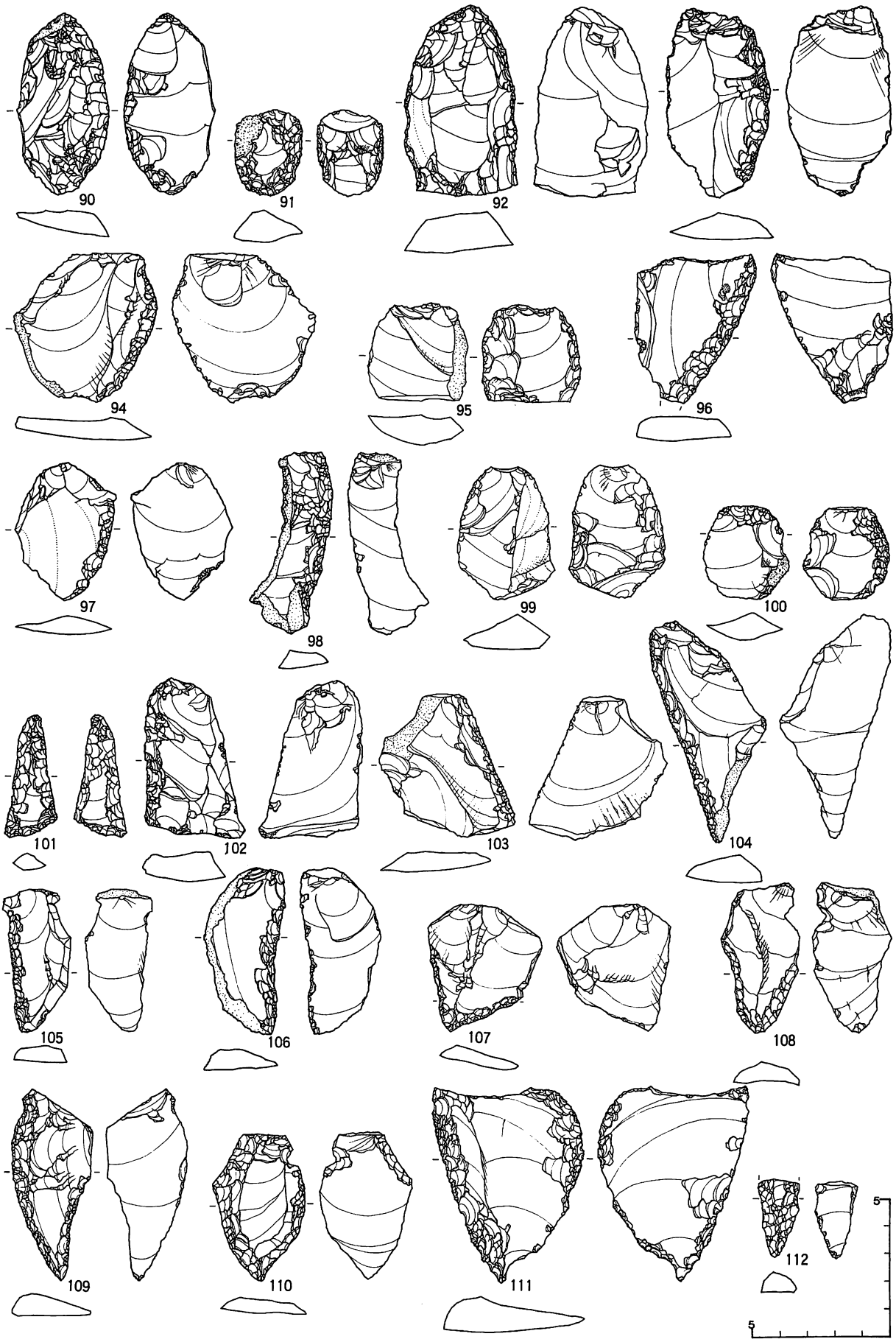
図Ⅳ—69　ⅡB—2層出土の土器　(21)



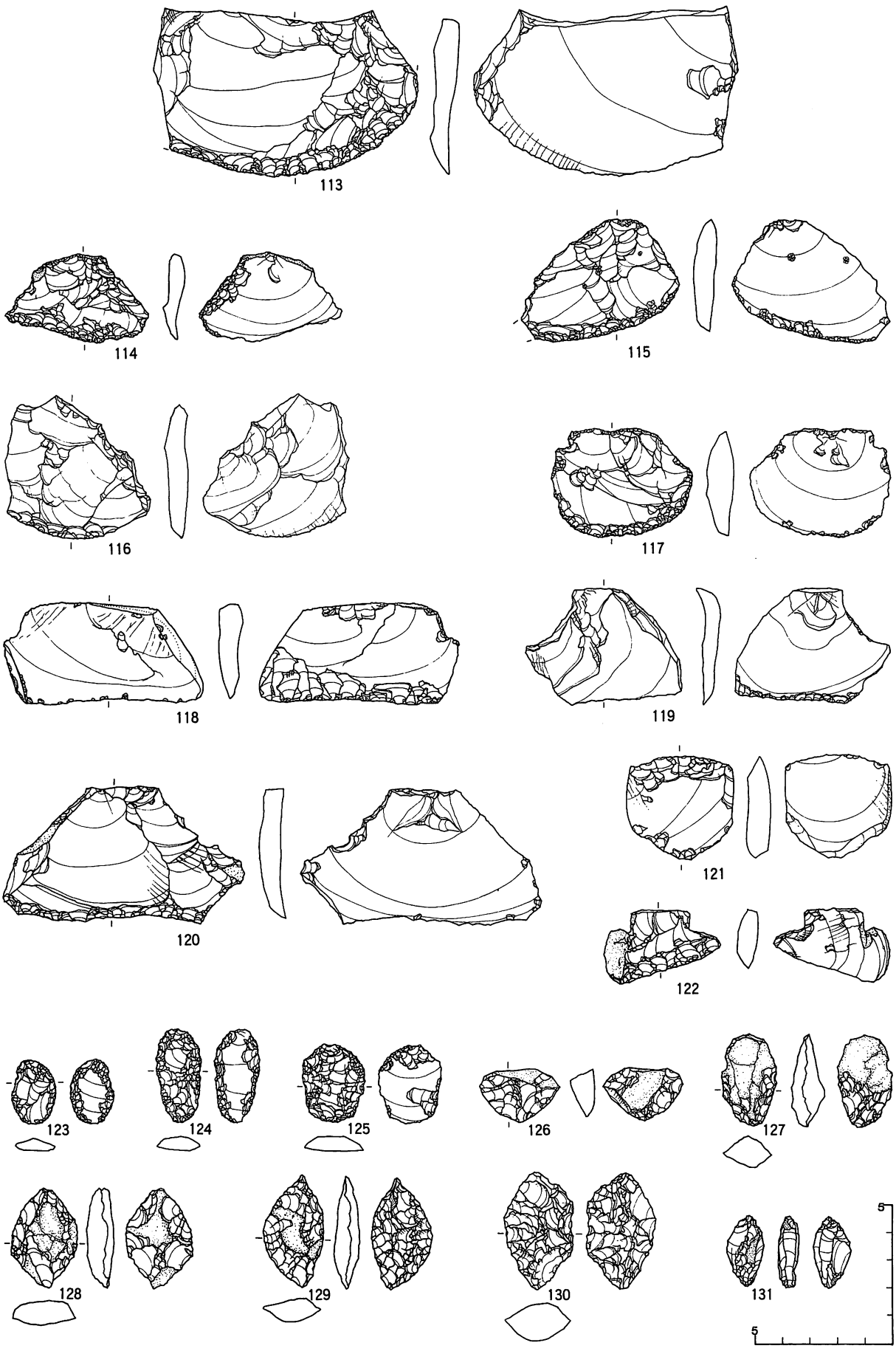
図Ⅳ—70　ⅡB—2層出土の石器　(1)



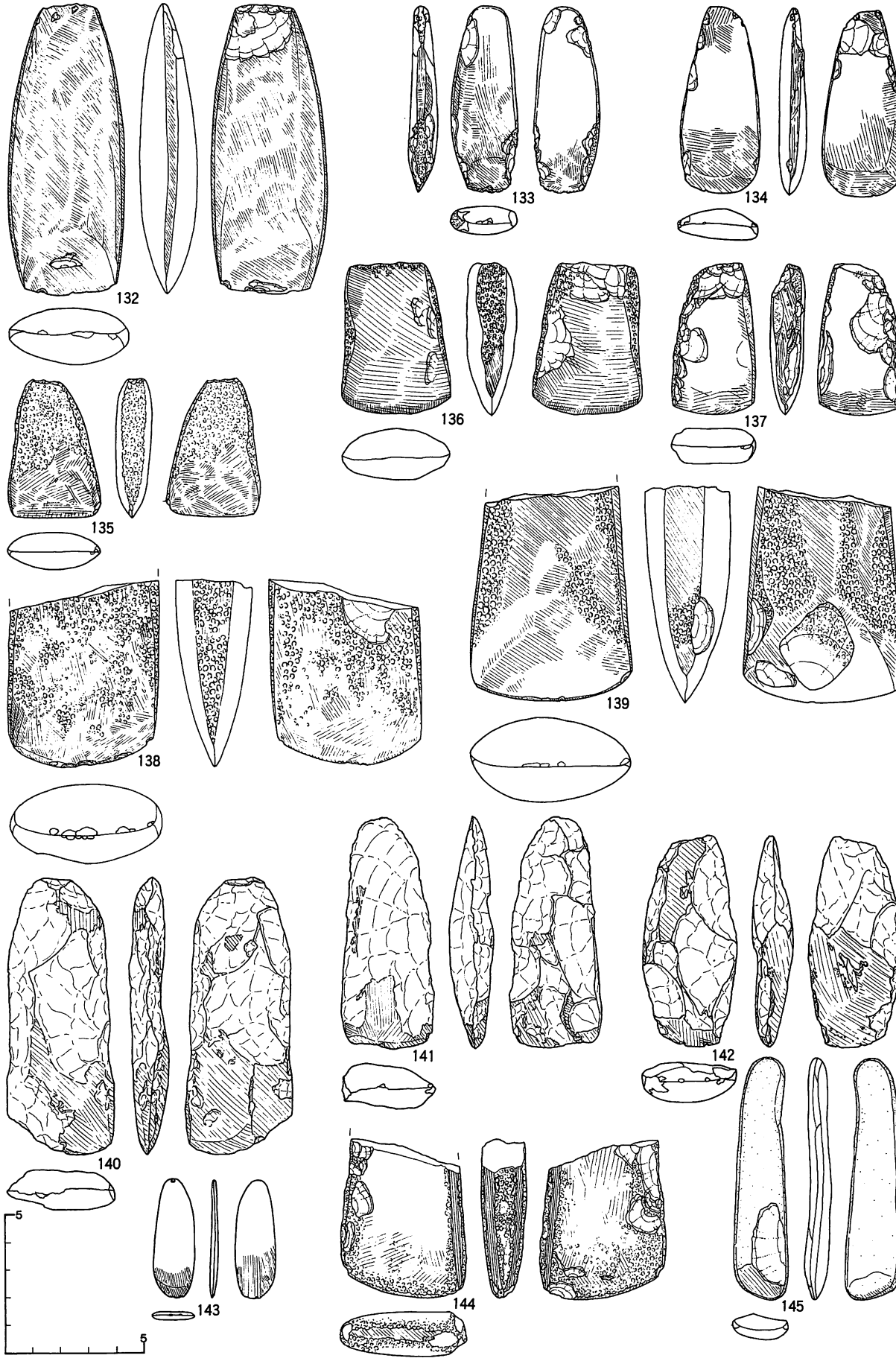
図Ⅳ—71　ⅡB—2層出土の石器　(2)



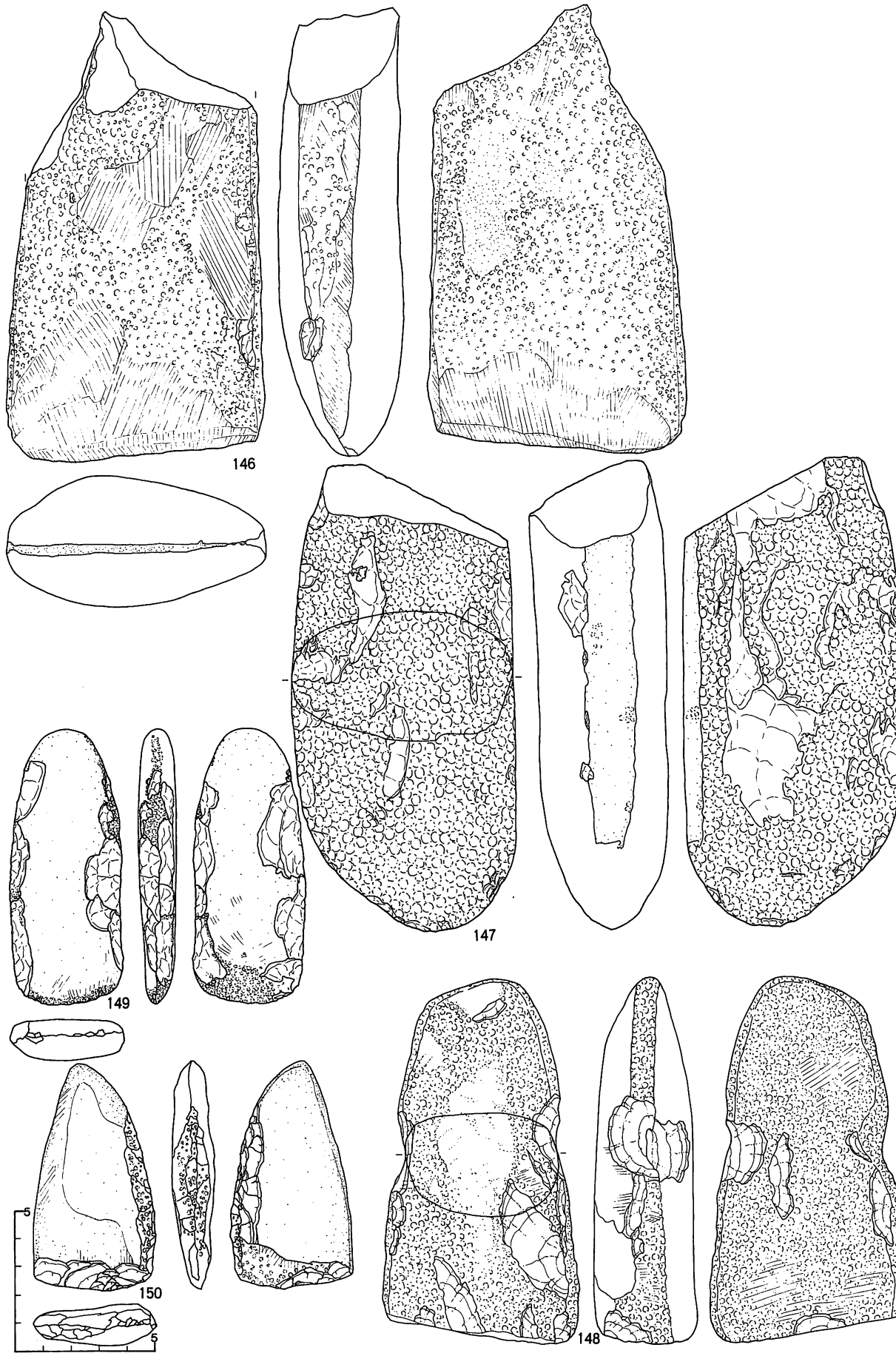
図Ⅳ—72　ⅡB—2層出土の石器　(3)



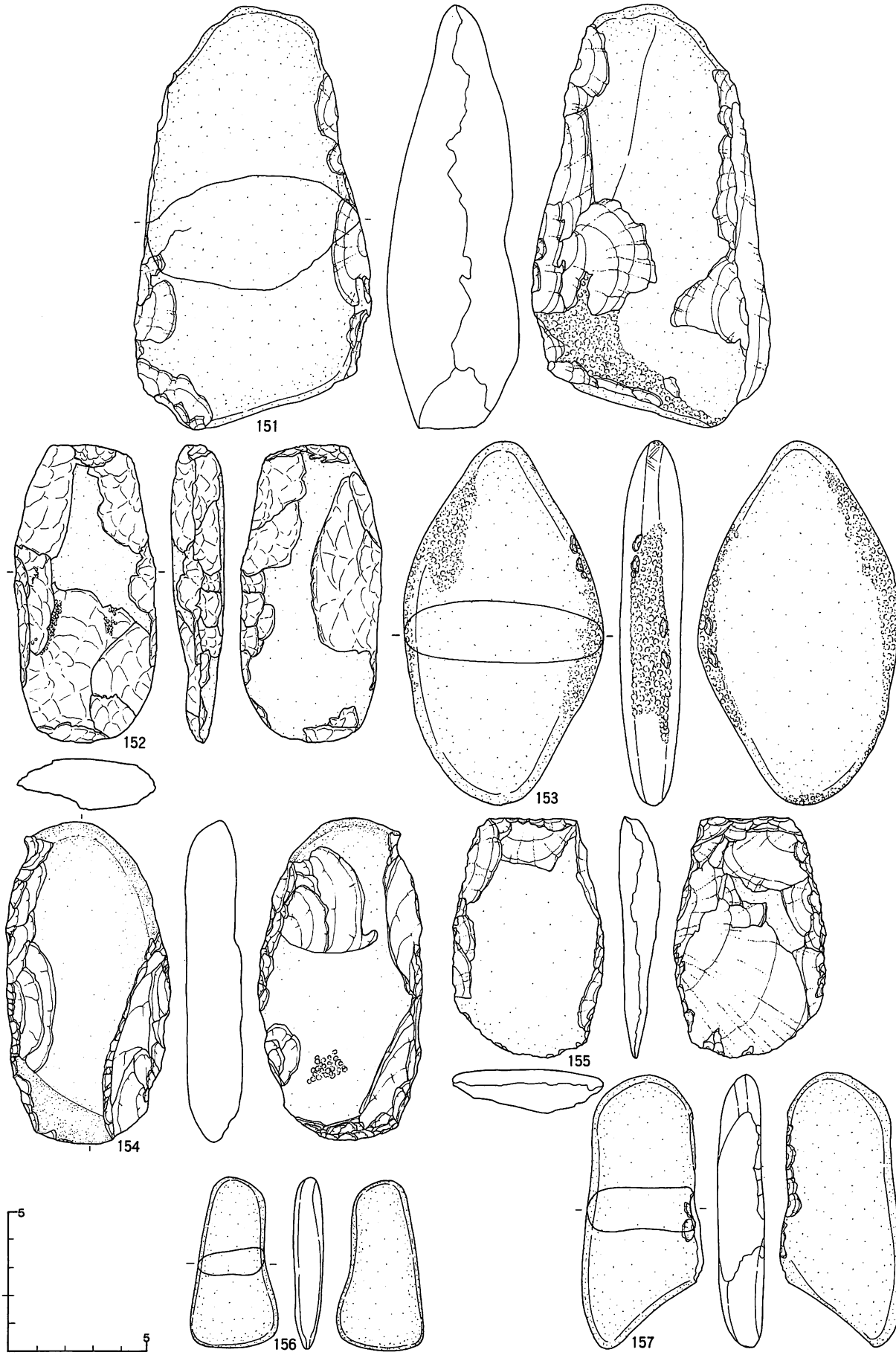
図Ⅳ—73　ⅡB—2層出土の石器　(4)



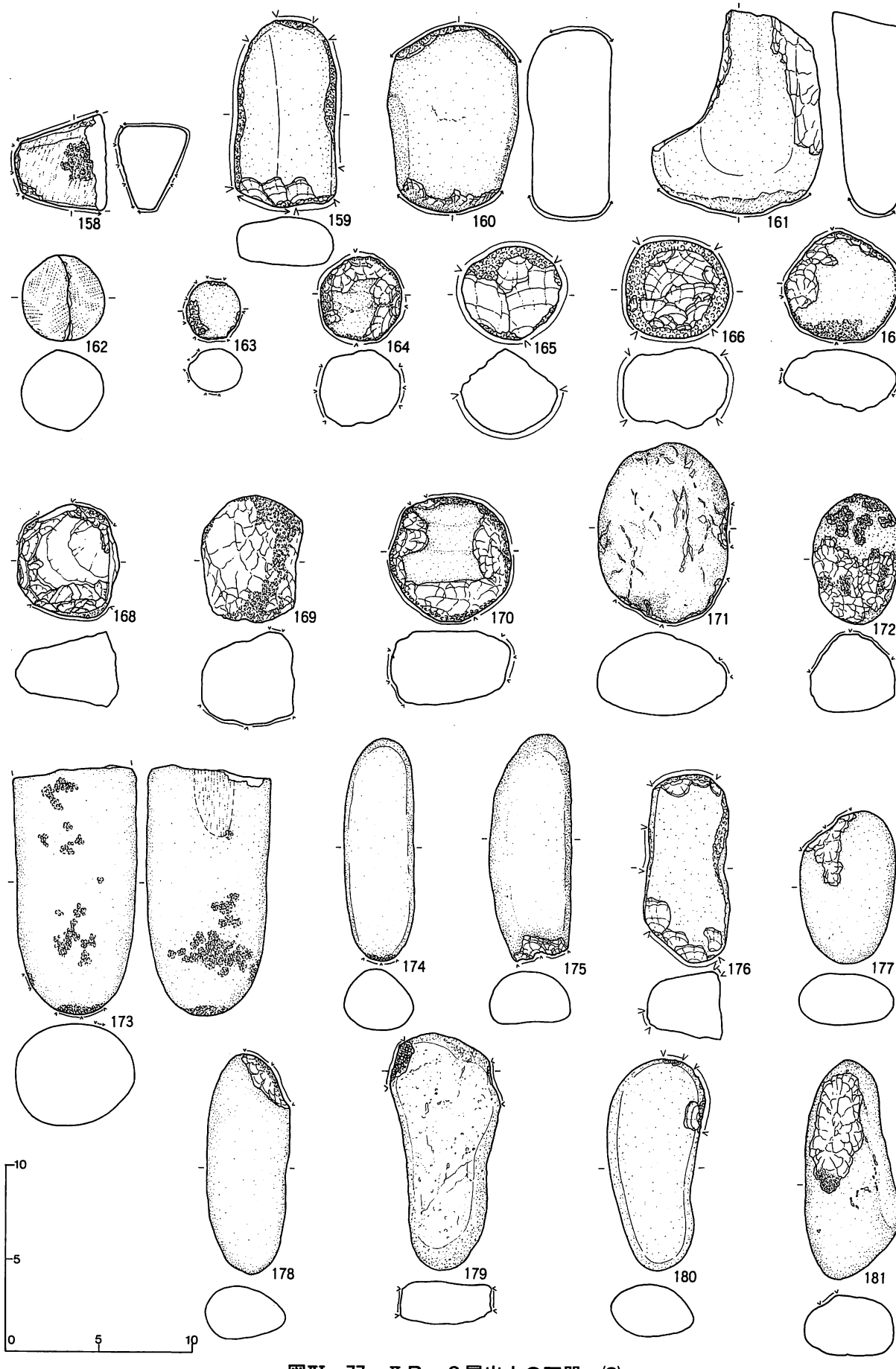
図Ⅳ—74　ⅡB—2層出土の石器　(5)



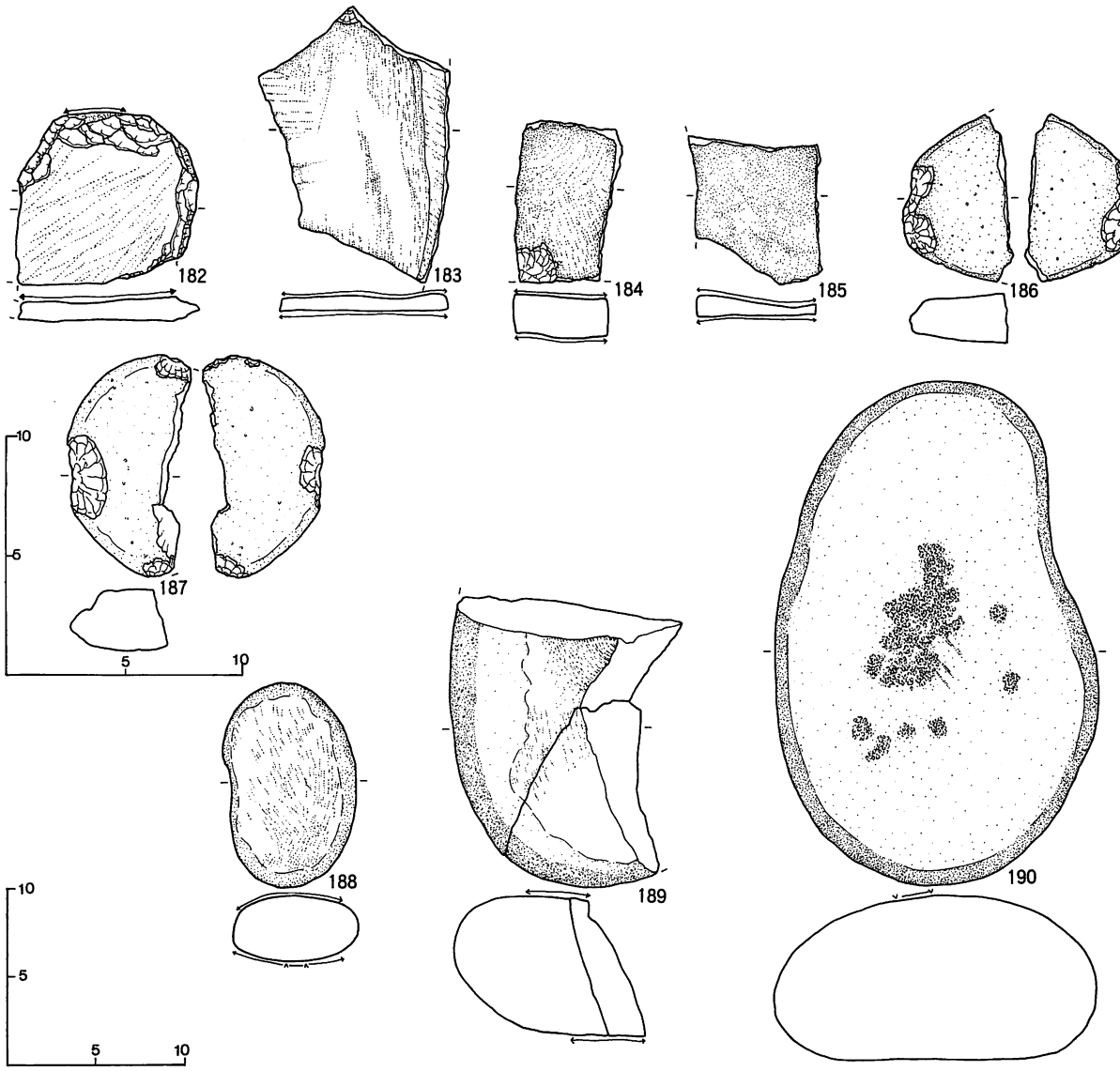
図Ⅳ—75　ⅡB—2層出土の石器　(6)



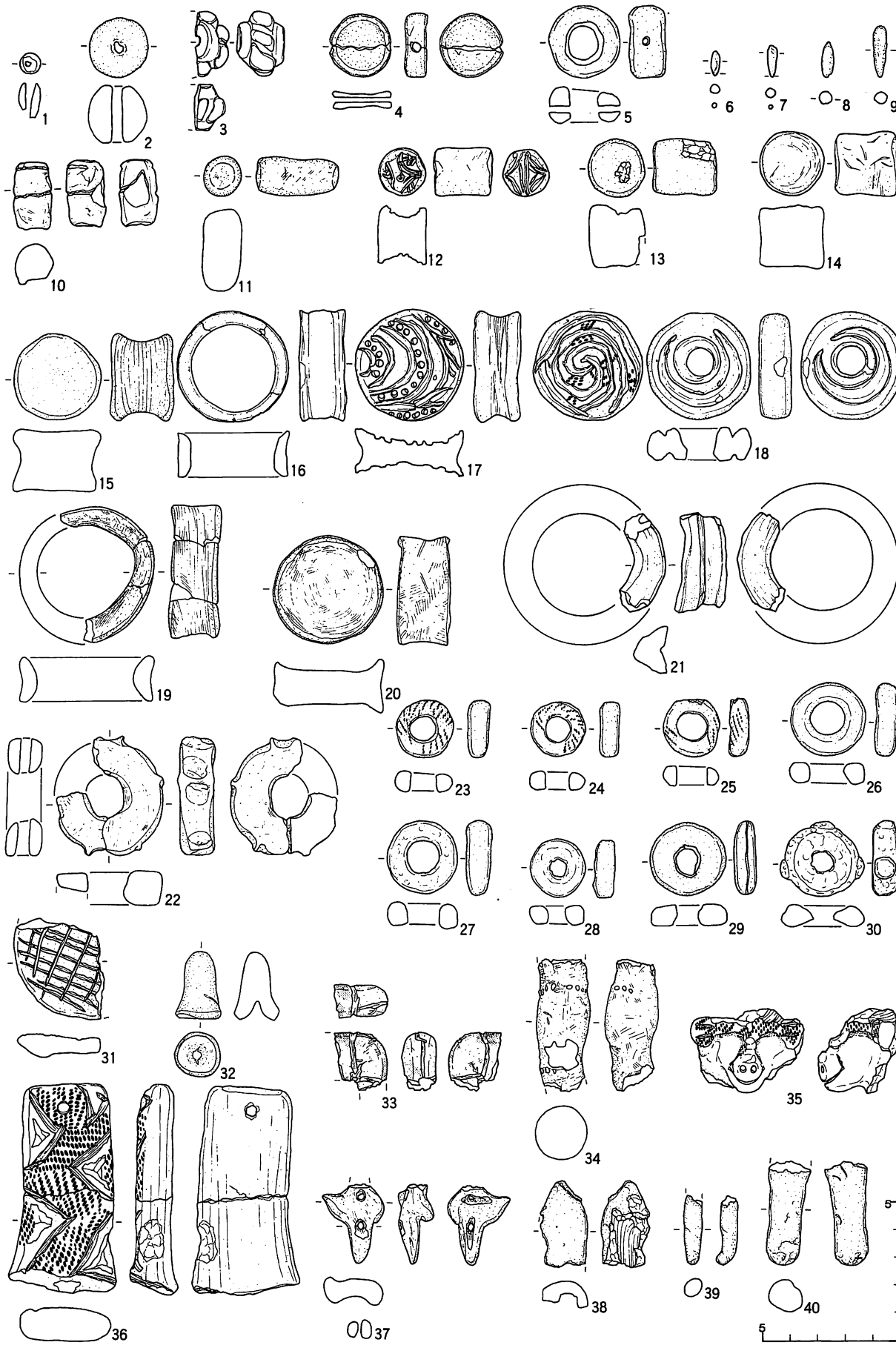
図Ⅳ—76　ⅡB—2層出土の石器　(7)



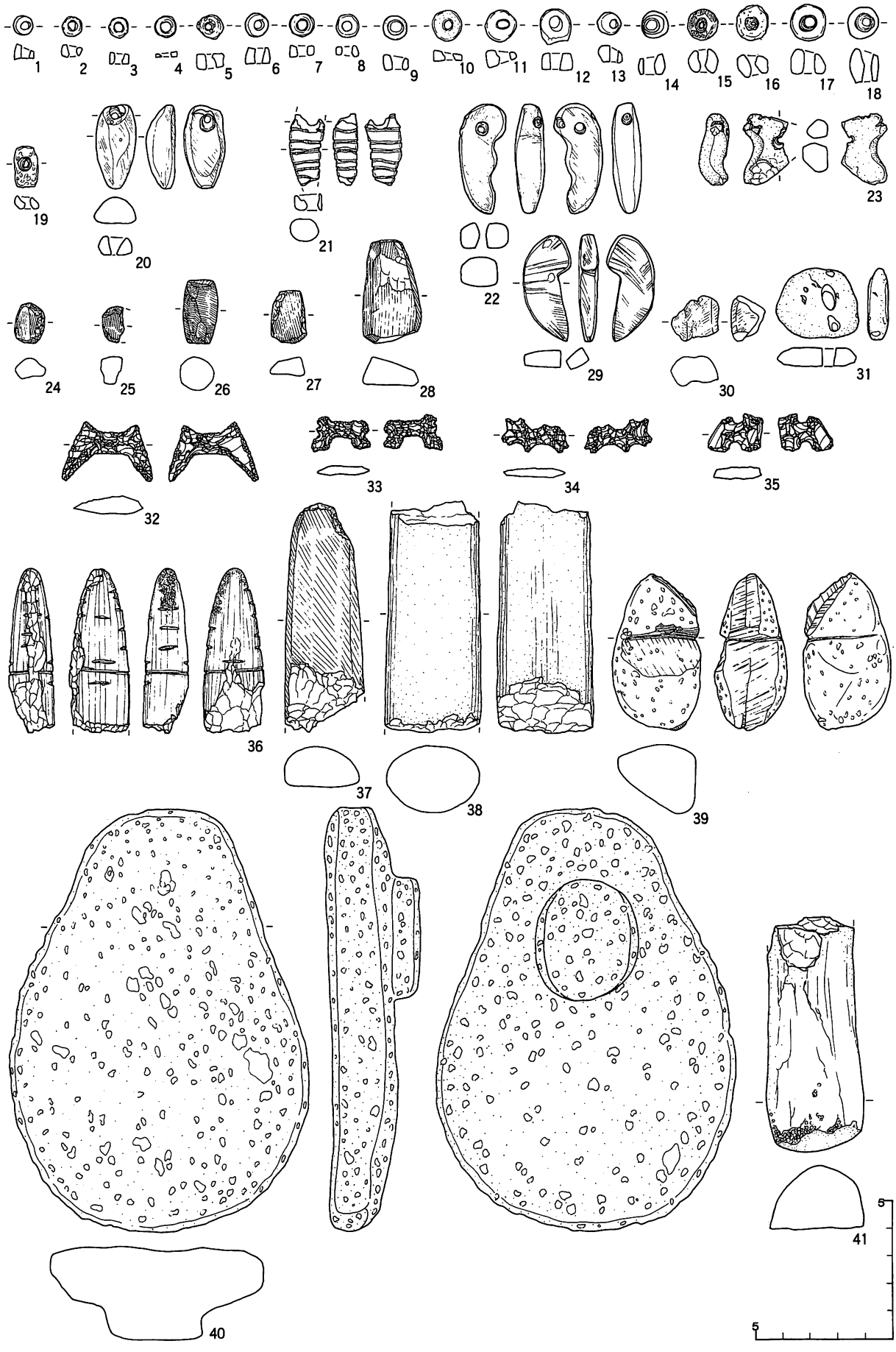
図Ⅳ—77　ⅡB—2層出土の石器　(8)



図Ⅳ—78　ⅡB—2層出土の石器　(9)



図Ⅳ—79　ⅡB—2層出土の土製品



図Ⅳ—80　ⅡB—2層出土の石製品

⑶　第Ⅱ黒色土３層出土の遺物

１）土器（図Ⅳ―81～89）

Ⅰ群ｂ－３類（図Ⅳ―87―70～72）

70～72は胴部破片である。細い粘土紐を貼り付けた後、短縄文を押捺している。

Ⅰ群ｂ－４類（図Ⅳ―87―73）

73は胴部破片で、短縄文と撚糸文が施されている。

Ⅱ群ａ－２類（図Ⅳ―87―74～77）

74～77はいずれも胴部破片で、74・75は同一個体で、太い原体で不規則な斜行縄文が施されている。76・77は同一個体で、細い原体で不規則な羽状縄文が施されている。いずれも胎土に多量の繊維を含む。器面調整は粗雑である。

Ⅲ群ｂ－１類（78・79）

78・79はいずれも半截竹管状工具内面の押引文が施されたもので、79の体部には複節の斜行縄文が施された後、口縁部肥厚帯直下および体部に２本一組の半截竹管状工具内面の沈線が加えられている。

Ⅲ群ｂ－２類（80）

80は縄文のみのもので口縁部が大きく外反する。器面外面には横走気味の斜行縄文が施されている。内面調整は丁寧である。

Ⅲ群ｂ－３類（81・82）

81は胴部破片で、タガ状の貼付帯施文後、胴部には結束羽状縄文、貼付帯上には縄の圧痕文が加えられている。82は口唇部断面形は角形で、器面外面に斜行縄文施文後、口縁部に円形刺突文が加えられている。内面調整が丁寧でⅡＨ－７出土の資料（図Ⅳ―13―４）に類似し、Ⅳ群ｂ類の可能性もある。

Ⅳ群ａ類（83）

83は口縁部破片で、整形は内外とも粗雑である。口唇部断面形は尖る。口縁部には横環する条線と縦位の条線が加えられている。胎土には多量の繊維を含む。Ⅱ群ａ－２類の可能性がある。

Ⅳ群ｂ類（１～３・51～53・84～115）

51・84・85は口唇部断面形が角形で、口唇部に縄文が施されているもので、51は頸部に幅の狭い無文帯をもち、口縁部・体部上半に鋸歯状の沈線文が施されている。３・86～102は口唇部断面形が角形で、口唇端部にナデ調整が加えられているもので、３・100・101は縄文のみのもの、86～90は口縁部に鋸歯状沈線が施されたもの、91～98は口縁部ないし口頸部に横走する沈線が施され、刺突・弧状沈線・「Ｓ」字状沈線等が加えられたもの、99は口縁部無文帯をもつもの、102は無文のものである。１・２・103～115は口唇部ないし口頸部に刻みの加えられた区画帯が施されているもの。１はⅡＢ－３層とＩＢ層が接合した。２はⅡＢ－３層から出土した。小型土器で、体部下半を欠失する。口頸部は無文で、体部上半に複合鋸歯状の沈線文が施されている。103～106は口唇部に２列の刻みが加えられたもので、103の口唇部は外反し、太い棒状工具で矢羽根状に刻みが加えられている。107～112は口縁部の刻みが１列のものである。52・113～115は胴部破片で、52の体部上半には入れ子の弧状の沈線文が、114・115には磨消縄文が施されている。53は台付き土器の底部と思われる。

Ⅳ群ｃ類（4～50・54～61・63～69・116～144）

本類は突き瘤の有無や口唇部の断面形で幾つかに分けられる。

ｃ１類　突き瘤が加えられたもので、口唇部の形態から２つに分けられる。

（4・5・9・11～20・22・25・27・29・34～36・38～41・54・55・116～123・136）

①　口縁部が肥厚し、口唇部断面形が明瞭な切り出し状を呈するもの

（4・5・9・11～20・22・25・27・34～36・38～41・54・116～121・123）

深鉢　4・5・9・11～20・22は口頸部に磨消しの無文帯をもつものである。4はⅡＢ－３層16点、ⅡＢ－２層２点、ⅡＢ－１層１点が接合した。口縁は波状で、幅広の口縁部には地文上に入れ子の連弧文が施されている。5はⅡＢ－３層１２点が接合したものである。頸部には幅の狭い無文帯をもち、幅広の口縁部には３条の沈線が加えられている。9はⅡＢ－３層16点が接合したものである。胴部に磨消しによる文様帯をもつものである。口唇直下には４条の沈線と密に施文された突き瘤をもつ。11・12もⅡＢ－３層出土の資料が接合したもので、磨消しによって無文帯が作り出されている。13はⅡＢ－３層47点、ⅡＢ－２層９点が接合した。６個の波頂部をもつ。口頸部に幅広の無文帯をもち、体部には沈線で区画した後、縄文が施された区画文が施され、口唇部・口縁部・体部に粘土粒の貼り付けが認められる。口唇部内面には刻みが加えられている。14はⅡＢ－３層25点、ⅡＢ－２層４点が接合した。縄文を施文後、沈線で区画し、磨消しを加えたもの。15はⅡＢ－３層２点、ⅡＢ層のトレンチ６～８回目出土の資料７点が接合した。縄文を施文後、沈線で区画し、磨消しを加えたもの。16～20・22はⅡＢ－３層出土の資料が接合したものである。縄文を施文後、沈線で区画し、磨消しを加え無文帯を作り出している。16の突き瘤にはつまみ揚げが加えられている。25は口唇部内外に粘土粒の貼り付けが施され、口唇部内面には刻みが加えられている。27はⅡＢ－３層１４点、ⅡＢ－２層２点、ⅡＢ－１層４点が接合した。縄文のみのものである。54は小波状口縁で、沈線で区画された口縁部には鋸歯状の沈線文が施されている。116・117は口頸部に磨消しによる無文帯をもつものである。118は地文上に沈線文が施されたものである。119は刺突が加えられた区画文が施されたもの。121・123～128は磨消文が認められるものである。

鉢　34はⅡＢ－３層５点、ⅡＢ－２層５点が接合したものである。口唇部にも縄文が施され、器面外面には、沈線で区画された地文上に連弧状の沈線文が加えられている。35はⅡＢ－３層７点、ⅡＢ－２層１点が接合したもので、沈線で区画された胴部上半に弧状の沈線文と刺突が加えられたボタン状の貼り付けが施されている。36はⅡＢ－３層１点、ⅡＢ－２層５点が接合したもので、本来はⅡＢ－２層で扱うべきものである。小波状口縁で、口縁部には２本一組の弧線文が施されている。38・39は口縁部に沈線が加えられたもので、ⅡＢ－３層出土の資料が接合した。40・41もⅡＢ－３層出土の資料が接合したもので、縄文のみのものである。

②　口唇部がやや内傾するが、口唇部断面形が角形気味や尖り気味みで、明瞭な切り出し状を呈さないもの。（29・55・122）

深鉢　29はⅡＢ－３層８点、ⅡＢ－２層６点、ⅡＢ－１層３点、ⅡＢ層トレンチ５回目１点が接合したもので、ⅡＢ－２層との強い関連を示している。口唇部断面形はやや内傾する。55は小型土器で、器面外面には地文上に沈線文が加えられている。122は地文上に沈線文が施されたものである。

ｃ２類　突き瘤をもたないもので口唇部の形態から２つに分けられる。

（6～8・10・21・24・28・30～33・37・42・43・45～49・58～60・124～135）

①　口縁部が肥厚し、口唇部断面形が明瞭な切り出し状を呈するもの（6～8・10・21・28・30～32・37・42・43・60・124～135）

深鉢　6～8・21口頸部に無文帯をもつものである。6はⅡB－3層8点、ⅡB－2層1点が接合したもので、口唇部に刻みが加えられた突起が施され、口縁部には突起間を繋ぐモール状の沈線が加えられている。7・8・10はⅡB－3層出土の資料が接合したもので、8の体部は横位向かいあう弧線状の沈線で区画され、磨消しとボタン状の貼り付けが加えられている。21はⅡB－3層26点、ⅡB－2層5点が接合したもので、口縁部に2条の沈線が加えられている。28は小型土器で、縄文のみのものである。124・126は沈線で区画し、縄文を加えたもの。125・127・128は磨消縄文である。

鉢　30はⅡB－3層10点、ⅡB－2層4点が接合したもので、口縁部には刻みが加えられた小突起が施されている。体部には沈線で区画したのち縄文が加えられた区画文が施文されている。31・32・37はⅡB－3層出土の資料が接合したもので、31・32の体部には磨消縄文が施されている。37は大小の突起を交互に組合せた波状口縁で、波頂部内面に指頭圧痕が加えられている。胴部上半には地文上に沈線で区画された2本一組のクランク状の沈線文が加えられている。42はⅡB－3層8点、ⅡB－2層1点が接合したもので、縄文のみのものである。129は波状入組文的な磨消縄文が施されたもの、130は沈線で区画し、刺突を加えたもの。131・132は地文上に沈線文を加えたものである。133～135は縄文のみのものである。

壺　43は口頸部で、ⅡB－3層17点、ⅡB－2層1点が接合したものである。口頸部には天地交互に「T」字状の透し文が加えられている。60は整形・胎土が25に類似する。口唇部内面に貼り付け瘤が施された後、刻みが加えられている。

②　口唇部がやや内傾するが、口唇部断面形が角形気味や尖り気味みで、明瞭な切り出し状を呈さないもの（24・33・45～49・58・59）。

深鉢　24は小型土器で、体部は2本一組の沈線で区画され、弧状の入組文的な沈線が加えられている。

鉢　33はⅡB－3層7点、ⅡB－2層1点が接合したものである。器面にミガキ調整を加えたのち、口縁部・底部を沈線で区画し、縄文を施し、更に刺突文を加えている。45～47・49は無文の小型土器、48は斜位の沈線が加えられた小型土器である。58は縄文のみのものである。

壺　59は縄文のみで、頸部下端に刺突が加えられたボタン状の貼り付けが認められる。

23・26・44・50・56・57・61・137～143は口縁部が欠失したものでいずれに含まれるか不明なものである。23はⅡB－3層から出土し、沈線で区画したのち、縄文が加えられている。Ⅳ群b類の可能性がある。26は体部である。44は注口土器で、ⅡB－3層4点、ⅡB－2層4点、ⅡB層トレンチ1回目1点が接合したものである。体部上半に縄文を施した後、沈線で区画し、磨り消したものである。部分的にボタン状の貼り付けが加えられている。50は小型土器で、口縁部を欠失する。頸部は無文帯で、無文帯直下は沈線で区画され下位に下方からの刺突が加えられている。体部には「口を開き、舌を伸ばし、向い合うヘビ」が2組描かれている。沈線内は粗い磨消しが加えられている。尚、口頸部下端に刺突列が加えられていることから、Ⅳ群b類の艀澗式に含まれる可能性がある。56も小型土器で、頸部に無文帯をもち、体部には縄文が施された後、沈線で区画され、2～4本一組のクランク状の沈線文が加えられている。57は沈線で区画し刺突文が加えられたもの。61は壺形土器ないし注口土器で、沈線で区画した後、縄文を加えている。136～143が体部破片で、136は突き瘤が認められ、体部には磨消しが加えられている。137は沈線で区画した後、縄文が施されている。138は地文上に沈線文が加えられたもの。139～143は壺形土器ないし注口土器で、139～142は磨消が加えられている。143は沈線で区画した後、縄文・刺突文が加えられ、33と同様の施文方法である。

63～69・144は底部破片で、144はⅣ群b類に含まれるべきものかもしれない。

Ｖ群土器（62・145）

145は無文の鉢形土器で、口唇直下にＡ状突起が連続的に施され、突起上端の口唇部には三叉文風の「Ｔ」字状の沈線が加えられている。器面調整は内外とも丁寧である。62は壺形土器ないし注口土器で、出土層位はいずれもトレンチからで出土層位にやや疑問を残す。体部には沈線で区画した後、縞縄文的な縄文を施し、部分的に大きな貼付瘤を加えている。そして貼付瘤の根元には三叉文が施されている。貼付瘤や縄文体部は図Ⅳ—68—319～321に類似する。

２）石器（図Ⅳ—90～50）

石鏃（１～28）

１～６は無茎で、１は無茎平基、２～６は無茎凹平基である。７～28は有茎のものである。７は先端部が偏平な三角形状の有茎凸基のもの。８～19は先端部が正三角状で、いずれも有茎凸基のもので８～14の先端部は緩やかに内湾し、茎部が細く、短く作出されている。15・16は先端部が正三角形状でいずれも有茎凸基で、茎部は長く作り出されている。17は先端が緩やかに内湾し、茎部が太くて短い。18・19は先端部が外湾し、幅広の茎部のもの。20～28は先端部が細身の二等辺三角形のもので、20～24は有茎凸基、25は有茎凹基、26・27はかえしが不明瞭なもの、28の先端部には抉りが加えられている。

ポイントまたはナイフ（29）

29は菱形で、両面全面加工で作り出されている。石材は黒曜石である。

ドリル（30～50）

30～38は棒状のもので、30～34は短めのもの、35～38は長めのものである。39～42・49は柄と機能部の区分が明瞭なもので、機能部が細く棒状のもの。43は両端に機能部が作出されているもの。44～48は剥片の一端に機能部を作出したものである。50は柄と機能部の区分が不明瞭で、幅広の機能部をもつものである。

つまみ付ナイフ（51～60）

51～60は縦形で、51は背面が全面加工で、腹面が周辺加工のもの。52・53・57は背面が周辺加工のもの、54～60は粗雑な片面周辺加工のものである。

スクレイパー（61～65）

61～65は縦形のもので、61～63は側縁に片面加工ないし両面周辺加工で直刃気味の刃部を作出しているもの、64は側縁に片面周辺加工で内湾気味の刃部を作出しているもの、65は尖頭状の刃部を作出しているものである。

66～74は横形のものである。66～72は下端に両面加工ないし片面周辺加工で弧刃気味の刃部を作出しているもの、73は上端に両面加工で弧刃気味の刃部を、下端に直刃気味刃部を作出しているものである。74は下端に片面周辺加工で直刃気味の刃部を作出しているもの。75は周辺に弧刃の刃部作出している。76は、破片資料でエンドスクレイパーと思われる。

両面加工石器（77～83）

77～80は楕円形ないし木葉形で両面加工によって作り出されている。81は不定形なもの。82は菱形のものである。83はポイントまたはナイフの破損品ないし、ポイント・ナイフを素材としたものである。

石斧（84～96）

84～87・91は完形品である。84は撥形で、擦りによって作出されている。85～90は短冊形である。85は粗割・敲打・擦りで、86・87は粗割整形・擦りで作出されている。88～90は破損品である。88は擦り切り・敲打・擦りで、89は敲打・擦りで作り出されたもので、いずれも折断面に敲打痕が認められ、楔として転用された可能性がある。90は撥形で、粗割整形・擦りによって作成され、折断面に敲打痕が認められ、楔として転用された可能性がある。91はミニチュアで、薄い板状の素材に擦り調整を加え刃部を作り出している。

92～96は石斧未成品である。92は敲打調整・擦りが認められる。93・94は粗割・敲打整形が加えられている。95は粗割整形が加えられたものである。96は敲打調整のみのものもある。97は擦り切り残片である。

すり石（98～100）

98は偏平な礫の稜にすり面が認められるもの。99・100は扁平礫の端部にすり面をもつもので、99は両端に、100はたたき痕を合わせもつ。

たたき石（101～109・113）

101～103は円礫ないし扁平気味の円礫の周縁にたたき痕が認められるもの。104～109・113は亜円礫ないし棒状礫の端部・側縁にたたき痕が認められるもの。

くぼみ石（110～112）

110～112は棒状礫の平坦部にたたき痕をもつもので、100は両面と側縁に、111は平坦面と側縁にたたき痕が認められる。

砥石（114～117）

114・115は２面、116・117は１面のものである。

石錘（118～120）

いずれも抉りは両面からの剥離によって作り出され、118・119の決入部には擦りが加えられている。

石皿（121）

121は両面にすり面が認められるが、表面は僅かにくぼみ、潰打痕が認められる。

台石（122）

122は表裏や周縁に擦りが認められ、表面はやや盛り上がり、潰打痕が認められる。

３）土製品（図Ⅳ―97）

耳栓（１～３）

１～３は耳栓で、１・３は「臼形耳栓」と称されるものである。１の両端中央に粘土粒が貼付られている。３には沈線文と中央に細い穿孔が認められる。２は環状のものである。

その他の土製品（４）

４は無文の棒状のもので、一端に引き切った痕跡が認められる。

４）石製品（５～９）

５～７は平玉である。８は上部の穿孔部分が欠損している。９はわずかに擦りの痕跡が認められ、石棒の未成品と思われる。石材は砂岩である。

(4)　第Ⅱ黒色土層出土の遺物

本項ではⅡＢ層のトレンチ調査やⅡＢ層中でも出土層位不明遺物やのものや、骨角器等を一括して扱った。

1）石器（図Ⅳ—97）

石鏃（1・2）

1・2は有茎凸基で、1の先端部は緩やかに内湾し、かえしの先端が張り出す。

ドリル（3）

3は両面周辺加工によって作出されたもので、機能部と柄の区分が明確なものである。機能部は幅広である。

つまみ付ナイフ（4）

4は縦形で、片面周辺加工によって作出されたものである。

スクレイパー（5）

5は縦形のもので、片面周辺加工で、両側縁に弧刃の刃部を作出している。

石斧（6・7）

6は撥形のもので粗割整形・擦りによって作出されている。刃部は偏刃気味である。7は擦切痕が認められるもので、石材は緑色泥岩である。

すり石（8）

8は北海道式石冠の破片資料である。

2）土製品（図Ⅳ—98—1～7）

土玉（1～3）

1は球状のもの、2・3は扁平なものである。

耳栓（4～7）

1は細い棒状のもの、5・6はいわゆる「臼形耳栓」と称されるもので、5は無文、6は片面に大きな抉りをもつもので、沈線文・刺突文が施されている。7は環状のもので、表裏に連弧状の沈線文と刺突文が施されている。

3）石製品（図Ⅳ—98—8～23）

石玉（8～20）

8～19は「平玉」と称されるものである。20は球状のものである。

オロシガネ状石製品（21・22）

21・22はいずれも破片資料である。周全面擦りによって整形されている。

円盤状石製品（23）

23は周縁を両面周辺加工によって整形し、円盤状を作出している。石材は礫岩である。

⑸　第Ⅱ黒色土層出土の骨角器等（図Ⅳ—99）

1）刺突具

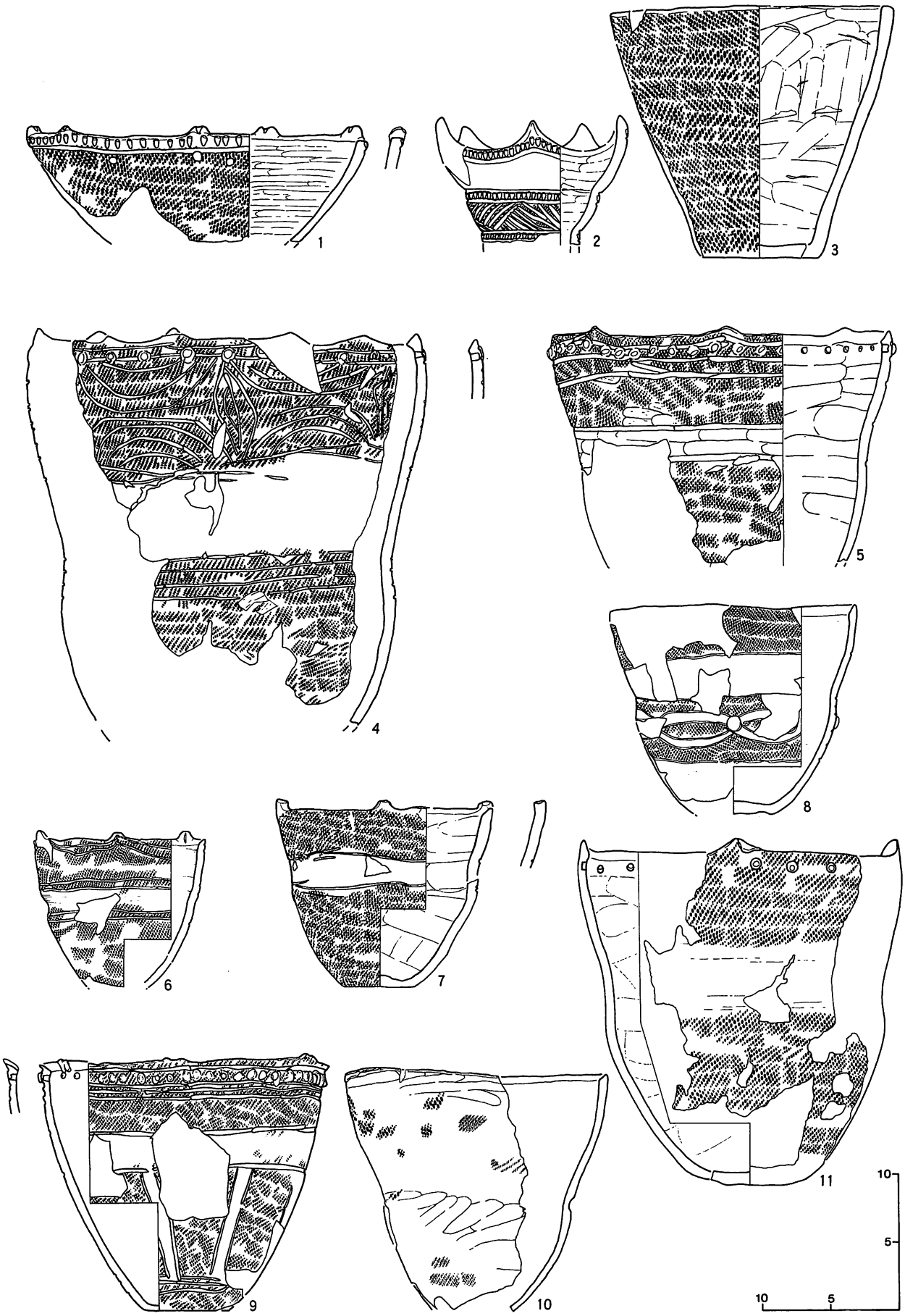
1・3・5は銛先と思われるもので、1・2の基部側に僅かな段が認められる。素材は不明である。2・4は刺突具で、素材はシカの中手骨ないし中足骨と思われる。

2）装飾品（6）

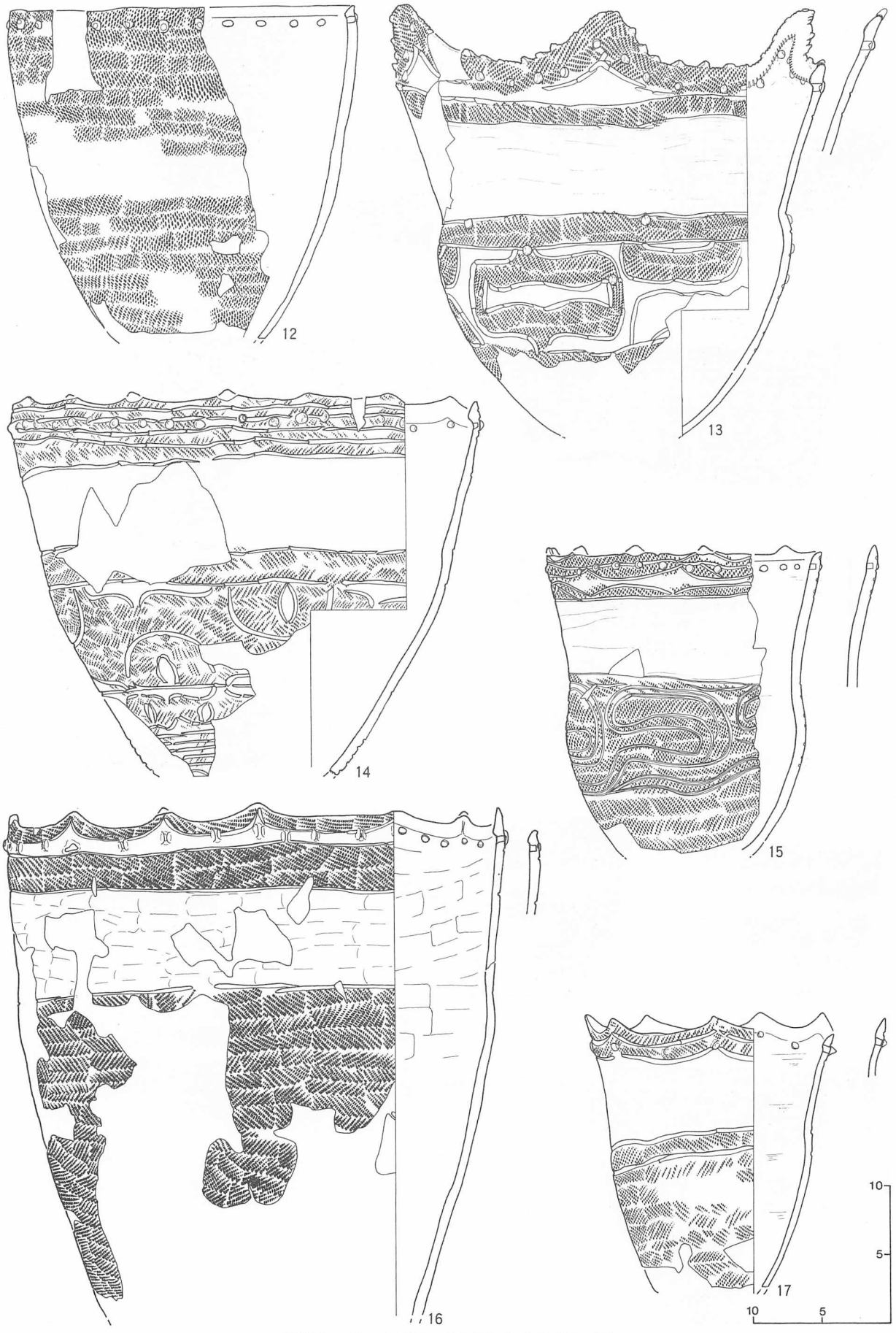
6は垂飾と思われる。螺旋状の沈線が加えられると共に、上下端に前後2方向からの穿孔が加えられている。素材はシカの中手骨ないし中足骨と思われる。

3）サメの歯（7）

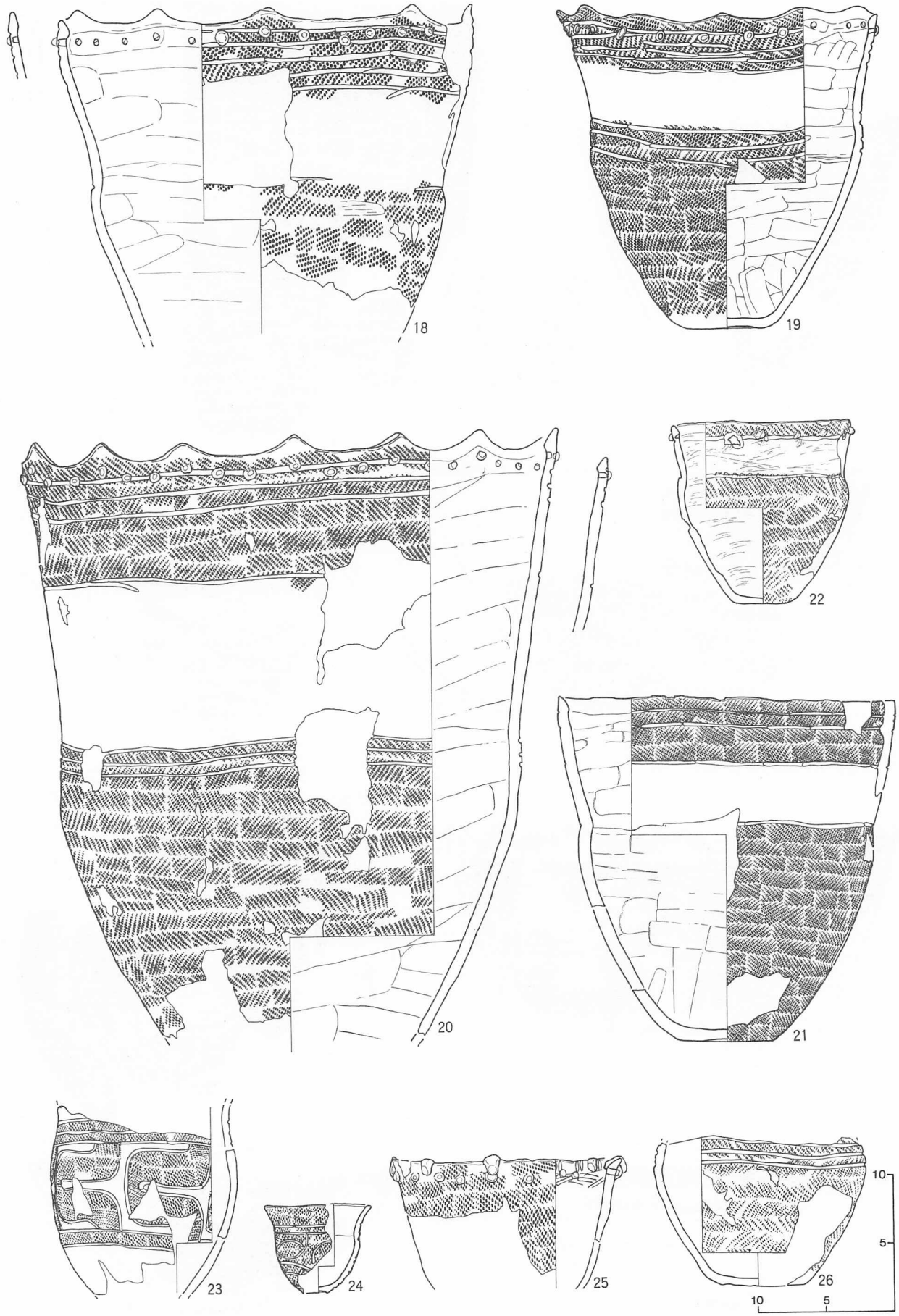
7はホホジロサメの歯（下顎）と思われる。赤色顔料が塗布された痕跡が認められる。



図Ⅳ—81　ⅡB—3層出土の土器　(1)

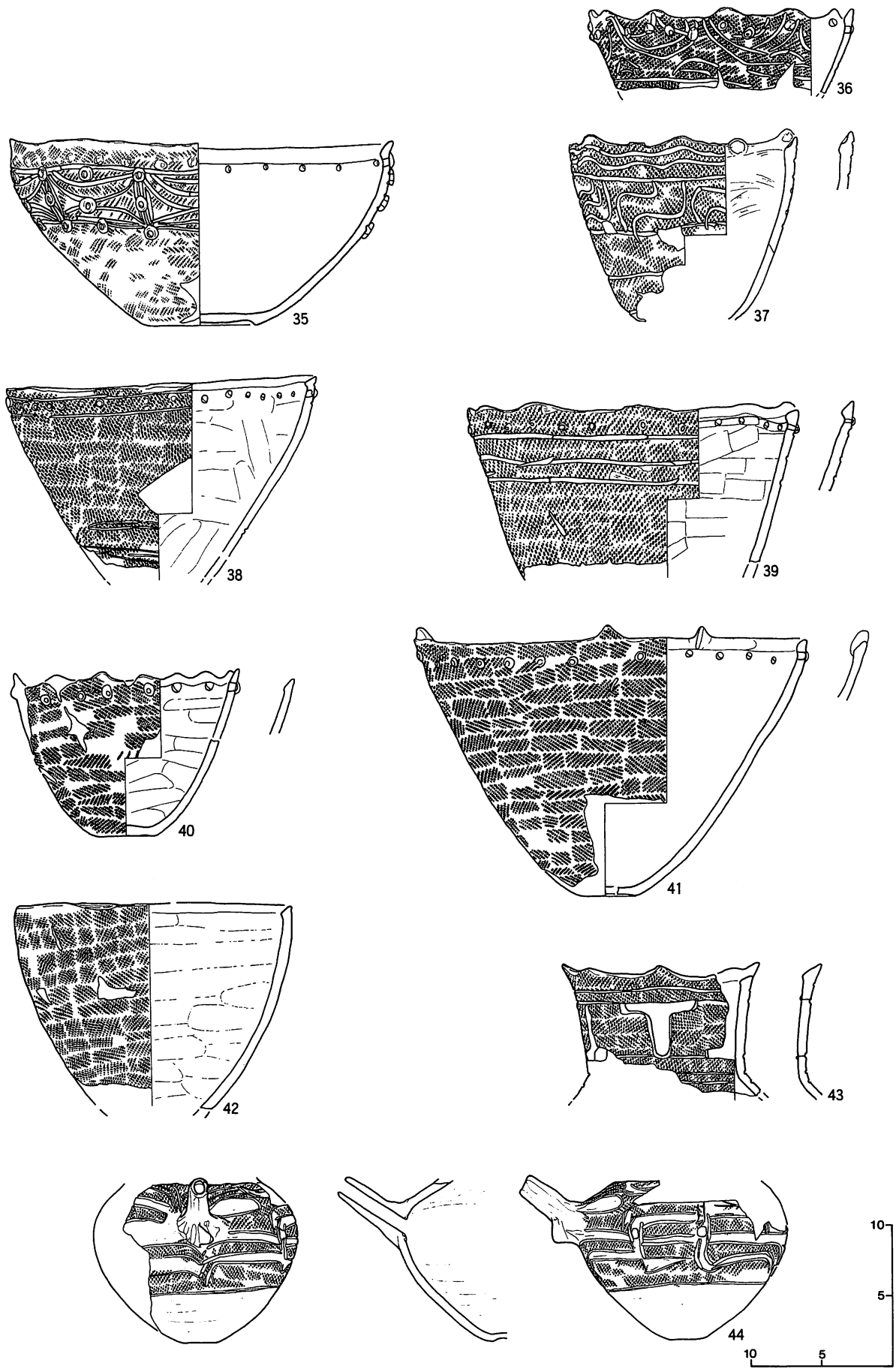


図Ⅳ—82　ⅡB—3層出土の土器　(2)

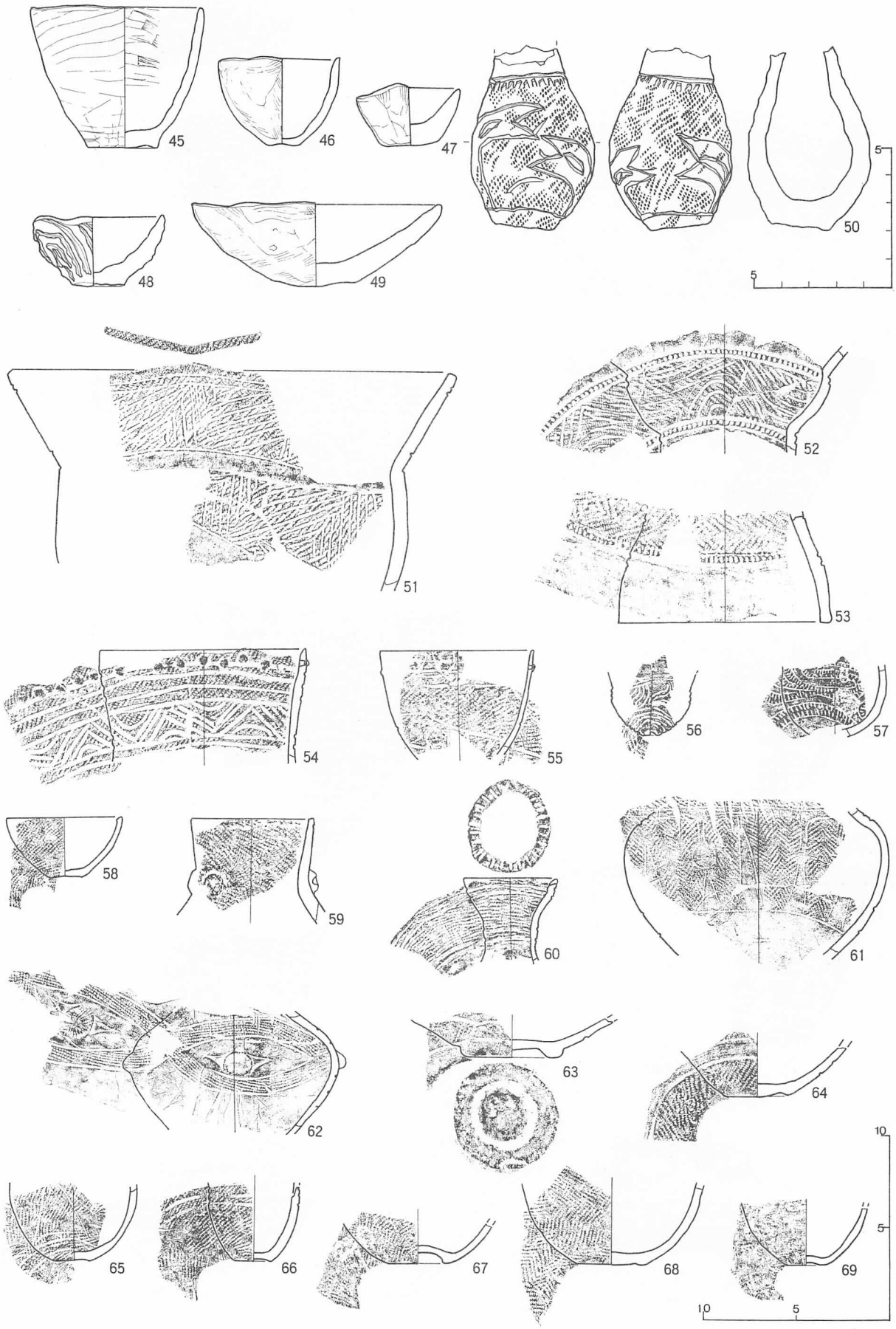


図Ⅳ—83　ⅡB—3層出土の土器　(3)

図Ⅳ—84　ⅡB—3層出土の土器　(4)

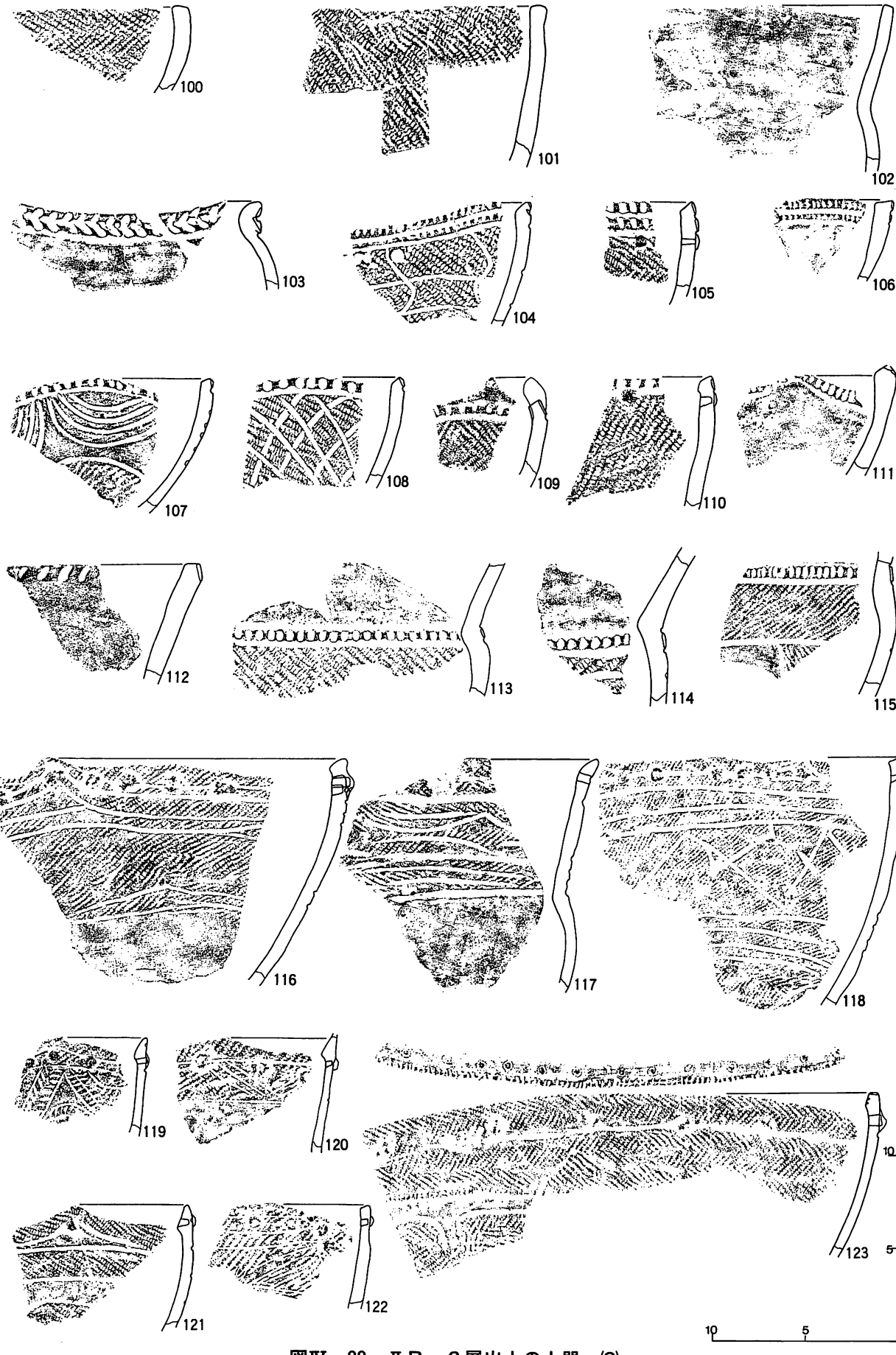


図Ⅳ—85　ⅡB—3層出土の土器　(5)

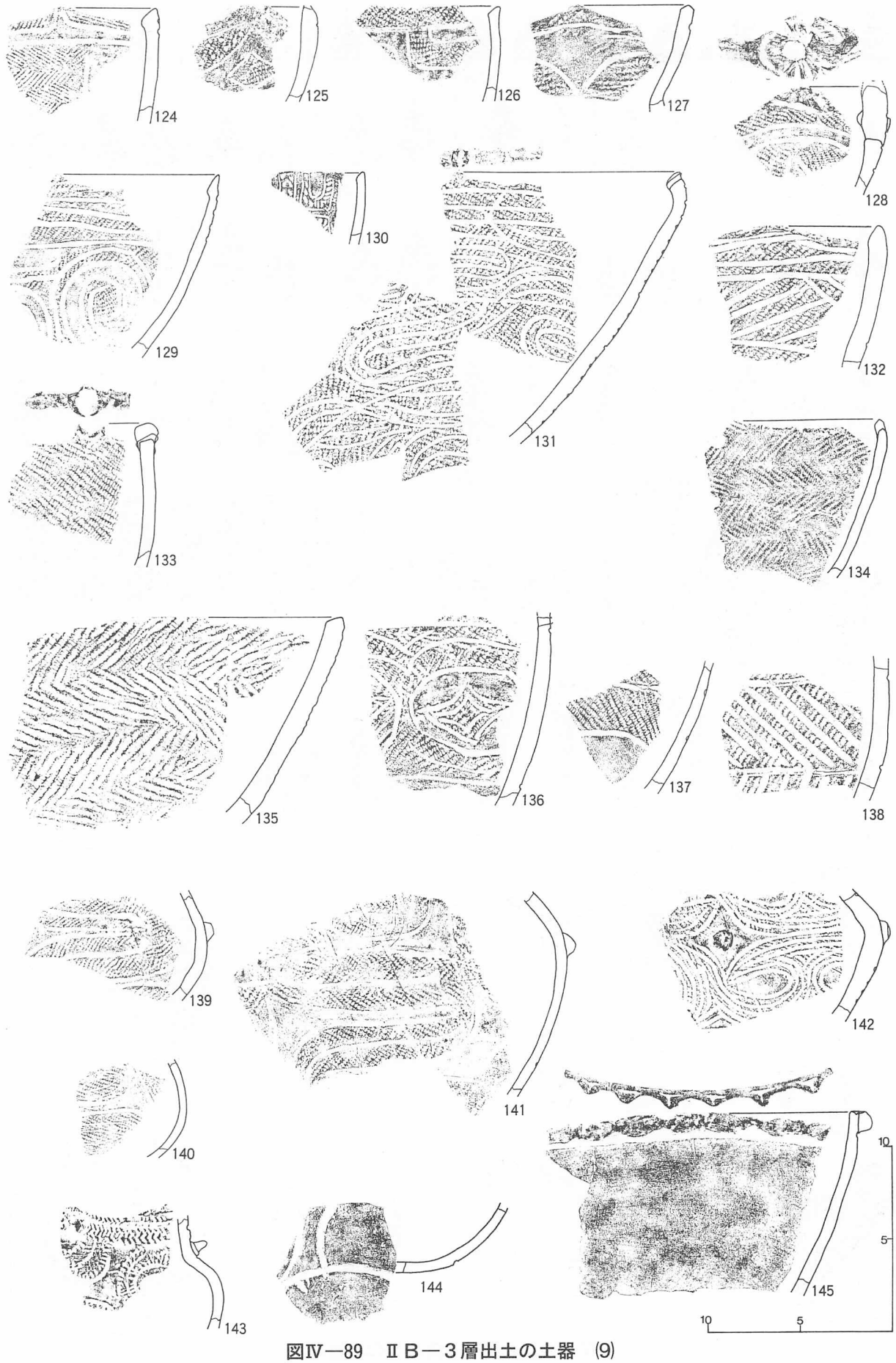


図Ⅳ—86　ⅡB—3層出土の土器　(6)

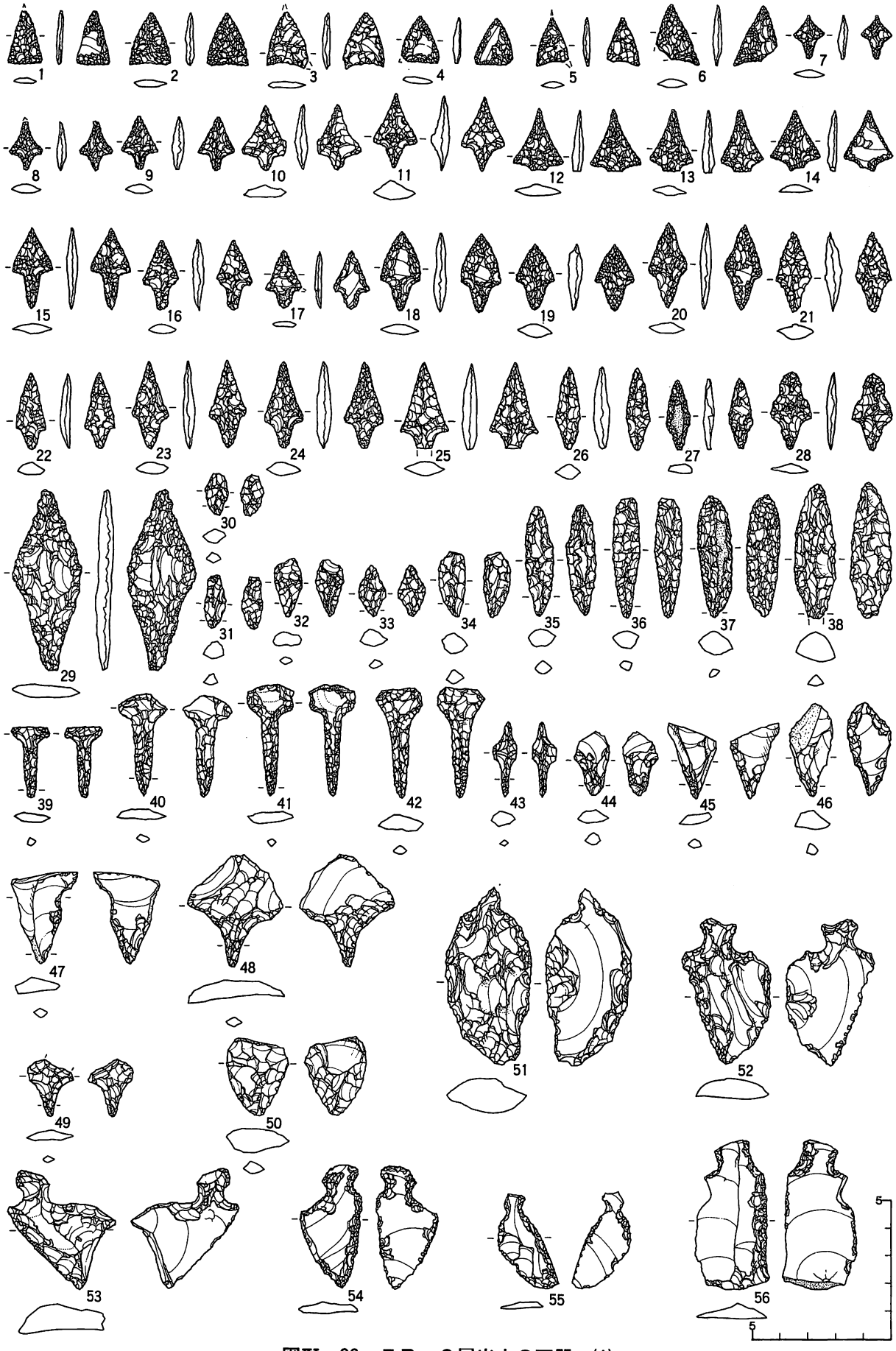
図Ⅳ—87　ⅡB—3層出土の土器　(7)



図Ⅳ—88　ⅡB—3層出土の土器　(8)

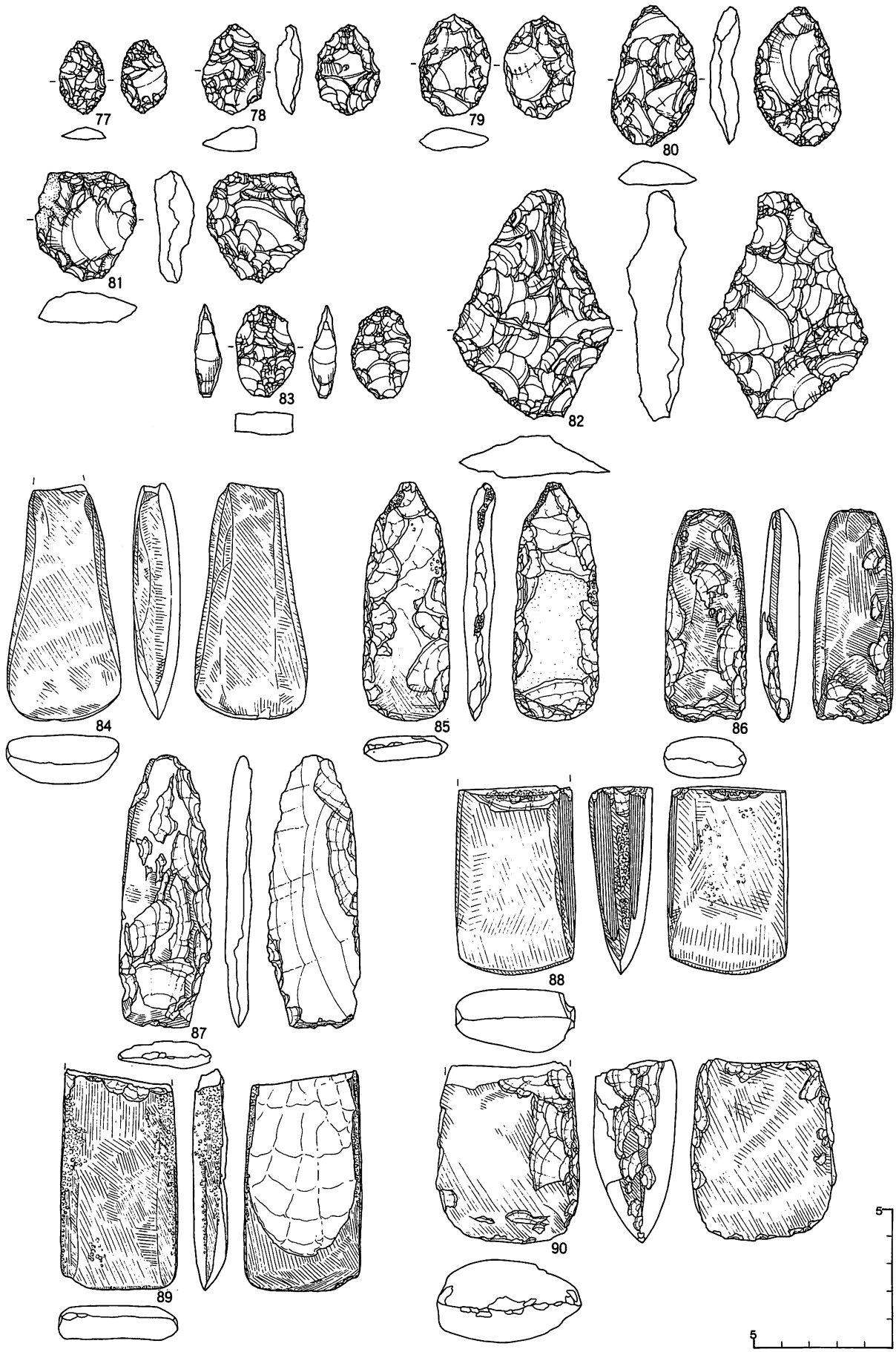


図Ⅳ—89　ⅡB—3層出土の土器　(9)

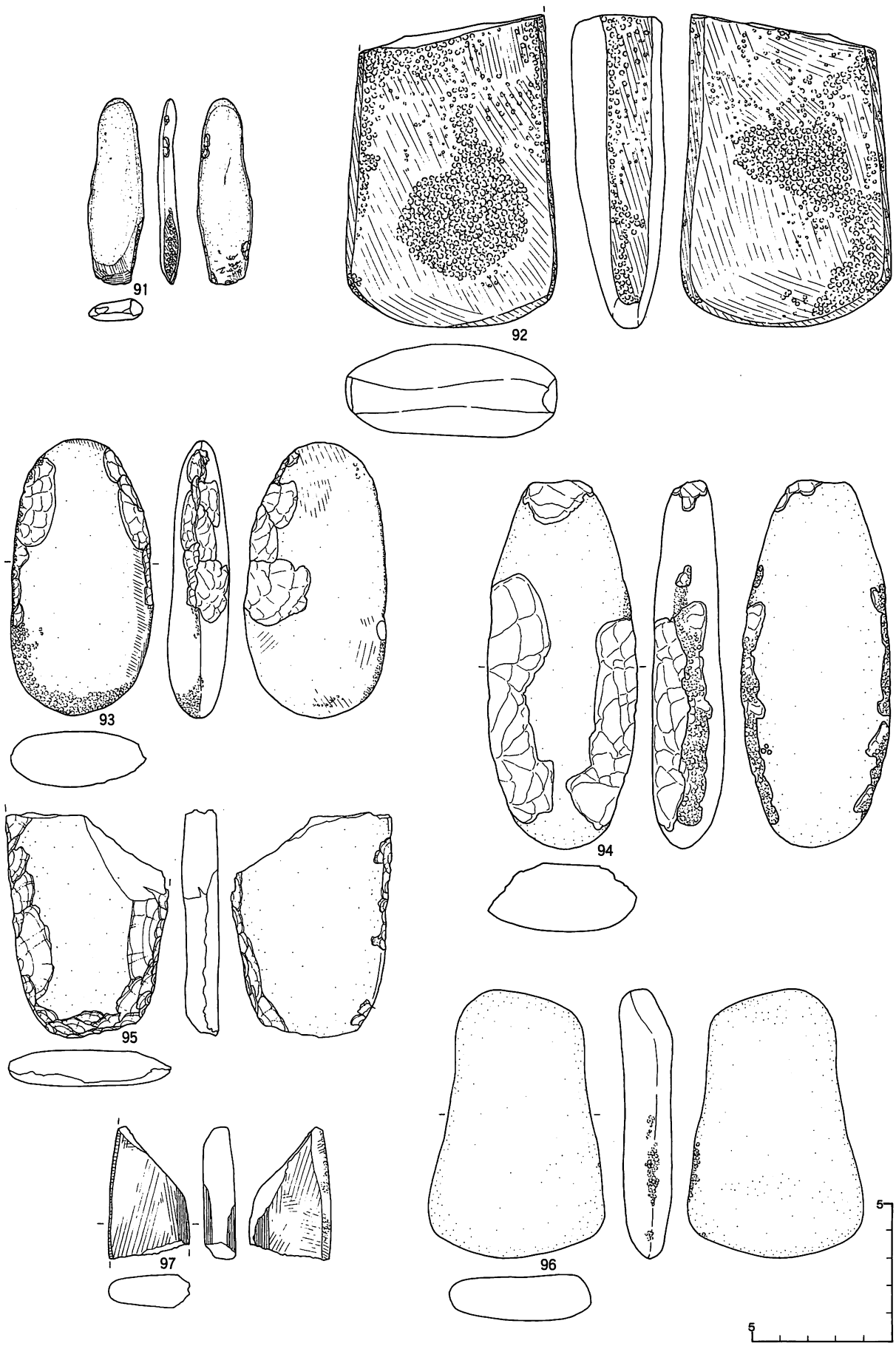


図Ⅳ—90　ⅡB—3層出土の石器　(1)

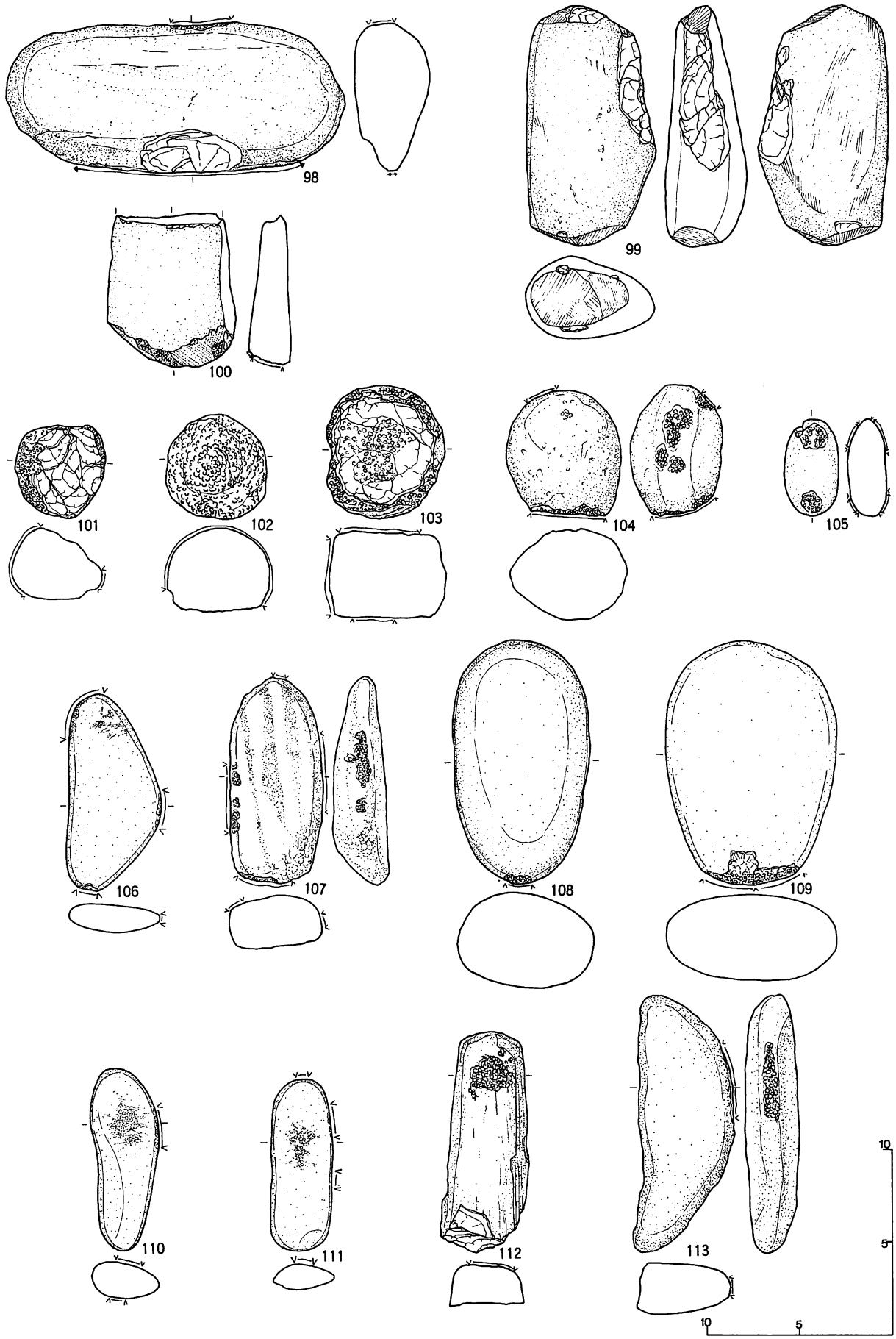
図Ⅳ—91　ⅡB—3層出土の石器　(2)



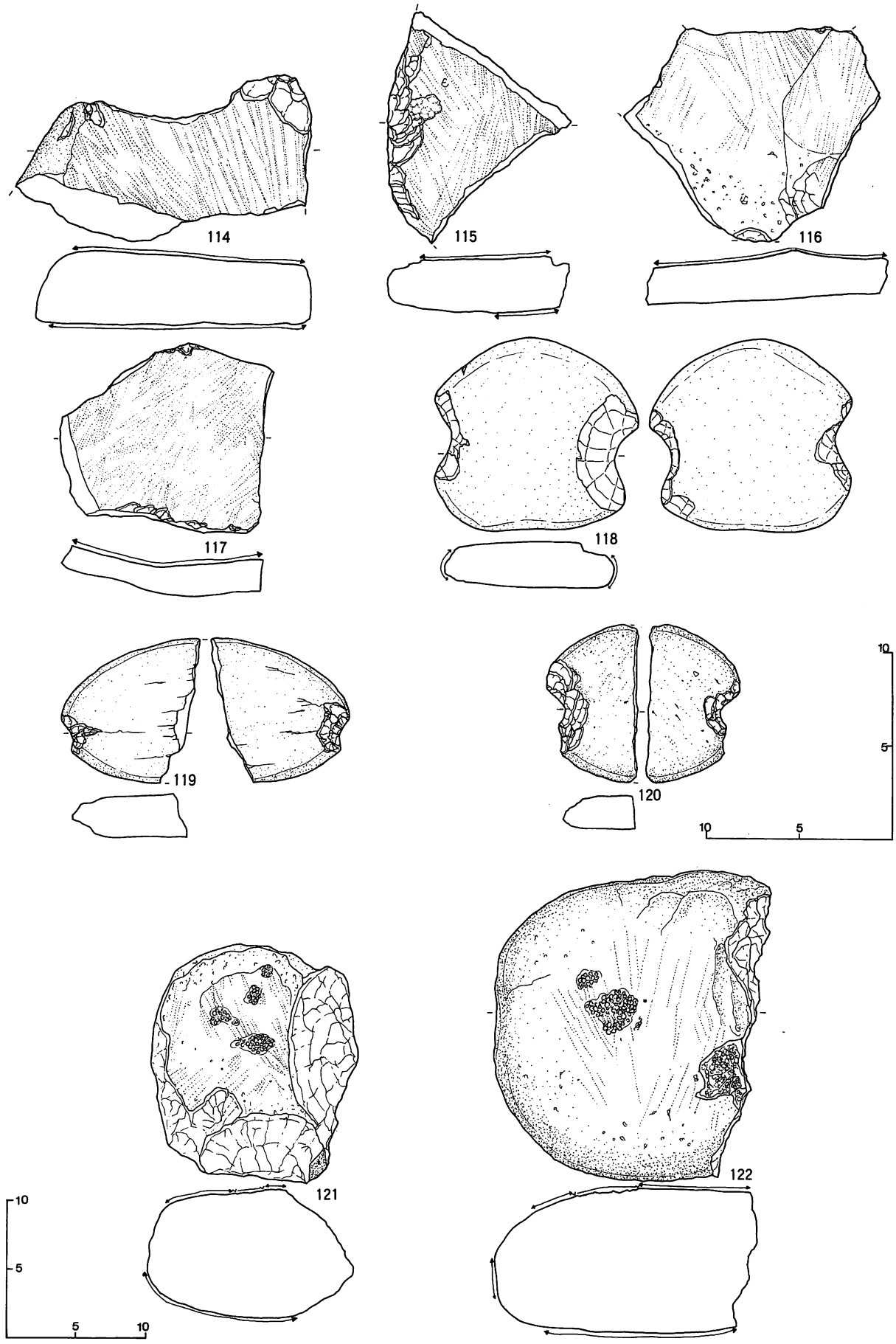
図Ⅳ—92　ⅡB—3層出土の石器　(3)



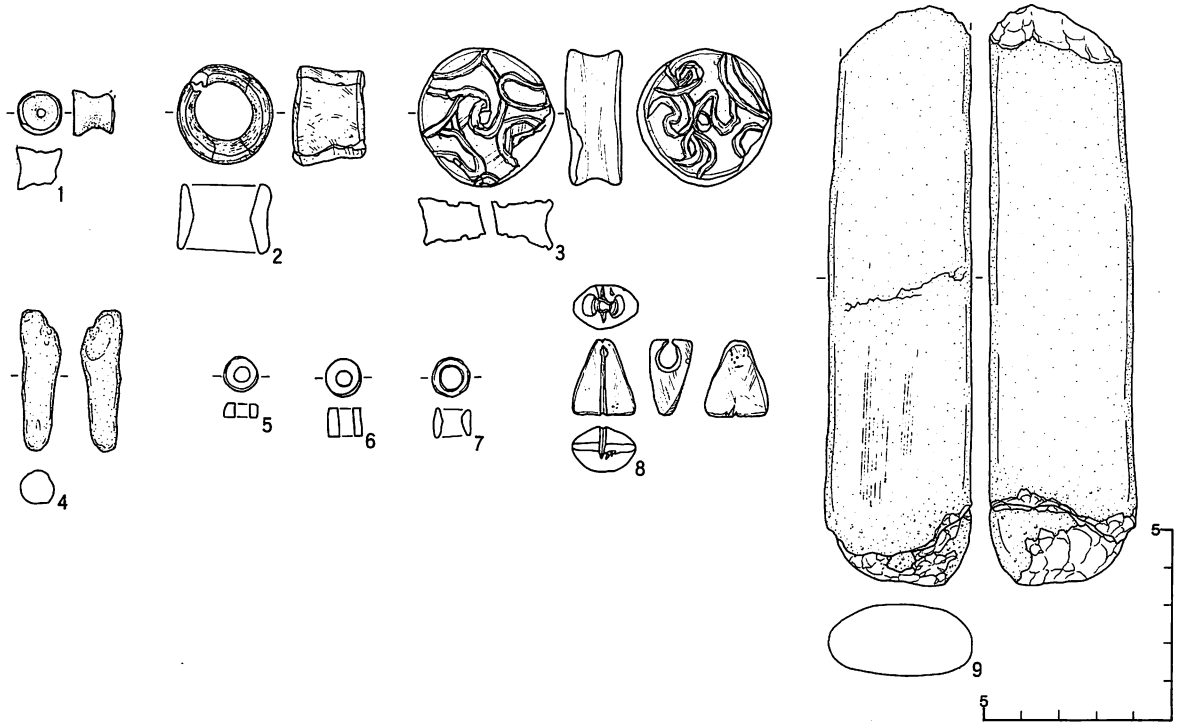
図Ⅳ—93　ⅡB—3層出土の石器　(4)



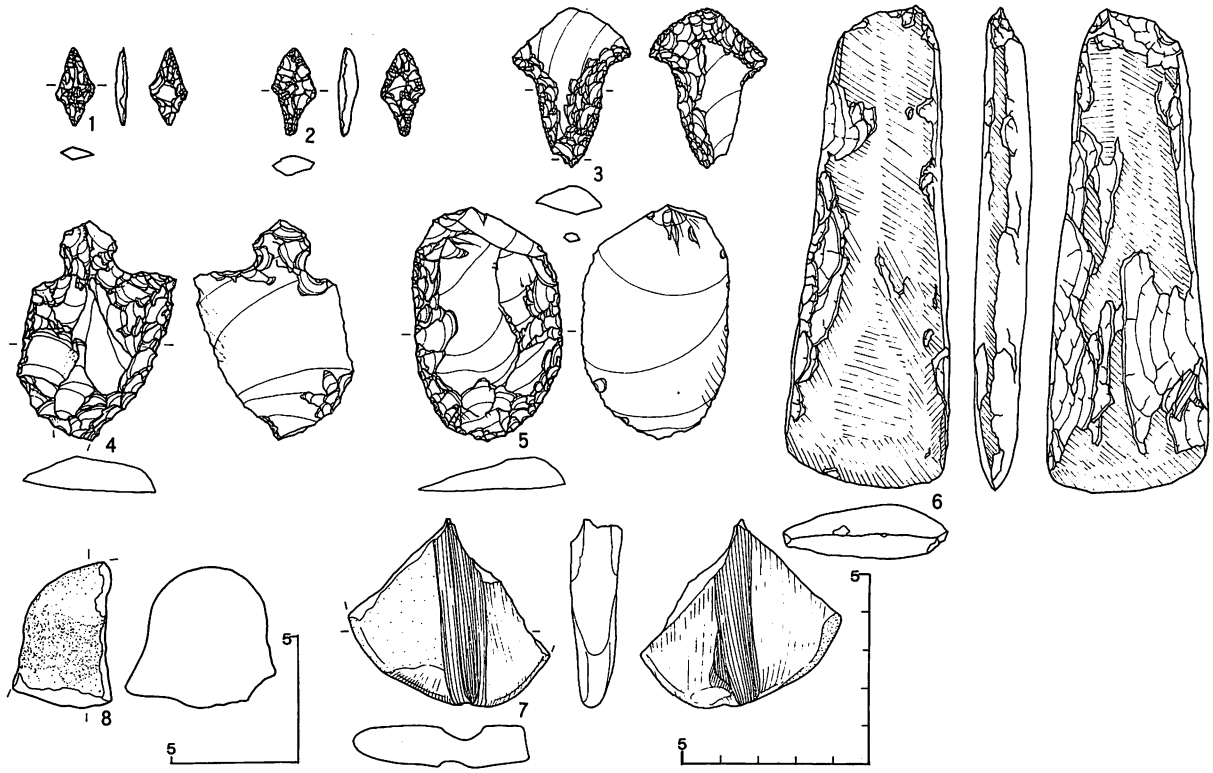
図Ⅳ—94　ⅡB—3層出土の石器　(5)



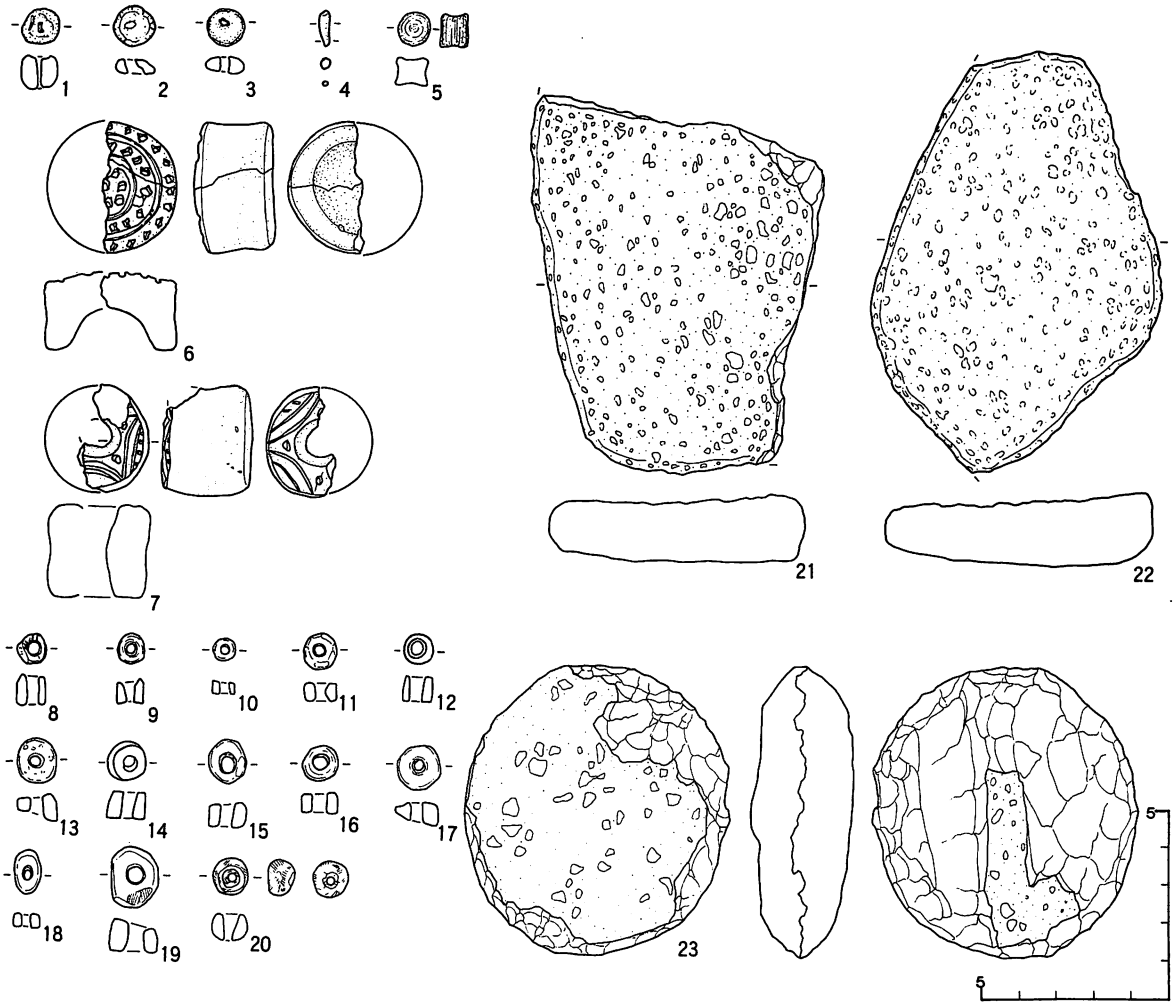
図Ⅳ—95　ⅡB—3層出土の石器　(6)



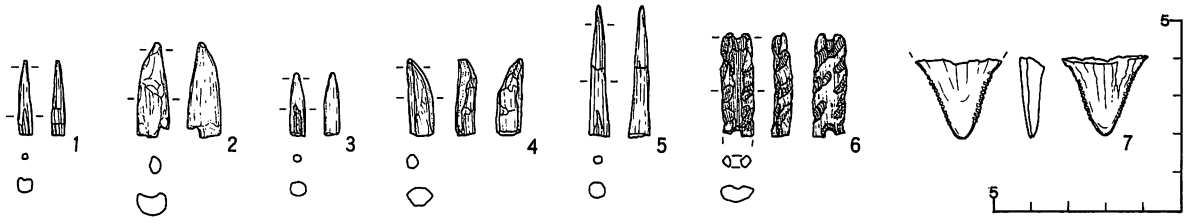
図Ⅳ—96　ⅡB—3層出土の土製品・石製品



図Ⅳ—97　ⅡB層出土の石器



図Ⅳ—98　ⅡＢ層出土の土製品・石製品



図Ⅳ—99　ⅡＢ層出土の骨角器等

第Ⅴ章　自然科学的分析

１．美々４遺跡から出土したアスファルトの成分分析

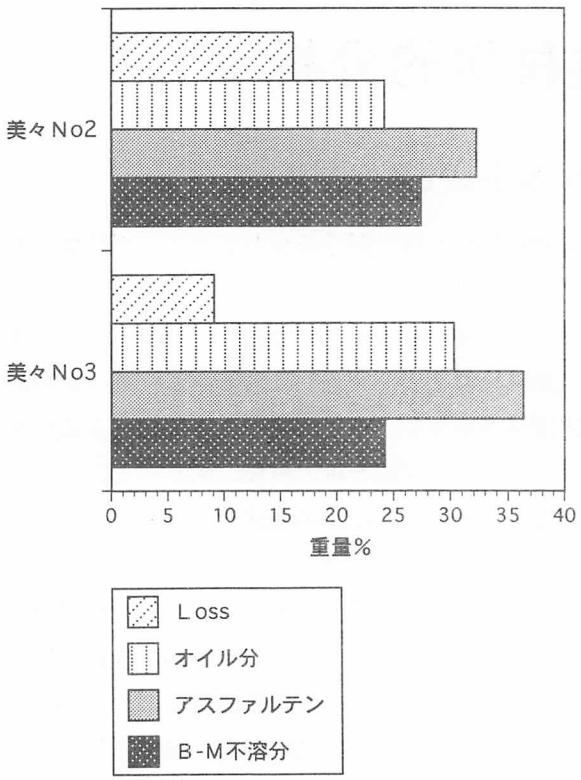
北海道大学高等教育機能開発総合センター　小笠原正明

出土資料が石油鉱床由来のアスファルトであるかどうかを確かめるため、資料の一部をとって元素分析を行い、別の部分をとって溶媒分割を行った。溶媒分割によって、ベンゼン-メタノール不溶分、アスファルテン、オイル分に分けた。次に、高速液体クロマトグラフィーによってオイル成分を化学構造の似通った「化合物クラス」に分けて分析した。表２に元素分析の結果、図Ⅴ－１と２にそれぞれ溶媒分割の結果とオイル分析の結果を示した。また、図Ⅴ－３にオイル成分のうちのパラフィン部分（Fr-P）の質量分析スペクトルを示した。

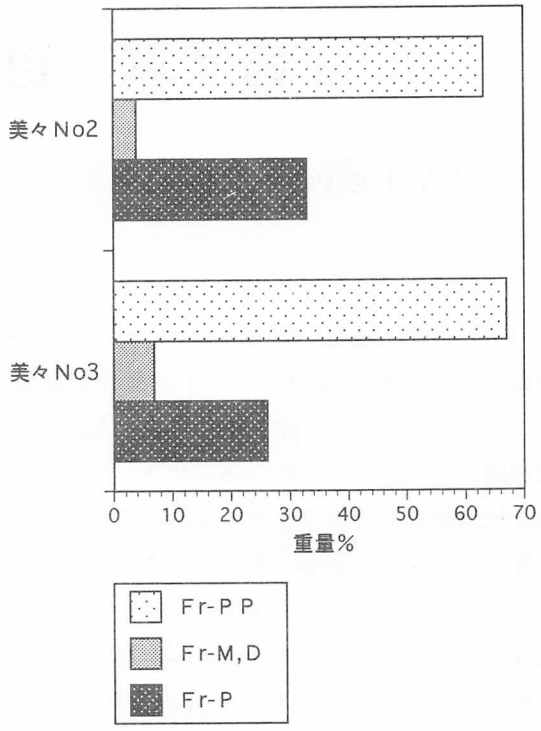
これらの結果から、出土資料は脂肪族、脂環族などの飽和炭化水素成分が多い一方、芳香族成分が極端に少なく、天然アスファルトであることが明らかになった。これまでに、産地とみなされる秋田県および新潟県のほかに、北海道南茅部、苫小牧、岩手県のそれぞれの縄文遺跡から出土したアスファルトの分析が行われている。それによると、出土アスファルトは秋田県昭和町の系統と新潟県柏崎の系統に２種類に分けられる（ただし出土品がこの２地域から来たものということを必ずしも意味するものではない）。美々４遺跡出土のアスファルトの元素分析、高速液体クロマトグラフィー分析、Fr-Pの質量分析の結果は、いずれも昭和町系に近いことを示している。質量スペクトルの結果で比較すると、隣接する苫小牧市から出土したものとはかなり違っており、産地が違っていることがうかがわれる。

表２　美々４遺跡出土アスファルト(№２)の元素分析

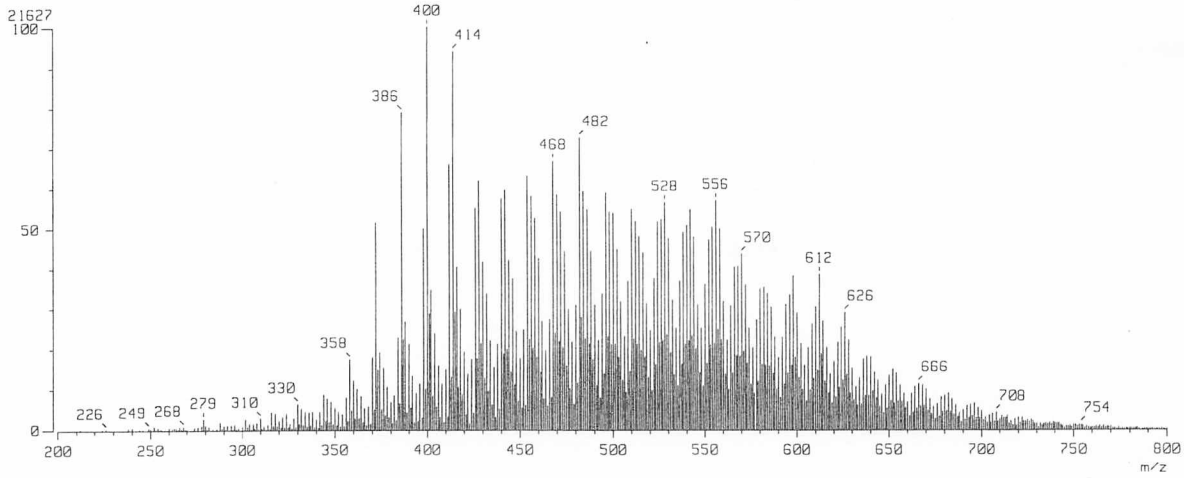
元　素	重量％
C	84.18
H	8.78
N	1.52
S	0.79
O(残)	4.73



図Ⅴ－1　美々４遺跡出土アスファルト（No.２およびNo.３）の溶媒による分割。図中の「B-M不溶分」はベンゼン－メタノールの混合溶媒（容積比１：１）に溶けなかったもの、「アスファルテン」は上の混合溶媒には溶けるがｎ-ヘキサンに溶ける成分を示す。Lossは、分析中に失われたものを示す。



図Ⅴ－2　美々４遺跡出土アスファルト（No.２およびNo.３）のオイル分の高速液体クロマトグラフ分析の結果。Fr-PPは極性およびポリマー成分、Fr-M,Dは１環および２環の芳香族成分、Fr-Pはパラフィン成分を示す。



図Ⅴ－3　美々４遺跡出土アスファルト（No.２）のパラフィン化合物のオイル成分の質量分析スペクトル。横軸はマスナンバー（m/ｚ）、縦軸は信号強度（任意単位）を示す。

２．千歳市美々４遺跡出土動物遺存体

千歳市埋蔵文化財センター　高橋　　理

１．はじめに

千歳市美々４遺跡において第一黒色土および第二黒色土の縄文時代晩期の遺構、包含層より大量の動物遺存体が検出された。これらは火の影響を受けた白色、灰色の骨片である。いずれもクラックが入り、著しい変形をきたしている。

骨片は現地において５㎜目のメッシュのみによって回収されたものである。サケ科魚類やコイ科魚類の椎骨片が少量混じっていることにより、この大きさ以下の細片化の著しい骨や魚骨を中心とした微細な骨はこの段階でかなり失われてしまったものと推定される。したがって今回の報告は、美々４遺跡に本来残されていた動物遺存体全容におよぶものではないことをここで明言しておきたい。それと同時に繁忙をきわめる発掘調査時においても、このような動物遺存体の出土が認められる場合、地点を限定しても少なくとも最小１㎜メッシュによる遺物の回収を行われることをお願いしたい。

さてこのような５㎜メッシュのみによる回収ではあるが、その量は膨大であり今回は時間の問題より全調査区を対象とすることはできなかった。遺構はＩＨ－１、ⅡＨ－２、４、５、７、10、11、13の各竪穴住居、ⅡＰ－２、３、４、５、６、７、８、11の土坑、包含層はE_1－65－80、－82、－91、－93、E_2－65－00，－02，－04、－11、－14、－15の第二黒色土出土の遺物を対象とした。でも遺物数は役67,000点におよび、対象としなかった調査区、第一黒色土、５㎜メッシュによっては回収されなかった微細な遺物などを加えると150,000点をはるかに上回る動物遺存体が残されていたものと考えられる。なお遺構出土遺物はすべて覆土よりの出土であり、遺構の造営時期とは合致しない場合もある。これについては本論を参照されたい。

２．出土動物遺存体

出土した動物遺存体の主体はシカ（エゾシカ　*Ceruvus nippon yesoensis*）である。同定されたものは保存のよい指趾骨矢中手骨、中足骨などをはじめとする四肢骨であり、頭骨や椎骨などは非常に少ない。しかしこのことが頭骨や椎骨が遺跡に持ち込まれていなかったことに直接結びつくとは断言できない。中手・中足骨では骨体の前側（掌側）に比較して後側（背側）が少ないという特徴を指摘できる。骨角器の出土も比較的多いことより、主に背側がその素材として利用されていたことを示していることが考えられる。角の少なさも同様である。また多く検出した歯冠、歯根は火を受けた痕跡が認められないという特徴がある。

イノシシ（*Sus scrofa leucomystax*）の出土はシカに次ぐものとなっている点も特記される。北海道においては縄文時代晩期の遺跡よりイノシシが出土することは指摘されてきた（西本：1985、川内谷：1985、高橋：1996など）。これらのイノシシの骨は火を受けており、幼体であることが多いことか、儀礼にともなうものと考えられることが多い。美々４遺跡出土のイノシシの場合も非常に小さい指趾骨が出土しており、幼体が混じっていたことがうかがえる。しかしそれ以外に大型の個体の四肢骨や咬耗の進行した永久歯の歯冠が検出されており（これらの歯冠は火を受けた痕跡がない）、成長の進んだ個体が存在したことが否定できない状況にある。苫小牧市柏原５遺跡（苫小牧埋蔵文化財調査センター：1994）ではイノシシの成獣が多く出土しており、縄文時代後期末から晩期の石狩低地帯においても、人を介在して各年齢にわたるある程度のイノシシの個体数の存在を考えるべきではな

いだろうか。

シカ、イノシシ以外は出土数が少なくなり、ヒグマ（*Ursus arctos*）、イヌ科動物が少しみられる程度である。鳥類はごく少量出土しているが同定にいたっていない。魚類では既述のように河川回帰型のサケ科魚類、コイ科魚類の椎骨片が認められた。また赤色顔料が塗布された痕跡のあるホホジロザメ（*Carcharodon carchrias*）の歯が確認されている。墓の副品と考えられる。

3．おわりに

美々４遺跡においてはイノシシの成獣の存在がかなり強くうかがわれる。縄文時代後期から晩期には儀礼のために幼獣を持ち込むというレベルをこえた、より多くの個体の存在を考えなければならないのではないだろうか。もとより北海道には自生しない動物であることから当時の人が介在していることは間違いないのであるが、儀礼を含めたより大きな必要性からシステマティックなイノシシの導入、ひいては何らかのレベルの「飼育」などが行われていた可能性は低くはないと考える。柏原５遺跡の出土例はこれを強く示唆するものではないだろうか。

美々４遺跡の遺物を整理する機会を与えていただいた㈶北海道埋蔵文化財センター熊谷仁志、藤井浩両氏に御礼申し上げたい。もし許されるのであれば、今回整理できなかった動物遺存体は今後イノシシの問題を考えていくなかで整理、分析していきたいと考えている。

引用・参考文献

阿部　宗明（1981）『原色魚類検索図鑑』　９版　北隆館
林　　壽郎（1982）「動物　Ⅱ」『標準原色図鑑全集』　第20巻
川内谷　修（1985）「北海道から出土するイノシシの遺存体について」
『文京台考古』　特別号　pp.48-53
高橋　　理（1986）「第５章　第１節　動物遺存体」
『末広遺跡における考古学的調査Ⅳ』　pp.115-134
苫小牧市埋蔵文化財調査センター（1994）
『柏原５遺跡発掘調査（第３次）概要報告書』
西本　豊弘（1985）「北海道縄文時代イノシシの問題」『古代探叢　Ⅱ』　pp.137-152

表３　千歳市美々４遺跡出土動物遺存体(包含層)

包含層

調査区	層位	動物遺存体	出土部位	数量	重量	他の遺物
E₁-65-80	ⅡB－1	種不明 哺乳類		2560		土器片, Flake, 炭化物
E₁-65-80		シカ *Cervus n.y.*	歯冠　歯根	128		
E₁-65-80		シカ *Cervus n.y.?*	左？果骨？	1		
E₁-65-80		シカ *Cervus n.y.*	左中心手根骨	1		
E₁-65-80		シカ *Cervus n.y.*	右中足骨　近位端	1		
E₁-65-80		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　掌側	2		
E₁-65-80		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　背側	1		4分の1縦割
E₁-65-80		シカ *Cervus n.y.?*	基節骨　遠位端	1		
E₁-65-80		シカ *Cervus n.y.*	中節骨　遠位端	1		
E₁-65-80		シカ *Cervus n.y.*	末節骨	1		
E₁-65-80		イノシシ *Sus scrofa l.*	歯冠	1		
E₁-65-80		イノシシ *Sus scrofa l.*	中節骨	1		
E₁-65-80	ⅡB－2	種不明 哺乳類		710		土器片, Flake, 炭
E₁-65-80		シカ *Cervus n.y.*	歯冠	3		
E₁-65-80		シカ *Cervus n.y.*	距骨	1		
E₁-65-80		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　近位端	1		
E₁-65-80		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　掌側	2		
E₁-65-80		シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　背側	2		1点は4分の1縦割
E₁-65-80		シカ *Cervus n.y.*	中節骨　近位端	2		
E₁-65-80		シカ *Cervus n.y.*	末節骨	1		
E₁-65-80		イノシシ *Sus scrofa l.*	右？踵骨　遊離踵骨隆起	1		踵骨隆起未癒着
E₁-65-80		イノシシ *Sus scrofa l.*	基節骨　遠位端	1		
E₁-65-80		サケ科 Salmonidae	椎骨	6		
E₁-65-80		ホホジロザメ *Carcharodon carchrias*	歯	1		赤色顔料塗布
E₁-65-80		ホホジロザメ *Carcharodon carchrias*	歯	4		赤色顔料残る
E₁-65-80	ⅡB－3	種不明 哺乳類		2		
E₁-65-82	ⅡB上面	種不明 哺乳類		16		
E₁-65-82		サケ科 Salmonidae	椎骨	2		
E₁-65-82	ⅡB－1	種不明 哺乳類		3		
E₁-65-82	ⅡB－2	種不明 哺乳類		7		
E₁-65-91	ⅡB－1	種不明　哺乳類		1005		土器片, Flake
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	角片	2		
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	歯冠　歯根	33		
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	右脛骨　遠位端	1		
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	左中足骨　近位端	1		
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	左中足骨　近位端	1		
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　掌側	3		
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　掌側	1		
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　背側	1		背側4分の1縦割片
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　滑車	4		
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	中節骨　近位端	1		
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	末節骨	1		
E₁-65-91		イノシシ *Sus scrofa l.*	基節骨　近位端	1		
E₁-65-91		イノシシ *Sus scrofa l.*	基節骨　遠位端	1		
E₁-65-91		イノシシ *Sus scrofa l.*	中節骨　遠位端	1		骨病変？
E₁-65-91		イノシシ *Sus scrofa l.*	末節骨	1		
E₁-65-91		イヌ科 Canidae	第1後臼歯　歯冠	1		
E₁-65-91	ⅡB－2	種不明 哺乳類		2034		
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	歯冠　歯根	216		
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	上腕骨　滑車	2		
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	右膝蓋骨	1		
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	中手骨　掌側	1		
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　掌側	1		
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　背側	1		
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	中節骨　近位端	1		
E₁-65-91		シカ *Cervus n.y.*	末節骨	1		
E₁-65-91		イノシシ *Sus scrofa l.*	歯冠	11		
E₁-65-91		イノシシ *Sus scrofa l.*	基節骨　遠位端	1		
E₁-65-91		イノシシ *Sus scrofa l.*	中節骨	1		
E₁-65-91		イノシシ *Sus scrofa l.*	末節骨	1		
E₁-65-91		種不明 鳥類	部位不明(長管骨)	1		大型
E₁-65-91		サケ科 Salmonidae	椎骨	4		
E₁-65-91	ⅡB－3	種不明 哺乳類		1158		骨角器1

調査区	層　位	動物遺存体	出土部位	数量	重量	他の遺物
E1-65-91		シカ *Cervus n.y.*	角片	1		
E1-65-91		シカ *Cervus n.y.*	歯冠　歯根	33		
E1-65-91		シカ *Cervus n.y.*	中手骨　掌側	2		
E1-65-91		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　掌側	5		
E1-65-92	ⅡB－2	銛先　骨角器		2		
E1-65-93	ⅡB－1	種不明　哺乳類		580		被熱　土器片, Flake
E1-65-93		シカ *Cervus n.y.*	歯冠	33		
E1-65-93		シカ *Cervus n.y.*	左第２・３足根骨	1		
E1-65-93		シカ *Cervus n.y.*	上腕骨　滑車	1		
E1-65-93		シカ *Cervus n.y.*	左橈骨　近位端	1		
E1-65-93		シカ *Cervus n.y.*	右中間手根骨	1		
E1-65-93		シカ *Cervus n.y.*	中節骨　近位端	2		
E1-65-93		イノシシ *Sus scrofa l.*	末節骨　近位端	1		
E1-65-93		種不明 哺乳類	切痕あり	2		
E1-65-94	ⅡB－1	骨製垂飾		1		
E2-65-00	ⅡB－1	種不明 哺乳類		7387		土器片, Flake, 炭化物
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	歯冠　歯根	102		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	上腕骨　滑車	1		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	左中足骨　第４中足骨近位端	1		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　掌側	2		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	左第２・３足根骨	1		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	基節骨　近位端	1		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	基節骨　遠位端	1		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	左第２・３手根骨	1		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	種子骨	1		
E2-65-00		イノシシ *Sus scrofa l.*	歯冠	5		
E2-65-00		イノシシ *Sus scrofa l.*	中節骨	1		
E2-65-00	ⅡB－2	哺乳類(被熱)		2058		土器片, Flake, 炭化物
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	歯冠　歯根	61		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*？	左果骨？	1		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	末節骨	2		
E2-65-00		イノシシ *Sus scrofa l.*	歯冠	12		
E2-65-00		ヒグマ *Ursus arctos*	基節骨	1		
E2-65-00	ⅡB-2 骨集中②	シカ *Cervus n.y.*	中手骨　近位端	1		
E2-65-00	ⅡB-2 骨集中③	シカ *Cervus n.y.*	右中足骨　第３中足骨近位端	1		
E2-65-00		イノシシ *Sus scrofa l.*	口蓋骨水平板あるいは上顎骨口蓋突起	1		
E2-65-00	ⅡB-3上層	シカ *Cervus n.y.*	右橈骨　遠位端	1		
E2-65-00	ⅡB－3	種不明 哺乳類		2833		土器片, Flake, 炭化物, 赤色顔料
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	角素材の角器	1		角器
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	右下顎骨　関節突起			
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	歯冠　歯根	21		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	右橈骨　遠位端	1		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	橈骨　遠位端	1		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	右第２・３手根骨	1		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	膝蓋骨	1		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	左果骨	2		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	右第２・３足根骨	1		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	中手骨　掌側	1		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　背側	1		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　滑車	1		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	基節骨　近位端	2		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	基節骨　遠位端	1		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	中節骨　近位端	3		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	中節骨　遠位端	2		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	末節骨	1		
E2-65-00		シカ *Cervus n.y.*	種子骨	1		
E2-65-00		イノシシ *Sus scrofa l.*	左？膝蓋骨	1		
E2-65-00		イノシシ *Sus scrofa l.?*	膝蓋骨？	1		
E2-65-00		イノシシ *Sus scrofa l.*	左距骨	1		
E2-65-00		イノシシ *Sus scrofa l.*	基節骨	1		幼体　近位端を遊離欠損
E2-65-00		ヒグマ *Ursus arctos?*	末節骨	1		
E2-65-00-07	ⅡB－1	シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　近位端	1		
E2-65-00-75	ⅡB－1	シカ *Cervus n.y.*	中足骨　掌側	1		
E2-65-00-75	ⅡB－1	イノシシ *Sus scrofa l.*	左中心足根骨？	1		
E2-65-00-85	ⅡB－1	シカ *Cervus n.y.*	中手骨　掌側	1		
E2-65-02	ⅡB上面	種不明 哺乳類		16		

調査区	層位	動物遺存体	出土部位	数量	重量	他の遺物
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	左膝蓋骨	1		
E₂-65-02	ⅡB－1	種不明 哺乳類		713		土器片, 石器, Flake, 炭化物
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	角片	1		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	歯冠　歯根	119		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	上腕骨　滑車	1		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　掌側	4		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　掌側	1		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	基節骨　遠位端	1		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	中節骨　遠位端	1		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	中節骨　近位端	1		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	末節骨	3		
E₂-65-02		イノシシ *Sus scrofa l.*	歯冠	4		
E₂-65-02	ⅡB－2	種不明 哺乳類		5179		土器片, 石器, Flake, 炭化物, 礫
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	歯冠　歯根	154		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	上腕骨　滑車	2		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	左第２・３手根骨	1		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　背側	2		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　滑車	2		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	中節骨　遠位端	1		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	末節骨	1		
E₂-65-02		イノシシ *Sus scrofa l.*	歯冠　歯根	7		咬耗が進行している
E₂-65-02		イノシシ *Sus scrofa l.*	膝蓋骨	1		大型
E₂-65-02		イノシシ *Sus scrofa l.*	末節骨	2		
E₂-65-02		サケ科 Salmonidae	椎骨	39		
E₂-65-02		骨角器		2		
E₂-65-02	ⅡB－3	種不明 哺乳類		352		石器, Flake
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	胸椎　椎頭	1		切痕あり
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	歯冠　歯根	14		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	左橈側手根骨	1		大型
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	中手骨　掌側	2		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　滑車	1		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	基節骨　近位端	2		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	基節骨　遠位端	1		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	中節骨　近位端	1		
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	中節骨　遠位端	1		切痕あり
E₂-65-02		シカ *Cervus n.y.*	末節骨	2		
E₂-65-02		イノシシ *Sus scrofa l.?*	左橈骨　近位端	1		
E₂-65-02		イノシシ *Sus scrofa l.*	基節骨　遠位端	1		
E₂-65-02		イノシシ *Sus scrofa l.*	中節骨	1		
E₂-65-02		イノシシ *Sus scrofa l.?*	中節骨　近位端	1		
E₂-65-02		イノシシ *Sus scrofa l.*	中節骨　遠位端	1		
E₂-65-02		種不明 鳥類	脛骨　遠位端	1		
E₂-65-02		サケ科 Salmonidae	椎骨	1		
E₂-65-04	ⅡB－1	種不明 哺乳類		4303		
E₂-65-04		シカ *Cervus n.y.*	歯冠	387		
E₂-65-04		シカ *Cervus n.y.*	右下顎骨　下顎連合部	1		
E₂-65-04		シカ *Cervus n.y.*	中手骨　掌側	1		
E₂-65-04		シカ *Cervus n.y.*	末節骨	1		
E₂-65-04		イノシシ *Sus scrofa l.*	歯冠　歯根	17		
E₂-65-04		サケ科 *Salmonidae*	椎骨	2		
E₂-65-04		コイ科 *Cyprinidae*	椎骨	2		
E₂-65-04		垂飾		1		シカ中手・中足骨素材
E₂-65-04	ⅡB-1焼土№7	シカ *Cervus n.y.*	角片	1		
E₂-65-04		シカ *Cervus n.y.*	左中心・第４足根骨	1		
E₂-65-04		シカ *Cervus n.y.*	中手骨　掌側	1		
E₂-65-04		イノシシ *Sus scrofa l.*	基節骨　近位端	1		
E₂-65-04	ⅡB－2	種不明 哺乳類		2171		被熱
E₂-65-04		シカ *Cervus n.y.*	歯冠	209		
E₂-65-04		シカ *Cervus n.y.*	距骨　足根骨間接面	1		
E₂-65-04		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　掌側	1		
E₂-65-04		シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　滑車	1		
E₂-65-04		シカ *Cervus n.y.*	基節骨　近位端	1		
E₂-65-04		シカ *Cervus n.y.*	基節骨　遠位端	1		
E₂-65-04		イノシシ *Sus scrofa l.?*	歯冠？	1		
E₂-65-04		イノシシ *Sus scrofa l.*	左尺骨　滑車切痕	1		
E₂-65-04		イノシシ *Sus scrofa l.*	中節骨　遠位端	1		

調査区	層　位	動物遺存体	出土部位	数量	重量	他の遺物
E₂-65-04		サケ科 Salmonidae	歯	2		
E₂-65-04	ⅡB－?	種不明 哺乳類		255		被熱
E₂-65-04		シカ *Cervus n.y.*	左肩甲骨　前縁	1		細かい擦痕あり
E₂-65-04		シカ *Cervus n.y.*	脛骨	1		
E₂-65-04		シカ *Cervus n.y.*	左中心・第４足根骨	1		
E₂-65-04		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　掌側	1		
E₂-65-04		シカ *Cervus n.y.*	右膝蓋骨	1		
E₂-65-04		イノシシ *Sus scrofa l.?*	右脛骨　前縁？	1		
E₂-65-04		イノシシ *Sus scrofa l.*	末節骨	1		
E₂-65-11	ⅡB－1	種不明 哺乳類		9452	556	被熱　土器片, Flake, 炭化物, 赤色顔料
E₂-65-11		イヌ科 *Canidae*	基節骨	1		
E₂-65-11		イヌ科 *Canidae*?	第１仙椎	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	歯冠　歯根	122		被熱なし
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	側頭骨　岩様部	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*?	尺骨　滑車切痕一部	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	左？尺骨	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	左橈骨　近位端	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	左脛骨　遠位端	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	右距骨　中心足根骨関節面	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	右距骨　距骨滑車(脛骨関節面)	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	左第・３足根骨	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	基節骨　近位端	4		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	基節骨　遠位端	5		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	中節骨　近位端	6		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	中節骨　遠位端	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	末節骨	3		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	右中手骨　第４中手骨近位端外側	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	右中手骨　近位端	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	中手骨　掌側	6		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　背側	2		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　掌側	6		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　背側	4		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　滑車	4		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	右第２・３足根骨	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	左中心・第４足根骨	2		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.?*	膝蓋骨	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	右果骨	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	腰椎　椎窩	1		
E₂-65-11		イノシシ *Sus scrofa l.*	左尺骨　滑車切痕部	1		
E₂-65-11		イノシシ *Sus scrofa l.*	右第３中手骨　近位端	1		
E₂-65-11		イノシシ *Sus scrofa l.*	第３中手骨？　遠位端	1		中足骨？
E₂-65-11		イノシシ *Sus scrofa l.*	基節骨？　遠位端	1		
E₂-65-11		イノシシ *Sus scrofa l.*	末節骨	3		
E₂-65-11		イノシシ *Sus scrofa l.*	中手・中足骨　遠位端	1		
E₂-65-11		イノシシ *Sus scrofa l.?*	左第３中足骨？　近位端	1		
E₂-65-11		イノシシ？シカ？	右橈骨　遠位端	1		
E₂-65-11		種不明 哺乳類	指趾骨　近位端	1		
E₂-65-11		種不明 鳥類	上腕骨　遠位端	1		
E₂-65-11		サケ科 Salmonidae	椎骨	4		
E₂-65-11		骨角器		1?		
E₂-65-11	ⅡB-2上面	種不明 哺乳類		119		被熱　Flake, 炭化物
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	歯冠	1		被熱なし
E₂-65-11		サケ科 Salmonidae	椎骨	1		
E₂-65-11	ⅡB－2	種不明 哺乳類		8211		被熱
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	胸椎　左後関節突起	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	歯冠	159		被熱なし
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	左第２・３手根骨	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	左脛骨　外側顆	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	距骨　焼骨関節面	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	右第２・３足根骨	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	右中心・第４足根骨	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.?*	左中心・第４足根骨？	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	左中手骨　近位端	2		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	右中手骨　近位端	1		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	中手骨　掌側	3		
E₂-65-11		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　掌側	1		

調査区	層　位	動物遺存体	出土部位	数量	重量	他の遺物
E_2-65-11		シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　滑車	3		
E_2-65-11		シカ *Cervus n.y.*	基節骨　近位端	1		
E_2-65-11		シカ *Cervus n.y.*	中節骨　遊離近位端	1		
E_2-65-11		シカ *Cervus n.y.*	末節骨	1		
E_2-65-11		イノシシ *Sus scrofa l.*	臼歯　歯冠	1		
E_2-65-11		イノシシ *Sus scrofa l.*	左尺骨　滑車切痕	1		若獣以上
E_2-65-11		イノシシ *Sus scrofa l.*	基節骨　近位端	1		
E_2-65-11		イノシシ *Sus scrofa l.*	中節骨	1		
E_2-65-11		イノシシ *Sus scrofa l.*	中節骨　遊離近位端	1		
E_2-65-11		イノシシ *Sus scrofa l.*	末節骨	1		
E_2-65-11		イノシシ *Sus scrofa l.*	末節骨　近位端	1		
E_2-65-11		サケ科 Salmonidae		4		
E_2-65-11	ⅡB－3	種不明 哺乳類		1182		被熱
E_2-65-11		哺乳類(被熱なし)		3		被熱なし
E_2-65-11		種不明 哺乳類	指趾骨　近位端	1		
E_2-65-11		シカ *Cervus n.y.*	左中足骨　近位端外側	1		
E_2-65-11		シカ *Cervus n.y.*	種子骨	1		
E_2-65-11		イノシシ *Sus scrofa l.*	左橈骨　遊離遠位端	1		
E_2-65-11		イノシシ *Sus scrofa l.*	末節骨	1		
E_2-65-11		イノシシ *Sus scrofa l.?*	中手・中足骨？　遠位端	1		
E_2-65-11		コイ科　Cyprinidae	椎骨	1		
E_2-65-14	ⅡB－1	種不明 哺乳類		5717		被熱　土器片, Flake, 炭化物, 礫
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*？	側頭骨　岩様部	1		
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*	歯冠	797		被熱なし
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*	左尺骨　滑車切痕	1		
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*	距骨　脛骨関節面	1		
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　掌側	4		
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　背側	1		
E_2-65-14		イノシシ *Sus scrofa l.*	歯冠	1		被熱なし
E_2-65-14		イノシシ *Sus scrofa l.*	右尺骨　滑車切痕	1		
E_2-65-14		サケ科 Salmonidae	椎骨	14		
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*	種子骨	1		
E_2-65-14	ⅡB－2	種不明 哺乳類		1287		被熱
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*	歯冠	161		被熱なし
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*	末節骨	1		
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*	右中心・第４足根骨	1		
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　掌側	4		
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　近位端	1		
E_2-65-14		イノシシ *Sus scrofa l.*	歯冠	5		被熱なし
E_2-65-14	ⅡB－3	種不明 哺乳類		225		
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*	歯冠	35		被熱なし
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*	上腕骨　滑車	1		
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*	左橈骨　外側	1		
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*	右中手骨　近位端	1		
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*	中手骨　掌側	1		
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*	基節骨　近位端	1		
E_2-65-14		シカ *Cervus n.y.*	種子骨	2		
E_2-65-14		イノシシ *Sus scrofa l.*	歯冠	4		
E_2-65-15	ⅡB－1	種不明 哺乳類		326	53.8	被熱　土器片, Flake, 炭化物
E_2-65-15		シカ *Cervus n.y.*	歯冠	9	0.1	被熱なし
E_2-65-15		シカ *Cervus n.y.*	種子骨	1		
E_2-65-15		シカ *Cervus n.y.*	角片	1		
E_2-65-15		シカ *Cervus n.y.*？	中手・中足骨　滑車	1		
E_2-65-15		イノシシ *Sus scrofa l.*	中節骨	1	0.3	
E_2-65-15		イノシシ *Sus scrofa l.?*	中手・中足骨　遠位端	1		
E_2-65-15		シカ？イノシシ？	指趾骨	5		
E_2-65-15		コイ科 Cyprinidae	椎骨	1		
E_2-65-15	ⅡB－2	種不明 哺乳類		205	49.8	被熱　土器片, Flake, 炭化物
E_2-65-15		シカ *Cervus n.y.*	種子骨	1		
E_2-65-15		シカ *Cervus n.y.*	上腕骨　遠位滑車外側より	1		
E_2-65-15		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　掌側	1		
E_2-65-15		シカ *Cervus n.y.*	歯冠	13	0.3	
E_2-65-15		イノシシ *Sus scrofa l.*	左橈骨遊離遠位端	1		骨端末癒着
E_2-65-15		シカ？イノシシ？	指趾骨近位端	1		
総　計				65,368		

表４　千歳市美々４遺跡出土動物遺存体（遺構）

竪穴住居

遺構名	覆土層位	動物遺存体	出土部位	数量	重量	他の遺物
ⅠH－1	床面	種不明 哺乳類		370		土器片, Flake
ⅠH－1	床面	シカ *Cervus n.y.*	歯冠	1		
ⅠH－1	床面	シカ *Cervus n.y.*	右尺骨　滑車切痕	1		
ⅠH－1	床面	シカ *Cervus n.y.*	末節骨　近位端	1		
ⅠH－1	トレンチ１覆土	種不明 哺乳類		15		
ⅠH－1	トレンチ２覆土	種不明 哺乳類		9		
ⅠH－1	トレンチ３覆土	種不明 哺乳類		207		
ⅠH－1	トレンチ３覆土	シカ *Cervus n.y.*	上腕骨　滑車	1		
ⅠH－1	トレンチ３覆土	シカ *Cervus n.y.*	基節骨　遠位端	1		
ⅠH－1	トレンチ３覆土	シカ *Cervus n.y.*	末節骨	1		
ⅠH－1	トレンチ３覆土	シカ *Cervus n.y.*	種子骨	2		
ⅠH－1	トレンチ３覆土	イノシシ *Sus scrofa l.*	末節骨	1		
ⅠH－1	トレンチ３覆土	種不明 魚類		1		
ⅠH－1	トレンチ４覆土	種不明 哺乳類		19		
ⅠH－1	トレンチ５覆土	種不明 哺乳類		57		
ⅠH－1	トレンチ６覆土	種不明 哺乳類		23		
ⅠH－1	東西ベルト	種不明 哺乳類		24		礫
ⅠH－1	覆土	種不明 哺乳類		109		
ⅠH－1	覆土	シカ *Cervus n.y.*	基節骨　近位端	1		
ⅡH－2	覆土	シカ *Cervus n.y.*	中足骨？　掌側	1		
ⅡH－2	覆土	イノシシ *Sus scrofa l.?*	犬歯？	1		
ⅡH－2	覆土	ヒグマ *Ursus arctos?*	末節骨？	1		
ⅡH－4	覆土	種不明 哺乳類		25		
ⅡH－5	覆土	シカ *Cervus n.y.*	歯冠　歯根	17		
ⅡH－5	覆土	種不明 哺乳類		18		
ⅡH－7	覆土D	シカ *Cervus n.y.*	右脛骨　近位骨幹外側	1		
ⅡH－7	覆土D	シカ *Cervus n.y.?*	橈骨？　背側	1		
ⅡH－7	覆土D	シカ *Cervus n.y.*	歯冠	2		
ⅡH－7	覆土D	シカ *Cervus n.y.*	中手骨　背側	1		
ⅡH－7	トレンチ	シカ *Cervus n.y.*	右膝蓋骨	1		
ⅡH－7	トレンチ	シカ *Cervus n.y.*	右中心足根骨	1		
ⅡH－7	トレンチ	シカ *Cervus n.y.*	中節骨　遠位端	1		
ⅡH－7	トレンチ	シカ *Cervus n.y.*	末節骨	2		
ⅡH－7	トレンチ	シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　背側	1		
ⅡH－10	ⅡB－1	シカ *Cervus n.y.*	歯冠	3		
ⅡH－10	ⅡB－1トレンチ	シカ *Cervus n.y.*	歯根	1		
ⅡH－11	ⅡB２	シカ *Cervus n.y.*	左脛骨　遠位ラセン	1		
ⅡH－11	ⅡB２	種不明 哺乳類		29		
ⅡH－13	覆土	種不明 哺乳類		1		
総　計				953		

土　坑

遺構名	覆土層位	動物遺存体	出土部位	数量	重量	他の遺物
ⅡP－2		種不明 哺乳類		3		
ⅡP－3	壙底直上	種不明 哺乳類		24		
ⅡP－4	壙底直上	種不明 哺乳類		28		
ⅡP－5	覆土	種不明 哺乳類		25		
ⅡP－5	覆土	種不明 哺乳類		4		
ⅡP－5	焼土上面	種不明 哺乳類		78		炭化物
ⅡP－6	上面焼土	種不明 哺乳類	肋骨ほか	101		炭化物
ⅡP－6	上面焼土	種不明 哺乳類		6		被熱なし
ⅡP－6	焼土下	種不明 哺乳類		22		炭化物
ⅡP－6	覆土	種不明 哺乳類		26		
ⅡP－7	覆土	種不明 哺乳類		35		炭化物
ⅡP－7		シカ *Cervus n.y.*	種子骨	1		
ⅡP－8	覆土	種不明 哺乳類		4		
ⅡP－11	覆土	種不明 哺乳類		177		
ⅡP－11		シカ *Cervus n.y.*	中手・中足骨　背側	2		
ⅡP－11		シカ *Cervus n.y.*	中足骨　掌側４分の１縦割	1		
ⅡP－11		シカ *Cervus n.y.*	基節骨　近位端	2		
ⅡP－11		シカ *Cervus n.y.*	中節骨　近位端	1		
ⅡP－11		シカ *Cervus n.y.*	末節骨　近位端	1		
総　計				541		

3　美々４遺跡出土炭化木材の樹種同定結果

㈶北海道埋蔵文化財センター　田口　尚・岡本育子

美々４遺跡の住居跡ⅡＨ－７床面から出土した炭化木材１点について樹種同定を行った。同定依頼の試料は完全に炭化していたが、強化せずに土壌ごと採集されたものであり、かなり細かく砕けていた。また、十分な乾燥を行わないままコンテナに保管されていたことからカビが発生していた。

試料の作製、識別方法および得られた識別結果は以下のとおりである。

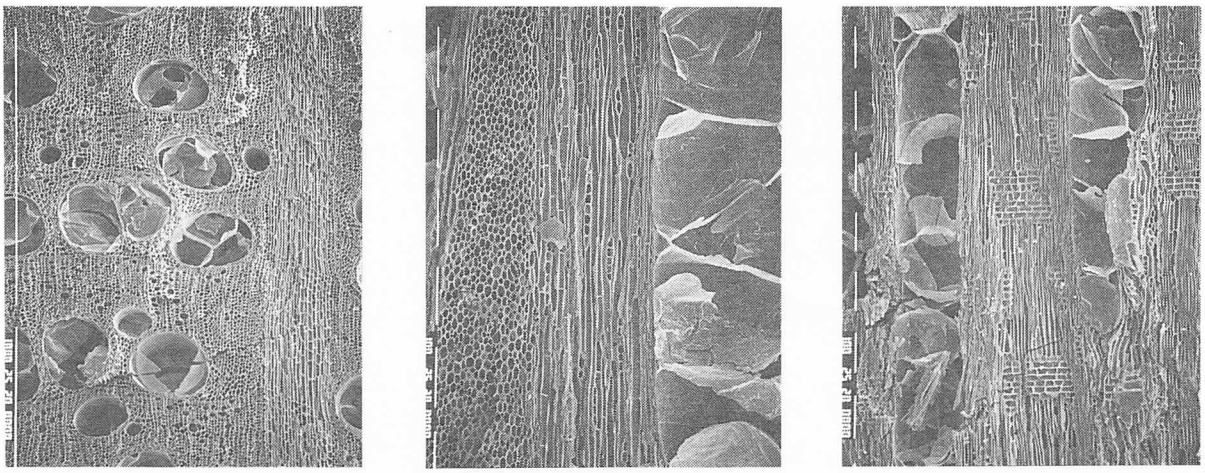
１．試料および識別方法

まず、変形が少なく土の付着していない大きめの破片から小片をとり、よく乾燥させた。次に組織を実体顕微鏡（ニコン―SMZ―10）において確認しながら、両刃カミソリでわずかに切り込みを入れて割裂し、木口面、板目面、柾目面をそれぞれ露出させた３ブロックで採取し、５mm角に整形した。試料は１ブロック毎に導電性接着剤（ドータイト）で試料台に固定したのち、イオンスパッタリング装置（JEOL―JFC―1100）で金（Au）のコーティング（1.2kv、８mA、５分２回）を施し、走査電子顕微鏡（JEOL―JTM―T200）で観察し、識別を行った。

２．結果

環孔材である。孔圏外の道管は急に大きさを減じている。孔圏部の大道管にはチロースが認められる。放射組織は、単列と広放射組織のみからなり、同性である。道管要素は単せん孔をもつ。これらの特徴から、コナラ属（*Quercus*）であると判断した。道産材では、ミズナラ、カシワ、コナラが推定される。

以下、観察時に撮影した各断面の顕微鏡写真を示す。



木口目　×36　　板目面　×80　　柾目面　×50

図Ⅴ－４　出土炭化木材断面の顕微鏡写真

4　美々４遺跡の^{14}Ｃ年代測定結果

京都産業大学理学部　山田　　治

表５　美々４遺跡の^{14}Ｃ年代測定結果

試料番号	試料採取地点・層位	試料名	^{14}Ｃ年代
KSU－2651	ⅡH－7 床面	炭	3360±30
KSU－2652	E_2-65-10 ⅡB－2	炭	3180±20
KSU－2653	E_2-65-10 ⅡB－2	獣骨	2800±120

5　美々４遺跡出土の黒曜石製遺物の原材産地分析

藁科　哲男、東村　武信
（京都大学原子炉実験所）

はじめに

石器石材の産地を自然科学的な手法を用いて、客観的に、かつ定量的に推定し、古代の交流、交易および文化圏、交易圏を探ると言う目的で、蛍光X線分析法によりサヌカイトおよび黒曜石遺物の石材産地推定を行っている[1,2,3]。

黒曜石、サヌカイトなどの主成分組成は、原産地ごとに大きな差はみられないが、不純物として含有される微量成分組成には異同があると考えられるため、微量成分を中心に元素分析を行い、これら産地を特定する指標とした。分類の指標とする元素組成を遺物について求め、あらかじめ、各原産地ごとに数十個の原石を分析して求めておいた各原石群の元素組成の平均値、分散などと遺物のそれを対比して産地を推定する。この際多変量解析の手法を用いて、各産地に帰属される確率を求めて産地を同定する。

蛍光X線分析法は試料を破壊せずに分析することができて、かつ、試料調整が単純、測定の操作も簡単である。石器のような古代人の日用品で多数の試料を分析しなければ遺跡の正しい性格が分からないという場合にはことさら有利な分析法である。今回分析を行なった試料は、千歳市美々４遺跡出土の31個の黒曜石製遺物で、産地分析の結果が得られたので報告する。

黒曜石原石の分析

黒曜石原石の風化面を打ち欠き、新鮮面を出し、塊状の試料を作り、エネルギー分散型蛍光X分析装置によって元素分析を行う。主に分析した元素はK、Ca、Ti、Mn、Fe、Rb、Sr、Y、Zr、Nbの各元素である。塊試料の形状差による分析値への影響を打ち消すために元素量の比を取り、それでもって産地を特定する指標とした。黒曜石は、Ca/K、Ti/k、Mn/Zr、Fe/Zr、Rb/Zr、Sr/Zr、Y/Zr、Nb/Zrの比量をそれぞれ用いる。

黒曜石の原産地は北海道、東北、北陸、東関東、中信高原、伊豆箱根、伊豆七島の神津島、山陰、九州の各地に黒曜石の原産地は分布する。調査を終えた原産地を図１に示す。黒曜石原産地のほとんどすべてがつくされている。元素組成の上から、これら原石を分類すると表１に示すように99個の原石群に分かれる。

ここでは北海道地域および一部の東北地域の産地について記述すると、白滝地域の原産地は、北海道紋別郡白滝村に位置し、鹿砦北方２kmの採石場の露頭、鹿砦東方約２kmの幌加沢地点、また白土沢などより転礫として黒曜石が採取できる。この露頭からの黒曜石原石は白滝第一群にまとまり、白土沢の転礫は白滝第二群にまとまる。幌加沢よりの転礫の中で、70%は幌加沢群にまとまるが、この群は白滝第二群と一致し、元素組成から両群を区別できない。さらに、幌加沢産原石の30%は白滝第一群に一致する。置戸産原石は、北海道常呂郡置戸町の清水の沢林道より採取され、この原石の元素組成は置戸群にまとまる。この原産地は、常呂川に通じる流域にあり、この常呂川流域で黒曜石の円礫が採取されるが現在まだ調査していない。十勝三股産原石は、北海道河東郡上士幌町の十勝三股の十三の沢の谷筋および沢の中より原石が採取され、この原石の元素組成は十勝三股群にまとまる。この十勝三股産原石は十三の沢から音更川さらに十勝川に流れた可能性があり、十勝川から採取される黒

曜石円礫の組成は、十勝三股産の原石の組成と相互に近似している。また、上士幌町のサンケオルベ川より採取される黒曜石円礫の組成も十勝三股産原石の組成と相互に近似している。これら組成の近似した原石の原産地は区別できず、遺物石材の産地分析でたとえ、この遺物の原石産地が十勝三股群に同定されたとしても、これら十勝三股、音更川、十勝川、サンケオルベ川の複数の地点を考えなければならない。しかし、この複数の産地をまとめて、十勝地域としても、古代の地域間の交流を考察する場合、問題ないと考えられる。また、清水町、新得町、鹿追町にかけて広がる美蔓台地から産出する黒曜石から２個の美蔓原石群が作られた。この原石は産地近傍の遺跡で使用されている。名寄市の智南地域、智恵文川および忠烈布貯水池から上名寄にかけて黒曜石の円礫が採集される。これを組成で分類すると88%は名寄第１群に、また12%は名寄第２群にそれぞれなる。旭川市の近文台、嵐山遺跡付近および雨文台北部などから採集される黒曜石の円礫は、20%が近文台第１群、69%が近文台第２群、11%が近文台第３群それぞれ分類された。また、滝川市江別乙で採集される親指大の黒曜石の礫は、組成で分類すると約79%が滝川群にまとまり、21%が近文台第２、３群に組成が一致する。滝川群に一致する組成の原石は、北竜市恵袋別川培本社からも採取される。秩父別町の雨竜川に開析された平野を見下す丘陵中腹の暖斜面から小円礫の黒曜石原石が採取される。産出状況とか礫状は滝川産黒曜石と同じで、秩父別第１群は滝川第１群に組成が一致し、第２群も滝川第２群に一致しさらに近文台第２群にも一致する。赤井川産原石は、北海道余市郡赤井川村の土木沢上流域およびこの付近の山腹より採取できる。ここの原石には、少球果の列が何層にも重なり石器の原材として良質とはいえないものが多く、稀に球果の見られない、またあっても非常に少ない握り拳半分大の良質な原石が少数みられた。これら原石の元素組成は赤井川群にまとまる。豊泉産原石は豊浦町から産出し使用圏は道南地方に広がり、一部は青森県に伝播している。出来島群は青森県西津軽郡木造町七里長浜の海岸部より採取された円礫の原石で作られた群で、この出来島群と相互に似た組成の原石は、岩木山の西側を流れ鯵ケ沢地区に流入する中村川の上流で１点採取され、また、青森市の鶴ケ坂および西津軽郡森田村鶴ばみ地区より採取されている。深浦群は青森県西津軽郡深浦町の海岸とか同町の六角沢およびこの沢筋に位置する露頭より採取された原石で作られた群である。深浦群と相互に似た群は青森市戸門地区より産出する黒曜石で作られた戸門第２群である。戸門第１群は赤井川産原石と弁別は可能であるが両産地の原石の組成は比較的似ている。戸門産黒曜石の産出量は非常に少なく、また大きさも石鏃が作れる程度である。

結果と考察

遺跡から出土した石器、石片は風化しているが、黒曜石製のものは風化に対して安定で、表面に薄い水和層が形成されているにすぎないため、表面の泥を水洗するだけで完全な非破壊分析が可能であると考えられる。産地分析で水和層の影響は、軽い元素の分析ほど大きいと考えられるが、影響はほとんど見られない。Ca/K、Ti/kの両軽元素比重を覗いて産地分析を行った場合、また除かずに産地分析を行った場合同定される原産地に差はない。他の元素比重についても風化の影響を完全に否定することができないので、得られた確率の数値にはやや不確実さを伴うが、遺物の石材産地の判定を誤るようなことはない。

今回分析した美々４遺跡の遺物の結果を表７にそれぞれ示した。

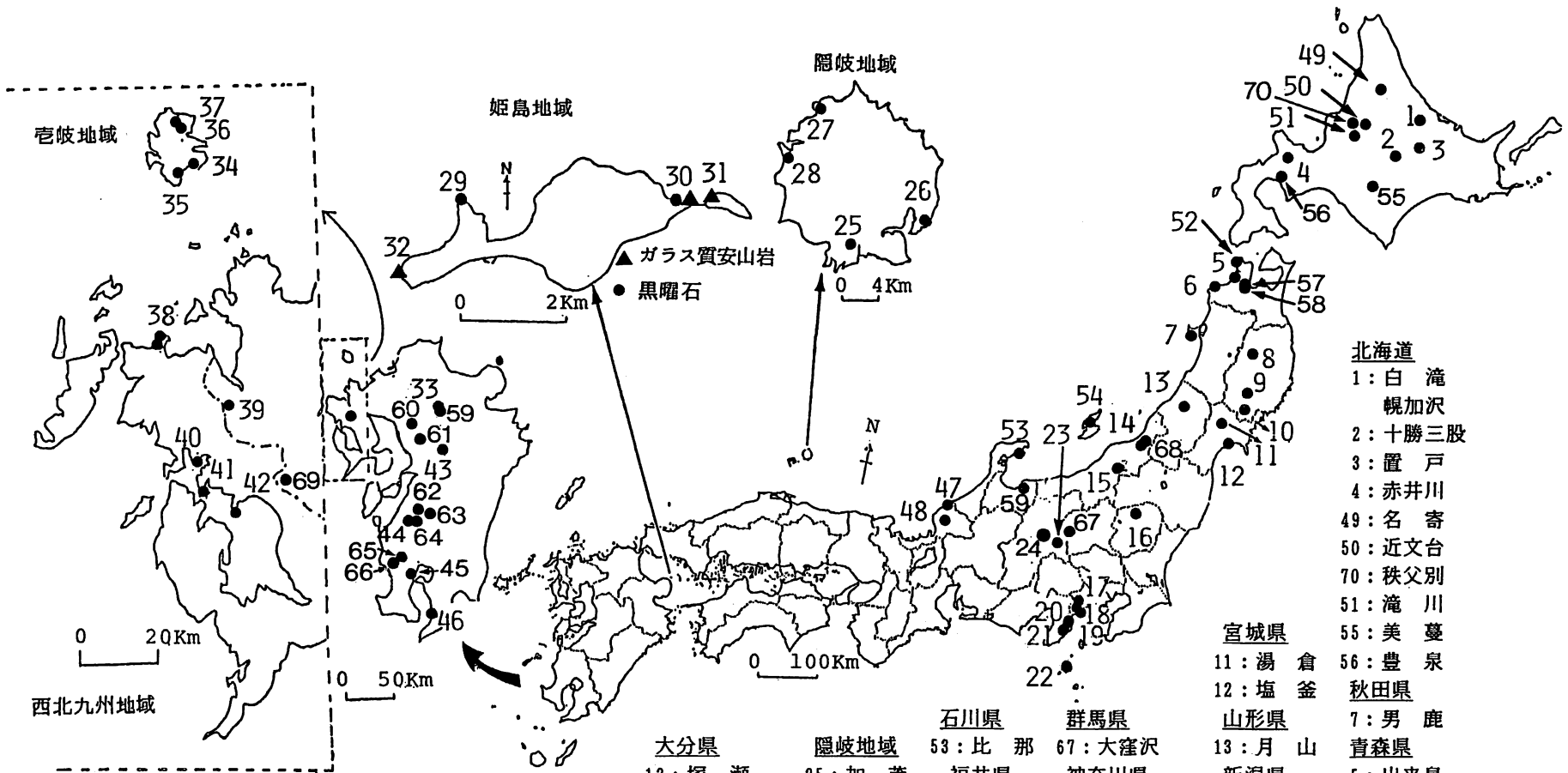
石器の分析結果から石材産地を同定するためには数理統計の手法を用いて原石群との比較をする。説明を簡単にするためRb/Zrの一変量だけを考えると、表７の試料番号46694番の遺物ではRb/Zrの値は0.916で、赤井川群の［平均値］±［標準偏差値］は、0.969±0.060である。遺物と原石群の差

を標準偏差値（σ）を基準にして考えると遺物は原石群から0.9σ離れている。ところで赤井川原産地から100ヶの原石を採ってきて分析すると、平均値から±0.9σのいずれより大きいものが37個ある。すなわち、この遺物が、赤井川群の原石から作られていたと仮定しても、0.9σ以上離れる確率は37%であると言える。だから、赤井川群の平均値から0.9σしか離れていないときには、この遺物が赤井川群の原石から作られたものでないとは、到底言い切れない。ところがこの遺物を白滝第１群に比較すると、白滝第１群の平均値からの隔たりは、約13σである。これを確率の言葉で表現すると、白滝第１群の原石を採ってきて分析したとき、平均値から13σ以上離れている確率は、十兆分の一であると言える。このように、十兆個に一個しかないような原石をたまたま採取して、この遺物が作られたとは考えられないから、この遺物は、白滝第１群の原石から作られたものではないと断定できる。これらのことを簡単にまとめて言うと、「この遺物は赤井川群に37%、白滝第１群に千億分の一%の確率でそれぞれ帰属される」。各遺跡の遺物について、この判断を表６のすべての原石群について行い、低い確率で帰属された原産地を消していくと残るのは、赤井川群だけとなり、赤井川産地の石材が使用されていると判定される。実際はRb/Zrといった唯１ヶの変量だけでなく、前述した５ヶの変量で取り扱うので変量間の相関を考慮しなければならない。例えばＡ原産地のＡ群で、Ca元素とRb元素との間に相関があり、Caの量を計ればRbの量は分析しなくても分かるようなときは、Ａ群の石材で作られた遺物であれば、Ａ群と比較したとき、Ca量が一致すれば当然Rb量も一致するはずである。したがって、もしRb量だけが少しずれている場合には、この試料はＡ群に属していないと言わなければならない。このことを数量的に導き出せるようにしたのが相関を考慮した多変量統計の手法であるマハラノビスの距離を求めて行うホテリングのT^{2}検定である。これによって、それぞれの群に帰属する確率を求めて産地を同定する[4,5]。産地の同定結果は１個の遺物に対して、黒曜石製では99個の推定確率結果が得られている。今回産地分析を行った遺物の産地推定結果については低い確率で帰属された原産地の推定確率は紙面の都合上記入を省略し、高い確率で同定された産地のみの結果を表８に記入した。原石群を作った原石試料は直径３㎝以上であるが、多数の試料を処理するために、小さな遺物試料の分析に多くの時間をかけられない事情があり、短時間で測定を打ち切る。このため、得られた遺物の測定値には、大きな誤差範囲が含まれ、ときには、原石群の元素組成のバラツキの範囲を越えて大きくなる。したがって、小さな遺物の産地推定を行ったときに、判定の信頼限界としている0.1%に達しない確率を示す場合が比較的多くみられる。この場合には、原石産地（確率）の欄の確率値に替えて、マハラノビスの距離D^{2}の値を記した。この遺物については、記入されたD^{2}の値が原石群の中で最も小さなD^{2}値で、この値が小さい程、遺物の元素組成はその原石群の組成と似ていると言えるため、推定確率は低いが、そこの原石産地と考えてほぼ間違いないと判断されたものである。赤井川および十勝産原石を使用した遺物の判定は複雑である。これは青森市戸門地区より産出する黒曜石の組成は、青森県の深浦群に似る戸門第２群と北海道の赤井川および十勝三股群に似る組成の戸門第１群で構成されているために、統計処理により同定される原石群が戸門原産地と赤井川または十勝産地、またこれら３ヶ所の原産地に同時に同定される場合がしばしば見られる。戸門産地の原石が使用されたか否かは、一遺跡で多数の遺物を分析し戸門第１群と第２群に同定される頻度を求め、これを戸門産地における第１群（50%）と第２群（50%）の産出頻度と比較し戸門産地の原石である可能性を推定する。今回分析した遺物のなかに全く戸門第２群に帰属される遺物が見られないことから戸門産地からの原石は使用されなかったと推測できる。分析した美々４遺跡の中で各原産地別の使用頻度を見ると赤井川産が74%（23個）で最も多く、次に置戸産で10%（３個）、白滝産および十勝産はそれぞれ６%（２個）で、産地が特定されなかった遺物は１個であっ

た。産地が特定できない理由として、未発見の原産地の黒曜石が使用された場合および遺物試料が小さすぎる、薄すぎるなどで分析精度が悪い、また表面の風化が激しい部分を分析したため分析値が新鮮面の結果と大きく異なった場合などで、この１個の遺物は表面が汚染したり、厚く風化していたなどのため原石産地が特定できなかったと推測した（表４）。これら分析した石鏃形態ごとの産地別使用頻度をみると赤井川産原石の中では長三角太基部形が最も多く、次に反身形が多く使用されている。他の産地については使用頻度が少なく正確な頻度を求めることができないが、今後分析個数を増やし頻度を確定することにより、石器の流通とか形態の伝播などに関する情報が得られると推測できる。

参考文献

１）藁科　哲男・東村　武信（1975)、蛍光Ｘ線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定（Ⅱ)。考古学と自然科学、８：61-69
２）藁科　哲男・東村　武信・鎌木義昌（1977)、(1978)、蛍光Ｘ線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定（Ⅲ)。(Ⅳ)。考古学と自然科学、10，11：53-81：33-47
３）藁科　哲男・東村　武信（1983)、石器原材の産地分析、考古学と自然科学、16：59-89
４）東村　武信（1976)、産地推定における統計的手法。考古学と自然科学、９：77-90
５）東村　武信（1990)、考古学と物理化学、学生社



西北九州地域
69：椎葉川

長崎県
38：松　浦
40：淀　姫
41：中町、古里
42：大　崎

佐賀県
39：腰　岳

壱岐地域
34：久喜ノ辻
35：君ケ浦
36：角　川
37：貝　畑

鹿児島県
44：出　水
（日　東）
64：五女木
65：上牛鼻
66：平木場
45：竜ケ水
46：長　谷

大分県
13：塚　瀬

熊本県
59：小　国
60：南　関
61：　轟
43：冠ケ岳
62：白　浜

宮崎県
63：桑ノ木津留

隠岐地域
25：加　茂
26：津　井
27：久　見
28：福　浦

姫島地域
29：観音崎
30：両　瀬
31：稲　積
32：オイ崎

石川県
53：比　那

福井県
47：安　島
48：三里山

長野県
23：霧ケ峰
男女倉
和田峠
24：麦草峠
双子池

群馬県
67：大窪沢

神奈川県
17：箱根・笹塚
18：〃　・畑宿

静岡県
19：鍛冶屋
20：上多賀
21：柏峠西

富山県
59：魚　津

宮城県
11：湯　倉
12：塩　釜

山形県
13：月　山

新潟県
54：佐　渡
68：上石川
14：板　山
15：大白川

栃木県
16：高原山

東京都
22：神津島

北海道
1：白　滝
幌加沢
2：十勝三股
3：置　戸
4：赤井川
49：名　寄
50：近文台
70：秩父別
51：滝　川
55：美　蔓
56：豊　泉

秋田県
7：男　鹿

青森県
5：出来島
6：深　浦
52：折腰内
57：戸　門
58：鶴ケ坂

岩手県
8：雫　石
9：折　居
10：花　泉

図Ⅴ－5　黒曜石原産地

表6－1　各黒耀石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地	原石群名	分析個数	Ca/K $\bar{X}\pm\sigma$	Ti/K $\bar{X}\pm\sigma$	Mn/Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Fe/Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Rb/Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Sr/Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Y/Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Nb/Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Al/K $\bar{X}\pm\sigma$	Si/K $\bar{X}\pm\sigma$
北海道	名寄第一	114	0.478±0.011	0.121±0.005	0.035±0.007	2.011±0.063	0.614±0.032	0.574±0.022	0.120±0.017	0.024±0.016	0.033±0.002	0.451±0.010
	〃 第二	12	0.315±0.011	0.106±0.003	0.023±0.005	1.796±0.070	0.692±0.043	0.264±0.017	0.293±0.018	0.039±0.020	0.029±0.002	0.401±0.010
	白滝第一	130	0.173±0.014	0.061±0.003	0.079±0.013	2.714±0.142	1.340±0.059	0.283±0.019	0.341±0.030	0.073±0.026	0.028±0.002	0.374±0.010
	幌加沢	23	0.139±0.009	0.023±0.001	0.099±0.015	2.975±0.102	1.794±0.077	0.104±0.010	0.470±0.037	0.103±0.027	0.027±0.002	0.369±0.007
	白滝第二	27	0.138±0.004	0.021±0.002	0.102±0.015	3.049±0.181	1.855±0.088	0.097±0.016	0.492±0.039	0.107±0.019	0.027±0.002	0.368±0.006
	近文台第一	30	0.819±0.013	0.165±0.006	0.081±0.010	3.266±0.117	0.604±0.031	0.941±0.030	0.165±0.020	0.039±0.016	0.039±0.002	0.457±0.008
	〃 第二	107	0.517±0.011	0.099±0.005	0.067±0.090	2.773±0.097	0.812±0.037	0.818±0.034	0.197±0.024	0.041±0.019	0.035±0.002	0.442±0.009
	〃 第三	17	0.514±0.012	0.098±0.005	0.066±0.014	2.765±0.125	0.814±0.068	0.815±0.042	0.199±0.039	0.078±0.008	0.034±0.002	0.443±0.011
	秩父別第一	51	0.249±0.017	0.122±0.006	0.078±0.011	1.614±0.068	0.995±0.037	0.458±0.023	0.235±0.024	0.023±0.021	0.022±0.004	0.334±0.013
	〃 第二	25	0.506±0.016	0.098±0.005	0.070±0.011	2.750±0.099	0.805±0.042	0.808±0.032	0.197±0.026	0.027±0.016	0.027±0.003	0.371±0.010
	滝川第一	31	0.253±0.018	0.122±0.006	0.077±0.009	1.613±0.090	1.017±0.045	0.459±0.025	0.233±0.029	0.038±0.018	0.025±0.003	0.370±0.023
	〃 第二	15	0.510±0.015	0.098±0.005	0.068±0.009	2.740±0.072	0.802±0.019	0.812±0.019	0.192±0.026	0.032±0.023	0.030±0.004	0.393±0.031
	置戸	65	0.326±0.008	0.128±0.005	0.045±0.008	1.813±0.062	0.824±0.034	0.454±0.020	0.179±0.023	0.044±0.020	0.030±0.002	0.412±0.010
	十勝三股	60	0.256±0.018	0.074±0.005	0.068±0.010	2.281±0.087	1.097±0.055	0.434±0.023	0.334±0.029	0.064±0.025	0.029±0.002	0.396±0.013
	美蔓第一	41	0.499±0.020	0.124±0.007	0.052±0.010	2.635±0.181	0.802±0.061	0.707±0.044	0.199±0.029	0.039±0.023	0.033±0.002	0.442±0.015
	〃 第二	28	0.593±0.036	0.144±0.012	0.056±0.010	3.028±0.251	0.762±0.040	0.764±0.051	0.197±0.026	0.038±0.022	0.034±0.002	0.449±0.009
	赤井川	50	0.254±0.029	0.070±0.004	0.086±0.010	2.213±0.104	0.969±0.060	0.428±0.021	0.249±0.024	0.058±0.023	0.027±0.002	0.371±0.009
	豊泉	75	0.473±0.019	0.148±0.007	0.060±0.015	1.764±0.072	0.438±0.027	0.607±0.028	0.157±0.020	0.025±0.017	0.032±0.002	0.469±0.013
青森県	折腰内	35	0.190±0.015	0.075±0.003	0.040±0.008	1.575±0.066	1.241±0.046	0.318±0.014	0.141±0.033	0.076±0.021	0.024±0.002	0.348±0.010
	出来島	27	0.346±0.022	0.132±0.007	0.231±0.019	2.268±0.085	0.865±0.044	1.106±0.056	0.399±0.038	0.179±0.031	0.038±0.003	0.499±0.013
	深浦	36	0.080±0.008	0.097±0.011	0.013±0.002	0.697±0.021	0.128±0.008	0.002±0.002	0.064±0.007	0.035±0.004	0.026±0.002	0.379±0.010
	戸門第一	28	0.250±0.024	0.069±0.003	0.068±0.012	2.358±0.257	1.168±0.062	0.521±0.063	0.277±0.065	0.076±0.025	0.026±0.002	0.362±0.015
	〃 第二	28	0.084±0.006	0.104±0.004	0.013±0.002	0.691±0.021	0.123±0.006	0.002±0.002	0.069±0.010	0.033±0.005	0.025±0.002	0.369±0.007
	鶴ケ坂	33	0.344±0.017	0.132±0.007	0.232±0.023	2.261±0.143	0.861±0.052	1.081±0.060	0.390±0.039	0.186±0.037	0.037±0.002	0.496±0.018
秋田県	男鹿	43	0.293±0.007	0.087±0.004	0.223±0.015	1.637±0.072	1.512±0.082	0.920±0.054	0.287±0.042	0.125±0.031	0.027±0.002	0.362±0.006
岩手県	雫石	25	0.636±0.033	0.187±0.012	0.052±0.007	1.764±0.061	0.305±0.016	0.431±0.021	0.209±0.016	0.045±0.014	0.041±0.003	0.594±0.014
	折居	22	0.615±0.055	0.180±0.016	0.058±0.007	1.751±0.062	0.306±0.033	0.421±0.051	0.228±0.079	0.045±0.011	0.041±0.005	0.594±0.055
	花泉	30	0.596±0.046	0.177±0.018	0.056±0.008	1.742±0.072	0.314±0.019	0.420±0.025	0.220±0.016	0.044±0.013	0.041±0.003	0.586±0.030
山形県	月山	44	0.285±0.021	0.123±0.007	0.182±0.016	1.906±0.096	0.966±0.069	1.022±0.071	0.276±0.036	0.119±0.033	0.033±0.002	0.443±0.014
新潟県	佐渡第一	34	0.228±0.013	0.078±0.006	0.020±0.005	1.492±0.079	0.821±0.047	0.288±0.018	0.142±0.018	0.049±0.017	0.024±0.004	0.338±0.013
	〃 第二	12	0.263±0.032	0.097±0.018	0.020±0.006	1.501±0.053	0.717±0.106	0.326±0.029	0.091±0.022	0.046±0.015	0.026±0.002	0.338±0.009
	上石川	45	0.312±0.008	0.072±0.003	0.063±0.008	1.900±0.070	0.988±0.050	0.758±0.034	0.186±0.024	0.035±0.024	0.018±0.003	0.263±0.006
	板山	44	0.232±0.011	0.068±0.003	0.169±0.017	2.178±0.110	1.772±0.098	0.772±0.046	0.374±0.047	0.154±0.034	0.027±0.002	0.359±0.009
	大白川	22	0.569±0.012	0.142±0.007	0.033±0.005	1.608±0.049	0.261±0.012	0.332±0.011	0.150±0.015	0.033±0.011	0.036±0.003	0.491±0.014
宮城県	湯倉	21	2.174±0.068	0.349±0.017	0.057±0.005	2.544±0.149	0.116±0.009	0.658±0.024	0.138±0.015	0.020±0.013	0.073±0.003	0.956±0.040
	塩釜	37	4.828±0.395	1.630±0.104	0.178±0.017	11.362±1.150	0.168±0.018	1.298±0.063	0.155±0.016	0.037±0.018	0.077±0.002	0.720±0.032

表６－２　各黒耀石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地	原石群名	分析個数	Ca/K $\bar{X}\pm\sigma$	Ti/K $\bar{X}\pm\sigma$	Mn/Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Fe/Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Rb/Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Sr/Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Y/Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Nb/Zr $\bar{X}\pm\sigma$	Al/K $\bar{X}\pm\sigma$	Si/K $\bar{X}\pm\sigma$
栃木県	高原山	40	0.738±0.067	0.200±0.010	0.044±0.007	2.016±0.110	0.381±0.025	0.502±0.028	0.190±0.017	0.023±0.014	0.036±0.002	0.516±0.012
東京都	神津島第一	56	0.381±0.014	0.136±0.005	0.102±0.011	1.729±0.079	0.471±0.027	0.689±0.037	0.247±0.021	0.090±0.026	0.036±0.003	0.504±0.012
	〃 第二	23	0.317±0.016	0.120±0.008	0.114±0.014	1.833±0.069	0.615±0.039	0.656±0.050	0.303±0.034	0.107±0.026	0.033±0.002	0.471±0.009
神奈川県	箱根・笛塚	30	6.765±0.254	2.219±0.057	0.228±0.019	9.282±0.622	0.048±0.017	1.757±0.061	0.252±0.017	0.025±0.019	0.140±0.008	1.528±0.046
	〃・畑宿	41	2.056±0.064	0.669±0.019	0.076±0.007	2.912±0.104	0.062±0.007	0.680±0.029	0.202±0.011	0.011±0.010	0.080±0.005	1.126±0.031
	鍛冶屋	31	1.663±0.071	0.381±0.019	0.056±0.007	2.139±0.097	0.073±0.008	0.629±0.025	0.154±0.009	0.011±0.009	0.067±0.005	0.904±0.020
静岡県	上多賀	31	1.329±0.078	0.294±0.018	0.041±0.006	1.697±0.068	0.087±0.009	0.551±0.023	0.138±0.011	0.010±0.009	0.059±0.004	0.856±0.018
	柏峠西	35	1.213±0.164	0.314±0.028	0.031±0.004	1.699±0.167	0.113±0.007	0.391±0.022	0.143±0.007	0.009±0.009	0.047±0.004	0.663±0.020
富山県	魚津	12	0.278±0.013	0.065±0.004	0.064±0.008	2.084±0.095	0.906±0.057	0.641±0.046	0.194±0.014	0.102±0.021	0.027±0.002	0.372±0.009
石川県	比那	17	0.370±0.014	0.087±0.004	0.060±0.009	2.699±0.167	0.639±0.028	0.534±0.023	0.172±0.028	0.052±0.018	0.032±0.002	0.396±0.017
福井県	安島	21	0.407±0.007	0.123±0.005	0.038±0.006	1.628±0.051	0.643±0.041	0.675±0.030	0.113±0.020	0.061±0.016	0.032±0.002	0.450±0.010
	三里山	21	0.350±0.018	0.123±0.008	0.036±0.006	1.561±0.081	0.608±0.031	0.798±0.039	0.069±0.020	0.062±0.013	0.028±0.002	0.381±0.008
群馬県	大窪沢	42	1.481±0.117	0.466±0.021	0.042±0.006	2.005±0.135	0.182±0.011	0.841±0.044	0.105±0.010	0.009±0.008	0.033±0.005	0.459±0.012
長野県	霧ケ峰	171	0.138±0.009	0.066±0.003	0.104±0.011	1.339±0.057	1.076±0.047	0.360±0.023	0.275±0.030	0.112±0.023	0.026±0.002	0.361±0.013
	和田峠第一	143	0.167±0.028	0.049±0.008	0.117±0.011	1.346±0.085	1.853±0.124	0.112±0.056	0.409±0.048	0.139±0.026	0.025±0.002	0.355±0.016
	〃 第二	17	0.146±0.003	0.032±0.003	0.151±0.010	1.461±0.039	2.449±0.135	0.036±0.012	0.517±0.044	0.186±0.025	0.027±0.002	0.368±0.007
	〃 第三	62	0.248±0.048	0.064±0.012	0.114±0.011	1.520±0.182	1.673±0.140	0.274±0.104	0.374±0.048	0.122±0.024	0.025±0.003	0.348±0.017
	〃 第四	37	0.144±0.017	0.063±0.004	0.094±0.009	1.373±0.085	1.311±0.037	0.206±0.030	0.263±0.038	0.090±0.022	0.023±0.002	0.331±0.019
	〃 第五	47	0.176±0.019	0.075±0.010	0.073±0.011	1.282±0.086	1.053±0.196	0.275±0.058	0.184±0.042	0.066±0.023	0.021±0.002	0.306±0.013
	〃 第六	53	0.156±0.011	0.055±0.005	0.095±0.012	1.333±0.064	1.523±0.093	0.134±0.031	0.279±0.039	0.010±0.017	0.021±0.002	0.313±0.012
	鷹山・和田	53	0.138±0.004	0.042±0.002	0.123±0.010	1.259±0.041	1.978±0.067	0.045±0.010	0.442±0.039	0.142±0.022	0.026±0.002	0.360±0.010
	男女倉	119	0.223±0.026	0.102±0.010	0.059±0.008	1.169±0.081	0.701±0.109	0.409±0.052	0.128±0.024	0.053±0.017	0.026±0.002	0.354±0.008
	麦草峠	68	0.263±0.020	0.138±0.011	0.049±0.008	1.403±0.069	0.532±0.048	0.764±0.031	0.101±0.018	0.056±0.016	0.029±0.002	0.401±0.017
	双子池	84	0.246±0.035	0.136±0.010	0.054±0.009	1.486±0.154	0.665±0.056	0.782±0.071	0.116±0.023	0.037±0.026	0.018±0.004	0.291±0.008
島根県	加茂	20	0.154±0.008	0.092±0.009	0.018±0.003	0.943±0.029	0.289±0.016	0.006±0.003	0.047±0.010	0.144±0.019	0.022±0.001	0.269±0.017
	津井	30	0.150±0.008	0.100±0.003	0.015±0.002	0.919±0.033	0.305±0.010	0.013±0.003	0.046±0.013	0.132±0.007	0.022±0.001	0.258±0.006
	久見	31	0.142±0.004	0.061±0.002	0.020±0.003	0.981±0.048	0.398±0.013	0.001±0.002	0.093±0.015	0.229±0.010	0.023±0.002	0.317±0.006
大分県	観音崎	41	0.216±0.017	0.045±0.003	0.428±0.057	6.897±0.806	1.829±0.220	1.572±0.180	0.325±0.088	0.622±0.099	0.035±0.002	0.418±0.011
	両瀬第一	33	0.221±0.021	0.045±0.003	0.450±0.061	7.248±0.668	1.917±0.194	1.660±0.173	0.355±0.057	0.669±0.105	0.035±0.002	0.419±0.009
	＊〃第二	32	0.634±0.047	0.140±0.013	0.194±0.026	4.399±0.322	0.614±0.077	3.162±0.189	0.144±0.031	0.240±0.041	0.038±0.002	0.451±0.011
	＊〃第三	10	1.013±0.140	0.211±0.026	0.126±0.016	3.491±0.231	0.305±0.067	4.002±0.174	0.109±0.021	0.137±0.028	0.040±0.004	0.471±0.017
	＊オイ崎	29	1.074±0.110	0.224±0.024	0.122±0.012	3.460±0.301	0.286±0.048	4.010±0.197	0.101±0.022	0.133±0.025	0.040±0.003	0.469±0.014
	＊稲積	25	0.653±0.066	0.141±0.016	0.189±0.030	4.398±0.425	0.605±0.096	3.234±0.264	0.151±0.033	0.245±0.050	0.037±0.002	0.448±0.015
	塚瀬	30	0.313±0.023	0.127±0.009	0.065±0.010	1.489±0.124	0.600±0.051	0.686±0.082	0.175±0.018	0.102±0.020	0.028±0.002	0.371±0.009

表６－３　各黒耀石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原産地	原石群名	分析個数	Ca/K X̄±σ	Ti/K X̄±σ	Mn/Zr X̄±σ	Fe/Zr X̄±σ	Rb/Zr X̄±σ	Sr/Zr X̄±σ	Y/Zr X̄±σ	Nb/Zr X̄±σ	Al/K X̄±σ	Si/K X̄±σ
佐賀県	腰岳	26	0.214±0.015	0.029±0.001	0.076±0.012	2.694±0.110	1.686±0.085	0.441±0.030	0.293±0.039	0.257±0.029	0.027±0.002	0.356±0.008
	椎葉川	59	0.407±0.010	0.073±0.003	0.094±0.013	2.712±0.124	1.269±0.088	1.994±0.105	0.133±0.037	0.238±0.040	0.020±0.004	0.281±0.006
長崎県	久喜ノ辻	37	0.165±0.012	0.066±0.002	0.034±0.003	1.197±0.030	0.403±0.012	0.005±0.004	0.114±0.012	0.326±0.008	0.024±0.002	0.294±0.008
	君ケ浦	28	0.161±0.011	0.064±0.002	0.034±0.003	1.209±0.032	0.405±0.008	0.005±0.004	0.119±0.016	0.322±0.010	0.025±0.002	0.294±0.006
	角川	29	0.138±0.010	0.037±0.002	0.056±0.007	1.741±0.083	1.880±0.076	0.012±0.012	0.303±0.038	0.652±0.036	0.026±0.002	0.358±0.010
	松浦第一	23	0.218±0.010	0.029±0.002	0.085±0.013	2.692±0.125	1.674±0.064	0.439±0.027	0.284±0.047	0.266±0.028	0.027±0.002	0.359±0.012
	〃第二	17	0.176±0.016	0.030±0.004	0.062±0.022	2.364±0.389	1.607±0.245	0.308±0.074	0.277±0.056	0.210±0.050	0.026±0.002	0.361±0.010
	〃第三	16	0.245±0.019	0.060±0.006	0.045±0.012	1.975±0.240	0.878±0.099	0.421±0.081	0.130±0.030	0.145±0.023	0.026±0.002	0.358±0.013
	〃第四	22	0.287±0.019	0.067±0.004	0.044±0.007	1.906±0.106	0.765±0.074	0.484±0.034	0.115±0.023	0.117±0.018	0.028±0.001	0.367±0.007
	淀姫	44	0.329±0.014	0.080±0.005	0.042±0.007	1.804±0.065	0.539±0.022	0.504±0.035	0.077±0.018	0.117±0.014	0.029±0.002	0.374±0.009
	中町第一	25	0.248±0.017	0.058±0.008	0.057±0.007	1.884±0.085	0.832±0.092	0.403±0.026	0.112±0.021	0.152±0.017	0.026±0.002	0.363±0.007
	〃第二	17	0.327±0.030	0.080±0.017	0.045±0.007	1.832±0.074	0.653±0.088	0.488±0.030	0.090±0.030	0.093±0.023	0.027±0.002	0.358±0.012
	古里第一	40	0.192±0.020	0.027±0.003	0.080±0.016	2.699±0.215	1.780±0.164	0.413±0.065	0.312±0.056	0.259±0.040	0.027±0.002	0.358±0.008
	〃第二	22	0.414±0.012	0.073±0.006	0.102±0.015	2.898±0.204	1.221±0.094	1.951±0.124	0.133±0.047	0.261±0.034	0.031±0.002	0.383±0.010
	〃第三	19	0.257±0.035	0.062±0.009	0.054±0.009	1.939±0.131	0.812±0.113	0.436±0.052	0.101±0.029	0.145±0.037	0.028±0.002	0.364±0.011
	大崎	25	0.161±0.011	0.051±0.002	0.037±0.006	1.718±0.056	0.948±0.030	0.179±0.018	0.191±0.026	0.137±0.019	0.024±0.002	0.340±0.006
熊本県	小国	30	0.317±0.023	0.127±0.005	0.063±0.007	1.441±0.070	0.611±0.032	0.703±0.044	0.175±0.233	0.097±0.017	0.023±0.002	0.320±0.007
	南関	30	0.261±0.016	0.214±0.007	0.034±0.003	0.788±0.033	0.326±0.012	0.278±0.015	0.069±0.012	0.031±0.009	0.021±0.002	0.243±0.008
	轟	44	0.258±0.009	0.214±0.006	0.033±0.005	0.794±0.078	0.329±0.017	0.275±0.010	0.066±0.011	0.033±0.009	0.020±0.003	0.243±0.008
	冠ケ岳	21	0.261±0.012	0.211±0.008	0.032±0.003	0.780±0.038	0.324±0.011	0.279±0.017	0.064±0.011	0.037±0.006	0.025±0.002	0.277±0.009
	白浜	40	0.197±0.020	0.104±0.008	0.025±0.006	1.405±0.073	1.048±0.087	0.348±0.028	0.163±0.023	0.033±0.017	0.019±0.001	0.273±0.007
宮崎県	桑ノ木津留											
	〃第一群	47	0.207±0.015	0.094±0.006	0.070±0.009	1.521±0.075	1.080±0.048	0.418±0.020	0.266±0.034	0.063±0.024	0.020±0.003	0.314±0.011
	〃第二群	33	0.261±0.015	0.094±0.006	0.066±0.010	1.743±0.095	1.242±0.060	0.753±0.039	0.205±0.029	0.047±0.036	0.022±0.002	0.323±0.019
鹿児島県	日東	42	0.262±0.018	0.143±0.006	0.022±0.004	1.178±0.040	0.712±0.028	0.408±0.025	0.100±0.018	0.029±0.013	0.019±0.001	0.275±0.006
	五女木	37	0.266±0.021	0.140±0.006	0.019±0.003	1.170±0.064	0.705±0.027	0.405±0.021	0.108±0.015	0.028±0.013	0.019±0.001	0.275±0.006
	上牛鼻	41	1.629±0.098	0.804±0.037	0.053±0.006	3.342±0.215	0.188±0.013	1.105±0.056	0.087±0.009	0.022±0.009	0.036±0.002	0.391±0.011
	平木場	34	1.944±0.054	0.912±0.028	0.062±0.005	3.975±0.182	0.184±0.011	1.266±0.049	0.093±0.010	0.021±0.010	0.038±0.003	0.408±0.010
	竜ケ水	28	0.514±0.032	0.167±0.008	0.063±0.009	1.524±0.079	0.619±0.038	0.719±0.054	0.115±0.019	0.082±0.016	0.037±0.003	0.523±0.009
	長谷	30	0.553±0.032	0.137±0.006	0.065±0.010	1.815±0.062	0.644±0.028	0.553±0.029	0.146±0.021	0.066±0.020	0.037±0.003	0.524±0.012
	JG－1 a)	127	0.755±0.010	0.202±0.005	0.076±0.011	3.759±0.111	0.993±0.036	1.331±0.046	0.251±0.027	0.105±0.017	0.028±0.002	0.342±0.004

X̄：平均値、　σ：標準偏差値、　＊：ガラス質安山岩

a)：Ando,A., Kurasawa,H., Ohmori,T. & Takeda,E.(1974). 1974 compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochemical Journal Vol.8, 175-192.

表７　美々４遺跡出土黒曜石製遺物の元素比分析結果

分析番号	元素比									
	Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K
46694	0.243	0.070	0.080	2.192	0.916	0.449	0.309	0.062	0.017	0.262
46695	0.245	0.074	0.090	2.165	0.973	0.430	0.280	0.100	0.017	0.259
46696	0.161	0.024	0.068	2.880	1.781	0.104	0.427	0.089	0.018	0.260
46697	0.259	0.073	0.071	2.096	0.981	0.442	0.281	0.052	0.016	0.259
46698	0.253	0.071	0.075	2.211	1.041	0.443	0.220	0.046	0.018	0.259
46699	0.229	0.075	0.038	2.130	1.113	0.408	0.346	0.000	0.018	0.254
46700	0.326	0.133	0.054	1.746	0.791	0.470	0.196	0.000	0.019	0.293
46701	0.252	0.069	0.088	2.094	0.984	0.416	0.269	0.000	0.000	0.259
46702	0.248	0.076	0.084	2.268	0.962	0.445	0.247	0.042	0.017	0.272
46703	0.252	0.071	0.078	2.101	1.017	0.474	0.249	0.058	0.003	0.264
46704	0.269	0.071	0.064	1.990	0.944	0.432	0.276	0.046	0.015	0.263
46705	0.237	0.072	0.087	2.323	1.053	0.437	0.219	0.000	0.016	0.281
46706	0.312	0.127	0.048	1.703	0.820	0.455	0.165	0.000	0.019	0.289
46707	0.321	0.137	0.039	1.706	0.796	0.465	0.149	0.051	0.000	0.271
46708	0.257	0.076	0.071	2.050	0.855	0.413	0.280	0.000	0.016	0.270
46709	0.260	0.072	0.079	2.123	0.949	0.409	0.253	0.025	0.015	0.267
46710	0.250	0.078	0.078	2.049	0.890	0.430	0.242	0.000	0.019	0.274
46711	0.246	0.073	0.074	2.039	0.982	0.383	0.243	0.016	0.000	0.244
46712	0.137	0.039	0.074	2.051	1.122	0.424	0.243	0.043	0.012	0.164
46713	0.147	0.025	0.089	2.791	1.690	0.134	0.474	0.074	0.015	0.263
46714	0.248	0.072	0.083	2.280	1.049	0.452	0.254	0.000	0.017	0.263
46715	0.254	0.066	0.079	2.222	0.920	0.446	0.226	0.000	0.018	0.260
46716	0.260	0.071	0.093	2.224	1.000	0.431	0.250	0.024	0.017	0.263
46717	0.249	0.074	0.091	2.239	1.009	0.446	0.238	0.000	0.000	0.258
46718	0.232	0.066	0.103	2.102	0.961	0.448	0.246	0.124	0.015	0.262
46719	0.262	0.075	0.089	2.174	0.968	0.465	0.279	0.086	0.017	0.265
46720	0.261	0.074	0.068	2.052	0.976	0.444	0.268	0.000	0.000	0.238
46721	0.255	0.073	0.090	2.307	1.030	0.448	0.280	0.000	0.017	0.263
46722	0.258	0.077	0.060	2.053	1.051	0.437	0.354	0.078	0.021	0.284
46723	0.245	0.072	0.077	2.079	0.963	0.414	0.269	0.000	0.018	0.262
46724	0.267	0.074	0.097	2.195	1.017	0.440	0.282	0.079	0.018	0.257
JG-1	0.762	0.220	0.073	3.749	0.986	1.331	0.320	0.080	0.018	0.241

JG-1：標準試料—Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E. 1974 compilation of date on the GJS geochemical reference sammples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochemical, Journal, Vol.8 175-192 (1974)

表９　美々４遺跡出土の黒曜石石鏃形態別の産地別頻度分布

石器形態	原石産地				個数(%)
	赤井川	置戸	白滝	十勝	不明
三角石鏃	2(6%)		1(3%)		
三角太基部	2(6%)	1(3%)		1(3%)	
反身	5(16%)				
湾曲身	1(3%)	2(6%)			
三角細基部	3(10%)				1(3%)
長三角太基部	10(32%)		1(3%)	1(3%)	
合計	23(74%)	3(10%)	2(6%)	2(6%)	1(3%)

表８　美々４遺跡出土の黒曜石製遺物の原材産地推定結果

分析番号	遺物 試料番号	発掘区-番号	層	時代（伴出土器）	原石産地（確率）	判定	遺物品名（備考）
46694	No.1- 947	E_2-65-02	ⅡB-2		赤井川(19%)、戸門第１群(６%)	赤井川	三角鏃
46695	No.2- 252	E_2-65-14	ⅡB-3		赤井川(51%)、十勝三股(１%)、戸門第１群(５%)	〃	三角鏃
46696	No.3- 900	E_1-65-81	ⅡB-2		幌加沢(９%)	白滝	三角鏃
46697	No.4-1639	E_2-65-10	ⅡB-3		赤井川(47%)、十勝三股(21%)、戸門第１群(14%)	赤井川	三角太基部
46698	No.5- 900	E_1-65-81	ⅡB-2		赤井川(35%)、戸門第１群(20%)、十勝三股(３%)	〃	三角太基部
46699	No.6-1210	E_2-65-10	ⅡB-2		十勝三股(３%)	十勝	三角太基部
46700	No.7-1210	E_2-65-10	ⅡB-2		置戸(２%)	置戸	三角太基部
46701	No.8- 947	E_2-65-02	ⅡB-2		赤井川(25%)、戸門第１群(２%)	赤井川	反身
46702	No.9- 869	E_2-65-12	ⅡB-2		赤井川(55%)、戸門第１群(４%)	〃	反身
46703	No.10-1210	E_2-65-10	ⅡB-2		戸門第１群(23%)、赤井川(９%)	〃	反身
46704	No.11-1336	E_1-65-81	ⅡB-3		赤井川(16%)、十勝三股(４%)、戸門第１群(３%)	〃	反身
46705	No.12- 154	E_2-65-14	ⅡB-1		赤井川(10%)、戸門第１群(５%)	〃	反身
46706	No.13-1446	E_2-65-10	ⅡB-2		置戸(15%)	置戸	湾曲身
46707	No.14-1210	E_2-65-10	ⅡB-2		置戸(10%)	〃	湾曲身
46708	No.15-1210	E_2-65-10	ⅡB-2		赤井川(３%)	赤井川	湾曲身
46709	No.16-1210	E_2-65-10	ⅡB-2		赤井川(86%)、戸門第１群(２%)	〃	三角細基部
46710	No.17-1210	E_2-65-10	ⅡB-2		赤井川(２%)	〃	三角細基部
46711	No.18-1210	E_2-65-10	ⅡB-2		赤井川(５%)、戸門第１群(３%)	〃	三角細基部
46712	No.19-1210	E_2-65-10	ⅡB-2		風化層厚い　焼け？		三角細基部
46713	No.20-1466	E_2-65-10	ⅡB-2		幌加沢(19%)、白滝第２群(３%)	白滝	長三角太基部
46714	No.21-1210	E_2-65-10	ⅡB-2		赤井川(33%)、戸門第１群(12%)、十勝三股(１%)	赤井川	長三角太基部
46715	No.22-1210	E_2-65-10	ⅡB-2		赤井川(16%)	〃	長三角太基部
46716	No.23-1466	E_2-65-10	ⅡB-2		赤井川(93%)、戸門第１群(３%)	〃	長三角太基部
46717	No.24-1210	E_2-65-10	ⅡB-2		赤井川(24%)、戸門第１群(２%)	〃	長三角太基部
46718	No.25-1639	E_2-65-10	ⅡB-2		赤井川(１%)	〃	長三角太基部
46719	No.26-1466	E_2-65-10	ⅡB-2		赤井川(22%)、十勝三股(２%)、戸門第１群(６%)	〃	長三角太基部
46720	No.27-1466	E_2-65-10	ⅡB-2		赤井川(４%)、十勝三股(２%)、戸門第１群(３%)	〃	長三角太基部
46721	No.28-1466	E_2-65-10	ⅡB-2		赤井川(57%)、戸門第１群(７%)、十勝三股(１%)	〃	長三角太基部
46722	No.29- 662	E_2-65-10	ⅡB-2		十勝三股(26%)、戸門第１群(３%)	十勝	長三角太基部
46723	No.30-1210	E_2-65-10	ⅡB-2		赤井川(27%)、戸門第１群(３%)	赤井川	長三角太基部
46724	No.31-1210	E_2-65-10	ⅡB-2		赤井川(48%)、十勝三股(８%)、戸門第１群(５%)	〃	長三角太基部

6　美々４遺跡出土の玉、玉材の産地分析

藁科　哲男
（京都大学原子炉実験所）

はじめに

遺跡から出土する大珠、勾玉、管玉の産地分析というのは、玉類の製品が何処の玉造遺跡で加工されたということを調査するのではなくて、何ヶ所かあるヒスイの原産地のうち、どこの原産地の原石を使用しているかを明らかにするのが、玉類の原産地推定である。玉類の原石の産地を明らかにすることは考古学上重要な意味をもっている。糸魚川市でヒスイが発見されるまでは、中国、雲南、ビルマ説、発見後は、専ら国内説で、岩石学的方法[1]）および貴重な考古遺物を非破壊で産地分析を行った蛍光Ｘ線分析で行う元素比法[2,3]）が報告されている。また、碧玉製管玉の産地分析で系統的に行った研究は蛍光Ｘ線分析法と電子スピン共鳴法を併用し産地分析より正確に行った例[4]）が報告されている。石鏃など石器と玉類の製品はそれぞれ使用目的が異なるため、それぞれの産地分析で得られた結果の意味も異なる。⑴石器の原材産地推定で明らかになる、遺跡から石材原産地までの移動、活動範囲は、石器は生活必需品であるため、生活上必要な生活圏と考えられる。⑵玉類は古代人が生きるために必ずしもいるものではない。勾玉、管玉は権力の象徴、お祭、御守り、占いの道具、アクセサリーとして、精神的な面に重要な作用を与えると考えられる。従って、玉類の産地分析で、明らかになるヒスイ製玉類の原石の分布範囲は、権力の象徴としての玉類であれば、権力圏を現わしているかもしれない。お祭、御守り、占いの道具であれば、同じような習慣を持つ文化圏が考えられる。石器の原材産地分析で得られない貴重な資料を考古学の分野に提供することができる。

今回分析を行った玉類は北海道千歳市の美々４遺跡から出土した縄文時代の４個の玉類および４個の玉材で、出土地点、層位を一覧表にして表１に示した。これら８個の玉類の分析結果が得られたので報告する。

非破壊での産地分析の方法と手段

原産地推定の第一歩は、原産地間を区別する人間で言えば指紋のような、その原産地だけにしかないという指標を見つけなければならない。その区別するための指紋は鉱物組成の組合わせ、比重の違い、原石に含有されている元素組成の違いなどにより、原産地同士を区別できなければ産地分析はできない。成功するかどうかは、とにかく行ってみなければわからない。原産地同士が指紋でもって区別できたならば、次に遺跡から出土する遺物の指紋と原産地の指紋を比較して、一致しない原産地を消去して一致する原産地の原石が使用されていると判定する。

ヒスイ、碧玉製勾玉、大珠、玉などは、国宝、重要文化財級のものが多くて、非破壊で産地分析が行える方法でなければ発展しない。石器の原材産地分析で成功している[5]）非破壊で分析を行う蛍光Ｘ線法を用いて玉類に含有されている元素を分析する。

遺跡から出土した大珠、勾玉、管玉などを水洗いして、試料ホルダーに置くだけの、完全な非破壊で産地分析を行った。ヒスイ製玉類は蛍光Ｘ線分析法で元素の種類と含有量を求め、試料の形や大きさの違いの影響を打ち消すために分析された元素同士で含有量の比をとり、元素比の値を原産地を区別する指紋とした。碧玉製玉類はESR法を併用するが試料を全く破壊することなく、碧玉に含有されている常磁性種を分析し、その信号から碧玉産地間を区別する指標を見つけて、産地分析に利用した。

ヒスイの原産地

分析したヒスイ原石は、日本国内産では(1)新潟県糸魚川市と、それに隣接する同県西頸城郡青海町から産出する糸魚川産、(2)軟玉ヒスイと言われる北海道沙流郡日高町千栄の日高産[6]、(3)鳥取県八頭郡若桜町角谷の若桜産、(4)岡山県阿哲郡大佐町の大佐産、(5)長崎県長崎市三重町の長崎産であり、さらに(6)西黒田ヒスイと呼ばれている静岡県引佐郡引佐町の引佐産の原石、(7)兵庫県養父郡大家町からの原石、(8)北海道旭川市神居町の神居コタン産、(9)岐阜県大野郡丹生川村の飛騨産原石、また、肉眼的にヒスイに類似した原石で玉類等の原材になったのではないかと考えられる(10)長崎県西彼杵郡大瀬戸町雪浦からの原石である。国内産のヒスイ原産地は、これでほぼつくされていると思われる。これら原石の原産地を図１に示す。これに加えて外国産として、ミャンマー産の硬玉と台湾産軟玉および韓国、春川産軟玉などのヒスイの分析も行われている。

ヒスイ試料の蛍光Ｘ線分析

ヒスイの主成分元素はナトリウム（Na)、アルミニウム（Al)、珪素（Si）などの軽元素[7]）で、次いで比較的含有量の多いカルシウム（Ca)、鉄（Fe)、ストロンチウム（Sr）である。また、ヒスイに微量含有されている、カリウム（K)、チタニウム（Ti)、クロム（Cr)、マンガン（Mn)、ルビジウム（Rb)、イットリウム（Y)、ジルコニウム（Zr)、ニオビウム（Nb)、バリウム（Ba)、ランタニウム（La)、セリウム（Ce）の各元素を分析した。主成分の珪素など軽元素の分析を行わないときには、励起線源のＸ線が試料によって散乱されたピークを観測し、そのピークの大きさが主に試料の分析面積に比例することに注目し、そのピークを含有元素と同じく産地分析の指標として利用できる。ナトリウム元素はヒスイ岩を構成するヒスイ輝石に含有される重要な元素で、出土した遺物が硬玉を否かを判定するには直接ヒスイ輝石を観測すればよい。しかし、ヒスイ輝石を非破壊で検出できる方法が確立されるまでは、蛍光Ｘ線分析でNa元素を分析し間接的にヒスイ輝石の存在を推測する方法にたよる他ないのではなかろうか。各原産地の原石のなかで、確実にNa元素の含有が確認されるヒスイ産地は糸魚川、大屋、若桜、大佐、神居コタン、長崎の各原産地の原石でこられは硬玉に属すると思われる。Na元素の含有量が分析誤差範囲の産地は日高、引佐、飛騨の各産地の原石である。糸魚川産原石のうち緑色系の硬玉に、肉眼的に最も似た原石を産出する産地は、他の硬玉産地よりも後述した日高、飛騨、引佐の原石に見られる。各原産地の原石の他の特徴を以下に記述する。若桜産のヒスイ原石はSrのピークがFeのピークに比べて相当大きく、またZrの隣に非常に小さなNbのピークが見られ、Baのピークも大きく、糸魚川産では見られないLa、Ceのピークが観測されている。このCeのピークは大佐産と長崎産ヒスイ原石のスペクトルにも見られ、これらCeを含有する原石の産地は、糸魚川の産地と区別するときに有効な判定基準になる。長崎産ヒスイは、Tiの含有量が多く、Ｙのピークが見られるのが特徴的である。日高産、引佐産、飛騨産ヒスイ原石は、Caピークに比べてTiとかK、またFeピークに比べてSrなどのピークが小さいのが特徴で糸魚川産のものと区別するときの判断基準になる。

春川軟玉原石は、優白色の工芸加工性に優れた原石で、軟玉であるが、古代では勾玉などの原材料となった可能性も考えられることから分析を行った。この原石には、Sr、Zrのピークが全く見られないため、糸魚川産などのSr、Zrを含有する原石と容易に区別できる。また、長崎県雪浦のヒスイ類似岩をヒスイの代替品として勾玉、大珠などの原材料に使用している可能性が考えられ、分析を行った。この岩石は比重が2.19と小さく、比重でもって他の産地のものと区別できる。また砒素（As）のピークが見られる個体が多いのも特徴である。

これら各原産地の原石は同じ産地の原石であっても、原石ごとに元素の含有量には異同がある。したがって、一つの原産地について多数の原石を分析し、各元素の含有量の変動の範囲を求めて、その

産地の原石の特徴としなければならない。

糸魚川産のヒスイは、白色系が多いが、緑色系の半透明の良質のもの、青色系、コバルト系、およびこれらの色が白地に縞となって入っているものなど様々である。分析した糸魚川産原石の比重を調べると、硬玉の3.2～3.4の範囲のものと、3.2に達しない軟玉に分類される原石もある。若桜産、大佐産の分析した原石には、半透明の緑色のものはないが、全体が淡青緑かかった乳白色のような原石、また大屋産は乳白色が多い。このうち大佐産、大屋産の原石では比重が3.20に達したものはなく、これらの原石は比重からは軟玉に分類される。しかし、ヒスイ輝石の含有量が少ない硬玉とも考えられる。長崎産のヒスイ原石は３個しか分析できなかったが良質である。このうち１個は濃い緑色で、他の２個は淡い緑色で、少しガラス質である。日高産ヒスイの原石は肉眼観察では比較的糸魚川産のヒスイに似ている。ミャンマー産のヒスイ原石は、質、種類とも糸魚川産のヒスイ原石と同じものが見られ肉眼で両産地の原石を区別することは不可能と考えられる。分析した台湾産のヒスイは軟玉に属するもので、暗緑色のガラス質な原石である。これら各原産地の原石の分析結果から各産地を区別する判断基準を引き出し産地分析の指標とする。

ヒスイ原産地の判別基準

原石産地の判定を行うときの判断基準を原石の分析データから引き出すが、分析個数が少ないため、必ずしもその原産地の特徴を十分に反映したと言えない産地もある。表11に各原産地ごとの原石の比重と元素比量をまとめた。元素比量の数値は、その原産地の分析した原石の中での最小値と最大値の範囲を示し、判定基準(1)とした。ヒスイで比重が3.19未満の軽い原石は、硬玉ヒスイではない可能性があるが、糸魚川産の原石で比重が3.19未満のものも分析を行った。大佐産のヒスイは比重が3.17未満であった。したがって、遺物の比重が3.3以上を示す場合は判定基準(1)により大佐産のヒスイでないと言える。日高産、引佐産の両ヒスイではSr/Feの比の値が小さくて、糸魚川産と区別する判定基準(1)になる。表12の判定基準(2)にはCr、Mn、Y、Nb、Ba、La、Ceの各元素の蛍光X線ピークが観測できた個体数を％で示した表である。例えば遺物を分析してBaのピークが観測されなかったとき、その遺物は、若桜、大佐、長崎産のヒスイでないといえる。図Ⅴ—10はヒスイ原石のSr/Feの比の値とSr/Zrの比の値の分布を各原産地ごとにまとめて分布範囲を示したものである。●は糸魚川産のヒスイで、分布の範囲を実線で囲み、この枠内に遺物の測定点が入れば糸魚川産の原石である可能性が高いと判断する。□はミャンマー産のヒスイの分布で、その範囲を短い破線で囲む。糸魚川の実線の範囲とミャンマーの破線の範囲の大部分は重なり両者は区別できないが、ミャンマーと糸魚川が区別される部分がSr/Feの値（横軸）2.5以上の範囲で見られる。この範囲の中に、遺物の測定点が入ればミャンマー産と考えるより、糸魚川産である可能性の方が高いと考えられる。▲は大佐産の、△は若桜産の、▽は大屋産のヒスイの分布を示している。糸魚川と大佐、若桜、大屋のヒスイが重なる部分に遺物の測定点が入った場合、これら複数の原産地を考えなければならない。しかし、この遺物にBaの蛍光X線スペクトルのピークが見られなかった場合、表12の判定基準(2)に従えば糸魚川産または大屋産のヒスイであると判定でき、その遺物の比重が3.2以上あれば大屋産でなくて、糸魚川産と推定される。■は長崎産ヒスイの分布で、独立した分布の範囲を持っていて他の産地のヒスイと容易に区別できる。台湾産の軟玉はグラフの左下に外れる。★印の日高産および＊印の引佐産ヒスイの分布の一部分が、糸魚川産と重なり区別されない範囲がみられる。しかし、Ca/Si比とSr/Fe比を指標とすることにより（図Ⅴ—11）、糸魚川産ヒスイは日高産および引佐産の両ヒスイと区別することができる。Na/Si比とMg/Si比を各原産地の原石について分布を示すことにより（図Ⅴ—12）、遺物がどこの原産地の分布内に帰属するかにより、硬玉か軟玉かの判別の手段の一つとなると考えられる。

ヒスイ製玉類の分析結果

分析した玉、玉材類の蛍光X線スペクトルを図８～15に示した。これらの中で分析番号47165（No.２）、47169（No.６）、47170（No.７）、47171（No.８）の玉材は比重が2.683、2.604、2.643、2.665（アルキメデス法）で硬玉の範囲から大きく外れることから、硬玉の可能性は低い。また、分析番号47164（No.１）、47166（No.３）、47167（No.４）、47168（No.５）の玉は、蛍光X線分析で主成分組成のNa元素が観測され、かつ比重も3.0以上を示し、硬玉の範囲に入り硬玉製玉と考察した。これら玉類の比重を表13に示した。玉類の原石産地を明らかにするために、Na/Si、Mg/Si、Al/Si、K/Ca、Ca/Si、Ti/Ca、Cr/Fe、Mn/Fe、Ni/Fe、Sr/Fe、Zr/Sr、Nb/Sr、Ba/Sr、La/Sr、Ce/Sr、Rb/Sr、Y/Srなどの各比値を求め表13に示し、また各原産地の原石の元素比量の分布範囲と比較し図Ⅴ—10・11・12に示した。

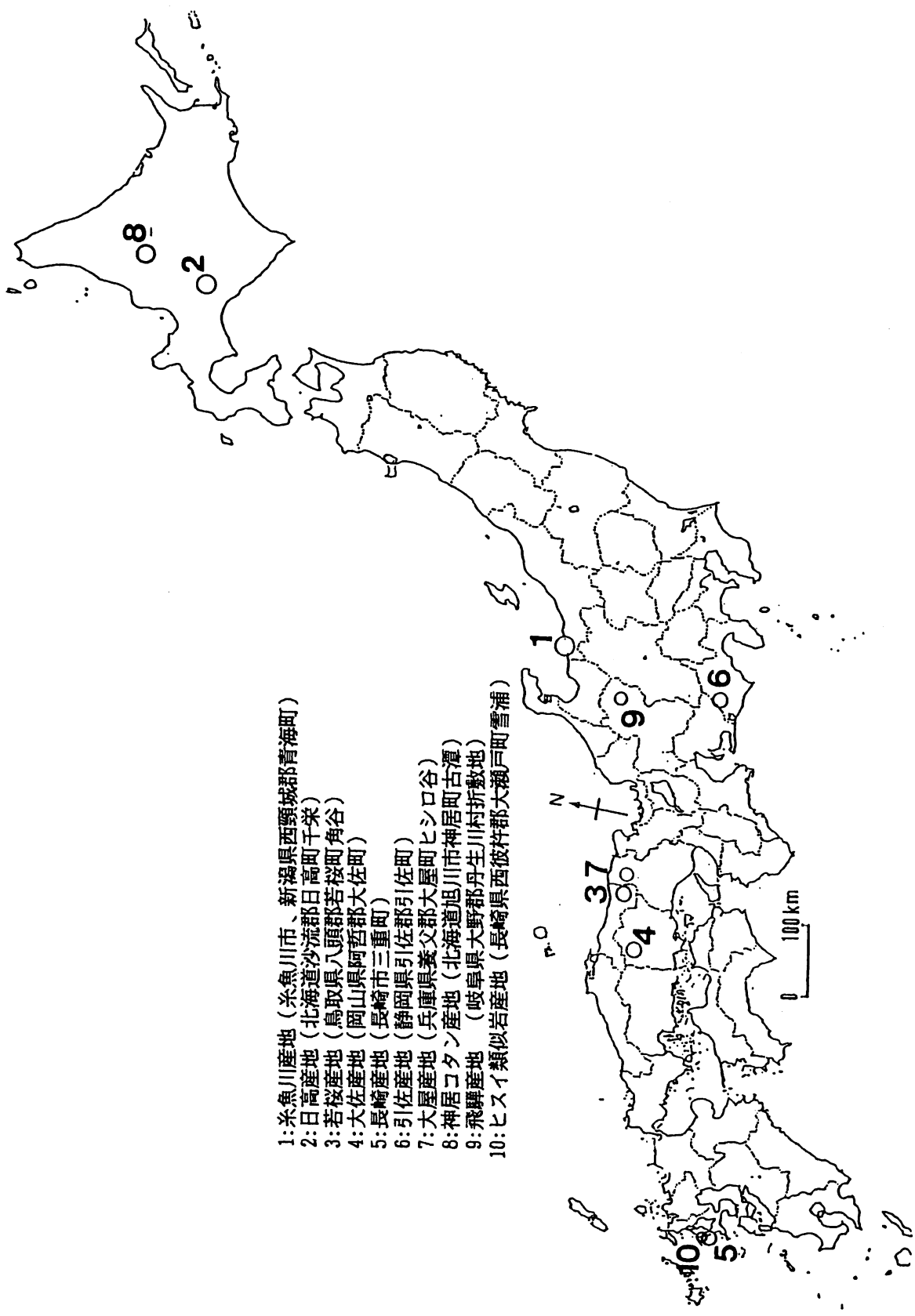
図Ⅴ—10で、No.１（47164）、No.４（47167）、No.５（47168）、No.６（47169）、No.７（47170）は糸魚川産の、またNo.２（47165）は日高産の範囲に入り、No.３（47166）は糸魚川、若桜、大佐産と、No.８（47171）は糸魚川、日高産のそれぞれ重なる範囲に入る。図Ⅴ—11では、No.３（47166）、No.４（47167）、No.６（47169）、No.７（47170）は糸魚川産に入り、No.１（47164）は糸魚川産、No.８（47171）は神居コタンの枠から少し外れ、No.２（47165）、No.５（47168）、No.７（47170）は調査した産地の範囲から外れる。図Ⅴ—12７では糸魚川産の範囲に入るものはNo.１（47164）、No.３（47166）、No.４（47167）で、No.８（47171）は神居コタン、若桜産の枠にも入り、No.５（47168）は日高産のみに入る。No.２（47165）とNo.７（47170）は調査したどこの産地の範囲からも外れる。これらの結果を表14に示し産地を特定した。

考　察

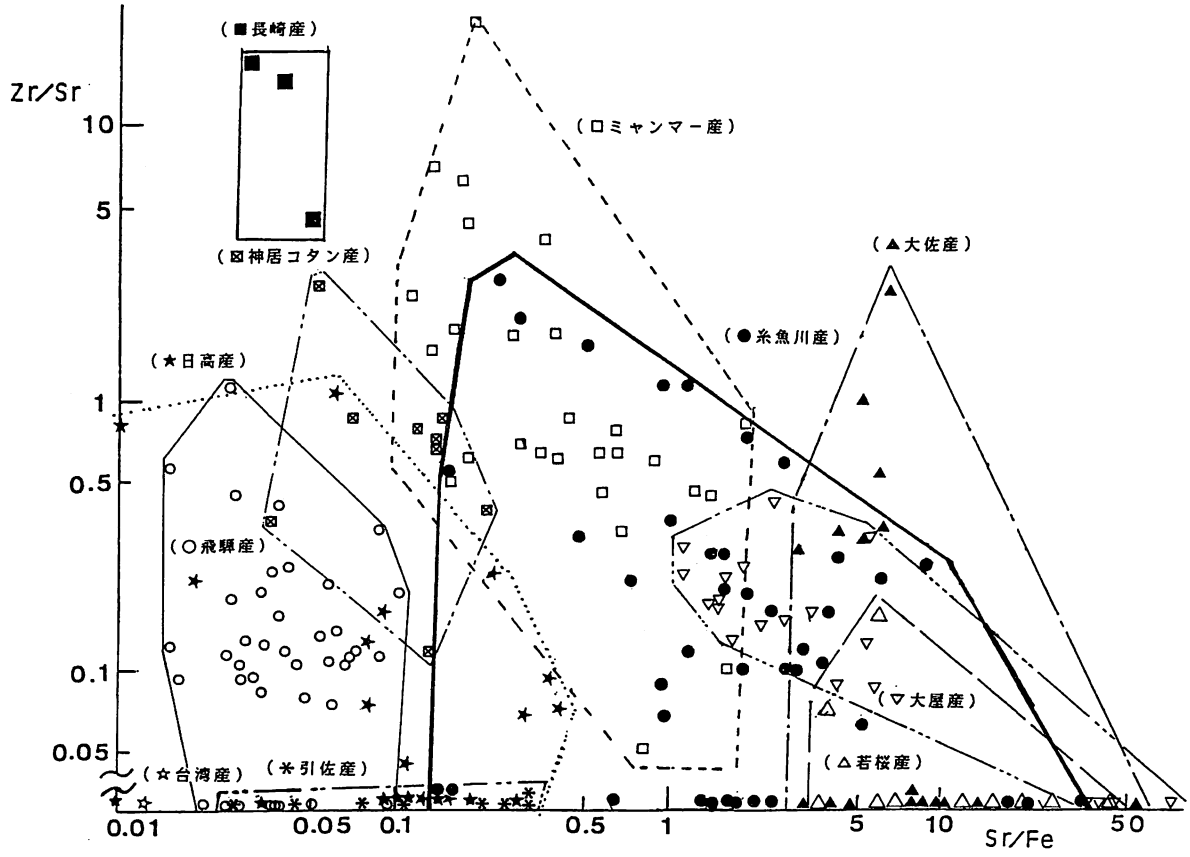
分析した遺物のなかで玉類のNo.１、３、４、５は、Na元素が観測され、かつ比重も3.0以上を示し、硬玉の可能性を示し、糸魚川産に同定された玉は、No.３、４で、No.１は図Ⅴ—12で少し外れるが他の条件は糸魚川産の同定条件を満たしている。No.５は産地が特定できなかった。また、玉材としたNo.２、６、７、８の遺物は比重が軽く硬玉ではなく、これら玉類の原石と異なる岩石であった。No.２は蛍光X線スペクトルでMg、Siのピークが大きく主成分で、またFeのピークも大きく、日高産軟玉に似るが一致しない。蛇紋岩系の可能性が推測される。日高産軟玉に一致しないと言って、この玉材の原石産地が日高変成帯の原石でないとは言えない。また、No.６、８はNa、Ca、Fe、Sr、Zrのピークが見られ硬玉の蛍光X線スペクトルに似ていることから、曹長石岩の可能性も考えられる。本遺跡から出土した玉には糸魚川産硬玉が使用されていることから、原石産地地方との交易が活発であったと、また玉と玉材の岩石が異なることからこれら玉材が玉類の原材料でなかったとそれぞれ推測しても産地分析の結果と矛盾しない。

参考文献

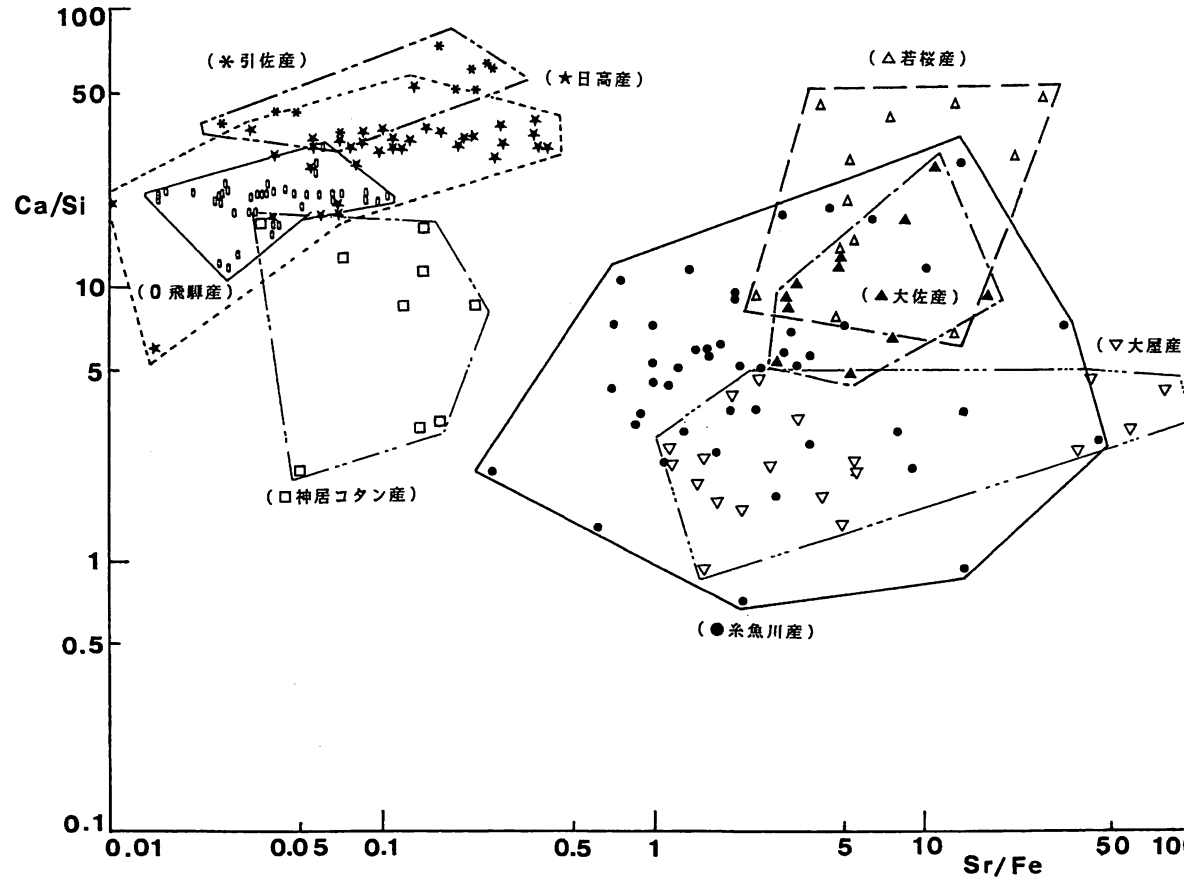
１）茅原　一也（1964）、長者ケ原遺跡産のヒスイ（翡翠）について（概報）。長者ケ原、新潟県糸魚川市教育委員会：63-73
２）藁科　哲男・東村　武信（1987）、ヒスイの産地分析。富山市考古資料館紀要６：1-18
３）藁科　哲男・東村　武信（1990）、奈良県内遺跡出土のヒスイ製玉類の産地分析。橿原考古学研究所紀要『考古学論攷』、14：95-109
４）Tetsuo Warashina（1992）、Allocation of Jasper Archeological Implements By Means of ESR and XRF. Journal of Archaeological Science 19：357-373
５）藁科　哲男・東村　武信（1983）、石器原材の産地分析。考古学と自然化学、16：59-89
６）番場　猛夫（1967）、北海道日高産軟玉ヒスイ。調査研究報告会講演要旨録、No.18：11-15
７）河野　義礼（1939）、本邦における翡翠の新産出及び其化学的性質。岩石砿物鉱床学雑誌、22：195-201
８）東村　武信（1976）、産地推定における統計的手法。考古学と自然科学、９：77-90



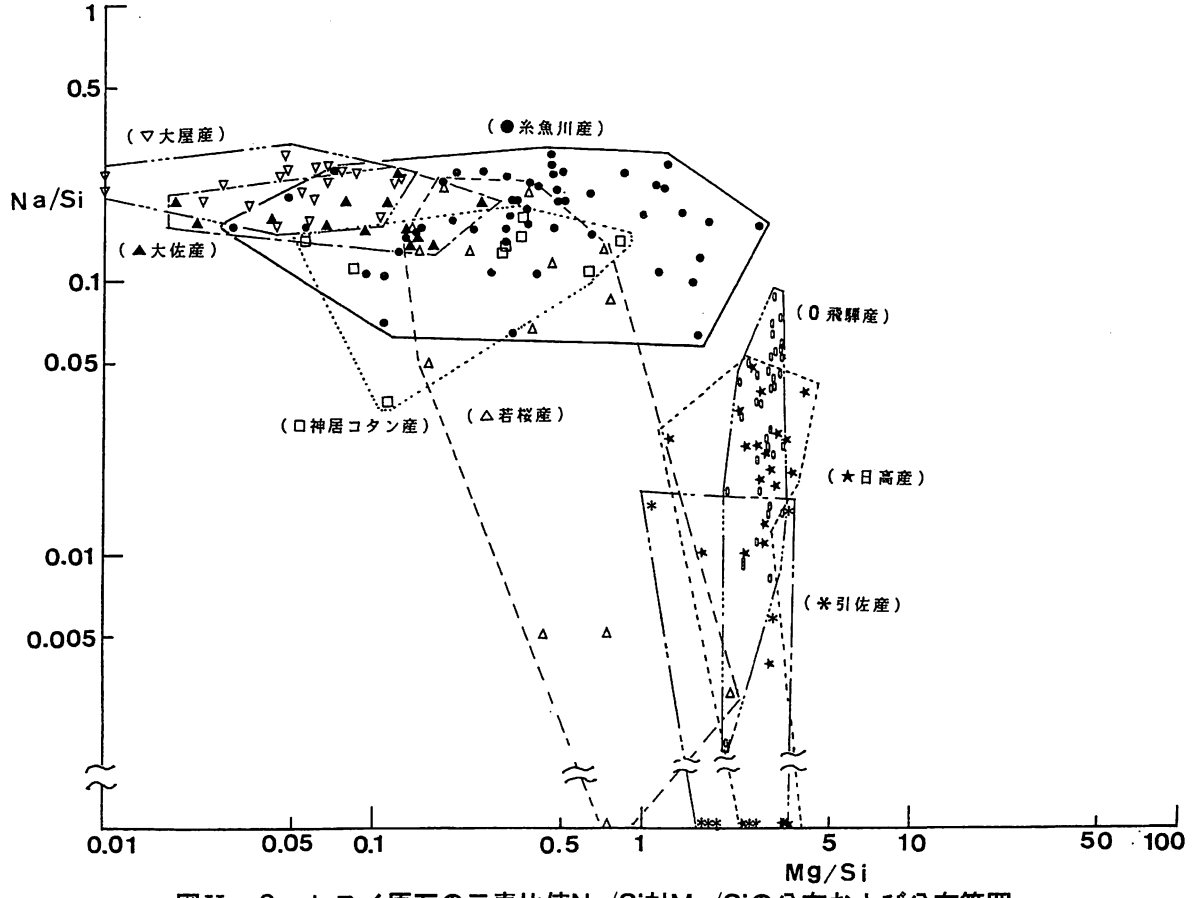
図Ⅴ－６　ヒスイとヒスイ類似岩の原産地



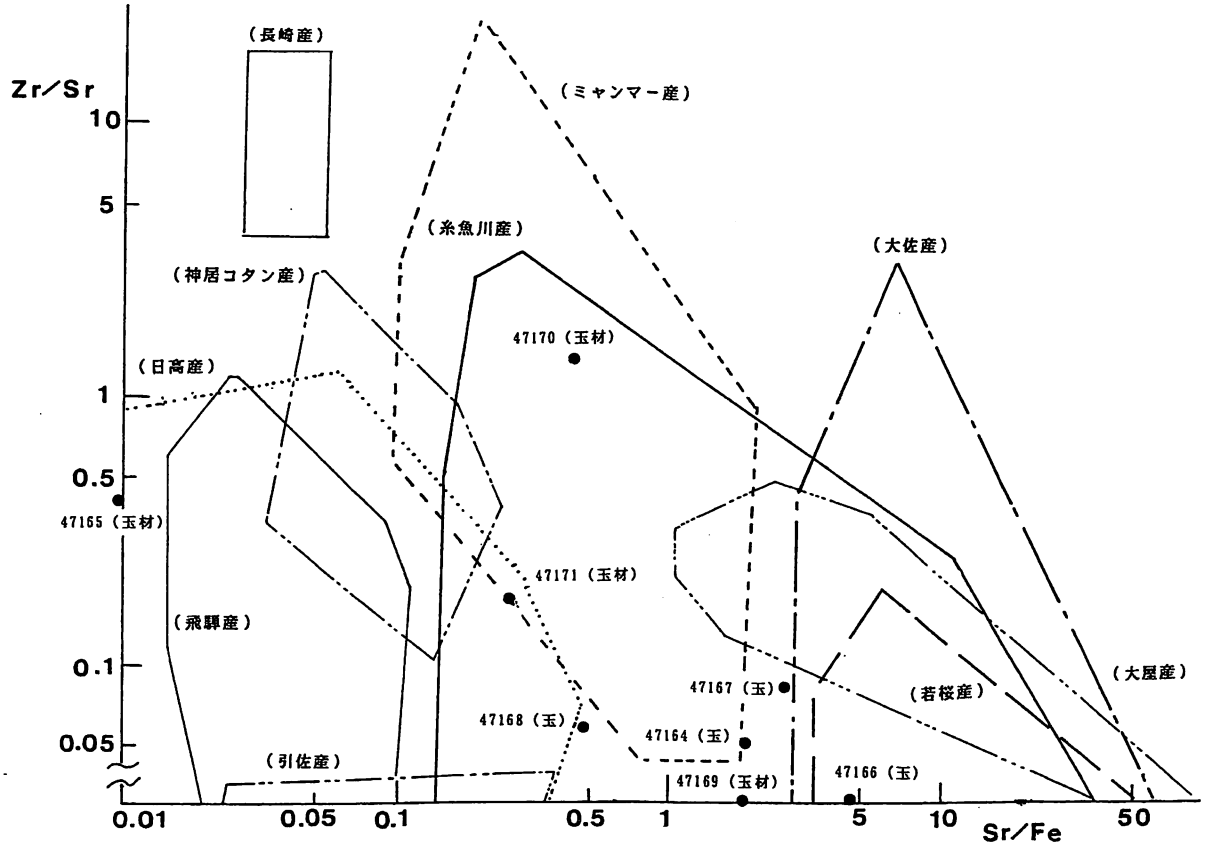
図Ⅴ－7　ヒスイ原石の元素比値Zr/Sr対Sr/Feの分布および分布範囲



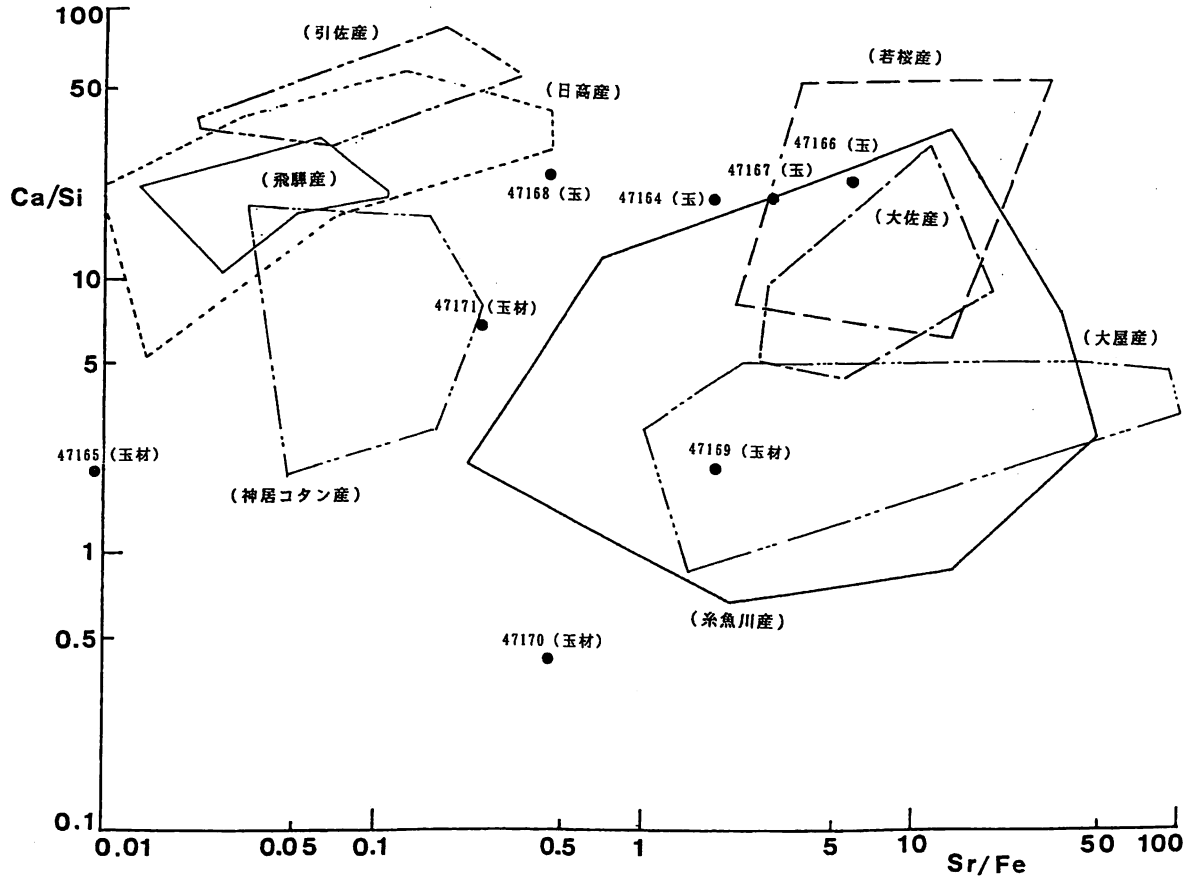
図Ⅴ－8　ヒスイ原石の元素比値Ca/Si対Sr/Feの分布および分布範囲



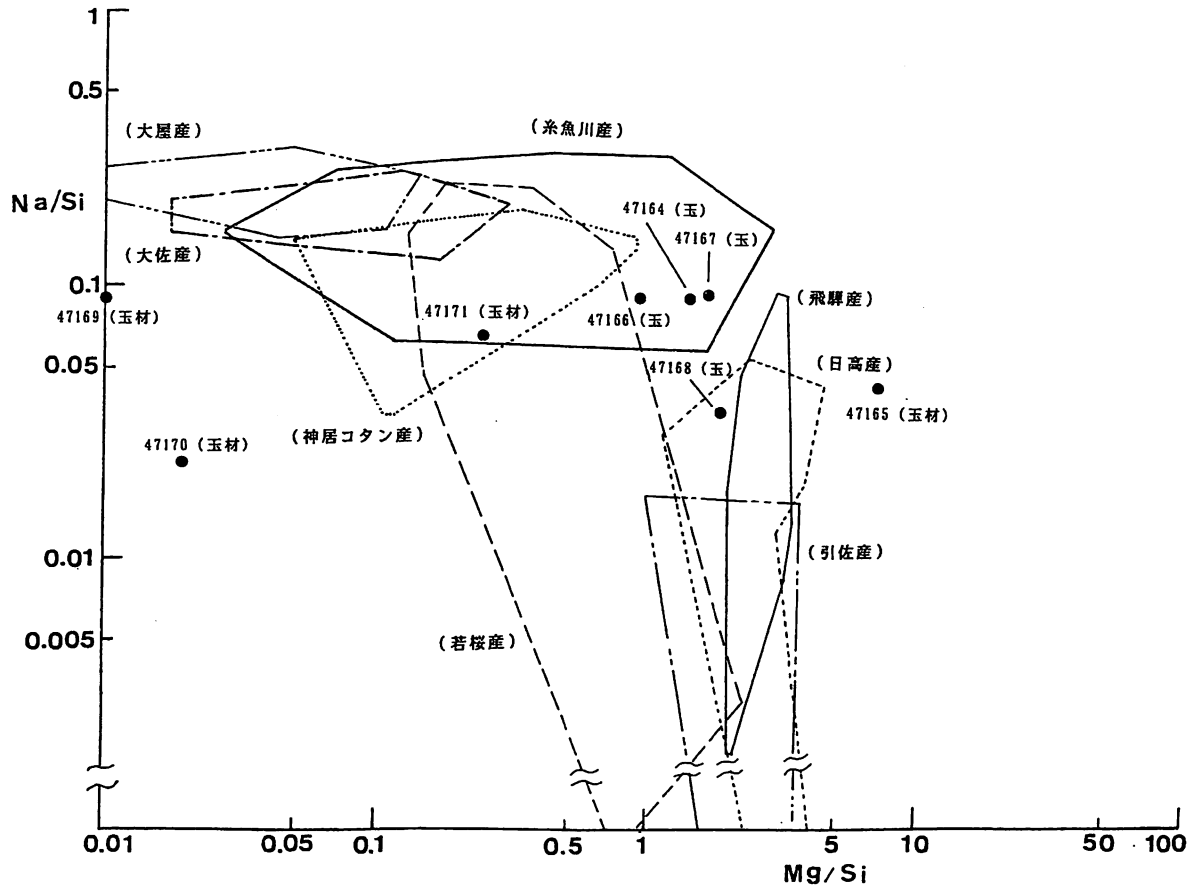
図Ⅴ－９　ヒスイ原石の元素比値Na/Si対Mg/Siの分布および分布範囲



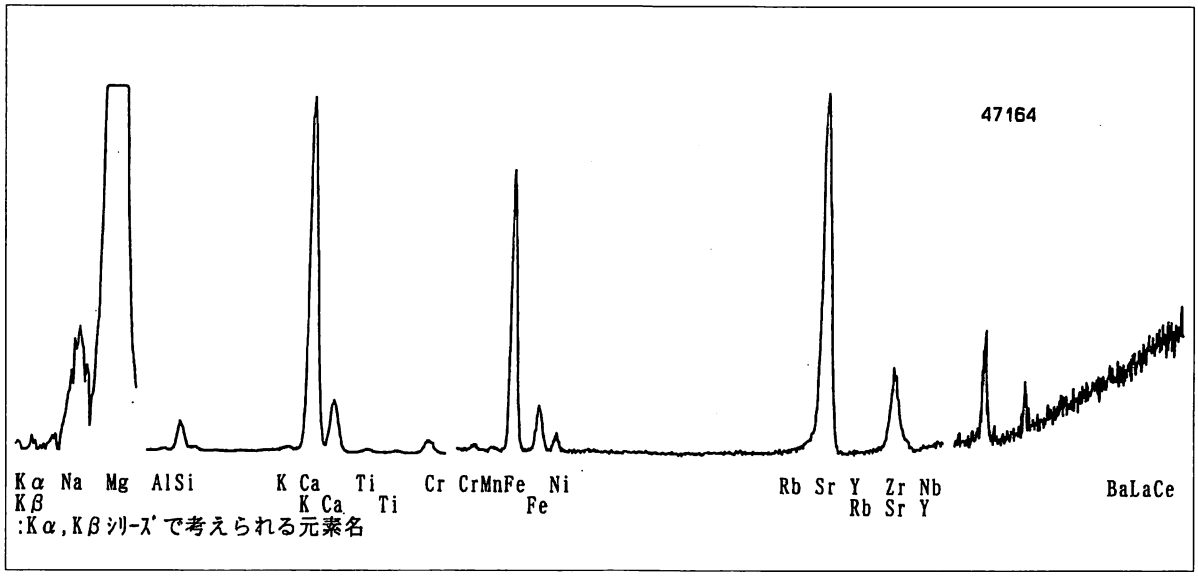
図Ⅴ－10　美々４遺跡出土の玉、玉材のZr/Sr対Sr/Feの分布



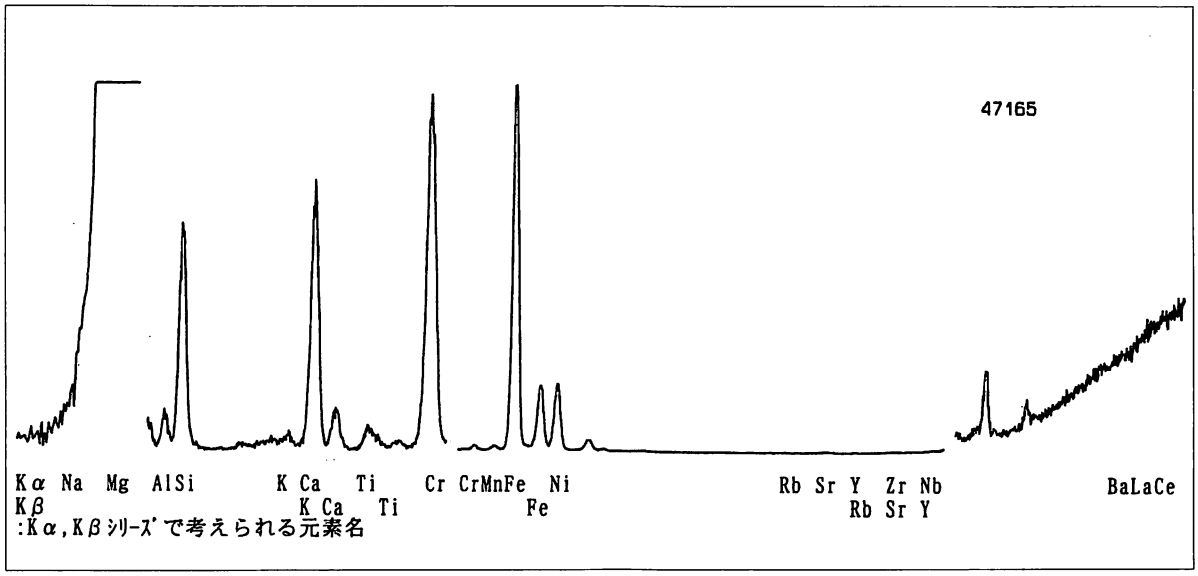
図Ⅴ—11　美々４遺跡出土の玉、玉材のCa/Si対Sr/Feの分布



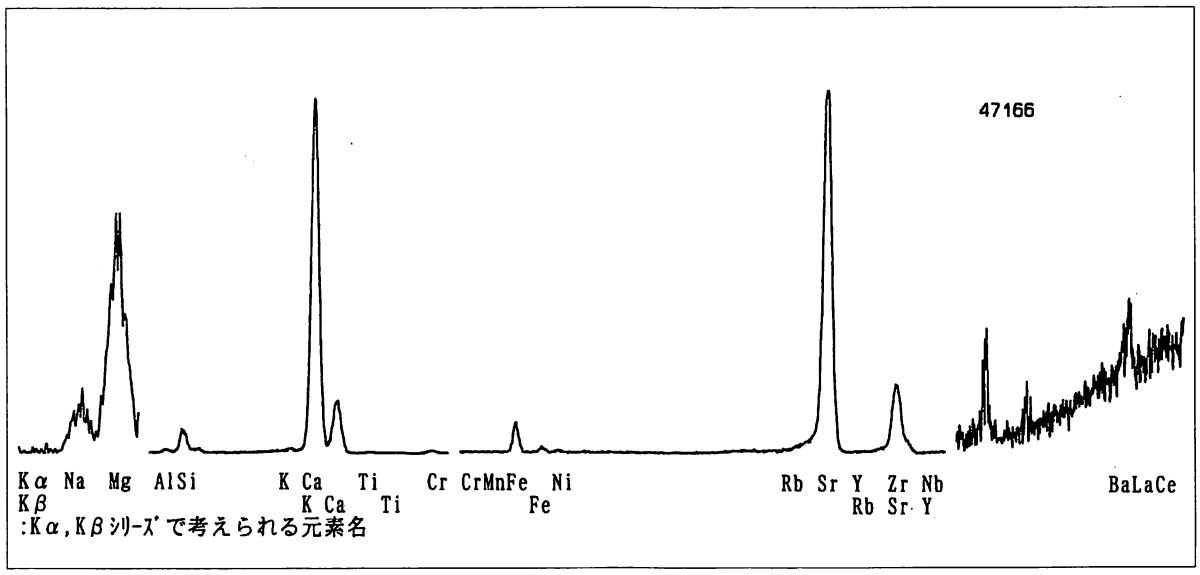
図Ⅴ—12　美々４遺跡出土の玉、玉材のNa/Si対Mg/Siの分布



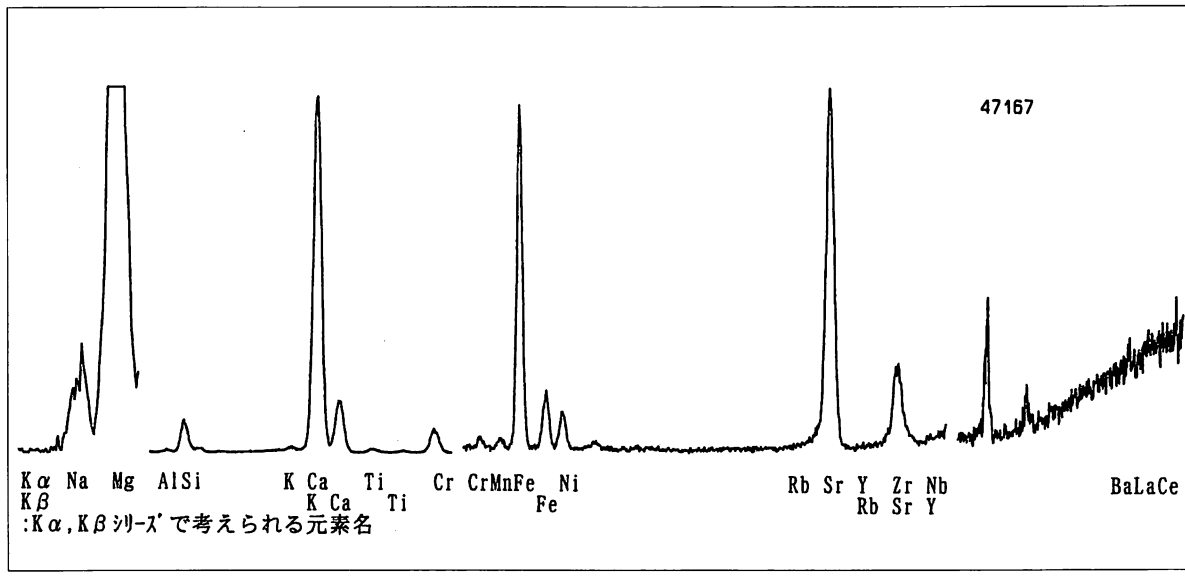
図Ⅴ－13　美々４遺跡出土１－玉(47164)の蛍光Ｘ線スペクトル



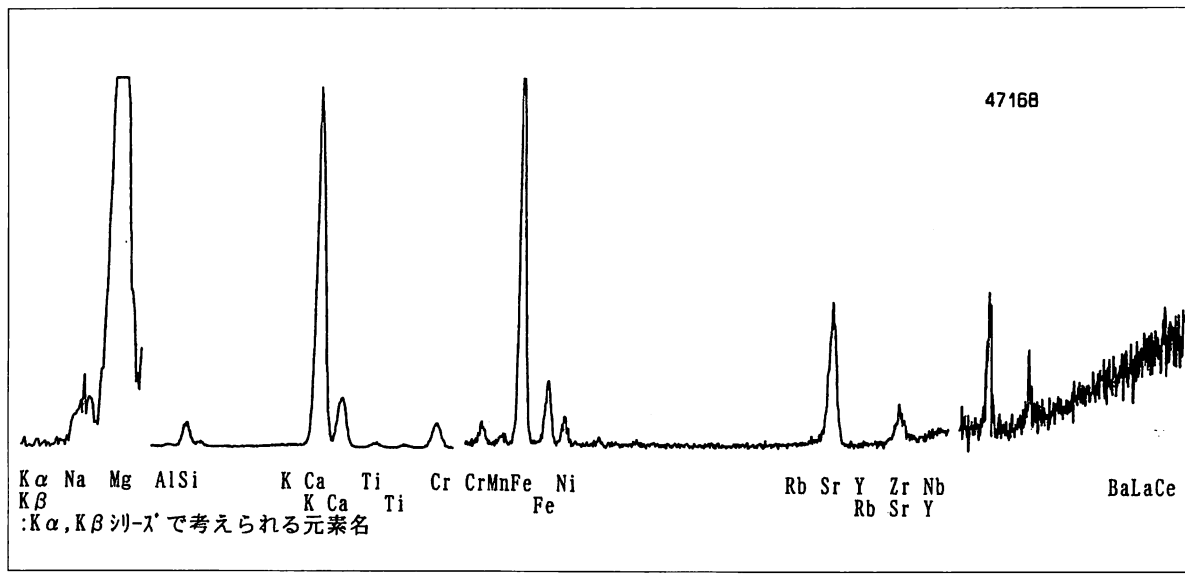
図Ⅴ－14　美々４遺跡出土２－玉(47165)の蛍光Ｘ線スペクトル



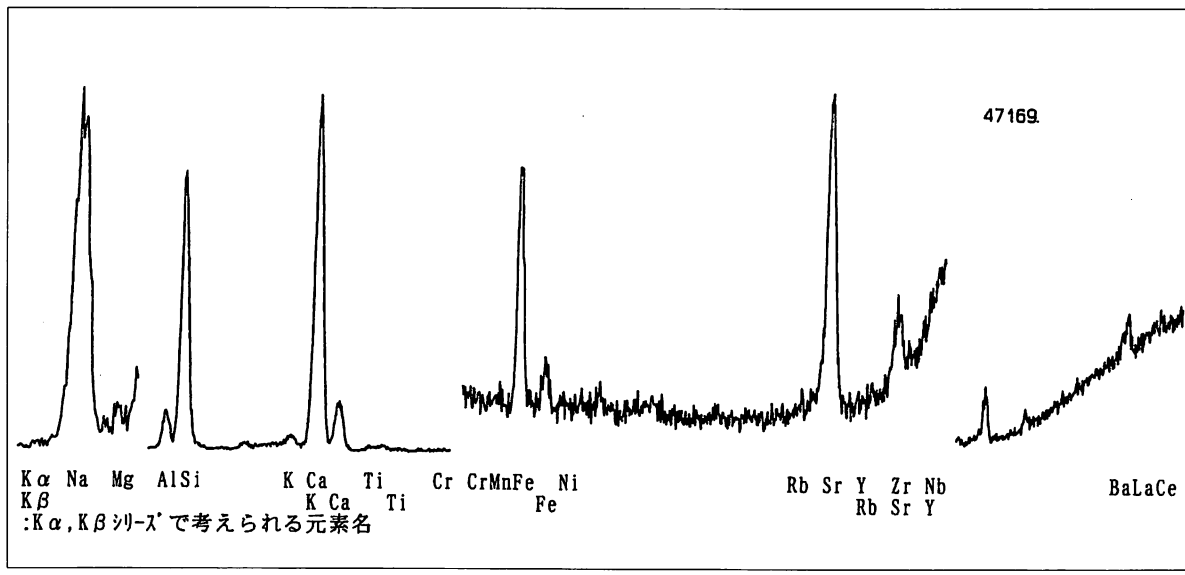
図Ⅴ－15　美々４遺跡出土３－玉(47166)の蛍光Ｘ線スペクトル



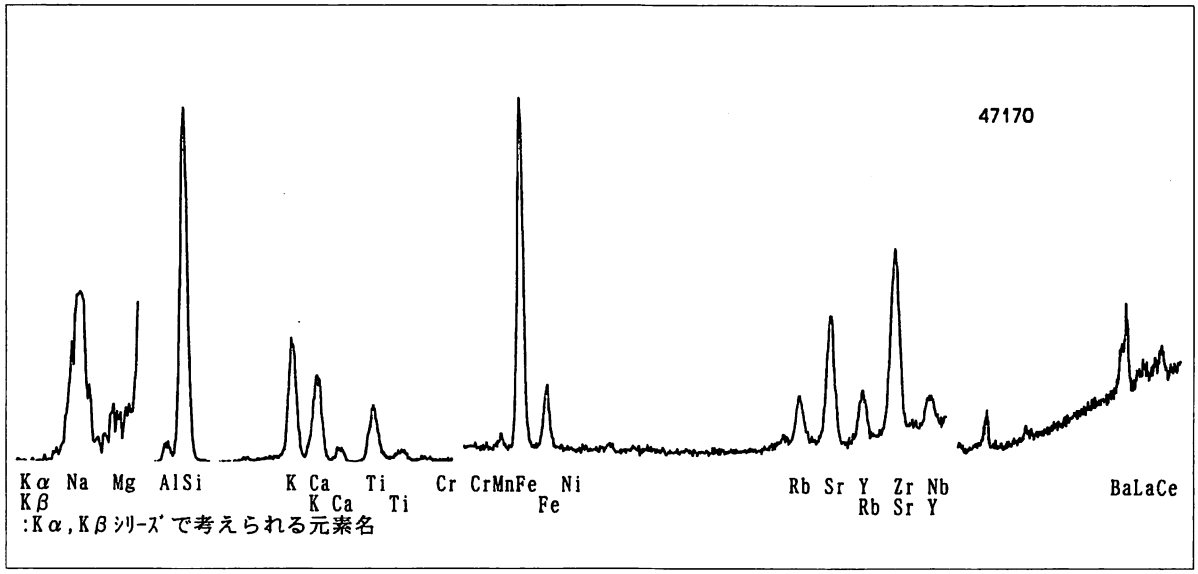
図Ⅴ—16　美々４遺跡出土４—玉(47167)の蛍光Ｘ線スペクトル



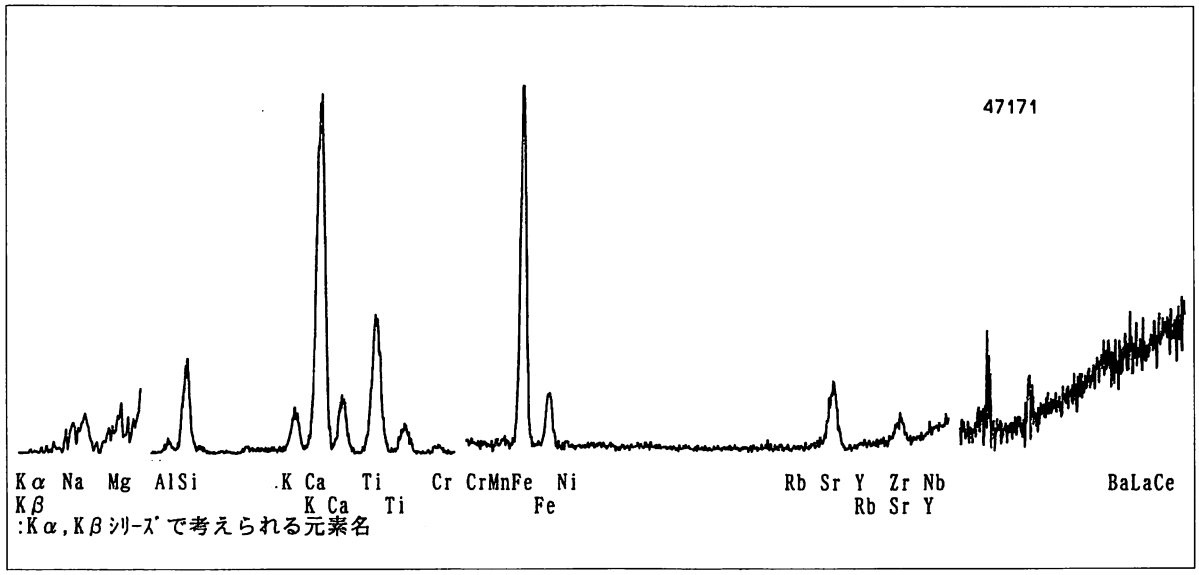
図Ⅴ—17　美々４遺跡出土５—玉(47168)の蛍光Ｘ線スペクトル



図Ⅴ—18　美々４遺跡出土６—玉(47169)の蛍光Ｘ線スペクトル



図Ⅴ—19　美々４遺跡出土７—玉(47170)の蛍光Ｘ線スペクトル



図Ⅴ—20　美々４遺跡出土８—玉(47171)の蛍光Ｘ線スペクトル

遺物番号	分析番号	出土地点	出土層位	遺物番号	備考
1-玉	47164	E_2-65-05	ⅡB-1	7	
2-玉材	47165	E_2-65-13	ⅡB-1	94	
3-玉	47166	E_1-65-90	ⅡB-1	288	
4-玉	47167	E_2-65-14	ⅡB(杭)	273	
5-玉	47168	E_2-65-01	ⅡB-2	33	
6-玉材	47169	E_2-65-02	ⅡB-2	761	
7-玉材	47170	中央トレンチ	ⅡB	94	２個中１点(大)
8-玉材	47171	中央トレンチ	ⅡB	94	２個中１点(小)

表10　美々４遺跡出土の玉類および玉材の資料一覧

表11　ヒスイ製遺物の原石産地の判定基準(1)

原産地名	分析個数	蛍光X線法による元素比の範囲					
		比重	K/Ca	Ti/Ca	Sr/Fe	Zr/Sr	Ca/Si
糸魚川産	41	3.00～3.35	0.01～0.17	0.01～0.56	0.15～30	0.00～2.94	0.72～27.6
若桜産	12	3.12～3.29	0.01～0.91	0.03～0.59	3.45～47	0.00～0.25	4.33～48.4
大佐産	20	2.85～3.17	0.01～0.07	0.00～1.01	3.18～61	0.00～12.4	3.47～28.6
長崎産	3	3.16～3.23	0.01～0.14	0.17～0.33	0.02～0.06	4.30～16.0	
日高産	22	2.98～3.29	0.00～0.01	0.00～0.02	0.00～0.37	0.00～0.063	5.92～51.6
引佐産	8	3.15～3.36	0.04～0.04	0.00～0.03	0.03～0.33	0.00～0.018	36.3～65.9
大屋産	18	2.96～3.19	0.03～0.08	0.04～0.16	1.08～79	0.02～0.48	0.95～4.81
神居コタン産	9	2.95～3.19	0.02～0.49	0.09～0.17	0.04～0.22	0.12～0.85	2.22～17.3
飛騨産	40	2.85～3.15	0.01～0.04	0.00～0.00	0.02～0.10	0.00～1.24	12.7～28.5
ミャンマー産	26	3.15～3.36	0.02～0.14	0.01～0.26	0.09～2.5	0.01～23	
台湾産	1	3.00	0.003	ND	ND	ND	

ND：検出限界以下の濃度

表12　ヒスイ製遺物の原石産地の判定基準(2)

原産地名	蛍光X線法による分析元素（各元素が確認できた個体数の百分率）							
	Cr	Mn	Rb	Y	Nb	Ba	La	Ce
糸魚川産	26%	6％	20%	ND	13%	33%	ND	ND
若桜産	ND	ND	16%	ND	100%	100%	67%	67%
大佐産	ND	ND	44%	ND	33%	100%	67%	67%
長崎産	ND	ND	ND	100%	100%	100%	100%	100%
日高産	tr	tr	ND	ND	ND	tr	ND	ND
引佐産	88%	75%	ND	ND	ND	ND	ND	ND
大屋産	tr	ND	31%	ND	6％	90%	100%	100%
神居コタン産	ND	100%	22%	100%	ND	55%	ND	ND
飛騨産	100%	100%	ND	ND	ND	ND	ND	ND
ミャンマー産	13%	4％	ND	ND	ND	35%	ND	ND
台湾産	tr	tr	ND	ND	ND	ND	ND	ND

ND：検出限界以下　tr：検出確認

表13　美々４遺跡出土の玉類および玉材の元素分析値の比量と比重

遺物番号	分析番号	元素分析値の比量									
		Na/Si	Mg/Si	Al/Si	K/Ca	Ca/Si	Ti/Ca	Cr/Fe	Mn/Fe	Ni/Fe	Sr/Fe
1-玉	47164	0.096	1.461	0.06	0.01	21.40	0.01	0.018	0.011	0.047	1.921
2-玉材	47165	0.046	6.885	0.10	0.04	1.98	0.09	0.009	0.011	0.170	0.004
3-玉	47166	0.098	0.888	0.06	0.01	24.31	0.00	0.011	0.023	0.086	4.764
4-玉	47167	0.105	1.561	0.09	0.01	22.24	0.01	0.040	0.031	0.142	2.915
5-玉	47168	0.037	1.879	0.07	0.00	25.65	0.01	0.052	0.020	0.058	0.483
6-玉材	47169	0.093	0.011	0.11	0.03	2.15	0.01	0.000	0.033	0.008	1.917
7-玉材	47170	0.023	0.019	0.04	1.38	0.42	0.68	0.000	0.036	0.001	0.477
8-玉材	47171	0.069	0.236	0.09	0.11	7.12	0.43	0.002	0.016	0.006	0.260
JG-1		0.001	0.030	0.06	1.25	4.84	0.27	0.002	0.022	0.000	0.378

遺物番号	分析番号	元素分析値の比量					試料比重	試料重量
		Zr/Sr	Nb/Sr	Ba/Sr	Rb/Sr	Y/Sr		
1-玉	47164	0.051	0.01	0.03	0.01	0.00	3.280	1.277
2-玉材	47165	0.410	0.00	0.00	0.00	0.10	2.683	11.956
3-玉	47166	0.031	0.00	0.89	0.01	0.00	3.326	0.326
4-玉	47167	0.082	0.00	0.08	0.02	0.00	3.308	0.966
5-玉	47168	0.057	0.00	0.22	0.00	0.00	3.252	0.309
6-玉材	47169	0.000	0.10	2.32	0.01	0.00	2.604	2.980
7-玉材	47170	1.409	0.20	4.25	0.33	0.32	2.643	1.824
8-玉材	47171	0.180	0.05	1.00	0.01	0.01	2.665	0.885
JG-1		0.790	0.05	5.53	0.77	0.16		

a)：標準試料、Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E.(1974)compilation of date on the GJS geochemical reference sammples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochemical, Journal, Vol.8 175-192.

表14　美々４遺跡出土の玉類および玉材の原材産地分析結果

遺物番号	分析番号	各分類基準による判定 図５判定	図６判定	図７判定	比重&基準(2)	Ni/Fe判定[a)]	総合判定
1-玉	47164	IT	IT*	IT	IT、HD、IN		糸魚川*
2-玉材	47165	HD					不　明
3-玉	47166	IT、WK、OS	IT、WT	IT	IT、IN		糸魚川
4-玉	47167	IT	IT、WK	IT	IT、HD、IN		糸魚川
5-玉	47168	IT		HD	IT、HD、IN		不　明
6-玉材	47169	IT	IT、OY				不　明
7-玉材	47170	IT					不　明
8-玉材	47171	IT、HD	KM*	IT、WK、KM			不　明

IT　：糸魚川　WK：若桜　OS：大佐　NG：長崎　HK：日高　IN：引佐　OY：大屋
KM：神居コタン　HD：飛騨
ａ）：（飛騨産原石、42個の平均値±標準偏差）　Ni/Fe＝0.091±0.030
（日高産原石、14個の平均値±標準偏差）　Ni/Fe＝0.065±0.028
＊　：一致しないが、そこの原石産地に非常に近い性質の原石と考えられる遺物。

7　美々４遺跡出土の琥珀製遺物のESR法による産地分析

藁科　哲夫（京都大学原子炉実験所）

琥珀の産地分析では、バルト海産琥珀の分類に赤外吸収法が試みられているが、琥珀製遺物は風化され本来の化学組成が異なり琥珀原石と完全に一致する赤外吸収スペクトルは得られず、定性的に推定されたにすぎず確実な結果は得られていない。最近では、ドミニカ国内産琥珀の分類にNMR法が有用なことが示されている。日本産琥珀では赤外吸収法での分類が試みられ、六世紀中頃の東大寺山古墳から出土した琥珀小片が久慈産琥珀と同定された例がある。久慈産琥珀の使用が何時の時代まで遡ることができるかまだ明らかになっていない。琥珀製遺物を出土する遺跡は青森県の遺跡でも見つかっていて、考古学者は久慈産の可能性を推測しているが、まだ、客観的な証拠が示された例はない。数多くある産地の中で何れの産地の原石が使用されたかを明らかにするためには、産地を区別するには産地固有の因子を見つける必要があり、因子は多い方がより正確な産地分析ができる。赤外吸収分光法では試料を破壊し粉末にする必要があるが、ESR分析は試料の大きさが10㎜以下までは通常のESRキャビティで完全な非破壊で分析ができる点が重要な考古遺物を対象としたとき優れた方法と言える。ESR法を琥珀の分類に応用した例はなく、産地分析の可能性を、旧ソ連バルト海岸カリーニングランド産、プロシア海岸産、ビルマ産、撫順炭鉱産、ドミニカ産、北海道上利別産、久慈産、銚子産、スタロドウプスコエ産（サハリン、旧栄浜）、石狩浜産の琥珀を分析し探った。琥珀のESRスペクトルは図Ⅴ—21—図１～３に示すような単純な信号で産地毎に異なり図Ⅴ—21—図１、２は区別ができる。しかし、図３タイプの信号を示す産地の信号差は僅かで産地を区別するには精密な分析を行う必要がある。ここで、琥珀にCo—60のガンマ線を約20KGy照射してラジカルを作り、それを指標として分類を行った結果を図Ⅴ—21—図４（１～８）、Ⅴ—22—図５に示す。Ⅴ—21—図３の信号を示す琥珀ではプロシア海岸の琥珀は照射効果で他の産地と区別が可能になったが、スタロドウプスコエ産の赤色系が黄色系に比べてピークとピーク間の幅および線幅が狭くなり差が見られるにすぎず、スタロドウプスコエ産黄色系と石狩浜産および他の北海道産の２地区の琥珀の結果も石狩浜産琥珀と同じ結果になり相互の区別はできなかった。この様に区別できる産地が少ないことはESR法による琥珀製遺物の産地分析結果に大きな制約を課することになる。しかし、久慈産琥珀は照射効果で荒田に生成したラジカルのESR信号によって、他の産地の琥珀と区別できる。すなわち、久慈産琥珀を使用した遺物か否かだけでも判定できると考えて産地分析を試みた。

美々４遺跡出土の原石様琥珀遺物の分析結果と考察

美々４遺跡出土の原石様琥珀遺物の未照射のESR信号を図Ⅴ—21—図６に、約20KGy照射後のESR信号を図７にそれぞれ示した。この照射後のESR信号のピークとピーク間の幅および線幅は非常に狭く調査した産地の中に一致するESR信号の産地は見られず琥珀製遺物原材産地を明らかにすることができなかった。赤外線吸収法による産地分析法で問題になった琥珀製遺物の風化の影響がESR法でも関係していることが当然推測される。琥珀製遺物が一様に赤色系であるのは風化による赤色化で、琥珀はキセノランプで光誘導酸化を起こし、紫外線と酸素で劣化するため、保存は水—アルコール溶液に浸し遮光して劣化を防ぐ。風化の影響を調査するには風化した琥珀を入手する必要があり、我々素人では赤色風化した琥珀なのか、また赤色が混じる未風化琥珀か判断できないが、琥珀研究の第一人者の久慈琥珀資料館館長佐々木和久氏から久慈産琥珀の風化進行中の赤色化しつつある琥珀の提供をうけ、この琥珀の赤色化し非常に脆くなり玉葱の皮様に容易に剥離できる約１㎜厚の表

面層部分（風化進行大）、表層部分以下は中心に向かって連続的に赤色が薄くなっている。表層直下の赤い部分（風化進行中）、その下の部分（風化進行弱）、その下の部分（風化進行弱弱）の４個の部位に分けた。風化進行弱弱の部位であっても指で容易に割取ることができることから風化が進んでいることが推測できた。これら４個の部位についてそれぞれ分析した結果を図Ⅴ—23—図８に示す。風化進行弱弱、弱までは、図５の石狩浜（黄色系）、スタロドウプスコエ産琥珀赤、黄色系と照射により区別であるが、風化進行中では石狩浜、スタロドウプスコエ産黄色と区別ができない。ESR信号では風化進行大とスタロドウプスコエ産赤色系と全く区別ができない状態であるが、両者の大きな違いは風化進行大部位は非常に脆く、スタロドウプスコエ赤色系は硬く粘りが感じられる点である。久慈産琥珀の風化によるESR信号の変化は大きく、風化の進行度が計測できるほどである。赤色化するESR信号のピークとピーク間の幅および線幅が狭くなると考えると、スタロドウプスコエ産琥珀の黄色系が少し風化し赤身を帯びた琥珀が赤色系の琥珀と考えられる。美々４遺跡出土琥珀に近いESR信号を作り出すには更に風化を進行さす必要があり、未風化の久慈産琥珀を空気中で180度で20時間、195度で６時間、300度で２時間加熱後にそれぞれ照射して風化を人工的に再現した結果を図Ⅴ—23—図９に示した。風化進行大は300度と195度の間の信号幅になり、美々４遺跡の琥珀の信号は更に風化の進行した信号に相当する。300度加熱で琥珀は黒化に近い色になり、300度を越えると完全に炭化すると思われる。現段階では久慈産琥珀の加熱で美々４遺跡の琥珀の信号は再現できなかったが、加熱の仕方雰囲気など検討する課題は山積している。また同じ実験を他の産地の琥珀についても行い美々４遺跡の琥珀と同じ結果が得られてた場合そこの産地の可能性は推測できる。美々４遺跡に各産地の琥珀を埋めて3000年後に風化した琥珀を分析すれば結果が得られるが、これは自然科学的方法とは言えない。自然が支配する条件の風化現象は近代科学で再現できるはずである。

琥珀製遺物の蛍光Ｘ線分析

最近、琥珀の非破壊分析による蛍光Ｘ線分析を行ったところ、美々４遺跡出土琥珀からはBr元素は検出できなかったが、スタロドウプスコエ産琥珀の幾つかからBr元素が観測され、他の産地の琥珀では検出限界以下であった。一般に植物の必須元素としてＣ、Ｈ、Cu、Cl、Ｐ、Ｋ、Ｏ、Ｎ、Ca、Ｓ、Fe、Mg、Mo、Mn、Ｂ、Znの16種類および有用元素ではNa、Si、Al、Ni、Coの５種類が知られている。これら元素の外に希土元素、重金属元素など合計約100種類の元素が植物の生活環境に存在し、これら幾つかの元素の化合物とか元素単体の形で植物生体内に必要な元素が選択的に取り込まれ、また不必要なものは排他する。これら植物が取り込む元素の種類および量は植物の種類によって異なり、また気候、土壌組成など生育環境に左右されることが推測され、現在までに日本全国約50箇所、700種類、2,500固体の葉について調査が行われ、ある種の植物が特定の元素を集積することが明らかにされ、石川県産のメタイセコイアに180PPMの臭素（Br）が検出され、他県の平均的含有量の千倍から百倍を示し、また、大阪のメタセコイアではヨウ素（Ｉ）が８PPMで通常の約１万倍から８倍の量が観測されている。これは臭素とかヨウ素濃度の高い地下水脈の環境下で生育したためと推測され、地域の特徴が植物に現れた典型的な例と考えられる。スタロドウプスコエ産琥珀の起源植物の生育環境が偶然に高濃度の臭素地下水時期の地帯であった結果として臭素高濃度琥珀が生まれたと推測した上で、他の産地の琥珀から臭素高濃度琥珀が発見されなければ、琥珀遺物のBr元素の濃度を測定するだけで、スタロドウプスコエ産琥珀か否かが判定できる。また、貴重な琥珀遺物で、遮光、水漬け保存された遺物でも、強制乾燥させることなく蛍光Ｘ線分析で完全な非破壊分析によりBr元素の定性的な結果から判定できると思われるが、⑴琥珀を作った樹脂の中のBr元素が表面

に濃縮したのか、または琥珀原石が選択的にBr元素を吸着した結果か、さらに産地固有の現象と言えるか。⑵琥珀遺物から分析されたBr元素が原材料の琥珀が含有していたBr元素かまたは加工後にBr元素によって汚染されたかを考察しなければならない。琥珀玉が副葬品として遺体とともに埋葬されているが、人体で最もBr元素の含有量の多い臓器は腎臓で49PPM、土では海成堆積土壌での含有量が多く64PPMで、岩石起源の土であれば10PPM以下である。埋土環境にBr元素が多い場合も考察され、風化琥珀にBr元素の濃縮作用がないかなど解決しなければならない問題は多く残っていて、また研究材料の琥珀原石の入手も困難で問題解決には相当時間がかかると思われる。

謝　辞

本研究の遂行にあたっては、故益富寿之助氏（益富地学会館）、山崎一雄氏（名古屋大学）、佐々木和久氏（久慈琥珀資料館）、田原良信氏（函館市教育委員会）、杉浦重信氏（富良野市）および谷島由貴氏（北海道埋蔵文化財センター）の方々から琥珀原石の提供を快くして頂き、大変お世話になって得た成果で紙上でお世話になった方々に深い感謝を捧げたい。

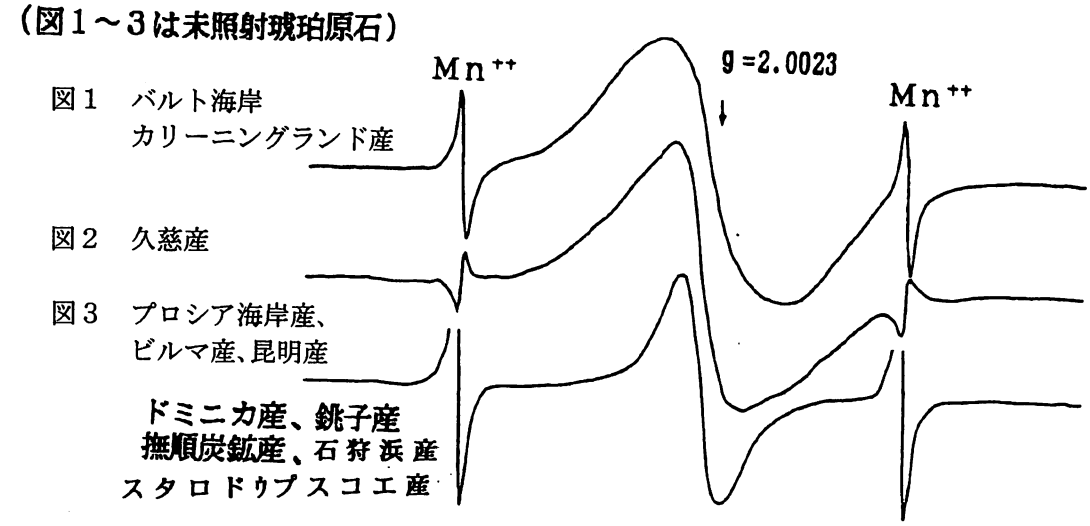
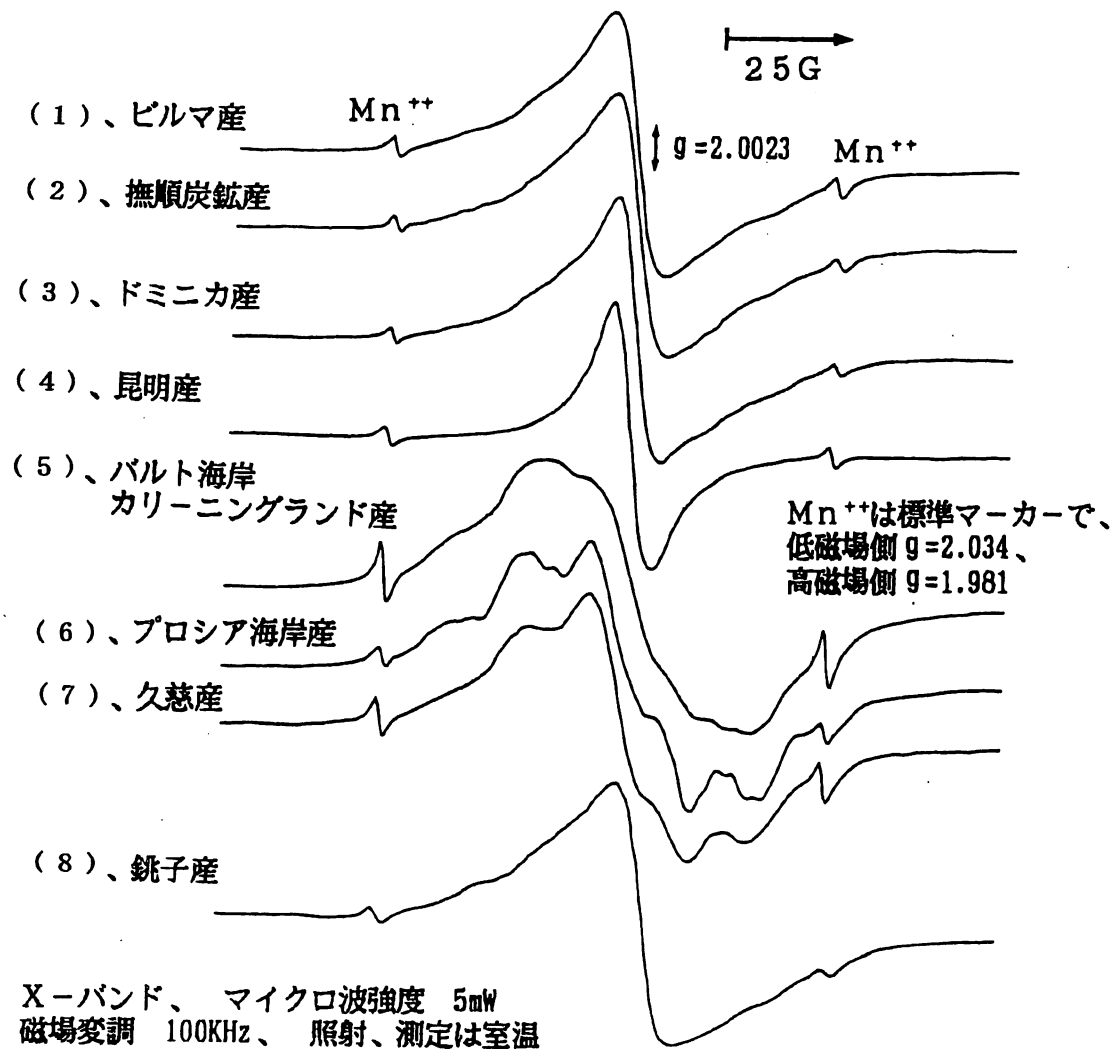
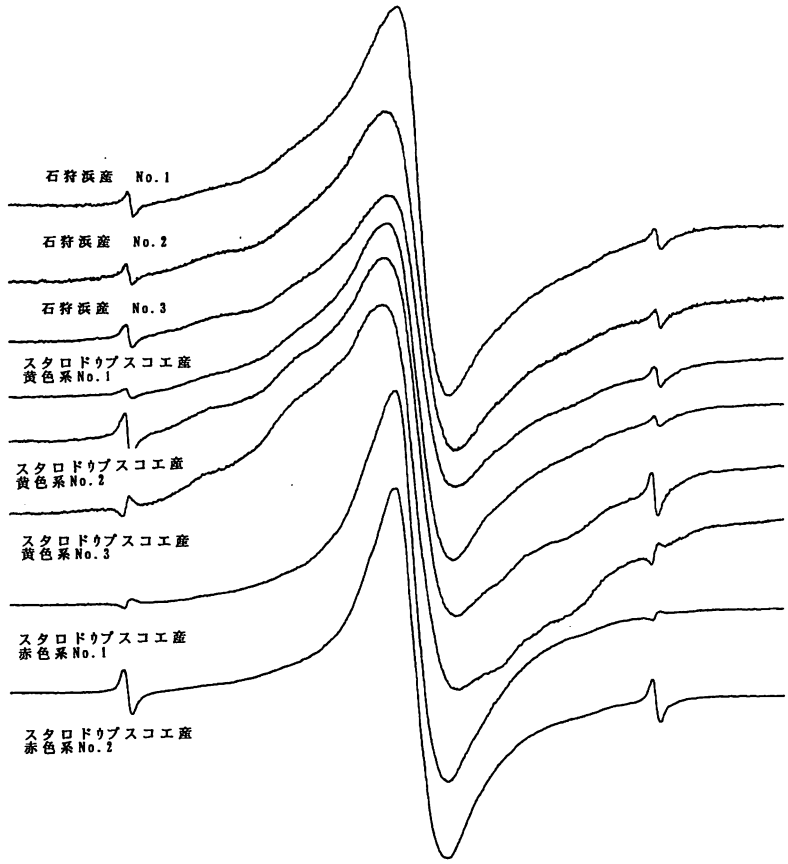


図４　コバルト－60、γ線照射20KGy後



図Ⅴ－21　琥珀のESR信号

図５　γ線照射20KGy後　琥珀原石のESR信号



美々４遺跡出土の琥珀製遺物のESR信号

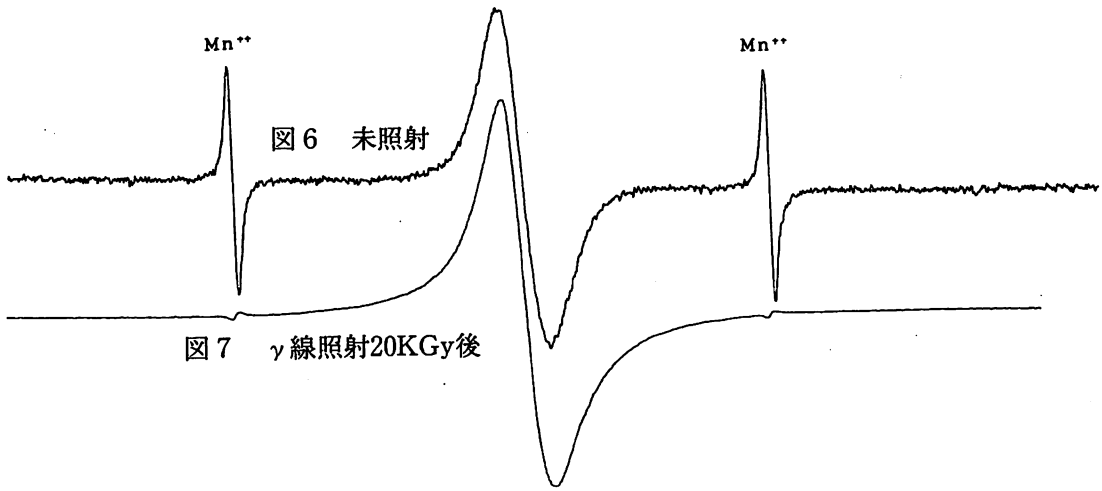


図６　未照射

図７　γ線照射20KGy後

図Ⅴ—22　琥珀原石のESR信号など

図８　γ線照射20KGy後　久慈産風化進行中琥珀原石のESR信号

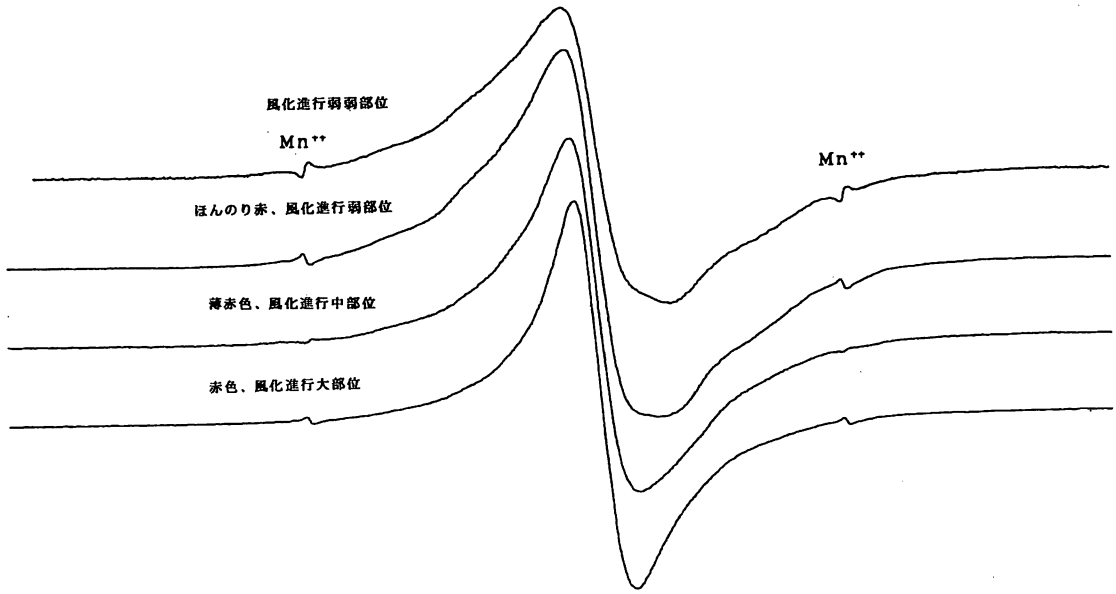
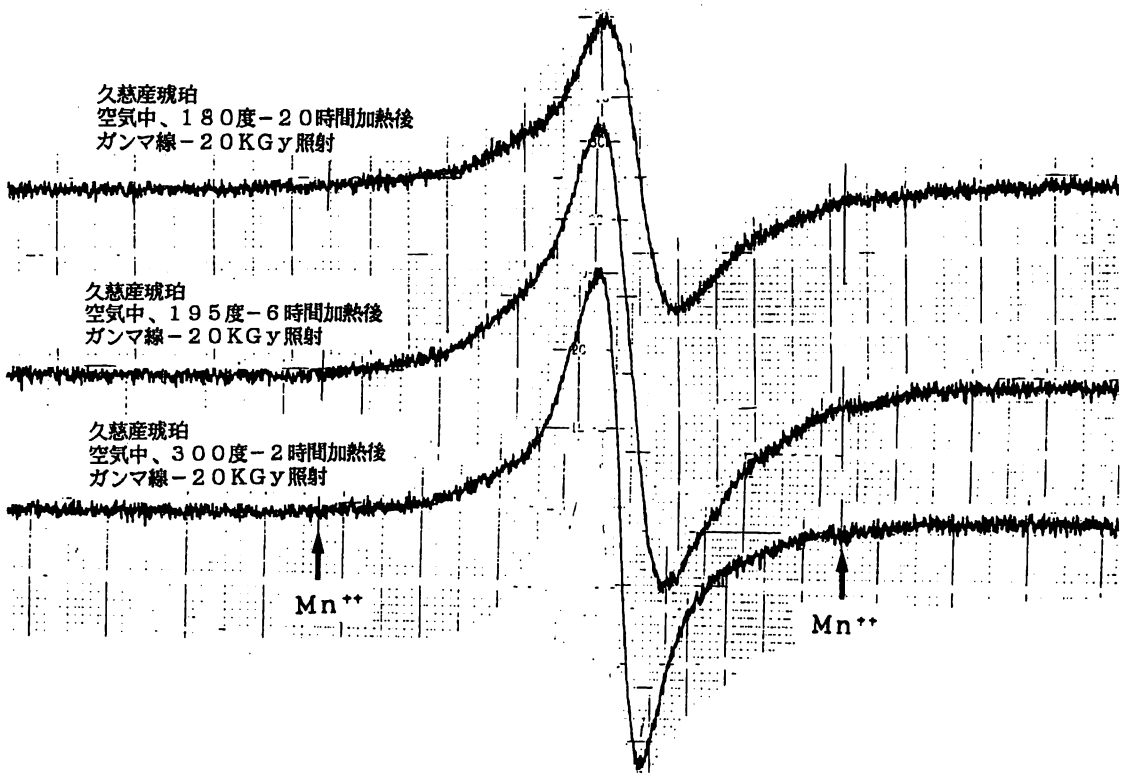


図９　加熱久慈産琥珀のγ線照射20KGy後のESR信号



図Ⅴ—23　琥珀原石のESR信号など

第Ⅵ章　まとめ

1　遺構

美々４遺跡の調査は、昭和51年度以来、53、55、58、59、60年を経て、今回の調査により７度目になる。これらの調査結果により、台地上面には「周堤墓」や「周溝墓」「土壙墓群」などの大規模な墓群が展開し、美沢川の川岸に近い低く平坦な場所では支笏パミスや恵庭ａロームなどの火山灰を盛り上げて築いたマウンド状の墳墓群が確認され、豊かな包含層とともに、墓域としての性格が強い遺跡であることが知られてきた。

今回の調査区は面積は少ないものの、それらの大規模な墓群間の中央部に位置し、しかも台地と低地を結ぶ斜面にあたっていることから、調査においては、様々な条件が絡み合う複雑な様相を呈する結果となった。

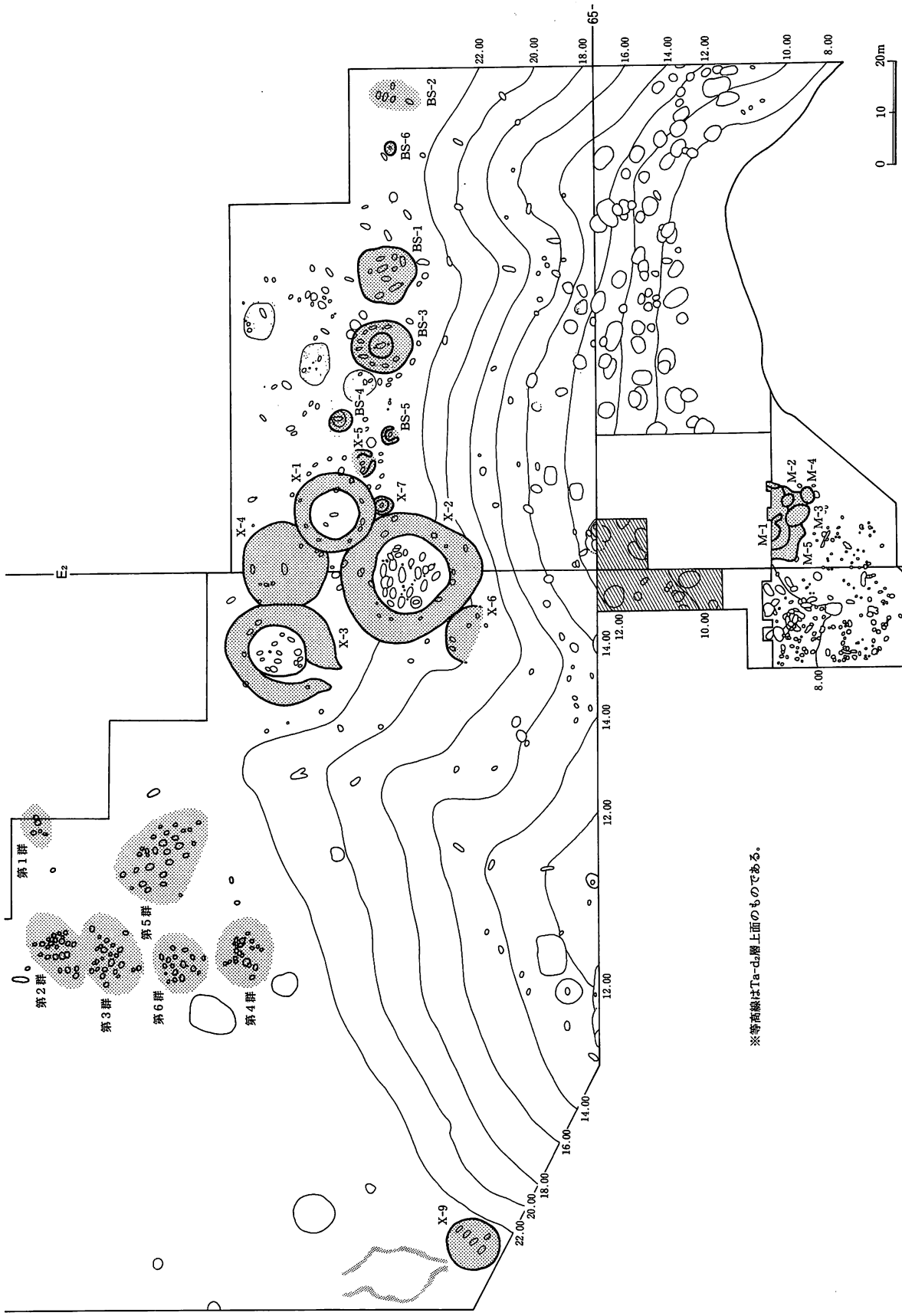
特に注目されたのが第Ⅱ黒色土層において確認された中間層（ⅡＢ－２層）である。焼土、シカ、イノシシを主体とする焼骨、Ta－d_2粒子などが多量に混在し、他層との差も明瞭である。更に、Ⅳ群ｃ類を主体とする土器群など、包含する遺物点数も多い。調査区内における広がりは北側斜面上部から中部に限定され、昭和55、58年度の調査で明らかになった65ライン沿いの遺物集中部分と連続するものとして捉えられる。この場合、全体を一つのまとまりとして大規模なマウンド、あるいは盛土として把えられる可能性が指摘される。

第Ⅱ黒色土層上面においては、調査区南端（E_1－65－84周辺）にマウンド状の高まりが確認された。トレンチの土層断面により、支笏パミス火山灰が確認されたため、昭和51年度調査区出土のM－１、M－５の延長として把握することができた。調査面積変更により、直接の調査はできなかったが、これらのマウンド状墳墓群からは、重要文化財指定の「動物形土製品」が出土しており、今回の調査区出土の遺構、遺物の理解において重要である。

また、今回、第Ⅰ黒色土層の調査において、32基の土壙のうち３基を人骨の伴う縄文時代の土壙墓、１基をアイヌ文化期の土壙墓として確認した。縄文時代の３基の土壙墓については、それぞれ頭位方向も異なり、これまでの美々４遺跡の調査においても見られた縄文時代晩期後半における単独墓として位置づけることが出来る。

アイヌ文化期の土壙墓については、これまでに美々８遺跡（ＩＰ－１）、美々７遺跡（Ｐ－10）で検出されており、いずれも刀子、鉄鍋などの副葬品が見られるが、本調査出土のものについてもこれらと同様、細長い土壙で伸展葬のタイプである。副葬品には鉄製の垂飾が見られた。

集落として美々４遺跡は、隣接する昭和55年度の調査区において縄文時代前期中葉から後期末の集落が確認されている。縄文時代前期の住居跡が台地上に２ヶ所、斜面下位（標高7.5～14mの間）に33ヶ所、縄文時代後期の住居跡が、台地上に１ヶ所、斜面下位に26ヶ所出土している。今回の調査区において縄文前期の住居跡が１軒、縄文中期が２軒、縄文後期が７軒、縄文晩期が１軒確認されており、55年度調査区に一連するものとして捉えることができる。立地に関しても同様に、斜面のわずかな平坦面を利用して、等高線上に沿ったかたちで築かれているのが確認できた。



図Ⅵ－1　墓群を中心とした美々4遺跡遺構分布図

2　土器（図Ⅵ－2・3）

土器は、ＩＢ層出土には、Ⅱ群ａ－１類・Ⅱ群ａ－２類・Ⅲ群ａ類・Ⅲ群ｂ－１類・Ⅲ群ｂ－２類・Ⅲ群ｂ－３類・Ⅳ群ｂ類・Ⅳ群ｃ類・Ⅴ群・Ⅴ群ｃ類・Ⅵ群・Ⅶ群がある。一部古い時期のものも出土しているが、これはＩＢ層の土壙がⅡＢ層まで掘り込まれてたことから生じたもので、特にＩＰ―130・132・137・142の覆土出土とした復原土器・破片資料の中にはⅡＢ層出土として扱うべき資料も含まれている。ⅡＢ層出土には、Ⅰ群ｂ－３類・Ⅰ群ｂ－４類・Ⅱ群ａ－１類・Ⅱ群ａ－２類・Ⅲ群ａ類・Ⅲ群ｂ－１類・Ⅲ群ｂ－２類・Ⅲ群ｂ－３類・Ⅳ群ｂ－３類・Ⅳ群ｂ類・Ⅳ群ｃ類・Ⅴ群・Ⅴ群ｃ類がある。これらの土器の出土層位・特徴について簡単にまとめる。

Ⅰ群土器

Ⅰ群ｂ－３類はⅡＢ－３層から体部破片が出土し、いずれも短縄文と微隆起線文が施されたものである。

Ⅰ群ｂ－４類は２点出土し、口縁部破片には短縄文と羽状縄文が施されたものである。

Ⅱ群土器

Ⅱ群ａ－１類はⅡＢ－２層から２点出土したが、小破片のため掲載できなかった。

Ⅱ群ａ－２類には、春日町式と中野系土器群があり、遺構・ＩＢ層及びⅡＢ層から出土し、ⅡＢ－３層が多い。ⅡＨ―13・ⅡＰ－７は当該期の遺構である。春日町式は少量の小破片資料で、半截竹管状工具による押引文が施されたもの、原体端部を意識した帯状の縄文が施されたものが出土した。中野系土器群には、体部の縄文が不規則な斜行縄文のものや、羽状縄文のものがあり、中には、口縁部に円形刺突文が加えられたものも認められた。

Ⅲ群土器

Ⅲ群ａ類は遺構・ＩＢ層・ⅡＢ層から少量出土している。いずれも小破片で、ⅡＨ―10からは撚糸圧痕文が加えられた細い粘土紐が貼り付けられているものが出土している。

Ⅲ群ｂ－１類には、貼付帯・半截竹管状工具内面による押引文が多用された天神山式に比定されるもの、２～３本一組の曲線的な沈線文が施された榎林式に比定されるものがある。出土層位は、ＩＢ層及びⅡＢ－１～３層から少量出土し、ⅡＢ－３層が多い。

Ⅲ群ｂ－２類には、半截竹管状工具内外面による押引文・刺突文が多用された柏木川式と道南部の大安在Ｂ式からノダップⅡ式に相当しそうなものがある。前者は少量の破片資料で、後者はⅡＨ－２床面から１個体まとまって出土し、ⅡＨ－２は当該期の住居跡と思われる。

Ⅲ群ｂ－３類には少量の北筒式と煉瓦台式があり、そのほとんどは北筒式である。煉瓦台式はⅡＢ－３層から１点出土しているが、貼付帯上に縄線文が加えられていることからⅢ群ｂ－２類に含まれる可能性もある。

Ⅳ群土器

Ⅳ群ａ類には余市系土器群と入江式がある。いずれも破片資料で、余市系土器群は折り返し口縁で、斜行縄文が施されたもの。入江式は地文として縄文が施され、幾何学的な太い沈線文で区画し、磨消が加えられたものものである。しかし、小破片のため掲載できなかった。

Ⅳ群ｂ類にはウサクマイＣ式・手稲式・銚澗式がある。出土層位はＩＢ層・ⅡＢ層及び遺構から出土した。ⅡＨ－６・ⅡＨ－７は当該期の遺構で、いずれも銚澗式の時期の住居跡である。ⅡＨ－６では刻みの加えられた文様区画帯の施されたものと縄文のみのものが床面から供伴している。ⅡＨ－７からは口唇部直下に外面から細い円形刺突文が加えられたものが出土し、包含層出土資料と接合した

(図Ⅳ—13—４)。類似資料はエリモ遺跡Ｂ地点からエリモＢ式と共に出土している。今回の調査ではエリモＢ式の型式的特徴である刻みの加えられた文様区画帯と突き瘤が組み合わされたものが数点出土している。

Ⅳ群ｃ類はＶ群とともに本遺跡の主体を占めるものである。復原土器230個体得られた。出土量はⅡＢ—２層に集中し、ⅡＢ—１層、ⅡＢ—３層という順番に減少する。本来、Ⅳ群ｃ類は堂林式、三ッ谷式、御殿山式に相当するものであるが、各土器群の型式的不明瞭さやＶ群ａ類との区別が不明瞭な資料も多く、突き瘤をもつもの等をⅣ群ｃ類に、爪形文・三叉文が施されたものを便宜的にＶ群とした。そして、突き瘤と爪形文との組合せたものについてはＶ群とした。

今回出土したⅣ群ｃ類の深鉢各層の特徴は以下の様にまとめられる。

ⅡＢ—３層出土の深鉢は、無文帯と口縁部文様帯が幅広なもの、無文帯が幅広で、口縁部文様帯の幅が狭いものとに分けられる。前者は体部中位に無文帯をもつ。口縁部文様帯には縄文のみのもの、横走する沈線が加えられたもの、横走する沈線と突起間を結ぶ弧線文が施されたもの等がある。体部には地文上に横走する数本一単位の沈線文や磨消縄文が単帯で施されている。後者は口縁部から頸部にかけて幅広の無文帯があり、新たに無文帯内に数本一組の沈線文や無文帯で区画した口頸部文様帯や縄文帯が加えられ、文様帯が多段化する傾向が窺える。そして、体部文様帯に磨消縄文が施されているものにはボタン状の貼付瘤が組み合わされ施文されているものも認められた。

ⅡＢ—２層出土の深鉢は、ⅡＢ—３層出土資料に比べ無文帯や口頸部文様帯は幅広で、口縁部文様帯が狭いものが多い。無文帯が広くなることや口頸部文様帯が新たに出現することであたかもⅡＢ—３層の口縁部文様帯が引き上げられたように思える。このことからⅡＢ—３層の口縁部文様帯・体部文様帯が幅広のものからⅡＢ—３層の一部・ⅡＢ—２層にみられる口縁部文様帯が狭隘化し、口頸部文様帯が多段化したものへの変遷が窺える。そして、口縁部文様帯・口頸部文様帯・体部文様帯の施文方法は、文様帯の変化に伴って磨消縄文から地文上に沈線文が加えられたものが増加する傾向が窺えた。また、ボタン状・円形刺突文が加えられたボタン状、棒状等の貼付瘤が多用される傾斜が窺える。貼付瘤が施されたものは、口唇部断面形が角形気味や丸味をもつもので、口縁部文様帯には菱目状や入れ子の連弧状の沈線文が地文上に施されたもの、体部文様帯には磨消縄文が施されたもの等が多い傾向が認められる。

口縁部は波状・平縁が多く認められるが、指頭の押圧による小波状口縁や部分的に指頭の押圧が加えられたものが認められるようになる。

突き瘤には、①器面内面から刺突を加えて突き瘤を作出しているもの、②器面外面から突き瘤を作出した後、内面調整を加えて刺突痕を抹消しているもの（図Ⅳ—64—232等)、③浅い内面からの刺突で突き瘤を形成しないもの、④器面内面から刺突を加えて突き瘤を作出した後、摘み揚げを加えたもので、明瞭な爪形が認められるもの、⑤外面に浅い突き瘤を加え、粘土粒を重ねて貼付したもの（図Ⅳ—36—34等）等がある。このうち①についてはⅡＢ—３層～ⅡＢ—１層に認められ、②③④はⅡＢ—２層に多く、④はⅡＢ—３層の口縁部文様帯が狭いもの（後者）から認められⅡＢ—２層に多くなる傾向が窺える。文様効果を考えるならば爪形文となんら変わらないものさえ認められ、後続する摘み揚げによる爪形文の多用の素地はこの段階で成立していたように思える。⑤はⅡＢ—１層に認められている。このような突き瘤から貼付への瘤突き瘤の手法の変化は、突き瘤への意識の変化を示すものと思われる。貼付瘤の多用は、Ａ状突起・Ｂ状突起へ、突き瘤に摘み揚げが加えられるという手法は後続するする摘み揚げによる爪形文を生み出す要因と考えることが出来そうである。

この他に刺突文が多用された一群がありそうである。これは沈線で区画された磨消縄文が施され、

文様帯内に磨消文を縁取るように細い刺突文が加えられたもので、深鉢・注口土器（図Ⅳ—50—10、51—20・22、56—70）等が出土している。またⅡＢ—３層からは浅鉢が出土している（図Ⅳ—84—33）。これらの資料は、比較的器面調整が丁寧なものが多く、手稲式との関連が想定され、また、この刺突文をⅣ群ｂ類の鍛潤式の文様帯を区画する刻みや磨消縄文を縁取る様に加えられた刻目文との関連を想定するならば比較的古いものかも知れない。そして、縄文が加えられていないが図Ⅳ—51—18や図Ⅳ—53—32等も同様に考えることができそうである。

ⅡＢ—１層出土の深鉢は出土資料が少なく不明な点が多いが、復原土器をみる限り、口唇部断面形は角形ないし丸味をもつものが多く、切り出し状は少ない様に思われる。体部・口頸部文様帯には磨消縄文がほとんど認められず、地文上に沈線文が施されたものが多く、ⅡＢ—２層での傾向が一層明確になる様に思われる。沈線もⅡＢ—２・３層に比べ、細いものが多いように思われる。体部縄文のほとんどが斜行縄文で、ⅡＢ—２・３層に比べ羽状縄文が減少し、地文の斜行縄文化の傾向が窺える。

以上のようにⅣ群ｃ類の各層の深鉢には差違が認められる。そして、先述したように口唇部断面形の変化が窺われ、特に突き瘤をもつⅣ群ｃ類のⅡＢ—１層とⅡＢ—３層の口縁部形態の変化が顕著に認められることからⅣ群ｂ類・Ⅳ群ｃ類・Ⅴ群土器の口縁部破片の口唇部断面形の形状を

１　厚手のもの　１ａ：厚手で、口唇部断面形が切り出し状のもの
　　１ｂ：厚手で、口唇部断面形が角形ないし丸味をもち、明瞭な切り出し状を呈さないもの（非切り出し状）
２　薄手のもの　２ａ：薄手で、口唇部断面形が切り出し状のもの
　　２ｂ：薄手で、口唇部断面形が角形ないし丸味をもち、明瞭な切り出し状を呈さないもの（非切り出し状）
　　２ｃ：薄手で小波状口縁のもの

に細分し、出土層位と口唇部断面形の形状の変遷を把握することにつとめた。

細分の結果は、各土器群の特徴は次のようにまとめられる（図Ⅵ—２・３）。

Ⅳ群ｂ類（手稲式）は厚手のものがほとんどで、口唇部断面形の角形気味のもの（１ｂ）が多い傾向が窺えた。しかし、出土層位毎の明瞭な差は認められない。

Ⅳ群ｂ類（鍛潤式）は厚手のものもあるが、薄手のものが多く、口唇部断面形は切り出し状のもの（２ａ）と非切り出し状のもの（２ｂ）がほぼ同量認められた。手稲式に比べやや器壁が薄いものが多くなる傾向が窺える。しかし、出土層位毎の明瞭な差は認められない。

Ⅳ群ｃ類のうち突き瘤が施されたものは、ⅡＢ—３・２までは厚手・薄手いずれも切り出し状のもの（１ａ・１ｂ）が主体を占め、ⅡＢ—１層においては薄手で、非切り出し状のもの（２ｂ）が主体を占め、さらに小波状のもの（２ｃ）が多くなる傾向が窺えた。

この結果を考え合わせると口唇部断面形の形状は、口唇部断面形は厚手で角形（Ⅳ群ｂ類の手稲式）一厚手のものもあるが、薄く切り出し状・非切り出し状の混在の時期（Ⅳ群ｂ類の鍛潤式）一器壁が薄手で、切り出し状のもの（Ⅳ群ｃ類の古い階段）一器壁が薄く、非切り出し状や小波状口縁のもの（Ⅳ群ｃ類の新しい段階・Ⅴ群）への変遷が窺える。

Ⅴ群土器

Ⅴ群土器については先述した通り、爪形文が施されたもの、三叉文が施されたもの、縄文のみのもの、無文のものを一括して扱った。

爪形文が施された土器は各層から出土しているが、主体はⅡＢ—１層で、ⅡＢ—２層がこれに次

ぐ。爪形文と他の文様要素との組合せは

１型　単独で用いられているもの

２型　突き瘤と組み合わされているもの

３型　Ａ状突起、Ｂ状突起等と組み合わされているもの

４型　竹管状工具・棒状の刺突文と組み合わされているもの

８型　口唇部破片で、爪形は認められるが、下位の文様構成が不明なもの

に分けられる。なお、このほかに三叉文（三叉文風の沈線文も含む）と組合せが認められたが、全体がわかる資料が少なく、この集計に組み入れることができなかった。また、３型についてもその絶対量が少なく、拓本資料を含めない集計を行ったため、表及びグラフにおいてⅡＢ－２層が多いという結果になった。しかし、拓本資料を含めた全体ではⅡＢ－１層が多い。

ⅡＢ－２層では２型の突き瘤と組み合わせて施文されたものが最も多く、１型の単独で施文されたもの、４型の刺突文や刻みと組み合わされたものがこれに次ぎ、少量の３型のＡ状突起、Ｂ状突起と組み合わされたものもある。

Ａ状突起、Ｂ状突起と突き瘤との組合せは、今回の調査ではほとんど認められなかった。したがって、Ａ状突起、Ｂ状突起が施された頃には突き瘤はほぼ消滅していたものと考えることができそうである。そして、突き瘤と爪形文が組み合わされたもの口縁部は、小波状口縁の突起が加えられたものや平縁のものが多く、口唇部断面形は角形気味や丸味をもつものがほとんどで、Ⅳ群ｃ類的な切り出し状のものは認められなかった。

ⅡＢ－１層では単独で施文されたもの、突き瘤と組み合わせて施文されたもの、刺突文や刻みと組み合わされたものがほぼ同量に認められるが、突き瘤との組合せの比率が減少する傾向が窺えた。Ａ状突起、Ｂ状突起と三叉文風の沈線文と組み合わされているものが多く認められ、体部には磨消文縄文が多用される傾向が窺えた。

Ⅴ群ｂ類

Ⅴ群ｂ類は出土層位はⅡＢ－１層・ⅡＢ－２層・ⅡＢ－３層から少量出土し、主体はⅡＢ－１層・ⅡＢ－２層である。いずれも体部破片で、雲形文が施されたものである。なお、当該期の在地系土器には口縁部に縄線が施された美々３式があるが、文様構成が単純なことから、Ⅴ群ｃ類の在地系土器との分別が困難なことからⅤ群ｃ類に含まれている可能性がある。

Ⅴ群ｃ類

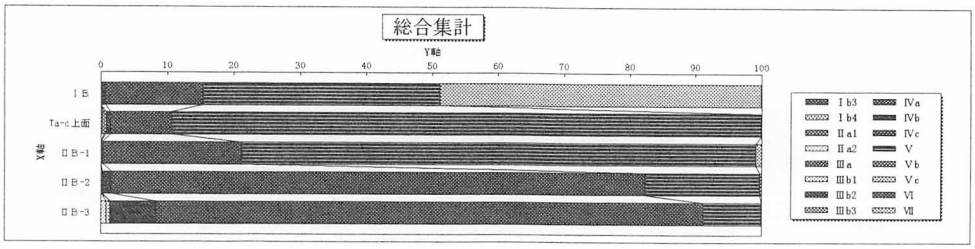
Ⅴ群ｃ類は大洞系土器と在地形土器とに分けられる。出土層位はＩＢ層遺構・ＩＢ層・ⅡＢ－１層・ⅡＢ－２層・ⅡＢ－３層で、主体はＩＢ層・ⅡＢ－１層で、Ta－ｃ層を挟んでＩＢ層・ⅡＢ層の両層から出土した。当該期の住居跡がＩＢ層から検出され、床面から未発達の横位連繋入組工字文が施された大洞系土器の深鉢・壷形土器と深鉢で口縁部に沈線文が施された在地形土器とが共伴して出土している。在地系土器群は、ⅡＢ－１層からは口縁部に縄線文が施されたものが、ＩＢ層からは口縁部に沈線文が施されたものが多く出土する傾向が窺えた。

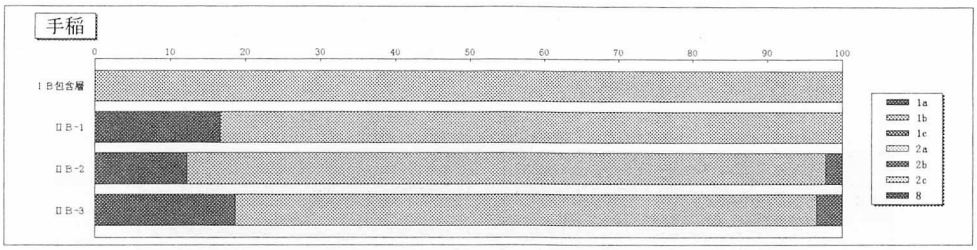
Ⅵ群土器

ＩＢ層から刺突文と縞縄文が施された後北Ｃ$_2$式ないしＤ式の体部破片が１点出土した。

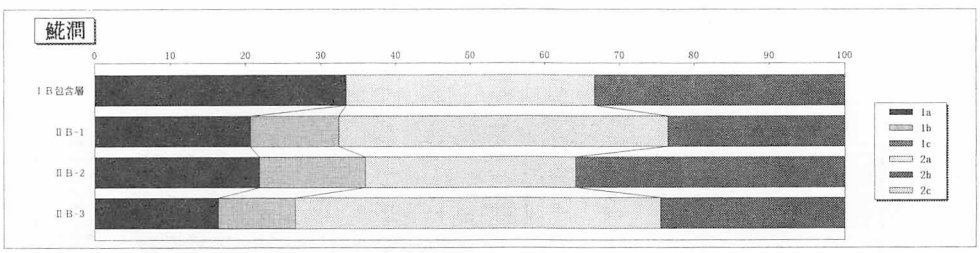
Ⅶ群土器

ＩＢ層から無文の体部破片が１点出土した。小破片のために掲載しなかった。

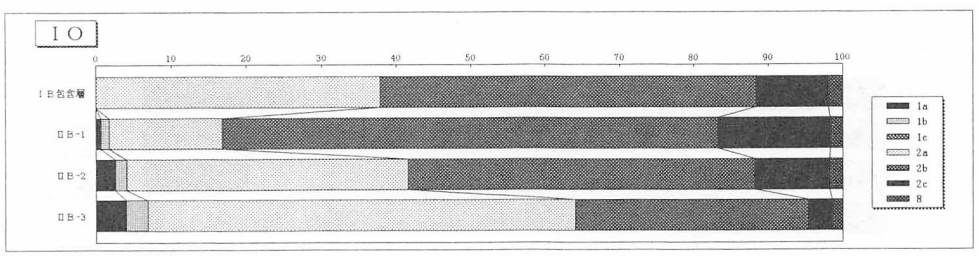




手　稲	1a	1b	1c	2a	2b	2c	8
ⅠB包含層		1					
ⅡB-1	5	25					
ⅡB-2	11	77			2		
ⅡB-3	11	46			2		
ⅠB遺構		1			1		
ⅡB遺構	4	44			9		2
不　明	1	3					
合　計	32	197			14		2

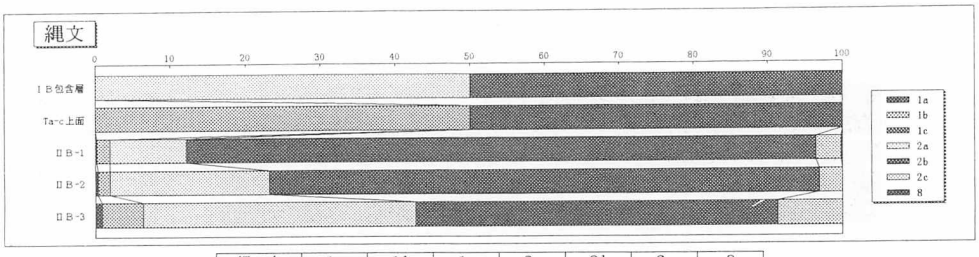


鉦　潤	1a	1b	1c	2a	2b	2c	8
ⅠB包含層	1			1	1		
ⅡB-1	7	4		15	8		
ⅡB-2	17	11		22	28		
ⅡB-3	8	5		24	12		
ⅡB遺構				16	22		
不　明	1			4	2		
合　計	34	20		82	73		

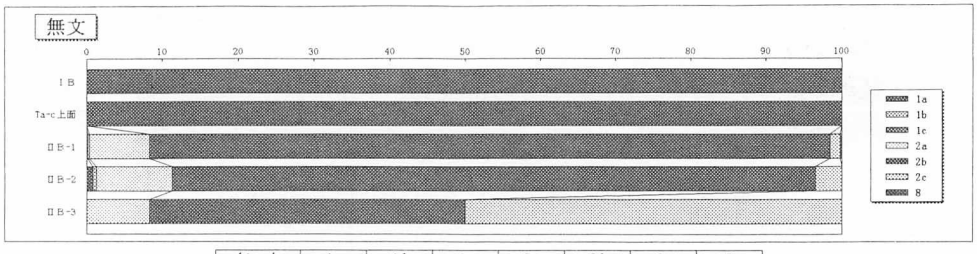


ⅠO	1a	1b	1c	2a	2b	2c	8
ⅠB包含層				39	52	10	2
ⅡB-1	27	45	1	633	2803	634	70
ⅡB-2	109	61	3	1579	1965	423	74
ⅡB-3	39	27		553	302	31	14
ⅠB遺構				43	83	27	5
ⅡB遺構	4	10		384	720	107	21
その他	2	2		41	87	10	6
合　計	181	145	4	3272	6012	1242	192

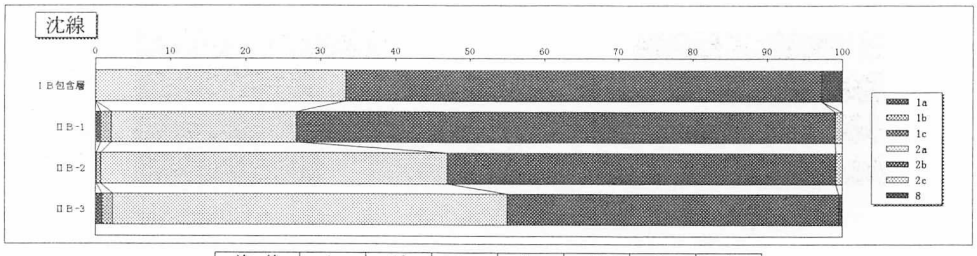
図Ⅵ－２　層位別土器集計グラフ(1)



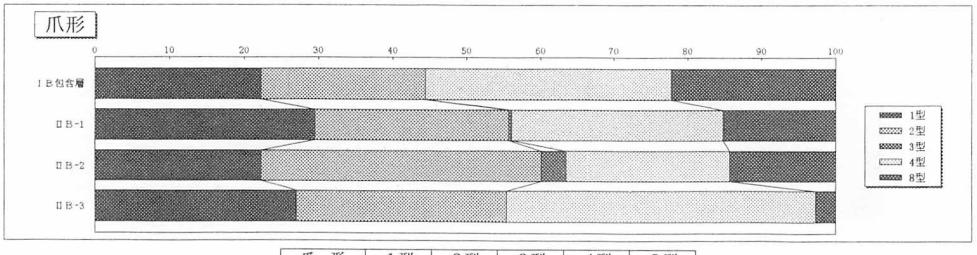
縄　文	1a	1b	1c	2a	2b	2c	8
ⅠB包含層				5	5		
ⅡB-1	4	34		195	1625	64	4
ⅡB-2	4	18		234	816	34	
ⅡB-3	2	12		80	107	19	
Ta-c上面		1			1		
ⅠB遺構				7	26	1	
ⅡB遺構		2		66	349	13	
ⅡB計	3	4		7	88	3	105
その他計				5	35		40
合　計	13	71		599	3052	134	149



無　文	1a	1b	1c	2a	2b	2c	8
ⅠB					19		
ⅡB-1	2	3		111	1258	18	3
ⅡB-2	5	3		61	520	21	
ⅡB-3				8	40	48	
Ta-c上面					2		
ⅠB遺構				8	22	1	1
ⅡB遺構				21	182	6	
ⅡB計				6	23	1	
その他				3	10		
合　計	7	6		218	2076	95	4



沈　線	1a	1b	1c	2a	2b	2c	8
ⅠB包含層				12	23		1
ⅡB-1	4	8		141	413	5	
ⅡB-2	1	4		331	373	6	
ⅡB-3	2	3		116	98		1
ⅠB遺構				4	26		
ⅡB遺構		1		84	126	3	
ⅡB	2	2		24	30		
その他計				6	11		
合　計	9	18		718	1100	14	2



爪　形	1型	2型	3型	4型	8型
ⅠB包含層	4	4		6	4
ⅡB-1	335	296	5	325	172
ⅡB-2	121	206	18	121	78
ⅡB-3	20	21		31	2
ⅠB遺構	11	9		8	4
ⅡB遺構	31	50	1	46	20
ⅡB	26	15	4	18	8
その他	4	6		7	2
合　計	552	607	28	562	290

図Ⅵ－３　層位別土器集計グラフ(2)

3　石器（図Ⅵ－4・5）

第Ⅰ黒色土層出土の石器は5,445点で、石鏃・ポイントまたはナイフ・ドリル・つまみ付ナイフ・スクレイパー・両面加工の石器・楔形石器・石核・石斧・石斧未成品・石斧素材・くぼみ石・砥石・フレイク等がある。第Ⅱ黒色土層出土の石器は68,245点である。この他に不明（表採）が石器190点ある。第Ⅱ黒色土の石器には石鏃・ポイントまたはナイフ・ドリル・つまみ付ナイフ・スクレイパー・両面加工の石器・楔形石器・石核・石斧・石斧未成品・石斧素材・たたき石・くぼみ石・砥石・石錘・矢柄研磨器・フレイク等がある。これらのうち比較的出土量が多く、層位毎に違いが認められそうな石鏃・ドリル・つまみ付ナイフ・スクレイパー・石斧・すり石・たたき石について細分を試み、層位的な違いを検証する。

石鏃には、正三角形の無茎石鏃で、平基もの（1a1）、正三角形の無茎石鏃で、凹基もの（1a2）、身部が両辺が長い二等辺三角形の無茎石鏃で、平基もの（1b1）、身部が両辺が長い三角形の無茎石鏃で、凹基もの（1b2）、柳葉形ないし木葉形のもの（1c）、身部がつぶれた三角形状ないしつぶれた菱目状の有茎石鏃（2a）、身部が内湾気味の正三角形で、有茎平基のもの（2b1）、身部が正三角形で、有茎凸基のもの（2b2）、身部が正三角形で、有茎凸基であるが茎部が太く菱形に近いもの（2b3）、両辺が長い二等辺三角形の有茎石鏃で、平基のもの（2c1）、身部が両辺が長い二等辺三角形の有茎石鏃で、凸基のもの（2c2）、身部が両辺が長い二等辺三角形で、有茎凸基であるが茎部が太く菱形に近いもの（2c3）、身部が両辺が緩やかに外湾する二等辺三角形の有茎石鏃で、茎部が緩やかに内湾する凸基のもの（2c4）等がある。このほかに異形石鏃（4）、未成品（5）、破片資料（6）、不明等がある。各層において2b2と2c2が同様な比率で主体を占め、ⅡB－2・1層において2b2と2c3が多くなる傾向が窺えた。そして、2c4は、ⅡB－2層でその比率を伸ばすがⅡB－1層ではまた減少する傾向が認められた。

ドリルには、棒状で長さ3cm以下のもの（1a1）、棒状で長さ3cm以上のもの（1a2）、機能部が棒状でつまみをもつもの（1a3）、棒状で機能部が複数のもの（1a4）、剥片の一部に機能部を作りだしたもの（2a1）、剥片に全面加工を施し機能部を作りだしたもの（2a2）、全周に周縁加工を施し、区別が不明瞭なつまみ部と機能部を作出し、機能部が幅広なもの（3a1）、剥片に両面加工を施し、区別が不明瞭なつまみ部と機能部を作出し、機能部が幅広なもの（3a2）、周縁加工で、つまみ部と機能部の区別が明瞭なもので、機能部が幅広なもの（3a3）、全面加工で区別が明瞭なつまみ部と機能部を作出し、機能部が幅広なもの（3a4）、異形なもの(4)、石鏃の転用したもの（5）、破片（8）、不明等がある。ⅡB－3層は資料数が少ないが1a1・1a2・1a3・3a1・3a2が多く、棒状のもの、機能部が幅広のものとが多いような傾向が認められた。ⅡB－2層は1a3も多いが、3a1・3a2・3a3・2a1が多く、機能部が幅広のものと剥片に機能部のみが作出されたものとの組合せを窺わせている。2a1はⅡB－2層・ⅡB－3層にかけて出土量が急激に増加する。ⅡB－1層では1a1・1a3・2a1が多く、つまみが作出された棒状のもの、棒状の短いもの、剥片に機能部のみが作出されたものとの組合せを窺わせている。

つまみ付ナイフには、縦形で片面周辺加工（1a）、縦形で片面全面加工（1b）、縦形で両面周辺加工（1c）、縦形で両面全面加工（1d）、縦形で錯向剥離のもの（1e）、横形で片面周辺加工（2a）、横形で片面全面加工（2b）、横形で両面周辺加工（2c）がある。このほかに縦形（1）・横形（2）の判別ができるが刃部作出方法が不明のもの、破片資料で不明のもの（5）もある。出土点数が少なく不明な点も多いが、ⅡB－2・3層は縦形の片面周辺加工ものがほとんどで、

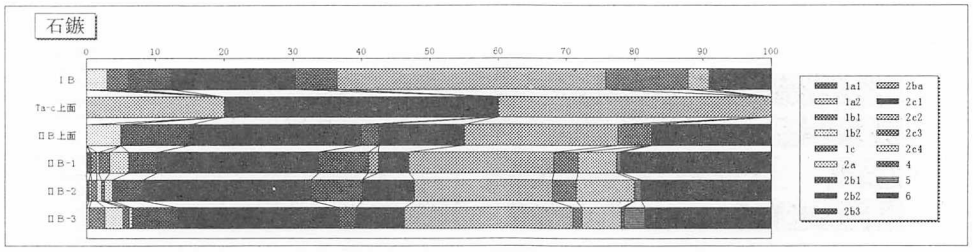
ⅡＢ－３層において多い比率の縦形両面加工のものが減少し、ⅡＢ－２・３層においてほとんど認められなかった横形の片面周辺加工のものが多くなる傾向が窺えた。

スクレイパーには、縦形で側縁に外湾する刃部をもつもの（１ａ）、縦形で側縁に直線状の刃部をもつもの（１ｂ）、縦形で側縁に内湾する刃部をもつもの（１ｃ）、縦形で下端に尖頭部をもつもの（１ｄ）、横形で下端に外湾する刃部をもつもの（２ａ）、横形で下端に直線状の刃部をもつもの（２ｂ）、横形で下端に内湾する刃部をもつもの（２ｃ）、横形で下端に尖頭部をもつもの（２ｄ）、横形で両側縁に刃部をもつもの（２ｆ）、横形のもの（２）、円形で、片面周縁加工のもの（３ａ）、円形で、両面周縁加工のもの（３ｂ）、円形で、片面全面加工のもの（３ｃ）、破片（５）、不明がある。出土層位毎の明瞭な差が認められず、縦長のもの（１ａ・１ｂ）が常に多くを占めるが、ⅡＢ－１層で、横形のものの比率が高くなる傾向が窺えた。

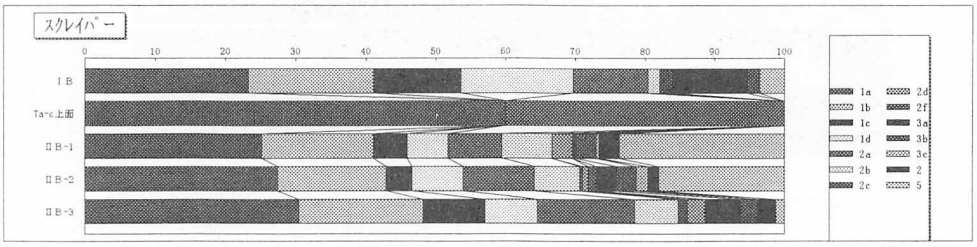
石斧は、大型の短冊形のもので、断面形が楕円形のもの（１ａ）、大型の短冊形のもので、断面形が矩形のもの（１ｂ）、撥形で、断面形が矩形のもの（２）、小型の短冊形で、断面形が矩形のもの（３）、小型の短冊形のもので、断面形が矩形のもの（３）、小型の短冊形のもので、粗割整形痕が大きく残るもの（４）、素材を大きく変えることなく刃部を作出したもの（５）、棒状で、断面形が楕円形のもの（６）、棒状ないし短冊状で断面形は厚みのある矩形のもの（７ａ）、棒状ないし短冊状で、断面形は厚みのある矩形のもの（７ｂ）、破片（８）、不明がある。３と４については粗割調整の違いかもしれない。６・７については敲打調整が施されたものが多い。ⅡＢ－３層には１ａ・１ｂ・４が多い傾向が窺えた。ⅡＢ－２層には１ａ・３・４が多い傾向が認められ、ⅡＢ－１層では、２の撥形が急増し、棒状で敲打調整で作出された６・７も多くなる傾向が認められた。

すり石には、所謂「半円状扁平打製石器」と称されるもの（１）、円柱ないし角柱礫の上下端部にすり面が認められるもの（２）、円礫の周縁にすり面が認められるもの（３）、断面が三角形で、稜にすり面をもつもの（４）がある。１は縄文時代前期前半の中野系土器群と円筒式土器に伴うとされるもので、ⅡＢ－１～３層から出土し出土層位の違いは認められなかった。２はⅡＢ－２層から多く出土し、ⅡＢ－１・３層からも出土しているが、本来の出土層はⅡＢ－２層で、Ⅳ群ｂ類ないしⅣ群ｃ類土器に伴う可能性が高い。石材には緑色泥岩、安山岩が多く用いられている。３はⅡＢ－１・２層から出土している。４は早期の土器群に伴うとされるものである。このほかに北海道式石冠がⅡＢ－１層から３点、ⅡＢ層撹乱１点、ⅡＢ層の遺構１点、計５点出土している。

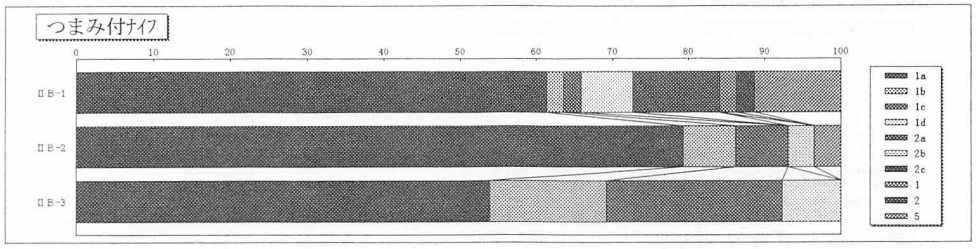
たたき石には、棒状で両端や側縁にたたき痕が認められるもの（１）、亜円礫ないしやや扁平な亜円礫の周縁にたたき痕が認められるもの（２）が出土している。いずれも各層から出土しているが１はⅡＢ－２層、２はⅡＢ－１層から最も多く出土し、主たる出土層位の違いを示している。１は安山岩、緑色泥岩等が、２は頁岩、片麻岩等が用いられ石材の違いも認められる。



石　鏃	1a1	1a2	1b1	1b2	1c	2a	2b1	2b2	2b3	2ba	2c1	2c2	2c3	2c4	4	5	6
ⅠB	0	0	0	1	1	0	2	6	2	0	0	13	4	1	0	0	3
ⅡB-1	5	1	8	3	15	26	40	222	69	14	42	202	33	54	0	6	209
ⅡB-2	3	2	5	5	3	8	30	168	51	0	53	139	24	58	0	7	131
ⅡB-3	0	1	5	6	2	1	15	53	6	0	16	56	3	13	1	7	42
ⅡB	1	3	5	6	3	2	24	132	20	0	27	87	12	34	1	0	71
Ta-c上面	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0
ⅡB上面	0	0	0	2	0	0	4	10	1	0	5	9	2	0	0	0	7
遺　構	1	0	1	2	0	0	4	17	1	0	2	15	5	3	0	1	7
表　採	0	0	0	0	0	0	0	6	1	0	1	5	0	0	0	0	3
攪　乱	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	6	0	0	0	0	2

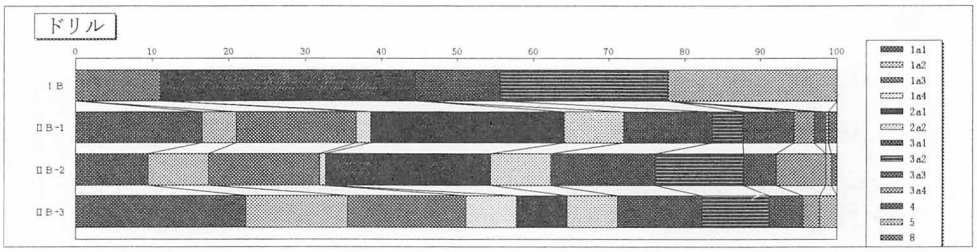


スクレイパー	1a	1b	1c	1d	2a	2b	2c	2d	2f	3a	3b	3c	2	5	不　明
ⅠB	13	10	7	9	6	1	1	0	0	6	1	0	0	2	1
ⅡB-1	52	33	10	12	16	15	0	6	0	1	6	1	6	49	1
ⅡB-2	67	38	9	18	25	16	1	2	3	7	7	4	4	44	0
ⅡB-3	24	14	7	6	11	5	1	2	0	4	2	0	2	1	0
Ta-c上面	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ⅡB	25	21	6	3	4	8	0	3	0	3	0	3	1	21	1
遺　構	8	9	3	2	5	0	0	0	0	2	1	0	1	7	0
表　採	7	10	1	1	3	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0
攪　乱	3	0	1	0	2	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0

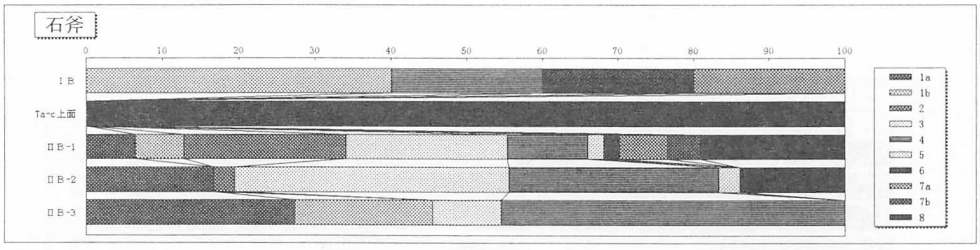


つまみ付ナイフ	1a	1b	1c	1d	2a	2b	2c	1	2	5	不　明
ⅡB-1	27	1	1	3	5	0	0	1	1	5	1
ⅡB-2	23	2	2	0	0	1	0	0	0	1	0
ⅡB-3	7	2	3	1	0	0	0	0	0	0	1
ⅠB	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ⅡB	9	0	2	0	3	0	1	1	0	2	0
Ta-c上面	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
TD-トレンチ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
床	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
表　採	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
覆　土	7	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0

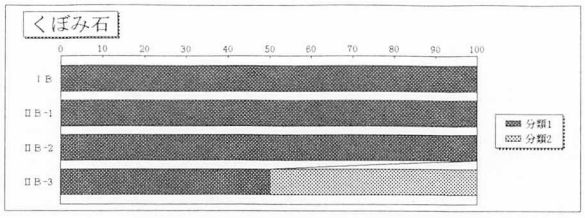
図Ⅵ－４　層位別石器集計グラフ(1)



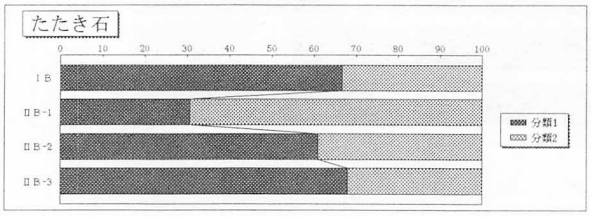
ドリル	1a1	1a2	1a3	1a4	2a1	2a2	3a1	3a2	3a3	3a4	4	5	8	不　明
ⅠB	0	0	1	0	3	0	1	2	0	0	0	2	0	0
ⅡB-1	44	12	42	5	68	21	31	11	18	7	4	1	3	0
ⅡB-2	13	11	20	1	30	11	19	16	6	9	0	1	1	1
ⅡB-3	10	6	7	3	3	3	5	4	2	1	0	1	0	0
ⅡB	14	5	25	1	24	5	10	4	8	5	1	0	2	0
表　採	2	2	1	0	1	0	3	1	0	0	0	0	1	2
不　明	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ⅠB撹乱	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
覆　土	1	0	1	1	1	1	3	3	0	1	0	2	0	0



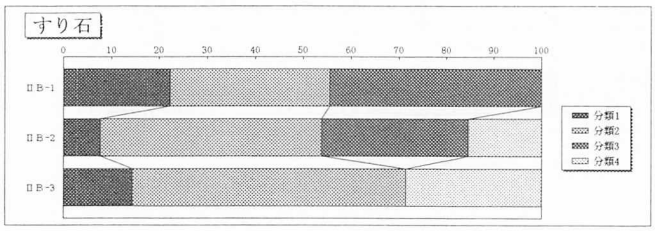
石　斧	1a	1b	2	3	4	5	6	7a	7b	8	不　明
ⅠB	0	2	0	0	1	0	1	1	0	0	0
ⅡB-1	3	3	10	10	5	1	1	3	2	9	1
ⅡB-2	6	0	1	13	10	1	0	0	0	5	0
ⅡB-3	3	2	0	1	5	0	0	0	0	0	0
Ta-c上面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ⅡB	2	0	1	8	3	1	0	0	0	5	0
表　採	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不　明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
覆　土	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0
壁	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0



くぼみ石	分類1	分類2
ⅠB	3	0
ⅡB-1	3	0
ⅡB-2	2	0
ⅡB-3	1	1
表　採	0	1



たたき石	分類1	分類2
ⅠB	2	1
ⅡB-1	15	34
ⅡB-2	36	23
ⅡB-3	17	8
ⅡB	18	14
表　採	1	1
不　明	1	3
覆　土	2	1
撹　乱	2	0



すり石	分類1	分類2	分類3	分類4
ⅡB-1	2	3	4	0
ⅡB-2	1	6	4	2
ⅡB-3	1	4	0	2
表　採	0	0	2	0
覆　土	2	0	5	0

図Ⅵ－５　層位別石器集計グラフ(2)

表15　遺構一覧

遺構名	位置	確認面における		底面における		最大深(m)
		長軸長(m)	短軸長(m)	長軸長(m)	短軸長(m)	
IH-1	E1-65-51・61	5.02	4.30	4.42	3.42	0.33
IP-9	E1-65-90	1.75	1.32	1.48	0.98	0.41
IP-121	E1-65-72・82	2.34	0.94	2.09	0.62	0.45
IP-122	E2-65-02	0.75	0.74	0.43	0.46	0.59
IP-123	E2-65-02・12	0.93	0.74	0.55	0.53	0.66
IP-124	E2-65-02	0.93	0.84	0.41	0.46	0.49
IP-125	E2-65-02	1.21	0.96	0.81	0.46	0.85
IP-126	E2-65-02・92	1.07	0.88	0.72	0.69	0.42
IP-127	E2-65-02	0.60	0.60	0.35	0.33	0.28
IP-128	E1-65-90	1.13	0.85	0.97	0.56	0.75
IP-129	E2-65-03	0.89	0.75	0.58	0.57	0.55
IP-130	E2-65-01	0.94	0.82	0.54	0.44	0.59
IP-131	E2-65-01	0.99	0.65	0.54	0.38	0.27
IP-132	E2-65-01	1.19	0.62	0.92	0.45	0.37
IP-133	E1-65-91・92	0.74	0.65	0.50	0.40	0.40
IP-134	E1-65-91・92	1.05	0.97	0.51	0.49	0.55
IP-135	E1-65-92	0.91	0.90	0.55	0.55	0.53
IP-136	E1-65-73	1.05	0.97	0.52	0.56	0.35
IP-137	E2-65-00・01	1.39	1.36	1.11	1.01	0.78
IP-138	E2-65-00	0.61	0.57	0.39	0.42	0.52
IP-139	E2-65-00	0.57	0.55	0.28	0.28	0.38
IP-140	E2-65-00・10	0.72	0.71	0.39	0.28	0.56
IP-141	E2-65-11	1.81	(0.89)	1.39	(0.73)	0.42
IP-142	E1-65-93・94	1.83	1.47	1.05	0.78	0.77
IP-143	E2-65-01	0.57	0.51	0.43	0.42	0.38
IP-144	E1-65-80	1.28	0.93	0.68	0.44	0.40
IP-145	E2-65-01	0.65	0.48	0.18	0.10	0.35
IP-146	E2-65-00・90	0.49	0.47	0.32	0.32	0.47
IP-147	E2-65-11	0.51	0.48	0.22	0.20	0.27
IP-148	E2-65-10	0.32	0.22	0.08	0.07	0.63
IP-149	E2-65-10	0.75	0.73	0.50	0.54	0.54
IP-150	E2-65-10	0.61	(0.52)	0.20	0.20	0.52
IP-151	E2-65-11	0.57	0.52	0.39	0.37	0.32
SP-3	E2-65-05	0.16	0.15			
SP-4	E1-65-93	0.39	0.30			
SP-4	E2-65-03	0.24	0.14			
SP-5	E2-65-03	0.24	0.20			
SP-6	E1-65-93	0.36	0.30			
SP-8	E1-65-75	0.18	0.16			
SP-10	E1-65-64	0.45	0.30			
SP-12	E1-65-83	0.20	0.20			
SP-13	E1-65-82	0.25	0.23			
SP-14	E1-65-83	0.24	0.22			
SP-16	E1-65-82	0.23	0.21			
SP-18	E1-65-92・82	0.59	0.28			
SP-19	E1-65-82	0.12	0.12			
SP-20	E1-65-90	0.36	0.31			
SP-21	E1-65-70	0.21	0.21			
SP-22	E1-65-82	0.24	0.19			
SP-23	E1-65-71	0.24	0.24			

遺構名	位置	確認面における		底面における		最大深(m)
		長軸長(m)	短軸長(m)	長軸長(m)	短軸長(m)	
SP-24	E2-65-00	0.27	0.27			
SP-24	E1-65-65	0.67	0.36			
SP-26	E1-65-71	0.34	0.26			
SP-27	E1-65-72	0.26	0.20			
SP-28	E1-65-72	0.27	0.22			
SP-29	E1-65-62	0.21	0.19			
SP-30	E1-65-81	0.22	0.21			
SP-32	E1-65-81	0.19	0.17			
SP-34	E1-65-81	0.29	0.26			
SP-35	E1-65-80	0.17	0.16			
SP-36	E1-65-71	0.25	0.24			
SP-37	E1-65-81	0.30	0.24			
SP-38	E1-65-80	0.14	0.13			
SP-39	E1-65-80	0.21	0.21			
SP-40	E1-65-94	0.49	0.34			
SP-41	E1-65-92	0.26	0.13			
SP-42	E1-65-64	0.30	0.18			
SP-44	E1-65-64	0.11	0.11			
SP-45	E1-65-71	0.20	0.19			
SP-46	E1-65-71	0.26	0.23			
SP-47	E1-65-64	0.25	0.20			
SP-48	E1-65-75	0.31	0.23			
SP-49	E1-65-75	0.32	0.23			
SP-53	E1-65-64	0.60	0.18			
SP-54	E1-65-75	0.12	0.11			
SP-55	E1-65-94	0.24	0.20			
SP-56	E1-65-91	0.71	0.61			
SP-57	E2-65-00	0.19	0.19			
SP-58	E1-65-61	0.29	0.29			
SP-60	E1-65-04	0.23	0.22			
SP-61	E1-65-14	0.17	0.14			
SP-62	E2-65-04	0.32	0.30			
SP-65	E2-65-13	0.42	0.27			
SP-66	E2-65-04	0.19	0.17			
SP-67	E2-65-13	0.23	0.22			
SP-68	E2-65-03	0.66	0.46			
SP-69	E2-65-13	0.31	0.29			
SP-121	E1-65-74	0.33	0.23			
SP-122	E1-65-75	0.16	0.16			
SP-124	E1-65-65	0.18	0.14			
SP-127	E1-65-74	0.17	0.15			
SP-128	E1-65-74	0.24	0.22			
SP-151	E2-65-12	0.16	0.16			
SP-200	E2-65-14	0.19	0.19			
SP-201	E2-65-04	0.42	0.27			
SP-202	E2-65-04	0.16	0.15			
SP-204	E2-65-03	0.41	0.20			
SP-205	E1-65-93	0.23	0.19			
SP-206	E1-65-94	0.22	0.19			
SP-207	E1-65-94	0.25	0.22			

遺構名	位置	確認面における		底面における		最大深(m)
		長軸長(m)	短軸長(m)	長軸長(m)	短軸長(m)	
SP-208	E1-65-94	0.29	0.28			
SP-209	E2-65-03	0.21	0.18			
SP-210	E2-65-03	0.15	0.13			
SP-211	E2-65-02	0.10	0.09			
SP-214	E2-65-00	0.31	0.27			
SP-218	E2-65-02	0.29	0.25			
SP-220	E1-65-83	0.28	0.26			
SP-221	E1-65-83	0.18	0.15			
SP-222	E1-65-84	0.29	0.25			
SP-223	E1-65-84	0.17	0.16			
SP-224	E1-65-84	0.30	0.13			
SP-227	E1-65-94	0.31	0.31			
SP-229	E1-65-94	0.41	0.38			
SP-230	E1-65-94	0.26	0.21			
SP-231	E1-65-93	0.24	0.24			
SP-232	E1-65-94	0.29	0.26			
SP-233	E1-65-93	0.14	0.14			
SP-234	E1-65-93	0.23	0.21			
SP-235	E1-65-93	0.37	0.29			
SP-236	E1-65-83	0.32	0.22			
SP-237	E1-65-83	0.30	0.15			
SP-238	E1-65-93	0.22	0.22			
SP-239	E1-65-83	0.20	0.18			
SP-240	E1-65-83	0.22	0.20			
SP-241	E1-65-83	0.29	0.25			
SP-242	E1-65-83	0.16	0.15			
SP-243	E1-65-84	0.30	0.25			
SP-244	E1-65-84	0.24	0.21			
SP-245	E1-65-84	0.22	0.22			
SP-246	E2-65-12	0.26	0.22			
SP-247	E2-65-03	0.15	0.14			
SP-248	E2-65-12	0.25	0.22			
SP-249	E2-65-12	0.17	0.15			
SP-250	E2-65-12	0.15	0.15			
SP-252	E2-65-00	0.18	0.17			
SP-253	E1-65-82	0.15	0.13			
SP-254	E1-65-84	0.16	0.14			
SP-255	E1-65-94	0.21	0.21			
SP-260	E2-65-10	0.16	0.15			
SP-262	E2-65-00	0.14	0.14			
SP-262	E1-65-90	0.17	0.15			
SP-263	E2-65-01	0.43	0.32			
SP-264	E2-65-01	0.44	0.37			
SP-266	E1-65-91	0.29	0.27			
SP-267	E2-65-02	0.30	0.25			
SP-268	E1-65-92	0.27	0.26			
SP-269	E1-65-92	0.24	0.22			
SP-270	E1-65-92	0.22	0.19			
SP-271	E2-65-13	0.22	0.19			
SP-272	E2-65-13	0.20	0.20			

遺構名	位置	確認面における		底面における		最大深(m)
		長軸長(m)	短軸長(m)	長軸長(m)	短軸長(m)	
SP-273	E2-65-13	0.27	0.25			
SP-274	E2-65-13	0.20	0.20			
SP-275	E2-65-03	0.23	0.21			
SP-276	E2-65-03	0.24	0.22			
SP-277	E1-65-93	0.19	0.18			
SP-278	E1-65-93	0.17	0.16			
SP-279	E1-65-93	0.38	0.29			
SP-280	E1-65-93	0.19	0.17			
SP-281	E1-65-93	0.27	0.24			
SP-282	E2-65-13・03	0.60	0.38			
SP-283	E2-65-14	0.26	0.18			
SP-284	E1-65-94	0.15	0.14			
SP-285	E1-65-94	0.19	0.19			
SP-286	E2-65-05	0.33	0.27			
SP-287	E2-65-04	0.13	0.11			
SP-288	E1-65-80・81	0.52	0.37			
SP-289	E1-65-80	0.17	0.14			
SP-291	E1-65-70	0.15	0.13			
SP-293	E1-65-70	0.13	0.13			
SP-294	E1-65-60	0.14	0.13			
SP-295	E1-65-60	0.20	0.20			
SP-296	E1-65-81	0.15	0.14			
SP-297	E1-65-81	0.18	0.16			
SP-298	E1-65-71	0.20	0.18			
SP-299	E1-65-71	0.19	0.17			
SP-300	E2-65-04	0.15	0.14			
SP-302	E1-65-93	0.63	0.50			
SP-303	E1-65-84	0.57	0.22			
SP-304	E1-65-84	0.16	0.14			
SP-305	E1-65-93	0.30	0.24			
SP-306	E1-65-71	0.25	0.22			
SP-307	E1-65-71	0.22	0.20			
SP-308	E1-65-71	0.24	0.20			
SP-309	E1-65-71	0.16	0.14			
SP-310	E1-65-61	0.40	0.34			
SP-311	E1-65-72	0.22	0.20			
SP-312	E1-65-72	0.19	0.18			
SP-313	E1-65-62	0.20	0.17			
SP-314	E1-65-62	0.18	0.15			
SP-315	E1-65-62	0.24	0.20			
SP-316	E1-65-62	0.22	0.18			
SP-317	E1-65-62	0.12	0.12			
SP-318	E1-65-62	0.13	0.12			
SP-319	E1-65-62	0.12	0.11			
SP-320	E1-65-62	0.22	0.21			
SP-321	E1-65-62	0.34	0.27			
SP-322	E1-65-63	0.33	0.22			
SP-323	E1-65-72	0.18	0.15			
SP-324	E1-65-83	0.17	0.17			
SP-325	E1-65-83	0.26	0.22			

遺構名	位置	確認面における		底面における		最大深(m)
		長軸長(m)	短軸長(m)	長軸長(m)	短軸長(m)	
SP-326	E1-65-83	0.14	0.13			
SP-327	E1-65-83	0.27	0.25			
SP-328	E1-65-83	0.36	0.26			
SP-329	E1-65-83	0.17	0.16			
SP-330	E1-65-83	0.14	0.10			
SP-331	E1-65-83	0.19	0.14			
SP-333	E1-65-83	0.42	0.22			
SP-334	E1-65-83	0.18	0.16			
SP-335	E1-65-83	0.13	0.12			
SP-336	E1-65-73	0.22	0.21			
SP-337	E1-65-83·73	0.37	0.26			
SP-338	E1-65-73	0.18	0.15			
SP-339	E1-65-73	0.19	0.17			
SP-340	E1-65-73	0.14	0.13			
SP-341	E1-65-73	0.16	0.16			
SP-342	E1-65-73	0.15	0.12			
SP-343	E1-65-73	0.15	0.14			
SP-344	E1-65-73	0.17	0.15			
SP-345	E1-65-73	0.22	0.19			
SP-346	E1-65-73	0.20	0.20			
SP-347	E1-65-73	0.21	0.21			
SP-348	E1-65-73	0.23	0.18			
SP-349	E1-65-73	0.16	0.14			
SP-350	E1-65-73	0.19	0.18			
SP-351	E1-65-73	0.54	0.40			
SP-352	E1-65-73	0.44	0.33			
SP-353	E1-65-73	0.97	0.36			
SP-354	E1-65-74	0.35	0.23			
SP-355	E1-65-74	0.23	0.18			
SP-356	E1-65-74	0.34	0.24			
SP-357	E1-65-63	0.34	0.29			
SP-358	E1-65-63	0.26	0.25			
SP-359	E1-65-63	0.19	0.14			
SP-360	E1-65-63	0.82	0.48			
SP-361	E1-65-63	0.17	0.16			
SP-362	E1-65-63	0.23	0.22			
SP-362	E1-65-63	0.20	0.16			
SP-363	E1-65-74	0.39	0.25			
SP-364	E1-65-64	0.26	0.22			
SP-365	E1-65-64	0.18	0.18			
SP-366	E1-65-64	0.18	0.14			
SP-367	E1-65-64	0.17	0.14			
SP-368	E1-65-64	0.42	0.20			
SP-369	E1-65-64	0.20	0.15			
SP-370	E1-65-64	0.20	0.15			
SP-371	E1-65-64	0.14	0.14			
SP-372	E1-65-64	0.18	0.15			
SP-373	E1-65-74	0.29	0.17			
SP-374	E1-65-74	0.12	0.12			
SP-375	E1-65-74	0.33	0.22			

遺構名	位置	確認面における		底面における		最大深(m)
		長軸長(m)	短軸長(m)	長軸長(m)	短軸長(m)	
SP-376	E1-65-74	0.26	0.18			
SP-377	E1-65-74	0.20	0.19			
SP-378	E1-65-74	0.17	0.14			
SP-380	E1-65-74	0.12	0.11			
SP-382	E1-65-74	0.11	0.09			
SP-383	E1-65-65	0.22	0.13			
SP-384	E1-65-74	0.19	0.16			
SP-385	E1-65-84	0.14	0.13			
SP-386	E1-65-84	0.14	0.12			
SP-387	E1-65-84	0.23	0.21			
SP-388	E1-65-84	0.15	0.15			
SP-389	E1-65-75	0.16	0.12			
SP-390	E1-65-84	0.25	0.20			
SP-391	E1-65-75	0.19	0.16			
SP-392	E1-65-75	0.30	0.22			
SP-393	E1-65-75	0.31	0.20			
SP-394	E1-65-75	0.12	0.12			
SP-395	E1-65-75	0.27	0.24			
SP-396	E1-65-75	0.26	0.14			
SP-397	E1-65-65	0.20	0.13			
SP-398	E1-65-65	0.15	0.14			
SP-399	E1-65-65	0.20	0.15			
SP-400	E1-65-65	0.43	0.22			
SP-401	E1-65-65	0.12	0.10			
SP-402	E1-65-65	0.25	0.15			
SP-403	E1-65-65	0.25	0.19			
SP-404	E1-65-65	0.19	0.15			
SP-405	E1-65-65	0.20	0.15			
SP-406	E1-65-65	0.13	0.13			
SP-500	E1-65-74	0.27	0.20			
SP-501	E1-65-74	0.17	0.14			
SP-502	E1-65-65	0.28	0.20			
SP-503	E1-65-62	0.12	0.10			
SP-504	E1-65-62	0.12	0.10			
IIH-1	13	1.98	(0.79)	1.67	(0.70)	0.37
IIH-2	81·91	(3.62)	(2.62)	(3.50)	(2.48)	0.66
IIH-3	14	2.12	(1.80)	1.75	1.55	0.19
IIH-4	03·13	2.23	1.91	1.71	1.41	0.21
IIH-5	03·04	4.28	3.50	3.90	3.30	0.12
IIH-6	81·91	4.32	(2.86)	3.96	2.08	0.11
IIH-7	00·10·01·11	4.52	(4.14)	4.26	(3.64)	0.30
IIH-10	80	(2.72)	(2.01)	(2.54)	(1.88)	0.23
IIH-11	80	—	—	—	—	—
IIH-13	80·81	2.59	(2.00)	1.87	(1.31)	0.43
IIP-2	91	1.70	1.49	1.26	1.07	0.64
IIP-5	02	0.83	0.76	0.39	0.36	0.43
IIP-7	03·13·02·12	1.66	1.23	1.04	0.90	0.32
IIP-11	01·11	1.91	1.72	1.67	1.42	0.26
IIP-13	04	0.77	0.56	0.57	0.49	0.25
TP-1	E2-65-02	2.10	1.05	1.34	0.38	1.00

遺構名	位置	確認面における		底面における		最大深(m)
		長軸長(m)	短軸長(m)	長軸長(m)	短軸長(m)	
TP-2	00·10	3.50	0.66	3.46	0.22	1.31
TP-3	10·00	2.62	0.58	2.40	0.21	0.90
TP-4	01	2.17	0.85	1.71	0.49	0.95
TP-5	80·81	(1.02)	0.37	(0.95)	0.26	0.67
ⅡF-1	80	1.92	0.75			
ⅡF-4	03	0.56	0.40			
ⅡF-5	90	1.00	0.72			
ⅡF-6	03·04	1.08	0.78			
ⅡF-7	04	1.74	0.50			
ⅡF-8	04	0.94	0.66			
ⅡF-10	04	0.90	0.60			
ⅡF-17	14	1.00	0.92			
ⅡF-28	10·11	0.62	0.62			
ⅡF-29	02	0.54	0.43			
ⅡF-30	00·10	1.38	0.96			
ⅡF-31	01	1.03	1.02			
ⅡF-32	00·10	1.56	0.32			
ⅡF-33	00·10	2.24	0.60			
ⅡF-34	00·10	1.38	0.66			
ⅡF-40	02	0.78	0.45			
ⅡF-41	12	0.50	0.30			
ⅡF-42	03	0.28	0.15			
ⅡF-43	03	0.28	0.22			
ⅡF-44	03	0.53	0.31			
ⅡF-45	03	0.37	0.18			
ⅡF-46	04	0.46	0.26			
ⅡF-47	02	0.39	0.25			
ⅡF-48	90	0.68	0.54			
ⅡF-49	80	0.40	0.30			
ⅡF-50	80	0.80	0.64			
骨片集中1	00·90	2.10	1.32			
骨片集中2	00	0.78	0.35			
骨片集中3	00	0.49	0.39			
骨片集中4	02	1.09	0.89			
骨片集中5	02	1.65	1.06			

表16　総合遺物集計表(土器)

層位	Ⅰ群			Ⅱ群		Ⅲ群				Ⅳ群			Ⅴ群				Ⅵ群	Ⅶ群	その他	計
	b2	b3	b4	a1	a2	a	b1	b2	b3	a	b	c	a	b	c	V				
Ta-c上面				2	2		2				6	75				743				830
ⅠB					1	1		2	3		36	921			3070	2256	1	6		6297
ⅡB-1					28	1	43		5	3	497	38758	6	12	1677	145259				186289
ⅡB-2				2	102	4	72	9	10	2	1541	85608		15	255	18555			1	106176
ⅡB-3		5	1		223	1	146	3	24	2	1878	22586	1	4	1	2422			5	27302
ⅡB			1		34		205	15	10	5	234	31410	3	12	459	63951			23	96362
ⅠB攪乱							3		1		1	113			602	1126				1846
ⅡB攪乱							1		1			14				511				527
包含層計		5	2	4	390	7	472	29	54	12	4193	179485	10	43	6064	234823	1	6	29	425629
不明						2	2				2	12			5	1060				1083
遺構計					98	8	62	112	35	5	4324	27181	240	1	3041	22527				57634
総合計	0	5	2	4	488	17	536	141	89	17	8519	206678	250	44	9110	258410	1	6	29	484346

表17　総合遺物集計表(石器、その他製品等)

層位	石鏃	石槍	ドリル	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	両面加工器	楔形石器	石核	石斧	石斧未成品	石斧素材	石斧片	擦切残片	すり石	たたき石	くぼみ石	石錘	砥石	石錘	矢柄研磨機	石皿	台石	Rフレイク	Uフレイク	原石	軽石	北海道式石冠	フレイク	礫	礫片	石器合計
ⅠB	35	1		2	58	3	1	1	5	7	9	11		1	3	3		6					9	23		9		1124	24	87	1422
Ta-c上面	7		9	1	5	1		2	1		1	4						1										251		4	287
ⅠB攪乱	13		2		8			2		2		83			1			2	1				1	2				1474	101	230	1922
ⅠB計	55	1	11	3	71	4	1	5	6	9	10	98		1	4	3		9	1				10	25		9		2849	125	321	3631
ⅡB-1	920	1	267	42	207	18	6	15	41	54	10	826		9	43	3	5	47	5		24	5	64	19	50	108	3	18204	703	1679	23378
ⅡB-2	660	4	135	29	239	11	3	25	35	86	22	680		3	59	2		53	2		38	2	36	26	47	87		13901	818	1456	18459
ⅡB-3	230	3	44	14	79	8		11	11	20	7	226	1	7	26	1		15	8		17	2	18	14	56	30		5010	307	665	6830
ⅡB	334	2	67	14	67	13	4	10	12	16	4	358			28			15		2	22		9	18	32	38		10634	279	528	12506
ⅡB攪乱	30		10	1	6	1			2	7		34	1		1												1	12	21	30	157
ⅡB計	2174	10	523	100	597	61	13	61	101	183	43	2124	2	29	167	6	5	130	15	2	101	9	127	77	186	263	4	47761	2128	4368	61340
不明	14		4	3	17	1		2		1					2	1					1		1	2	2			139			190
包含層計	2243	11	538	106	686	56	14	68	107	193	53	2222	2	30	163	10	5	139	16	2	102	9	138	104	188	272	4	50687	2253	4679	65100
ⅠB遺構	40		7	2	18	1	2		2	5	2	36						2					2	2				1412	25	256	1814
ⅡB遺構	222	5	50	16	62	3		15	20	25	10	215		10	17	1		62	5		8	2	2	8	10	30	1	4964	426	716	6905
遺構計	262	5	57	18	80	4	2	15	22	30	12	251		10	17	1		64	5		8	2	4	10	10	30	1	6376	451	972	8719
総合計	2505	16	595	124	766	60	16	83	129	223	65	2473	2	40	180	11	5	203	21	2	110	11	142	114	198	302	5	57063	2704	5651	73819

層位	鉄製品	骨製品	土製品	石製品	製品合計
ⅠB				1	1
Ta-c上面					
ⅠB攪乱	21			1	22
ⅠB計	21			2	23
ⅡB-1		1	152	56	209
ⅡB-2			78	39	117
ⅡB-3			10	10	20
ⅡB		1	36	40	77
ⅡB攪乱			1		1
ⅡB計		2	277	145	424
不明	17				17
包含層計	38	2	277	147	464
ⅠB遺構	1		8	4	13
ⅡB遺構			18	6	24
遺構計	1		26	10	37
総合計	39	2	303	157	501

表18　遺構別土器集計表

遺構番号 調査区	層位	I群			II群		III群				IV群			V群				VI群			計
		b2	b3	b4	a1	a2	a	b1	b2	b3	a	b	c	a	b	c	V				
IH-1	床												1			561	12				574
	覆土												10			682	4				696
	ベルト											1				49					50
	合計											1	11			1292	16				1320
IP-9	合計																				0
IP-120	覆土												5								5
	合計												5								5
IP-122	覆土															11	3				14
	合計															11	3				14
IP-123	合計																				0
IP-124	覆土												26	2							28
	合計												26	2							28
IP-125	覆土											86	204	140							430
	合計											86	204	140							430
IP-126	覆土												2	4			5				11
	合計												2	4			5				11
IP-127	覆土												2				2				4
	合計												2				2				4
IP-128	覆土					1					1	94	532	87			19				734
	覆土下層											6	3				147				156
	合計					1					1	100	535	87			166				890
IP-129	覆土												8			15	3				26
	合計												8			15	3				26
IP-130	覆土											2	110	2			825				939
	合計											2	110	2			825				939
IP-131	覆土												56			35					91
	合計												56			35					91
IP-132	覆土							3					709			2	2590				3304
	合計							3					709			2	2590				3304
IP-133	覆土																6				6
	合計																6				6
IP-134	覆土												2								2
	合計												2								2
IP-135	合計																				0
IP-136	合計																				0
IP-137	覆土												36			135	2160				2331
	合計												36			135	2160				2331
IP-138	覆土												6			55	18				79
	合計												6			55	18				79
IP-139	覆土												1			17	13				31
	合計												1			17	13				31
IP-140	覆土												1				16				17
	合計												1				16				17
IP-141	覆土																54				54
	合計																54				54
IP-142	覆土							2				1	40			617	25				685
	合計							2				1	40			617	25				685
IP-143	覆土															5					5
	合計															5					5
IP-144	覆土															22					22

遺構番号 調査区	層位	I群			II群		III群				IV群			V群				VI群			計
		b2	b3	b4	a1	a2	a	b1	b2	b3	a	b	c	a	b	c	V				
IP-144	合計															22					22
IP-145	覆土															22	2				24
	合計															22	2				24
IP-146	覆土															18	1				19
	合計															18	1				19
IP-147	合計																				0
IP-148	覆土															1					1
	合計															1					1
IP-149	覆土												1			1					2
	合計												1			1					2
IP-150	覆土															5	1				6
	合計															5	1				6
IP-151	合計																				0
SP-1	覆土					1							19								20
	合計					1							19								20
SP-3	覆土															1					1
	合計															1					1
SP-7	覆土																2				2
	合計																2				2
SP-9	覆土															27					27
	合計															27					27
SP-24	合計																				0
SP-40	覆土															2					2
	合計															2					2
SP-53	覆土																1				1
	合計																1				1
SP-57	覆土																10				10
	合計																10				10
SP-125	覆土															1					1
	合計															1					1
SP-126	覆土																1				1
	合計																1				1
SP-128	覆土															1					1
	合計															1					1
SP-206	覆土															3					3
	合計															3					3
SP-207	覆土															1					1
	合計															1					1
SP-208	覆土															3	1				4
	合計															3	1				4
SP-241	覆土															2					2
	合計															2					2
SP-243	覆土															3					3
	合計															3					3
IIH-1	覆土																214				214
IIH-2	覆土					2	4		25	6		95	971	2			2320				3425
	IIB-1								2		4	3	383	1		1	1252				1646
	トレンチ						1		5			21	216			1	2454				2698
	床					1	1		65	1		6	25				188				668
	合計					3	6		97	7	4	125	1976	3		2	6214				8437

遺構番号 調査区	層位	I群			II群		III群				IV群			V群				VI群			計
		b2	b3	b4	a1	a2	a	b1	b2	b3	a	b	c	a	b	c	V				
IIH-3	覆土								2								11				13
	HP-1																2				2
	HP-2												1								1
	HP-3																1				1
	HP-6																8				8
	HP-7																1				1
	HP-8																1				1
	HP-9																2				2
	合計								2				1				26				29
IIH-4	覆土							4				71	10				78				163
	合計							4				71	10				78				163
IIH-5	覆土					4		2		23		18	47		1	1	28				124
	床・床面							1		1											2
	合計					4		3		24		18	47		1	1	28				126
IIH-6	覆土					3		7				321	17								348
	床							1				24	1								26
	合計					3		8				345	18								374
IIH-7	覆土						1	2				371	58				513				945
	床面											9									9
	IIB-2					1						291	11								303
	トレンチ					1		1				2483	172				2				2659
	合計					2	1	3				3154	241				515				3916
IIH-10	床面								7			44	6								57
	壁											5									5
	HP																61				61
	トレンチ							3	2	2		21	2038				2157				4223
	IIB												8								8
	IIB-1							4				33	4412				2420				6869
	IIB-2							1				21	1409				15				1446
	IIB-3											121	80								201
	合計							8	9	2		245	7953				4653				12870
IIH-11	IIB-1					1	1	9				54	9387	2		30	3763				13247
	IIB-2					1		4		1		16	2018				297				2337
	IIB-2(覆土)					8		1		1		12	162				5				189
	合計					10	1	14		2		82	11567	2		31	4065				15773
IIH-13	覆土					5		4				2	192				5				208
	合計					5		4				2	192				5				208
IIP-1	覆土					4							6				15				25
	IIB-3							1				2									3
	合計					4		1				2	6				15				28
IIP-2	覆土							4				6	999			1	174				1184
	IIB-1												645			486	201				1332
	合計							4				6	1644			487	375				2516
IIP-3	床直								2				74								76
	合計								2				74								76
IIP-4	床直								2				16								18
	合計								2				16								18
IIP-5	焼土												80								80
	IIB												6								6
	不明							2					65								67

遺構番号 調査区	層位	I群			II群		III群				IV群			V群				VI群			計
		b2	b3	b4	a1	a2	a	b1	b2	b3	a	b	c	a	b	c	V				
IIP-5	合計							2					151								153
IIP-6	床												2								2
	焼土上面												48								48
	焼土下												46								46
	IIB												61								61
	合計												157								157
IIP-7	覆土					62															62
	合計					62															62
IIP-8	覆土												28								28
	合計												28								28
IIP-9	不明												21								21
	合計												21								21
IIP-10	覆土																10				10
	合計																10				10
IIP-11	覆土											9									9
	IIB					3						47	24								74
	合計					3						56	24								83
TP-3	覆土上層																6				6
	合計																6				6
TP-4	覆土							3													3
	合計							3													3
TP-5	覆土							3													3
	合計							3													3
IIF-1	覆土上層											1	382				9				392
	IIB-2												239				2				241
	合計											1	621				11				633
IIF-2	覆土												1				94				95
	合計												1				94				95
IIF-3	IIB-1											1	46			224	206				477
	合計											1	46			224	206				477
IIF-4	IIB-1																86				86
	合計																86				86
IIF-6	覆土											3	1								4
	合計											3	1								4
IIF-30	覆土											6	53								59
	合計											6	53								59
IIF-31	覆土											14	462				5				481
	合計											14	462				5				481
IIF-32	覆土											1	87								88
	合計											1	87								88
IIF-33	IIB-3											2	10								12
	合計											2	10								12
	総合計					98	8	62	112	35	5	4324	27181	240	1	3041	22527				57634

表19　遺構別石器集計表

遺　構	層　位	石鏃	石槍	ドリル	クサビ付ナイフ	スクレイパー	両面加工石器	楔形石器	石核	石斧	石斧未成品	石斧素材	石斧片	擦切残片	すり石	たたき石	くぼみ石	石錐	砥石	石錘	矢柄研磨器	石皿	台石	Rフレイク	Uフレイク	原石	軽石	北海道式石冠	フレイク	礫	礫片	石器計
IH-1	床	1				4					2	1	2												1				120	10	8	149
	覆　土	5		1		3							2											1					66	1	9	88
	ベルト	1																											3			4
	上　層	1										1																	1			3
	トレンチ																												1	5	10	16
	計	8		1		7					2	2	4											1	1				191	16	27	260
IP-9	覆　土												1																3	1		5
	計												1																3	1		5
IP-121	覆　土	1																														1
	墳　底																															
	計	1																														1
IP-122	覆　土																												4			4
	計																												4			4
IP-125	覆　土				2	1					1		2						2					1					31	1	2	43
	計				2	1					1		2						2					1					31	1	2	43
IP-128	覆　土	2				1				1			4																139	4	7	158
	計	2				1				1			4																139	4	7	158
IP-129	覆　土					1																							1			2
	計					1																							1			2
Ip-130	IIB-3			1																												1
	覆　土	4		3		1					2		5																141	1	12	169
	計	4		4		1					2		5																141	1	12	170
IP-131	覆　土																												4			4
	計																												4			4
IP-132	覆　土	12		1		1		2					18																490	1	54	579
	計	12		1		1		2					18																490	1	54	579
IP-133	覆　土	1																														1
	計	1																														1
IP-134	覆　土																												4		99	103
	計																												4		99	103
IP-137	覆　土	7		1		1																							255		29	293
	計	7		1		1																							255		29	293
IP-138	覆　土																												4			4
	計																												4			4
IP-139	覆　土	1				1																							8			10
	計	1				1																							8			10
IP-141	覆　土	1																											4		1	6
	計	1																											4		1	6
IP-142	覆　土	1				2							1																101		17	122
	計	1				2							1																101		17	122
IP-143	覆　土																												1		1	2
	計																												1		1	2
IP-144	覆　土																								1							1
	計																								1							1
IP-146	覆　土																												4	1		5
	計																												4	1		5
IP-149	覆　土																												2			2
	計																												2			2
IP-150	覆　土																												1		2	3
	計																												1		2	3

遺構	層位	石鏃	石槍	ドリル	クサビ形ナイフ	スクレイパー	両面加工石器	楔形石器	石核	石斧	石斧未成品	石斧素材	石斧片	擦切残片	すり石	たたき石	くぼみ石	石錐	砥石	石錘	矢柄研磨器	石皿	台石	Rフレイク	Uフレイク	原石	軽石	北海道式石冠	フレイク	礫	礫片	石器計
SP-1	覆土																											3		5	8
	計																											3		5	8
SP-18	覆土	1																													1
	計	1																													1
SP-24	覆土																											1			1
	計																											1			1
SP-40	覆土												1																		1
	計												1																		1
SP-206	覆土																											1			1
	計																											1			1
SP-207	覆土																											2			2
	計																											2			2
SP-222	覆土																											1			1
	計																											1			1
SP-224	覆土																											5			5
	計																											5			5
SP-238	覆土																											1			1
	計																											1			1
SP-244	覆土																											1			1
	計																											1			1
フレイク集中	IB下層	1				1																						9			11
	計	1				1																						9			11
IIH-1	覆土									1																		10			11
	上層						1																								1
	計						1			1																		10			12
IIH-2	トレンチ	12	1	3		4					1		5							1							1		244	18	26	316
	IIB-1	3	2								1					1					1								70	10	12	100
	床				1	2						1																38	1	1	44
	覆土	4		4	3	5	1		2		4		8		3	3				2					2	1	1		169	14	41	267
	計	19	3	7	4	11	1		2		6	1	13		3	4				3	1				2	1	2		521	43	80	727
IIH-3	覆土				1																1									1	5	8
	覆土1層																								1							1
	HP-4																														1	1
	HP-5																											1				1
	計				1																1				1			1	1	6	11
IIH-4	覆土																											16	4	2	22
	計																											16	4	2	22
IIH-5	不明										1																				1
	覆土	8	1	1		2							1							1		1						53	9	9	86
	計	8	1	1		2					1		1							1		1						53	9	9	87
IIH-6	覆土	1				3				1		1	2									1						48	15	84	156
	床																													1	1
	計	1				3				1		1	2									1						48	15	85	157
IIH-7	覆土	1	1			3	1		2		1				1													122	18	16	166
	床面																						1							1	2
	IIBトレンチ	6				1							3							42								110	50	15	227
	IIB-2	7		2																5								33	4	11	62
	計	14	1	2		4	1		2		1		3		1					47			1					265	72	43	457
IIH-10	IIB	18		5					4	5	1		13			1												419	7	25	498
	IIB-1	30		6	1	7			1	4	5	1	43			5				1				2		1	5		719	36	87	954

遺構	層位	石鏃	石槍	ドリル	クマ剥ナイフ	スクレイパー	両面加工石器	楔形石器	石核	石斧	石斧未成品	石斧素材	石斧片	擦切残片	すり石	たたき石	くぼみ石	石錘	砥石	石錘	矢柄研磨器	石皿	台石	Rフレイク	Uフレイク	原石	軽石	北海道式石冠	フレイク	礫	礫片	石器計
ⅡH-10	ⅡB-2	15		1		5				1	2		6		1				1			1							68	3	13	117
	ⅡB-3																													2	1	3
	ⅡBトレンチ	17		4	1	5			1	1	2		17			3			2	1		2	1		3	2	16		387	99	47	611
	床																					1							2	1		4
	壁									1																						1
	HP																												23		27	50
	計	80		16	2	17			6	12	10	1	79		1	9			4	1		4	1	2	3	3	21		1618	148	200	2238
ⅡH-11	ⅡB-1	33		7	3	3			1	3	1		64						3							3			1754	72	86	2033
	ⅡB-2	17		3		1					1	1	29						1	1									217	20	39	330
	ⅡBトレンチ	20		8	2	11			2	1	2	4				3			1	1						1	5					61
	ⅡB-3(覆土)																												75	2	13	90
	計	70		18	5	15			3	4	4	5	93			3			5	2						4	5		2046	94	138	2514
ⅡH-13	覆土	1		2					1				2																7		7	20
	計	1		2					1				2																7		7	20
ⅡP-1	覆土																										1				1	2
	計																										1				1	2
ⅡP-2	ⅡB-1	5		2		4							8									1							104		20	144
	覆土	5			1					1		1																	14	3	10	35
	計	10		2	1	4				1		1	8									1							118	3	30	179
ⅡP-3	床直																												6		22	28
	計																												6		22	28
ⅡP-4	床直																												6		7	13
	計																												6		7	13
ⅡP-5	覆土																										1					1
	焼土																												10		5	15
	ⅡB																														1	1
	不明																												5		20	25
	計																										1		15		26	42
ⅡP-6	焼土												5																7	2	3	17
	ⅡB																												14		2	16
	計												5																21	2	5	33
ⅡP-7	覆土																												4		15	19
	計																												4		15	19
ⅡP-8	覆土					2							2																10	1	1	16
	計					2							2																10	1	1	16
ⅡP-9	覆土				1																											1
	不明																												1		4	5
	計				1																								1		4	6
ⅡP-10	覆土																												1		2	3
	計																												1		2	3
ⅡP-11	ⅡB	4																											43		6	53
	不明															1																1
	覆土																												1		9	10
	計	4														1													44		15	64
TP-3	覆土上層				1																										1	2
	計				1																										1	2
TP-4	覆土																													1		1
	計																													1		1
TP-5	覆土										1														1					1		3
	計										1														1					1		3

遺構	層位	石鏃	石槍	ドリル	クマモ形ナイフ	スクレイパー	両面加工石器	楔形石器	石核	石斧	石斧未成品	石斧素材	石斧片	敲切残片	すり石	たたき石	くぼみ石	石錘	砥石	石錘	矢柄研磨器	石皿	台石	Rフレイク	Uフレイク	原石	軽石	北海道式石冠	フレイク	礫	礫片	石器計
ⅡF-1	ⅡB-2	3		1	1																								36	2	1	44
	上層					2			1																							3
	不明										2											1										3
	覆土	1											5		1														9	17	2	35
	計	4		1	1	2			1		2		5		1							1							45	19	3	85
ⅡF-2	ⅡB-1	1																														1
	覆土																												7		7	14
	計	1																											7		7	15
ⅡF-3	ⅡB-1					2				1		1	2																48	4		58
	計					2				1		1	2																48	4		58
ⅡF-4	ⅡB-1									1																			10			11
	計									1																			10			11
ⅡF-6	不明																		1													1
	計																		1													1
ⅡF-29	焼土中														4																	4
	計														4																	4
ⅡF-30	不明																									2						2
	覆土																		1										8		6	15
	計																		1							2			8		6	17
ⅡF-31	覆土			1																									26	7	1	35
	計			1																									26	7	1	35
ⅡF-32	ⅡB-2	10																														10
	ⅡB-1																												2			2
	覆土																												7	2		9
	計	10																											9	2		21
ⅡF-33	ⅡB-3						1										1											1				3
	計						1										1											1				3
石器総合計		262	5	57	18	79	4	2	15	22	30	12	251	0	10	17	1	0	64	5	0	8	2	4	9	10	30	1	6376	451	972	8717

表20　包含層調査区別土器集計表

遺構番号 調査区	層位	Ⅰ群			Ⅱ群		Ⅲ群				Ⅳ群			Ⅴ群				Ⅵ群	Ⅶ群	その他	計
		b2	b3	b4	a1	a2	a	b1	b2	b3	a	b	c	a	b	c	V				
E₂-65-00	ⅠB												39			155	14				208
	ⅡB-1					1		1				18	7581			3	15947				23551
	ⅡB-2					1		8				28	11037			7	1067				12148
	ⅡB-3					5	1	21		1		491	10206			1	19			2	10747
	ⅡB上面												32				95				127
	合　計					7	1	30		1		537	28895			166	17142			2	46781
E₂-65-01	ⅠB											3	198			21	1261		3		1486
	ⅠB攪乱												19								19
	Ta-c上面																4				4
	ⅡB上面												17				87				104
	ⅡB-1											7	1855				9622				11484
	ⅡB-2					11	1	3	1	1		105	16872			5	3510				20509
	ⅡB-3		5			135		6	2	3	1	450	1111				179				1892
	合　計		5			146	1	9	3	4	1	565	20072			26	14663		3		35498
E₂-65-02	ⅠB												2			162					164
	Ta-c上面																2				2
	ⅡB上面							3					27				237				267
	ⅡBトレンチ					2		10									962			13	987
	ⅡB-1							5				5	8285			39	6893				15227
	ⅡB-2					12		1	3	1	1	49	12419			76	1464				14026
	ⅡB-3			1		6		2			1	31	829				5				875
	合　計			1		20		21	3	1	2	85	21562			277	9727			13	31712
E₂-65-03	ⅠB															31					31
	ⅡB上面							2					13	1		1	156				173
	ⅡB-1							4				222	845	1		10	12492				13574
	ⅡB-2					5	3	1	1	4		43	3832				68				3957
	ⅡB-3					11		4		11		49	290	1			4				370
	盛　土												2			4	231				237
	攪　乱						2	2				2	3				65				74
	合　計					16	5	13	1	15		316	4985	3		46	13016				18416
E₂-65-04	ⅠB攪乱																				
	ⅡB上面												6				96				102
	ⅡB-1					6	1	1		3	1	10	133			1540	4837				6532
	ⅡB-2				1	14		11		3		114	1874				144				2161
	ⅡB-3					2		1				12	147				11				173
	盛　土												3			1	163				167
	ⅡB攪乱												13				472				485
	合　計				1	22	1	13		6	1	136	2176			1541	5723				9620
E₂-65-05	ⅠBトレンチ																				
	Ta-c上面																				
	ⅡB上面															2	48				50
	ⅡB-1					3		4				3	84		7	9	4599				4709
	ⅡB-2							3				2	377				5				387
	ⅡB-3												52				1				53
	ⅡBトレンチ							2	3	6		9	1151			7	55				1233
	合　計					3		9	3	6		14	1664		7	18	4708				6432
E₂-65-10	ⅠB											1	2			255	89				347
	ⅡB上面												58				18				76
	ⅡB-1									1	2	13	4824			4	1711				6555
	ⅡB-2					11		8				65	14533			1	1175				15793

遺構番号 調査区	層位	Ⅰ群			Ⅱ群		Ⅲ群				Ⅳ群			Ⅴ群				Ⅵ群	Ⅶ群	その他	計
		b2	b3	b4	a1	a2	a	b1	b2	b3	a	b	c	a	b	c	V				
E_2-65-10	ⅡB-3					4		7				588	1935								2534
	ⅡBトレンチ							7		1		10	3125				7107				10250
	合計					15		22		2	2	677	24477			260	10100				35555
E_2-65-11	ⅠB											9	13			181	1				204
	ⅡB															13	37				50
	ⅡBトレンチ							1				1	535	1			1377				1915
	ⅡB-1											4	334	2		37	10240				10617
	ⅡB-2				1	13		3				38	6539			1	2256				8851
	ⅡB-3					8		5	1			22	837				806			2	1681
	ⅡBトレンチ					2		4		1	1	6	3641				6795			7	10457
	合計				1	23		13	1	1	1	80	11899	3		232	21512			9	33775
E_2-65-12	ⅠB												61			3					64
	ⅡB上面												20				29				49
	ⅡB-1							3					629	1		1	7216				7850
	ⅡB-2							2				691	6740				4627				12060
	ⅡB-3					5		1				9	354				902				1271
	Ta-d_2上面												1								1
	ⅡBトレンチ							2		1		5	3732		2		2496				6238
	合計					5		8		1		705	11537	1	2	4	15270				27533
E_2-65-13	ⅠB											1				2					3
	ⅡB上面											1					43				44
	ⅡB-1							1				5	178	2		4	7616				7806
	ⅡB-2					5						42	1510				327				1884
	ⅡB-3					1						1	1				8				11
	ⅡBトレンチ							7				12	1684				10521				12224
	合計					6		8				62	3373	2		6	18515				21972
E_2-65-14	ⅡB上面					2										2	32				36
	ⅡB-1					6		2				6	110			4	7583				7711
	ⅡB-2											3	85				507				595
	ⅡB-3									1			124				2				127
	合計					8		2		1		9	319			6	8124				8469
E_2-65-15	ⅡB上面												32				2				34
	ⅡB-1											5	9		5		1435				1454
	ⅡB-2					1						1	8				1209				1219
	ⅡBトレンチ												6				283				289
	不明												2				487				489
	合計					1						6	57		5		3410				3485
E_2-65-16	不明												2				114				116
	合計												2				114				116
E_1-65-50	ⅠB												13				17				30
	合計												13				17				30
E_1-65-51	ⅠB											1				96	48				145
	Ta-c上面				1			1				2	5				240				249
	合計				1			1				3	5			96	288				394
E_1-65-60	ⅠB															12					12
	合計															12					12
E_1-65-61	ⅠB						1						4			107	91				203
	ⅠB撹乱									1			3			78					82
	合計						1			1			7			185	91				285
E_1-65-62	ⅠB								2			7	36			3	466				514

遺構番号 調査区	層位	Ⅰ群			Ⅱ群		Ⅲ群				Ⅳ群			Ⅴ群				Ⅵ群	Ⅶ群	その他	計
		b2	b3	b4	a1	a2	a	b1	b2	b3	a	b	c	a	b	c	V				
E₁-65-62	ⅠB表採												17								17
	合計								2			7	53			3	466				531
E₁-65-63	ⅠB																				
	ⅠB攪乱												4			1	5				10
	Ta-c上面				1	2		1				2	54				460				520
	ⅠB表採									1			1			12	55				69
	合計				1	2		1		1		2	59			13	520				599
E₁-65-64	ⅠB												1				12				13
	ⅠB攪乱												8								8
	合計												9				12				21
E₁-65-70	ⅠB															17					17
	合計															17					17
E₁-65-71	ⅠB															39					39
	合計															39					39
E₁-65-72	ⅠB															77	3	1	3		84
	ⅠB攪乱															277					277
	合計															354	3	1	3		361
E₁-65-73	ⅠB攪乱															95	1				96
	Ta-c上面											1					6				7
	ⅠB表採											1	444			8	2				455
	合計											2	444			103	9				558
E₁-65-74	ⅠB																40				40
	ⅠB表採											1				15					16
	合計											1				15	40				56
E₁-65-80	ⅠB												13			477	107				597
	ⅡB上面							2					66				895				963
	ⅡBトレンチ					1		21				9	1890				2341			1	4263
	ⅡB-1					5		3		1		89	2805				9885				12788
	ⅡB-2							5	1			64	2842		15	165	916			1	4009
	ⅡB-3					3		4		1		50	2340				255			1	2654
	合計					9		35	1	2		212	9956		15	642	14399			3	25274
E₁-65-81	ⅠB															339					339
	ⅡB上面					1							33				172				206
	ⅡBトレンチ					20		129		1	4	160	2756	1	3	2	8858				11934
	ⅡB-1							7				67	2951			25	18841				21891
	ⅡB-2					28		23	3	1	1	226	1469				30				1781
	ⅡB-3					6		16		7		23	31				204				287
	合計					55		175	3	9	5	476	7240	1	3	366	28105				36438
E₁-65-82	ⅠB									2			20			333	4				359
	合計									2			20			333	4				359
E₁-65-83	ⅠB															207					207
	Ta-c上面																1				1
	ⅠB表採											8				6					14
	合計											8				213	1				222
E₁-65-84	ⅠB															12					12
	Ta-c上面																13				13
	ⅡB上面											1	5		6	287	150				449
	ⅡBトレンチ							6				9	94			28	3963			2	4102
	合計							6				10	99		6	327	4126			2	4576
E₁-65-85	ⅡBトレンチ											1	5		1	1	1342				1350

遺構番号 調査区	層位	Ⅰ群			Ⅱ群		Ⅲ群				Ⅳ群			Ⅴ群				Ⅵ群	Ⅶ群	その他	計
		b2	b3	b4	a1	a2	a	b1	b2	b3	a	b	c	a	b	c	V				
E₁-65-85	合　計											1	5		1	1	1342				1350
E₁-65-86	ⅡBトレンチ												2				386				388
	合　計												2				386				388
E₁-65-90	ⅠB											4	26			66					96
	Ta-c上面												4				1				5
	ⅡB上面							1					521				1615				2137
	ⅡB-1					7		2				22	5285				4334				9650
	ⅡB-2							1				15	1542				1				1559
	ⅡB-3					23		64				74	419				7				587
	ⅡBトレンチ					5		7	10			2	2015				901				2940
	合　計					35		75	10			117	9812			66	6859				16974
E₁-65-91	ⅠB												15			98					113
	Ta-c上面												11								11
	ⅡB上面								1				56			1	238				296
	ⅡB-1							7				16	2726			1	19012				21762
	ⅡB-2					1		3				55	3929				1249				5237
	ⅡB-3					14		15				78	3910		4		17				4038
	ⅡBトレンチ					1			1			3	9813			1	8366				18185
	合　計					16		25	2			152	20460		4	101	28882				49642
E₁-65-92	ⅠB												1			181	25				207
	ⅠB撹乱												14			107	70				191
	ⅡB上面							1					17			3	968				989
	ⅡB-1							3				5	124				2996				3128
	ⅡB-3																2				2
	合計							4				5	156			291	4061				4517
E₁-65-93	ⅠB撹乱							3				1	63			3	1041				1111
	ⅠB表採					1							15			128	6				150
	ⅡB上面																97				97
	ⅡBトレンチ											5	58				3150				3213
	合　計					1		3				6	136			131	4294				4571
E₁-65-94	ⅠB															4					4
	ⅠB撹乱												2			41	9				52
	Ta-c上面											1					15				16
	ⅠB表採															35					35
	ⅡB上面							2								111	3				116
	ⅡB撹乱							1		1							19				21
	合　計							3		1		1	2			191	46				244
E₁-65-95	ⅠBトレンチ																				
	ⅠB																				
	Ta-c上面																1				1
	ⅡB上面																				
	ⅡB撹乱												1				20				21
	合　計												1				21				22
E₁-65-95	ⅡBトレンチ																30				30
	合　計																30				30
E₁-65-74	Dトレンチ																				
	ⅠBトレンチ																15				15
	合　計																15				15
	総合計		5	1	4	390	9	476	29	54	12	4195	17497	10	43	6081	23883	1	6	29	42672

表21　包含層調査区別石器集計表

発掘区	層位	石鏃	ｽﾎﾟﾝﾄﾞﾙﾄﾞｷﾞﾝｸﾞ	ﾄﾞﾘﾙ	ﾂﾏﾐﾙﾄﾞｷﾞﾝｸﾞ	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	両面加工石器	楔形石器	石核	石斧	石斧未成品	石斧素材	石斧片	擦切痕片	すり石	たたき石	くぼみ石	石錐	砥石	石錘	矢柄研磨器	石皿	台石	Rフレイク	Uフレイク	原石	軽石	北海道式石冠	フレイク	礫	礫片	石器合計
E2-65-00	IB					2																							7		9	18
	IIB-1	151		20	5	17			2	10	14	1	217		1	1			3			4		9		8	4		3367	298	448	4580
	IIB-2	78		7	3	30			3	1	14	6	66			3			5							11	4		1819	92	124	2266
	IIB-3	95	2	15	6	38	5		4	3	3	2	93		3	8			3	2		11		4	6	39	9		1972	129	248	2700
	IIB												2																22	2		26
	不明			1																												1
	合計	324	2	43	14	87	5		9	14	31	9	378		4	12			11	2		15		13	6	58	17		7187	521	829	9591
E2-65-01	IB	7		1		1							1																74	1	12	97
	IB攪乱												64																940	98	177	1279
	IIB上面	2											1																66		4	73
	IIB-1上面																															
	IIB-1	81		14	5	5				2		2				2				1		1		13		1	4					131
	IIB-2	129	1	21	3	32	1		4	3	13	1	144		1	15			1			12			2	8	24		2446	180	612	3653
	IIB-3	26		8	1	5				2	3		33						2	3		1		1	2		1		381	25	195	689
	IIB					1																										1
	合計	245	1	44	9	44	1		4	7	16	3	243		1	17			3	4		14		14	4	9	29		3907	304	1000	5923
E2-65-02	IB	2				3																							16		2	23
	Ta-c上面																												1			1
	IIB上面	2		1		1							3																25	4		36
	IIB-1	52	1	18	1	16			1	3	1	1	46			3													1148	61	198	1550
	IIB-2	59		12	2	26				3	13		46		1	6	1		3					3	1	4	1		874	53	166	1274
	IIB-3	4		1	1	1				1			3						2							2			38	10	20	83
	IIB	2		1		2							3																307	6	15	336
	合計	121	1	33	4	49			1	7	14	1	101		1	9	1		5					3	1	6	1		2409	134	401	3303
E2-65-03	IB																												3		2	5
	IB攪乱																															
	IIB上面			1		2				1																			5			9
	IIB-1	42		22	1	19	1			3	1					7			2			4	1	6		4	6					119
	IIB-1焼土																1															1
	IIB-2	15		4		9	1				2	3			1	1						9		2		1						48
	IIB-3	5		2		1										2						3										13
	盛土	1																	1										25	3	3	33
	攪乱																															
	合計	63		29	1	31	2			4	3	3			1	10	1		3			16	1	8		5	6		33	3	5	228
E2-65-04	IB																															
	IB攪乱																												27		4	31
	IIB上面					1																							6		1	8
	IIB-1	39		14	3	7				2	2		37			4			3	1			1	2	8	2			757	44	139	1065
	IIB-1焼土	1		1						1								4									1					8
	IIB-2	17			4	7				1	1		22	1		1			5	1		1				2	2		624	20	98	807
	IIB-3	2				5							4			4													47	21	12	95
	盛土												1												1				11		1	14
	攪乱	4				1																							2		6	13
	合計	63		15	7	21				4	3		64	1		9		4	8	2		1	1	2	9	4	2	1	1474	85	261	2041
E2-65-05	IB																															
	Ta-c上面																												5		1	6
	IBトレンチ																												5			5
	IIB上面																												4	1	2	7
	IIB-1	30		12	2	2						1	15			1	1							4		2			602	3	93	768
	IIB-1焼土	3		1																			1									5

発掘区	層位	石鏃	ポイント状ナイフ	ドリル	ツマミ付ナイフ	スクレイパー	両面加工石器	楔形石器	石核	石斧	石斧未成品	石斧素材	石斧片	擦切痕片	すり石	たたき石	くぼみ石	石錘	砥石	石錘	矢柄研磨器	石皿	台石	Rフレイク	Uフレイク	原石	軽石	加工石器	フレイク	礫	礫片	石器合計
E2-65-05	IIB-2	4		3		3					1		6									1							70	2	22	112
	IIB-3																		1												1
	IIB																									1					1
	IIBトレンチ	5											1			1							2					59	2	29	99
	合計	42		16	2	5					1	1	22			2	1		1			1	1	6		2	1		745	8	147	1004
E2-65-06	盛土																					1									1
	合計																					1									1
E2-65-10	IB	2		1																									8		10	21
	IIB上面																												11	1	1	13
	IIB-1	44		17		5			2	2	2	1	50			1			2			1		2	2	1	7		1217	16	80	1452
	IIB-2	126		22	6	54	4	2	7	13	19	3	181		1	15			4			3		13	18	9	24		3034	255	184	3997
	IIB-3	31	1	7	1	10	1		2		4	1	38		2	5						1	1	8	4	4			1063	61	69	1314
	IIBトレンチ	23		9	1	8	1		1		1	1	82			1								1	2	3			1374	6	11	1525
	合計	226	1	56	8	77	6	2	12	15	26	6	351		3	22			6			5	1	24	26	17	31		6707	339	355	8322
E2-65-11	IB	1		1	1	1							2																27		14	47
	IIB上面					1																										1
	IIB-1	76		20	1	15		1		1	2	1	43		1	3			2	1		2		3	3		5		1647	87	196	2110
	IIB-2	67		11	1	15				3	6	1	79		1	5			1			7		5	2	2	13		1856	92	97	2264
	IIB-3	23		6	1	3			2	1	1		1			1				1				2	1	4	15		329	6	5	402
	IIB	14		1		5							4						1							1			254		16	296
	IIBトレンチ	12		6		3							20			1						1			2				993	21	42	1101
	合計	193		45	4	43		1	2	5	9	2	149		2	10			4	2		10		10	8	7	33		5106	206	370	6221
E2-65-12	IB	1				1										1													11	1		15
	Ta-c上面																												1		1	2
	IIB上面																								1				6	1		8
	IIB-1	24		13	3	2			1		1		9			1	1		2			1					26		510	8	44	646
	IIB-2	46	3	14	1	11				2	2	1	31			2			3			1	1	5		2	4		898	45	83	1155
	IIB-3	7				1				2	1		1	1	1	1				1			1	1					223	1	16	258
	IIB																									1					1
	IIBトレンチ	6		3	2	1							19			3						1				1			680	1	16	733
	合計	84	3	30	6	16			1	4	4	1	60	1	1	8	1		5	1		3	2	6	1	3	31		2329	57	160	2818
E2-65-13	IB																												1			1
	IIB上面																												3	1		4
	IIB-1	24		7	2	7				3	2	1	13			1			1			1		4			8		624	8	39	745
	IIB-2	19		4		5			1				14						2	1						1	1		293	8	15	364
	IIB-3																			1									1			2
	IIBトレンチ	5				2							15									1			1				622	3	5	654
	合計	48		11	2	14			1	3	2	1	42			1			3	2		2		4	1	1	9		1544	20	59	1770
E2-65-14	IIB上面																												1			1
	IIB-1	38		13	4	12			1	2	1		17			1			1			1		4					953	3	60	1111
	IIB-1焼土																															
	IIB-2	2		1	2	1				1			2												1				36		10	56
	IIB-3	2			1							1	2			1													35		1	43
	合計	42		14	7	13			1	3	1	1	21			2			1			1		4	1				1025	3	71	1211
E2-65-15	IIB上面			1																									5		1	7
	IIB-1	11		2				1					7									1							282	1	16	321
	IIB-1焼土																															
	IIB-2	7			1	2			2		1		13			1						1		2					153	2	21	206
	IIBトレンチ	3																											22		5	30
	不明			2									8																66		1	77

発掘区	層位	石鏃	ポイント又はナイフ	ドリル	ツマミ付ナイフ	スクレイパー	両面加工石器	楔形石器	石核	石斧	石斧未成品	石斧素材	石斧片	擦切残片	すり石	たたき石	くぼみ石	石錐	砥石	石錘	矢柄研磨器	石皿	台石	Rフレイク	Uフレイク	原石	軽石	加工痕ある石	フレイク	礫	礫片	石器合計
E_2-65-15	合　計	21		5	1	2		1	2		1		28			1						2		2					528	3	44	641
E_2-65-16	ⅡBトレンチ	1		1																											2
	不　明												25																73	55		153
	合　計	1		1									25																73	55		155
E_1-65-50	ⅠB					1							1											1					11	4		18
	合　計					1							1											1					11	4		18
E_1-65-51	Ta-c上面	1							1	1																			29			32
	ⅠB	3				4					4	1	1			1	1		1						1				302		3	322
	合　計	4				4			1	1	4	1	1			1	1		1						1				331		3	354
E_1-65-60	ⅠB																												23	1	1	25
	合　計																												23	1	1	25
E_1-65-61	ⅠB																								3				15			18
	ⅠB攪乱					3					2					1			2										14	2		24
	合　計					3					2					1			2						3				29	2		42
E_1-65-62	ⅠB	1		2		1	1	1			1	2	1				1												88	15	11	125
	ⅠB表採																												1	1		2
	合　計	1		2		1	1	1			1	2	1				1												89	16	11	127
E_1-65-63	ⅠB																															
	Ta-c上面	5			1								3						1										206		3	219
	ⅠB表採																												15		1	16
	攪　乱	1				1																							16		1	19
	合　計	6			1	1							3						1										237		5	254
E_1-65-64	ⅠB					1																							9		3	13
	攪　乱	1											1																4			6
	合　計	1				1							1																13		3	19
E_1-65-70	ⅠB	1																											3			4
	焼土中					1																										1
	合　計	1				1																							3			5
E_1-65-71	ⅠB																												12			12
	合　計																												12			12
E_1-65-72	ⅠB					3																							30			33
	ⅠB攪乱	1																											36			37
	合　計	1				3																							66			70
E_1-65-73	ⅠB																															
	Ta-c上面																												1			1
	ⅠB表採	1			1	2	1												1										35		2	43
	ⅠB攪乱					1							2											1					5		2	11
	合　計	1			1	3	1						2						1					1					41		4	55
E_1-65-74	ⅠB																												10		2	12
	ⅠB表採																												3			3
	Dトレンチ	2																											10		6	18
	合　計	2																											23		8	33
E_1-65-80	ⅠB					4						1												1	1				7		1	15
	ⅡB上面	3				1						1	2																371		21	399
	ⅡB-1	67		10	2	18	4	1	2	2	5		74		1	4		1	2			1			2	3	5		1668	25	31	1928
	ⅡB-2	16		1	1	9	3		2	2		4	22		1	4			2							1	4		767	13	78	930
	ⅡB-3	6		1	1	1				1	1		26			1	1		1										480	29	18	567
	ⅡB	4		2															1													7
	ⅡBトレンチ	35		9	4	9			1	2	3	1	37			2			1			2		2	1	2			424		17	552
	合　計	131		23	8	42	7	1	5	7	9	7	161		2	11	1	1	7			3		3	4	6	9		3717	67	166	4398

発掘区	層位	石鏃	ポイント又はナイフ	ドリル	ツマミ付ナイフ	スクレイパー	両面加工石器	楔形石器	石核	石斧	石斧未成品	石斧素材	石斧片	擦切残片	すり石	たたき石	くぼみ石	石錘	砥石	石錘	矢柄研磨器	石皿	台石	Rフレイク	Uフレイク	原石	軽石	北海道式石冠	フレイク	礫	礫片	石器合計
E1-65-81	IB	2	1			2			1															2		9		94		5	116
	IIB上面	1				1							1															20	4	7	34
	IIB-1	80		30	4	24	7	3	2	4	9		130		3	6			7	1		4		6		14	3		1664	40	121	2162
	IIB-2	18		8	2	10		1	4	5	4		27			2			7					1	1	4	3		332	13	30	472
	IIB-3	1				2							1													1			28		10	43
	IIB	7																													7
	IIBトレンチ	44	1	3	1	4	7	3	3	1	4	1	71			1			1			3				2			1288	5	91	1534
	合計	153	2	41	7	43	14	7	10	10	17	1	230		3	9			15	1		7		7	3	21	15		3426	62	264	4368
E1-65-82	IB	1		1		8							2						2					5	5				102	1	5	132
	IIB上面															1															1
	IIB-1	14		5		1	2				2	1							2							6					33
	IIB-2																									7					7
	IIB-3																									1					1
	IIBトレンチ	14		6	1	2					2					1			1						3						30
	合計	29		12	1	11	2				4	1	2			2			5					5	5	3	14		102	1	5	204
E1-65-83	IB	2		1		10				2	1	3												5					49		3	76
	IB表採																							1					5			6
	Ta-c上面																															
	IIB上面	1																														1
	IIB-1	2				3	1			1									1							2						10
	IIB-2														1																	1
	IIBトレンチ	44		6	2	4				1	2					4			6		2			4		2						77
	IIB																										4					4
	合計	49		7	2	17	1			4	3	3			1	4			7		2			10		2	6		54		3	175
E1-65-84	IB					3																		1					12		1	17
	Ta-c上面					4	1					1																	4			10
	IIB上面	1				2				1	1		2			1									2				40	1	15	66
	IIB																										16					16
	IIB-1																										23					23
	IIBトレンチ	15		3	1						1		34			1									1				595	33	22	706
	合計	16		3	1	9	1			1	2	1	36			2								1	3		39		651	34	38	838
E1-65-85	IIBトレンチ	6		2					1				4																250		3	266
	合計	6		2					1				4																250		3	266
E1-65-86	IIBトレンチ	25		4	1	2			1				3												1				77			114
	合計	25		4	1	2			1				3												1				77			114
E1-65-90	IB	3								1																			22			26
	Ta-c上面																															
	IIB上面												12						1							1			271	1	7	293
	IIB-1	58		18	2	15			1	4	2	1	48		1	3			9	1		1		2		9	1	1	1643	43	56	1919
	IIB-2	16		10	2	5			1		1	1	4		1				13						1	1			237	12	17	322
	IIB-3	2				1	2				1		4														3		70	2	27	112
	IIBトレンチ	29	1	3		8	2	1	1	3	2		30			2						4		1	3	4			862	56	28	1040
	合計	108	1	31	4	29	4	1	3	8	6	2	98		2	5			23	1		5		3	4	15	4	1	3105	114	135	3712
E1-65-91	IB	2		1		2				1															1				29			36
	Ta-c上面					1			1																							2
	IIB上面								1	1																			29		1	32
	IIB-1	71		28	7	35	3		3	1	12		104		1	7			10			2	2	10	4	10	6	1	1807	60	128	2312
	IIB-2	41		17	1	20	2		1	1	9	2	23		5	4	1		11			3	1	5		1			462	31	23	664
	IIB-3	23		4	2	10			2	1	2	2	19			2			2			1		2	1	7	1		302	21	35	439
	IIB									1																	1					3

発掘区	層位	石鏃	両ｲﾝｽﾞ双肩ﾅｲﾌ	ドリル	ｸﾏﾓﾘﾅｲﾌ	ｽｸﾚｲﾊﾟｰ	両面加工石器	楔形石器	石核	石斧	石斧未成品	石斧素材	石斧片	擦切残片	すり石	たたき石	くぼみ石	石錘	砥石	石錘	矢柄研磨器	石皿	台石	Rフレイク	Uフレイク	原石	軽石	北海道式石冠	フレイク	礫	礫片	石器合計
E₁-65-91	ⅡBトレンチ	25		4		2	2		1	1	2		11			2											15		1880	119	145	2209
	合　計	162		54	10	70	7		9	7	25	4	157		6	15	1		24			6	3	17	6	18	23	1	4509	231	332	5697
E₁-65-92	ⅠB	1	4	1																					1				23		1	31
	ⅠB攪乱	2		1					2				1												2				72		11	91
	ⅡB上面		2													1						2				1			11		4	21
	ⅡB-1	13	4	2								1	16		1	1			1								2		315	6	30	392
	ⅡB-3	4	1						1		1		1		1														41	2	9	61
	ⅡB		1																													1
	合　計	20	12	4					3		1	1	18		2	2			1			2			3	1	2		462	8	55	597
E₁-65-93	ⅠB																															
	ⅠB表採	1				5	1			1	1	2	3		1	2	1		2										3			23
	ⅠB攪乱	4		1		1							15																353	1	33	408
	ⅡB上面	1																											9			10
	ⅡBトレンチ	2			1																					3			31	3	9	49
	合　計	8		1	1	6	1			1	1	2	18		1	2	1		2							3			396	4	42	490
E₁-65-94	ⅠB																															
	Ta-c上面	1																											4			5
	ⅠB表採																												8			8
	ⅠB攪乱					1																							5		2	8
	ⅡB上面	1		1		2																							9	1	7	21
	ⅡB攪乱																	1														1
	合　計	2		1		3												1											26	1	9	43
E₁-65-95	ⅠB																												12			12
	Ta-c上面																															
	ⅠBトレンチ																								1				3			4
	ⅡB上面																												1		1	2
	ⅡB攪乱															1													10	21	24	56
	盛　土	1																														1
	合　計	1														1									1				26	21	25	75
E₁-65-96	中央トレンチ																												1		2	3
	合　計																												1		2	3
不　明	不明トレンチ			7												3						6						1				17
	合　計			7												3						6						1				17
排　土				4													1					2										7
	合　計			4													1					2										7
総合計		2243	11	538	106	686	56	14	68	107	193	53	2222	2	30	163	10	5	139	16	2	102	9	138	104	188	272	4	50687	2253	4679	65100

表22—1　土・石製品及び自然遺物一覧(遺構)

遺構・調査区	層位	石玉	石玉未成品	玉素材	石棒	異形石器	環状軽石	オロシガネ状石器	有孔石	石製品	耳栓	土玉	土偶	スタンプ形土製品	動物形土製品	土製品	焼成粘土塊	タール状炭化物	化石	琥珀	骨角器	鉄製品	合計
IH-1	覆土										1												1
	計										1												1
IP-121	底面																					1	1
	計																					1	1
IP-125	覆土		1																				1
	計		1																				1
IP-130	覆土										1												1
	計										1												1
IP-132	覆土	3									2	1					1						7
	IIB											1				1							2
	トレンチ															1							1
	計	3									2	2				2	1						10
IIH-2	IIB-1	1									1												2
	覆土										5												5
	トレンチ										4												4
	計	1									10												11
IIH-7	IIB-2									1													1
	覆土									1													1
	計									2													2
IIH-10	IIB-1										1												1
	IIB-3																5						5
	IIBトレンチ									1	1												2
	計									1	2						5						8
IIH-11	IIB-1				1						1												2
	IIBトレンチ				1						3						2						6
	計				2						4						2						8
IIP-2	IIB-1										2												2
	計										2												2
IIF-3	IIB-1																2						2
	計																2						2

表22—2　土・石製品及び自然遺物一覧(包含層)

遺構・調査区	層位	石玉	石玉未成品	玉素材	石棒	異形石器	環状軽石	オロシガネ状石器	有孔石	石製品	耳栓	土玉	土偶	スタンプ形土製品	動物形土製品	土製品	焼成粘土塊	タール状炭化物	化石	琥珀	骨角器	鉄製品	合計
E_1-65-61	IB撹乱									1													1
	計									1													1
E_1-65-74	トレンチ	1																					1
	計	1																					1
E_1-65-80	IIB-2上層							1															1
	IIB-1	1									6		1			1		7					16
	IIB	6										3											9
	計	7						1			6	3	1			1		7					26
E_1-65-81	IIB-1		1	2	2		1	1		1	6		2				1						17
	IIB	4									6	1					2				1		14
	IIB-2															1							1
	IIB-3								1														1
	計	4	1	2	2		1	1	1	1	12	1	2			1	3				1		33
E_1-65-82	IIB-2																		1				1
	IIB-1										1												1
	IIB										3	2					1						6
	計										4	2					1		1				8
E_1-65-83	IIB							2			3	2				1	3						11
	計							2			3	2				1	3						11
E_1-65-84	IIB-2上面															1							1
	IIBトレンチ	1																					1
	計	1														1							2
E_1-65-90	IIB-1	2			1						1			1		2		1					8
	IIB上面					1										1							2
	IIB-3	1																					1
	計	3			1	1					1			1		3		1					11
E_1-65-91	IIB上面										1												1
	IIB-1	1		2		1			1		11	1	1			1	3						22
	IIB-2	1		1							3		1			2	1	1					10
	IIB-3		1								1	1											3
	IIBトレンチ									1	3	2				7							13
	計	2	1	3		1			1	1	19	4	2			10	4	1					49
E_1-65-92	IIB-1							1			4					2							7
	計							1			4					2							7
E_1-65-94	撹乱										1												1
	計										1												1
E_2-65-00	IIB-1	4	1		1						10					2							18
	IIB-2								1	1		1											3
	IIB-3				4																		4
	IIB	2																					2

遺構・調査区	層位	石玉	石玉未成品	玉素材	石棒	異形石器	環状軽石	オロシガネ状石器	有孔石	石製品	耳栓	土玉	土偶	スタンプ形土製品	動物形土製品	土製品	焼成粘土塊	タール状炭化物	化石	琥珀	骨角器	鉄製品	合計
E_2-65-00	計	6	1		5				1	1	10	1				2							27
E_2-65-01	IIB-1	3	1								14	1				5							24
	IIB-2	7							1		16	2				6	1						33
	IIB-3	2														1							3
	計	12	1						1		30	3				12	1						60
E_2-65-02	IIB-1		1		1						10	3				1	4						20
	IIB-2	4	1	1		1					13					1	1						22
	計	4	2	1	1	1					23	3				2	5						42
E_2-65-03	IIB-1										3	3				1	7			1			15
	IIB-2		1									1					2						4
	攪乱																7						7
	計		1								3	4				1	16			1			26
E_2-65-04	IIB-1	1							2		3					1							7
	IIB-2																	1					1
	IB攪乱																					21	21
	計	1							2		3					1		1				21	29
E_2-65-05	IIB-1	1									2												3
	計	1									2												3
E_2-65-10	IIB-1			14							9					3	2						28
	IIB-2	2				1	1				3						2						9
	IIB-3										7						3	1					11
	IIBトレンチ	12	1				1				3	1				2							20
	計	14	1	14		1	2				22	1				5	7	1					68
E_2-65-11	IIB-1	3						1			12	7		1		5	3						32
	IIB-2	1	1	2	2	2			1		5		2			1							17
	IIB-3				1																		1
	IIBトレンチ	3									6												9
	IIB										3							1					4
	計	7	1	2	3	2		1	1		26	7	2	1		6	3	1					63
E_2-65-12	IIB-1	3									7	2			1	1							14
	IIB-2	1	1	1	1						11	2		1		3							21
	IIBトレンチ	1									5					2							8
	計	5	1	1	1						23	4		1	1	6							43
E_2-65-13	IIB-1			1							1												2
	IIB-2																	1					1
	IIBトレンチ	2									2	2											6
	計	2		1							3	2						1					9
E_2-65-14	IIB	1																					1
	IIB-1										2												2
	計	1									2												3

遺構・調査区	層位	石玉	石玉未成品	玉素材	石棒	異形石器	環状軽石	オロシガネ状石器	有孔石	石製品	耳栓	土玉	土偶	スタンプ形土製品	勁物形土製品	土製品	焼成粘土塊	タール状炭化物	化石	琥珀	骨角器	鉄製品	合計
E_2-65-15	ⅡB-2										2												2
	ⅡBトレンチ	2									1												3
	計	2									3												5
E_1-65-80	ⅡB-1													1									1
	計													1									1
E_1-65-82	ⅡBトレンチ	2																					2
	計	2																					2
E_1-65-83	ⅡB-2	1																					1
	ⅡBトレンチ	14																					14
	計	15																					15
中央トレンチ				2	1			1		1	1						1				1		8
	計			2	1			1		1	1						1				1		8
排土		2									1											17	20
	計	2									1											17	20
製品合計		96	11	26	16	6	3	7	7	8	224	39	7	4	1	56	45	13	1	1	2	39	611

表23　遺構掲載土器一覧

遺構番号	図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
		遺構・グリッド	遺物No.				
IH-1	図Ⅲ-4-1	IH-1	198	床	Vc	1	
		IH-1	200	床	Vc	1	
		IH-1	201	床	Vc	1	
		IH-1	236	床	Vc	3	
		IH-1	199	床	Vc	1	7
	図Ⅲ-4-2	IH-1	208	床	Vc	5	
		IH-1	204	床	Vc	15	
		IH-1	206	床	Vc	1	
		IH-1	205	床	Vc	6	
		IH-1	48	覆土	Vc	1	
		E_1-65-94	9	IB表土	Vc	1	29
	図Ⅲ-4-3	IH-1	157	床	Vc	1	
		IH-1	154	床	Vc	1	
		IH-1	218	覆土	Vc	1	
		E_1-65-61	3	IB撹乱	Vc	1	4
	図Ⅲ-4-4	IH-1	218	覆土	Vc	1	
		IH-1	46	上層	Vc	1	2
	図Ⅲ-4-5	IH-1	236	床	Vc	1	
	図Ⅲ-4-6	IH-1	149	床	Vc	1	
	図Ⅲ-4-7	IH-1	137	床	Vc	1	
		IH-1	104	床	Vc	1	2
	図Ⅲ-4-8	IH-1	100	床	Vc	1	
	図Ⅲ-4-9	IH-1	108	床	Vc	1	
	図Ⅲ-4-10	IH-1	95	床	Vc	1	
	図Ⅲ-4-11	IH-1	223	床	Vc	1	
	図Ⅲ-4-12	IH-1	112	床	Vc	1	
	図Ⅲ-4-13	IH-1	126	床	Vc	1	
	図Ⅲ-4-14	IH-1	89	床	Vc	1	
IP-125	図Ⅲ-8-1	IP-125	11	覆土	Ⅳb	1	
	図Ⅲ-8-2	IP-125	19	覆土	Ⅳc	1	
	図Ⅲ-8-3	IP-125	19	覆土	Ⅳc	1	
	図Ⅲ-8-4	IP-125	19	覆土	Ⅳc	1	
	図Ⅲ-8-5	IP-125	20	覆土	Va	1	
	図Ⅲ-8-6	IP-125	3	覆土	Va	1	
IP-128	図Ⅲ-9-1	IP-128	11	覆土	Ⅳb	1	
	図Ⅲ-9-2	IP-128	1	覆土	V	1	
IP-129	図Ⅲ-9-1	IP-129	1	覆土	Vc	1	
	図Ⅲ-9-2	IP-129	3	覆土	Vc	1	
IP-130	図Ⅲ-10-1	IP-130	20	覆土	Ⅳc	1	
		IP-130	25	覆土	Ⅳc	1	
		E_2-65-00	194	ⅡB-1	Ⅳc	2	
		E_2-65-00	528	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_2-65-00	592	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_2-65-00	597	ⅡB-1	Ⅳc	11	
		E_2-65-00	621	ⅡB-1	Ⅳc	5	
		E_2-65-00	639	ⅡB-1	Ⅳc	2	
		E_2-65-00	645	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_2-65-00	678	ⅡB-1	Ⅳc	2	
		E_2-65-00	689	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_2-65-00	1029	ⅡB-1	Ⅳc	4	

遺構番号	図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
		遺構・グリッド	遺物No.				
IP-130	図Ⅲ-10-1	E_2-65-00	1090	ⅡB-1	Ⅳc	2	
		E_2-65-00	1104	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_2-65-00	1134	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_2-65-00	1136	ⅡB-2	Ⅳc	2	
		E_2-65-00	1137	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_2-65-00	1161	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_2-65-00	1175	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_2-65-00	1203	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_2-65-00	1219	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_2-65-00	1239	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_2-65-00	1242	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_2-65-00	1300	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_2-65-00	1301	ⅡB-2	Ⅳc	7	
		E_2-65-00	1316	ⅡB-2	Ⅳc	5	
		E_2-65-00	1325	ⅡB-2	Ⅳc	7	
		E_2-65-00	1352	ⅡB-2	Ⅳc	2	
		E_2-65-00	1400	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_2-65-00	1517	ⅡB-2	Ⅳc	1	37
	図Ⅲ-10-2	IP-130	20	覆土	V	8	
		E_1-65-91	553	ⅡB-1	V	1	
		E_1-65-91	743	ⅡB-1	V	1	
		E_1-65-91	1273	ⅡB-2	V	2	
		E_1-65-91	1580	ⅡB-3	V	1	13
	図Ⅲ-10-3	IP-130	53	覆土	Ⅳb	1	
	図Ⅲ-10-4	IP-130	1	覆土	Ⅳc	1	
	図Ⅲ-10-5	IP-130	31	覆土	V	1	
	図Ⅲ-10-6	IP-130	132	覆土	V	1	
	図Ⅲ-10-7	IP-130	32	覆土	V	1	
	図Ⅲ-10-8	IP-130	132	覆土	V	1	
	図Ⅲ-10-9	IP-130	19	覆土	V	1	
	図Ⅲ-10-10	IP-130	27	覆土	V	1	
IP-131	図Ⅲ-11-1	IP-131	4	覆土	Vc	1	
IP-132	図Ⅲ-12-1	IP-132	89	覆土	Ⅳc	1	
		IP-132	85	覆土	Ⅳc	1	
		IP-132	86	覆土	Ⅳc	2	
		IP-132	95	覆土	Ⅳc	1	
		IP-132	100	覆土	Ⅳc	1	6
	図Ⅲ-12-2	IP-132	25	覆土	V	1	
		E_2-65-01	329	ⅡB-2	V	3	
		E_2-65-01	1346	ⅡB-2	V	2	
		E_2-65-01	1322	ⅡB-2	V	1	
		E_2-65-01	1122	ⅡB-2	V	13	
		E_2-65-01	773	ⅡB-2	V	1	
		E_2-65-01	362	ⅡB-2	V	1	
		IP-130	57	覆土	V	1	
		E_2-65-01	317	ⅡB-2	V	4	
		E_2-65-01	249	ⅡB-1	V	1	
		IP-137	4	覆土	V	1	
		IP-137	26	覆土	V	1	
		E_2-65-01	10	IB	V	1	

遺構番号	図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
		遺構・グリッド	遺物No.				
IP-132	図Ⅲ-12-2	E2-65-01	54	IB-3	V	1	
		E2-65-01	296	IIB-2	V	2	
		E2-65-01	106	IB-4	V	1	
		E2-65-01	149	IB-4	V	1	
		E2-65-01	167	IB-4	V	1	
		IP-132	44	覆土	V	2	8
	図Ⅲ-12-3	IP-132	62	覆土	Vc	1	
	図Ⅲ-12-4	IP-132	20	覆土	Vc	1	
	図Ⅲ-12-5	IP-132	125	覆土	Vc	1	
	図Ⅲ-12-6	IP-132	124	覆土	V	1	
	図Ⅲ-12-7	IP-132	27	覆土	V	1	
IP-137	図Ⅲ-13-1	IP-137	16	覆土	Ⅳc	1	
		IP-137	960	IIB-1	Ⅳc	1	
		IP-137	399	IIB-1	Ⅳc	1	
		IP-137	1238	IIB-2	Ⅳc	1	
		IP-137	1248	IIB-2	Ⅳc	1	
		IP-137	1179	IIB-2	Ⅳc	1	6
IP-138	図Ⅲ-14-1	IP-138	9	覆土	Ⅳc	1	
	図Ⅲ-14-2	IP-138	8	覆土	Vc	1	
		IP-138	73-6	表土	Vc	1	2
IP-139	図Ⅲ-14-1	IP-139	4	覆土	V	1	
IP-141	図Ⅲ-14-1	IP-141	1	覆土	Vc	1	
	図Ⅲ-14-2	IP-141	1	覆土	V	1	
IP-142	図Ⅲ-15-1	IP-142	25	覆土	Ⅳc	1	
		IP-142	12	覆土	Ⅳc	1	2
	図Ⅲ-15-2	IP-142	26	覆土	Vc	1	
	図Ⅲ-15-3	IP-142	5	覆土	Vc	1	
	図Ⅲ-15-4	IP-142	1197	覆土	V	1	
SP-9	図Ⅲ-18-1	SP-9		覆土	Vc	1	
	図Ⅲ-18-2	SP-9		覆土	Vc	1	
IIH-1	図Ⅳ-3-1	IIH-1	3	覆土	V	1	
	図Ⅳ-3-2	IIH-1	3	覆土	V	1	
	図Ⅳ-3-3	IIH-1	3	覆土	V	1	
	図Ⅳ-3-4	IIH-1	3	覆土	V	1	
	図Ⅳ-3-5	IIH-1	3	覆土	V	1	
IIH-2	図Ⅳ-5-1	IIH-2	395	床	Ⅲb-1	50	
		IIH-2	50	覆土	Ⅲb-1	9	
		IIH-2	193	覆土	Ⅲb-1	1	
		IIH-2	200	覆土	Ⅲb-1	1	
		IIH-2		不明	Ⅲb-1	2	63
	図Ⅳ-5-2	E1-65-80	445	IIB-1	Ⅳb	1	
		E1-65-80	437	IIB-1	Ⅳb	2	
		E1-65-80	370	IIB-1	Ⅳb	1	
		E1-65-80	418	IIB-1	Ⅳb	2	
		E1-65-80	355	IIB-1	Ⅳb	1	
		IIH-2	410	IIB-1	Ⅳb	1	
		E1-65-80	385	IIB-1	Ⅳb	1	9
	図Ⅳ-5-3	IIH-2	346	覆土	Ⅳc	1	
		E1-65-91	262	IIB-1	Ⅳc	1	
		E1-65-90	641	IIB-2	Ⅳc	1	

遺構番号	図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
		遺構・グリッド	遺物No.				
IIH-2	図Ⅳ-5-3	E1-65-81	822	IIB-2	Ⅳc	3	
		E1-65-81	208	IIB-1	Ⅳc	2	
		E1-65-81	769	IIB-1	Ⅳc	1	
		E1-65-81	177	IIB-1	Ⅳc	2	
		IIH-2	361	IIB-1	Ⅳc	3	
		IIH-2	217	IIB-2トレンチ	Ⅳc	4	
		IIH-2	211	IIB-2トレンチ	Ⅳc	2	
		IIH-2	86	IIB-1	Ⅳc	1	
		IIH-2	357	IIB-1	Ⅳc	2	
		IIH-10	210	IIB-2トレンチ	Ⅳc	1	
		IIH-2	355	床	Ⅳc	1	
		IIH-2	123	床	Ⅳc	1	
		IIH-10	80	IIB-1トレンチ	Ⅳc	1	
		IIH-10	216	IIB-2トレンチ	Ⅳc	1	
		E1-65-81	176	IIB-1	Ⅳc	1	
		IIH-10	218	IIB-2トレンチ	Ⅳc	1	
		IIH-10	222	IIB-2トレンチ	Ⅳc	1	
		E1-65-81	113	IIB-1	Ⅳc	1	
		E1-65-81	111	IIB-1	Ⅳc	3	
		IIH-10	230	IIB-2トレンチ	Ⅳc	5	
		IIH-2	342	覆土	Ⅳc	1	38
	図Ⅳ-5-4	IIH-2	52	覆土	V	8	
		IIH-2	168	覆土	V	2	
		IIH-2	184	覆土	V	1	
		IIH-2	49	覆土	V	6	17
	図Ⅳ-5-5	IIH-2	203	覆土	Ⅳc	1	
		E1-65-91	1194	IIB-2	Ⅳc	5	6
	図Ⅳ-5-6	E1-65-81	1220	IIB-2トレンチ	Ⅳc	2	
		E1-65-81	1215	IIB-2トレンチ	Ⅳc	1	
		IIH-2	293	トレンチ	Ⅳc	5	
		IIH-2	286	トレンチ	Ⅳc	1	
		IIH-2	285	トレンチ	Ⅳc	1	
		IIH-2	268	トレンチ	Ⅳc	3	
		E1-65-91	1072	IIB-2	Ⅳc	2	15
	図Ⅳ-5-7	E1-65-81	1159	IIB-1トレンチ	V	1	
		IIH-2	211	覆土	V	1	
		E1-65-81	1165	IIB-1トレンチ	V	4	
		E1-65-81	1173	IIB-1トレンチ	V	2	
		E1-65-91	667	IIB-1	V	1	
		E1-65-91	470	IIB-1	V	1	
		E1-65-91	379	IIB-1	V	1	11
	図Ⅳ-6-8	IIH-2	355	床	Ⅳc	1	
		IIH-2	416	トレンチ	Ⅳc	1	
		IIH-2	386	トレンチ	Ⅳc	1	
		IIH-2	293	トレンチ	Ⅳc	1	
		IIH-2	268	トレンチ	Ⅳc	1	
		IIH-2	417	トレンチ	Ⅳc	1	6
	図Ⅳ-6-9	IIH-2	415	床	Ⅳc	1	
		E1-65-80	453	IIB-1	Ⅳc	1	2
	図Ⅳ-6-10	IIH-2	341	覆土	V	1	

遺構番号	図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
		遺構・グリッド	遺物No.				
ⅡH-2	図Ⅳ-6-10	ⅡH-2	154	覆土	V爪形	1	2
	図Ⅳ-6-11	ⅡH-2	343	覆土	Ⅲb-3	1	
	図Ⅳ-6-12	ⅡH-2	163	覆土	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-6-13	ⅡH-2	345	覆土	Ⅳb	1	
		ⅡH-2	4	覆土	Ⅳb	1	2
	図Ⅳ-6-14	ⅡH-2	268	トレンチ	Ⅳc	1	
		ⅡH-2	276	トレンチ	Ⅳc	1	
		ⅡH-2	414	トレンチ	Ⅳc	1	
		ⅡH-2	293	トレンチ	Ⅳc	1	4
	図Ⅳ-6-15	ⅡH-2	243	ⅡB-1	Ⅳc	1	
	図Ⅳ-6-16	ⅡH-2	90	トレンチ	V	1	
		ⅡH-2	140	覆土	V	1	
		ⅡH-2	265	トレンチ	V	1	3
	図Ⅳ-6-17	ⅡH-2	413	覆土	Va	1	
		E_1-65-81	1487	ⅡB-1トレンチ	Va	1	
		E_1-65-81	1084	ⅡB-1トレンチ	Va	1	
		E_1-65-81	1486	ⅡB-1トレンチ	Va	1	
		ⅡH-2	412	覆土	Va	1	
		ⅡH-2	411	ⅡB-1	Va	1	6
	図Ⅳ-6-18	E_1-65-81	1490	ⅡB-1トレンチ	Va	1	
		E_1-65-81	1489	ⅡB-1トレンチ	Va	1	
		ⅡH-11	496	ⅡB-1	Va	1	
		ⅡH-2	125	床	Va	1	4
	図Ⅳ-6-19	ⅡH-2	346	覆土	Ⅳc	1	
		E_1-65-81	1101	ⅡBトレンチ	Ⅳc	1	
		E_2-65-12	295	Ⅱ-5トレンチ	Ⅳc	1	3
ⅡH-3	図Ⅳ-8-1	ⅡH-3	16	HP-6覆土	V	1	
	図Ⅳ-8-2	ⅡH-3	14	HP-1覆土	V	1	
	図Ⅳ-8-3	ⅡH-3	16	——	V	1	
	図Ⅳ-8-4	ⅡH-3	18	HP-6覆土	V	1	
ⅡH-4	図Ⅳ-8-1	ⅡH-4	62	覆土	Ⅳc	4	
		E_2-65-01	479	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_2-65-01	687	ⅡB-2	Ⅳc	2	
		E_2-65-01	770	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_2-65-01	798	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_2-65-01	800	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_2-65-01	831	ⅡB-2	Ⅳc	21	
		E_2-65-01	920	ⅡB-2	Ⅳc	1	32
	図Ⅳ-8-2	ⅡH-4	24	覆土	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-8-3	ⅡH-4	44	覆土	V	1	
	図Ⅳ-8-4	ⅡH-4	34	覆土	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-8-5	ⅡH-4	45	覆土	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-8-6	ⅡH-4	1	覆土	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-8-7	ⅡH-4	56	覆土	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-8-8	ⅡH-4	50	覆土	Vc	1	
	図Ⅳ-8-9	ⅡH-4	4	覆土	Vc	1	
ⅡH-5	図Ⅳ-9-1	ⅡH-5	22	覆土	Ⅳc	1	
	図Ⅳ-9-2	ⅡH-5	139	床	Ⅲb-3	1	
	図Ⅳ-9-3	ⅡH-5	129	覆土	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-9-4	ⅡH-5	162	床	Ⅲb-1	1	

遺構番号	図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
		遺構・グリッド	遺物No.				
ⅡH-5	図Ⅳ-9-5	ⅡH-5	35	覆土	Ⅲb-3	1	
	図Ⅳ-9-6	ⅡH-5	151	覆土	V	1	
	図Ⅳ-9-7	ⅡH-5	113	覆土	ⅡA2	1	
	図Ⅳ-9-8	ⅡH-5	124	覆土	Ⅲb-3	1	
ⅡH-6	図Ⅳ-10-1	ⅡH-6	19	覆土	Ⅳb	1	
		ⅡH-6	26	覆土	Ⅳb	1	
		E_2-65-11	1222	ⅡB-2	Ⅳb	3	4
	図Ⅳ-10-2	ⅡH-6	21	覆土	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-10-3	ⅡH-6	43	床	Ⅳb	15	
		ⅡH-6	29	覆土	Ⅳb	1	16
	図Ⅳ-10-4	ⅡH-6	42	床	Ⅳb	6	
	図Ⅳ-10-5	ⅡH-6	60	覆土	Ⅳc	4	
		ⅡH-6	58	覆土	Ⅳc	7	
		ⅡH-6	59	覆土	Ⅳc	1	12
	図Ⅳ-11-6	ⅡH-6	45	覆土	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-11-7	ⅡH-6	29	覆土	Ⅳb	1	
		ⅡH-6	27	覆土	Ⅳb	1	
		ⅡH-6	20	覆土	Ⅳb	1	
		ⅡH-6	19	覆土	Ⅳb	1	4
	図Ⅳ-11-8	ⅡH-6	29	覆土	Ⅳb	1	
		ⅡH-6	20	覆土	Ⅳb	1	2
	図Ⅳ-11-9	ⅡH-6	46	覆土	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-11-10	E_1-65-91	1131	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_1-65-91	1676	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_1-65-80	648	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_1-65-91	1001	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		ⅡH-6	61	覆土	Ⅳc	1	5
ⅡH-7	図Ⅳ-13-1	E_1-65-81	454	ⅡB-1	Ⅳb	6	
		ⅡH-7	75	覆土	Ⅳb	1	
		E_2-65-10	1813	ⅡB-3	Ⅳb	1	8
	図Ⅳ-13-2	ⅡH-7	87	覆土	Ⅳb	2	
		ⅡH-7	85	覆土	Ⅳb	4	
		ⅡH-7	145	ⅡB-3トレンチ	Ⅳb	10	
		ⅡH-7	143	ⅡB-3トレンチ	Ⅳb	4	
		ⅡH-7	146	ⅡB-3トレンチ	Ⅳb	1	
		E_1-65-81	763	ⅡB-1	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	148	ⅡB-3トレンチ	Ⅳb	3	
		ⅡH-7	144	ⅡB-3トレンチ	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	24	覆土	Ⅳb	1	25
	図Ⅳ-13-3	E_2-65-10	1798	ⅡB-3	Ⅳb	1	
		E_2-65-10	1747	ⅡB-3	Ⅳb	1	
		E_2-65-00	2303	ⅡB-3	Ⅳb	1	
		E_2-65-10	1815	ⅡB-3	Ⅳb	1	
		E_2-65-10	1501	ⅡB-2	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	144	ⅡB-3トレンチ	Ⅳb	2	
		E_2-65-10	1788	ⅡB-3	Ⅳb	1	8
	図Ⅳ-13-4	E_2-65-11	28	ⅡB	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	79	覆土	Ⅳb	1	
		E_2-65-10	1499	ⅡB-2	Ⅳb	1	
		E_2-65-10	1774	ⅡB-3	Ⅳb	7	10

遺構番号	図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
		遺構・グリッド	遺物No.				
ⅡH-7	図Ⅳ-13-5	E_2-65-00	2308	ⅡB-3	Ⅳb	2	
		ⅡH-7	114	ⅡB-3	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	107	ⅡB-2	Ⅳb	2	5
	図Ⅳ-13-6	E_2-65-00	2309	ⅡB-3	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	114	ⅡB-2	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	146	ⅡB-3トレンチ	Ⅳb	1	3
	図Ⅳ-13-7	ⅡH-7	76	覆土	Ⅳb	1	
		E_2-65-10	1815	ⅡB-3	Ⅳb	3	
		ⅡH-7	109	ⅡB-2	Ⅳb	2	
		ⅡH-7	124	ⅡB-2トレンチ	Ⅳb	3	
		ⅡH-7	143	ⅡB-3トレンチ	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	142	ⅡB-3トレンチ	Ⅳb	2	
		ⅡH-7	144	ⅡB-3トレンチ	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	148	ⅡB-3トレンチ	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	141	ⅡB-3トレンチ	Ⅳb	4	18
	図Ⅳ-13-8	ⅡH-7	115	ⅡB-2	Ⅳb	11	
		ⅡH-7	107	ⅡB-2	Ⅳb	4	
		E_2-65-00	2309	ⅡB-3	Ⅳb	5	
		E_2-65-00	2295	ⅡB-3	Ⅳb	1	
		E_2-65-00	2268	ⅡB-3	Ⅳb	1	22
	図Ⅳ-13-9	ⅡH-7	110	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	図Ⅳ-14-10	ⅡH-7	56	覆土	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	159	覆土	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	61	覆土	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	57	覆土	Ⅳb	1	4
	図Ⅳ-14-11	ⅡH-7	130	ⅡB-2トレンチ	Ⅳb	1	
		E_2-65-10	908	ⅡB-2	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	160	覆土	Ⅳb	1	3
	図Ⅳ-14-12	ⅡH-7	25	覆土	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	24	覆土	Ⅳb	1	2
	図Ⅳ-14-13	ⅡH-7	105	ⅡB-2	Ⅱa	1	
	図Ⅳ-14-14	ⅡH-7	93	床	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-14-15	ⅡH-7	92	床	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-14-16	ⅡH-7	39	覆土	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-14-17	E_2-65-01	926	ⅡB-2	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	114	ⅡB-2	Ⅳb	1	2
	図Ⅳ-14-18	ⅡH-7	77	覆土	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	146	ⅡB-3トレンチ	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	56	覆土	Ⅳb	1	3
	図Ⅳ-14-19	ⅡH-7	57	覆土	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-14-20	ⅡH-7	40	覆土	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-14-21	ⅡH-7	147	ⅡB-3トレンチ	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-15-22	E_2-65-10	905	覆土	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	41	覆土	Ⅳb	1	2
	図Ⅳ-15-23	ⅡH-7	8	覆土	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-15-24	ⅡH-7	142	ⅡB-3トレンチ	Ⅳb	1	
		ⅡH-7	115	ⅡB-2	Ⅳb	1	2
	図Ⅳ-15-25	ⅡH-7	78	覆土	Ⅳc	1	
	図Ⅳ-15-26	ⅡH-7	31	覆土	Ⅴ	1	
	図Ⅳ-15-27	ⅡH-7	85	覆土	Ⅳb	1	

遺構番号	図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
		遺構・グリッド	遺物No.				
ⅡH-10	図Ⅳ-17-1	ⅡH-10	438	床直	Ⅳb	7	
		ⅡH-10	251	ⅡB-3	Ⅳb	1	
		ⅡH-10	188	ⅡB-3トレンチ	Ⅳb	1	
		E_1-65-80	642	ⅡB-2	Ⅳb	1	
		E_1-65-80	653	ⅡB-2	Ⅳb	7	
		E_1-65-80	660	ⅡB-2	Ⅳb	1	
		E_1-65-80	734	ⅡB-2	Ⅳb	1	
		E_1-65-80	749	ⅡB-3	Ⅳb	4	
		E_1-65-81	851	ⅡB-2	Ⅳb	1	
		E_1-65-90	184	ⅡB-3	Ⅳb	1	18
	図Ⅳ-17-2	ⅡH-10	435	床直	Ⅳb	6	
		ⅡH-10	148	ⅡB-3	Ⅳb	1	
		ⅡH-10	438	床直	Ⅳb	3	10
	図Ⅳ-17-3	ⅡH-11	519	ⅡB-2	Ⅳc	3	
		ⅡH-10	432	ⅡB-2	Ⅳc	9	12
	図Ⅳ-17-4	ⅡH-10	433	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	3	
		ⅡH-10	18	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	3	
		ⅡH-10	16	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	3	
		ⅡH-10	65	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	2	
		ⅡH-10	431	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	3	
		ⅡH-10	17	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	1	
		E_2-65-10	1612	ⅡB-3	Ⅳc	1	16
	図Ⅳ-17-5	ⅡH-10	189	ⅡB-3トレンチ	Ⅳc	2	
		ⅡH-10	141	ⅡB-2	Ⅳc	20	
		ⅡH-10	184	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	4	
		ⅡH-10	545	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	451	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	442	ⅡB-1	Ⅳc	4	
		ⅡH-10	283	ⅡB-1	Ⅳc	1	33
	図Ⅳ-17-6	E_2-65-11	14	ⅡB	Ⅳc	1	
		E_1-65-80	411	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	16	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-80	322	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-80		ⅡB-3トレンチ	Ⅳc	1	
		E_1-65-80	282	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	456	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_2-65-11	153	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_2-65-11	282	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	146	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	350	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	63	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	19	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	5	
		不明			Ⅳc	1	
		ⅡH-11		ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	1	19
	図Ⅳ-17-7	E_1-65-81	49	ⅡB-1	Ⅴ	1	
		E_1-65-81	797	ⅡB-2	Ⅴ	1	
		E_1-65-81	208	ⅡB-1	Ⅴ	1	
		E_1-65-81	274	ⅡB-1	Ⅴ	1	
		E_1-65-81	562	ⅡB-1	Ⅴ	1	
		E_1-65-91	26	ⅡB中層	Ⅴ	1	

遺構番号	図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
		遺構・グリッド	遺物No.				
ⅡH-10	図Ⅳ-17-7	E_2-65-01	1365	ⅡB-2	V	1	
		E_1-65-81	31	ⅡB-1	V	1	
		E_1-65-81	17	ⅡB-1	V	1	
		ⅡH-10	66	Ⅱ-1トレンチ	V	1	
		E_1-65-81	166	ⅡB-1	V	1	11
	図Ⅳ-17-8	ⅡH-10	216	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	3	
	図Ⅳ-17-9	ⅡH-10	305	ⅡB-2	Ⅳc		
	図Ⅳ-17-10	ⅡH-10	301	ⅡB-1	V?	1	
	図Ⅳ-18-11	E_1-65-00	1849	ⅡB-3	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	80	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	393	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	16	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	2	
		ⅡH-10	22	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	8	
		ⅡH-10	60	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	4	
		ⅡH-10	184	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	3	
		E_2-65-11	18	ⅡB	Ⅳc	2	
		ⅡH-10	189	ⅡB-3トレンチ	Ⅳc	3	
		E_1-65-80	563	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-81	456	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-11	27	ⅡB	Ⅳc	2	
		E_2-65-80	384	ⅡB-1	Ⅳc	1	30
	図Ⅳ-18-12	ⅡH-10	205	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	5	
		E_1-65-81	301	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-81	1101	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	1	
		E_1-65-81	1175	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	2	
		ⅡH-10	223	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	8	
		E_1-65-81	998	ⅡB-2	Ⅳc	1	18
	図Ⅳ-18-13	ⅡH-10	284	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_2-65-00	2227	ⅡB-3	Ⅳc	1	
		E_2-65-11	27	ⅡB	Ⅳc	1	
		E_1-65-80	922	ⅡBトレンチ穴	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	291	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-80	811	Ⅱ-4トレンチ	Ⅳc	1	
		E_1-65-80	809	Ⅱ-4トレンチ	Ⅳc	2	
		E_1-65-80	633	ⅡB-2上面	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	243	ⅡB-2	Ⅳc	2	
		E_1-65-80	818	Ⅱ-4トレンチ	Ⅳc	4	15
	図Ⅳ-18-14	ⅡH-10	204	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	図Ⅳ-18-15	ⅡH-10	282	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	147	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	313	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_2-65-10	945	ⅡB-2	Ⅳc	1	4
	図Ⅳ-18-16	E_1-65-80	569	ⅡB-1	Ⅳc	3	
		E_1-65-80	508	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-80	457	ⅡB-2	Ⅳc	3	
		E_1-65-80	608	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	471	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	218	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	222	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	1	
		E_1-65-80	711	ⅡB-2	Ⅳc	1	

遺構番号	図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
		遺構・グリッド	遺物No.				
ⅡH-10	図Ⅳ-18-16	ⅡH-10	217	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	1	
		中央トレンチ	2	ⅡB	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	292	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	139	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	96	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-80	700	ⅡB-2	Ⅳc	2	
		ⅡH-10	76	Ⅱ-1トレンチ	Ⅳc	2	
		E_1-65-80	739	ⅡB-2	Ⅳc	5	
		E_1-65-81	637	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-81	1191	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	1	
		E_1-65-81	725	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-81	695	ⅡB-1	Ⅳc	2	
		E_1-65-81	670	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-81	660	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-81	647	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-81	520	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-81	584	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-80	763	ⅡB-3	Ⅳc	1	
		E_1-65-81	489	ⅡB-1	Ⅳc	2	
		E_1-65-81	486	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-81	440	ⅡB-1	Ⅳc	2	
		E_1-65-81	438	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-80	844	Ⅱ-5トレンチ	Ⅳc	1	
		E_1-65-80	776	ⅡB-3	Ⅳc	6	
		E_1-65-81	823	ⅡB-2	Ⅳc	1	51
	図Ⅳ-19-17	ⅡH-10	193	床	Ⅲb2	1	
	図Ⅳ-19-18	ⅡH-10	435	床直	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-19-19	ⅡH-10	436	床直	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-19-20	ⅡH-10	188	ⅡB-3トレンチ	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-19-21	ⅡH-10	541	ⅡB-1	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-19-22	ⅡH-10	192	床	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-19-23	ⅡH-10	192	床	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-19-24	ⅡH-10	148	ⅡB-3	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-19-25	ⅡH-10	437	壁	Ⅳb	1	
		ⅡH-10	436	床直	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-19-26	ⅡH-11	153	ⅡB-1	Ⅳc	1	2
		ⅡH-10	350	ⅡB-1	Ⅳc	1	
	図Ⅳ-19-27	ⅡH-10	218	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	1	
		E_1-65-81	797	覆土	Ⅳc	1	2
	図Ⅳ-19-28	E_1-65-80	673	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E_1-65-80	646	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	18	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-10	184	ⅡB-2	Ⅳc	1	4
ⅡH-11	図Ⅳ-20-1	不明			Ⅳc	1	
		E_1-65-90	197	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	377	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	1	
		E_1-65-80	414	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-90	196	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E_1-65-90	518	ⅡB-1	Ⅳc	2	
		E_1-65-90	322	ⅡB-1	Ⅳc	2	

遺構番号	図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
		遺構・グリッド	遺物No.				
ⅡH-11	図Ⅳ-20-1	E1-65-90	187	ⅡBトレンチ	Ⅳc	1	
		E1-65-90	524	ⅡB-1	Ⅳc	3	
		E1-65-90	542	ⅡB-1	Ⅳc	6	
		ⅡH-11	78	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E1-65-90	709	ⅡB-3	Ⅳc	5	25
	図Ⅳ-20-2	ⅡH-11	99	ⅡB-1	Ⅳc	2	
		ⅡH-11	345	ⅡB-2	Ⅳc	4	
		ⅡH-11	10	ⅡB-1	Ⅳc	1	7
	図Ⅳ-20-3	中央トレンチ	34	ⅡB	Ⅳc	5	
		中央トレンチ	25	ⅡB	Ⅳc	1	
		E1-65-90	584	ⅡB-2中層	Ⅳc	2	
		E1-65-90	375	ⅡB-1	Ⅳc	4	
		E1-65-90	640	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E1-65-90	472	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E1-65-90	468	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E1-65-90	376	ⅡB-1	Ⅳc	2	
		E1-65-90	17	ⅡB上面	Ⅳc	1	
		E1-65-90	344	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E1-65-90	540	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	344	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	99	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	314	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	212	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	356	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		中央トレンチ	36	ⅡB	Ⅳc	1	26
	図Ⅳ-20-4	ⅡH-11	134	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	75	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	15	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	42	ⅡB-1	Ⅳc	2	
		ⅡH-11	217	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	136	ⅡB-1	Ⅳc	6	
		ⅡH-11	164	ⅡB-1	Ⅳc	2	
		ⅡH-11	133	ⅡB-1	Ⅳc	4	
		E1-65-90	536	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	203	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	101	ⅡB-1	Ⅳc	1	21
	図Ⅳ-20-5	ⅡH-11	340	ⅡB-2	Ⅳc	5	
		ⅡH-11	409	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	444	ⅡB-2	Ⅳc	1	7
	図Ⅳ-20-6	ⅡH-11	264	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	4	
		ⅡH-11	133	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	265	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	1	6
	図Ⅳ-20-7	E1-65-90	187	ⅡBトレンチ	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	409	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	423	ⅡB-2	Ⅳc	4	
		ⅡH-11	341	ⅡB-2	Ⅳc	2	8
	図Ⅳ-20-8	E2-65-12	116	ⅡB-1	Ⅴ	2	
		E2-65-01	435	ⅡB-2	Ⅴ	1	
		ⅡH-11	432	ⅡB-2トレンチ	Ⅴ	2	
		E2-65-01	382	ⅡB-2	Ⅴ	1	

遺構番号	図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
		遺構・グリッド	遺物No.				
ⅡH-11	図Ⅳ-20-8	E2-65-01	413	ⅡB-2	Ⅴ	1	
		E2-65-01	589	ⅡB-1	Ⅴ	1	
		E2-65-11	586	ⅡB-1	Ⅴ	7	
		E2-65-12	338	ⅡB-2	Ⅴ	1	
		不明			Ⅴ	2	18
	図Ⅳ-21-9	E2-65-11		ⅡB-2	Ⅳc	21	
		ⅡH-11	433	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	1	22
	図Ⅳ-21-10	E2-65-10	1107	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	346	ⅡB-2	Ⅳc	2	
		E2-65-10	1111	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E2-65-10	1158	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E2-65-10	1187	ⅡB-2	Ⅳc	4	9
	図Ⅳ-21-11	ⅡH-11	470	ⅡB-3トレンチ	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	408	ⅡB-2	Ⅳc	2	
		ⅡH-11	86	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	403	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E1-65-10	1648	ⅡB-3	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	438	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E1-65-90	314	ⅡB-1	Ⅳc	12	19
	図Ⅳ-21-12	ⅡH-11	456	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	図Ⅳ-21-13	E1-65-81	62	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E1-65-81	1093	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	1	
		E1-65-80	454	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E2-65-01	1363	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E1-65-81	15	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E1-65-80	447	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E1-65-80	399	ⅡB-1	Ⅳc	2	
		E1-65-80	373	ⅡB-1	Ⅳc	2	
		E1-65-81	43	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	454	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	304	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	270	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	1	14
	図Ⅳ-21-14	E2-65-00	1171	ⅡB-2	Ⅳc	3	
		E2-65-00	1027	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E2-65-00	1364	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	27	ⅡB-1	Ⅳc	2	
		E2-65-00	2077	ⅡB-3	Ⅳc	1	8
	図Ⅳ-21-15	ⅡH-10	18	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	265	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	315	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	373	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E1-65-91	259	ⅡB-1	Ⅳc	1	5
	図Ⅳ-21-16	ⅡH-11	320	ⅡB-1トレンチ	Ⅲa	1	
	図Ⅳ-21-17	E1-65-81	853	ⅡB-2	Ⅲb-1	1	
		ⅡH-11	460	ⅡB-3トレンチ	Ⅲb-1	1	
		E1-65-80	639	ⅡB-2	Ⅲb-1	1	3
	図Ⅳ-21-18	ⅡH-11	388	ⅡB-3	Ⅳc	1	
	図Ⅳ-21-19	ⅡH-11	469	ⅡB-3トレンチ	Ⅳb	1	
	図Ⅳ-21-20	ⅡH-11	404	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	図Ⅳ-21-21	E2-65-00	2234	ⅡB-3	Ⅳc	1	

遺構番号	図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
		遺構・グリッド	遺物No.				
ⅡH-11	図Ⅳ-21-21	ⅡH-11	357	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		E1-65-91	1059	ⅡB-2	Ⅳc	1	
		ⅡH-11	343	ⅡB-2	Ⅳc	1	4
	図Ⅳ-21-22	ⅡH-11	473	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	1	
		E1-65-81	1349	ⅡB-3トレンチ	Ⅳc	1	
		E1-65-80	8	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	1	3
	図Ⅳ-22-23	ⅡH-11	198	ⅡB-1	Ⅳc	1	
		E1-65-80	414	ⅡB-1	Ⅳc	1	2
	図Ⅳ-22-24	ⅡH-11	265	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	1	
	図Ⅳ-22-25	ⅡH-11	41	ⅡB-1	Ⅳc	1	
	図Ⅳ-22-26	ⅡH-11	460	ⅡB-2	Va	1	
	図Ⅳ-22-27	ⅡH-11	474	ⅡB-2トレンチ	Va	1	
		E2-65-03	230	ⅡB-1	Va	1	
		E2-65-03	213	ⅡB-1	Va	1	3
	図Ⅳ-22-28	ⅡH-11	281	ⅡB-1トレンチ	Vc	1	
ⅡH-13	図Ⅳ-23-1	ⅡH-13	12	覆土	Va-2	1	
	図Ⅳ-23-2	ⅡH-13	12	覆土	Va-2	1	
	図Ⅳ-23-3	ⅡH-13	12	覆土	Va-2	1	
	図Ⅳ-23-4	ⅡH-13	11	覆土	Va-2	1	
	図Ⅳ-23-5	ⅡH-13	11	覆土	Va-2	1	
	図Ⅳ-23-6	ⅡH-13	11	覆土	Va-2	1	
	図Ⅳ-23-7	ⅡH-13	12	覆土	Va-2	1	
	図Ⅳ-23-8	ⅡH-13	6	覆土	V	1	
	図Ⅳ-23-9	ⅡH-13	3	覆土	V	1	
ⅡP-7	図Ⅳ-25-1	ⅡP-7	6	覆土	ⅡA-2	1	
	図Ⅳ-25-2	ⅡP-7	5	覆土	ⅡA-2	1	
	図Ⅳ-25-3	ⅡP-7	5	覆土	ⅡA-2	1	
	図Ⅳ-25-4	ⅡP-7	5	覆土	ⅡA-2	1	
	図Ⅳ-25-5	ⅡP-7	5	覆土	ⅡA-2	1	
ⅡF-1	図Ⅳ-31-1	ⅡF-1	32	覆土	Ⅳc	39	
	図Ⅳ-31-2	ⅡF-1	34	覆土	Ⅳc	1	
ⅡF-31	図Ⅳ-32-1	ⅡF-31	15	覆土	Ⅳb手稲	1	
		E2-65-00	1729	ⅡB-3	Ⅳb手稲	15	
		E2-65-00	1732	ⅡB-3	Ⅳb手稲	2	
		E2-65-00	1826	ⅡB-3	Ⅳb手稲	1	
		E2-65-00	1883	ⅡB-3	Ⅳb手稲	3	
		E2-65-00	2040	ⅡB-3	Ⅳb手稲	1	
		E2-65-00	2069	ⅡB-3	Ⅳb手稲	2	
		E2-65-00	2070	ⅡB-3	Ⅳb手稲	2	
		E2-65-00	2071	ⅡB-3	Ⅳb手稲	1	
		E2-65-00	2073	ⅡB-3	Ⅳb手稲	1	
		E2-65-00	2304	ⅡB-3	Ⅳb手稲	1	
		E2-65-01	904	ⅡB-3	Ⅳb手稲	1	
		E2-65-01	1461	ⅡB-3	Ⅳb手稲	1	
		E2-65-01	1468	ⅡB-3	Ⅳb手稲	1	
		E2-65-01	1494	ⅡB-3	Ⅳb手稲	1	34
	図Ⅳ-32-2	ⅡF-31	15	覆土	Ⅳc	1	
	図Ⅳ-32-3	ⅡF-31	15	覆土	Ⅳc	1	
	図Ⅳ-32-4	ⅡF-31	16	覆土	V	1	
	図Ⅳ-32-5	ⅡF-31	16	覆土	V	1	

遺構番号	図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
		遺構・グリッド	遺物No.				
ⅡF-32	図Ⅳ-32-1	ⅡF-32	10	覆土	Ⅳc	22	
		E2-65-10	1547	ⅡB-3	Ⅳc	2	
		E2-65-10	1613	ⅡB-3	Ⅳc	2	
		E2-65-10	1619	ⅡB-3	Ⅳc	1	
		E2-65-10	1772	ⅡB-3	Ⅳc	3	
		E2-65-10	1564	ⅡB-3上面	Ⅳc	2	
		未注記			Ⅳc	8	40

表24　遺構掲載石器一覧

遺構番号	図番号	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
IH-1	図Ⅲ-4-15	7	覆土	石鏃	1.95	1.05	0.25	0.1	obs
	図Ⅲ-4-16	22	ベルト	石鏃	2.20	1.55	0.45	1.0	obs
	図Ⅲ-4-17	25	覆土	石鏃	2.75	1.30	0.35	0.8	obs
	図Ⅲ-4-18	16	覆土	ドリル	1.90	1.70	0.77	2.6	Sh
	図Ⅲ-4-19	41	床集中2	スクレイパー	5.90	2.70	1.21	17.6	obs
	図Ⅲ-4-20	38	床集中1	スクレイパー	6.90	4.20	1.08	26.3	obs
	図Ⅲ-4-21	42	床集中2	スクレイパー	5.40	4.55	0.93	18.4	obs
	図Ⅲ-4-22	76	床	スクレイパー	2.90	2.60	1.01	8.6	obs
	図Ⅲ-5-23	29	覆土	石斧	11.25	6.75	4.10	499.8	Gni
	図Ⅲ-5-24	88-15	床	石斧未成品	11.40	6.00	1.80	198.2	Gr-Mud
	図Ⅲ-5-25	87-14	床	石斧未成品	12.05	6.70	2.80	324.5	Gr-Mud
IP-121	図Ⅲ-6-1	2	覆土	石鏃	2.25	1.60	0.35	0.6	obs
IP-125	図Ⅲ-8-7	6	覆土	つまみ付きナイフ	2.60	3.30	0.60	6.8	Qua
	図Ⅲ-8-8	5	覆土	つまみ付きナイフ	3.00	2.35	0.65	7.7	Sh
	図Ⅲ-8-9	7	覆土	スクレイパー	3.70	1.85	0.50	5.4	Qua
	図Ⅲ-8-10	25	覆土	Rフレイク	2.05	2.60	0.40	2.8	Qua
	図Ⅲ-8-11	22	覆土	石斧未成品	6.20	5.00	2.20	137.2	Gr-Mud
	図Ⅲ-8-12	9	覆土	砥石	4.20	4.32	0.50	10.6	Sa
	図Ⅲ-8-13	13	覆土	砥石	2.35	1.15	0.90	3.4	Sa
	図Ⅲ-8-14		覆土	石玉未成品	2.30	1.00	0.78	3.3	Tal
IP-128	図Ⅲ-9-3	15	覆土	石鏃	2.00	0.80	1.30	0.3	obs
	図Ⅲ-9-4	30	覆土	スクレイパー	2.00	1.80	0.70	4.2	Sh
	図Ⅲ-9-5	18	覆土	石斧	4.15	4.61	1.50	34.5	Gr-Mud
	図Ⅲ-9-6	19	覆土	石斧片	7.90	2.68	1.27	35.6	Gr-Mud
IP-129	図Ⅲ-9-3	5	覆土	スクレイパー	3.10	3.05	1.10	12.6	obs
IP-130	図Ⅲ-10-11	93	覆土	石鏃	1.90	1.10	0.33	0.5	obs
	図Ⅲ-10-12	2	覆土	石鏃	2.70	1.30	0.40	1.0	obs
	図Ⅲ-10-13	36	覆土	石鏃	2.10	1.50	0.60	1.1	Sh
	図Ⅲ-10-14	35	覆土	石鏃	2.57	1.40	0.36	1.0	obs
	図Ⅲ-10-15	4	覆土	ドリル	2.68	1.35	0.69	2.1	Sh
	図Ⅲ-10-16	37	覆土	ドリル	1.70	1.93	0.66	1.5	Sh
	図Ⅲ-10-17	4	覆土	ドリル	3.10	2.60	0.70	5.0	Sh
	図Ⅲ-10-18	3	覆土	スクレイパー	2.30	3.05	1.03	2.9	Sh
IP-132	図Ⅲ-12-8	108	覆土	石鏃	1.85	1.40	0.40	0.4	obs
	図Ⅲ-12-9	12	覆土	石鏃	1.50	1.00	0.40	0.5	obs
	図Ⅲ-12-10	110	覆土	石鏃	2.60	1.50	0.30	0.8	obs
	図Ⅲ-12-11	109	覆土	石鏃	1.50	1.10	0.25	0.2	obs
	図Ⅲ-12-12	111	覆土	石鏃	2.00	1.20	0.40	0.6	obs
	図Ⅲ-12-13	32	覆土	石鏃	3.98	1.27	0.43	1.5	obs
	図Ⅲ-12-14	72	ⅡB	ドリル	3.14	1.45	0.73	1.7	Sh
	図Ⅲ-12-15	118	覆土	スクレイパー	5.55	2.95	1.20	15.6	Sh
	図Ⅲ-12-16	55	覆土	楔形石器	1.15	1.67	7.90	1.8	obs
	図Ⅲ-12-17	116	覆土	楔形石器	2.35	1.60	0.80	2.6	obs
	図Ⅲ-12-21		覆土	石玉	0.62	0.72	0.41	0.4	Tal
IP-133	図Ⅲ-11-1	2	覆土	石鏃	1.50	0.90	0.20	0.0	Sh
IP-137	図Ⅲ-13-2	29	覆土	石鏃	2.30	1.60	0.50	1.1	obs
	図Ⅲ-13-3	10	覆土	石鏃	1.86	0.84	0.23	0.2	obs
	図Ⅲ-13-4	10	覆土	石鏃	2.36	1.03	0.42	0.8	obs
	図Ⅲ-13-5	10	覆土	石鏃	2.50	1.45	0.50	1.1	obs
	図Ⅲ-13-6	33	覆土	石鏃	2.22	1.28	0.30	0.6	obs
	図Ⅲ-13-7	29	覆土	石鏃	3.18	1.59	0.36	0.9	obs
	図Ⅲ-13-8	20	覆土	石鏃	3.20	1.55	0.55	1.4	obs

遺構番号	図番号	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
IP-137	図Ⅲ-13-9	12	覆土	ドリル	2.20	1.70	0.48	0.5	Sh
	図Ⅲ-13-10	11	覆土	スクレイパー	4.85	4.73	1.20	17.8	Aga
IP-139	図Ⅲ-14-2	5	覆土	石鏃	2.80	1.50	0.60	1.5	obs
IP-141	図Ⅲ-14-3	2	覆土	石鏃	1.30	0.85	0.40	0.3	obs
IP-142	図Ⅲ-15-5	34	覆土	石鏃	1.65	0.90	0.50	0.4	obs
	図Ⅲ-15-6	29	覆土	スクレイパー	2.90	3.00	0.60	7.3	Sh
	図Ⅲ-15-7	28	覆土	スクレイパー	(2.85)	3.00	0.90	(7.9)	obs
フレイク集中	図Ⅲ-17-1	26	IB下層	石鏃	(1.70)	0.95	0.30	(0.30)	obs
	図Ⅲ-17-2	45・25	IB下層	スクレイパー	11.57	6.60	1.48	108.8	obs
IIH-2	図Ⅳ-7-20	249	トレンチ	石鏃	1.80	1.50	0.30	0.5	obs
	図Ⅳ-7-21	249	トレンチ	石鏃	1.60	1.12	0.35		obs
	図Ⅳ-7-22	249	トレンチ	石鏃	2.10	1.45	0.40	0.7	obs
	図Ⅳ-7-23	249	トレンチ	石鏃	2.40	1.10	0.50	0.7	obs
	図Ⅳ-7-24	53	IIB-1	ポイント又はナイフ	7.90	3.35	0.90	16.0	obs
	図Ⅳ-7-25	53	IIB-1	ポイント又はナイフ	6.50	2.20	0.80	8.9	obs
	図Ⅳ-7-26	26	覆土	ドリル	5.60	2.50	1.40	16.8	Aga
	図Ⅳ-7-27	13	覆土	ドリル	3.20	1.20	0.60	2.6	Aga
	図Ⅳ-7-28	205	覆土	ドリル	3.85	1.50	95.00	4.6	Si-Sh
	図Ⅳ-7-29	319	覆土	つまみ付きナイフ	4.35	3.60	1.00	12.7	Si-Sh
	図Ⅳ-7-30	15	覆土	つまみ付きナイフ	5.30	3.60	1.00	17.2	Aga
	図Ⅳ-7-31	110	床	つまみ付きナイフ	5.20	3.20	0.60	11.9	Si-Sh
	図Ⅳ-7-32	24	覆土	スクレイパー	6.10	6.00	1.00	36.4	obs
	図Ⅳ-7-33	394	床	スクレイパー	(2.40)	2.00	0.70	(3.1)	obs
	図Ⅳ-7-34	98	トレンチ	石斧未成品	(6.30)	(4.40)	(2.00)	(99.7)	Mud
	図Ⅳ-7-35	396	覆土	すり石	9.00	7.40	3.60	438.7	Sa?
	図Ⅳ-7-36	22	覆土	たたき石	4.80	4.85	3.30	149.8	Gni
IIH-5	図Ⅳ-9-9	131	覆土	石鏃	1.65	1.40	0.40	0.5	obs
	図Ⅳ-9-10	126	覆土	石鏃	(2.30)	2.25	0.50	(1.6)	obs
	図Ⅳ-9-11	127	覆土	ポイント	5.90	3.30	0.90	8.9	obs
	図Ⅳ-9-12	16	覆土	スクレイパー	4.70	2.00	0.90	5.2	obs
	図Ⅳ-9-13	102	覆土	スクレイパー	3.75	5.75	1.00	13.5	obs
	図Ⅳ-9-14	5	覆土	北海道式石冠	11.90	10.20	4.20	847.9	And
	図Ⅳ-9-15	1	覆土	石皿	9.10	(8.90)	6.00	(553.5)	Sa
	図Ⅳ-11-11	2	覆土	つまみ付きナイフ	5.40	2.20	0.90	9.4	Si-Sh
	図Ⅳ-11-12	57	覆土	スクレイパー	3.90	3.30	1.00	6.8	obs
	図Ⅳ-11-13	30	覆土	石斧素材	8.18	3.90	1.20	65.9	Sa
IIH-7	図Ⅳ-15-28	62	覆土	石鏃	1.58	2.00	0.50	0.7	obs
	図Ⅳ-15-29	42	覆土	ドリル	2.07	1.09	0.48	0.8	Si-Sh
	図Ⅳ-15-30	36	覆土	スクレイパー	6.70	2.70	1.90	19.2	obs
	図Ⅳ-15-31	不明	覆土	スクレイパー	6.75	2.05	1.70	14.1	Si-Sh
	図Ⅳ-15-32	158	覆土	石斧未成品	7.50	3.40	1.00	39.9	obs
	図Ⅳ-15-33	63	覆土	ポイントナイフ	5.66	2.30	0.83	7.7	obs
	図Ⅳ-15-34	1	覆土	両面加工石器	2.03	1.67	0.78	2.5	Mud
	図Ⅳ-15-35	47	覆土	すり石	8.50	7.00	2.65	226.9	不明
	図Ⅳ-15-36	88	床面	台石	(13.3)	16.00	9.70	(2734.6)	And
	図Ⅲ-15-37	不明		不明	9.48	(5.73)	2.25	146.6	We-Tu
IIH-10	図Ⅳ-19-29	231	IIB-2トレンチ	石鏃	2.70	1.45	0.55	1.5	obs
	図Ⅳ-19-30	164	IIB-2トレンチ	石鏃	2.60	1.40	0.40	(0.9)	obs
	図Ⅳ-19-31	164	IIB-2トレンチ	石鏃	2.75	1.60	0.40	1.3	obs
	図Ⅳ-19-32	231	IIB-2	石鏃	3.50	1.60	0.50	1.8	obs
	図Ⅳ-19-33	326	IIB-1	石斧	5.65	2.20	0.60	9.8	Gr-Mud

遺構番号	図番号	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
ⅡH-10	図Ⅳ-19-34	409	壁	石斧	11.80	4.20	1.90	148.6	Mud
	図Ⅳ-19-35	410	ⅡB-1	石斧素材	9.70	6.10	4.20	330.0	Gr-Mud
	図Ⅳ-19-36	168	ⅡB-2	たたき石	9.90	7.50	3.50	412.4	Gr-Mud
	図Ⅳ-19-37	412	床	石皿	11.60	8.90	4.30	710.7	Gni
ⅡH-11	図Ⅳ-22-29	392	ⅡB-3トレンチ	石鏃	2.25	1.45	0.40	0.7	obs
	図Ⅳ-22-30	392	ⅡB-3トレンチ	石鏃	2.25	1.40	0.50	0.9	obs
	図Ⅳ-22-31	392	ⅡB-3トレンチ	石鏃	2.30	1.40	0.40	0.9	obs
	図Ⅳ-22-32	392	ⅡB-3トレンチ	石鏃	2.20	1.40	0.40	0.9	obs
	図Ⅳ-22-33	392	ⅡB-3トレンチ	石鏃	2.40	1.50	0.50	0.9	obs
	図Ⅳ-22-34	491	ⅡB-1	石鏃	2.73	1.78	0.60	1.7	obs
	図Ⅳ-22-35	424	ⅡB-2トレンチ	石鏃	2.80	1.50	0.40	0.9	obs
	図Ⅳ-22-36	2	ⅡB-1	石鏃	4.60	1.90	0.60	2.6	obs
	図Ⅳ-22-37	337	ⅡB-2	ドリル	(3.80)	3.75	0.90	(9.0)	obs
	図Ⅳ-22-38	390	ⅡB-3	ドリル	5.80	2.45	1.10	6.1	Si-Sh
	図Ⅳ-22-39	411	ⅡB-2トレンチ	つまみ付きナイフ	4.30	2.20	0.50	4.0	obs
	図Ⅳ-22-40	394	ⅡB-3トレンチ	石斧	6.00	3.80	1.50	51.8	Gr-Mud
	図Ⅳ-22-41	326	ⅡB-2	砥石	8.40	6.90	1.70	109.5	Sa
ⅡH-13	図Ⅳ-23-10	17	覆土	石鏃	1.62	1.59	0.37	0.7	obs
	図Ⅳ-23-11	19	覆土	ドリル	2.10	1.30	0.45	0.8	obs
	図Ⅳ-23-12	14	覆土	ドリル	1.92	1.81	0.51	1.2	obs
	図Ⅳ-23-13	15	覆土	石核	3.90	4.40	1.50	15.9	obs
ⅡP-2	図Ⅳ-24-1	47	覆土	石鏃	2.50	1.30	0.45	0.8	obs
	図Ⅳ-24-2	33	覆土	石鏃	2.50	1.40	0.50	1.0	Si-Sh
	図Ⅳ-24-3	47	覆土	石鏃	2.75	1.60	0.30	1.2	obs
	図Ⅳ-24-4	47	覆土	石鏃	2.50	1.35	0.30	0.8	obs
	図Ⅳ-24-5	2	覆土	つまみ付きナイフ	3.65	4.50	0.65	12.9	Si-Sh
	図Ⅳ-24-6	1	覆土	石斧	4.70	3.30	1.10	32.9	Gr-Mud
ⅡP-11	図Ⅳ-25-1	22	ⅡB	石鏃	2.20	1.35	0.40	0.5	obs
	図Ⅳ-25-2	23	ⅡB	石鏃	4.30	1.65	0.40	1.5	obs
	図Ⅳ-25-3	8	層位不明	たたき石	8.20	5.60	4.60	238.6	Sa
TP-3	図Ⅳ-28-1	1	覆土上層	つまみ付きナイフ	6.70	2.55	0.50	11.8	Sh
ⅡF-1	図Ⅳ-31-3	8	覆土	スクレイパー	4.50	3.70	1.10	15.0	obs
	図Ⅳ-31-4	1	覆土上層	石核	2.50	3.60	2.00	15.7	obs
	図Ⅳ-31-5	28	覆土	石皿	(16.40)	(17.50)	(12.00)	(280.0)	And
	図Ⅳ-31-6	27	覆土	すり石	9.30	8.70	5.20	638.0	Gni
ⅡF-3	図Ⅳ-31-1	19	ⅡB-1	スクレイパー	8.40	3.90	1.30	31.7	Ba
	図Ⅳ-31-2	19	ⅡB-1	スクレイパー	5.00	2.40	0.60	7.8	Sh
	図Ⅳ-31-3	20	ⅡB-1	石斧	6.00	3.85	1.40	46.2	Mud
ⅡF-6	図Ⅳ-31-1	1	ⅡB-1	砥石	(8.20)	2.50	1.10	(30.4)	Sa
ⅡF-29	図Ⅳ-32-1	1	焼土中	すり石	9.20	8.70	7.10	759.6	And
	図Ⅳ-32-2	2	焼土中	すり石	9.70	9.00	7.00	871.2	And
	図Ⅳ-32-3	3	焼土中	すり石	10.00	9.40	7.20	894.5	And
	図Ⅳ-32-4	4	焼土中	すり石	9.50	7.80	5.70	654.2	Gni
ⅡF-32	図Ⅳ-32-2	6	ⅡB-2	石鏃	1.70	1.10	0.35	0.3	obs
	図Ⅳ-32-3	6	ⅡB-2	石鏃	2.40	1.30	0.50	1.0	obs
	図Ⅳ-32-4	6	ⅡB-2	石鏃	2.60	1.30	0.50	0.9	obs
	図Ⅳ-32-5	6	ⅡB-2	石鏃	2.30	1.20	0.40	0.7	obs
	図Ⅳ-32-6	6	ⅡB-2	石鏃	2.80	1.40	0.40	1.1	obs
	図Ⅳ-32-7	6	ⅡB-2	石鏃	3.90	1.45	0.50	1.6	obs
ⅡF-33	図Ⅳ-32-1	1	ⅡB-3	両面加工石器	3.35	2.30	1.30	7.5	obs
	図Ⅳ-32-2	2	ⅡB-3	くぼみ石	12.20	6.50	2.30	242.1	不明

表25　遺構掲載製品一覧

遺構番号	図版番号	遺物番号	層　　位	名　　称	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
ⅠH-1	図Ⅲ-5-27	211	覆土	耳栓	(2.10)	(1.40)	(1.00)	(1.5)	—
ⅠP-121	図Ⅲ-6-2		床直	鉄製垂飾	3.30	1.65		4.2	—
ⅠP-125	図Ⅲ-8-14	4	覆土	垂飾未成品	12.05	7.70	6.00	474.2	Per
ⅠP-132	図Ⅲ-12-18	14	覆土	土玉	0.90	0.90	0.80	1.2	—
	図Ⅲ-12-19	122	覆土	土玉	1.50	1.40	3.10	5.9	—
	図Ⅲ-12-20	15	覆土	耳栓	(4.50)	(3.90)	(2.40)	(15.9)	—
	図Ⅲ-12-21	1	覆土	石玉	(0.85)	(0.65)	(0.70)	(0.4)	Per
ⅡH-2	図Ⅳ-7-37	254	トレンチ	耳栓	3.00	3.00	2.40	17.3	—
	図Ⅳ-7-38	145	覆土	耳栓	5.90	6.40	3.50	56.8	—
	図Ⅳ-7-39	334	ⅡB-1	石玉	2.05	1.31	0.80	4.6	Per
ⅡH-7	図Ⅳ-15-37	70	覆土	石製品	8.20	9.40	2.40	146.9	Per
ⅡH-10	図Ⅳ-19-38	52	ⅡB-1トレンチ	土製品	2.41	1.90	1.90	9.3	—

表26　包含層掲載土器一覧

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅲ-20-1	E₁-65-80	19	IB	Vc	45	45
図Ⅲ-20-2	E₂-65-02	3,8	IIB-2	Vc	16	16
図Ⅲ-20-3	E₂-65-02	3	IB	Vc	16	16
図Ⅲ-20-4	E₁-65-81	5	IB-3	Vc	14	
	E₁-65-81	18	IB-4	Vc	2	16
図Ⅲ-20-5	E₂-65-01	50	IB-3	Vc	2	
	E₂-65-01	219	IB	Vc	2	4
図Ⅲ-20-6	E₁-65-92	17	IB-4	Vc	1	1
図Ⅲ-20-7	E₁-65-92	34	IBカクラン	Vc	1	1
図Ⅲ-20-8	E₁-65-82	96	IB-4	Vc	1	1
図Ⅲ-20-9	E₁-65-61	3	IBカクラン	Vc	2	2
図Ⅲ-20-10	E₁-65-61	3	IBカクラン	Vc	1	1
図Ⅲ-20-11	E₂-65-02	13	IB-4	Vc	1	1
図Ⅲ-20-12	E₁-65-91	9	IB-4	Vc	1	
	E₁-65-92	11	IB-3	Vc	1	2
図Ⅲ-20-13	E₁-65-61	3	IBカクラン	Vc	1	1
図Ⅲ-21-14	E₁-65-92	17	IB-4	Vc	1	1
図Ⅲ-21-15	E₁-65-82	103,104	IB-4	Vc	2	2
図Ⅲ-21-16	E₂-65-01	29	IB-3	Vc	2	2
図Ⅲ-21-17	E₁-65-71	3	IB-3	Vc	1	
	E₁-65-71	5	IB-4	Vc	1	
	E₁-65-72	2	IB	Vc	1	3
図Ⅲ-21-18	E₁-65-61	3	IBカクラン	Vc	1	1
図Ⅲ-21-19	E₁-65-83	5	IB	Vc	1	1
図Ⅲ-21-20	E₁-65-63	32	Tac上	Vc	1	1
図Ⅲ-21-21	E₁-65-92	5	IBカクラン	Va	1	1
図Ⅲ-21-22	E₁-65-72	6	IBカクラン	Vc	1	1
図Ⅲ-21-23	E₁-65-51	5	IB-2	Vc	1	1
図Ⅲ-21-24	E₁-65-93	8	IB表採	Vc	2	2
図Ⅲ-21-25	E₁-65-83	5	IB	Vc	1	1
図Ⅲ-21-26	E₁-65-92	11	IB-3	Vc	1	
	E₁-65-92	17	IB-4	Vc	1	2
図Ⅲ-21-27	E₁-65-63	32	Tac上	Vc	2	2
図Ⅲ-21-28	E₂-65-01	89	IB-3	Va	1	1
図Ⅲ-21-29	E₁-65-94	2	IBカクラン	Va	1	1
図Ⅲ-21-30	E₂-65-01	70	IB-3	Va	3	3
図Ⅲ-21-31	E₂-65-11	3	IB-2	Vc	1	1
図Ⅲ-21-32	E₁-65-82	95	IB-4	Vc	1	1
図Ⅲ-21-33	E₁-65-73	16	IBカクラン	Vc	1	1
図Ⅲ-21-34	E₁-65-51	41	Tac上	V	1	1
図Ⅲ-21-35	E₁-65-62	30	IB	Vc	1	1
図Ⅲ-21-36	E₁-65-92	34	IBカクラン	Vc	1	1
図Ⅲ-21-37	E₁-65-93	8	IB表採	Vc	1	1
図Ⅲ-21-38	E₁-65-93	8	IB表採	Vc	1	1
図Ⅲ-21-39	E₁-65-93	8	IB表採	Vc	1	1
図Ⅲ-21-40	E₁-65-93	8	IB表採	Vc	1	1
図Ⅲ-21-41	E₁-65-72	12	IB	Vc	1	1
図Ⅲ-21-42	E₁-65-72	6	IBカクラン	Vc	1	1
図Ⅲ-21-43	E₁-65-82	99	IB-4	Vc	1	1
図Ⅲ-21-44	E₁-65-72	6	IBカクラン	Vc	1	1

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅲ-21-45	E₂-65-10	4	IB-3	Vc	1	1
図Ⅲ-21-46	E₁-65-82	7	IB-3	Vc	2	2
図Ⅲ-22-47	E₂-65-00	9	IB	Vc	1	1
図Ⅲ-22-48	E₁-65-62	30	IB	Vc	1	1
図Ⅲ-22-49	E₁-65-62	56	IB	Vc	1	1
図Ⅲ-22-50	E₁-65-73	16	IBカクラン	Vc	1	1
図Ⅲ-22-51	E₁-65-83	5	IB	Vc	1	1
図Ⅲ-22-52	E₁-65-83	5	IB	Vc	5	5
図Ⅲ-22-53	E₁-65-83	5	IB	Vc	2	
	E₁-65-93	8	IB表採	Vc	2	4
図Ⅲ-22-54	E₂-65-01	18	IB-3	Vc	1	1
図Ⅲ-22-55	E₁-65-51	36	Tac上	Vc	1	1
図Ⅲ-22-56	E₁-65-61	3	IBカクラン	Vc	1	1
図Ⅲ-22-57	E₁-65-63	32	Tac上	Vc	1	1
図Ⅲ-22-58	E₁-65-51	14	IB-3	Vc	1	
	E₁-65-51	22	IB-4	Vc	2	3
図Ⅲ-22-59	E₁-65-73	6	表採	Vc	2	
	E₁-65-81	8	IB-4	Vc	1	3
図Ⅲ-22-60	E₁-65-82	101	IB-4	Vc	1	
	E₁-65-83	5	IB	Vc	1	2
図Ⅲ-22-61	E₁-65-80	20	IB-3	Vc	1	1
図Ⅲ-22-62	E₂-65-00	6	IB-2	Vc	1	1
図Ⅲ-22-63	E₁-65-92	22	IB-5	Vc	1	1
図Ⅲ-22-64	E₁-65-72	12	IB	Vc	3	3
図Ⅲ-22-65	E₁-65-81	18	IB-4	Vc	1	1
図Ⅲ-22-66	E₂-65-01	217	IB-3	Vc	1	1
図Ⅲ-22-67	E₁-65-72	3	IB	Ⅵ	1	1

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-33-1	E_2-65-01	198	ⅠB-1	Ⅳb	2	2
図Ⅳ-33-2	E_2-65-00	551,558,621	ⅡB-1	Ⅳc	16	16
図Ⅳ-33-3	E_1-65-90	315,815	ⅡB-1	Ⅳc	13	
	E_2-65-10	1022	ⅡB-2	Ⅳc	2	15
図Ⅳ-33-4	E_2-65-00	146,682	ⅡB-1	Ⅳc	32	32
図Ⅳ-33-5	E_2-65-10	217,299	ⅡB-1	Ⅳc	5	
	E_2-65-11	810	ⅡB-2	Ⅳc	1	6
図Ⅳ-33-6	E_1-65-81	346,407,506 509,536,569	ⅡB-1	Ⅳc	10	
	E_1-65-81	917	ⅡB	Ⅳc	1	11
図Ⅳ-33-7	E_1-65-91	465,472,520 686,742,746	ⅡB-1	Ⅳc	7	7
図Ⅳ-33-8	E_2-65-00	808,817,870 882,952	ⅡB-1	Ⅳc	15	15
図Ⅳ-34-9	E_1-65-91	728	ⅡB-1	Ⅳc	3	
	E_1-65-91	105	ⅡB中央トレンチ	Ⅳc	1	4
図Ⅳ-34-10	E_2-65-00	233,436	ⅡB-1	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-34-11	E_1-65-91	233,258,684	ⅡB-1	Ⅳc	5	5
図Ⅳ-34-12	E_2-65-91	500	ⅡB-1	Ⅳc	6	6
図Ⅳ-34-13	E_1-65-90	386	ⅡB-1	Ⅳc	1	
	E_1-65-91	400,438,457 511	ⅡB-1	Ⅳc	7	8
図Ⅳ-34-14	E_2-65-00	181,351,389 656,673 1084,1102	ⅡB-1	Ⅳc	8	
	E_2-65-00	1161,1254	ⅡB-2	Ⅳc	2	
	E_2-65-01	920	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	E_2-65-10	1248	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	不明				1	13
図Ⅳ-34-15	E_2-65-00	435,491	ⅡB-1	Ⅳc	6	6
図Ⅳ-34-16	E_1-65-80	404,587	ⅡB-1	Ⅳc	3	
	E_1-65-81	113,509	ⅡB-1	Ⅳc	2	
	E_1-65-81	1111,1148	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	3	8
図Ⅳ-34-17	E_1-65-81	520,560,562 569,570,680 694,775	ⅡB-1	Ⅳc	17	
	E_1-65-81	886,927	ⅡB-2	Ⅳc	2	19
図Ⅳ-34-18	E_2-65-02	47,51,155 177,415,421 422,438,462	ⅡB-1	Ⅳc	23	
	E_2-65-12	141	ⅡB-1	Ⅳc	2	
	E_2-65-12	414,438	ⅡB-2	Ⅳc	4	
	E_2-65-13	138	ⅡB-1	Ⅳc	1	
	不明	321	ⅡB-2		2	32
図Ⅳ-34-19	E_1-65-91	472,520,618 653,697,705 745,746	ⅡB-1	V	13	
	E_1-65-91	1012,1013	ⅡB-2	V	8	21
図Ⅳ-35-20	E_2-65-11	300,309,413 443,460,484 543,546,548 557,587	ⅡB-1	V	69	
	E_2-65-11	874,876	ⅡB-2	V	4	73
図Ⅳ-35-21	E_2-65-02	458	ⅡB-2	V	1	
	E_2-65-03	5,83,99,134 147,198,223 251	ⅡB-1	V	10	
	E_2-65-03	291	ⅡB-2	V	1	
	E_2-65-03	608	盛土	V	1	13
図Ⅳ-35-22	E_2-65-01	129,162,985 1009,1085	ⅡB-1	V	5	
	E_2-65-01	851,1302	ⅡB-2	V	2	

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-35-22	E_2-65-02	32,94,153 221,272	ⅡB-1	V	5	
	E_2-65-02	525,631	ⅡB-2	V	2	
	E_2-65-03	147	ⅡB-1	V	1	
	E_2-65-12	116	ⅡB-2	V	3	
	E_2-65-12	261	ⅡB-1	V	1	19
図Ⅳ-35-23	E_1-65-81	1080	ⅡB-1トレンチ	V	10	10
図Ⅳ-35-24	E_2-65-00	789,859,864 875,1159	ⅡB-1	V	10	10
図Ⅳ-35-25	E_2-65-01	60,92,93 101,162,200 212,432	ⅡB-1	V	10	
	E_2-65-02	197	ⅡB-1	V	1	
	E_2-65-03	251	ⅡB-1	V	1	
	E_2-65-11	664	ⅡB-1	V	1	
	E_2-65-13	233	ⅡB-2	V	1	
	不明				3	17
図Ⅳ-35-26	E_2-65-00	713	ⅡB-1	V	6	
	E_2-65-11	975	ⅡB-2	V	3	9
図Ⅳ-35-27	E_2-65-02	72,78,84,94 124,159,185 272	ⅡB-1	V	13	
	E_2-65-02	511,544,650 682,737,785 799,809	ⅡB-2	V	12	25
図Ⅳ-35-28	E_2-65-01	49	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-35-29	E_1-65-80	473	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-35-30	E_2-65-01	104	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-35-31	E_2-65-01	497	ⅡB-1	Ⅳc	5	
	E_2-65-01	724,750	ⅡB-2	Ⅳc	3	8
図Ⅳ-36-32	E_1-65-90	212	ⅡB-1	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-36-33	E_1-65-80	542	ⅡB-1	Ⅳc	1	
	E_1-65-81	111,176 1493	ⅡB-1	Ⅳc	3	
	E_1-65-81	821	ⅡB-2	Ⅳc	1	5
図Ⅳ-36-34	E_2-65-10	220,252,256	ⅡB-1	Ⅳc	7	7
図Ⅳ-36-35	E_2-65-00	115	ⅡB-1	Ⅳc	1	
	E_2-65-01	72,89,132 165,202,240 978	ⅡB-1	Ⅳc	9	
	E_2-65-01	303,693	ⅡB-2	Ⅳc	2	12
図Ⅳ-36-36	E_1-65-91	369,483,616 727	ⅡB-1	Ⅳc	5	5
図Ⅳ-36-37	E_2-65-02	171	ⅡB-1	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-36-38	E_2-65-00	1117	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-36-39	E_2-65-11	459	ⅡB-1	Ⅳc	4	4
図Ⅳ-36-40	E_2-65-00	41,234	ⅡB-1	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-36-41	E_2-65-11	348	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-36-42	E_1-65-90	387,448	ⅡB-1	Ⅳc	15	
	不明				1	16
図Ⅳ-36-43	E_2-65-00	77,99,144 300,846	ⅡB-1	Ⅳc	5	
	E_2-65-01	116,1094	ⅡB-1	Ⅳc	2	
	E_2-65-10	639	ⅡB-2	Ⅳc	1	8
図Ⅳ-36-44	E_2-65-00	275,739,798 872	ⅡB-1	V	9	9
図Ⅳ-36-45	E_2-65-01	127,150,154	ⅡB-1	V	5	5
図Ⅳ-36-46	E_2-65-10	244,321,328	ⅡB-1	V	5	
	E_2-65-10	590	ⅡB-2	V	1	
	E_2-65-11	232	ⅡB	V	1	7

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-36-47	E_2-65-01	200	ⅡB-1	V	1	
	E_2-65-02	903	ⅡB-2	V	1	
	E_2-65-11	138,400,438	ⅡB-1	V	4	
	E_2-65-11	188	Ⅱ-3	V	1	
	E_2-65-11	699	ⅡB-2	V	1	8
図Ⅳ-36-48	E_2-65-11	345	ⅡB-1	Va	2	
	E_2-65-13	89	ⅡB-1	Va	1	3
図Ⅳ-36-49	E_2-65-11	409	ⅡB-1	V	3	3
図Ⅳ-36-50	E_2-65-00	159,790	ⅡB-1	V	3	3
図Ⅳ-36-51	E_1-65-81	1488	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-36-52	E_1-65-81	527	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-36-53	E_2-65-00	896	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-36-54	E_1-65-81	1172	ⅡB-1トレンチ	V	1	1
図Ⅳ-36-55	E_2-65-10	169	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-36-56	E_1-65-81	162	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-36-57	E_2-65-12	306	ⅡB	V	1	1
図Ⅳ-36-58	E_2-65-04	15	ⅡB-1	V	6	6
図Ⅳ-37-59	E_2-65-14	272	ⅡB	Ⅱa-2	1	1
図Ⅳ-37-60	E_2-65-02	1	ⅡB	Ⅲb-1	1	1
図Ⅳ-37-61	E_2-65-04	178	ⅡB-1	Ⅳa	1	1
図Ⅳ-37-62	E_2-65-10	1904	ⅡB-1	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-37-63	E_1-65-81	677	ⅡB-1	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-37-64	E_1-65-90	236	ⅡB-1	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-37-65	E_1-65-90	721	ⅡB-1	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-37-66	E_2-65-03	340	ⅡB-1	Ⅳb	2	2
図Ⅳ-37-67	E_2-65-01	1594	ⅡB-1	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-37-68	E_1-65-90	722	ⅡB-1	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-37-69	E_1-65-91	431	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-37-70	E_1-65-90	388	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-37-71	E_2-65-10	1382	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-37-72	E_1-65-90	301,337	ⅡB-1	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-37-73	E_2-65-00	424	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-37-74	E_2-65-00	688	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-37-75	E_1-65-90	17	ⅡB	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-37-76	E_2-65-10	38	ⅡB-3	Ⅳc	1	
	E_2-65-10	231	ⅡB-1	Ⅳc	1	2
図Ⅳ-37-77	E_2-65-00	272	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-37-78	E_2-65-00	40	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-37-79	E_1-65-81	111	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-37-80	E_1-65-81	437,457,1491	ⅡB-1	Ⅳc	4	4
図Ⅳ-37-81	E_2-65-01	1595,1596 1597	ⅡB-1	Ⅳc	3	3
図Ⅳ-37-82	E_2-65-02	62	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-37-83	E_2-65-00	2342	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-37-84	E_2-65-11	1284	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-37-85	E_1-65-91	1677,1678	ⅡB-1	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-37-86	E_1-65-81	1492	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-37-87	E_2-65-00	2343	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-37-88	E_1-65-80	933	ⅡB-1	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-38-89	E_2-65-11	572,610	ⅡB-1	V	2	2
図Ⅳ-38-90	E_1-65-81	283	ⅡB-1	V	1	1

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-38-91	E_2-65-10	169	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-38-92	E_2-65-11	1285	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-38-93	E_2-65-11	412	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-38-94	E_1-65-81	1142	ⅡB-1トレンチ	V	1	
	E_2-65-02	147	ⅡB-1	V	1	2
図Ⅳ-38-95	E_2-65-13	218	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-38-96	E_2-65-10	224	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-38-97	E_2-65-10	380	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-38-98	E_2-65-10	321	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-38-99	E_2-65-10	224	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-38-100	E_1-65-81	1114	Ⅱ-1トレンチ	V	1	1
図Ⅳ-38-101	E_2-65-00	2345	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-38-102	E_2-65-04	210	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-38-103	E_2-65-14	140	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-38-104	E_2-65-12	139	ⅡB-1	V	3	3
図Ⅳ-38-105	E_2-65-00	238,258,340 2346	ⅡB-1	V	5	5
図Ⅳ-38-106	E_2-65-11	340	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-38-107	E_2-65-11	528	ⅡB-1	V	3	3
図Ⅳ-38-108	E_2-65-12	154,908	ⅡB-1	V	3	3
図Ⅳ-38-109	E_1-65-81	1495	Ⅱ-1トレンチ	V	2	
	E_2-65-11	470	ⅡB-1	V	1	3
図Ⅳ-38-110	E_1-65-80	116	ⅡB-1トレンチ	V	1	
	E_1-65-81	1183	ⅡB-2トレンチ	V	1	2
図Ⅳ-38-111	E_2-65-03	155	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-38-112	E_1-65-91	362,455	ⅡB-1	V	3	
	E_2-65-02	480	ⅡB-1	V	1	4
図Ⅳ-38-113	E_1-65-81	1053	Ⅱ-1トレンチ	V	1	1
図Ⅳ-38-114	E_2-65-12	139	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-38-115	E_2-65-13	218	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-38-116	E_2-65-12	65	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-38-117	E_2-65-03	54	ⅡB-1	V	2	2
図Ⅳ-38-118	E_2-65-04	58	ⅡB-1	V	2	2
図Ⅳ-38-119	E_2-65-03	203	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-38-120	E_1-65-81	1079	Ⅱ-1トレンチ	V	1	1
図Ⅳ-38-121	E_2-65-14	140	ⅡB-1	V	1	1
図Ⅳ-38-122	E_1-65-81	990	ⅡBトレンチ	Vb	1	1
図Ⅳ-38-123	E_1-65-81	1056	Ⅱ-1トレンチ	Vb	1	1
図Ⅳ-38-124	E_1-65-81	1092,1095 1097	Ⅱ-1トレンチ	V	3	
	E_1-65-81	1099	ⅡB-1トレンチ	V	1	4
図Ⅳ-38-125	E_2-65-01	1099	ⅡB-1	V	2	2
図Ⅳ-38-126	E_1-65-91	231,259,291	ⅡB-1	V	4	4
図Ⅳ-39-127	E_2-65-14	275	ⅡB-1	Vc	1	1
図Ⅳ-39-128	E_1-65-81	1485	ⅡB-1	Vc	1	1
図Ⅳ-39-129	E_2-65-02	386	ⅡB-1	Vc	1	1
図Ⅳ-39-130	E_1-65-91	1673	ⅡB-1	Vc	2	2
図Ⅳ-39-131	E_2-65-02	390	ⅡB-1	Vc	1	1
図Ⅳ-39-132	E_2-65-13	376	ⅡB-1	Vc	1	1
図Ⅳ-39-133	E_2-65-01	1593	ⅡB-1	Vc	1	1
図Ⅳ-39-134	E_2-65-11	545,586	ⅡB-1	Vc	2	
	E_2-65-12	604	ⅡB-2	Vc	1	

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-39-134	E_2-65-13	377	ⅡB-1	Vc	1	4
図Ⅳ-39-135	E_2-65-03	618	ⅡB-1	Vc	1	1
図Ⅳ-39-136	E_2-65-10	1902	ⅡB-1	Vc	1	1
図Ⅳ-39-137	E_1-65-81	277	ⅡB-1	Vc	3	
	不明				1	4
図Ⅳ-39-138	E_1-65-81	460	ⅡB-1	Vc	1	1
図Ⅳ-39-139	E_2-65-12	906	ⅡB-1	Va	1	1
図Ⅳ-39-140	E_2-65-10	322	ⅡB-1	Vc	1	1
図Ⅳ-39-141	E_2-65-04	18	ⅡB-1	Vc	3	3
図Ⅳ-39-142	E_2-65-14	109	ⅡB-1	Vc	1	1
図Ⅳ-39-143	E_2-65-04	31,67,89 110,115,511 512	ⅡB-1	Vc	7	7
図Ⅳ-39-144	E_1-65-83	237	ⅡB-1	Vc	6	6
図Ⅳ-39-145	E_1-65-80	331,929,930 931,932	ⅡB-1	Vc	5	5
図Ⅳ-39-146	E_2-65-10	172,1903	ⅡB-1	Vc	2	2
図Ⅳ-39-147	E_2-65-14	274	ⅡB-1	Vc	1	1
図Ⅳ-39-148	E_2-65-03	5	ⅡB	Vc	1	1
図Ⅳ-39-149	E_2-65-02	127	ⅡB-1	Vc	1	1
図Ⅳ-39-150	E_1-65-83	236	ⅡB-1	Vc	3	
	E_2-65-04	67,513	ⅡB-1	Vc	2	5

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-49-1	E_2-65-03	87	ⅡB-1	Ⅳb	1	
	E_2-65-03	363	ⅡB-3	Ⅳb	3	
	E_2-65-04	361	ⅡB-2	Ⅳb	12	16
図Ⅳ-49-2	E_2-65-03	363	ⅡB-3	Ⅳb	1	
	E_2-65-04	349,352	ⅡB-2	Ⅳb	4	5
図Ⅳ-49-3	E_2-65-04	359	ⅡB-2	Ⅳb	27	27
図Ⅳ-49-4	E_2-65-10	1469	ⅡB-2	Ⅳc	9	9
図Ⅳ-49-5	E_2-65-00	1331,1381	ⅡB-2	Ⅳc	7	
	E_2-65-10	1659,1775	ⅡB-3	Ⅳc	2	9
図Ⅳ-49-6	E_2-65-10	1386,1388 1482,1529	ⅡB-2	Ⅳc	23	23
図Ⅳ-49-7	E_2-65-10	1380,1382 1388,1422 1424,1471	ⅡB-2	Ⅳc	19	
	E_2-65-10	1695,1710 1717	ⅡB-3	Ⅳc	4	23
図Ⅳ-49-8	E_1-65-80	213,214	ⅡB-3トレンチ	Ⅳc	4	
	E_1-65-80	809,811 812,817	Ⅱ-4トレンチ	Ⅳc	42	46
図Ⅳ-50-9	E_1-65-90	102	Ⅱ-4トレンチ	Ⅳc	1	
	E_1-65-90	157	Ⅱ-6トレンチ	Ⅳc	2	
	E_1-65-90	499,500	ⅡB-1	Ⅳc	3	
	E_1-65-90	608,631,632 636,639,641 651,662	ⅡB-2	Ⅳc	57	
	E_2-65-00	2007,2188 2228	ⅡB-3	Ⅳc	4	
	不明				1	68
図Ⅳ-50-10	E_1-65-90	144	Ⅱ-5トレンチ	Ⅳc	1	
	E_1-65-90	155	Ⅱ-6トレンチ	Ⅳc	1	
	E_1-65-90	367	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	1	
	E_1-65-90	603	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	E_2-65-00	1367,1558 1561	ⅡB-2	Ⅳc	4	
	E_2-65-00	2227	ⅡB-3	Ⅳc	2	
	E_2-65-10	126	Ⅱ-9トレンチ	Ⅳc	1	
	E_2-65-10	1495,1533	ⅡB-2	Ⅳc	2	
	E_2-65-10	1625	ⅡB-3	Ⅳc	1	
	E_2-65-11	1097,1098	ⅡB-2	Ⅳc	4	
	E_2-65-11	1264	ⅡB-3	Ⅳc	1	
	不明				1	20
図Ⅳ-50-11	E_1-65-90	101	Ⅱ-4トレンチ	Ⅳc	2	
	E_1-65-90	157	Ⅱ-6トレンチ	Ⅳc	1	
	E_1-65-90	425,488,489 490	ⅡB-1	Ⅳc	7	
	E_1-65-90	588,608,634 641	ⅡB-2	Ⅳc	12	22
図Ⅳ-50-12	E_1-65-90	595,596	ⅡB-2	Ⅳc	104	104
図Ⅳ-50-13	E_2-65-10	957,958,1189 1264,1409,1482 1529,1530	ⅡB-2	Ⅳc	15	
	E_2-65-10	1596,1684	ⅡB-3	Ⅳc	10	
	未注記				2	
	不明				1	28
図Ⅳ-50-14	E_2-65-10	826,828,836 842,861,1256 1320	ⅡB-2	Ⅳc	20	20
図Ⅳ-51-15	E_1-65-90	381,447	ⅡB-1	Ⅳc	12	
	E_1-65-90	567,576,582	ⅡB	Ⅳc	46	58
図Ⅳ-51-16	E_2-65-10	1474	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-51-17	E_2-65-10	1081	ⅡB-2	Ⅳc	1	1

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-51-18	E_2-65-11	1028,1155	ⅡB-2	Ⅳc	7	7
図Ⅳ-51-19	E_2-65-10	1106,1256 1285,1312	ⅡB-2	Ⅳc	30	30
図Ⅳ-51-20	E_2-65-00	537	ⅡB-1	Ⅳc	1	
	E_2-65-00	1321,1328 1356,1367 1383	ⅡB-2	Ⅳc	20	21
図Ⅳ-51-21	E_1-65-80	542,581	ⅡB-1	Ⅳc	3	
	E_1-65-80	701,702,709 710,712	ⅡB-2	Ⅳc	11	14
図Ⅳ-51-22	E_1-65-91	1108	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	E_2-65-00	1230,1349 1366,1379 1383,1633	ⅡB-2	Ⅳc	15	16
図Ⅳ-51-23	E_2-65-00	300,706,818	ⅡB-1	Ⅳc	5	
	E_2-65-00	1176,1203 1204,1236 1243,1244 1252,1286 1289,1299 1390	ⅡB-2	Ⅳc	13	18
図Ⅳ-52-24	E_1-65-91	1137,1187	ⅡB-2	Ⅳc	3	3
図Ⅳ-52-25	E_1-65-80	325	ⅡB-2	Ⅳc	41	41
図Ⅳ-52-26	E_2-65-10	1284	ⅡB-2	Ⅳc	12	12
図Ⅳ-52-27	E_2-65-01	641,1590	ⅡB-2	Ⅳc	41	
	未注記				2	43
図Ⅳ-52-28	E_2-65-01	1167	ⅡB-2	Ⅳc	13	13
図Ⅳ-52-29	E_2-65-00	329,574	ⅡB-1	Ⅳc	4	
	E_2-65-01	621,738,749 767,778,781 815,870,871 1242,1250 1349,1582 1583	ⅡB-2	Ⅳc	23	27
図Ⅳ-53-30	E_2-65-10	1097,1147 1155,1315 1341,1355	ⅡB-2	Ⅳc	14	14
図Ⅳ-53-31	E_2-65-10	1105,1321 1333,1472 1512	ⅡB-2	Ⅳc	11	11
図Ⅳ-53-32	E_1-65-94	16	カクラン	Ⅳc	1	
	E_2-65-00	2017,2053	ⅡB-3	Ⅳc	2	
	E_2-65-10	1473	ⅡB-2	Ⅳc	10	13
図Ⅳ-53-33	E_1-65-90	121	Ⅱ-5トレンチ	Ⅳc	5	
	E_1-65-90	425	ⅡB-1	Ⅳc	2	
	E_1-65-90	632,649	ⅡB-2	Ⅳc	2	
	E_1-65-91	25	ⅡB-1	Ⅳc	1	10
図Ⅳ-53-34	E_2-65-10	720,771,822 1277	ⅡB-2	Ⅳc	15	15
図Ⅳ-53-35	E_2-65-10	901,1022 1380	ⅡB-2	Ⅳc	9	
	E_2-65-10	1655,1693	ⅡB-3	Ⅳc	6	15
図Ⅳ-53-36	E_2-65-10	1387	ⅡB-2	Ⅳc	18	18
図Ⅳ-53-37	E_1-65-90	300,487,488 498,500	ⅡB-1	Ⅳc	9	
	E_1-65-90	627,631,633 634,648,651	ⅡB-2	Ⅳc	11	
	未注記				2	22
図Ⅳ-53-38	E_2-65-12	114	ⅡB-1	Ⅳc	1	
	E_2-65-12	583,621,624 630,646	ⅡB-2	Ⅳc	19	20
図Ⅳ-53-39	E_1-65-90	661,663	ⅡB-2	Ⅳc	19	19
図Ⅳ-53-40	E_2-65-10	1075,1077 1096,1104 1107,1133 1134,1140 1169,1238 1315,1320 1331,1348 1397,1398 1411	ⅡB-2	Ⅳc	43	43
図Ⅳ-54-41	E_2-65-10	1470	ⅡB-2	Ⅳc	9	9

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-54-42	E_2-65-10	815,832,838	ⅡB-2	Ⅳc	40	40
図Ⅳ-54-43	E_2-65-10	753,768,829	ⅡB-2	Ⅳc	17	17
図Ⅳ-54-44	E_1-65-90	350	ⅡB-1	Ⅳc	3	
	E_2-65-00	1438	ⅡB-2	Ⅳc	6	9
図Ⅳ-54-45	E_1-65-90	17	ⅡB	Ⅳc	5	
	E_1-65-90	101	Ⅱ-4トレンチ	Ⅳc	3	
	E_1-65-90	121,144	Ⅱ-5トレンチ	Ⅳc	3	
	E_1-65-90	157	Ⅱ-6トレンチ	Ⅳc	1	
	E_1-65-90	374,470	ⅡB-1	Ⅳc	7	
	E_1-65-90	628,630,639 662	ⅡB-2	Ⅳc	6	25
図Ⅳ-54-46	E_2-65-10	610,644,656 657,683,697	ⅡB-2	Ⅳc	36	36
図Ⅳ-54-47	E_2-65-00	1137,1144 1350,1360 1372,1373 1409,1495	ⅡB-2	Ⅳc	26	
	未注記				1	27
図Ⅳ-54-48	E_2-65-11	972,980,1032	ⅡB-2	Ⅳc	25	25
図Ⅳ-54-49	E_2-65-11	881	ⅡB-2	Ⅳc	37	37
図Ⅳ-55-50	E_2-65-00	694	ⅡB-1	Ⅳc	2	
	E_2-65-00	1207,1247 1253,1254 1285,1298 1357,1376	ⅡB-2	Ⅳc	8	10
図Ⅳ-55-51	E_2-65-00	1538	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	E_2-65-01	870	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	E_2-65-10	909	ⅡB-2	Ⅳc	6	
	E_2-65-11	34	ⅡB-3	Ⅳc	1	
	E_2-65-11	1029	ⅡB-2	Ⅳc	1	10
図Ⅳ-55-52	E_2-65-01	458,486 1161,1164	ⅡB-2	Ⅳc	8	
	E_2-65-02	555,583,663 682,684	ⅡB-2	Ⅳc	6	14
図Ⅳ-55-53	E_2-65-00	1425,1431 1452,1453 1456,1509	ⅡB-2	Ⅳc	15	15
図Ⅳ-55-54	E_2-65-10	830,840,980	ⅡB-2	Ⅳc	9	
	E_2-65-10	1613	ⅡB-3	Ⅳc	4	13
図Ⅳ-55-55	E_2-65-00	1163,1226 1389	ⅡB-2	Ⅳc	8	8
図Ⅳ-55-56	E_2-65-10	1278,1299	ⅡB-2	Ⅳc	6	6
図Ⅳ-55-57	E_2-65-12	681	ⅡB-2	Ⅳc	4	4
図Ⅳ-55-58	E_2-65-00	1153,1399	ⅡB-2	Ⅳc	5	5
図Ⅳ-55-59	E_2-65-01	1129,1301	ⅡB-2	Ⅳc	8	
	E_2-65-11	588	ⅡB-1	Ⅳc	1	9
図Ⅳ-55-60	E_1-65-91	59	ⅡBトレンチ	Ⅳc	2	
	E_1-65-91	1390	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	Cトレ〔2〕	137	ⅡB	Ⅳc	1	4
図Ⅳ-55-61	E_1-65-81	1098	Ⅱ-1トレンチ	Ⅳc	2	
	E_1-65-81	1164	ⅡB-1トレンチ	Ⅳc	3	
	E_1-65-81	1204,1212	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	2	
	E_1-65-91	1107	ⅡB-2	Ⅳc	1	8
図Ⅳ-55-62	E_2-65-10	1034,1043 1054	ⅡB-2	Ⅳc	5	5
図Ⅳ-55-63	E_2-65-01	316	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	E_2-65-12	426,680	ⅡB-2	Ⅳc	15	16
図Ⅳ-55-64	E_2-65-01	357,358,439 441	ⅡB-2	Ⅳc	13	13
図Ⅳ-55-65	E_2-65-11	768	ⅡB-2	Ⅳc	14	14
図Ⅳ-56-66	E_2-65-00	1225,1415	ⅡB-2	Ⅳc	3	
	E_2-65-01	523	ⅡB-3	Ⅳc	1	

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-56-66	E_2-65-01	667	ⅡB-1	Ⅳc	1	
	E_2-65-01	1353	ⅡB-2	Ⅳc	4	9
図Ⅳ-56-67	E_2-65-14	25,39	ⅡB-1	Ⅳc	2	
	E_2-65-14	225	ⅡB-2	Ⅳc	9	11
図Ⅳ-56-68	E_2-65-00	1175,1219 1288,1324 1354,1395	ⅡB-2	Ⅳc	15	15
図Ⅳ-56-69	E_2-65-01	346,392,452 627,697,700 736,770,798 907	ⅡB-2	Ⅳc	16	
	E_2-65-01	1461	ⅡB-3	Ⅳc	1	
	E_2-65-02	481	ⅡB-1	Ⅳc	1	
	E_2-65-10	553	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	E_2-65-10	不明			1	
	不明				3	23
図Ⅳ-56-70	E_2-65-10	918,963 1080,1377 1407,1487	ⅡB-2	Ⅳc	9	9
図Ⅳ-56-71	E_2-65-10	669,1100 1135,1286 1289,1316 1334	ⅡB-2	Ⅳc	14	14
図Ⅳ-56-72	E_2-65-02	556,567,671	ⅡB-2	Ⅴ	3	
	E_2-65-12	349,529	ⅡB-2	Ⅴ	9	12
図Ⅳ-56-73	E_2-65-01	672,701,705 706,708,718 1276	ⅡB-2	Ⅳc	12	12
図Ⅳ-56-74	E_2-65-11	1075	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-56-75	E_2-65-00	1593	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-56-76	E_2-65-10	274	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-56-77	E_1-65-90	638	ⅡB-2	Ⅳc	3	3
図Ⅳ-56-78	E_2-65-01	618	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-56-79	E_1-65-90	144	Ⅱ-5トレンチ	Ⅳc	10	10
図Ⅳ-57-80	E_2-65-01	1193	ⅡB-2	Ⅴ	4	
	E_2-65-10	389	ⅡB-1	Ⅴ	2	
	E_2-65-10	605,608,610 644,697,705 1023,1024 1029,1036 1048,1248	ⅡB-2	Ⅴ	35	
	E_2-65-10	1848	トレンチ	Ⅴ	3	44
図Ⅳ-57-81	E_2-65-01	127	ⅡB-1	Ⅴ	1	
	E_2-65-10	219,224,254	ⅡB-1	Ⅴ	5	
	E_2-65-10	481,514	ⅡB-2	Ⅴ	4	
	E_2-65-11	412	ⅡB-1	Ⅴ	1	
	E_2-65-11	699,778	ⅡB-2	Ⅴ	6	17
図Ⅳ-57-82	E_2-65-01	312,1123 1133,1306 1308	ⅡB-2	Ⅴ	12	12
図Ⅳ-57-83	E_1-65-91	472,477,609 618,626,735 743	ⅡB-1	Ⅴ	10	
	E_1-65-91	159,163,975 978,1012 1014,1083	ⅡB-2	Ⅴ	17	
	E_2-65-11	472	ⅡB-1	Ⅴ	1	28
図Ⅳ-57-84	E_2-65-12	112	ⅡB-1	Ⅴ	1	
	E_2-65-12	620,622,628	ⅡB-2	Ⅴ	4	
	E_2-65-12	868	ⅡB-2トレンチ	Ⅴ	3	8
図Ⅳ-57-85	E_2-65-01	317,1193	ⅡB-2	Ⅴ	3	
	E_2-65-10	225,305,339 394,395,436	ⅡB-1	Ⅴ	7	

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-57-85	E_2-65-10	503,521,524 608,690 1029,1051	ⅡB-2	Ⅴ	7	
	E_2-65-11	413	ⅡB-2	Ⅴ	1	
	不明				1	19
図Ⅳ-57-86	E_1-65-91	26	ⅡB-中央トレンチ	Ⅴ	2	
	E_1-65-91	511,743	ⅡB-1	Ⅴ	3	
	E_1-65-91	1313,1396	ⅡB-2	Ⅴ	2	
	E_1-65-91	1470	ⅡB-3	Ⅴ	1	
	E_2-65-01	581	ⅡB-2	Ⅴ	1	9
図Ⅳ-57-87	E_2-65-01	329,392,393 441,452	ⅡB-2	Ⅴ	11	
	E_2-65-11	457	ⅡB-1	Ⅴ	1	
	E_2-65-11	706	ⅡB-2	Ⅴ	1	
	E_2-65-12	225,340,458 477	ⅡB-2	Ⅴ	4	17
図Ⅳ-57-88	E_2-65-02	456	ⅡB-1	Ⅴc	1	
	E_2-65-02	661,664,791 794,872,877	ⅡB-2	Ⅴc	6	7
図Ⅳ-57-89	E_2-65-01	58,597,617	ⅡB-2	Ⅴ	4	
	E_2-65-01	1026	ⅡB-1	Ⅴ	5	
	E_2-65-02	148,195	ⅡB-1	Ⅴ	2	
	E_2-65-02	774,775,785 844,934,983 1004	ⅡB-2	Ⅴ	9	20
図Ⅳ-57-90	E_2-65-01	71,166	ⅡB-1	Ⅴ	2	
	E_2-65-01	1382,1398	ⅡB-2	Ⅴ	12	14
図Ⅳ-58-91	E_2-65-13	228	ⅡB-2	Ⅳb	2	2
図Ⅳ-58-92	E_2-65-00	630	ⅡB-1	Ⅳc	1	
	E_2-65-00	1279,1313	ⅡB-2	Ⅳc	2	3
図Ⅳ-58-93	E_1-65-91	226,253	ⅡB-1	Ⅳc	2	
	E_1-65-91	958,989	ⅡB-2	Ⅳc	3	5
図Ⅳ-58-94	E_2-65-00	779	ⅡB-1	Ⅳc	3	
	E_2-65-00	1279	ⅡB-2	Ⅳc	1	4
図Ⅳ-58-95	E_2-65-00	1378	ⅡB-2	Ⅳc	7	
	E_2-65-01	1242	ⅡB-2	Ⅳc	1	8
図Ⅳ-58-96	E_2-65-10	1378,1412 1491,1524	ⅡB-2	Ⅳc	5	
	E_2-65-10	1716	ⅡB-3	Ⅳc	1	6
図Ⅳ-58-97	E_2-65-10	1243	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-58-98	E_2-65-02	577,774,795 1153	ⅡB-2	Ⅳc	4	
	E_2-65-02	1018	ⅡB-3	Ⅳc	1	
	E_2-65-12	36	Ⅱ-3トレンチ	Ⅳc	1	6
図Ⅳ-58-99	E_2-65-00	1216,1242 1243,1283 1296,1320 1326	ⅡB-2	Ⅳc	9	
	E_2-65-01	494	ⅡB-2	Ⅳc	1	10
図Ⅳ-58-100	E_2-65-00	1204,1211 1295	ⅡB-2	Ⅳc	5	5
図Ⅳ-58-101	E_2-65-91	1684	ⅡB-2	Ⅳc	5	5
図Ⅳ-58-102	E_2-65-00	1319,1488	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-58-103	E_1-65-90	561	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	E_2-65-00	1389	ⅡB-2	Ⅳc	1	2
図Ⅳ-58-104	E_2-65-10	1412,1423	ⅡB-2	Ⅳc	3	
	E_2-65-10	1568	ⅡB-3	Ⅳc	1	4
図Ⅳ-58-105	E_2-65-00	1662	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	E_2-65-00	1785,1786 1807	ⅡB-3	Ⅳc	3	
	E_2-65-10	1625,1699	ⅡB-3	Ⅳc	2	6

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-59-106	E1-65-91	773	ⅡB-1	Ⅳc	1	
	E2-65-01	584,1583	ⅡB-2	Ⅳc	2	3
図Ⅳ-59-107	E1-65-90	157	Ⅱ-6トレンチ	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-59-108	E2-65-02	618,808,1157	ⅡB-2	Ⅳc	6	6
図Ⅳ-59-109	E2-65-01	791	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-59-110	E2-65-01	897	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-59-111	E2-65-03	518	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	E2-65-03	3	ⅡB	Ⅳc	1	2
図Ⅳ-59-112	E2-65-10	1909,1910	ⅡB-2	Ⅳc	3	3
図Ⅳ-59-113	E2-65-00	2354	ⅡB-1	Ⅳc	1	
	E2-65-10	1035,1298	ⅡB-2	Ⅳc	2	3
図Ⅳ-59-114	E2-65-00	1520	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-59-115	E2-65-00	444	ⅡB-1	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-59-116	E2-65-10	863,946	ⅡB-2	Ⅳc	4	
	E2-65-11	1129,1288	ⅡB-2	Ⅳc	2	6
図Ⅳ-59-117	E1-65-81	877	ⅡB-2	Ⅳc	8	8
図Ⅳ-59-118	E2-65-11	983,985	ⅡB-2	Ⅳc	5	5
図Ⅳ-59-119	E2-65-01	1602	ⅡB-2	Ⅳc	3	
	E2-65-02	584,684	ⅡB-2	Ⅳc	2	5
図Ⅳ-59-120	E2-65-10	562,678	ⅡB-2	Ⅳc	5	5
図Ⅳ-59-121	E2-65-00	1436,1457 1549,1599	ⅡB-2	Ⅳc	4	4
図Ⅳ-59-122	E2-65-02	598,680	ⅡB-2	Ⅳc	3	3
図Ⅳ-59-123	E2-65-11	1054	ⅡB-2	Ⅳc	3	3
図Ⅳ-59-124	E2-65-10	565	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	E2-65-11	630,1286	ⅡB-1	Ⅳc	3	
	E2-65-11	1287	ⅡB-2	Ⅳc	1	5
図Ⅳ-59-125	E2-65-10	1150,1292 1352	ⅡB-2	Ⅳc	5	5
図Ⅳ-59-126	E2-65-10	724,756 1006,1171 1247,1282 1288,1319	ⅡB-2	Ⅳc	9	9
図Ⅳ-59-127	E2-65-00	1536,2355 2356	ⅡB-2	Ⅳc	6	6
図Ⅳ-60-128	E1-65-91	800	ⅡB-1	Ⅴ	1	
	E1-65-91	1237,1260	ⅡB-2	Ⅴ	2	
	E2-65-01	1100	ⅡB-1	Ⅴ	1	
	E2-65-01	1397	ⅡB-2	Ⅴ	3	7
図Ⅳ-60-129	E2-65-02	903	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-60-130	E1-65-91	1221	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-60-131	E2-65-10	307	ⅡB-1	Ⅴ	2	
	E2-65-10	507,524	ⅡB-2	Ⅴ	8	10
図Ⅳ-60-132	E1-65-91	903	ⅡB-1	Ⅴ	1	
	E1-65-91	1273,1360	ⅡB-2	Ⅴ	3	
	E1-65-91	384	ⅡB1回目	Ⅴ	1	
	E2-65-12	477,649	ⅡB-2	Ⅴ	3	8
図Ⅳ-60-133	E2-65-10	321,345	ⅡB-1	Ⅴ	2	
	E2-65-10	507,643,1911	ⅡB-2	Ⅴ	3	5
図Ⅳ-60-134	E2-65-02	165	ⅡB-1	Ⅴ	2	
	E2-65-02	1158	ⅡB-2	Ⅴ	1	3
図Ⅳ-60-135	E2-65-10	1289	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-60-136	E1-65-90	628	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-60-137	E2-65-00	1306	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-60-138	E2-65-00	1330	ⅡB-2	Ⅳc	1	1

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-60-139	E2-65-12	500	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-60-140	E1-65-91	1019	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-60-141	E1-65-91	1355	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-60-142	E2-65-10	765	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-60-143	E2-65-02	661	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-60-144	E2-65-12	351,598	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-60-145	E2-65-12	612	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-61-146	E1-65-81	1005	ⅡBトレンチ	Ⅱa-2	1	1
図Ⅳ-61-147	E1-65-81	853	ⅡB-2	Ⅲb-1	2	2
図Ⅳ-61-148	E2-65-13	374	Ⅱ-5トレンチ	Ⅲb-1	1	1
図Ⅳ-61-149	E1-65-90	154	Ⅱ-7トレンチ	Ⅲb-2	1	1
図Ⅳ-61-150	E1-65-81	910	ⅡB-2	Ⅲb-2	1	1
図Ⅳ-61-151	E2-65-01	914	ⅡB-2	Ⅲb-3	1	1
図Ⅳ-61-152	E2-65-03	516	ⅡB-2	Ⅲb-3	1	1
図Ⅳ-61-153	E2-65-12	909	Ⅱ-4トレンチ	Ⅲb-3	1	1
図Ⅳ-61-154	E2-65-11	24	Ⅱ-5トレンチ	Ⅳa	1	1
図Ⅳ-61-155	E2-65-01	558	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-61-156	E2-65-02	1159	ⅡB-2	Ⅳa	1	1
図Ⅳ-61-157	E1-65-90	537	ⅡB-2	Ⅳb	1	
	E2-65-11	988	ⅡB-2	Ⅳb	1	2
図Ⅳ-61-158	E1-65-81	851	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-61-159	E2-65-10	1478	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-61-160	E1-65-80	734	ⅡB-2	Ⅳb	1	
	E1-65-80	934	ⅡB-1	Ⅳb	1	2
図Ⅳ-61-161	E1-65-80	734	ⅡB-2	Ⅳb	1	
	E1-65-80	934	ⅡB-1	Ⅳb	1	2
図Ⅳ-61-162	E1-65-81	1494	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-61-163	E2-65-11	1177	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-61-164	E2-65-04	359	ⅡB-2	Ⅳb	10	10
図Ⅳ-61-165	E2-65-12	480	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-61-166	E1-65-91	1198	ⅡB-2	Ⅳb	1	
	E2-65-00	1568	ⅡB-2	Ⅳb	1	2
図Ⅳ-61-167	E1-65-81	805	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-61-168	E1-65-91	1139	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-61-169	E1-65-91	1139	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-61-170	E1-65-81	1243	Ⅱ-2トレンチ	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-61-171	E1-65-91	1197	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-61-172	E2-65-10	1501	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-61-173	E1-65-80	613	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-61-174	E2-65-04	340	ⅡB-2	Ⅳb	2	2
図Ⅳ-62-175	E2-65-00	1623	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-176	E1-65-91	1043	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-177	E2-65-03	439	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-178	E1-65-91	962	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-179	E1-65-91	1139	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-180	E1-65-91	1292	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-181	E2-65-11	886	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-182	E2-65-02	1154	ⅡB-1	Ⅳb	1	
	E2-65-02	1155	ⅡB-2	Ⅳb	1	2
図Ⅳ-62-183	E2-65-02	1156	ⅡB-2	Ⅳb	1	1

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-62-184	E2-65-00	1287	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-185	E2-65-01	1603	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-186	E1-65-91	1080	ⅡB-2	Ⅳb	1	
	E1-65-91	1685	ⅡB-1	Ⅳb	1	2
図Ⅳ-62-187	E1-65-91	1190	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-188	E1-65-80	632	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-189	E1-65-91	1080	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-190	E2-65-11	1089	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-191	E2-65-01	1385	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-192	E1-65-90	481	ⅡB-1	Ⅳb	1	
	E2-65-01	925	ⅡB-2	Ⅳb	1	2
図Ⅳ-62-193	E2-65-10	548	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-194	E1-65-81	857	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-195	E1-65-91	1198	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-196	E2-65-00	1568	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-197	E2-65-01	881	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-62-198	E2-65-01	956,1348	ⅡB-2	Ⅳc	2	
	E2-65-11	884,889 1094,1095	ⅡB-2	Ⅳc	7	
	E2-65-11	1211,1216	ⅡB-3	Ⅳc	2	
	不明			Ⅳc	1	12
図Ⅳ-62-199	E2-65-00	1643	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-62-200	E2-65-00	1534	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-62-201	E1-65-80	129	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-62-202	E2-65-10	1249	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-63-203	E2-65-00	1543	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-63-204	E2-65-00	1442,1643	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-63-205	E2-65-00	541	ⅡB-1	Ⅳc	1	
	E2-65-00	1175	ⅡB-2	Ⅳc	1	2
図Ⅳ-63-206	E2-65-10	904	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-63-207	E1-65-90	575	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-63-208	E2-65-11	1017,1094 1120	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-63-209	E1-65-91	1059	ⅡB-2	Ⅳc	3	3
図Ⅳ-63-210	E2-65-01	1156	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-63-211	E2-65-02	833	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-63-212	E2-65-11	1126	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-63-213	E1-65-91	162	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-63-214	E1-65-91	1166	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-63-215	E2-65-10	1372,1378	ⅡB-2	Ⅳc	8	8
図Ⅳ-63-216	E1-65-88	177	ⅡBトレンチ	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-63-217	E2-65-10	1372	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-63-218	E1-65-80	935	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-64-219	E2-65-00	1351	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-64-220	E2-65-11	934,1014 1033,1038	ⅡB-2	Ⅳc	4	4
図Ⅳ-64-221	E1-65-91	89	ⅡB中央トレンチ	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-64-222	E2-65-00	1398	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-64-223	E2-65-00	1300,1317	ⅡB-2	Ⅳc	3	3
図Ⅳ-64-224	E2-65-00	906,909	ⅡB-1	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-64-225	E2-65-12	583	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-64-226	E2-65-10	1087	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-64-227	E2-65-00	1149	ⅡB-2	Ⅳc	2	2

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-64-228	E1-65-81	1321	Ⅱ-3トレンチ	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-64-229	E2-65-01	480	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-64-230	E2-65-01	1277	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-64-231	E2-65-01	786	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-64-232	E1-65-90	651	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-64-233	E2-65-11	1180	ⅡB-2	Ⅳc	3	3
図Ⅳ-64-234	E2-65-12	443	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-64-235	E2-65-11	699,826	ⅡB-2	Ⅳc	6	6
図Ⅳ-64-236	E2-65-02	716	ⅡB-2	Ⅳc	3	3
図Ⅳ-64-237	E2-65-01	630	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-64-238	E2-65-13	26	Ⅱ-4トレンチ	Ⅳc	3	
	E2-65-13	62	Ⅱ-5トレンチ	Ⅳc	1	
	E2-65-13	241	ⅡB-2	Ⅳc	2	6
図Ⅳ-64-239	E2-65-10	1049	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-64-240	E2-65-01	621	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-64-241	E2-65-01	410	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-64-242	E2-65-01	907	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-65-243	E1-65-90	376,471,492	ⅡB-1	Ⅳc	3	
	E1-65-90	624,633	ⅡB-2	Ⅳc	4	7
図Ⅳ-65-244	E1-65-90	155	Ⅱ-6トレンチ	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-65-245	E2-65-10	102	Ⅱ-7トレンチ	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-65-246	E2-65-00	1538,1571	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-65-247	E2-65-10	1478	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-65-248	E2-65-00	1516	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-65-249	E2-65-01	900	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-65-250	E1-65-91	969	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-65-251	E2-65-10	914	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-65-252	E2-65-01	1148	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-65-253	E2-65-03	498	ⅡB-2	Ⅳc	3	3
図Ⅳ-65-254	E2-65-10	1403	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-65-255	E2-65-10	1158	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-65-256	E2-65-01	672,1261	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-65-257	E1-65-80	887	Ⅱ-6トレンチ	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-65-258	E1-65-90	586	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-65-259	E2-65-01	579	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-65-260	E2-65-10	1333	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-65-261	E1-65-91	973	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-65-262	E1-65-90	631	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-65-263	E1-65-90	101	Ⅱ-4トレンチ	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-66-264	E2-65-03	444	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-265	E1-65-91	1257	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-266	E2-65-12	914	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-267	E2-65-02	609	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-268	E2-65-11	1008	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-269	E2-65-10	61	Ⅱ-4トレンチ	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-270	E1-65-91	1408	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-271	E2-65-12	507	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-272	E2-65-12	593	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-273	E1-65-91	1269	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-274	E2-65-01	765	ⅡB-2	Ⅳc	2	2

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-66-275	E_1-65-91	159	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-276	E_2-65-02	618	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-277	E_2-65-12	885	Ⅱ-3トレンチ	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-278	E_2-65-12	879	Ⅱ-3トレンチ	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-279	E_2-65-01	707	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-280	E_2-65-03	444	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-281	E_1-65-91	35	ⅡB中央トレンチ	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-282	E_2-65-02	508	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-283	E_2-65-02	653,789	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-66-284	E_2-65-02	618,703,771	ⅡB-2	Ⅳc	3	3
図Ⅳ-66-285	E_2-65-10	982	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-286	E_2-65-01	360	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	E_2-65-11	1012	ⅡB-2	Ⅳc	1	2
図Ⅳ-66-287	E_2-65-10	1298	ⅡB-2	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-66-288	E_2-65-10	859,897,1006	ⅡB-2	Ⅳc	3	
	E_2-65-11	1115	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	E_2-65-10	1650,1671	ⅡB-3	Ⅳc	2	6
図Ⅳ-66-289	E_2-65-02	911,971	ⅡB-2	Ⅳc	3	3
図Ⅳ-66-290	E_2-65-01	442	ⅡB-2	Ⅳc	3	
	E_2-65-02	583,593	ⅡB-2	Ⅳc	2	5
図Ⅳ-66-291	E_2-65-10	1360	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-292	E_2-65-01	839,1393	ⅡB-2	Ⅳc	2	
	E_2-65-10	1010	ⅡB-2	Ⅳc	1	3
図Ⅳ-66-293	E_2-65-10	61	Ⅱ-4トレンチ	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-66-294	E_2-65-01	318	ⅡB-2	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-66-295	E_2-65-03	198	ⅡB-1	Ⅳc	1	
	E_2-65-04	276	ⅡB-2	Ⅳc	1	2
図Ⅳ-66-296	E_2-65-10	504,510	ⅡB-2	Ⅳc	4	4
図Ⅳ-67-297	E_2-65-01	380	ⅡB-2	Ⅴ	4	4
図Ⅳ-67-298	E_2-65-11	1289	ⅡB-2	Ⅴ	6	6
図Ⅳ-67-299	E_2-65-10	544	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-67-300	E_2-65-12	167,337	ⅡB-2	Ⅴ	3	3
図Ⅳ-67-301	E_2-65-10	459,687	ⅡB-2	Ⅴ	4	4
図Ⅳ-67-302	E_2-65-01	1247	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-67-303	E_2-65-11	591	ⅡB-1	Ⅴ	1	
	E_2-65-11	905	ⅡB-2	Ⅴ	2	3
図Ⅳ-67-304	E_2-65-11	100,879	ⅡB-2	Ⅴ	20	20
図Ⅳ-67-305	E_2-65-11	683	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-67-306	E_2-65-02	748	ⅡB-2	Ⅴ	1	
	E_2-65-12	112	ⅡB-1	Ⅴ	1	
	E_2-65-12	704,912	ⅡB-2	Ⅴ	2	4
図Ⅳ-67-307	E_2-65-12	560,574	ⅡB-2	Ⅴ	2	2
図Ⅳ-68-308	E_2-65-11	857	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-68-309	E_2-65-10	459	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-68-310	E_2-65-12	435	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-68-311	E_2-65-02	1160	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-68-312	E_2-65-12	171,275	ⅡB-2	Ⅴ	3	3
図Ⅳ-68-313	E_2-65-14	75,86	ⅡB-1	Ⅴ	5	
	E_2-65-14	211,236	ⅡB-2	Ⅴ	6	11
図Ⅳ-68-314	E_2-65-11	696,724 762,797	ⅡB-2	Ⅴ	4	

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-68-314	E_2-65-11	100	Ⅱ-4トレンチ	Ⅴ	1	5
図Ⅳ-68-315	E_2-65-11	724,991,1036	ⅡB-2	Ⅴ	7	7
図Ⅳ-68-316	E_2-65-10	645	ⅡB-2	Ⅴ	2	2
図Ⅳ-68-317	E_2-65-01	1604,1605	ⅡB-2	Ⅴ	2	2
図Ⅳ-68-318	E_2-65-02	832	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-68-319	E_2-65-12	592	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-68-320	E_2-65-12	41	ⅡB-3トレンチ	Ⅴ	2	2
図Ⅳ-68-321	E_2-65-12	333	ⅡB-2	Ⅴ	1	
	E_2-65-12	798	Ⅱ-1トレンチ	Ⅴ	1	
	E_2-65-12	858,911	Ⅱ-2トレンチ	Ⅴ	2	
	E_2-65-12	41,910	Ⅱ-3トレンチ	Ⅴ	3	7
図Ⅳ-69-322	E_2-65-02	582,594,640 720,726	ⅡB-2	Ⅴ	6	6
図Ⅳ-69-323	E_2-65-12	668	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-69-324	E_2-65-02	528	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-69-325	E_2-65-01	1047	ⅡB-1	Ⅴ	1	
	E_2-65-02	510	ⅡB-2	Ⅴ	1	2
図Ⅳ-69-326	E_2-65-12	117,340	ⅡB-2	Ⅴ	2	2
図Ⅳ-69-327	E_2-65-14	210	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-69-328	E_2-65-02	785,799,903	ⅡB-2	Ⅴ	3	
	E_2-65-12	594	ⅡB-2	Ⅴ	1	4
図Ⅳ-69-329	E_2-65-02	838	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-69-330	E_2-65-01	601	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-69-331	E_2-65-12	495,913	ⅡB-2	Ⅴ	2	
	未注記			Ⅴ	2	4
図Ⅳ-69-332	E_2-65-01	452	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-69-333	E_1-65-91	88	ⅡB中央トレンチ	Vc	1	1
図Ⅳ-69-334	E_2-65-01	766	ⅡB-2	Ⅴ	3	
	E_2-65-02	272	ⅡB-1	Ⅴ	1	4
図Ⅳ-69-335	E_2-65-12	329	ⅡB-2	Ⅴ	1	
	E_2-65-13	375	ⅡB-2	Ⅴ	1	2
図Ⅳ-69-336	E_2-65-10	894	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-69-337	E_1-65-81	1000	ⅡBトレンチ	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-69-338	E_2-65-02	852	ⅡB-2	Ⅴ	1	1
図Ⅳ-69-339	E_2-65-02	284	ⅡB-1	Ⅴ	1	
	E_2-65-02	800,831,921	ⅡB-2	Ⅴ	3	4

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-81-1	E2-65-00	2125	ⅡB-3	Ⅳb	1	
	E2-65-11	7	ⅠB-3	Ⅳb	1	
	不明				1	3
図Ⅳ-81-2	E1-65-91	1491	ⅡB-3	Ⅳb	1	
	E2-65-00	2041,2125	ⅡB-3	Ⅳb	2	
	E2-65-02	1032	ⅡB-3	Ⅳb	1	
	E2-65-10	1740	ⅡB-3	Ⅳb	6	10
図Ⅳ-81-3	E2-65-00	2308	ⅡB-3	Ⅳb	3	3
図Ⅳ-81-4	E1-65-90	321	ⅡB-1	Ⅳc	1	
	E2-65-00	1446	ⅡB-2	Ⅳc	2	
	E2-65-00	1967,1973	ⅡB-3	Ⅳc	16	19
図Ⅳ-81-5	E2-65-00	2133,2137	ⅡB-3	Ⅳc	12	12
図Ⅳ-81-6	E2-65-10	1508	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	E2-65-10	1716,1741 1750	ⅡB-3	Ⅳc	8	9
図Ⅳ-81-7	E2-65-10	1712	ⅡB-3	Ⅳc	5	5
図Ⅳ-81-8	E2-65-00	1761,1765 1847,1956 1962	ⅡB-3	Ⅳc	23	23
図Ⅳ-81-9	E2-65-10	1711	ⅡB-3	Ⅳc	16	16
図Ⅳ-81-10	E2-65-00	1898,2052	ⅡB-3	Ⅳc	5	
	不明				1	6
図Ⅳ-81-11	E2-65-00	1803,1859 1967,1969 1973	ⅡB-3	Ⅳc	11	11
図Ⅳ-82-12	E2-65-00	2276	ⅡB-3	Ⅳc	27	27
図Ⅳ-82-13	E2-65-10	738,891,901 961,985 1476	ⅡB-2	Ⅳc	8	
	E2-65-10	1571,1595	ⅡB-3	Ⅳc	47	
	E2-65-10	85	Ⅱ-6トレンチ	Ⅳc	1	56
図Ⅳ-82-14	E2-65-00	1936	ⅡB-3	Ⅳc	2	
	E2-65-10	972,1389 1423	ⅡB-2	Ⅳc	4	
	E2-65-10	1549,1594 1602,1661 1707	ⅡB-3	Ⅳc	23	29
図Ⅳ-82-15	E2-65-10	1695	ⅡB-3	Ⅳc	2	
	E2-65-10	84	Ⅱ-6トレンチ	Ⅳc	3	
	E2-65-10	101	Ⅱ-7トレンチ	Ⅳc	2	
	E2-65-10	116	Ⅱ-8トレンチ	Ⅳc	2	9
図Ⅳ-82-16	E2-65-00	2110,2111 2112,2115 2148,2149 2150,2151 2152,2154 2161,2163 2164,2165 2166,2168 2169	ⅡB-3	Ⅳc	69	69
図Ⅳ-82-17	E2-65-00	1888	ⅡB-3	Ⅳc	21	21
図Ⅳ-83-18	E1-65-91	1511	ⅡB-3	Ⅳc	32	
	未注記				1	33
図Ⅳ-83-19	E2-65-00	1841	ⅡB-3	Ⅳc	33	33
図Ⅳ-83-20	E2-65-00	1777,1855 1887,2057 2144,2151 2326	ⅡB-3	Ⅳc	81	81
図Ⅳ-83-21	E2-65-00	1327,1328 1332,1546	ⅡB-2	Ⅳc	5	
	E2-65-00	2008,2010 2067,2073 2075,2232 2263	ⅡB-3	Ⅳc	26	31
図Ⅳ-83-22	E2-65-00	1864,2093	ⅡB-3	Ⅳc	5	5

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-83-23	E2-65-00	1701,1778 1839,1847	ⅡB-3	Ⅳc	8	8
図Ⅳ-83-24	E2-65-10	1690,1723	ⅡB-3	Ⅳc	5	5
図Ⅳ-83-25	E2-65-00	1957,2078 2131	ⅡB-3	Ⅳc	8	8
図Ⅳ-83-26	E2-65-10	1607,1648 1690,1699 1700,1704 1707	ⅡB-3	Ⅳc	18	18
図Ⅳ-84-27	E1-65-90	631,645	ⅡB-2	Ⅳc	2	
	E2-65-00	203	ⅡB-1	Ⅳc	4	
	E2-65-00	1865,1920 2008,2011 2037	ⅡB-3	Ⅳc	14	20
図Ⅳ-84-28	E2-65-10	1662,1738	ⅡB-3	Ⅳc	3	3
図Ⅳ-84-29	E2-65-12	109	ⅡB-1	Ⅳc	3	
	E2-65-12	282,611	ⅡB-2	Ⅳc	6	
	E2-65-12	36	Ⅱ-3トレンチ	Ⅳc	8	
	E2-65-12	294	Ⅱ-5トレンチ	Ⅳc	1	18
図Ⅳ-84-30	E2-65-10	1399,1477 1483	ⅡB-2	Ⅳc	4	
	E2-65-10	1594,1649 1690,1710 1744,1810	ⅡB-3	Ⅳc	10	14
図Ⅳ-84-31	E2-65-00	2301	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-84-32	E2-65-00	1879,2076 2148,2162 2163,2168 2170,2225 不明	ⅡB-3	Ⅳc	22	22
図Ⅳ-84-33	E2-65-10	1020	ⅡB-2	Ⅳc	2	
	E2-65-10	1567,1626 1656	ⅡB-3	Ⅳc	7	9
図Ⅳ-84-34	E1-65-91	1425	ⅡB-3	Ⅳc	5	
	E2-65-01	705,717	ⅡB-2	Ⅳc	5	10
図Ⅳ-85-35	E2-65-00	1509	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	E2-65-00	1854	ⅡB-3	Ⅳc	7	8
図Ⅳ-85-36	E2-65-01	542,873	ⅡB-2	Ⅳc	4	
	E2-65-10	985	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	E2-65-10	1602	ⅡB-3	Ⅳc	1	6
図Ⅳ-85-37	E2-65-00	1862,1922 2002,2009	ⅡB-3	Ⅳc	10	10
図Ⅳ-85-38	E2-65-00	2073,2136 2145,2147 2196,2203	ⅡB-3	Ⅳc	11	11
図Ⅳ-85-39	E2-65-00	1765,1841 1857,1860 1861,1865 2130,2131	ⅡB-3	Ⅳc	16	16
図Ⅳ-85-40	E2-65-00	1590,1865 1880,1965	ⅡB-3	Ⅳc	13	
	未注記				1	14
図Ⅳ-85-41	E2-65-00	1744,1999 2037,2130 2276	ⅡB-3	Ⅳc	18	18
図Ⅳ-85-42	E2-65-00	1935,1972 1973	ⅡB-3	Ⅳc	6	
	E2-65-01	726	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	E2-65-11	34	ⅡB-3	Ⅳc	2	9
図Ⅳ-85-43	E2-65-10	1508	ⅡB-2	Ⅳc	1	
	E2-65-10	1721	ⅡB-3	Ⅳc	16	
	E2-65-11	34	ⅡB-3	Ⅳc	1	18
図Ⅳ-85-44	E1-65-90	47	Ⅱ-1トレンチ	Ⅳc	1	
	E2-65-00	1203,1529 1631	ⅡB-2	Ⅳc	4	
	E2-65-00	1827	ⅡB-3	Ⅳc	4	9
図Ⅳ-86-45	E2-65-14	245	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-86-46	E2-65-00	2038	ⅡB-3	Ⅳc	2	2

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-86-47	E_2-65-10	144	Ⅱ-10トレンチ	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-86-48	E_2-65-01	61	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-86-49	E_2-65-00	1693	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-86-50	E_2-65-10	296	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-86-51	E_1-65-81	906	ⅡB-2	Ⅳb	3	
	E_1-65-81	962	ⅡB-3	Ⅳb	1	
	E_1-65-81	1403	Ⅱ-7トレンチ東	Ⅳb	1	5
図Ⅳ-86-52	E_2-65-02	719	ⅡB-2	Ⅳb	1	
	E_2-65-03	363	ⅡB-3	Ⅳb	4	5
図Ⅳ-86-53	E_2-65-03	363	ⅡB-3	Ⅳb	6	6
図Ⅳ-86-54	E_2-65-10	1654	ⅡB-3	Ⅳc	3	3
図Ⅳ-86-55	E_1-65-91	1567	ⅡB-3	Ⅳc	1	
	E_1-65-91	1574	ⅡB-3	Ⅳc	1	2
図Ⅳ-86-56	E_2-65-10	1741	ⅡB-3	Ⅳc	3	3
図Ⅳ-86-57	E_2-65-00	1697	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-86-58	E_2-65-10	1688	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-86-59	E_2-65-12	748	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-86-60	E_2-65-00	2160	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-86-61	E_2-65-00	1731,2064 2135	ⅡB-3	Ⅳc	3	3
図Ⅳ-86-62	E_2-65-12	36	ⅡB-3トレンチ	Ⅳc	4	
	E_2-65-12	295	Ⅱ-5トレンチ	Ⅳc	1	
	E_2-65-12	828	ⅡBトレンチ	Ⅳc	1	
	E_2-65-12	855	ⅡB-2トレンチ	Ⅳc	1	
	E_2-65-12	884	Ⅱ-3トレンチ	Ⅳc	1	8
図Ⅳ-86-63	E_2-65-00	1961	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-86-64	E_2-65-10	1655	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-86-65	E_2-65-00	2296	ⅡB-3	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-86-66	E_2-65-10	1677	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-86-67	E_1-65-80	237	ⅡB-3トレンチ	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-86-68	E_2-65-00	2157	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-86-69	E_1-65-91	1476	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-87-70	E_2-65-01	1532	ⅡB-3	Ⅰb-3	1	1
図Ⅳ-87-71	E_2-65-01	1412	ⅡB-3	Ⅰb-3	1	1
図Ⅳ-87-72	E_2-65-01	1412	ⅡB-3	Ⅰb-3	1	1
図Ⅳ-87-73	E_2-65-02	1080	ⅡB-3	Ⅰb-4	1	1
図Ⅳ-87-74	E_2-65-01	1492,1522 1534	ⅡB-3	Ⅱa-2	7	7
図Ⅳ-87-75	E_2-65-01	1478,1522	ⅡB-3	Ⅱa-2	7	7
図Ⅳ-87-76	E_2-65-01	1413,1492	ⅡB-3	Ⅱa-2	4	4
図Ⅳ-87-77	E_2-65-01	1413,1492	ⅡB-3	Ⅲb-1	4	4
図Ⅳ-87-78	E_2-65-01	1489	ⅡB-3	Ⅲb-1	1	1
図Ⅳ-87-79	E_2-65-01	1414	ⅡB-3	Ⅲb-1	1	1
図Ⅳ-87-80	E_1-65-80	782	ⅡB-3	Ⅲb-3	1	1
図Ⅳ-87-81	E_2-65-01	1493	ⅡB-3	Ⅲb-3	1	1
図Ⅳ-87-82	E_2-65-00	2353	ⅡB-3	Ⅲb-3	1	1
図Ⅳ-87-83	E_2-65-01	1411	ⅡB-3	Ⅳa	1	1
図Ⅳ-87-84	E_2-65-01	528	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-87-85	E_1-65-81	962	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-87-86	E_1-65-81	962	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-87-87	E_2-65-01	1480	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-87-88	E_2-65-10	1801	ⅡB-3	Ⅳb	1	1

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-87-89	E_2-65-11	1211	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-87-90	E_1-65-90	723	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-87-91	E_2-65-02	1022	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-87-92	E_2-65-10	1553	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-87-93	E_2-65-01	1480	ⅡB-3	Ⅳb	2	2
図Ⅳ-87-94	E_2-65-01	1441	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-87-95	E_2-65-10	1905	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-87-96	E_2-65-11	1211	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-87-97	E_1-65-91	1474	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-87-98	E_1-65-91	1493,1604	ⅡB-3	Ⅳb	3	3
図Ⅳ-87-99	E_1-65-91	1604	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-88-100	E_2-65-10	1802	ⅡB-2	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-88-101	E_2-65-00	2347	ⅡB-3	Ⅳb	2	
	E_2-65-01	1459	ⅡB-3	Ⅳb	1	3
図Ⅳ-88-102	E_2-65-10	1811	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-88-103	E_2-65-10	1747	ⅡB-3	Ⅳb	2	
	E_2-65-10	1798	ⅡB-3	Ⅳb	1	3
図Ⅳ-88-104	E_2-65-03	363	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-88-105	E_2-65-10	1788	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-88-106	E_2-65-00	2297	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-88-107	E_2-65-10	1815	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-88-108	E_2-65-10	1814	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-88-109	E_2-65-00	2303	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-88-110	E_2-65-00	2351	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-88-111	E_2-65-00	227	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-88-112	E_2-65-10	1554	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-88-113	E_1-65-91	1190	ⅡB-2	Ⅳb	1	
	E_1-65-91	1629	ⅡB-3	Ⅳb	1	2
図Ⅳ-88-114	E_1-65-91	1603	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-88-115	E_2-65-10	1788	ⅡB-3	Ⅳb	1	1
図Ⅳ-88-116	E_2-65-10	1661	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-88-117	E_2-65-00	2195	ⅡB-3	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-88-118	E_2-65-01	1145,1348	ⅡB-2	Ⅳc	2	
	E_2-65-11	1199	ⅡB-3	Ⅳc	1	3
図Ⅳ-88-119	E_2-65-00	1835	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-88-120	E_2-65-10	1652	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-88-121	E_2-65-00	1856	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-88-122	E_2-65-01	1598	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-88-123	E_2-65-00	1977	ⅡB-3	Ⅳc	2	
	E_2-65-10	1376,1398 1476	ⅡB-2	Ⅳc	3	5
図Ⅳ-89-124	E_2-65-00	2213	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-89-125	E_2-65-12	732	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-89-126	E_2-65-10	1607	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-89-127	E_1-65-91	1680	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-89-128	E_1-65-91	1661	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-89-129	E_2-65-00	2148	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-89-130	E_2-65-10	1671	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-89-131	E_1-65-90	684	ⅡB-3	Ⅳc	3	
	E_1-65-91	1683	ⅡB-1	Ⅳc	1	
	E_1-65-91	958	ⅡB-2	Ⅳc	1	5

図番号	接合関係		層位	分類	点数	計
	グリッド	遺物番号				
図Ⅳ-89-132	E_2-65-00	1991	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-89-133	E_2-65-11	195	Ⅱ-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-89-134	E_2-65-10	1662	ⅡB-3	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-89-135	E_2-65-00	2349	ⅡB-3	Ⅳc	2	
	E_2-65-00	2350	ⅡB-3	Ⅳc	2	4
図Ⅳ-89-136	E_2-65-00	2076	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-89-137	E_2-65-03	620	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-89-138	E_1-65-91	1662	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-89-139	E_2-65-11	1219	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-89-140	E_2-65-00	1807	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-89-141	E_2-65-00	2018,2348	ⅡB-3	Ⅳc	4	4
図Ⅳ-89-142	E_1-65-90	173	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-89-143	E_2-65-10	1589,1678	ⅡB-3	Ⅳc	2	2
図Ⅳ-89-144	E_1-65-91	1539	ⅡB-3	Ⅳc	1	1
図Ⅳ-89-145	E_2-65-03	621	ⅡB	Va	1	
	E_2-65-03	417	ⅡB-3	Va	1	2

表27　包含層掲載石器一覧

図番号	グリッド	遺物番号	層　　位	分　　類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅲ-23-1	E_1-65-63	42	Tac上面	石鏃	1.7	1.5	4.0	0.6	obs
図Ⅲ-23-2	E_1-65-90	7	Ⅰ-4	石鏃	1.7	1.5	4.0	0.6	obs
図Ⅲ-23-3	E_1-65-83	7	ⅠB	石鏃	2.4	0.8	0.4	0.6	obs
図Ⅲ-23-4	E_1-65-62	12	ⅠB	石鏃	(2.0)	1.8	0.4	(0.8)	obs
図Ⅲ-23-5	E_1-65-01	91	Ⅰ-3	石鏃	2.6	1.7	0.3	0.9	obs
図Ⅲ-23-6	E_1-65-01	2	Ⅰ-1	石鏃	1.7	1.0	0.3	0.3	obs
図Ⅲ-23-7	E_1-65-90	14	Ⅰ-5	石鏃	1.7	1.5	0.5	0.7	obs
図Ⅲ-23-8	E_1-65-63	42	Tac上面	石鏃	1.2	1.6	0.3	0.5	obs
図Ⅲ-23-9	E_1-65-92	18	Ⅰ-4	石鏃	1.8	0.9	0.3	0.4	obs
図Ⅲ-23-10	E_1-65-51	6	Ⅰ-2	石鏃	2.0	1.2	0.4	0.5	obs
図Ⅲ-23-11	E_1-65-92	37	ⅠB撹乱	石鏃	1.9	1.3	0.5	0.7	obs
図Ⅲ-23-12	E_2-65-01	21	ⅠB-2	石鏃	2.6	1.4	0.5	1.3	obs
図Ⅲ-23-13	E_2-65-11	4	Ⅰ-2	石鏃	2.7	1.9	0.8	2.5	obs
図Ⅲ-23-14	E_1-65-51	27	Tac上面	石鏃	(1.7)	1.4	0.4	(0.6)	obs
図Ⅲ-23-15	E_2-65-12	4	Ⅰ-3	石鏃	1.3	0.8	0.2	0.2	obs
図Ⅲ-23-16	E_1-65-92	36	ⅠB撹乱	石鏃	1.7	2.1	0.5	0.9	obs
図Ⅲ-23-17	E_1-65-51	7	Ⅰ-2	石鏃	1.6	0.9	0.4	0.3	obs
図Ⅲ-23-18	E_1-65-81	6	Ⅰ-3	石鏃	2.1	0.9	0.2	0.3	obs
図Ⅲ-23-19	E_1-65-72	7	ⅠB撹乱	石鏃	2.0	1.0	0.3	0.3	obs
図Ⅲ-23-20	E_2-65-01	204	Ⅰ-5	石鏃	2.4	0.9	0.3	0.5	obs
図Ⅲ-23-21	E_1-65-63	42	Tac上面	石鏃	2.9	1.4	3.9	0.7	obs
図Ⅲ-23-22	E_2-65-02	4	Ⅰ-2	石鏃	2.2	1.2	0.4	0.6	obs
図Ⅲ-23-23	E_2-65-11	10	Ⅰ-3	石鏃	2.4	1.2	0.4	0.8	obs
図Ⅲ-23-24	E_2-65-01	96	Ⅰ-3	石鏃	2.6	1.5	0.4	0.9	Si-Sh
図Ⅲ-23-25	E_2-65-01	205	ⅠB	石鏃	2.7	1.5	0.4	1.2	Si-Sh
図Ⅲ-23-26	E_2-65-02	5	Ⅰ-2	石鏃	2.3	1.1	0.4	0.6	obs
図Ⅲ-23-27	E_2-65-10	9	Ⅰ-4	石鏃	3.7	1.3	0.4	1.3	obs
図Ⅲ-23-28	E_1-65-83	6	ⅠB	石鏃	1.6	1.0	0.2	0.3	obs
図Ⅲ-23-29	E_1-65-82	164	ⅠB-4	石鏃	2.3	1.0	0.3	0.8	obs
図Ⅲ-23-30	E_1-65-70	4	Ⅰ-3	石鏃	2.7	1.3	0.3	0.8	obs
図Ⅲ-23-31	E_1-65-81	7	Ⅰ-3	石鏃	2.2	1.2	0.3	0.5	obs
図Ⅲ-23-32	E_1-65-73	2	ⅠB表採	石鏃	2.8	1.6	0.5	1.5	obs
図Ⅲ-23-33	E_1-65-51	15	Ⅰ-3	石鏃	2.3	1.6	0.3	0.9	obs
図Ⅲ-23-34	E_1-65-63	43	Tac上面	つまみ付きナイフ	4.0	2.6	0.8	5.6	obs
図Ⅲ-23-35	E_1-65-62	9	ⅠB	ドリル	4.3	1.6	0.6	1.9	Si-Sh
図Ⅲ-23-36	E_1-65-92	44	Ⅰ-4	ドリル	3.5	1.6	0.4	2.6	Aga
図Ⅲ-23-37	E_1-65-62	6	ⅠB	ドリル	3.2	1.7	0.7	3.4	Si-Sh
図Ⅲ-23-38	E_2-65-10	18	Ⅰ-5	ドリル	2.9	2.2	0.8	3.2	obs
図Ⅲ-23-39	E_1-65-92	35	ⅠB撹乱	ドリル	2.5	1.0	0.6	1.0	Si-Sh
図Ⅲ-23-40	E_1-65-91	5	Ⅰ-3	ドリル	2.6	1.1	0.5	0.8	obs
図Ⅲ-23-41	E_1-65-01	206	Ⅰ-5	ドリル	2.8	2.1	0.7	3.2	Si-Sh
図Ⅲ-23-42	E_1-65-81	8	Ⅰ-3	スクレイパー	2.8	1.0	0.5	2.8	Si-Sh
図Ⅲ-23-43	E_1-65-91	10	ⅠB-4	スクレイパー	2.7	1.4	0.8	2.5	obs
図Ⅲ-23-44	E_1-65-61	4	ⅠB撹乱	スクレイパー	5.9	3.6	1.3	27.5	obs
図Ⅲ-23-45	E_1-65-72	16	ⅠB	スクレイパー	5.3	2.8	0.9	18.5	obs
図Ⅲ-23-46	E_1-65-84	10	Tac上面	スクレイパー	5.8	3.2	0.9	18.1	obs
図Ⅲ-23-47	E_1-65-92	24	Ⅰ-5	スクレイパー	4.9	3.1	1.1	15.8	obs
図Ⅲ-23-48	E_1-65-93	14	ⅠB表採	スクレイパー	5.4	2.9	0.8	10.0	obs
図Ⅲ-23-49	E_1-65-61	6	ⅠB撹乱	スクレイパー	7.1	1.9	1.7	25.9	obs
図Ⅲ-24-50	E_1-65-82	8	Ⅰ-3	スクレイパー	(5.2)	4.9	1.0	(23.3)	obs

図番号	グリッド	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅲ-24-51	E_1-65-83	8	IB	スクレイパー	9.3	3.0	9.6	21.3	obs
図Ⅲ-24-52	E_1-65-91	18	I-5	スクレイパー	8.0	3.2	1.4	26.2	obs
図Ⅲ-24-53	E_1-65-51	1	I-1	スクレイパー	4.1	3.4	0.8	13.9	obs
図Ⅲ-24-54	E_1-65-50	3	I-4	スクレイパー	3.6	2.5	0.6	6.8	obs
図Ⅲ-24-55	E_1-65-93	12	IB表採	スクレイパー	6.2	3.7	1.3	21.4	obs
図Ⅲ-24-56	E_1-65-91	22	I-6	スクレイパー	(3.2)	3.0	0.8	(7.8)	obs
図Ⅲ-24-57	E_1-65-82	155	I-6	スクレイパー	4.9	3.5	0.9	7.7	obs
図Ⅲ-24-58	E_1-65-62	13	IB	スクレイパー	4.7	2.8	1.0	14.7	obs
図Ⅲ-24-59	E_1-65-80	7	IB-3	スクレイパー	5.2	4.3	1.2	26.1	Sh
図Ⅲ-24-60	E_1-65-83	14	IB	スクレイパー	4.7	4.0	0.8	8.1	obs
図Ⅲ-24-61	E_1-65-72	14	IB	スクレイパー	3.8	4.7	0.8	10.0	obs
図Ⅲ-24-62	E_1-65-82	2	IB-1	スクレイパー	4.6	5.8	1.2	21.9	obs
図Ⅲ-24-63	E_1-65-84	2	IB	スクレイパー	5.3	3.8	0.7	12.3	obs
図Ⅲ-24-64	E_1-65-51	46	IBフレイク集中	スクレイパー	4.9	3.8	1.3	10.6	obs
図Ⅲ-24-65	E_1-65-82	9	I-3	スクレイパー	4.1	3.6	0.7	15.9	obs
図Ⅲ-24-66	E_2-65-00	2	I-1	スクレイパー	3.3	2.8	0.7	5.3	Si-Sh
図Ⅲ-24-67	E_2-65-02	9	IB-3	スクレイパー	4.4	4.3	0.6	9.7	obs
図Ⅲ-24-68	E_1-65-80	4	IB-3	スクレイパー	4.7	5.8	1.0	28.5	obs
図Ⅲ-25-69	E_1-65-83	9	IB	スクレイパー	2.6	3.8	10.5	9.1	obs
図Ⅲ-25-70	E_1-65-51	8	IB-2	スクレイパー	4.0	5.3	1.6	36.0	Ba
図Ⅲ-25-71	E_2-65-01	211	I-2	スクレイパー	3.1	2.7	0.4	3.7	Si-Sh
図Ⅲ-25-72	E_1-65-61	5	IB撹乱	スクレイパー	3.2	3.2	1.4	12.0	obs
図Ⅲ-25-73	E_2-65-11	11	I-3	スクレイパー	4.5	5.0	1.2	28.6	obs
図Ⅲ-25-74	E_1-65-73	17	IB撹乱	スクレイパー	3.1	3.1	0.7	9.8	obs
図Ⅲ-25-75	E_1-65-83	16	IB	スクレイパー	3.1	3.5	0.6	7.2	obs
図Ⅲ-25-76	E_1-65-83	11	IB	スクレイパー	3.6	2.5	0.8	8.1	obs
図Ⅲ-25-77	E_1-65-83	10	IB	スクレイパー	4.4	4.7	1.3	21.4	obs
図Ⅲ-25-78	E_1-65-64	5	IB	スクレイパー	6.5	3.3	1.6	26.9	obs
図Ⅲ-25-79	E_1-65-93	10	IB表採	両面加工石器	3.1	1.8	0.9	4.7	obs
図Ⅲ-25-80	E_1-65-84	14	Tac上面	両面加工石器	(3.0)	1.3	0.8	(1.9)	obs
図Ⅲ-25-81	E_1-65-73	9	表採	両面加工石器	(5.5)	1.9	1.1	(11.1)	obs
図Ⅲ-25-82	E_1-65-62	15	IB	楔形石器	2.5	1.4	0.9	2.5	obs
図Ⅲ-25-83	E_1-65-51	28	Tac上面	石核	1.9	2.1	1.7	5.8	Si-Sh
図Ⅲ-25-84	E_1-65-91	23	IB-6	石斧	17.0	6.0	3.7	573.0	Gni
図Ⅲ-25-85	E_1-65-83	25	IB	石斧素材	14.8	4.6	2.0	162.2	Gr-Mud
図Ⅲ-26-86	E_1-65-93	18	IB表採	石斧	10.6	3.7	1.5	77.4	Gr-Mud
図Ⅲ-26-87	E_1-65-83	23	IB	石斧	7.9	3.9	1.5	72.6	Gr-Mud
図Ⅲ-26-88	E_1-65-83	27	IB	石斧	7.3	3.7	1.2	51.1	Gr-Mud
図Ⅲ-26-89	E_1-65-73	19	IB撹乱	石斧片	6.4	4.4	1.4	69.6	Gr-Mud
図Ⅲ-26-90	E_1-65-51	9	I-2	石斧未成品	11.6	6.6	3.5	336.3	Gr-Mud
図Ⅲ-26-91	E_1-65-51	10	I-2	石斧未成品	8.9	3.6	1.5	50.5	Gr-Mud
図Ⅲ-26-92	E_1-65-51	17	I-3	石斧未成品	9.6	4.8	1.2	84.9	Gr-Mud
図Ⅲ-26-93	E_1-65-83	24	IB	石斧未成品	(12.2)	7.0	5.2	527.3	Sa
図Ⅲ-27-94	E_1-65-51	3	I-1	石斧素材	26.8	8.2	4.2	1,256.0	Sa
図Ⅲ-27-95	E_1-65-61	7	IB撹乱	石斧未成品	10.7	6.1	2.5	274.7	Mud
図Ⅲ-27-96	E_1-65-90	10	I-4	石斧	13.6	4.7	3.6	350.0	不明
図Ⅲ-28-97	E_1-65-93	19	IB撹乱	石斧未成品	9.4	4.9	1.4	148.6	Gr-Mud
図Ⅲ-28-98	E_1-65-80	10	I-3	石斧素材	12.0	7.0	2.0	288.2	Gni
図Ⅲ-28-99	E_1-65-51	11	I-2	石斧素材	16.7	4.4	1.5	213.3	Sa
図Ⅲ-28-100	E_1-65-83	28	IB	石斧素材	8.5	5.3	1.1	71.5	Gr-Mud

図番号	グリッド	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅲ-28-101	E_1-65-83	26	IB	石斧素材	8.7	4.1	1.1	70.2	Gr-Mud
図Ⅲ-28-102	E_1-65-93	38	IB表採	石斧素材	10.0	7.6	3.1	334.6	Gr-Mud
図Ⅲ-29-103	E_1-65-93	20	IB表採	すり石	5.7	5.4	3.1	193.3	Per?
図Ⅲ-29-104	E_1-65-93	36	IB表採	たたき石	6.8	6.1	1.9	112.2	Sl
図Ⅲ-29-105	E_1-65-93	35	IB表採	たたき石	10.0	6.5	2.5	215.6	Qua
図Ⅲ-29-106	E_1-65-51	18	I-3	たたき石	13.5	11.9	3.0	782.1	Gr-Mud
図Ⅲ-29-107	E_1-65-93	37	IB表採	くぼみ石	13.1	5.2	1.5	151.4	Sa
図Ⅲ-29-108	E_1-65-51	24	IB-3	くぼみ石	14.7	6.2	1.8	295.7	Gni
図Ⅲ-29-109	E_1-65-62	10	IB	くぼみ石	10.4	5.3	2.8	226.4	Sl
図Ⅲ-29-110	E_1-65-61	11	IB撹乱	砥石	11.9	8.7	4.4	372.4	Tu
図Ⅲ-29-111	E_1-65-82	14	IB-3	砥石	140.0	94.0	23.0	307.2	Tu
	E_1-65-82	167	IB-4						
	E_1-65-63	16	Tac上面						
	E_1-65-73	10	表採						
図Ⅲ-29-112	E_1-65-93	21	IB表採	砥石	13.2	10.4	5.5	611.8	Tu
図Ⅲ-29-113	E_1-65-93	22	IB表採	砥石	8.7	7.0	3.0	292.0	Sa
図Ⅲ-29-114	E_1-65-61	10	IB撹乱	砥石片	5.1	5.7	3.2	76.4	Sa
図Ⅲ-29-115	E_1-65-51	16	IB	砥石片	7.8	8.6	4.4	162.4	Tu
図Ⅳ-40-1	E_2-65-04	267	IIB-1	石鏃	1.6	1.4	0.4	0.5	obs
図Ⅳ-40-2	E_2-65-04	137	IIB-1	石鏃	2.2	(1.3)	0.4	(0.7)	obs
図Ⅳ-40-3	E_2-65-00	304	IIB-1	石鏃	2.6	1.6	0.3	0.9	obs
図Ⅳ-40-4	E_2-65-00	208	IIB-1	石鏃	2.3	1.7	2.3	0.6	obs
図Ⅳ-40-5	E_2-65-04	137	IIB-1	石鏃	1.2	1.2	0.3	0.2	Sh
図Ⅳ-40-6	E_2-65-03	105	IIB-1	石鏃	1.6	1.3	0.3	0.3	obs
図Ⅳ-40-7	E_2-65-04	137	IIB-1	石鏃	(2.1)	1.6	0.4	(0.5)	obs
図Ⅳ-40-8	E_2-65-04	137	IIB-1	石鏃	(1.7)	1.1	0.3	(0.3)	obs
図Ⅳ-40-9	E_1-65-93	8	IIB-上面	石鏃	2.1	1.0	0.4	0.4	obs
図Ⅳ-40-10	E_2-65-03	105	IIB-1	石鏃	2.6	1.4	0.3	0.5	obs
図Ⅳ-40-11	E_2-65-04	137	IIB-1	石鏃	1.7	1.2	0.4	0.3	obs
図Ⅳ-40-12	E_2-65-02	235	IIB-1	石鏃	1.6	1.3	0.4	0.5	obs
図Ⅳ-40-13	E_2-65-02	307	IIB-1	石鏃	1.6	1.1	0.3	0.4	obs
図Ⅳ-40-14	E_2-65-02	336	IIB-1	石鏃	1.6	1.1	0.3	0.4	obs
図Ⅳ-40-15	E_2-65-02	307	IIB-1	石鏃	1.5	1.5	0.3	0.5	obs
図Ⅳ-40-16	E_1-65-90	52	IIB-1トレンチ	石鏃	1.7	1.3	0.3	0.4	obs
図Ⅳ-40-17	E_2-65-03	187	IIB-1	石鏃	1.9	1.2	0.4	0.4	obs
図Ⅳ-40-18	E_2-65-01	170	IIB-1	石鏃	2.2	1.2	0.4	0.6	obs
図Ⅳ-40-19	E_2-65-01	193	IIB-1	石鏃	2.1	1.2	0.4	0.6	obs
図Ⅳ-40-20	E_2-65-03	105	IIB-1	石鏃	2.2	1.5	0.4	0.8	obs
図Ⅳ-40-21	E_2-65-03	105	IIB-1	石鏃	2.3	1.3	0.4	0.8	obs
図Ⅳ-40-22	E_2-65-02	307	IIB-1	石鏃	2.4	1.3	0.5	0.8	obs
図Ⅳ-40-23	E_2-65-10	208	IIB-1	石鏃	2.9	1.6	0.4	1.2	obs
図Ⅳ-40-24	E_2-65-10	208	IIB-1	石鏃	2.3	1.6	0.4	0.7	obs
図Ⅳ-40-25	E_2-65-01	170	IIB-1	石鏃	2.6	1.7	0.4	1.1	Sh
図Ⅳ-40-26	E_2-65-00	1037	IIB-1	石鏃	2.8	1.8	0.7	2.2	Sh
図Ⅳ-40-27	E_2-65-04	267	IIB-1	石鏃	2.7	1.4	0.4	0.9	obs
図Ⅳ-40-28	E_2-65-02	307	IIB-1	石鏃	1.5	0.9	0.2	0.2	obs
図Ⅳ-40-29	E_1-65-81	590	IIB-1	石鏃	1.5	0.9	0.3	0.2	obs
図Ⅳ-40-30	E_2-65-10	208	IIB-1	石鏃	1.7	1.3	0.5	0.4	obs
図Ⅳ-40-31	E_2-65-02	307	IIB-1	石鏃	1.9	1.0	0.5	0.7	obs
図Ⅳ-40-32	E_2-65-03	187	IIB-1	石鏃	2.0	1.3	0.3	0.4	Sh

図番号	グリッド	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅳ-40-33	E_2-65-02	235	ⅡB-1	石鏃	2.4	1.3	0.4	0.8	obs
図Ⅳ-40-34	E_2-65-02	307	ⅡB-1	石鏃	2.3	1.5	0.4	0.6	Aga
図Ⅳ-40-35	E_2-65-01	193	ⅡB-1	石鏃	2.4	1.2	0.5	0.9	obs
図Ⅳ-40-36	E_2-65-02	307	ⅡB-1	石鏃	2.4	1.4	0.5	0.4	obs
図Ⅳ-40-37	E_2-65-02	336	ⅡB-1	石鏃	2.5	1.5	0.4	1.1	obs
図Ⅳ-40-38	E_2-65-01	170	ⅡB-1	石鏃	3.1	1.6	0.6	2.2	Sh
図Ⅳ-40-39	E_2-65-01	170	ⅡB-1	石鏃	2.6	1.7	0.5	1.5	obs
図Ⅳ-40-40	E_2-65-01	193	ⅡB-1	石鏃	2.8	1.4	0.4	0.8	obs
図Ⅳ-40-41	E_2-65-10	207	ⅡB-1	石鏃	2.2	1.1	0.4	0.6	obs
図Ⅳ-40-42	E_2-65-00	1052	ⅡB-1	石鏃	4.1	1.8	0.6	2.5	obs
図Ⅳ-40-43	E_2-65-00	1037	ⅡB-1	石鏃	4.6	1.7	0.5	2.9	Sh
図Ⅳ-40-44	E_2-65-10	207	ⅡB-1	石鏃	3.7	1.7	0.3	1.2	obs
図Ⅳ-40-45	E_2-65-01	170	ⅡB-1	石鏃	1.9	0.9	0.4	0.4	obs
図Ⅳ-40-46	E_2-65-01	193	ⅡB-1	石鏃	2.2	1.2	5.0	0.9	obs
図Ⅳ-40-47	E_2-65-03	32	ⅡB-1	石鏃	2.6	1.3	0.4	0.9	obs
図Ⅳ-40-48	E_2-65-02	336	ⅡB-1	石鏃	3.3	1.6	0.5	1.2	obs
図Ⅳ-40-49	E_1-65-80	91	ⅡB-1	石鏃	3.0	1.4	0.5	1.1	obs
図Ⅳ-40-50	E_2-65-03	187	ⅡB-1	石鏃	3.2	1.3	0.5	1.2	Si-Sh
図Ⅳ-40-51	E_2-65-00	1052	ⅡB-1	石鏃	2.5	1.3	0.4	1.0	Sh
図Ⅳ-40-52	E_2-65-01	193	ⅡB-1	石鏃	2.8	1.3	0.5	1.2	Si-Sh
図Ⅳ-40-53	E_2-65-03	187	ⅡB-1	石鏃	2.6	1.3	0.4	0.7	obs
図Ⅳ-40-54	E_2-65-10	184	ⅡB-1	石鏃	3.1	1.5	0.5	1.2	Sh
図Ⅳ-40-55	E_2-65-01	170	ⅡB-1	石鏃	3.2	1.6	0.5	1.0	obs
図Ⅳ-40-56	E_2-65-01	193	ⅡB-1	石鏃	3.5	1.3	0.5	1.8	Aga
図Ⅳ-40-57	E_2-65-00	167	ⅡB-1	石鏃	2.9	1.1	0.4	1.0	Si-Sh
図Ⅳ-40-58	E_2-65-03	105	ⅡB-1	石鏃	3.5	1.2	0.5	1.0	obs
図Ⅳ-40-59	E_2-65-00	167	ⅡB-1	石鏃	3.2	1.3	0.4	0.9	obs
図Ⅳ-40-60	E_2-65-02	506	ⅡB-1	ポイント又はナイフ	4.6	1.9	0.5	3.9	obs
図Ⅳ-40-61	E_2-65-04	229	ⅡB-1	ドリル	1.5	0.6	0.3	0.1	Si-Sh
図Ⅳ-40-62	E_2-65-03	182	ⅡB-1	ドリル	0.3	0.7	0.6	0.9	obs
図Ⅳ-40-63	E_2-65-01	174	ⅡB-1	ドリル	5.4	1.2	0.6	4.3	Sh
図Ⅳ-40-64	E_2-65-02	311	ⅡB-1	ドリル	4.4	1.3	0.6	2.2	Sh
図Ⅳ-40-65	E_2-65-01	194	ⅡB-1	ドリル	4.7	2.0	0.6	2.6	Si-Sh
図Ⅳ-40-66	E_2-65-03	182	ⅡB-1	ドリル	4.0	1.8	0.7	2.1	Sh
図Ⅳ-40-67	E_2-65-10	212	ⅡB-1	ドリル	3.9	1.6	0.6	1.8	Si-Sh
図Ⅳ-41-68	E_2-65-13	184	ⅡB-1	ドリル	3.6	1.7	0.5	1.4	Si-Sh
図Ⅳ-41-69	E_2-65-03	182	ⅡB-1	ドリル	4.6	1.5	0.6	2.3	Si-Sh
図Ⅳ-41-70	E_2-65-03	106	ⅡB-1	ドリル	4.6	2.0	0.9	5.5	Si-Sh
図Ⅳ-41-71	E_2-65-13	184	ⅡB-1	ドリル	3.0	1.5	0.6	1.7	Si-Sh
図Ⅳ-41-72	E_2-65-03	182	ⅡB-1	ドリル	1.4	0.9	0.4	0.3	obs
図Ⅳ-41-73	E_2-65-03	182	ⅡB-1	ドリル	3.7	1.3	0.9	2.2	obs
図Ⅳ-41-74	E_2-65-02	311	ⅡB-1	ドリル	2.9	1.5	0.5	1.9	Si-Sh
図Ⅳ-41-75	E_2-65-00	841	ⅡB-1	ドリル	2.7	1.3	0.7	1.7	Si-Sh
図Ⅳ-41-76	E_2-65-03	182	ⅡB-1	ドリル	5.6	2.7	1.0	10.3	obs
図Ⅳ-41-77	E_2-65-01	1032	ⅡB-1	ドリル	2.7	1.6	0.8	2.5	Si-Sh
図Ⅳ-41-78	E_2-65-01	194	ⅡB-1	ドリル	3.3	1.7	0.7	3.1	Si-Sh
図Ⅳ-41-79	E_2-65-01	1032	ⅡB-1	ドリル	3.8	1.5	1.0	3.9	Aga-Sh
図Ⅳ-41-80	E_2-65-03	150	ⅡB-1	ドリル	3.4	1.6	1.2	5.6	Si-Sh
図Ⅳ-41-81	E_2-65-03	182	ⅡB-1	ドリル	2.2	2.2	0.7	1.8	Si-Sh
図Ⅳ-41-82	E_2-65-00	927	ⅡB-1	ドリル	2.1	2.8	1.0	3.2	Si-Sh

図番号	グリッド	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅳ-41-83	E_2-65-10	262	ⅡB-1	ドリル	2.5	1.9	0.5	2.2	Si-Sh
図Ⅳ-41-84	E_2-65-02	311	ⅡB-1	ドリル	2.7	2.2	0.9	3.9	Si-Sh
図Ⅳ-41-85	E_2-65-00	262	ⅡB-1	ドリル	3.6	3.3	1.2	1.9	Si-Sh
図Ⅳ-41-86	E_2-65-00	170	ⅡB-1	ドリル	2.7	2.4	0.8	5.1	Si-Sh
図Ⅳ-41-87	E_2-65-03	107	ⅡB-1	ドリル	3.2	2.2	0.6	3.0	obs
図Ⅳ-41-88	E_2-65-03	107	ⅡB-1	ドリル	3.4	2.1	1.0	3.5	obs
図Ⅳ-41-89	E_2-65-00	2334	ⅡB-1	ドリル	4.6	2.3	0.9	7.9	Si-Sh
図Ⅳ-41-90	E_2-65-00	2333	ⅡB-1	ドリル	4.6	2.5	1.0	7.9	Si-Sh
図Ⅳ-41-91	E_2-65-00	407	ⅡB-1	ドリル	4.6	2.7	0.7	8.3	Si-Sh
図Ⅳ-41-92	E_2-65-00	262	ⅡB-1	ドリル	3.6	3.3	1.1	1.9	obs
図Ⅳ-41-93	E_2-65-10	209	ⅡB-1	ドリル	3.3	3.0	0.6	4.5	obs
図Ⅳ-41-94	E_2-65-00	935	ⅡB-1	ドリル	2.1	2.8	0.7	2.4	Si-Sh
図Ⅳ-41-95	E_2-65-02	311	ⅡB-1	ドリル	2.4	2.4	0.4	1.8	obs
図Ⅳ-41-96	E_2-65-01	194	ⅡB-1	ドリル	2.0	2.0	0.7	1.9	Si-Sh
図Ⅳ-41-97	E_2-65-03	182	ⅡB-1	ドリル	1.7	1.5	0.7	1.3	obs
図Ⅳ-41-98	E_2-65-05	217	ⅡB-1	つまみ付きナイフ	7.8	3.1	1.4	25.9	obs
図Ⅳ-41-99	E_2-65-00	775	ⅡB-1	つまみ付きナイフ	5.0	3.4	1.3	17.9	Aga-Sh
図Ⅳ-41-100	E_2-65-01	996	ⅡB-1	つまみ付きナイフ	5.1	3.5	0.6	15.8	Si-Sh
図Ⅳ-41-101	E_2-65-01	192	ⅡB-1	つまみ付きナイフ	5.7	3.0	0.5	7.9	obs
図Ⅳ-41-102	E_2-65-00	1038	ⅡB-1	つまみ付きナイフ	4.8	2.6	1.0	8.7	obs
図Ⅳ-41-103	E_2-65-04	124	ⅡB-1	つまみ付きナイフ	7.7	5.2	1.3	38.5	Si-Sh
図Ⅳ-41-104	E_2-65-02	339	ⅡB-1	つまみ付きナイフ	6.6	2.6	1.0	13.3	Si-Sh
図Ⅳ-42-105	E_2-65-00	261	ⅡB-1	つまみ付きナイフ	4.9	1.9	0.7	4.3	obs
図Ⅳ-42-106	E_1-65-90	416	ⅡB-1	つまみ付きナイフ	6.3	3.6	5.4	8.8	obs
図Ⅳ-42-107	E_2-65-01	173	ⅡB-1	つまみ付きナイフ	5.8	2.6	0.7	6.5	Si-Sh
図Ⅳ-42-108	E_2-65-01	192	ⅡB-1	つまみ付きナイフ	4.0	5.2	0.8	12.6	obs
図Ⅳ-42-109	E_2-65-11	530	ⅡB-1	つまみ付きナイフ	7.0	4.7	2.1	57.6	Si-Sh
図Ⅳ-42-110	E_2-65-11	498	ⅡB-1	スクレイパー	7.0	4.3	1.0	30.5	Si-Sh
図Ⅳ-42-111	E_2-65-00	363	ⅡB-1	スクレイパー	4.6	2.4	1.1	7.7	obs
図Ⅳ-42-112	E_2-65-03	14	ⅡB-上面	スクレイパー	4.9	2.7	1.0	10.6	Sh
図Ⅳ-42-113	E_1-65-91	9	ⅡB-上面	スクレイパー	6.6	3.9	0.8	15.6	obs
図Ⅳ-42-114	E_2-65-00	405	ⅡB-1	スクレイパー	5.1	2.9	0.8	10.4	obs
図Ⅳ-42-115	E_2-65-01	230	ⅡB-1	スクレイパー	7.1	6.1	1.7	68.0	obs
図Ⅳ-42-116	E_2-65-00	993-100	ⅡB-1	スクレイパー	5.0	3.0	0.9	13.9	Si-Sh
図Ⅳ-42-117	E_2-65-03	189	ⅡB-1	スクレイパー	3.9	7.0	1.0	21.9	obs
図Ⅳ-42-118	E_2-65-03	115	ⅡB-1	スクレイパー	8.1	4.0	1.2	28.7	Si-Sh
図Ⅳ-42-119	E_1-65-90	413	ⅡB-1	スクレイパー	2.3	2.6	1.0	5.8	obs
図Ⅳ-42-120	E_2-65-02	236	ⅡB-1	スクレイパー	3.0	3.2	1.1	12.7	Sh
図Ⅳ-42-121	E_2-65-03	115	ⅡB-上面	スクレイパー	6.7	1.9	1.1	15.4	Si-Sh
図Ⅳ-42-122	E_2-65-01	230	ⅡB-1	スクレイパー	5.8	3.3	1.6	27.0	Si-Sh
図Ⅳ-42-123	E_2-65-03	115	ⅡB-1	スクレイパー	2.8	1.8	0.9	4.2	obs
図Ⅳ-42-124	E_1-65-80	559	ⅡB-1	両面加工石器	1.7	3.1	1.0	4.8	obs
図Ⅳ-42-125	E_1-65-80	364	ⅡB-1	両面加工石器	2.7	1.9	1.3	5.4	Sh
図Ⅳ-42-126	E_2-65-03	306	ⅡB-1	両面加工石器	2.6	2.2	3.4	14.0	Aga-Sh
図Ⅳ-42-127	E_1-65-80	572	ⅡB-1	楔形石器	3.3	3.5	5.7	5.1	obs
図Ⅳ-42-128	E_2-65-10	385	ⅡB-1	石核	2.3	2.0	0.7	2.7	obs
図Ⅳ-43-129	E_1-65-81	363	ⅡB-1	石斧	6.5	3.5	0.7	29.5	Gr-Mud
図Ⅳ-43-130	E_2-65-04	503	ⅡB-1焼土	石斧	5.6	3.0	1.1	28.6	Gr-Mud
図Ⅳ-43-131	E_2-65-11	423	ⅡB-1	石斧	6.4	4.7	1.8	72.1	Gr-Mud
図Ⅳ-43-132	E_2-65-01	999	ⅡB-1	石斧	7.3	3.8	1.1	40.8	Gr-Mud

図番号	グリッド	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅳ-43-133	E2-65-00	553-18	ⅡB-1	石斧	7.3	3.7	1.0	49.4	Gr-Mud
図Ⅳ-43-134	E2-65-00	888-88	ⅡB-1	石斧	8.0	3.3	1.1	43.1	Gr-Mud
図Ⅳ-43-135	E2-65-10	262	ⅡB-1	石斧	7.4	2.9	1.0	39.2	Sch
図Ⅳ-43-136	E2-65-10	441	ⅡB-1	石斧	5.6	4.1	1.1	40.9	Gr-Mud
図Ⅳ-43-137	E2-65-04	45	ⅡB-1	石斧	5.8	3.6	0.8	2.2	Gr-Mud
図Ⅳ-43-138	E2-65-01	172	ⅡB-1	石斧	5.4	5.3	1.5	6.1	Gr-Mud
図Ⅳ-43-139	E2-65-00	792-76	ⅡB-1	石斧	4.6	4.0	1.3	35.4	Gr-Mud
図Ⅳ-43-140	E1-65-81	247	ⅡB-1	石斧	5.8	5.1	14.9	68.2	Gr-Mud
図Ⅳ-43-141	E2-65-13	190	ⅡB-1	石斧	9.5	5.4	2.7	241.6	Gr-Mud
図Ⅳ-43-142	E1-65-90	228	ⅡB-1	石斧	7.0	1.7	0.8	9.4	Si-Sh
図Ⅳ-44-143	E2-65-10	406	ⅡB-1	石斧未成品	12.4	5.7	3.5	390.4	Gr-Mud
図Ⅳ-44-144	E2-65-00	267	ⅡB-1	石斧未成品	14.1	5.2	4.3	38.6	Gr-Mud
図Ⅳ-44-145	E2-65-04	33	ⅡB-1	石斧未成品	7.8	4.7	2.1	100.3	Gr-Mud
図Ⅳ-44-146	E2-65-00	173	ⅡB-1	石斧未成品	10.0	5.6	1.3	88.3	Gr-Mud
図Ⅳ-44-147	E2-65-00	267	ⅡB-1	石斧未成品	8.4	4.4	1.3	66.6	Gr-Mud
図Ⅳ-44-148	E2-65-00	512-15	ⅡB-1	石斧未成品	13.0	6.4	3.6	30.0	Gr-Mud
図Ⅳ-44-149	E2-65-00	609-36	ⅡB-1	石斧素材	12.5	6.0	2.4	270.0	Gr-Mud
図Ⅳ-45-150	E2-65-04	502	ⅡB-1焼土	北海道式石冠片	7.6	5.2	3.0	11.5	Sa
図Ⅳ-45-151	E1-65-90	225	ⅡB-1	北海道式石冠片	8.4	2.6	4.1	8.6	Sa
図Ⅳ-45-152	E1-65-90	419	ⅡB-1	すり石	7.2	12.6	2.5	342.0	Gni
図Ⅳ-45-153	E1-65-81	649	ⅡB-1	すり石	4.9	5.8	5.0	205.0	Qua
図Ⅳ-45-154	E2-65-00	602	ⅡB-1	すり石	6.5	8.8	4.8	367.2	And
図Ⅳ-45-155	E1-65-81	649	ⅡB-1	すり石	5.9	4.3	3.9	175.3	Gni
図Ⅳ-45-156	E2-65-01	1036	ⅡB-1	たたき石	6.1	5.7	4.9	244.0	Qua
図Ⅳ-45-157	E2-65-04	165	ⅡB-1	たたき石	5.2	5.3	3.8	131.2	And
図Ⅳ-45-158	E2-65-04	128	ⅡB-1	たたき石	4.3	3.8	3.7	103.7	Gr-Mud
図Ⅳ-45-159	E2-65-10	386	ⅡB-1	たたき石	5.0	5.7	4.3	178.2	Qua
図Ⅳ-45-160	E2-65-13	194	ⅡB-1	たたき石	4.7	5.3	4.3	147.4	Qua
図Ⅳ-45-161	E1-65-81	657	ⅡB-1	たたき石	6.8	5.0	3.2	177.1	And
図Ⅳ-45-162	E1-65-81	657	ⅡB-1	たたき石	5.2	4.1	3.5	71.6	Gni
図Ⅳ-45-163	E1-65-81	657	ⅡB-1	たたき石	10.5	6.3	3.2	398.4	Gr-Mud
図Ⅳ-45-164	E2-65-03	349	ⅡB-1	くぼみ石	12.5	5.3	2.4	249.8	Sa
図Ⅳ-45-165	E2-65-04	507	ⅡB-1	石錯	5.5	5.6	0.6	16.4	Tu
図Ⅳ-45-166	E1-65-80	612	ⅡB-1	石錯	4.5	5.7	0.7	20.3	Sa
図Ⅳ-45-167	E1-65-90	415	ⅡB-1	砥石	8.1	14.6	2.5	463.0	Sa
図Ⅳ-45-168	E2-65-00	978-98	ⅡB-1	砥石	11.9	8.4	2.4	236.7	Sa
図Ⅳ-45-169	E2-65-03	188	ⅡB-1	砥石	8.0	4.8	3.2	145.5	Sa
図Ⅳ-45-170	E1-65-83	24	Ⅱ-1トレンチ	矢柄研磨器	3.7	5.5	1.3	4.6	軽石
図Ⅳ-45-171	E2-65-04	236	ⅡB-1	台石	15.2	13.7	13.6	2,655.0	Sa
図Ⅳ-45-172	E2-65-03	351	覆土	台石	23.2	23.8	8.5	5,971.1	And
図Ⅳ-70-1	E2-65-04	413	ⅡB-2	石鏃	1.7	1.5	0.3	0.4	obs
図Ⅳ-70-2	E2-65-04	413	ⅡB-2	石鏃	1.7	1.5	0.3	0.4	obs
図Ⅳ-70-3	E2-65-01	1264	ⅡB-2	石鏃	2.4	1.9	0.4	1.3	obs
図Ⅳ-70-4	E2-65-10	1210	ⅡB-2	石鏃	3.2	1.7	0.5	1.8	obs
図Ⅳ-70-5	E2-65-01	660	ⅡB-2	石鏃	3.1	1.0	0.5	1.2	obs
図Ⅳ-70-6	E2-65-04	333	ⅡB-2	石鏃	1.7	1.0	0.3	0.3	obs
図Ⅳ-70-7	E2-65-04	333	ⅡB-2	石鏃	1.7	1.0	0.4	0.5	obs
図Ⅳ-70-8	E2-65-01	1285	ⅡB-2	石鏃	1.8	1.5	0.3	0.6	obs
図Ⅳ-70-9	E2-65-01	959	ⅡB-2	石鏃	3.1	1.4	0.5	1.1	obs
図Ⅳ-70-10	E2-65-01	566	ⅡB-2	石鏃	3.2	1.4	0.3	0.8	obs

図番号	グリッド	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅳ-70-11	E_2-65-00	1262	ⅡB-2	石鏃	1.6	1.2	0.3	0.3	obs
図Ⅳ-70-12	E_2-65-01	417	ⅡB-2	石鏃	1.6	1.4	0.4	0.4	obs
図Ⅳ-70-13	E_2-65-02	751	ⅡB-2	石鏃	1.9	1.1	0.3	0.5	obs
図Ⅳ-70-14	E_2-65-02	751	ⅡB-2	石鏃	2.0	1.3	0.4	0.6	obs
図Ⅳ-70-15	E_2-65-01	1285	ⅡB-2	石鏃	1.9	1.4	0.4	0.6	obs
図Ⅳ-70-16	E_2-65-01	1285	ⅡB-2	石鏃	2.1	1.4	0.4	0.9	obs
図Ⅳ-70-17	E_2-65-02	1010	ⅡB-2	石鏃	2.3	1.4	0.4	0.7	obs
図Ⅳ-70-18	E_2-65-02	751	ⅡB-2	石鏃	2.8	1.8	0.4	1.3	Si-Sh
図Ⅳ-70-19	E_2-65-01	1285	ⅡB-2	石鏃	2.9	1.7	0.5	1.7	Si-Sh
図Ⅳ-70-20	E_2-65-01	566	ⅡB-2	石鏃	3.6	1.5	0.4	1.1	obs
図Ⅳ-70-21	E_2-65-01	1174	ⅡB-2	石鏃	3.3	1.5	0.4	1.1	obs
図Ⅳ-70-22	E_2-65-01	1174	ⅡB-2	石鏃	3.3	1.5	0.4	1.3	obs
図Ⅳ-70-23	E_2-65-00	1464	ⅡB-2	石鏃	2.9	1.4	0.4	1.0	obs
図Ⅳ-70-24	E_2-65-01	566	ⅡB-2	石鏃	3.5	1.5	0.5	1.1	obs
図Ⅳ-70-25	E_2-65-00	1602	ⅡB-2	石鏃	3.6	1.8	0.6	1.7	obs
図Ⅳ-70-26	E_2-65-00	1185	ⅡB-2	石鏃	3.7	185.0	0.7	2.7	Si-Sh
図Ⅳ-70-27	E_2-65-01	566	ⅡB-2	石鏃	3.5	1.5	0.5	1.1	obs
図Ⅳ-70-28	E_2-65-01	1174	ⅡB-2	石鏃	3.5	1.4	0.4	1.4	obs
図Ⅳ-70-29	E_2-65-01	1174	ⅡB-2	石鏃	2.9	1.3	0.3	0.7	obs
図Ⅳ-70-30	E_2-65-01	660	ⅡB-2	石鏃	2.5	1.2	0.5	0.8	obs
図Ⅳ-70-31	E_2-65-01	1174	ⅡB-2	石鏃	2.9	1.7	0.7	1.8	obs
図Ⅳ-70-32	E_2-65-02	1010	ⅡB-2	石鏃	3.0	1.7	0.8	1.9	obs
図Ⅳ-70-33	E_2-65-01	887	ⅡB-2	石鏃	3.2	1.6	0.6	1.6	obs
図Ⅳ-70-34	E_2-65-02	1010	ⅡB-2	石鏃	3.2	1.7	0.8	1.7	obs
図Ⅳ-70-35	E_2-65-01	887	ⅡB-2	石鏃	3.0	1.3	0.5	1.1	obs
図Ⅳ-70-36	E_2-65-02	1010	ⅡB-2	石鏃	2.5	1.3	0.5	0.8	obs
図Ⅳ-70-37	E_2-65-01	417	ⅡB-2	石鏃	2.3	1.2	0.4	0.7	obs
図Ⅳ-70-38	E_2-65-00	1262	ⅡB-2	石鏃	2.8	1.4	0.4	0.8	obs
図Ⅳ-70-39	E_2-65-02	751	ⅡB-2	石鏃	2.9	1.2	0.4	0.8	Si-Sh
図Ⅳ-70-40	E_2-65-01	959	ⅡB-2	石鏃	3.3	1.4	0.5	1.2	obs
図Ⅳ-70-41	E_2-65-04	382	ⅡB-2	石鏃	3.4	1.4	0.4	1.3	obs
図Ⅳ-70-42	E_2-65-01	959	ⅡB-2	石鏃	3.6	1.7	0.5	1.7	obs
図Ⅳ-70-43	E_2-65-01	419	ⅡB-2	ポイント又はナイフ	5.8	2.1	7.6	6.3	obs
図Ⅳ-70-44	E_2-65-12	407	ⅡB-2	ポイント又はナイフ	4.9	2.2	1.2	9.8	Si-Sh
図Ⅳ-70-45	E_2-65-00	1187	ⅡB-2	ドリル	2.0	1.1	0.5	0.9	Si-Sh
図Ⅳ-70-46	E_2-65-01	661	ⅡB-2	ドリル	3.0	0.9	0.7	1.3	obs
図Ⅳ-70-47	E_2-65-01	1286	ⅡB-2	ドリル	3.6	1.0	0.6	2.1	Si-Sh
図Ⅳ-70-48	E_2-65-01	861	ⅡB-2	ドリル	3.6	1.0	0.8	2.4	Si-Sh
図Ⅳ-70-49	E_2-65-02	752	ⅡB-2	ドリル	3.1	1.1	0.8	2.8	Si-Sh
図Ⅳ-70-50	E_2-65-01	1175	ⅡB-2	ドリル	4.9	1.2	0.7	2.1	Si-Sh
図Ⅳ-70-51	E_2-65-01	568	ⅡB-2	ドリル	3.1	2.2	0.5	1.5	Si-Sh
図Ⅳ-70-52	E_1-65-90	581	ⅡB-2中層	ドリル	3.6	2.4	0.4	1.4	Si-Sh
図Ⅳ-70-53	E_2-65-10	651	ⅡB-2	ドリル	3.8	3.0	1.0	7.8	Si-Sh
図Ⅳ-70-54	E_2-65-01	273	ⅡB-2	ドリル	2.7	1.0	0.6	1.7	Aga
図Ⅳ-70-55	E_1-65-81	868	ⅡB-2	ドリル	2.2	1.3	0.3	0.7	obs
図Ⅳ-70-56	E_2-65-01	418	ⅡB-2	ドリル	3.4	1.8	0.4	2.0	Si-Sh
図Ⅳ-70-57	E_2-65-00	1187	ⅡB-2	ドリル	3.2	1.5	0.8	3.4	Si-Sh
図Ⅳ-70-58	E_2-65-02	688	ⅡB-2	ドリル	3.5	2.6	0.8	6.3	Si-Sh
図Ⅳ-70-59	E_1-65-90	659	ⅡB-2	ドリル	4.8	1.9	8.5	5.5	Si-Sh
図Ⅳ-71-60	E_2-65-01	729	ⅡB-2	ドリル	6.5	2.8	1.9	20.8	Si-Sh

図番号	グリッド	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅳ-71-61	E_2-65-02	824	ⅡB-2	ドリル	4.0	2.2	1.0	8.0	Si-Sh
図Ⅳ-71-62	E_2-65-00	1258	ⅡB-2	ドリル	2.5	1.6	1.1	3.5	Aga-Sh
図Ⅳ-71-63	E_2-65-12	870	Ⅱ-3トレンチ	ドリル	2.1	1.6	0.6	1.7	obs
図Ⅳ-71-64	E_2-65-01	1332	ⅡB-2	ドリル	2.9	1.9	0.8	3.7	Si-Sh
図Ⅳ-71-65	E_2-65-12	87	ⅡB-2	ドリル	3.3	2.1	0.5	2.5	Si-Sh
図Ⅳ-71-66	E_2-65-00	1610	ⅡB-2	ドリル	1.8	1.6	0.5	0.9	obs
図Ⅳ-71-67	E_2-65-10	785	ⅡB-2	ドリル	(2.4)	1.9	0.4	(1.1)	obs
図Ⅳ-71-68	E_2-65-01	785	ⅡB-2	ドリル	2.3	1.3	0.5	1.2	obs
図Ⅳ-71-69	E_2-65-01	418	ⅡB-2	ドリル	2.7	2.5	0.6	2.4	obs
図Ⅳ-71-70	E_2-65-10	556	ⅡB-2	ドリル	3.1	2.5	0.6	4.1	obs
図Ⅳ-71-71	E_2-65-02	752	ⅡB-2	ドリル	3.6	2.3	0.7	3.8	Qua
図Ⅳ-71-72	E_2-65-10	785	ⅡB-2	ドリル	5.7	3.5	1.1	15.1	Qua
図Ⅳ-71-73	E_2-65-01	760	ⅡB-2	ドリル	4.5	3.9	1.0	15.6	Si-Sh
図Ⅳ-71-74	E_2-65-10	568	ⅡB-2	ドリル	4.8	2.7	0.7	7.5	Si-Sh
図Ⅳ-71-75	E_2-65-02	1008	ⅡB-2	ドリル	3.3	1.7	0.9	3.7	Si-Sh
図Ⅳ-71-76	E_2-65-10	785	ⅡB-2	ドリル	2.8	1.2	0.6	1.5	obs
図Ⅳ-71-77	E_2-65-02	752	ⅡB-2	ドリル	1.8	1.0	0.5	0.9	obs
図Ⅳ-71-78	E_2-65-10	1220	ⅡB-2	つまみ付きナイフ	5.8	2.9	1.1	15.5	obs
図Ⅳ-71-79	E_2-65-01	860	ⅡB-2	つまみ付きナイフ	8.9	2.2	0.9	17.9	Si-Sh
図Ⅳ-71-80	E_2-65-10	487	ⅡB-2	つまみ付きナイフ	6.6	2.5	1.0	10.1	obs
図Ⅳ-71-81	E_2-65-00	1268	ⅡB-2	つまみ付きナイフ	7.0	2.7	0.9	19.3	obs
図Ⅳ-71-82	E_2-65-00	1465	ⅡB-2	つまみ付きナイフ	5.8	2.6	0.9	11.4	obs
図Ⅳ-71-83	E_2-65-02	825	ⅡB-2	つまみ付きナイフ	5.6	2.9	1.1	8.0	obs
図Ⅳ-71-84	E_2-65-01	1176	ⅡB-2	つまみ付きナイフ	6.5	3.0	0.5	8.2	Si-Sh
図Ⅳ-71-85	E_2-65-10	1202	ⅡB-2	つまみ付きナイフ	5.0	1.1	0.5	2.3	obs
図Ⅳ-71-86	E_2-65-10	487	ⅡB-2	つまみ付きナイフ	3.4	2.1	7.4	4.8	Si-Sh
図Ⅳ-71-87	E_2-65-00	1604	ⅡB-2	つまみ付きナイフ	6.2	2.9	1.0	12.0	obs
図Ⅳ-71-88	E_2-65-00	1220	ⅡB-2	つまみ付きナイフ	5.6	5.6	1.2	21.0	obs
図Ⅳ-71-89	E_2-65-00	1272	ⅡB-2	つまみ付きナイフ	3.2	2.7	0.9	5.9	Si-Sh
図Ⅳ-72-90	E_1-65-80	623	ⅡB-2上層	スクレイパー	6.5	3.3	1.0	19.7	obs
図Ⅳ-72-91	E_2-65-00	1190	ⅡB-2	スクレイパー	3.1	2.4	1.1	8.0	obs
図Ⅳ-72-92	E_2-65-13	256	ⅡB-2	スクレイパー	6.9	4.1	2.0	60.0	Si-Sh
図Ⅳ-72-93	E_2-65-10	1465	ⅡB-2	スクレイパー	6.9	3.8	1.0	23.1	obs
図Ⅳ-72-94	E_2-65-01	609	ⅡB-2	スクレイパー	5.3	5.2	1.3	27.0	obs
図Ⅳ-72-95	E_2-65-00	1466	ⅡB-2	スクレイパー	3.5	3.6	1.1	17.4	Si-Sh
図Ⅳ-72-96	E_2-65-02	1094	ⅡB-2	スクレイパー	(5.3)	4.4	0.9	(18)	obs
図Ⅳ-72-97	E_2-65-03	442	ⅡB-2	スクレイパー	5.0	3.6	7.5	11.0	Si-Sh
図Ⅳ-72-98	E_2-65-03	442	ⅡB-2	スクレイパー	6.5	3.0	8.8	11.8	obs
図Ⅳ-72-99	E_2-65-00	1190	ⅡB-2	スクレイパー	4.8	3.5	1.4	19.5	obs
図Ⅳ-72-100	E_2-65-00	1190	ⅡB-2	スクレイパー	3.3	3.1	1.1	8.5	obs
図Ⅳ-72-101	E_2-65-12	618	ⅡB-2	スクレイパー	4.4	2.5	6.6	4.1	Si-Sh
図Ⅳ-72-102	E_2-65-10	92	Ⅱ-6トレンチ	スクレイパー	5.7	3.7	1.3	23.7	obs
図Ⅳ-72-103	E_2-65-00	1466	ⅡB-2	スクレイパー	5.2	4.9	1.2	20.0	Si-Sh
図Ⅳ-72-104	E_2-65-01	1292	ⅡB-2	スクレイパー	8.0	4.1	1.1	20.1	Si-Sh
図Ⅳ-72-105	E_2-65-00	1190	ⅡB-2	スクレイパー	5.1	2.5	0.8	8.6	Si-Sh
図Ⅳ-72-106	E_2-65-10	92	Ⅱ-6トレンチ	スクレイパー	6.0	3.0	1.0	16.2	obs
図Ⅳ-72-107	E_2-65-01	662	ⅡB-2	スクレイパー	4.6	4.1	0.6	16.8	Si-Sh
図Ⅳ-72-108	E_2-65-02	823	ⅡB-2	スクレイパー	5.9	2.7	0.7	11.8	Si-Sh
図Ⅳ-72-109	E_2-65-10	1219	ⅡB-2	スクレイパー	6.9	2.9	0.8	14.1	obs
図Ⅳ-72-110	E_2-65-01	662	ⅡB-2	スクレイパー	5.4	3.3	0.6	11.4	Si-Sh

図番号	グリッド	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅳ-72-111	E2-65-02	948	ⅡB-2	スクレイパー	7.0	5.5	1.3	34.2	obs
図Ⅳ-72-112	E2-65-00	1466	ⅡB-2	スクレイパー	2.8	1.5	0.7	2.6	obs
図Ⅳ-73-113	E2-65-12	657	ⅡB-2	スクレイパー	(6.1)	(9.5)	(1.0)	(66.0)	Si-Sh
図Ⅳ-73-114	E2-65-00	1190	ⅡB-2	スクレイパー	3.2	5.2	0.9	10.2	obs
図Ⅳ-73-115	E2-65-01	1177	ⅡB-2	スクレイパー	4.4	(5.7)	0.7	(14.3)	obs
図Ⅳ-73-116	E2-65-01	1288	ⅡB-2	スクレイパー	5.1	5.0	0.9	23.9	Aga
図Ⅳ-73-117	E2-65-00	1273	ⅡB-2	スクレイパー	3.9	5.1	0.9	16.5	obs
図Ⅳ-73-118	E2-65-10	1465	ⅡB-2	スクレイパー	7.2	3.7	1.2	22.4	Sh
図Ⅳ-73-119	E2-65-02	758	ⅡB-2	スクレイパー	4.1	5.6	0.6	12.9	Si-Sh
図Ⅳ-73-120	E2-65-00	1190	ⅡB-2	スクレイパー	4.8	8.7	0.8	36.5	obs
図Ⅳ-73-121	E2-65-00	1466	ⅡB-2	スクレイパー	3.2	3.9	0.8	15.2	Sh
図Ⅳ-73-122	E2-65-00	1190	ⅡB-2	スクレイパー	4.2	2.6	0.7	6.9	obs
図Ⅳ-73-123	E2-65-00	1603	ⅡB-2	スクレイパー	2.3	1.6	0.6	1.8	obs
図Ⅳ-73-124	E2-65-02	948	ⅡB-2	スクレイパー	3.4	1.6	0.7	3.1	obs
図Ⅳ-73-125	E2-65-11	896	ⅡB-2	スクレイパー	2.8	2.2	0.6	3.2	Si-Sh
図Ⅳ-73-126	E2-65-02	826	ⅡB-2	スクレイパー	1.9	1.9	0.9	4.2	obs
図Ⅳ-73-127	E2-65-10	786	ⅡB-2	両面加工石器	3.3	2.0	1.1	6.9	obs
図Ⅳ-73-128	E2-65-10	1211	ⅡB-2	両面加工石器	3.6	2.3	0.9	6.1	obs
図Ⅳ-73-129	E2-65-10	1211	ⅡB-2	両面加工石器	4.1	2.2	0.7	6.0	obs
図Ⅳ-73-130	E2-65-01	1588	ⅡB-2	両面加工石器	4.2	2.6	1.4	11.7	Si-Sh
図Ⅳ-73-131	E1-65-81	897	ⅡB-2	楔形石器	2.6	1.4	0.8	2.2	obs
図Ⅳ-74-132	E1-65-80	719	ⅡB-2	石斧	103.0	41.0	20.0		Gr-Mud
図Ⅳ-74-133	E2-65-10	1017	ⅡB-2	石斧	6.6	2.4	1.0	21.8	Gr-Mud
図Ⅳ-74-134	E2-65-10	819	ⅡB-2下層	石斧	6.7	2.9	1.1	29.8	Gr-Mud
図Ⅳ-74-135	E2-65-02	757	ⅡB-2	石斧	4.9	3.3	1.4	32.7	Gr-Mud
図Ⅳ-74-136	E2-65-04	350	ⅡB-2	石斧	5.4	3.9	1.8	60.4	Gr-Mud
図Ⅳ-74-137	E2-65-10	999	ⅡB-2	石斧	5.4	3.0	1.2	30.9	Gr-Mud
図Ⅳ-74-138	E2-65-02	891	ⅡB-2	石斧	5.7	4.5	1.6	69.5	Gr-Mud
図Ⅳ-74-139	E2-65-02	891	ⅡB-2	石斧	7.7	6.7	3.0	210.2	Gr-Mud
図Ⅳ-74-140	E1-65-81	830	ⅡB-2	石斧	9.9	3.9	1.4	66.2	Mud
図Ⅳ-74-141	E2-65-10	489	ⅡB-2	石斧	8.2	3.4	1.6	51.0	Mud
図Ⅳ-74-142	E1-65-10	926	ⅡB-2	石斧	7.5	3.5	1.5	42.2	Gr-Mud
図Ⅳ-74-143	E2-65-12	377	ⅡB-2	石斧ミニチュア	4.3	1.5	2.9	3.0	Gr-Mud
図Ⅳ-74-144	E1-65-90	547	ⅡB-2	石斧未成品	5.7	4.5	1.6	69.5	Gr-Mud
図Ⅳ-74-145	E2-65-11	1139	ⅡB-2	石斧未成品	8.7	2.0	0.9	23.5	Sch
図Ⅳ-75-146	E2-65-00	1642	ⅡB-2	石斧未成品	(16.0)	9.4	4.9	(1132.5)	Gr-Mud
図Ⅳ-75-147	E2-65-11	1001	ⅡB-2	石斧未成品	16.7	8.1	4.9	1,140.4	Gr-Mud
図Ⅳ-75-148	E2-65-10	490	ⅡB-2	石斧未成品	13.1	7.1	3.8	54.6	Gr-Mud
図Ⅳ-75-149	E2-65-10	925	ⅡB-2	石斧未成品	9.9	4.1	1.4	91.8	Gr-Mud
図Ⅳ-75-150	E2-65-00	1642	ⅡB-2	石斧未成品	8.2	4.5	1.6	78.1	Gr-Mud
図Ⅳ-76-151	E2-65-03	574	ⅡB-2	石斧未成品	15.0	8.5	4.7	77.7	Gr-Mud
図Ⅳ-76-152	E2-65-10	781	ⅡB-2	石斧未成品	10.6	5.1	1.9	139.1	Gr-Mud
図Ⅳ-76-153	E2-65-03	574	ⅡB-2	石斧未成品	12.9	12.9	2.2	326.1	Gr-Mud
図Ⅳ-76-154	E2-65-00	1257	ⅡB-2	石斧未成品	11.5	5.9	2.0	206.1	Gr-Mud
図Ⅳ-76-155	E2-65-10	490	ⅡB-2	石斧未成品	8.5	5.4	1.5	81.0	Gr-Mud
図Ⅳ-76-156	E2-65-10	1199	ⅡB-2	石斧素材	6.1	3.2	1.1	2.9	Gr-Mud
図Ⅳ-76-157	E2-65-10	1199	ⅡB-2	石斧素材	9.8	4.4	1.7	118.6	Gr-Mud
図Ⅳ-77-158	E2-65-03	558	ⅡB-2	すり石	(5.0)	(5.0)	(4.1)	(99.0)	Sa
図Ⅳ-77-159	E2-65-01	1179	ⅡB-2	すり石	9.9	5.4	2.6	272.2	Gr-Mud
図Ⅳ-77-160	E2-65-90	616	ⅡB-2	すり石	9.8	7.0	4.4	525.5	Gni

図番号	グリッド	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅳ-77-161	E_2-65-10	1834	ⅡB-2	すり石	10.7	9.1	4.1	494.9	Gr-Mud
図Ⅳ-77-162	E_2-65-00	263	ⅡB-1	たたき石	4.5	4.5	4.4	115.4	Aga
	E_2-65-00	1341	ⅡB-2						
図Ⅳ-77-163	E_2-65-10	855	ⅡB-2	たたき石	3.1	2.9	2.2	28.0	And
図Ⅳ-77-164	E_2-65-12	391	ⅡB-2	たたき石	4.4	4.3	4.0	94.6	Si-Sh
図Ⅳ-77-165	E_2-65-01	1334	ⅡB-2	たたき石	4.9	5.3	4.4	115.6	Si-Sh
図Ⅳ-77-166	E_2-65-02	882	ⅡB-2	たたき石	5.0	5.5	4.3	190.3	Si-Sh
図Ⅳ-77-167	E_2-65-10	796	ⅡB-2	たたき石	5.8	6.0	3.3	130.0	Aga
図Ⅳ-77-168	E_2-65-01	366	ⅡB-2	たたき石	6.1	5.4	4.0	152.0	Si-Sh
図Ⅳ-77-169	E_2-65-10	796	ⅡB-2	たたき石	6.7	5.4	5.5	238.8	Aga
図Ⅳ-77-170	E_2-65-02	951	ⅡB-2	たたき石	6.6	6.4	4.2	267.7	Gni
図Ⅳ-77-171	E_2-65-01	1294	ⅡB-2	たたき石	9.5	6.9	4.3	396.7	Mud
図Ⅳ-77-172	E_2-65-11	1145	ⅡB-2	たたき石	6.9	4.5	4.2	175.2	And
図Ⅳ-77-173	E_2-65-10	923	ⅡB-2	たたき石	(13.2)	(6.7)	(5.3)	(819.3)	And
図Ⅳ-77-174	E_1-65-80	717	ⅡB-2	たたき石	11.7	3.8	3.7	239.8	Mud
図Ⅳ-77-175	E_2-65-10	1196	ⅡB-2	たたき石	12.0	4.4	2.9	218.5	Sa
図Ⅳ-77-176	E_2-65-01	1140	ⅡB-2	たたき石	10.0	4.6	3.6	281.5	Per
図Ⅳ-77-177	E_2-65-10	1541	ⅡB-2	たたき石	8.1	5.1	2.6	174.6	Gni
図Ⅳ-77-178	E_2-65-10	1001	ⅡB-2	たたき石	11.7	4.3	2.9	211.5	Sa
図Ⅳ-77-179	E_1-65-81	828	ⅡB-2	たたき石	12.7	5.9	2.2	370.0	Gni
図Ⅳ-77-180	E_2-65-02	882	ⅡB-2	たたき石	11.3	5.2	2.9	241.0	Sa
図Ⅳ-77-181	E_2-65-10	1002	ⅡB-2	たたき石	11.7	5.2	3.5	295.5	Mud
図Ⅳ-78-182	E_2-65-00	1343	ⅡB-2	砥石	7.1	7.7	1.1	77.3	Sa
図Ⅳ-78-183	E_2-65-04	300	ⅡB-2	砥石	(11.5)	(8.1)	(0.7)	(85.2)	Sa
図Ⅳ-78-184	E_2-65-12	392	ⅡB-2	砥石	(6.8)	(4.5)	(1.7)	(83.1)	Sa
図Ⅳ-78-185	E_2-65-11	895	ⅡB-2	砥石片	(6.1)	(5.7)	(0.8)	(34.0)	Sa
図Ⅳ-78-186	E_2-65-04	388	ⅡB-2	石錘	7.0	(4.6)	2.0	(84.1)	Gni
図Ⅳ-78-187	E_2-65-13	261	ⅡB-2	石錘	9.3	5.2	2.8	175.2	Gni
図Ⅳ-78-188	E_2-65-03	527	ⅡB-2	石皿	11.5	7.6	3.6	506.7	Gni
図Ⅳ-78-189	E_2-65-01	1578	ⅡB-2	石皿	16.4	13.2	8.0	1,863.3	Sa
図Ⅳ-78-190	E_2-65-12	708	ⅡB-2	台石	28.5	18.4	9.5	7,200.0	Sa
図Ⅳ-90-1	E_2-65-00	2020	ⅡB-3	石鏃	(1.9)	1.2	0.3	(0.4)	obs
図Ⅳ-90-2	E_2-65-04	433	ⅡB-3	石鏃	1.9	1.5	0.3	0.6	obs
図Ⅳ-90-3	E_2-65-01	1507	ⅡB-3	石鏃	2.0	1.5	0.3	0.6	obs
図Ⅳ-90-4	E_1-65-01	1444	ⅡB-3	石鏃	1.7	(1.35)	0.3	(0.5)	obs
図Ⅳ-90-5	E_2-65-80	744	ⅡB-3	石鏃	1.8	1.2	0.2	0.4	obs
図Ⅳ-90-6	E_2-65-00	2020	ⅡB-3	石鏃	2.2	(1.5)	0.3	(0.6)	obs
図Ⅳ-90-7	E_2-65-01	935	ⅡB-3	石鏃	1.5	1.1	0.3	0.3	obs
図Ⅳ-90-8	E_2-65-00	2171	ⅡB-3	石鏃	(1.7)	1.2	0.4	(0.4)	obs
図Ⅳ-90-9	E_2-65-01	935	ⅡB-3	石鏃	1.9	1.3	0.5	0.6	obs
図Ⅳ-90-10	E_2-65-03	384	ⅡB-3	石鏃	2.3	1.6	0.4	0.8	obs
図Ⅳ-90-11	E_2-65-00	1945	ⅡB-3	石鏃	2.7	1.6	0.7	1.2	Aga
図Ⅳ-90-12	E_2-65-01	935	ⅡB-3	石鏃	2.2	1.8	0.4	0.8	obs
図Ⅳ-90-13	E_2-65-01	935	ⅡB-3	石鏃	2.2	1.5	0.5	0.7	obs
図Ⅳ-90-14	E_2-65-01	935	ⅡB-3	石鏃	2.2	1.8	0.4	0.7	obs
図Ⅳ-90-15	E_2-65-00	2171	ⅡB-3	石鏃	2.9	1.4	0.4	0.7	obs
図Ⅳ-90-16	E_2-65-00	1945	ⅡB-3	石鏃	2.5	1.3	0.5	0.8	obs
図Ⅳ-90-17	E_2-65-00	1870	ⅡB-3	石鏃	2.0	1.3	0.2	0.4	obs
図Ⅳ-90-18	E_2-65-02	1061	ⅡB-3	石鏃	2.8	1.4	0.5	1.3	Aga
図Ⅳ-90-19	E_2-65-00	2097	ⅡB-3	石鏃	2.3	1.4	0.5	0.9	obs

図番号	グリッド	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅳ-90-20	E_2-65-00	2171	ⅡB-3	石鏃	3.0	1.3	0.4	0.8	Si-Sh
図Ⅳ-90-21	E_2-65-01	1507	ⅡB-3	石鏃	2.8	1.3	0.6	1.2	obs
図Ⅳ-90-22	E_2-65-00	1945	ⅡB-3	石鏃	2.7	1.1	0.4	0.9	obs
図Ⅳ-90-23	E_2-65-00	1945	ⅡB-3	石鏃	3.1	1.4	0.4	1.2	obs
図Ⅳ-90-24	E_2-65-00	2171	ⅡB-3	石鏃	3.1	1.4	0.5	1.3	obs
図Ⅳ-90-25	E_2-65-00	1945	ⅡB-3	石鏃	3.1	1.8	0.5	1.8	Si-Sh
図Ⅳ-90-26	E_2-65-03	384	ⅡB-3	石鏃	3.0	0.9	0.6	1.1	obs
図Ⅳ-90-27	E_2-65-01	935	ⅡB-3	石鏃	2.5	0.8	0.4	0.6	obs
図Ⅳ-90-28	E_2-65-11	1259	ⅡB-3	石鏃	2.8	1.5	0.4	0.8	obs
図Ⅳ-90-29	E_1-65-81	1338	ⅡB-3トレンチ	ポイント又はナイフ	6.4	2.5	0.7	7.1	obs
図Ⅳ-90-30	E_2-65-00	1924	ⅡB-3	ドリル	1.4	0.8	0.5	0.5	obs
図Ⅳ-90-31	E_2-65-01	1508	ⅡB-3	ドリル	1.9	0.8	0.6	0.8	obs
図Ⅳ-90-32	E_2-65-00	1809	ⅡB-3	ドリル	2.1	1.0	0.5	0.8	obs
図Ⅳ-90-33	E_2-65-03	385	ⅡB-3	ドリル	2.1	1.7	0.4	0.7	Aga
図Ⅳ-90-34	E_2-65-00	2250	ⅡB-3	ドリル	2.4	0.9	0.8	0.9	Si-Sh
図Ⅳ-90-35	E_2-65-00	2172	ⅡB-3	ドリル	4.0	1.1	0.6	2.6	Si-Sh
図Ⅳ-90-36	E_2-65-00	1947	ⅡB-3	ドリル	4.3	1.0	0.7	2.8	Si-Sh
図Ⅳ-90-37	E_2-65-00	2172	ⅡB-3	ドリル	4.3	1.2	0.8	4.3	obs
図Ⅳ-90-38	E_2-65-00	1557	ⅡB-3	ドリル	4.7	1.5	1.1	8.0	Si-Sh
図Ⅳ-90-39	E_2-65-11	1254	ⅡB-3	ドリル	2.5	1.4	0.5	1.0	Si-Sh
図Ⅳ-90-40	E_2-65-00	2021	ⅡB-3	ドリル	4.1	1.8	0.4	1.4	Si-Sh
図Ⅳ-90-41	E_2-65-11	1254	ⅡB-3	ドリル	4.0	1.7	0.5	1.9	Si-Sh
図Ⅳ-90-42	E_1-65-80	254	ⅡB-3トレンチ	ドリル	3.9	1.7	0.5	0.4	Si-Sh
図Ⅳ-90-43	E_2-65-00	1714	ⅡB-3	ドリル	2.7	1.0	0.5	0.7	Aga
図Ⅳ-90-44	E_2-65-00	1924	ⅡB-3	ドリル	2.3	1.2	0.4	1.0	obs
図Ⅳ-90-45	E_2-65-01	936	ⅡB-3	ドリル	2.7	1.9	0.4	1.2	obs
図Ⅳ-90-46	E_2-65-01	1446	ⅡB-3	ドリル	3.3	1.6	0.7	3.2	Si-Sh
図Ⅳ-90-47	E_2-65-00	1947	ⅡB-3	ドリル	3.3	2.4	0.6	3.0	obs
図Ⅳ-90-48	E_2-65-00	2021	ⅡB-3	ドリル	4.0	3.5	0.7	4.9	obs
図Ⅳ-90-49	E_2-65-03	385	ⅡB-3	ドリル	2.1	1.7	0.3	0.7	obs
図Ⅳ-90-50	E_2-65-00	1924	ⅡB-3	ドリル	2.8	2.3	0.9	4.6	Aga
図Ⅳ-90-51	E_2-65-00	1712	ⅡB-3	つまみ付きナイフ	6.4	3.1	1.3	21.3	Si-Sh
図Ⅳ-90-52	E_2-65-00	1712	ⅡB-3	つまみ付きナイフ	5.3	3.2	0.8	10.5	obs
図Ⅳ-90-53	E_2-65-14	261	ⅡB-3	つまみ付きナイフ	4.3	3.4	1.2	12.0	Aga
図Ⅳ-90-54	E_2-65-02	1072	ⅡB-3	つまみ付きナイフ	4.4	2.2	0.5	4.1	obs
図Ⅳ-90-55	E_2-65-00	2251	ⅡB-3	つまみ付きナイフ	3.0	2.2	0.3	1.7	Qua
図Ⅳ-90-56	E_2-65-00	1813	ⅡB-3	つまみ付きナイフ	5.4	2.7	1.0	9.5	obs
図Ⅳ-91-57	E_1-65-80	771	ⅡB-3	つまみ付きナイフ	5.8	3.4	1.0	16.6	obs
図Ⅳ-91-58	E_2-65-00	2022	ⅡB-3	スクレイパー	5.8	1.9	0.8	5.3	obs
図Ⅳ-91-59	E_2-65-00	1867	ⅡB-3トレンチ	スクレイパー	4.3	2.5	0.6	5.7	obs
図Ⅳ-91-60	E_2-65-00	2098	ⅡB-3	スクレイパー	4.1	2.9	1.2	8.2	obs
図Ⅳ-91-61	E_2-65-00	1181	ⅡB-3	スクレイパー	4.9	2.1	11.5	8.9	obs
図Ⅳ-91-62	E_2-65-10	1644	ⅡB-3	スクレイパー	7.0	2.2	8.5	11.4	obs
図Ⅳ-91-63	E_2-65-00	1713	ⅡB-3トレンチ	スクレイパー	5.5	4.2	1.1	25.0	Si-Sh
図Ⅳ-91-64	E_2-65-00	2285	ⅡB-3	スクレイパー	4.1	2.3	9.2	5.0	obs
図Ⅳ-91-65	E_2-65-00	2022	ⅡB-3	スクレイパー	6.5	2.9	0.8	10.2	obs
図Ⅳ-91-66	E_2-65-00	1867	ⅡB-3	スクレイパー	2.2	4.9	9.1	7.8	obs
図Ⅳ-91-67	E_2-65-00	2173	ⅡB-3	スクレイパー	2.3	4.3	0.9	8.4	obs
図Ⅳ-91-68	E_2-65-00	1867	ⅡB-3	スクレイパー	5.3	6.1	0.9	25.7	obs
図Ⅳ-91-69	E_2-65-10	1729	ⅡB-3	スクレイパー	4.8	6.1	1.3	38.8	obs

図番号	グリッド	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅳ-91-70	E_2-65-00	2252	ⅡB-3	スクレイパー	4.0	7.2	1.1	23.9	obs
図Ⅳ-91-71	E_2-65-00	2173	ⅡB-3	スクレイパー	3.1	4.9	0.8	10.8	obs
図Ⅳ-91-72	E_1-65-90	91	ⅡB-3トレンチ	スクレイパー	3.6	5.2	1.2	15.6	obs
図Ⅳ-91-73	E_2-65-00	2252	ⅡB-3	スクレイパー	2.2	4.4	0.5	4.2	obs
図Ⅳ-91-74	E_2-65-00	2022	ⅡB-3	スクレイパー	3.4	5.0	1.8	19.3	obs
図Ⅳ-91-75	E_1-65-90	719	ⅡB-3	スクレイパー	3.0	3.3	0.8	9.4	obs
図Ⅳ-91-76	E_2-65-00	2022	ⅡB-3	スクレイパー	5.0	4.5	1.0	17.7	obs
図Ⅳ-92-77	E_2-65-00	2337	ⅡB-3	両面加工石器	1.1	1.7	1.4	1.6	obs
図Ⅳ-92-78	E_1-65-90	689	ⅡB-3	両面加工石器	3.3	2.3	0.9	5.8	obs
図Ⅳ-92-79	E_2-65-00	2023	ⅡB-3	両面加工石器	3.7	2.6	9.4	7.2	Rhy
図Ⅳ-92-80	E_2-65-00	2286	ⅡB-3	両面加工石器	4.9	3.0	0.9	13.0	obs
図Ⅳ-92-81	E_1-65-90	689	ⅡB-3	両面加工石器	3.9	3.7	1.1	16.0	obs
図Ⅳ-92-82	E_1-65-81	1334	ⅡB-3	両面加工石器	8.2	5.7	1.4	50.5	obs
図Ⅳ-92-83	E_1-65-81	1335	ⅡB-3	両面加工石器	3.3	2.1	1.0	6.9	obs
図Ⅳ-92-84	E_1-65-80	767	ⅡB-3	石斧	8.4	4.1	1.8	95.8	Gr-Mud
図Ⅳ-92-85	E_2-65-00	2335	ⅡB-3	石斧	8.5	3.1	0.9	41.1	Gr-Mud
図Ⅳ-92-86	E_2-65-01	940	ⅡB-3	石斧	7.6	2.9	1.4	49.1	Gr-Mud
図Ⅳ-92-87	E_2-65-00	1814	ⅡB-3	石斧	9.7	3.3	0.9	36.6	Gr-Sch
図Ⅳ-92-88	E_2-65-11	1250	ⅡB-3	石斧	6.7	4.3	2.3	112.8	Gr-Mud
図Ⅳ-92-89	E_2-65-12	766	ⅡB-3	石斧	7.9	4.3	1.3	77.4	Gr-Mud
図Ⅳ-92-90	E_2-65-00	2176	ⅡB-3	石斧	6.5	5.2	3.0	150.0	Gr-Mud
図Ⅳ-93-91	E_2-65-01	1591	ⅡB-3	石斧	6.6	2.0	0.8	14.2	Gr-Mud
図Ⅳ-93-92	E_2-65-00	2288	ⅡB-3	石斧未成品	11.5	7.6	3.4	552.2	Gr-Mud
図Ⅳ-93-93	E_2-65-10	1581	ⅡB-3上面	石斧未成品	9.9	5.2	2.2	172.4	Gr-Mud
図Ⅳ-93-94	E_2-65-10	1731	ⅡB-3	石斧未成品	13.2	5.5	2.6	297.1	Sa
図Ⅳ-93-95	E_2-65-00	2336	ⅡB-3	石斧未成品	8.1	5.9	1.3	86.3	Sl
図Ⅳ-93-96	E_2-65-10	1638	ⅡB-3	石斧素材	9.7	6.4	1.9	197.0	Gr-Mud
図Ⅳ-93-97	E_2-65-12	744	ⅡB-3	擦切残片	4.8	2.9	1.2	22.1	Gr-Mud
図Ⅳ-94-98	E_2-65-12	770	ⅡB-3	すり石	8.0	18.3	4.0	956.4	Sa?
図Ⅳ-94-99	E_2-65-00	2024	ⅡB-3	すり石	12.9	7.1	4.4	577.5	Gni
図Ⅳ-94-100	E_2-65-00	2332	ⅡB-3	すり石	8.2	6.9	1.5	209.1	Gr-Mud
図Ⅳ-94-101	E_2-65-14	250	ⅡB-3	たたき石	5.1	4.3	3.8	115.1	Aga
図Ⅳ-94-102	E_2-65-04	429	ⅡB-3	たたき石	5.7	5.5	4.6	177.0	Si-Sh
図Ⅳ-94-103	E_2-65-04	429	ⅡB-3	たたき石	6.4	5.1	4.5	336.7	Qua
図Ⅳ-94-104	E_2-65-10	1828	ⅡB-3	たたき石	6.9	6.3	5.0	279.3	And
図Ⅳ-94-105	E_2-65-03	386	ⅡB-3	たたき石	5.2	2.9	5.2	46.6	Mud
図Ⅳ-94-106	E_2-65-00	2026	ⅡB-3	たたき石	10.4	5.1	1.7	142.1	Mud
図Ⅳ-94-107	E_2-65-11	1247	ⅡB-3	たたき石	11.1	5.1	2.7	277.0	Mud
図Ⅳ-94-108	E_2-65-00	2180	ⅡB-3	たたき石	13.0	7.4	4.5	767.1	Gni
図Ⅳ-94-109	E_2-65-04	450	ⅡB-3	たたき石	13.0	9.2	4.6	956.6	Gni
図Ⅳ-94-110	E_2-65-00	1815	ⅡB-3	たたき石	9.8	3.8	2.0	113.7	Gr-Mud
図Ⅳ-94-111	E_2-65-00	2026	ⅡB-3	たたき石	9.3	3.3	1.5	81.1	Gr-Mud
図Ⅳ-94-112	E_2-65-00	1717	ⅡB-3	たたき石	11.9	4.7	2.2	196.2	Sl
図Ⅳ-94-113	E_2-65-00	1815	ⅡB-3	たたき石	13.8	2.9	2.3	334.4	Gni?
図Ⅳ-95-114	E_2-65-00	1875	ⅡB-3	石皿	8.8	16.1	7.2	704.7	And
図Ⅳ-95-115	E_2-65-00	2028	ⅡB-3	砥石	12.2	9.8	2.9	327.1	Sa
図Ⅳ-95-116	E_2-65-00	2103	ⅡB-3	石皿	11.6	13.7	2.5	516.7	And
図Ⅳ-95-117	E_1-65-80	779	ⅡB-3	砥石	10.1	11.5	1.7	247.4	Sa
図Ⅳ-95-118	E_2-65-11	1246	ⅡB-3	石錘	10.4	11.5	2.5	447.9	Gni
図Ⅳ-95-119	E_2-65-01	1527	ⅡB-3	石錘	7.8	7.4	2.3	182.9	Gni

図番号	グリッド	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	材質
図Ⅳ-95-120	E_2-65-13	311	ⅡB-3	石錘	8.5	4.9	1.7	121.6	Gni
図Ⅳ-95-121	E_2-65-00	2197	ⅡB-3	石皿	17.1	14.9	9.2	3,262.1	And
図Ⅳ-95-122	E_2-65-12	765	ⅡB-3	台石	22.2	18.0	10.3	7,477.8	And
図Ⅳ-97-1	E_1-65-64	2	ⅡB	石鏃	2.0	1.0	0.3	0.5	obs
図Ⅳ-97-2	E_2-65-04	3	ⅡB	石鏃	2.3	1.1	0.5	1.1	Sh
図Ⅳ-97-3	トレンチ	165	ⅡB	ドリル	4.1	3.1	0.7	6.4	Si-Sh
図Ⅳ-97-4	E_1-65-73	8	ⅡB	つまみ付ナイフ	5.7	3.7	0.9	21.5	Si-Sh
図Ⅳ-97-5	E_1-65-73	7	ⅡB	スクレイパー	6.1	3.9	1.1	24.0	obs
図Ⅳ-97-6	トレンチ	91	ⅡB	石斧	(12.5)	4.2	1.3	(126.2)	Sch
図Ⅳ-97-7	トレンチ	13	ⅡB	擦切残片	(4.5)	(3.8)	1.1	(32.6)	Mud
図Ⅳ-97-8	トレンチ	4	ⅡB	北海道式石冠片	(5.7)	(5.6)	(3.5)	(138.7)	Tu

表28　掲載土製品・石製品一覧

図番号	グリッド	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石材
図Ⅲ-30-1	E_2-65-74	7	Dトレンチ	石玉	0.9	1.0	0.9	0.8	
図Ⅲ-30-2	E_1-65-61	8	ⅠB攪乱	石製品	(12.0)	3.5	1.3	(72.2)	
図Ⅲ-30-3	排土		ⅠB	鉄器	1.8	6.2	0.4	11.9	
図Ⅲ-30-4	排土		ⅠB	鉄製品	13.0	2.5	0.4	21.1	
図Ⅲ-30-5	排土		ⅠB	鉄器	7.7	1.9	0.6	4.2	
図Ⅳ-46-1	E_2-65-11	389	ⅡB-1	土玉	0.4	0.4	0.4	0.1	
図Ⅳ-46-2	E_2-65-11	606	ⅡB-1	土玉	0.9	0.8	0.9	0.5	
図Ⅳ-46-3	E_2-65-11	218	ⅡB-1	土玉	0.8	0.9	0.7	0.4	
図Ⅳ-46-4	E_2-65-81	6	Ⅱ-2トレンチ	土玉	0.7	0.9	0.7	0.5	
図Ⅳ-46-5	E_2-65-13	93	Ⅱ-2トレンチ	土玉	1.0	1.0	1.0	0.7	
図Ⅳ-46-6	E_2-65-00	362	ⅡB-1	土玉	1.3	1.3	0.6	1.2	
図Ⅳ-46-7	E_2-65-01	24	ⅡB-1	土玉	1.4	1.4	0.7	1.0	
図Ⅳ-46-8	E_1-65-80	253	Ⅱ-1トレンチ	土玉	1.0	0.9	0.3	0.2	
図Ⅳ-46-9	E_1-65-82	184	Ⅱ-1トレンチ	土玉	1.1	1.1	0.3	0.3	
図Ⅳ-46-10	E_2-65-11	274	ⅡB-1	土玉	1.5	1.6	0.7	1.5	
図Ⅳ-46-11	E_2-65-12	11	ⅡB-1	土玉	1.8	1.6	0.7	1.9	
図Ⅳ-46-12	E_2-65-03	179	ⅡB-1	土玉	1.8	1.7	0.9	2.6	
図Ⅳ-46-13	E_2-65-02	1123	ⅡB-1	土玉	(1.3)	(1.1)	(1.5)	(1.7)	
図Ⅳ-46-14	E_2-65-12	266	ⅡB-1	土玉	2.7	(1.4)	0.4	(1.4)	
図Ⅳ-46-15	E_2-65-11	321	ⅡB-1	土玉	3.6	1.6	(1.4)	(7.2)	
図Ⅳ-46-16	E_2-65-10	10-94	ⅡB-1	土玉	2.2	2.1	1.9	5.3	
図Ⅳ-46-17	E_2-65-02	18	ⅡB-1	土玉	1.9	1.9	0.9	3.6	
図Ⅳ-46-18	E_2-65-00	224	ⅡB-1	土玉	3.0	1.7	1.5	5.4	
図Ⅳ-46-19	E_1-65-82	182	Ⅱ-2トレンチ	土玉	1.3	0.4	0.4	0.1	
図Ⅳ-46-20	E_2-65-11	210	ⅡB-1	耳栓	1.1	0.4	0.2	0.0	
図Ⅳ-46-21	E_2-65-12	244	ⅡB-1	耳栓	1.7	1.8	2.1	9.8	
図Ⅳ-46-22	E_2-65-01	21	ⅡB-1	耳栓	2.0	2.0	1.9	8.3	
図Ⅳ-46-23	E_2-65-11	207	ⅡB-1	耳栓	2.1	2.1	2.0	9.5	
図Ⅳ-46-24	E_2-65-04	11	ⅡB-1	耳栓	2.2	2.0	2.3	11.4	
図Ⅳ-46-25	E_1-65-81	1	ⅡB-1	耳栓	2.9	2.9	2.2	21.0	
図Ⅳ-46-26	E_2-65-02	330	ⅡB-1	耳栓	2.4	2.4	2.1	15.0	
図Ⅳ-46-27	E_2-65-05	6	ⅡB-1	耳栓	3.0	3.0	3.4	30.6	
図Ⅳ-46-28	E_1-65-91	451	ⅡB-1	耳栓	2.4	2.5	3.0	17.4	
図Ⅳ-46-29	E_2-65-12	302	Ⅱ-2トレンチ	耳栓	2.7	2.1	2.0	7.9	
	E_1-65-82	182							
図Ⅳ-46-30	E_1-65-91	138	ⅡB-1	耳栓	3.2	3.0	2.3	16.3	
図Ⅳ-46-31	E_1-65-91	137	ⅡB-1	耳栓	(2.7)	(2.7)	(1.7)	(10.9)	
図Ⅳ-46-32	E_2-65-01	47	ⅡB-1	耳栓	3.3	2.4	1.5	6.3	
図Ⅳ-46-33	E_2-65-02	17	ⅡB-1	耳栓	0.1	6.0	1.6	48.5	
図Ⅳ-46-34	E_2-65-11	214	ⅡB-1	耳栓	4.2	4.3	1.3	16.3	
図Ⅳ-46-35	E_1-65-80	546	ⅡB-1	耳栓	3.5	2.4	1.5	7.2	
図Ⅳ-46-36	E_1-65-91	335	ⅡB-1	耳栓	3.9	4.0	2.1	21.8	
図Ⅳ-46-37	E_2-65-02	370	ⅡB-1	耳栓	4.5	4.3	2.6	23.7	
図Ⅳ-46-38	E_2-65-12	301	ⅡB-1	耳栓	5.8	5.7	2.4	43.5	
図Ⅳ-47-39	E_2-65-11	219	ⅡB-1	耳栓	4.3	1.7	4.3	6.7	
図Ⅳ-47-40	E_2-65-02	149	ⅡB-1	耳栓	3.7	2.4	0.7	6.8	
図Ⅳ-47-41	E_1-65-90	192	ⅡB上面	土製品	4.6	1.5	1.0	7.1	
図Ⅳ-47-42	E_2-65-12	260	ⅡB-1	土製品	3.8	1.4	1.3	6.3	
図Ⅳ-47-43	E_1-65-81	294	ⅡB-1	耳栓	3.3	1.5	1.4	6.4	
図Ⅳ-47-44	E_2-65-11	343	ⅡB-1	耳栓	3.1	2.8	1.0	7.5	

図番号	グリッド	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石材
図Ⅳ-47-45	E_2-65-12	303	Ⅱ-2トレンチ	土製品	2.0	1.7	0.9	2.4	
図Ⅳ-47-46	E_2-65-02	16	ⅡB-1	耳栓	2.1	2.1	0.8	2.4	
図Ⅳ-47-47	E_2-65-01	22	ⅡB-1	耳栓	2.2	2.2	0.9	3.1	
図Ⅳ-47-48	E_2-65-90	190	ⅡB-1	スタンプ形土製品	2.8	2.8	1.3	5.5	
図Ⅳ-47-49	E_1-65-80	261	ⅡB-1	スタンプ形土製品	(2.85)	2.4	2.4	(5.9)	
図Ⅳ-47-50	E_2-65-11	209	ⅡB-1	スタンプ形土製品	1.4	0.6	0.5	0.2	
図Ⅳ-47-51	E_1-65-81	232	ⅡB-1	土偶	3.9	2.1	0.9	6.1	
図Ⅳ-47-52	E_1-65-81	260	ⅡB-1	土偶	2.0	2.0	1.5	3.7	
図Ⅳ-47-53	E_1-65-80	545	ⅡB-1	土偶	5.4	2.0	2.6	15.6	
図Ⅳ-47-54	E_1-65-91	334	ⅡB-1	土偶	2.9	1.2	1.8	5.3	
図Ⅳ-47-55	E_2-65-12	296	ⅡB-1	動物形土製品	2.6	1.6	0.9	3.4	
図Ⅳ-47-56	E_2-65-11	361	ⅡB-1	土製品	2.9	4.7	1.9	26.3	
図Ⅳ-47-57	E_2-65-11	541	ⅡB-1	土製品	3.3	5.8	2.7	38.7	
図Ⅳ-47-58	E_2-65-11	208	ⅡB-1	土製品	1.6	1.1	1.0	1.5	
図Ⅳ-47-59	E_2-65-00	93-980	ⅡB-1	土製品	1.8	1.7	1.1	2.8	
図Ⅳ-47-60	E_2-65-01	59	ⅡB-1	土製品	(7.2)	3.2	2.3	(41.7)	
図Ⅳ-47-61	E_1-65-91	333	ⅡB-1	土製品	(4.4)	1.7	1.4	(9.3)	
図Ⅳ-47-62	E_1-65-90	193	ⅡB-1	土製品	3.9	1.5	1.4	5.4	
図Ⅳ-47-63	E_2-65-10	214	ⅡB-1	土製品	3.7	1.0	0.9	3.2	
図Ⅳ-48-1	E_1-65-90	288	ⅡB-1	石玉	0.7	0.7	0.5	0.4	
図Ⅳ-48-2	E_1-65-81	7	Ⅱ-2トレンチ	石玉	0.7	0.8	0.5	0.4	Per
図Ⅳ-48-3	E_2-65-01	19	ⅡB-1	石玉	0.8	0.8	0.3	0.3	Per
図Ⅳ-48-4	E_1-65-81	3	Ⅱ-1トレンチ	石玉	0.9	0.9	0.5	0.5	Per
図Ⅳ-48-5	E_2-65-10	276	Ⅱ-1トレンチ	石玉	0.9	0.9	0.4	0.6	Per
図Ⅳ-48-6	E_1-65-80	256	ⅡB-1	石玉	0.9	0.9	0.5	0.6	Per
図Ⅳ-48-7	E_1-65-81	2	Ⅱ-1トレンチ	石玉	0.9	0.9	0.4	0.3	Per
図Ⅳ-48-8	E_2-65-12	299	Ⅱ-2トレンチ	石玉	1.0	1.0	0.7	0.6	Per
図Ⅳ-48-9	E_1-65-81	5	Ⅱ-2トレンチ	石玉	0.9	0.9	0.5	0.7	Per
図Ⅳ-48-10	E_2-65-00	100-988	ⅡB-1	石玉	1.1	1.0	0.5	0.8	Per
図Ⅳ-48-11	E_2-65-05	7	ⅡB-1	石玉	1.1	1.1	0.7	1.3	Per
図Ⅳ-48-12	E_2-65-01	17	ⅡB上面	石玉	1.1	1.1	0.6	0.9	Per
図Ⅳ-48-13	E_2-65-11	212	ⅡB-1	石玉	1.2	1.4	1.2	2.6	Per
図Ⅳ-48-14	E_1-65-90	189	Ⅱ-1トレンチ	石玉	0.4	0.4	1.0	2.7	Per
図Ⅳ-48-15	E_1-65-91	139	ⅡB-1	石玉	1.8	1.7	1.4	5.8	Per
図Ⅳ-48-16	E_1-65-83	230	Ⅱ-2トレンチ	石玉	1.6	1.2	1.9	6.2	Per
図Ⅳ-48-17	E_1-65-82	185	Ⅱ-1トレンチ	土製品	1.8	1.7	1.0	1.6	
図Ⅳ-48-18	E_2-65-00	14-499	ⅡB-1	石玉	(1.40)	(0.80)	(1.60)	(1.90)	Per
図Ⅳ-48-19	E_2-65-04	10	ⅡB-1	石玉	2.0	1.0	0.4	1.1	Per
図Ⅳ-48-20	E_2-65-01	18	ⅡB-1	石玉	2.1	1.2	0.6	1.6	Per
図Ⅳ-48-21	E_1-65-80	88	ⅡB-1トレンチ	石玉	2.5	1.0	0.8	2.4	Per
図Ⅳ-48-22	E_2-65-11	213	ⅡB-1	石玉	3.6	1.8	1.1	8.1	Per
図Ⅳ-48-23	E_2-65-11	211	ⅡB-1	石玉	1.9	1.7	0.8	3.8	Per
図Ⅳ-48-24	E_2-65-01	23	ⅡB-1	石玉	1.7	1.6	0.8	3.9	Per
図Ⅳ-48-25	E_2-65-00	98-980	ⅡB-1	石玉未成品	3.6	1.8	1.1	10.3	Per
図Ⅳ-48-26	E_2-65-02	310	ⅡB-1	石玉未成品	(5.30)	(1.40)	(0.90)	(10.40)	Phy
図Ⅳ-48-27	E_1-65-90	194	ⅡB-1	石製品	2.1	1.2	0.3	0.5	obs
図Ⅳ-48-28	E_1-65-91	630	ⅡB-1	石製品	1.4	1.5	0.4	0.5	obs
図Ⅳ-48-29	E_1-65-81	624	ⅡB-1	石棒	17.7	3.5	2.5	198.2	Sl
図Ⅳ-48-30	E_1-65-81	624	ⅡB-1	石棒	13.8	3.4	1.1	74.6	Sch
図Ⅳ-48-31	E_2-65-00	866-86	ⅡB-1	石棒	12.9	2.9	2.2	108.0	Sl

図番号	グリッド	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石材
図Ⅳ-48-32	E_2-65-11	604	ⅡB-1	オロシガネ状石製品	7.5	6.8	2.2	56.0	We-Tu
図Ⅳ-48-33	E_1-65-92	166	ⅡB-1	オロシガネ状石製品	(6.7)	(8.7)	(1.7)	(80.9)	We-Tu
図Ⅳ-48-34	E_1-65-81	650	ⅡB-1	オロシガネ状石製品	(9.5)	(11.3)	(2.3)	(201.9)	We-Tu
図Ⅳ-48-35	E_1-65-81	478	ⅡB-1	環状軽石製品	(4.5)	(5.9)	(2.9)	(18.1)	軽石
	E_2-65-10	492	ⅡB-2	石製品	(19.2)	(9.2)	5.0	(700.5)	We-Tu
図Ⅳ-48-36	E_1-65-81	366	ⅡB-1						
図Ⅳ-79-1	E_2-65-10	1881	Ⅱ-5トレンチ	土玉	0.7	0.8	1.2	0.7	
図Ⅳ-79-2	E_2-65-10	211	ⅡB-2	土玉	1.6	1.6	1.6	6.8	
図Ⅳ-79-3	E_2-65-01	38	ⅡB-2	土玉	(2.3)	(1.2)	(1.7)	(3.1)	
図Ⅳ-79-4	E_2-65-12	132	ⅡB-2	土玉	2.3	2.2	0.8	3.8	
図Ⅳ-79-5	E_2-65-01	37	ⅡB-2	土玉	2.6	2.5	1.4	6.6	
図Ⅳ-79-6	E_2-65-13	114	Ⅱ-3トレンチ	耳栓	1.3	0.4	0.3		
図Ⅳ-79-7	E_1-65-82	186	Ⅱ-3トレンチ	玉	1.2	0.3	0.3	0.2	
図Ⅳ-79-8	E_2-65-02	940	ⅡB-2	耳栓	0.5	0.5	0.5	0.1	
図Ⅳ-79-9	E_2-65-11	137	ⅡB-2	耳栓	1.8	0.5	0.5	0.4	
図Ⅳ-79-10	E_2-65-12	300	Ⅱ-3トレンチ	土玉	2.4	1.4	1.5	5.3	
図Ⅳ-79-11	E_2-65-13	308	Ⅱ-3トレンチ	土玉	1.4	1.4	2.9	5.8	
図Ⅳ-79-12	E_1-65-91	142	ⅡB-2	耳栓	1.7	1.8	2.0	6.8	
図Ⅳ-79-13	E_2-65-12	297	ⅡB-2	耳栓	2.1	2.0	2.3	10.1	
図Ⅳ-79-14	E_1-65-81	1306	Ⅱ-3トレンチ	耳栓	2.3	2.8	2.1	14.5	
図Ⅳ-79-15	E_2-65-01	40	ⅡB-2	耳栓	3.1	3.2	2.3	21.7	
図Ⅳ-79-16	E_2-65-01	27	ⅡB-2	耳栓	4.0	4.1	1.7	9.8	
図Ⅳ-79-17	E_2-65-11	215	Ⅱ-3	耳栓	4.0	3.9	1.5	24.0	
図Ⅳ-79-18	E_2-65-02	20	ⅡB-2	耳栓	3.8	3.8	1.1	5.4	
図Ⅳ-79-19	E_2-65-01	1149	ⅡB-2	耳栓	4.9	3.3	1.9	10.9	
	E_2-65-02	530	ⅡB-2						
	E_2-65-02	676	ⅡB-2						
図Ⅳ-79-20	E_1-65-91	1264	ⅡB-2	耳栓	3.9	3.9	1.9	26.4	
図Ⅳ-79-21	E_2-65-12	353	ⅡB-2	耳栓	3.6	1.7	1.6	6.1	
図Ⅳ-79-22	E_2-65-00	1290	ⅡB-2	耳栓	4.2	3.9	1.3	13.8	
図Ⅳ-79-23	E_2-65-02	22	ⅡB-2	耳栓	2.0	2.0	0.8	2.7	
図Ⅳ-79-24	E_2-65-02	23	ⅡB-2	耳栓	1.9	2.0	0.7	2.6	
図Ⅳ-79-25	E_2-65-01	39	ⅡB-2	耳栓	(2.0)	(2.0)	(0.7)	(2.5)	
図Ⅳ-79-26	E_1-65-91	140	ⅡB-2	耳栓	2.6	2.7	0.8	4.3	
図Ⅳ-79-27	E_2-65-01	29	ⅡB-2	耳栓	2.6	2.5	0.9	4.4	
図Ⅳ-79-28	E_2-65-01	30	ⅡB-2	耳栓	2.1	2.0	0.7	2.7	
図Ⅳ-79-29	E_2-65-01	35	ⅡB-2	耳栓	2.6	2.7	0.8	5.7	
図Ⅳ-79-30	E_2-65-01	28	ⅡB-2	耳栓	2.7	3.0	1.0	5.8	
図Ⅳ-79-31	E_2-65-01	551	ⅡB-2	オロシガネ状土製品	(3.6)	(3.2)	(0.8)	(7.9)	
図Ⅳ-79-32	E_2-65-12	147	ⅡB-2	スタンプ形土製品	1.4	1.7	1.6	4.4	
図Ⅳ-79-33	E_2-65-11	891	ⅡB-2	土偶肩	2.1	1.9	1.3	4.3	
図Ⅳ-79-34	E_2-65-11	1189	ⅡB-2	土偶	4.7	1.9	1.9	16.8	
図Ⅳ-79-35	E_2-65-01	60	ⅡB-2	把手	3.0	4.1	3.1	15.8	
図Ⅳ-79-36	E_1-65-91	150	ⅡB-2	土製品	7.5	3.8	1.7	41.8	
	E_1-65-91	1256	ⅡB-2						
図Ⅳ-79-37	E_2-65-12	326	ⅡB-2	土製品	2.9	2.2	1.3	3.1	
図Ⅳ-79-38	E_1-65-81	926	ⅡB-2	土製品	(3.1)	(1.7)	(1.3)	(3.9)	
図Ⅳ-79-39	E_2-65-11	41	ⅡB-2	土製品	2.5	0.7	0.8	1.0	
図Ⅳ-79-40	E_2-65-10	293	ⅡB-2	土製品	(3.8)	1.5	1.5	(7.5)	
図Ⅳ-80-1	E_2-65-10	283	Ⅱ-4トレンチ	石玉	0.7	0.7	0.5	0.4	Per

図番号	グリッド	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石材
図Ⅳ-80-2	E_2-65-01	33	ⅡB-2	石玉	0.7	0.8	0.5	0.3	Per
図Ⅳ-80-3	E_1-65-80	877	Ⅱ-6トレンチ	石玉	0.7	0.8	0.4	0.2	Per
図Ⅳ-80-4	E_1-65-02	24	ⅡB-2	石玉	0.8	0.8	0.3	0.1	Per
図Ⅳ-80-5	E_1-65-10	474	ⅡB-2	石玉	0.9	1.0	0.6	0.7	Per
図Ⅳ-80-6	E_2-65-10	282	Ⅱ-4トレンチ	石玉	0.9	0.9	0.6	0.6	Per
図Ⅳ-80-7	E_2-65-10	281	Ⅱ-4トレンチ	石玉	0.8	0.9	0.4	0.4	Per
図Ⅳ-80-8	E_2-65-02	19	ⅡB-2	石玉	0.8	0.8	0.4	0.4	Per
図Ⅳ-80-9	E_2-65-01	31	ⅡB-2	石玉	0.9	0.9	0.6	0.4	Per
図Ⅳ-80-10	E_2-65-12	298	ⅡB-2	石玉	1.1	1.1	0.3	0.5	Per
図Ⅳ-80-11	E_2-65-01	32	ⅡB-2	石玉	1.2	1.1	0.6	0.9	Per
図Ⅳ-80-12	E_2-65-01	42	ⅡB-2	石玉	1.3	1.1	0.6	1.4	Per
図Ⅳ-80-13	E_2-65-10	288	Ⅱ-4トレンチ	石玉	0.8	0.8	0.6	0.3	Per
図Ⅳ-80-14	E_2-65-11	216	Ⅱ-3トレンチ	石玉	0.9	1.0	0.8	+	Per
図Ⅳ-80-15	E_2-65-10	285	Ⅱ-6トレンチ	石玉	1.1	1.1	1.0	1.4	Per
図Ⅳ-80-16	E_2-65-02	941	ⅡB-2	石玉	1.0	1.1	0.8	1.7	Per
図Ⅳ-80-17	E_1-65-91	141	ⅡB-2	石玉	1.4	1.3	0.9	2.1	Per
図Ⅳ-80-18	E_2-65-01	34	ⅡB-2	石玉	1.1	1.1	1.2	2.2	Per
図Ⅳ-80-19	E_2-65-11	217	ⅡB-3トレンチ	石玉	1.5	0.9	0.6	0.7	Per
図Ⅳ-80-20	E_2-65-01	41	ⅡB-2	石玉	3.0	1.5	1.1	7.1	Per
図Ⅳ-80-21	E_2-65-10	286	Ⅱ-5トレンチ	石玉	(0.5)	(1.2)	(0.9)	(3.9)	Per
図Ⅳ-80-22	E_2-65-01	25	ⅡB-2	石玉	3.9	1.7	1.1	8.7	Per
図Ⅳ-80-23	E_2-65-02	762	ⅡB-2	石玉	2.6	(1.7)	1.1	(4.0)	Per
図Ⅳ-80-24	E_2-65-03	472	ⅡB-2	石玉未成品	1.5	1.1	0.7	1.6	Per
図Ⅳ-80-25	E_2-65-10	295	Ⅱ-4トレンチ	石玉未成品	1.3	0.8	1.0	1.6	Per
図Ⅳ-80-26	E_1-65-81	1296	ⅡB-3トレンチ	石玉未成品	2.3	1.2	1.2	5.8	Per
図Ⅳ-80-27	E_2-65-11	1228	ⅡB-2	石玉未成品	1.9	1.3	0.7	2.4	Per
図Ⅳ-80-28	E_2-65-02	607	ⅡB-2	石玉未成品	3.7	2.1	1.3	12.4	Per
図Ⅳ-80-29	E_1-65-91	143	ⅡB-2	石玉未成品	3.8	1.7	0.7	5.9	Per
図Ⅳ-80-30	E_2-65-02	761	ⅡB-2	石玉素材	1.7	1.5	1.2	産地同定	Per
図Ⅳ-80-31	E_2-65-01	26	ⅡB-2	有孔石	3.5	3.1	0.7	8.9	不明
図Ⅳ-80-32	E_2-65-11	1153	ⅡB-2	異形石器	2.1	3.3	1.1	2.2	obs
図Ⅳ-80-33	E_2-65-02	763	ⅡB-2	異形石器	1.3	2.1	0.3	0.6	obs
図Ⅳ-80-34	E_2-65-11	1153	ⅡB-2	異形石器	1.8	2.4	0.3	0.6	obs
図Ⅳ-80-35	E_2-65-10	794	ⅡB-2	異形石器	2.0	1.5	4.1	1.1	obs
図Ⅳ-80-36	E_2-65-11	793	ⅡB-2	石棒	5.9	2.2	1.7	26.7	Sl
図Ⅳ-80-37	E_2-65-12	508	ⅡB-2	石棒	8.2	2.9	1.5	49.7	Phy
図Ⅳ-80-38	E_2-65-11	860-44	ⅡB-2	石棒	(8.3)	(3.5)	(2.4)	(111.7)	Sl
図Ⅳ-80-39	E_2-65-10	297	Ⅱ-5トレンチ	軽石製品	5.6	3.2	2.6	13.4	軽石
図Ⅳ-80-40	E_1-65-80	616	ⅡB-2上層	オロシガネ状石製品	15.2	10.9	3.5	330.7	We-Tu
図Ⅳ-80-41	E_2-65-00	1342	ⅡB-2	異形石器	8.5	3.4	2.4	75.7	Sh
図Ⅳ-96-1	E_1-65-81	1404	Ⅱ-7トレンチ	耳栓	1.2	1.2	1.0	1.0	
図Ⅳ-96-2	E_2-65-10	41	ⅡB-3	耳栓	2.6	2.5	1.8	6.8	
	E_2-65-10	42	ⅡB-3						
	E_2-65-10	43	ⅡB-3						
	E_2-65-10	44	ⅡB-3						
図Ⅳ-96-3	E_2-65-10	287	ⅡB-3	耳栓	3.6	3.6	0.3	16.7	
図Ⅳ-96-4	E_2-65-01	1439	ⅡB-3	土製品	3.7	1.1	0.9	3.3	
図Ⅳ-96-5	E_1-65-80	255	Ⅱ-3トレンチ	石玉	0.9	0.9	0.4	0.4	Per
図Ⅳ-96-6	E_2-65-01	44	ⅡB-3	石玉	1.0	0.9	0.7	1.0	Per
図Ⅳ-96-7	E_1-65-90	191	ⅡB-3	石玉	1.1	1.0	0.8	0.8	Per

図番号	グリッド	遺物番号	層位	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石材
図Ⅳ-96-8	E_2-65-01	43	ⅡB-3	石玉	2.1	1.7	1.2	3.7	Per
図Ⅳ-96-9	E_2-65-00	2099	ⅡB-3	石製品	(15.3)	(3.9)	(2.0)	(185.0)	Sa
図Ⅳ-98-1	E_2-65-10	280	ⅡB-トレンチ	土玉	1.0	1.0	0.9	0.9	
図Ⅳ-98-2	E_1-65-83	233	ⅡB-トレンチ	土玉	1.1	1.1	0.4	0.6	
図Ⅳ-98-3	E_1-65-91	144	ⅡB-中央トレンチ	土玉	1.0	1.0	0.5	0.5	
図Ⅳ-98-4	E_1-65-91	145	ⅡB-中央トレンチ	土製品	0.9	0.3	0.3	+	
図Ⅳ-98-5	E_1-65-81	4	ⅡB-トレンチ	耳栓	0.9	0.9	0.8	0.6	
図Ⅳ-98-6	E_1-65-91	146	ⅡB-中央トレンチ	耳栓	3.4	2.2	1.8	13.9	
図Ⅳ-98-7	E_1-65-91	147	ⅡB-中央トレンチ	耳栓	2.9	2.8	2.5	10.8	
図Ⅳ-98-8	E_2-65-15	1	ⅡB-トレンチ	石玉	0.8	0.8	0.8	0.7	Per
図Ⅳ-98-9	E_1-65-83	344	ⅡB-トレンチ	石玉	0.8	0.7	0.7	0.6	Per
図Ⅳ-98-10	E_1-65-83	294	ⅡB-トレンチ	石玉	0.6	0.6	0.4	0.1	Per
図Ⅳ-98-11	E_2-65-10	289	トレンチ	石玉	1.0	0.9	0.5	0.7	Per
図Ⅳ-98-12	E_1-65-83	232	ⅡB-トレンチ	石玉	0.8	0.8	0.7	0.6	Per
図Ⅳ-98-13	E_1-65-83	234	ⅡB-トレンチ	石玉	1.2	1.1	0.7	1.1	Per
図Ⅳ-98-14	E_1-65-83	231	ⅡB-トレンチ	石玉	1.0	1.1	0.6	1.3	Per
図Ⅳ-98-15	E_1-65-83	344	ⅡB-トレンチ	石玉	1.2	1.0	0.7	1.3	Per
図Ⅳ-98-16	E_2-65-10	290	トレンチ	石玉	1.0	1.0	0.5	0.7	Per
図Ⅳ-98-17	排土	27		石玉	1.2	1.2	0.6	1.1	Per
図Ⅳ-98-18	E_2-65-83	344	ⅡB-トレンチ	石玉	1.2	0.7	0.4	0.5	Per
図Ⅳ-98-19	排土	26		石玉	1.6	1.3	0.9	2.3	Per
図Ⅳ-98-20	E_2-65-14	273	ⅡB	石玉	7.7	7.1	2.7	124.6	Per
図Ⅳ-98-21	E_1-65-83	295	ⅡB-トレンチ集中	オロシガネ状石製品	(11.1)	(7.7)	(1.9)	(131.1)	We-Tu
図Ⅳ-98-22	中央トレンチ4	167	ⅡB-トレンチ	オロシガネ状石製品	0.9	1.0	0.7	1.0	We-Tu
図Ⅳ-98-23	中央トレンチ4	166		円板状石製品	(10.0)	(7.8)	(1.8)	(114.8)	?
図Ⅳ-99-1	E_1-65-81	143	ⅡB-1	骨角器					
図Ⅳ-99-2	E_2-65-02	1162	ⅡB-2	骨角器					
図Ⅳ-99-3	E_2-65-14	276	ⅡB-3	骨角器					
図Ⅳ-99-4	E_1-65-91	1686	ⅡB-3	骨角器					
図Ⅳ-99-4	中央トレンチ	78	不明	骨角器					
図Ⅳ-99-6	E_2-65-04	514	ⅡB-1	骨装飾品					
図Ⅳ-99-7	E_1-65-80	934	ⅡB-2	骨角器					

参　考　文　献

大沼忠春他　1976『元和』乙部町教育委員会

大場利夫他　1953『エリモ遺跡』日高教育研究所

河野広道　1961「御殿山墳墓群について」『考古学雑誌』46―4

曽屋龍典・佐藤博之　1980『千歳地域の地質　地域地質研究報告（5万分の1図幅)』地質調査所

鷹野光行　1978「北海道における縄文時代中期中葉の土器の編年について」『考古学雑誌』63

鷹野光行　1981「後期の土器、北海道の土器」『縄文土器の研究4』雄山閣

鷹野光行　1981「晩期の土器、北海道東部の土器」『縄文土器の研究4』雄山閣

鷹野光行　1982「鍬潤式と「ホッケマ式」」『古代』73

鷹野光行　1984「御殿山式土器様式」『縄文土器大観4』小学館

鷹野光行　1984「縄文時代後半期」『北海道考古学』20

沼田　真　1974『生態学辞典』築地書館

野村　崇・宇田川洋　1967『長沼町幌内堂林遺跡調査報告』長沼町の文化財2

野村　崇　1988『日本の古代遺跡　40　北海道Ⅰ』保育社

林　謙作　1981「縄文晩期の土器」『縄文土器大成　4』講談社

林　謙作　1984「縄文時代前半期」『北海道考古学』20

北海道教育委員会　1977　『美沢川流域の遺跡群Ⅰ』

北海道教育委員会　1978　『美沢川流域の遺跡群Ⅱ』

北海道教育委員会　1979　『美沢川流域の遺跡群Ⅲ』

北海道埋蔵文化財センター　1981　『美沢川流域の遺跡群Ⅳ』北埋調報3集

北海道埋蔵文化財センター　1981　『社台1・虎杖浜4・千歳4・富岸』北埋調報1集

北海道埋蔵文化財センター　1982　『美沢川流域の遺跡群　発掘調査の概要』

北海道埋蔵文化財センター　1983　『ママチ遺跡』北埋調報9集

北海道埋蔵文化財センター　1985　『美沢川流域の遺跡群Ⅷ』北埋調報17集

北海道埋蔵文化財センター　1986　『木古内町札苅遺跡』北埋調報34集

北海道埋蔵文化財センター　1987　『ママチ遺跡Ⅲ』北埋調報36集

北海道埋蔵文化財センター　1989　『小樽市忍路土場遺跡・忍路5遺跡』北埋調報53集

森田知忠　1981「後期の土器、北海道」『縄文土器の研究3』雄山閣

森田知忠・木村英明　1986「1　北海道」『岩波講座　日本考古学　別巻1』岩波書店

松井　章　1987「動物性食料」『季刊考古学』第21号

矢吹俊男・野中　宏　1985「縄文時代の墓制　縄文後期の区画墓について」『続北海道5万年史』郷土と科学編集委員会

報告書抄録

ふりがな	みさわがわりゅういき　いせきぐん　じゅうく　びびよんいせき
書名	美沢川流域の遺跡群　XIX　美々４遺跡
副書名	新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書(北埋調報)
シリーズ番号	第113集
編著者名	熊谷仁志・藤井　浩
編集機関	(財)北海道埋蔵文化財センター
所在地	〒064　北海道札幌市中央区南26条西11丁目　Tel 011―561―3131
発行年月日	西暦　1998年(平成９年)３月25日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
びびよんいせき 美々４遺跡	ちとせしびび 千歳市美々988-13	01224	88	45度 42分 00秒	136度 28分 48秒	19960912 ～19961029 19970821 ～19971031	ＩB層 1050㎡ ⅡB層 300㎡	空港(新千歳空港)建設工事に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
美々４遺跡	墓 集落	縄文時代 (前期～ 晩期) アイヌ文化期	住居跡(11) 土壙墓(4) 土壙(33) Ｔピット(5) 焼土(26) フレイク集中区(1) 柱穴状ピット(251) 骨片集中(5)	縄文式土器(各時期) (後期末から晩期初主体) 続縄文・擦文土器少量 (土器計48万点) 石器(各種７万点) 土製品 (耳栓、土玉、土偶、 動物形土製品) 石製品　(玉、石棒) 骨角器 鉄製品(垂飾など)	

(財)北海道埋蔵文化財センター発掘調査報告書　第113集

美々沢川流域の遺跡群 XIX
千歳市　美々4遺跡

—新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書—

第1分冊

平成9年3月25日発行

編　集　財団法人　北海道埋蔵文化財センター

〒064 札幌市中央区南26条西11丁目

☎ 011(561)3131

印　刷　株式会社　キ サ ツ

〒064 札幌市中央区南21条西10丁目

☎ 011(531)2111

(財)北海道埋蔵文化財センター発掘調査報告書　第113集

美々沢川流域の遺跡群 XIX
千歳市　美々4遺跡

―新千歳空港建設用地内埋蔵文化財発掘調査報告書―

第1分冊

平成9年3月25日発行

編　集　財団法人　北海道埋蔵文化財センター

〒064 札幌市中央区南26条西11丁目

☎ 011(561)3131

印　刷　株式会社　キ サ ツ

〒064 札幌市中央区南21条西10丁目

☎ 011(531)2111